COIプログラム　拠点計画　ロードマップ　【2021年11月1日作成】　【別添1】

# 「真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点」

## 将来の社会ニーズ：早期予兆発見による疾患の予防

いまや我が国は世界一の長寿国であり、10年後には加齢を基盤とする脳卒中や認知症が急増すると予想される。この問題を解決するために，疾患予兆の発見システムの構築と革新的アンチエイジング法を含めた介入システムの開発を行ない、認知症などの生活習慣病発症の不安から解消されるとともに、たとえ認知症を発症しても認知症患者が安心して生活できるサポートシステムを社会実装することにより、「人生100年時代ヘルスケアシティ」の実現を図る。

**＜現状＞**

超早期に疾患の予兆を見出す方法は知られておらず、効果的な予防法が開発されていない。

意思能力が低下した人を支援する体制が整っていない。

IT技術の進展により、診断、予防、治療、に活用可能となった。

## 設定した将来の社会ニーズに基づく課題（研究開発課題）

**1．ビッグデータを活用した疾患予兆の早期発見の仕組みの構築が必要**

①疾患予兆法をコホート研究から抽出，②疾患予兆発見アルゴリズムの開発，③新規疾患予兆指標（細胞機能，オミックス，腸内細菌，バイオマーカー）の開発，④予兆発見のアプリケーション開発，⑤社会実装（健康度検査サービス）

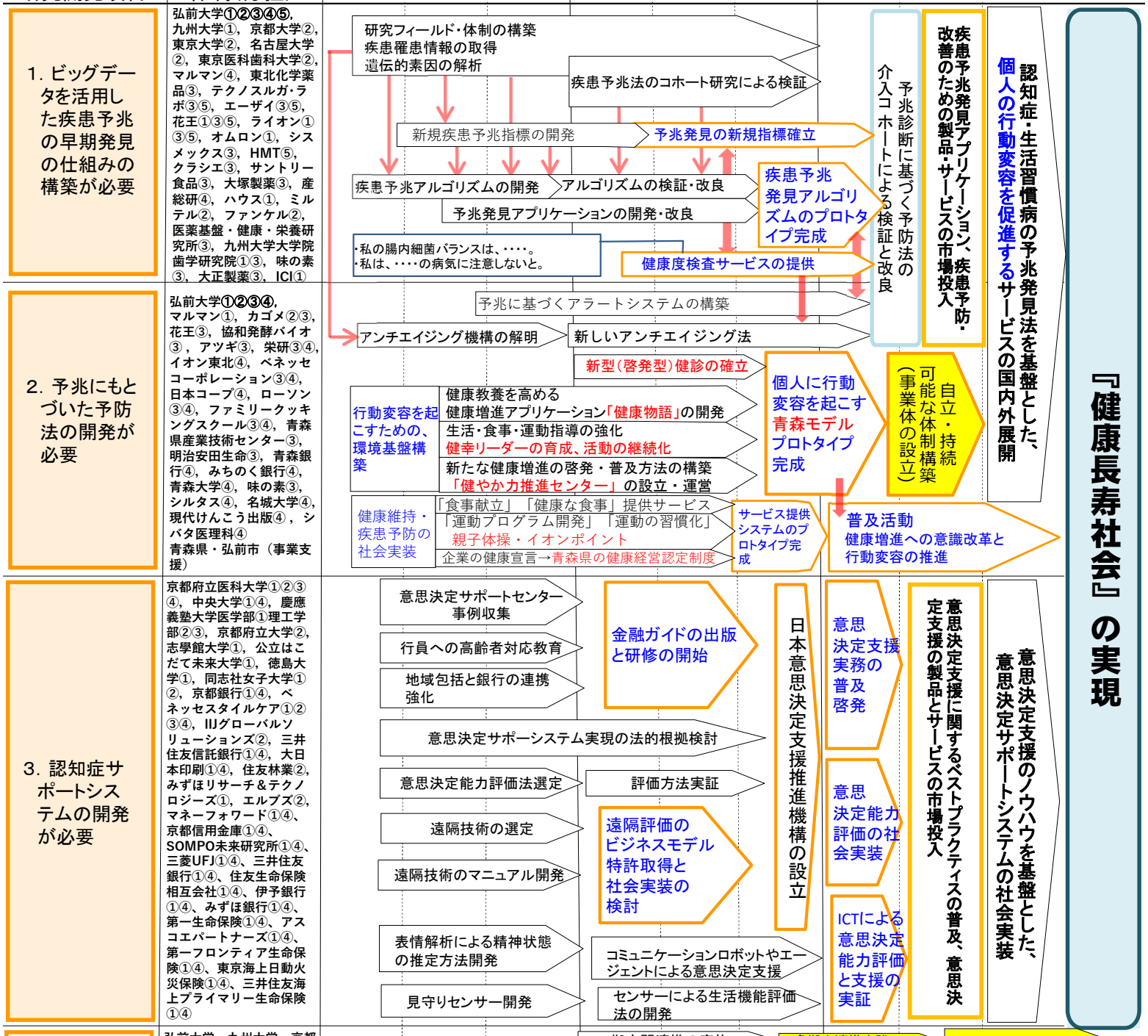
**2．予兆に基づいた予防法の開発が必要**

①予兆に基づくアラートシステムの構築，②画期的アンチエイジング法の開発，③疾病の予防法(食事，運動，生活指導，健康教育)の開発，④健康増進への意識改革と行動変容の推進

**3．認知症サポートシステムの開発が必要**

①意思決定サポートセンターで認知症患者や意思能力が低下した高齢者の社会活動を一括で支援，②高齢者の自尊心が保たれる見守りシステムの開発，③転倒・事故を未然に防ぐ活動評価システムの開発，④財産管理支援システムの開発

**4．拠点間のデータ連携が必要**



COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧

拠点名 V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

| 項目 | | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | フェーズ1（H25-H27） | フェーズ2（H28-H30） | フェーズ3（R1-R3） | 計（H25-R3） | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① プロトタイプ | | | | 0 | 0 | 5 | 7 | 1 | 4 | 3 | 6 | 5 | 5 | 12 | 14 | 31 | 件 |
| ② 実用化 | | | | 0 | 0 | 3 | 3 | 5 | 15 | 4 | 4 | 4 | 3 | 23 | 12 | 38 | 件 |
| ③ 事業化（製品・サービス等の提供） | | | | 0 | 0 | 2 | 3 | 4 | 4 | 18 | 18 | 12 | 2 | 11 | 48 | 61 | 件 |
| ④ 起業（ベンチャー企業等の設立） | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 件 |
| ⑤ 知的財産権の状況 | 登録 | 拠点全体 | 国内 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 | 6 | 0 | 3 | 12 | 15 | 件 |
| | | | 外国 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 件 |
| | | うちﾊﾞｲﾄﾞｰﾙ適用 | 国内 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 1 | 5 | 6 | 件 |
| | | | 外国 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 件 |
| | ライセンス | | | 直接入力 | 直接入力 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 7 | 4 | 0 | 2 | 12 | 14 | 件 |
| ⑥ 成果の発信 | プレス発表（イベント告知は除く） | | | 0 | 0 | 0 | 4 | 16 | 23 | 19 | 22 | 12 | 0 | 43 | 53 | 96 | 件 |
| | 成果発信イベントの開催 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 9 | 14 | 31 | 20 | 10 | 6 | 25 | 61 | 92 | 件 |
| | 展示会への出展 | | 国内 | 0 | 6 | 9 | 18 | 10 | 7 | 11 | 12 | 12 | 15 | 35 | 35 | 85 | 件 |
| | | | 外国 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 件 |
| ⑦ 掲載・放映 | 雑誌掲載（WEB含む） | | | 直接入力 | 直接入力 | 19 | 28 | 23 | 22 | 33 | 7 | 46 | 19 | 73 | 86 | 178 | 件 |
| | 新聞掲載（WEB含む） | | | 直接入力 | 直接入力 | 114 | 93 | 211 | 249 | 110 | 105 | 102 | 114 | 553 | 317 | 984 | 件 |
| | テレビ放映 | | | 直接入力 | 直接入力 | 14 | 21 | 23 | 40 | 31 | 25 | 41 | 14 | 84 | 97 | 195 | 件 |
| ⑪ 論文 | 原著論文（発行済み） | | | 7 | 52 | 130 | 120 | 54 | 73 | 98 | 122 | 95 | 189 | 247 | 315 | 751 | 件 |
| | その他著作物（総説、書籍など） | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 13 | 35 | 30 | 26 | 0 | 14 | 91 | 105 | 件 |
| ⑫ 発表 | 口頭発表 | | | 2 | 38 | 125 | 120 | 57 | 57 | 80 | 60 | 80 | 165 | 234 | 220 | 619 | 件 |
| | ポスター発表 | | | 8 | 29 | 53 | 31 | 37 | 51 | 85 | 45 | 20 | 90 | 119 | 150 | 359 | 件 |
| | 招待講演 | | | 1 | 10 | 1 | 7 | 1 | 22 | 54 | 45 | 51 | 12 | 30 | 150 | 192 | 件 |
| | その他 | | | 1 | 2 | 3 | 29 | 32 | 66 | 67 | 67 | 41 | 6 | 127 | 175 | 308 | 件 |
| ⑬ 受賞 | | | | 0 | 0 | 1 | 6 | 6 | 8 | 6 | 13 | 3 | 1 | 20 | 22 | 43 | 件 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やかカ」創造拠点』（中核：弘前大学）

**① プロトタイプ**

| No | 成果名称 | 発表等時期 | 担当機関（企業・大学等） | 概要 | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アンテナ評価版　2台1式 | | 株式会社アールエフネットワーク | アンテナ評価版　2台1式（2台：チップアンテナとホイップアンテナ4方向版）を開発した。 | | H27 |
| 2 | NiCoRi（にこり） | | 公立はこだて未来大学 | プロジェクト学習（システム情報科学実習）において，高齢者とその家族の認知症対策を支援するアプリ「NiCoRi（にこり）」を開発した | | H27 |
| 3 | 認知症ぽけっと | | 公立はこだて未来大学 | プロジェクト学習（システム情報科学実習）において，会話疑似体験による認知症介護者の不安低減アプリ「認知症ぽけっと」を開発した | | H27 |
| 4 | | | 株式会社テクノスルガラボ | 腸内細菌叢解析結果に基づき，“腸年齢”結果を被験者に返す「健康リスク検査サービス」を開発した。 | | H27 |
| 5 | | | 東北化学薬品株式会社 | ゲノムワイド関連解析(GWAS)を容易に行えるソフトのプロトタイプを開発した。 | | H27 |
| 6 | | | 株式会社テクノスルガラボ | 腸内細菌叢解析結果に基づき，“腸年齢”結果を被験者に返す「健康リスク検査サービス」を開発した。 | | H28 |
| 7 | | | 東北化学薬品株式会社 | ゲノムワイド関連解析(GWAS)を容易に行えるソフトのプロトタイプを開発し、平成29年度から無料ダウンロードを開始し、ソフトの改良を行う。 | | H28 |
| 8 | 無線ネットワークを使用した見守りセンサの作製 | | アールエフネットワーク（株） | 「無線ネットワークを使用した見守りセンサの作製」として、アレイセンサとの組合せを考慮し赤外線センサやドップラセンサを使用した見守り装置の試作を作製した。公益財団法人静岡県産業振興財団「平成２８年度　新成長産業研究開発助成事業」での助成事業によるもの。 | | H28 |
| 9 | 歩行解析システムの開発 | 2016/12/ | 住友電気工業／ベネッセスタイルケア | 歩行解析システムの開発 | | H28 |
| 10 | 「ロボと学ぶ声かけ一しょん」 | | 公立はこだて未来大学 | Pepperで認知症患者とのコミュニケーションを学ぶ声かけ訓練システムの開発<br>公立はこだて未来大学　プロジェクト学習　フィールド指向プロジェクト medicalifeグループ（三好良弥，大西将也，小島佳奈，古山ほの香，向井壱馬，指導教員 南部美砂子）<br>デモ発表：HAKODATEアカデミックリンク2016（主催：キャンパス・コンソーシアム函館），2016年11月12日，函館市青年センター．（http://www.cc-hakodate.jp/cch_info/4012）<br>ロボットコンテスト応募：Pepper App Challenge 2017（主催：ソフトバンクグループ），2017年1月5日．（http://www.softbank.jp/robot/special/app-challenge-2017/）<br>デモ発表：プロジェクト学習成果発表会&企業交流会in東京，2017年2月1日，秋葉原UDX2階 アキバ・スクエア．（https://www.fun.ac.jp/event20161227/） | | H28 |
| 11 | ファミリー・ヘルス・ラボ | 不明 | 株式会社ベネッセコーポレーション | 家庭と学校をつなぐ健康教育プログラムとして、WEBを活用した「ファミリー・ヘルス・ラボ」（http://coi.hirosaki-u.ac.jp/benesse-familyhealthlab/）を開発した。 | | H28 |
| 12 | 啓発型（新型）健診 | | 国立大学法人弘前大学 | 健康診断と健康啓発を同日に短時間で行う「啓発型（新型）健診」を開発した。 | | H28 |
| 13 | 新健康チェック・啓発プログラム(新型健診)の開発 | 2018/2/18 | 弘前大学、他 | 単なる病気の判定ではなく、<br>その後の行動変容につながる“健康教育・啓発”に力点を置いた健診プログラム | ②<br>http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/news_detail.html?no=754 | H29 |
| 14 | 啓発型健診（歯科口腔特化） | 2018/7/5 | 弘前大学、ライオン | 歯科口腔に特化した啓発型健診 | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=269 | H30 |
| 15 | ジェノタイプ出力ツール | | 東北化学薬品㈱ | ジャポニカアレイデータから容易にジェノタイプを抽出するツール | ①-b | H30 |
| 16 | 野菜摂取の過不足を非侵襲でチェックする仕組みの岩木PJT健診への試験導入 | 2018/5/26 | カゴメ(株) | 岩木PJT健診にて測定を実施し、その場で野菜の過不足について参加者にフィードバック | ②-e | H30 |
| 17 | ドップラーセンサ | | アールエフネットワーク（株） | | ③ | H30 |
| 18 | QOL健診 | 2019/12/1 | ﾏﾙﾏﾝｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｰﾋﾞｽ | QOL健診のデータ入力および健診結果票の検証および改良 | ①-a、②-a | R1 |
| 19 | 補正下着の開発。 | 2019/5/11 | 弘前大学<br>アツギ株式会社 | アツギ株式会社にて開発中の製品を、<br>弘前市の介入試験にて補正下着の効果を検証 | ②-I：体形補正下着着用による健康管理能力の影響検証<br>http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/news_detail.ht | R1 |
| 20 | プロトタイプアプリ | 2020/3/2 | 株式会社エルブズ | 議論を進める上で、参考となるアプリを開発した | | R1 |
| 21 | QOL健診 | 2021/3/1 | マルマンコンピュータサービス（株） | データプラットフォーム構築による標準化 | | R2 |
| 22 | 補正下着の開発 | 2020/9/6- | 弘前大学<br>アツギ（株） | アツギ株式会社にて研究中の製品を<br>むつ市の介入試験にて補正下着の効果を検証 | | R2 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 23 | 健やかショッピングサポート | 2020/10/6- | シルタス(株)、弘前大学COI、コープ共済連、コープあおもり、青森県民生協 | 買いものデータを基に購入者の栄養状態を分析する「SIRU＋」と、店頭で定期的に行う健康測定の結果を連動させて、生活者の健康リテラシーの向上と食生活の改善を図る効果を検証 | https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000031233.html | R2 |
| 24 | 高齢者向けお絵かきゲームアプリ「らくらくイラストーク」 | 2020/12/4 | 公立はこだて未来大学 | コロナ禍で外出が制限されるなか、高齢者のコミュニケーションを支援するための、ビデオ通話とお絵かき機能が一体となったアプリ | | R2 |
| 25 | ささえAIプロジェクト | 2020/8/1 | (株)エルブズ | SDGs官民連携プラットフォーム分科会を立ち上げ、プロトタイプ構築を行なった | | R2 |
| 26 | デジタル連携研究テーマ「トップサージャンとの比較からフィードバックが得られるVR手術トレーニングシステム | 2020/10/29 | 弘前大学 | 筋活動測定、可視化と見本映像の可視化をし、その教師データを見ながら吻合が行えるトレーニング装置 | R1WD11-1<br>R1WD11-2 | R2 |
| 27 | 産総研歩行属性判定システム | 2019/11/12 | 産業技術総合研究所 | 産総研歩行属性判定システムは、日常生活中の歩行データを解析して属性(型)を判定し、リアルタイムにマップ上に表示します。 | | R3 |
| 28 | コープ共済「健康づくりサポーター養成講座」開発 | 2021/11/1 | (株)ベネッセコーポレーション | コープ共済に加盟する会員向けに「健康づくりサポーター養成講座」のカリキュラム、テキスト・WEB講座、認定テスト等を開発。10月から講座開講予定。 | | R3 |
| 29 | 明治安田生命「営業職員による効果的な健康介入方法の開発」 | 2021/11/1 | (株)ベネッセコーポレーション | 明治安田生命の営業職員が顧客に提供する健康教育ツールの開発 | | R3 |
| 30 | 補正下着の開発 | 2020/9/6- | 弘前大学<br>アツギ株式会社 | アツギ株式会社にて研究中の製品を<br>むつ市の介入試験にて補正下着の効果を検証 | | R3 |
| 31 | 意思決定支援アプリ | 未発表 | 京都府立医科大学 | 金融取引場面における判断能力を客観的に評価するためのアプリ(プロトタイプ版)を開発した。 | | R3 |

**COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧**

拠点名： V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**② 実用化**

| No | 成果名称 | 発表等時期 | 担当企業等 | 概要 | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 「健康物語」（Light） | | マルマンコンピュータサービス株式会社 | 平成27年8月から健康啓発・管理ソフトウェア「健康物語」（Light）を5企業で試行中である。 | | H27 |
| 2 | | | 花王株式会社 | おいしく食べても内臓脂肪をためにくい食事「スマート和食®」の啓発と具体的なメニュー事例として「スマート和食®弁当」（㈱栄研製造）の職場給食を開始した。 | | H27 |
| 3 | | | イオンリテール株式会社 | 生活習慣病の予防のために継続的な運動「モールウォーキング」を継続する仕組み「健康ポイントプログラム」の効果を検証した。 | | H27 |
| 4 | | | マルマンコンピュータサービス株式会社 | 健康啓発・管理ソフトウェア「健康物語」（Light）を5企業で試行中である。 | | H28 |
| 5 | | | 花王株式会社 | おいしく食べても内臓脂肪をためにくい食事「スマート和食®」の啓発と具体的なメニュー事例として「スマート和食®弁当」（㈱栄研製造）を開発した。 | | H28 |
| 6 | | | イオンリテール株式会社 | 生活習慣病の予防のために継続的な運動「モールウォーキング」を継続する仕組み「健康ポイントプログラム」の効果を検証した。 | | H28 |
| 7 | 歩行モニタリングシステム「Q'z TAG ™ walk」を販売開始 | 2017/6/30 | 住友電気工業株式会社 | ベネッセスタイルケアでの実証成果を基に、歩行センサーを開発し上市した | http://www.sei.co.jp/company/press/2017/06/prs064.html | H29 |
| 8 | 内臓脂肪を指標とした生活習慣改善ソリューション | 2017/4～7 | 花王 | 内臓脂肪測定＋スマート和食®弁当の成功モデルの水平展開と検証 | | H29 |
| 9 | 健康教育プログラム | | ライオン・ベネッセコーポレーション | 生活習慣病予防のための健康教育コンテンツ・口腔保健コンテンツ「歯と口の健康」） | ② http://coi.hirosaki-u.ac.jp/benesse-familyhealthlab/ | H29 |
| 10 | モールウオーキング | | イオンリテール | モールウォーク＋科学的解析＋消費行動分析：健康コミュニティへ | | H29 |
| 11 | 健康物語の機能拡充開発・実証 | | マルマンコンピューターサービス・花王 | 花王のNAiBOと連携 | | H29 |
| 12 | もち麦入り ほたて昆布ひじき | 2018/3/20 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 13 | マンナン米入り にんじん子和え | 2018/4/24 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 14 | もち麦入り きんぴら | 2018/5/29 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 15 | 押し麦入り さばみそ | 2018/6/26 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 16 | もち麦入り トマトガーリック | 2018/7/31 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 17 | 十六穀入り 源たれ豚そぼろ | 2018/8/28 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 18 | 生姜仕立ての けの汁 | 2018/10/30 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | スープ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1350310_2504.html | H30 |
| 19 | もち麦入りほたて昆布ひじき | 2018/10/30 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 20 | マンナンもち麦入り きんぴらおにぎり | 2018/11/20 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | おにぎり | ②-k ②-m | H30 |
| 21 | とろ～りチーズの 野菜オーブン焼き | 2018/12/11 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | 惣菜 | ②-k ②-m | H30 |
| 22 | ごま香る けの汁 | 2019/1/15 | (株)ローソン (株)ファミリークッキングスクール | スープ | ②-k ②-m | H30 |
| 23 | Dr.中路の健康道場 | 2018/11/23-2019/2/9 | ㈱ベネッセコーポレーション | 産官学民共同で開催する一般市民を対象とした「健康力増進プログラム」の開発～実証 | ②-h | H30 |
| 24 | 健康物語 | 2018/10/1 | ﾏﾙﾏﾝｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｰﾋﾞｽ | 唾液検査（ライオン）連携 | ②-a | H30 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | イオン健康ポイントin下田<br>（モールウォーキング） | 2018/10/26 | イオンリテール㈱ | | ②-d | H30 |
| 26 | イオン健康ポイントinつがる柏<br>（モールウォーキング） | 2018/10/20 | イオンリテール㈱ | | ②-d | H30 |
| 27 | 健康物語 | 2019/5/1 | ﾏﾙﾏﾝｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｰﾋﾞｽ | 皮膚カロテノイド測定連携（カゴメ） | ②-a | R1 |
| 28 | ジャポニカアレイデータを用いた、ジェノタイプ出力ツール | 2020年3月 | 東北化学薬品㈱ | ジャポニカアレイデータより、ジェノタイピング結果を簡易に出力するツールを開発した。 | ①-b | R1 |
| 29 | イオン健康ポイントin下田<br>（モールウォーキング） | 2019/10/8 | イオンリテール㈱ | <br>ウォーキングレッスン<br> <br>モールウォーキング<br> <br>タッチスタンド<br> <br>測定会<br> <br>商品提案 | ②-b | R1 |
| 30 | 預金口座見守りアプリの実証実験 | 2019/12/1 | 株式会社マネーフォワード | 京都信用金庫の高齢口座保有者における見守りアラートシステムを20名弱を対象に提供、反応等を計測した | | R1 |
| 31 | QOL健診用アプリ | 2020/9/1 | マルマンコンピュータサービス(株) | QOL健診システム改良 | | R2 |
| 32 | 健やかショッピングサポート（SSS） | 2020/2/28 | マルマンコンピュータサービス(株) | システム構築 | | R2 |
| 33 | イオン健康生活応援セール | 2021/3/26-3/28 | イオン東北㈱ | COI参画企業様とイオン下田店にて健康生活応援セール実施予定 | | R2 |
| 34 | 書籍『健康の教科書』<br> <br> | 2010/8/31 | （株）ベネッセコーポレーション | ※日本の健康課題の解決に取り組む弘前大学COI監修<br>日本初の一般向けヘルスリテラシー向上のためのテキスト<br>※青森県の小中学校や地域住民の方向け「健康教育」<br>実証実験の結果を集大成<br>※弘前大学COIに参画中の花王、カゴメ、ライオン等の企業の<br>協力を得て、生活の中で役立つ知恵が満載<br>※健康課題が多く、生活習慣病予防のメイン対象：30～50代に向けて<br>知識獲得～行動変容をうながす！ | https://blog.benesse.ne.jp/bh/ja/news/20200924release.pdf<br><br>https://www.benesse.co.jp/brand/category/contribution/20201030_1/ | R2 |
| 35 | QOL健診用システム | 2021/4/1 | マルマンコンピュータサービス | データプラットフォームの運用を開始 | | R3 |
| 36 | 健やかショッピングサポート（SSS） | 2021/4/1 | マルマンコンピュータサービス | システム改良 | | R3 |
| 37 | イオン健康生活応援セール | 2021年12月10日～12月13日 | イオン東北㈱ | COI参画企業様とイオン下田店にて健康生活応援セール実施予定 | | R3 |
| 38 | イオン㈱はコロナ感染症下で健康測定会、試食ができず、モールウォーキングのみ実施。 | 2021/12/10～12/13 | イオン東北㈱ | COI参画企業様とイオン下田店にて健康生活応援セール実施 | | R3 |

COIプ

拠点名： V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

③ 事

| No | 製品・サービス等の名称 | 発売等時期 | 担当企業等 | 概要 | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | マルマンコンピュータサービス株式会社 | 平成28年3月から健康啓発・管理ソフトウェア「健康物語」（Light）を3企業に販売した。 | | H27 |
| 2 | | | 株式会社栄研 | 平成28年4月から減塩並びに内臓脂肪の減少に配慮した『「栄研版　健康な食事」』「まめしい弁当」の販売開始を決定した。 | | H27 |
| 3 | | | マルマンコンピュータサービス株式会社 | 平成28年3月から、ICT (Information and Communication Technology)による健康増進および健康教養スキルアップを可能とするiPhoneアプリ「健康物語」（Light）を3企業に販売し、平成29年2月27日にApp Storeに公開した。 | | H28 |
| 4 | | | 株式会社栄研 | 平成28年6月から減塩並びに内臓脂肪の減少に配慮した『「栄研版　健康な食事」』「まめしい弁当」の販売開始を開始した。 | | H28 |
| 5 | CareBird | | 三昌商事株式会社 | 終末期に特化した容態の急変通知サービス“CareBird”の提供を開始した。展示イベント“第2回国際介護ロボット博（厚木）”“第6回介護甲子園（大阪）”“介護ロボットフォーラム2016（東京）”<br>H28年度は関東地区を中心とした動作検証を実施。H29年度より拠点エリアでの検証を本格化していく予定である。 | | H28 |
| 6 | 歩行モニタリングシステム「Q'z TAG™ walk」 | 2017/6/30 | 住友電気工業株式会社 | 6/30に販売を開始した歩行センサーのWEBコンテンツを充実させ、拡販を進めている | http://www.sei.co.jp/qztag/<br>③ | H29 |
| 7 | だし活キッチンおにぎり | 2018/3/20 | ローソン | 青森県産食材を取り入れ、「できるだし」使用、もしくは雑穀を使用した減塩おにぎり、 | ②<br>http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=235 | H29 |
| 8 | 腸内フローラ解析サービス | | テクノスルガ・ラボ | 腸内細菌叢解析とその結果を用いた腸年齢推定 | ①<br>2018/4/1から開始 | H29 |
| 9 | 嗅覚識別テスト「UPSIT series」 | 2017/4/3 | エーザイ | 加齢にともない認知機能に先立って嗅覚識別能力が低下 | ①<br>https://www.eisai.co.jp/news/pdf/news201714pdf.pdf | H29 |
| 10 | 個人向け腸内フローラ解析サービス「腸環チェック」 | 2018/9/14 | 北海道システムサイエンス、テクノスルガ・ラボ | 腸内の環境を知るために利用者の提供する便から腸内フローラを解析し、腸内フローラのタイプや“腸年齢®”などの様々な項目を利用者に提示するサービス。 | ライセンス対象<br>https://karadascore.jp/ | H30 |
| 11 | 意思決定支援セミナー | 2018/10/2 | 京都府立医科大学他 | 専門職向け研修事業を開始。異なる対象者向けに4回実施。<br>①金融機関（北部）<br>②医療福祉関係者<br>③金融機関（南部）<br>④成年後見関係者 | https://www.dmsoj.com/ivent | H30 |
| 12 | まめしい弁当 | 2016/6/1 | ㈱栄研 | 高血圧予防、及び健康な食生活の基準となりうる弁当<br>（販売継続中） | ②-c<br>http://www.eiken-kenko.com/mamecy/ | H30 |
| 13 | 健康物語 | 2018/10/1 | ﾏﾙﾏﾝｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｰﾋﾞｽ | 自治体向けの保健指導機能を追加 | ②-a | H30 |
| 14 | 健康物語 | 2019/4/1 | ﾏﾙﾏﾝｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｰﾋﾞｽ | 自治体向け保健指導の改良版 | ①-a、②-a | R1 |
| 15 | ジェノタイピング解析 | 2020年1月 | 東北化学薬品㈱ | ジャポニカアレイデータからジェノタイピングデータを抽出し、頻度情報を当拠点の参画企業に提供した。 | ①-b | R1 |
| 16 | GWAS解析 | 2020年1月 | 東北化学薬品㈱ | ジャポニカアレイデータを用いてGWAS解析を行い、当拠点の参画企業に解析結果を提供した。 | ①-b | R1 |
| 17 | まめしい弁当　宅配等 | 2016/6/1 | 株式会社栄研 | 栄研版　健康な食事普及事業の一環として企業従業員をメインターゲットに”まめしい弁当”の宅配事業等を実施。特徴としてエネルギー・塩分に目標値を設け、食物繊維摂取も課題としたお弁当である。しかしながら、折からの人手不足により、2019年12月31日付にて一旦休止。 | ②-c | R1 |
| 18 | 「ベジチェック™」 | 2019/6/25 | カゴメ(株) | ドイツ企業と共同で開発した、皮膚のカロテノイドを非侵襲で測定する装置（2018年から岩木健診にも導入）から野菜摂取量を推定する仕組みを作成し、レンタル・リース事業を開始 | https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2019/img/190625_0700902.pdf | R1 |
| 19 | チーズで食べるもち麦入りビーンズサラダサンド | 2019/6/25 | 株）ローソン | もち麦を使用しているサンドイッチです。左右2層が違う味わいの仕立てになっており、右側層は5種類の豆（えんどう、ガルバンソー、レンズ豆、黒大豆、あずき）と5種の穀物（押麦、もち玄麦、玄米、赤米、たかきび）にオニオン、豚バラの挽肉を使用し、スパイシーに仕上げています。 | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1376086_2504.html | R1 |
| 20 | かねさ減塩味噌仕立ての焼おにぎり | 2019/6/25 | 株）ローソン | 青森県の味噌メーカー かねさ株式会社 の「かねさ糀つぶみそ 減塩」を使用した味噌焼おにぎりです。現在発売中の「かねさ味噌の焼おにぎり」と比べて25%減塩しました。隠し味にりんごの醤油を使用し、塩糀とみりんで味を整えることで大豆のコクと糀の甘さを存分にお楽しみいただけます。 | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1376086_2504.html | R1 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | もち麦入りおにぎり昆布ほたてひじき | 2019/9/17 | 株）ローソン | 青森県産の「りんごのお醤油」と青森県産の調味料「できるだし」などで炊き込んだもち麦入りご飯に、青森県産ベビーホタテの刻み・若生昆布、ひじきを混ぜあわせました。香ばしい風味の「ごま」がアクセントになっています。1食当たりの食物繊維量は3.0g　1食あたりの塩分　0.8g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1387488_2504.html | R1 |
| 22 | 食べるスープ！トマトとチーズ | 2019/9/17 | 株）ローソン | トマトをベースとしたスープに、もち麦、玉ねぎ、キャベツ、ごぼう、人参、赤いんげん、枝豆、ベーコンと、3種のチーズ（パルメザン・チェダー・モザレラ）を組み合わせた、食べごたえのあるスープです。スープには青森県産の調味料「できるだし」を使用しています。1食当たりの食物繊維量は5.8g　1食あたりの塩分　1.5g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1387488_2504.html | R1 |
| 23 | 四角い豆ぱん | 2019/9/17 | 株）ローソン | 青森県産「青天の霹靂」の米粉、もち大麦を使用したパン生地に3種の豆（うぐいす豆・小豆・金時豆）を練り込み、四角い形状で焼き上げました。1食当たりの食物繊維量は9.8g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1387488_2504.html | R1 |
| 24 | きんぴらごぼうパン | 2019/9/17 | 株）ローソン | 青森県産「青天の霹靂」の米粉、もち大麦、こんにゃくパウダーを配合した生地で、きんぴらごぼうを包みました。隠し味にマヨネーズと唐辛子・胡麻油を入れました。1食当たりの食物繊維量は5.0g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1387488_2504.html | R1 |
| 25 | スープカレー（もち麦と雑穀ご飯） | 2019/11/26 | 株）ローソン | 青森県産の人参、キャベツ、牛蒡をトッピングしたスープカレーは、青森県おすすめの調味料「りんごのお醤油」「できるだし」を使い、スパイシーな味わいに仕上げており、もち麦と雑穀をあわせたご飯でいただきます。食物繊維量：10.3ｇ　塩分相当量：1.5g<ともに1食あたり> | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1388442_2504.html | R1 |
| 26 | 青森産帆立のクリームシチュー | 2019/11/26 | 株）ローソン | 鶏肉、人参、ブロッコリー、キャベツ、玉ねぎ、コーンの他に青森県産の「ほたて」「ごぼう」を盛り付け、味付けに青森県おすすめの調味料「できるだし」を使ったクリームシチューは、いろいろな味わいがたのしめる一品です。食物繊維量：3.7g　塩分相当量：1.3g〈ともに1食あたり〉 | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1388442_2504.html | R1 |
| 27 | 手巻きもち大麦くるみパン | 2019/11/26 | 株）ローソン | もち大麦を使用した生地に、ライ麦とくるみを練り込み一つ一つ丁寧に手で巻いて焼き上げた食卓ロールです。食物繊維量：4.7g〈1食あたり〉 | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1388442_2504.html | R1 |
| 28 | もち麦入りきざみほたてとひじき | 2020/2/25 | 株）ローソン | 青森県産ベビーほたてのきざみと「できるだし」を使用しました。もち麦の浸漬時間を長くし、食べたときの口当たりを柔らかくしました。（浸漬時間：炊飯前にお米を水に浸しておく時間）食物繊維量：2.2g〈1食あたり〉 | ②-k | R1 |
| 29 | 具沢山トマトスープ（けの汁風） | 2020/2/25 | 株）ローソン | 青森県産の「ごぼう」「できるだし」を使用。具材は「ごぼう」「人参」「大根」「こんにゃく」「椎茸」「油揚げ」「えだ豆」「もち麦」と具だくさんに揃えました。１食当たりの食物繊維量5g | ②-k | R1 |
| 30 | 認知症の人の意思決定支援研修 | 2019/7/19 | 京都府立医科大学 | 京都府より委託を受け「、認知症の人の意思決定支援研修」と題し、高齢者支援に関する研修を計4回運営した。 | https://www.dmsoj.com/ivent | R1 |
| 31 | 「チーズクリームとりんごの大麦ブレッド」 | 2020/3/31 | 株）ローソン | 小麦に、大麦と刻んだ青森県産のりんごを加えたリング状の大麦パンに、チーズクリームをサンドしました。甘味のあるりんごと塩味のあるチーズクリームの味のバランスが楽しめます。<br>食物繊維：12g〈1食あたり〉<br> | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1391832_2504.html | R1 |
| 32 | ジャポニカアレイデータを用いた、ジェノタイプ出力ツール | 2020/7 | 東北化学薬品㈱ | ジャポニカアレイデータより、ジェノタイピング結果を簡易に出力するGUIツールを開発した。<br> <br> | 1-b-1 | R2 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | CSR活動（ﾊﾟﾝﾃｨｽﾄｯｷﾝｸﾞの中台紙を媒体とした情報発信）人生100年時代を健康美人で過ごすための健康 | 2020/8/20 | アツギ(株) | 健康寿命延伸を目的とした健康に関する情報をﾊﾟﾝﾃｨｽﾄｯｷﾝｸﾞの包装材である中台紙に印刷し、情報発信を実施。健康情報に関しては弘前大学中路教授監修。全12種類 | プレスリリースURL：https://www.atsugi.co.jp/news/pdf/92e966a19195c31a440426bb63a78ce179138b64.pdf | R2 |
| 34 | 気づきをもたらし自主的な健康管理に役立つ補正下着「歩く for walk」発売 | 2020/9/21 | アツギ(株) | 弘前大学でアツギが健康寿命延伸に向けて研究を行っているハイウエストボトムを発売。<br>ハイウエストボトム3分丈女性用　本体¥3,000+税　サイズ70/76/82<br>ハイウエストボトム3分丈男性用　本体¥3,200+税　サイズM/L/LL<br>サイトURL：https://www.atsugi.co.jp/qol/ | プレスリリースURL：https://www.atsugi.co.jp/news/pdf/1d95b1dc53ca7ec145c8f1907386c6d06b44c6e1.pdf | R2 |
| 35 | アツギの健康に関する情報発信サイトのオープン | 2020/9/30 | アツギ(株) | 健康に対する取り組みの一環として、健康でイキイキしている人「健康美人」をテーマに、「歩く（運動）」「眠る」「食べる」の3つのコンテンツを紹介。「歩く（運動）」では、弘前大学COIとアツギが健康寿命延伸に向け、産学共同で実施している研究内容について説明。 | プレスリリース：https://www.atsugi.co.jp/news/pdf/14cb2436c3c4757639f0d1b2508eb0545080e3c4.pdf | R2 |
| 36 | ソフトバンクロボティクススクールテンプレート「人生100年時代を生きる　―認知症を考えようー」 | 2020/12/10 | ソフトバンクロボティクス(株) | ソフトバンクロボティクスのロボット・プログラミングツール「Robo Blocks」を使い、Pepperを通して、子どもに対する認知症啓発の促進と認知症サポーターの活動の場の拡大、未来に向けたポジティブ体験として認知症を捉えるきっかけとなる授業を制作することを目的に、志學館大学監修の元、ソフトバンクロボティクスが開発した。 | https://www.softbankrobotics.com/jp/news/info/20201210a/ | R2 |
| 37 | 銀行ジェロントロジスト認定試験 | 2021/1/12 | 金融財政事情研究会、DMSOJ | 金融業界における、超高齢社会問題対応としての、現場職員の具体的顧客対応力、知識を証明する試験として創設。COLTEM所属金融機関が作問を担当 | | R2 |
| 38 | スープカレーもち麦入り | 2020/6/23 | （株）ローソン | スープのだしに青森県おすすめの調味料「りんごのお醤油」「できるだし」を使用しました。ごぼう、人参、じゃがいも、かぼちゃ、ブロッコリー、キャベツ、玉葱、鶏肉、コーン、もち麦が入った具沢山の中辛ロスープカレーです。1食当たりの食物繊維量：4.2g、1食当たりの食塩相当量：2.12g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1400818_2504.html | R2 |
| 39 | もち麦入り鶏五目おにぎり | 2020/6/23 | （株）ローソン | もち麦（約30%）を配合したご飯に、鶏肉・ごぼう・人参・椎茸・筍などを入れて、砂糖・醤油などの調味料・鶏肉・野菜などのエキスなどで炊きこんだ鶏五目おにぎりです。従来品の「鶏五目おにぎり」に比べ、醤油などの調味料の量を抑え、ごぼうや人参などの野菜のエキスなどの味を加えることで約25%の減塩をしました。1食当たりの食物繊維量：2.6g、1食当たりの食塩相当量：1.04 g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1400818_2504.html | R2 |
| 40 | 全粒粉イギリストースト（玄米ホイップ） | 2020/6/23 | （株）ローソン | ローマミールの全粒粉を使い、玄米ホイップをトッピングする。パッケージにはローマミールのロゴを使用し、穀物類のイメージを引き立たせるよう濃色を意識したという。カロリーは357キロ、食物繊維は3.5グラム。 | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2020/06/post-4866/ | R2 |
| 41 | 食べるスープ！肉団子の中華スープ | 2020/9/29 | （株）ローソン | 青森県おすすめの調味料「できるだし」を使用した中華スープに、青森県産の牛蒡、人参に、もち麦、白菜、玉葱、切干大根、木耳、ぶなしめじなどの食物繊維を多く含む食材と豚と鶏の合挽肉を使用した肉団子などを入れました。（青森県横浜町食生活改善推進員協議会提供レシピを使用）1食当たりの食物繊維量：5.0g、1食当たりの食塩相当量：2.56 g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1407196_2504.html | R2 |
| 42 | もち麦入り枝豆と塩昆布おにぎり | 2020/9/29 | （株）ローソン | 青森県おすすめの調味料「できるだし」（上北農産社）と「減塩醤油」（ワダカン社）で、もち麦、枝豆、胡麻、塩昆布を炊き込み、食感と旨みをたのしめるおにぎりにしました。1食当たりの食物繊維量：2.4g、1食当たりの食塩相当量：0.97 g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1407196_2504.html | R2 |
| 43 | 皮まで美味しいシュークリーム（オリゴ糖入りホイップクリーム使用） | 2020/9/29 | （株）ローソン | マカロン皮を乗せたシュー生地に、青森県産牛乳とオリゴ糖を使用したホイップクリームを入れました。 | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1407196_2504.html | R2 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 44 | バター風味醤油仕立て　青森県産帆立おにぎり | 2020/12/8 | （株）ローソン | 青森県産１年物の帆立を青森県の調味料メーカー「ワダカン」減塩こんぶのおしょうゆにバター風味を加えて味付けし、こんぶ醤油バター風味に炊込んだご飯と合わせた、昆布の旨みが引き立たったおにぎりです。1食当たりの食塩相当量：0.88ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/activity/topics/detail_jin/1423483_9112.html | R2 |
| 45 | 青森県産帆立の和風クリームシチュー | 2020/12/8 | （株）ローソン | 青森県産１年物の「帆立」、食物繊維豊富なもち麦やごぼう、ブロッコリー、人参、玉ねぎ、コーン等と青森県の調味料メーカー 上北農産加工の「できるだし」を使用した和風タイプのクリームシチューです。1食当たりの食物繊維量：4.6ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1422688_2504.html | R2 |
| 46 | 鶏とごぼう天の大麦そば | 2020/12/8 | （株）ローソン | 青森の調味料メーカー「ワダカン」の八方汁と特級減塩しょうゆ、かつおだし使ったほんのり甘味のあるつゆを、そば粉の他に大麦粉を30%配合した手打ち式製法の大麦そばに合わせ、鶏肉、ごぼう天、ネギを盛付けました。1食当たりの食物繊維量：4.8ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1422688_2504.html | R2 |
| 47 | 皮まで美味しいシュークリーム いちご（オリゴ糖入りホイップクリーム使用） | 2021/3/16 | （株）ローソン | いちご風味のマカロン皮を乗せたシュー生地に青森県産牛乳とオリゴ糖を使用したいちごホイップクリームを注入したシュークリームです。 | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1426714_2504.html | R2 |
| 48 | アーモンドが入ったオムライスおにぎり（もち麦入り） | 2021/3/16 | （株）ローソン | 青森の調味料メーカー「ワダカン」の減塩こんぶのおしょうゆと「上北農産加工」のできるだしを使用したもち麦入りケチャップライスに、人参、牛蒡、大豆ミート、アーモンドなどを加え、玉子焼きシートで包んだオムライス風のおにぎりです。<br>1食当たりの食物繊維量：0.8ｇ、1食当たりの食塩相当量：1.03ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1426714_2504.html | R2 |
| 49 | 食べるスープ！肉団子春キャベツのコンソメスープ | 2021/3/16 | （株）ローソン | 青森県産のごぼうやもち麦、キャベツ、玉葱、人参、ブロッコリー、ぶなしめじなど、食物繊維を多く含む食材に、青森の調味料メーカー「上北農産加工」のできるだしを合わせた、具だくさんのスープです。1食当たりの食物繊維量：5.0ｇ、1食当たりの食塩相当量：2.53ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1426714_2504.html | R2 |
| 50 | 健康物語 | 2021/10/1 | マルマンコンピュータサービス | 自治体向けパッケージにレセプトデータ連携を実装 | | R3 |
| 51 | 腸内フローラチェックプレミアム | 2021/4/5 | (株)テクノスルガ・ラボ、ミルテル(株) | クリニックを介した腸内細菌叢解析サービス | 1-b-2<br>https://www.mirtel.co.jp/service/flora/ | R3 |
| 52 | ホコタッチサービス | 2019/12/1 | 花王（株） | QOL健診実施先（青森銀行やみちのく銀行など）でのホコタッチサービス提供。2021/9現在で675名利用。 | | R3 |
| 53 | もち麦入り昆布と帆立のおにぎり | 2021/6/8 | （株）ローソン | 青森県産の昆布と帆立（ほぐし身）を使用し、葉大根や人参などを入れた、もち麦入りのおにぎりです。青森県の調味料メーカー〈ワダカン〉の「減塩醤油」と青森県の調味料メーカー〈上北農産加工〉の「できるだし」を使用し食塩相当量を配慮した仕立てにしています。<br>・1食当たりの食物繊維量：1.9ｇ　・1食当たりの食塩相当量：0.87ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1431378_2504.html | R3 |
| 54 | チキンとスパイシー ビーンズサンド | 2021/6/8 | （株）ローソン | 全粒粉パンで、さっぱりとしたチキンや3種の豆（ひよこ豆・青えんどう豆・赤いんげん豆）、トマトなどをサンドした食べ応えのあるサンドイッチです。青森県産りんごを使用した青森県の調味料メーカー〈ワダカン〉の「りんごのおしょうゆ」で玉ねぎを炒めて味にアクセントをつけました。<br>・1食当たりの食物繊維量：5.4ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1431378_2504.html | R3 |
| 55 | 根菜シャキシャキ！冷し大麦そば | 2021/6/8 | （株）ローソン | 本品専用に開発した大麦粉を30%配合した大麦そばに、青森県の調味料メーカー〈ワダカン〉の醤油を使用した、旨味とコク、鰹だしの風味が楽しめるつゆを合わせました。牛蒡やレンコン、大豆ミートを甘辛味に仕上げた根菜煮を載せたシャキシャキ食感が楽しめる冷し麺です。<br>お好みで別添のラー油かけることで、味の変化が楽しめます。<br>・1食当たりの食物繊維量：6.0ｇ　・1食当たりの食塩相当量：3.48ｇ | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1431378_2504.html | R3 |
| 56 | もち麦入りごぼうときのこのご飯おにぎり | 2021/9/28 | （株）ローソン | 旬を迎える青森県産のごぼうと、まいたけ等のきのこを混ぜ込んだ、もち麦入りのおにぎりです。青森県の調味料メーカー〈中村醸造元〉の「昆布八方」、同じく青森県の調味料メーカー〈上北農産加工〉の「できるだし」を使用し食塩相当量を配慮した仕立てにしています。<br>・1食当たりの食物繊維量：3.9g　・1食当たりの食塩相当量：0.76g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | R3 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 57 | ごぼうとチキンのサラダサンド | 2021/9/28 | （株）ローソン | ボリューム感のある「照焼きチキンとゆで卵」、さっぱりと仕上げた「ハムとトマト」2種の味わいが楽しめるサンドイッチです。食感の楽しめる青森県産のごぼうサラダを使用。パンは全粒粉を使用しています。<br>・1食当たりの食物繊維量：2.9g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | R3 |
| 58 | ごぼうときのこのミートソースドリア | 2021/9/28 | （株）ローソン | ご飯の代わりに「もち麦」を使用し、ぷちぷち食感が楽しめるミートソースドリアです。旬を迎える青森県産のごぼうをミートソースと和え中央部にトッピングしています。ホワイトソースを使用し、彩りにぶなしめじを加え、チーズを掛け焼き上げました。<br>・1食当たりの食物繊維量：7.0 g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | R3 |
| 59 | スパイス香るカレーピラフおにぎり | 2021/12/7 | （株）ローソン | もち麦入りおにぎりのご飯をカレーピラフに仕上げました（青森県は東北で最も一人当たりのカレールー消費県です）隠し味に青森県のスタミナ源を使用しました。<br>・1食当たりの食物繊維使用量3.5g、食塩使用量0.87g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | R3 |
| 60 | 青森県産ごぼうの豆乳クリームパスタ | 2021/12/7 | （株）ローソン | 青森県産のごぼうの素揚げ、ベーコン、ブロッコリーを盛り付けた具材の食感も楽しめるパスタです。寒い時期に合わせ豆乳仕立てのクリームソースを使用、「できるだし」で旨みを強化。・1食当たりの食物繊維量：4.6g、食塩使用量2.52g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | R3 |
| 61 | だけきみぱん | 2021/12/7 | （株）ローソン | 青森山田高校の生徒さんと共同開発した商品です。体に良いとされる大麦と青森県産菊芋（血糖値の上昇を抑えるといわれるイヌリンを多く含む）を生地にし、県産だけきみを使用したクリームを使いました。　・1食当たりの食物繊維量1.5g | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：　V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**④　起業（ベンチャー企業等の設立）**

| No | 法人名称 | 設立時期 | シーズ | 概要 | 備考<br>（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 一般社団法人意思決定支援推進機構 | 2018/7/2 | 京都府立医科大学成本教授他の成果 | 意思決定能力評価法、及び意思決定支援のノウハウ | https://www.dmsoj.com/ | H30 |
| 2 | 株式会社H&E Chemistry | 2020/12/1 | 弘前大学 米山徹助教の成果 | IF7-ペプチドホウ素薬剤に関する特許の独占実施権を有し、当該薬剤の安定製造に関する活動の窓口となる会社 | R02W16 | R2 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑤-2　知的財産権（登録）　A特許｜Bその他の知的財産権**

**A　特許**

| No | 知財の名称 | 登録年月 | 出願番号 | 登録番号 | ﾊﾞｲ･ﾄﾞｰﾙ適用 | 出願人 | 国内/外国 | 備考 | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被検査者の経済活動における意思決定能力を遠隔評価する方法、プログラム及びシステム | 2017/12/8 | 特願2014-264222 | 特許第6253573号 | ○ | 学校法人志學館学園、学校法人慶應義塾大学、京都府公立大学法人、(株)IIJグローバルソリューションズ | 国内 | | H29 |
| 2 | 瞬き検出システムおよび方法 | 2018/5/18 | 特願2014－098523 | 特許番号第6338445号 | | 慶應義塾大学 | 国内 | | H30 |
| 3 | プロキシミティテスト方法、及びプロキシミティテスト装置 | 2019/4/26 | 特願2015-97850 | 特許登録第6516256号 | | 慶應義塾大学 | 国内 | | R1 |
| 4 | 生体信号検出システム、生体信号検出方法 | 2020/10/16 | 特願2016-193456 | 特許第6779518号 | ○ | 慶應義塾大学 | 国内 | | R2 |
| 5 | 情報処理装置、情報処理システム、情報処理方法及びプログラム | 2021/9/13 | 特願2016-7446 | 特許第6943365号 | ○ | 慶應義塾 | 国内 | | R3 |
| 6 | 行動検知システム、情報処理装置、プログラム | 2021/05/28 | 特願2016-1( | 特許第6890813号 | ○ | 慶應義塾大学 | 国内 | | R3 |
| 7 | 冷え保有者における冷えの原因が、腎機能低下、水分代謝異常又は副腎疲労にあることを判定する判定用マーカー、冷え保有者における冷えの原因が、腎機能低下、水分代謝異常又は副腎疲労にあることを判定する判定方法、及び冷え保有者における冷えの原因が、腎機能低下、水分代謝異常又は副腎疲労にあることを判定するための判定用キット | 2021/06/09 | 特願2020-64456 | 特許第6895148号 | ○ | クラシエホールディングス㈱・弘前大学 | 国内 | | R3 |
| 8 | 健康管理支援システム、学習装置、健康管理支援方法、及びプログラム | 2021/10/04 | 特願2020-62238 | 特許第6954568号 | ○ | クラシエホールディングス㈱・弘前大学 | 国内 | | R3 |

**B　その他の知的財産権　（実用新案権、意匠権、回路配置利用権、育成者権など）**

| No | 知財の名称 | 登録年月 | 出願番号 | 登録番号 | ﾊﾞｲ･ﾄﾞｰﾙ適用 | 出願人 | 国内/外国 | 備考 | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 弘前大学COIロゴマーク | 2019/3/22 | 商標2018-30442 | 商標第6131080号 | | 弘前大学 | 国内 | | H30 |
| 2 | 啓発型健診（標準文字商標） | 2019/8/16 | 商標2018-30488 | 商標第6171187号 | | 弘前大学 | 国内 | | R1 |
| 3 | QOL健診（標準文字商標） | 2021/3/16 | 商願2019-159170 | 商標第6363910号 | | 弘前大学 | 国内 | | R2 |
| 4 | 商標登録第41類、44類（意思決定サポートセンター） | 2020/12/22 | 商願2019-113387 | 商標第6332644号 | | 一般社団法人日本意思決定支援推進機構 | 国内 | | R2 |
| 5 | 商標登録第41類、44類（意思決定サポートセンター） | 2020/12/22 | 商願2019-113388 | 商標第6332645号 | | 一般社団法人日本意思決定支援推進機構 | 国内 | | R2 |
| 6 | 健康イノベーション年齢（標準文字商標） | 2021/6/4 | 商願2019-159172 | 商標第6397870号 | | 弘前大学 | 国内 | | R3 |
| 7 | イノベ年齢（標準文字商標） | 2021/6/4 | 商願2019-159171 | 商標第6397869号 | | 弘前大学 | 国内 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名:V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑥-1　成果の発信（プレス発表）　※イベント告知は除く**

| No | 発表<br>年月日 | 発表タイトル | 発表機関 | 主な研究者 | URL | 備考<br>（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2016/4/8 | 健康レシピコンテスト「3ダウンレシピコンテスト」開始 | 弘前大学、楽天(株) | | | | H28 |
| 2 | 2017/1/26 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ㈱　弘前大学を拠点とするCOIプログラムに参画 | 弘前大学、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) | | | | H28 |
| 3 | 2017/2/1 | 書籍「食べるダイエット」出版 | 弘前大学、楽天(株) | | | | H28 |
| 4 | 2017/3/17 | マルマンコンピュータサービスと弘前大学が、国内初となる健診とライフログを一括管理できる健康増進iOSアプリ「健康物語」公開 | 弘前大学、マルマンコンピュータサービス(株) | | | | H28 |
| 5 | 2017/4/3 | 嗅覚識別テスト「UPSIT series」を日本において新発売 | エーザイ(株) | | | | H29 |
| 6 | 2017/4/24 | 認知行動療法(4) 家での強迫症遠隔治療 | 読売新聞 | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170424-OYTET50000/ | | H29 |
| 7 | 2017/6/22 | 歩行モニタリングシステム「Q'z TAG™ walk」を販売開始 | 住友電気工業(株) | | http://www.sei.co.jp/company/press/2017/06/prs064.html | ③ | H29 |
| 8 | 2017/6/22 | ICT活用により大学知見で地域の健康を支える<br>～センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム取り組みの成果～ | 弘前大学、京都府立医科大学 | | | | H29 |
| 9 | 2017/7/2 | ウィークエンド・ケアタイム『ひだまりハウス』～うつ病・認知症について語ろう～ | ニッポン放送 | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | http://www.1242.com/program/hidamari/2017/07/ | | H29 |
| 10 | 2017/7/20 | 遠隔医療（4） 認知検査 人員不足補う | 読売新聞 | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170720-OYTET50000/?catname=iryo-renaissance | | H29 |
| 11 | 2017/7/21 | 遠隔医療（5） 質と安全保つ指針必要 | 読売新聞 | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170721-OYTET50000/?catname=iryo-renaissance | | H29 |
| 12 | 2017/8/17 | 「AI」や「遠隔」で認知症検査を“解放”する | 日経デジタルヘルス | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/feature/15/327441/080900222/?ST=health&P=1 | | H29 |
| 13 | 2017/9/11 | 弘前大学と青森県、青森県食生活改善推進員、楽天レシピ、ローソンが協働<br>ー地域・WEB・店舗で　おいしく減塩　健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」ー | 弘前大学 | | | | H29 |
| 14 | 2017/9/21 | 遠隔医療の普及が及ぼす医療機関・調剤薬局<br>への影響 ?遠隔診療・遠隔服薬指導が示す『新たな医療機関・調剤薬局の在り方』? | みずほ銀行 | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/bizinfo/industry/pdf/msif_160.pdf | | H29 |
| 15 | 2017/9/25 | 継続対話システムEDAHA | 徳島大学 | 泓田正雄 | https://robotstart.info/2017/11/16/pac2017_sousenkyo.html | | H29 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 2017/9/25 | 多世代協同ロボットアプリ開発 | 同志社女子大学 | 日下菜穂子（同志社女子大学） | https://robotstart.info/2017/11/16/pac2017_sousenkyo.html | | H29 |
| 17 | 2017/10/3 | 厚労省新通知”が話題に、AIやドローンにも注目 | 日経デジタルヘルス | 岸本泰士郎（慶應義塾大学） | http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/event/15/092700147/100100003/?ST=health | | H29 |
| 18 | 2017/12/19 | 大塚製薬　弘前大学大学院医学研究科に「女性の健康推進医学講座」を設置 | 大塚製薬(株) | | | | H29 |
| 19 | 2018/1/9 | 弘前大学医学研究科に共同研究講座<br>「野菜生命化学講座」を開設<br>～健康診断のビッグデータ解析で野菜の役割に迫る～ | 弘前大学 | | | | H29 |
| 20 | 2018/3/13 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」<br>食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび」を発売<br>青森県内のローソンで、3月から8月まで毎月1品発売 | (株)ローソン、弘前大学 | | | | H29 |
| 21 | 2018/4/9 | テクノスルガ・ラボ　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「フローラ健康科学講座」を開設 | テクノスルガ・ラボ、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=243 | 2018/4/11開設 | H30 |
| 22 | 2018/4/24 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび　第2弾　マンナイ米入りにんじん子和え」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=250 | 2018/4/24発売 | H30 |
| 23 | 2018/5/8 | クラシエホールディングス　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「QOL推進医学講座」を開設<br>冷えとフレイルへ独自のアプローチ～超多項目ビッグデータ活用による未病状態のQOL改善を目指す～ | クラシエホールディングス、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/mediafile/file/news_file_00000786_1.pdf | 2018/4/1開設 | H30 |
| 24 | 2018/5/29 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび　第3弾　もち麦入りきんぴら」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=256 | 2018/5/29発売 | H30 |
| 25 | 2018/6/7 | ハウス食品　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「食と健康　科学講座」開設 | ハウス食品、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=257 | 2018/6/6開設 | H30 |
| 26 | 2018/6/11 | アツギ　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「健康と　医科学講座」～健康を意識できる衣料の確立を目指して～ | アツギ、弘前大学 | | https://www.atsugi.co.jp/ffa994e1782b18e622869b909b93ef6e808beb6c.pdf | 2018/6/1開設 | H30 |
| 27 | 2018/6/26 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび　第4弾　押し麦入りさばみそ」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=259 | 2018/6/26発売 | H30 |
| 28 | 2018/7/31 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび　第5弾　もち麦入りトマトガーリック」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=260 | 2018/7/31発売 | H30 |
| 29 | 2018/8/28 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび　第6弾　十六穀入り減たれ豚そぼろ」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=261 | 2018/8/28発売 | H30 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | 2018/10/31 | 弘前大と花王、健康診断の進化へ共同研究 | 日経新聞記事（北星交通試験について） | 片嶋（花王） | https://www.nikkei.com/article/DGXMZO29539730Y8A410C1L01000/ | ② | H30 |
| 31 | 2018/10/31 | 当行職員を対象とした健康増進プログラム「花王スマート和食プログラム」の結果報告会の開催について | 青森銀行 | 片嶋（花王） | https://www.a-bank.jp/contents/cms/article/20181031001/index.html | ② | H30 |
| 32 | 2018/11/1 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび　もち麦入りほたて昆布ひじきおにぎり」と「L生姜仕立てのけの汁」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=315 | 2018/10/30<br>発売 | H30 |
| 33 | 2018/11/20 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食塩相当量1g未満のおにぎり「えんむすび もち麦入りきんぴら」と「とろ～りチーズのオーブン焼き」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=322 | 2018/11/20<br>発売 | H30 |
| 34 | 2018/12/7 | 明治安田生命　ミルテル　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「未病科学研究講座」を開設 | クラシエホールディングス、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=331 | 2019/1/1開設 | H30 |
| 35 | 2019/1/16 | 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」食物繊維と食生活啓発コンソーシアム監修を受け「ごま香る けの汁」青森県内ローソンにて発売 | 青森県、㈱ローソン、弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=343 | 2018/1/15発売 | H30 |
| 36 | 2018/4/21 | 京滋が長寿な府県の訳は？ | 京都新聞 | 的場聖明 | http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/med2/news/180421.html | 京丹後長寿研究 | H30 |
| 37 | 2018/4/22 | 京丹後長寿研究報告会 | 京都府立医科大学 | 的場聖明 | http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/med2/news/180422.html | 京丹後長寿研究 | H30 |
| 38 | 2018/4/23 | 長寿のまち研究延長 | 毎日新聞 | 的場聖明 | http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/med2/news/180423.html | 京丹後長寿研究 | H30 |
| 39 | 2018/4/23 | 長寿秘訣は血管年齢の若さ | 産経新聞 | 的場聖明 | http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/med2/news/180423.html | 京丹後長寿研究 | H30 |
| 40 | 2018/8/28 | 膨らむ高齢者の金融資産㊦　認知症、状況に応じ支援を | 日経新聞 | 成本　迅 | https://www.nikkei.com/article/DGXKZO34628520X20C18A8KE8000/ | ③ | H30 |
| 41 | 2018/12/17 | 日経新聞金融庁合同シンポジウム 「高齢社会における金融サービスを考える」 | 日経新聞 | 成本　迅 | https://www.nikkei.com/article/DGKKZO38033460R21C18A1EE8000/ | ③ | H30 |
| 42 | 2018/9/27 | 創造性と多様性が大きなテーマに | 同志社女子大学 | 日下菜穂子 | https://trendy.nikkeibp.co.jp/atcl/pickup/15/1003590/091801830/?P=2 | ③ | H30 |
| 43 | 2019/2/21 | 識者に聞く　利用前から意思決定の援助を | 中央大学 | 小賀野晶一 | https://www.asahi.com/articles/DA3S13902317.html | ③ | H30 |
| 44 | 2019/5/29 | 「高齢者介護施設における口腔ケアに関する調査」の調査結果を発表 | ㈱ベネッセ、ライオン㈱ | 滝山真也（ベネッセ）<br>掬川正純（ライオン） | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/mediafile/coi/20190529_release.pdf<br>http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=397 | | R1 |
| 45 | 2019/5/30 | ㈱ファンケル　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「フレイル予防学研究講座」を開設 | ファンケル、弘前大学 | | https://www.fancl.jp/news/pdf/20190530_hirosakiunivkyodokenkyukouza.pdf | 2019/5/1開設 | R1 |
| 46 | 2019/6/7 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ㈱　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学講座」を開設 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ㈱<br>弘前大学 | | https://www.hirosaki-u.ac.jp/42183.html | 2019/5/1開設 | R1 |
| 47 | 2019/11/1 | 花王、内臓脂肪と腸内細菌の関係について研究 | 花王 | 花王ヘルスケア研究所、弘前大学大学院医学研究科 中路重之特任教授、東京大学医科学研究所 井元清 | https://www.kao.com/jp/corporate/news/rd/2019/20191028-001/ | ①-e | R1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48 | 2019/6/25 | 弘前大学COIコラボ商品「チーズで食べるもち麦入りビーンズサラダサンド」、「かねさ減塩味噌仕立ての焼きおにぎり」がローソンから発売 | ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=409 | 2019/6/25発売 | R1 |
| 49 | 2019/7/30 | 弘前大学COIコラボ商「もち麦入り根菜鶏つくねバーガー」がローソンから発売 | ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=426 | 2019/7/30発売 | R1 |
| 50 | 2019/8/22 | 開発中の体型補整下着を活用した生活改善実証の事後検査を実施 | 弘前大学、アツギ㈱ | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=436 | 2019/8/20～8/22測定 | R1 |
| 51 | 2019/10/9 | 弘前大学COIコラボ商品「お豆のデニッシュ」がローソンから発売 | ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=464 | 2019/10/8発売 | R1 |
| 52 | 2019/10/28 | 内蔵脂肪と腸内細菌の関係についての研究発表<br>～内臓脂肪面積が小さい人はブラウディア菌が多いことを発見～ | 花王㈱、弘前大学、東京大学 | 澤田道隆（花王）<br>佐藤敬（弘前大学）<br>五神真（東京大学・総長） | https://www.nature.com/articles/s41522-019-0101-x | ①-e | R1 |
| 53 | 2019/10/28 | 内臓脂肪と腸内細菌の関係についての研究 ～内臓脂肪面積が小さい人はブラウティア(Blautia)菌が多いことを発見～ | 花王株式会社 | 大里直樹（花王） | https://www.kao.com/jp/corporate/news/rd/2019/20191028-001/ | ①-e | R1 |
| 54 | 2019/10/28 | 内臓脂肪と腸内細菌の関係についての研究 | 共同通信　CNET | 大里直樹（花王） | https://japan.cnet.com/release/30388306/ | ①-e | R1 |
| 55 | 2019/11/6 | 「第7回プラチナ大賞」で最高賞である、大賞・総務大臣賞を受賞 | 弘前大学 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=474 | 2019/11/5表彰式 | R1 |
| 56 | 2019/11/7 | 内臓脂肪面積が小さい人、体内に“ブラウティア菌”多く保有　花王など発見 | 日刊工業新聞 | 大里直樹（花王） | https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00537368<br>https://newswitch.jp/p/19928 | ①-e | R1 |
| 57 | 2019/11/8 | 弘前大学とライオンの共同研究<br>唾液検査等を活用した新たな歯科健診プログラム「口腔内検査システム」の実証実験結果について | ライオン㈱ | 中路重之（弘前大学）<br>小林亘（弘前大学）<br>内山千代子（ライオン） | https://lion-corp.s3.amazonaws.com/uploads/tmg_block_page_image/file/6633/20191108.pdf | ①-f<br>厚労科研費 | R1 |
| 58 | 2019/11/26 | 弘前大学COIコラボ商品「スープカレー（もち麦と雑穀ご飯）」、「青森県産ホタテのクリームシチュー」、「手巻きもち大麦くるみパン」がローソンから発売 | ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=488 | 2019/11/26発売 | R1 |
| 59 | 2020/1/29 | 軽度認知障害（MCI）マーカーに関する特許共同出願契約を締結を発表 | 弘前大学、HMT㈱、東北大学 | 佐藤敬（弘前大学）<br>橋爪克仁（MTH代表取締役）<br>大野英雄（東北大学総長） | https://ssl4.eir-parts.net/doc/6090/tdnet/1786381/00.pdf | ①-l | R1 |
| 60 | 2020/2/20 | 「第2回　日本オープンイノベーション大賞」で奥野恭史先生が代表を務めるライフ インテリジェンスコンソーシアム(LINC)が厚生労働大臣賞を受賞 | ライフ インテリジェンスコンソーシアム(LINC) | 奥野恭史（京都大学・教授 | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=542 | 2020/2/27表彰式<br>（5月に延期予定） | R1 |
| 61 | 2020/2/25 | 弘前大学COIコラボ商品「きざみほたてとひじきのおにぎり」、「具沢山トマトスープ（けの汁風）」がローソンから発売 | ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=539 | 2020/2/25発売 | R1 |
| 62 | 2020/3/30 | 「食物繊維と食育コンソーシアム」監修<br>3月31日（火）より青森県内のローソンにて<br>＜青森県＞「柏木農業高等学校」生徒さんたち考案のパン発売 | ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1391832_2504.html | 3/31発売 | R1 |
| 63 | 2020/4/16 | 味の素㈱　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「デジタルニュートリション学講座」を開設 | 味の素㈱、弘前大学 | | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/12/fbbb0222a6a9c4091c3bde09726f12e6.pdf | 2020/4/1開設 | R2 |
| 64 | 2020/6/17 | 弘大COIと県内2店舗　生協健康増進拠点に買い物データ分析 | 陸奥新報 | 森本聡尚（花王） | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/12/news_file_00001250_1.pdf | | R2 |
| 65 | 2020/6/19 | 弘前大学COIコラボ商品「スープカレーもち麦入り」、「もち麦入り鶏五目おにぎり」、「全粒粉イギリストースト（玄米ホイップ）」がローソンから発売 | ㈱ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1400818_2504.html | 2020/6/23発売 | R2 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 66 | 2020/7/7 | ベジチェック®に関する研究結果野菜ジュースの継続摂取で皮膚のカロテノイド量が増加することを確認 | カゴメ㈱、弘前大学 | 菅沼 大行（カゴメ） | https://www.kagome.co.jp/library/products/healthcare/news/pdf/20210125001.pdf | 2020/6/19公開 | R2 |
| 67 | 2020/7/27 | 第1回「アジア健康長寿イノベーション賞」受賞団体決定 | 弘前大学 | | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/12/HAPI-Press-Release_J.pdf | 2020/7/31受賞発表式 | R2 |
| 68 | 2020/8/20 | CSR活動（パンティストッキングの中台紙を媒体とした情報発信）に関するお知らせ～人生100年時代を健康美人で過ごすための健康知識を発信～ | アツギ㈱ | | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/12/news_file_00001266_1.pdf | 2020/8/20公開 | R2 |
| 69 | 2020/8/20 | CSR活動（パンティストッキングの中台紙を媒体とした情報発信）に関するお知らせ | アツギ株式会社 | | https://www.atsugi.co.jp/news/pdf/92e966a19195c31a440426bb63a78ce179138b64.pdf | | R2 |
| 70 | 2020/9/7 | イノベーションネットアワード2020（第9回地域産業支援プログラム表彰事業）文部科学省大臣賞を受賞 | 弘前大学 | | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2020/09/post-4909/ | 2020/9/29表彰式 | R2 |
| 71 | 2020/9/17 | 気づきをもたらし自主的な健康管理に役立つ補正下着「歩くfor walk」新発売にお知らせ | アツギ㈱ | | https://www.atsugi.co.jp/qol/arukku.html | 2020/9/21発売 | R2 |
| 72 | 2020/9/17 | 気づきをもたらし自主的な健康管理に役立つ補正下着「歩くfor walk」新発売のお知らせ | アツギ株式会社 | 大石秀樹 | https://www.atsugi.co.jp/news/pdf/1d95b1dc53ca7ec145c8f1907386c6d06b44c6e1.pdf | | R2 |
| 73 | 2020/9/25 | 弘前大学COIコラボ商品「食べるスープ！肉団子の中華スープ」、「もち麦入り枝豆と塩昆布おにぎり」、「皮まで美味しいシュークリーム（オリゴ糖入りホイップクリーム）」が東北6件のローソンから発売 | ㈱ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1407196_2504.html | 2020/9/29発売 | R2 |
| 74 | 2020/9/30 | アツギの健康に関する情報発信サイトオープン～人生100年時代健康美人でいよう～ | アツギ㈱ | | https://www.atsugi.co.jp/qol/ | 2020/9/30公開 | R2 |
| 75 | 2020/9/30 | アツギの健康に関する情報発信サイトオープン | アツギ株式会社 | | https://www.atsugi.co.jp/news/pdf/14cb2436c3c4757639f0d1b2508eb0545080e3c4.pdf | | R2 |
| 76 | 2020/10/2 | コープ共済連、コープあおもり、青森県民生協、シルタス㈱と共同で調査研究を開始～「買いものの栄養分析データ」と「健康度」を連動させて、購買の行動変容による食生活の改善を目指す取り組み～ | コープ共済連、コープあおもり、青森県民生協、シルタス㈱ | | https://corp.sirutasu.com/2020/10/01/3790/ | 2020/10/1公開 | R2 |
| 77 | 2020/10/2 | 弘前大学COI,生協店舗との調査研究に関する記事掲載（内臓脂肪測定含む） | 日系BP「Beyond Health」 | 森本聡尚（花王） | https://project.nikkeibp.co.jp/behealth/atcl/news/domestic/00029/ | | R2 |
| 78 | 2020/10/5 | 健康ビッグデータで短命県返上受賞次々 | 朝日新聞 | 清水教男（花王） | https://www.asahi.com/articles/ASNB472T4NB1ULUC026.html | | R2 |
| 79 | 2020/12/7 | 弘前大学COIコラボ商品「バター風味醤油仕立て　青森県産帆立おにぎり」、「青森県産帆立の和風クリームシチュー」、「鶏とごぼう天の大麦そば」が東北6件のローソンから発売 | ㈱ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1422688_2504.html | 2020/12/8発売 | R2 |
| 80 | 2021/1/25 | 「腸内細菌」のバランスが超尿病にも影響？肥満や内臓脂肪のある人で足りない菌とは？ | 糖尿病ネットワーク | 大里直樹（花王） | https://dm-net.co.jp/calendar/2021/030790.php | | R2 |
| 81 | 2021/2/17 | 「文部科学省　情報ひろば」新庁舎2階エントランス企画展示「ニューノーマル時代（withコロナ）の健康未来を考える」の開催について | 弘前大学 | | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/a81b3bb019f402eb40b2d1d02853e744.pdf | 2021/2/17～2021年3月19日の展示 | R2 |
| 82 | 2021/3/15 | ＜東北地区＞食物繊維が手軽にとれるスープやおにぎりなど3品を発売 | ㈱ローソン | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1426714_2504.html | 2021/3/16発売 | R2 |
| 83 | 2020/9/18 | 京都府等と協働で「認知症にやさしい異業種連携共同宣言」を策定しました | 株式会社京都銀行 | 該当なし | https://www.kyotobank.co.jp/news/data/20200918_2118.pdf | 異業種連携協議会の一環として共同宣言を策定した旨を発信。 | R2 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 84 | 2020/12/10 | ソフトバンクロボティクススクールテンプレート「人生100年時代を生きる　―認知症を考えようー」をリリース | 志學館大学,ソフトバンクロボティクス | 飯干紀代子 | https://www.softbankrobotics.com/jp/news/info/20201210a/ | | R2 |
| 85 | 2021/4/27 | 大正製薬㈱　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「プレシジョンヘルスケア学講座」を開設 | 大正製薬、弘前大学 | | https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2021/04/post-9417/ | 2021/4/1開設 | R3 |
| 86 | 2021/5/24 | 大規模なメタボローム解析法に関する論文掲載のお知らせ～画期的な疾患予兆発見の仕組み構築のための基盤技術の確立～ | ヒューメン・メタボローム・テクノロジーズ㈱、弘前大学 | 橋爪克仁(HMT代表取締役)、山本博之(HMT、弘前大学)<br>福田眞作(弘前大学長)、伊東健(弘前大学) | https://ssl4.eir-parts.net/doc/6090/tdnet/1976511/00.pdf<br>https://doi.org/10.3390/metabo11050314 | 1-b-10<br>雑誌名: Metabolites<br>題名: Capillary Electrophoresis Mass Spectrometry-Based Metabolomics of Plasma Samples from Healthy Subjects in a Cross-Sectional Japanese Population Study | R3 |
| 87 | 2021/5/28 | 効果的な健康改善プランを提案するAIを開発―個別化衣料における健康介入への活用に期待― | 京都大学、キリンホールディングス株式会社 | 奥野恭史(京都大学・教授)<br>中村和貴（協和発酵バイオ） | https://doi.org/10.1038/s41467-021-23319-1<br>https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2021-05-28-1 | 2-a-4<br>掲載誌：Nature Communications<br>題目：Health improvement framework for actionable treatment planning using a surrogate Bayesian model | R3 |
| 88 | 2021/6/4 | 「食生活啓発コンソーシアム」が監修、青森県産食材使用6月8日（火）より東北エリアのローソンで＜東北地区＞食物繊維が手軽にとれる「おにぎり」など3品を発売 | ㈱ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1431378_2504.html<br>https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2021/06/post-9825/ | 2021/6/8発売 | R3 |
| 89 | 2021/6/22 | りんご生産者対象の「QOL健診」受診者による献血への協力及び献血時に行う血液検査の結果活用について | 弘前大学、青森県りんご協会、青森県赤十字血液センター | | http://www.mutusinpou.co.jp/news/2021/06/65604.html | | R3 |
| 90 | 2021/7/20 | 効果的な健康改善プランを提案するAIを開発 －個別化医療における健康介入への活用に期待－ | 協和発酵バイオ | 中村和貴（協和発酵バイオ）<br>奥野恭史（京都大学） | http://www.kyowahakko-bio.co.jp/news/pdf/20210720.pdf | 2-a-4 | R3 |
| 91 | 2021/9/28 | ＜参考資料＞＜東北地区＞「食生活啓発コンソーシアム」が監修、青森県産食材使用　食物繊維が手軽にとれる「おにぎり」など3品を発売 | ㈱ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1440887_2504.html | 2021/9/28発売 | R3 |
| 92 | 2021/10/20 | 生命保険会社の営業職員の活動が健康教育の新たな担い手として健康増進のソーシャルサポートになり得るという可能性を示唆 | 明治安田総合研究所 | 樋口由起子（明治安田総合研究所） | https://www.myri.co.jp/news/pdf/20211020-1_myri.pdf | | R3 |
| 93 | 2021/11/25 | 花王㈱、弘前大学の研究グループが、65歳以上の人において、内臓脂肪と認知機能が関係していることを発見 | 花王株式会社 | | https://www.kao.com/jp/corporate/news/rd/2021/20211125-001/<br>https://www.mdpi.com/2076-3425/11/8/1036 | | R3 |
| 94 | 2021/12/7 | 「食生活啓発コンソーシアム」が監修、青森県産食材使用12月7日（火）より東北エリアのローソンで青森山田高校の生徒さんと共同開発したパンなど3品を発売 | ㈱ローソン、弘前大学、青森県食生活改善推進員連絡協議会 | | https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1444646_2504.html<br>https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2021/12/post-11239/ | 2021/12/7発売 | R3 |
| 95 | 2022/3/7 | 弘前大学COI研究推進機構事後評価「S+」最高評価獲得について | 弘前大学 | | https://www.jst.go.jp/coi/hyoka/data/jigohyoka.pdf | 2022/3/29発表 | R3 |
| 96 | 2022/3/22 | ㈱ミルテル　弘前大学大学院医学研究科に共同研究講座「データヘルス研究講座」を開設 | ㈱ミルテル、弘前大学 | | https://www.mirtel.co.jp/2277/<br>https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2022/03/post-12032/ | 2022/1/1開設 | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やかカ」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑥-2　成果の発信（成果発信イベントの開催）**

| No | 開催年月日 | 名称 | 開催地 | 参加人数（人） | 概要 | 備考（主催、共催等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2014/1/17 | Healthcare Service BIZ Forum（2013）in HIROSAKI | ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 | 150 | 成果発表 | 主催：弘前地区地域健康医療推進協議会、(公財)あおもり産業総合支援センター、ライフイノベネットワーク青森、弘前大学、弘前市、青森県産業技術センター、ひろさき産学官連携フォーラム、青森県、他 | H25 |
| 2 | 2014/3/19 | Life Innovation Forum 2014（AOMORI） | 青森市 | 200 | 成果発表 | 主催：青森県、21あおもり産業総合支援センター、ライフイノベーションネットワーク青森 共済：日本GE・GEヘルスケアジャパン他 | H25 |
| 3 | 2014/11/10 | 短命県返上特別講演会 | リンクステーションホール青森 | 500 | 成果発表 | 主催：青森商工会議所 | H26 |
| 4 | 2015/1/30 | 弘前大学COIイノベーション・サミッ | アートホテルシティ弘 | 450 | 成果発表 | | H26 |
| 5 | 2015/7/9 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム『寿命革命』－”健やかに老いる未来社会の実現”に向けて今何をすべきか？－ | 東京・一橋講堂（学術総合センター2階） | 600 | 成果発表 | | H27 |
| 6 | 2016/1/29 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2016 | ナクアシティ弘前 | 500 | 成果発表 | | H27 |
| 7 | 2016/9/23 | 弘前大学COIヘルシーエイジングイノベーションフォーラム2016―健康ビッグデータ研究最前線― | 千代田区 | 700 | 成果発表 | | H28 |
| 8 | 2017/1/27 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2017―生活者の健康意識・行動を変える！― | アートホテルシティ弘前 | 700人 | 成果発表 | | H28 |
| 9 | 2017/9/7 | 持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）、持続可能な地域支援ワーキンググループ・保険業務ワーキンググループ合同シンポジウム「認知症など高齢社会問題が深刻化する中で持続可能な地域作りに金融機関はどう対応していくのか」 | 千代田区 | 150人 | 研究成果発表 | 主催：21世紀金融行動原則<br>協力：COLTEM | H29 |
| 10 | 2017/10/20 | ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2017（東京） | 千代田区 | 700人 | 成果発表 | 主催：弘前大学<br>共催：JST他 | H29 |
| 11 | 2017/10/26 | COLTEMセミナー「高齢者の意思決定支援を考える」<br>第1回「金融機関における高齢者顧客の現状」 | 京都市下京区 | 70人 | 研究成果発表 | 主催：COLTEM | H29 |
| 12 | 2017/11/26 | 認知症サポーター養成講座 | 鹿児島市 | | 行員を対象とした研修会 | 三井住友信託銀行、COLTEM | H29 |
| 13 | 2017/12/8 | 認知症応対実践講座 | 京都市南区 | 15名 | 行員を対象とした研修会 | 京都銀行、COLTEM | H29 |
| 14 | 2018/1/25 | COLTEMセミナー「高齢者の意思決定支援を考える」<br>第2回「意思決定支援の現状を考える」 | 京都市下京区 | 100名 | 研究成果発表 | 主催：COLTEM | H29 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2018/2/8 | 健康教育シンポジウム「小中学校の健康教育をどのように充実させるか」 | スポカルイン黒石 | | 成果発表 | 主催：青森県中南地区連携推進協議会 | H29 |
| 15 | 2018/2/9 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2018 | 弘前市 | 500人 | 成果発表 | 主催：弘前大学<br>共催：JST他 | H29 |
| 16 | 2018/3/15 | COLTEMセミナー「高齢者の意思決定支援を考える」<br>第3回　意思決定支援に関して、地域連携を考える | 京都市下京区 | 50名 | 研究成果発表 | 主催：COLTEM | H29 |
| 17 | 2018/4/22 | 京丹後長寿研究報告会 | 京丹後市コミュニティホール | 2OO名 | http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/med2/news/180422.pdf | 主催：京丹後市　共催：京都府立医科大学 | H30 |
| 18 | 2018/7/6 | 食生活改善推進員への食物繊維レクチャー | 青森市 | 30人 | 健康講座の開催 | 株式会社ローソン、株式会社ファミリークッキングスクール、株式会社はくばく、株式会社工藤パン | H30 |
| 19 | 2018/7/6 | 第1回知的環境センターワークショップ | 横浜市 | 70人 | 活動紹介 | 主催：慶應義塾大学 | H30 |
| 20 | 2018/7/27－28 | 第27回日本Cell Death学会 | 京都市　京都府立医科大格図書館ホール | 210名 | http://jscd.org/cd27/index.html | 主催：京都府立医科大学 | H30 |
| 21 | 2018/8/8 | 志學館大学COIセミナー | 鹿児島市 | 20人 | 成果発表 | 主催：弘前拠点・志學館大学 | H30 |
| 22 | 2018/8/28 | 国際ワークショップ | 函館 | 60人 | 成果発表 | 主催：慶應義塾大学 | H30 |
| 23 | 2018/9/14 | ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2018（東京） | 東京都千代田区 | 700人 | 成果発表 | 主催：弘前大学<br>共催：青森県、弘前市 | H30 |
| 24 | 2018/11/23 | Dr. 中路の健康道場　8週間チャレンジ<br>入門式 | 弘前市 | 150人 | 健康講座の開催 | 弘前大学COI研究推進機構、ベネッセコーポレーション、ベネッセスタイルケア、ウェバランス、マイタウンひろさき | H30 |
| 25 | 2018/11/29-12/1 | 国際ワークショップ | ハノイ | | 成果発表 | 主催：慶應義塾大学，電子情報通信学会 | H30 |
| | 2018/12/1 | 地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化―シチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組み―（青森県） | 健康未来イノベーションセンター（弘前市本町　弘前大学本町キャンパス） | 30 | 意見交換 | 主催：日本学術会議若手アカデミー<br>共済：弘前大学COI研究推進機構 | H30 |
| 26 | 2019/2/8 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2019 | 弘前市 | 600人 | 成果発表 | 主催：弘前大学<br>共催：青森県、弘前市、JST | H30 |
| 27 | 2019/2/9 | Dr. 中路の健康道場　8週間チャレンジ<br>修了式 | 弘前市 | 300人 | 健康講座の開催 | 弘前大学COI研究推進機構、ベネッセコーポレーション、ベネッセスタイルケア、ウェバランス、マイタウンひろさき | H30 |
| 28 | 2019/2/27 | ロボティクスワークショップ | 千代田区 | 60人 | 取組紹介 | 主催：京都府立医科大学 | H30 |
| 29 | 2019/3/4 | 「岩木健康増進プロジェクト」結果報告会 | 青森県弘前市 | 100 | 成果発表 「内臓脂肪と腸内細菌」 | 主催：弘前大学<br>発表者：大里直樹 | H30 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | 2019/6/5 | ヘルスアップ講座 | 八戸市 | 300 | アウトリーチ | 主催：JA共済連<br>後援：青森県生協連 | R1 |
| 31 | 2019/6/16 | やんばる健康シンポジウム～「やんばるの医療を守る宣言」と「やんばる健康宣言」の推進～ | 名護市 | 98 | 弘前大学COI及び同連携拠点としての名桜大学の取り組みの紹介、2018年度やんばる版プロジェクト健診の結果説明会 | 主催：名桜大学<br>後援：北部市町村会、北部市町村議会議長会、北部振興会、北部広域市町村圏事務組合、(公社)沖縄北部法人会、（公社)北部地区医師会 | R1 |
| 32 | 2019/7/3 | ヘルスアップ講座 | 弘前市 | 300 | アウトリーチ | 主催：JA共済連<br>後援：青森県生協連 | R1 |
| 33 | 2019/7/6 | “認知症にやさしい”異業種連携シンポジウム | 京都市 | 200 | 成果発表 | 主催：京都府立医科大学（COLTEM）、京都府 | R1 |
| 34 | 2019/7/6 | 第1回意思決定支援研究大会 | 京都市 | 136 | 成果発表 | 主催：（一社）日本意思決定支援推進機構、京都府立医科大学（COLTEM） | R1 |
| 35 | 2019/7/27 | 食と健康公開講座 | 五所川原市 | 34 | アウトリーチ | 主催：青森県生協連・東北女子大学 | R1 |
| 36 | 2019/8/9 | 食と健康公開講座 | 弘前市 | 76 | アウトリーチ | 主催：青森県生協連・東北女子大学 | R1 |
| 37 | 2019/8/25 | 第2回京丹後長寿研究報告会 | 京丹後市 | 200 | 成果発表 | 共催：京都府立医科大学 | R1 |
| 38 | 2019/8/28 | ヘルスアップ講座 | 青森市 | 300 | アウトリーチ | 主催：JA共済連<br>後援：青森県生協連 | R1 |
| 39 | 2019/8/31 | 食と健康公開講座 | 八戸市 | 170 | アウトリーチ | 主催：青森県生協連・東北女子大学 | R1 |
| 40 | 2019/9/6 | 公開討論会 意思決定サポートシステムにおける法的課題 | 中央大学駿河台記念館（東京） | | 成果発表 | 中央大学 | R1 |
| 41 | 2019/9/19・20 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館（東京都江東区） | 200 | 成果発表 | 主催：弘前大学COI拠点、東北大学COI拠点、JST | R1 |
| 42 | 2019/9/28 | 食と健康公開講座 | むつ市 | 58 | アウトリーチ | 主催：青森県生協連・東北女子大学 | R1 |
| 43 | 2019/10/4 | 弘前大学COI ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2019 | 千代田区 | 800 | 成果発表 | 主催：弘前大学、青森県、弘前市 | R1 |
| 44 | 2019/10/5 | 食と健康公開講座 | 青森市 | 87 | アウトリーチ | 主催：青森県生協連・東北女子大学 | R1 |
| 45 | 2019/10/11 | デジタルヘルスDAY | 東京都江東区 | 30 | 取組発表 | 日経BP | R1 |
| 46 | 2019/11/10 | 医療・福祉関係者向け 認知症の人の意思決定支援研修 | 京都市 | 59 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 主催：（一社）日本意思決定支援推進機構、京都府立医科大学（COLTEM） | R1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 47 | 2019/11/14 | 第35回青森県生協大会 | 青森市 | 357 | ワークショップ | 主催：青森県生協連 | R1 |
| 48 | 2019/11/27 | 多職種向け　認知症の人の意思決定支援研修 | 京都市 | 53 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 主催：（一社）日本意思決定支援推進機構、京都府立医科大学（COLTEM） | R1 |
| 49 | 2019/12/12−13 | 健康応援フェスティバル | 弘前市 | 200 | 健康講座、ワークショップの開催 | 弘前大学COI拠点、弘前大学生活協同組合、青森県生協連 | R1 |
| 50 | 2019/12/14 | Dr.中路の健康ひろば開催<br>ヒロロ | 青森県 | 100 | 健康講座の開催 | 弘前大学COI拠点、㈱ベネッセコーポレーション、㈱ベネッセスタイルケア、㈱ウェバランス | R1 |
| 51 | 2019/12/21 | 計って、知って、健康チャレンジ | 青森市 | 40 | ワークショップ | 主催：県民生協・青森保健生協　共催：青森県生協連 | R1 |
| 52 | 2020/1/11 | Dr.中路の健康ひろば開催<br>斜陽館 | 青森県 | 50 | 健康講座の開催 | 弘前大学COI拠点、㈱ベネッセコーポレーション、㈱ベネッセスタイルケア | R1 |
| 53 | 2020/1/12 | Dr.中路の健康ひろば開催<br>専求院 | 青森県 | 80 | 健康講座の開催 | 弘前大学COI拠点、㈱ベネッセコーポレーション、㈱ベネッセスタイルケア | R1 |
| 54 | 2020/1/13 | Dr.中路の健康ひろば開催<br>ヒロロ | 青森県 | 300 | 健康講座の開催 | 弘前大学COI拠点、㈱ベネッセコーポレーション、㈱ベネッセスタイルケア | R1 |
| 55 | 2020/1/17 | 集合住宅関係者向け　認知症の人の意思決定支援研修 | 京都市 | 47 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 主催：（一社）日本意思決定支援推進機構、京都府立医科大学（COLTEM） | R1 |
| 56 | 2020/1/28 | プラチナ懇談会 | 東京都中央区 | 50 | デモ | プラチナ構想ネットワーク | R1 |
| 57 | 2020/1/31 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2020 | 青森県 | 500 | 成果発表 | 主催：弘前大学、青森県、弘前市 | R1 |
| 58 | 2020/2/2 | 物忘れ対処法を学ぶ会 | 京都市 | 12 | シーズ・ニーズ探索 | 主催：NPO法人一歩一歩　共催：京都府立医科大学（COLTEM） | R1 |
| 59 | 2020/2/15 | 成年後見制度関係者向け　認知症の人の意思決定支援研修 | 京都市 | 61 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 主催：（一社）日本意思決定支援推進機構、京都府立医科大学（COLTEM） | R1 |
| 60 | 2020/3/1 | 公開討論会　意思決定支援システムが地域において果たすべき役割と課題―医と法の対話を中心に― | 富山県高岡市 | | 成果発表<br>※但し、セミナーは新型コロナウイルスの影響により中止 | 中央大学 | R1 |
| 61 | 2020/8/23 | 第3回京丹後長寿研究報告会 | 京丹後市 | 無観客 | 成果発表 | 共催：京都府立医科大学 | R2 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 62 | 2020/9/4 | ヘルスサポーター養成講座 | オンライン開催 | 20 | アウトリーチ | 主催：弘前大学COI拠点、弘前大学生協共同組合、青森県生活共同組合連合会、青森県医師会健やか力推進センター | R2 |
| 63 | 2020/10/7 | Pre- KEIO TECHNO-MALL 2020 セミナーシリーズ | オンライン | | 成果発表，シーズ・ニーズ探索 | 主催：慶應義塾大学理工学部 | R2 |
| 64 | 2020/10/9 | 食生活改善推進員への食物繊維レクチャー | 青森市 | 20 | 健康講座の開設 | 主催：弘前大学COI拠点、㈱ローソン、青森県食生活改善推進員 | R2 |
| 65 | 2020/10/16 | 日経クロスヘルスEXPO2020 | オンライン | | 取組発表 | 日経BP | R2 |
| 66 | 2020/10/18 | ファンケル銀座スクエアセミナー秋フェア “コロナ時代の健康作り” | ファンケル銀座スクエアセミナー | 24 | 健康作りに関する市民への啓蒙、成果発信 | 主催：弘前大学COI拠点、㈱ファンケル | R2 |
| 67 | 2020/11/9 | 第16回日本疲労学会総会・学術集会 | 神戸市・オンラインハイブリッド開催 | 100 | 取組発表 | 主催：国立研究開発法人理化学研究所 | R2 |
| 68 | 2020/11/14<br>–<br>2020/11/15 | 親子体操普及員養成講座 | 青森市 | 20 | アウトリーチ | 主催：弘前大学COI拠点、佐藤弘道先生、青森県医師会健やか力推進センター | R2 |
| 69 | 2020/11/24 | 第12回食育フェスティバルinヒロロスクエア | 弘前市 | 300 | 成果展示<br>野菜摂取調査測定デモ | 主催：ヒロロスクエア賑わい創出委員会、弘前市食生活改善推進員会、駅前こどもの広場 | R2 |
| 70 | 2020/11/27 | 令和2年度・名城大学総合研究所公開講演会 | 名古屋市 | 50 | 弘前大学COI事業への正式参画を記念し「弘前大学COIにおける地域保健活動の研究、地域貢献、産官学連携への応用と成果 —岩木健康増進プロジェクトを基礎として—」をテーマに弘前大学・中路重之特任教授にご講演頂く | 主催：名城大学総合研究所 | R2 |
| 71 | 2020/12/18 | 慶應テクノモール | オンライン | | 成果発表，シーズ・ニーズ探索 | 主催：慶應義塾大学理工学部 | R2 |
| 72 | 2021/1/20 | 高齢消費者の支援のための産官学金の取り組みとICTの活用可能性 | 京都市（オンライン開催） | 94 | 高齢者の消費活動に関する意思決定支援についての発表 | 主催：京都府立医科大学（弘前COIサテライト拠点）、一般社団法人 日本意思決定支援推進機構<br>協賛 ： 特定非営利活動法人 Life is Beautiful | R2 |
| 73 | 2021/1/20 | 文部科学省 地域科学技術イノベーション推進委員会 | 千代田区 | 20 | 成果発表 | 主催：文部科学省 科学技術 学術審議会 産業連携 地域支援部会 | R2 |
| 74 | 2021/2/5 | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021 | 弘前市・オンラインハイブリッド開催 | 1200 | 成果発表 | 主催：弘前大学<br>共催：青森県、弘前市、科学技術振興機構 | R2 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 75 | 2021/2/9 | COI東北拠点シンポジウム | オンライン開催 | 500 | 取組発表 | 主催：国立大学法人東北大学　産学連携機構　イノベーション戦略推進センター<br>共催：カゴメ株式会社、オムロンヘルスケア株式会社 | R2 |
| 76 | 2021/2/15 | 三菱商事特別セミナー | 仙台市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 20 | 取組発表<br>嗅覚調査、冷え性調査、野菜摂取調査測定デモ | 主催：三菱商事、東北電力 | R2 |
| 77 | 2021/2/17-<br>2021/3/19 | 文部科学省　情報ひろば　エントランス展示 | 千代田区 | | 成果展示 | 主催：文部科学省　情報ひろば | R2 |
| 78 | 2021/2/18 | 第13回プラチナシンポジウム | オンライン開催 | 20 | 取組発表 | 主催：プラチナ構想ネットワーク | R2 |
| 79 | 2021/2/19 | 次世代医療基盤法シンポジウム | オンライン開催 | | 取組発表 | 主催：内閣府 | R2 |
| 80 | 2021/2/19 | 第2回意思決定支援研究大会 | 京都市（オンライン開催） | 105 | COLTEMの活動報告、及び金融WG報告書の成果発表 | 主催：一般社団法人日本意思決定支援推進機構<br>共催：京都府立医科大学 | R2 |
| 81 | 2021/10/8 | 弘前大学COI ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2021（東京） | 千代田区 | 1000 | 成果発表<br>（現地：200人、WEB：1000人） | 主催：弘前大学、青森県、弘前市 | R3 |
| 82 | 2021/10/29 | 第3回意思決定支援研究大会 | オンライン開催 | 100 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 主催：京都府立医科大学 | R3 |
| 83 | 2021/11/19 | 健康経営シンポジウム | 東京都 | 400 | 日本の健康経営の現状と課題について、経産省、東大、健康経営企業等から取り組み内容等を発表、討議する | 主催：東京大学 | R3 |
| 84 | 2021/12/5 | 第4回京丹後長寿研究報告会 | 京丹後市 | 無観客 | 成果発表 | 共催：京都府立医科大学 | R3 |
| 85 | 2022/2/4 | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2022 | 弘前市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 1300 | 成果発表<br>（WEB：1300人） | 主催：弘前大学、青森県、弘前市<br>共催：JST、青森県医師会、健やか力推進センター、ひろさき産学官連携フォーラム | R3 |
| 86 | 2021/10/16 | 認知症の人の意思決定支援研修「家族支援の基礎知識、支援者としての態度」 | オンライン開催 | 51 | シーズ・ニーズ探索 | 共催：京都府立医科大学 | R3 |
| 87 | 2021/11/13 | 認知症の人の意思決定支援研修「認知症の基礎知識、認知症の人との対話のコツ」 | オンライン開催 | 44 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 共催：京都府立医科大学 | R3 |
| 88 | 2021/12/11 | 認知症の人の意思決定支援研修「成年後見制度の活用を考える」 | 京都市、及びオンライン開催 | 52 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 共催：京都府立医科大学 | R3 |
| 90 | 2022/2/5 | 認知症の人の意思決定支援研修「成年後見制度の活用を考える」 | オンライン開催 | 60 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 共催：京都府立医科大学 | R3 |
| 91 | 2022/2/24 | 第3回ヘルスケア・データガバナンスラボ「Health AgeingとAI・データ」 | オンライン開催 | 126 | 成果発表、シーズ・ニーズ探索 | 主催：京都府立医科大学 | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やかカ」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑥-3　成果の発信（展示会への出展）**

| No | 開催年月日 | 名称 | 開催地 | 国内/外国 | 概要 | 備考 | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2014年度 | 次世代ヘルスケア展 | | 国内 | | 主催：日経BP社，協力：日経デジタルヘルス | H26 |
| 2 | 2014/11/8-9 | サイエンスアゴラ2014 | 日本科学未来館 | 国内 | | | H26 |
| 3 | 2014/10/15-17 | Bio Japan 2014 World business Forum | | 国内 | | | H26 |
| 4 | 2015/3/28-4/5 | 日本医学会総会 | | 国内 | | | H26 |
| 5 | 2014/8/17 | 第2回平均寿命サミット | | 国内 | | | H26 |
| 6 | 2014/9/19-21 | 体力医学会シンポジウム | | 国内 | | | H26 |
| 7 | 2015/3/28-4/5 | 第29回日本医学会総会（医療福祉IT展示会） | | 国内 | | | H27 |
| 8 | 2015/7/17 | 国際モダンホスピタルショウ2015 | | 国内 | | | H27 |
| 9 | 2015/8/27-28 | JSTフェア | | 国内 | | | H27 |
| 10 | 2015/9/30-10/2 | BPデジタルヘルスDAYS2015 | | 国内 | | | H27 |
| 11 | 2015/10/2-4 | 日本認知症学術集会 | | 国内 | | | H27 |
| 12 | 2015/10/8-9 | あおもりICTソリューション2015 | | 国内 | | | H27 |
| 13 | 2015/12/16-18 | WORLD OF IOT | | 国内 | | | H27 |
| 14 | 2016/2/3-5 | テクニカルショウヨコハマ2016 | | 国内 | | | H27 |
| 15 | 2016/3/27 | ウェルネスライフサポートフォーラム　市民公開講座 | 東京国際フォーラム | 国内 | 基調スピーチ | 主催：一般社団法人ウェルネスライフサポート推進機構 | H27 |
| 16 | 2016/5/20 | プラチナスクール＠東京（三菱総研） | | 国内 | | | H28 |
| 17 | 2016/5/28 | UNITT アニュアル･カンファレンス2016 | | 国内 | | | H28 |
| 18 | 2016/6/10 | CIAJ移動通信委員会訪問 | | 国内 | | | H28 |
| 19 | 2016/8/25-26 | JSTフェア2016 | 東京ビッグサイト | 国内 | | | H28 |
| 20 | 2016/10/1 | COINSリトリート合宿 | | 国内 | | | H28 |
| 21 | 2016/10/19-21 | BPデジタルヘルスDAYS2016 | 東京ビッグサイト | 国内 | | | H28 |
| 22 | 2016/11-2017/12 | 文部科学省エントランスにおける企画展示（文部科学省東館2階） | | 国内 | | | H28 |
| 23 | 2016/12/14-16 | SEMICON Japan 2016 WORLD OF IOT | 東京ビッグサイト | 国内 | | | H28 |
| 24 | 2017/1/13 | 文科省記者クラブブリーフィング | 文科省記者クラブ | 国内 | | | H28 |
| 25 | 2017/1/28 | ICT体験フェアin八戸 | | 国内 | | | H28 |
| 26 | 2017/1/31 | 東京大学COI 自分で守る健康社会シンポジウム2017 | 伊藤謝恩ホール・東京大学本郷キャンパス | 国内 | | | H28 |
| 27 | 2017/2/6 | 平成28年度青森県健康福祉部発第3回「か（変）えるセミナー」 | | 国内 | | | H28 |
| 28 | 2017/2/8 | 農林水産業食品事業者向け公開シンポジウム「食べ物と腸内細菌」 | AP東京八重洲通り 11階会議室 | 国内 | | | H28 |
| 29 | 2017/2/25 | 弘前市主催「オープンデータアイデアソン」 | 土手町コミュニティパーク多目的ホールA | 国内 | | | H28 |
| 30 | 2017/2/27 | 文科省・経産省主催「本格的な産学官共同研究をすすめるための地域フォーラム」 | 東北大学片平キャンパス | 国内 | | | H28 |
| 31 | 2017/3/4 | 「平成28年度岩木健康増進プロジェクト研究結果報告会」 | 弘前市中央公民館岩木館 | 国内 | | | H28 |
| 32 | 2017/3/8-10 | ヘルスケア＆スポーツ 街づくりEXPO | | 国内 | | | H28 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 2017/3/23 | 「平成28年度青森ライフイノベーションフォーラム」 | 青森国際ホテル　春秋の間 | 国内 | | | H28 |
| 34 | 2017/4/20 | medtec japan 2017（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 35 | 2017/4/27-4/29 | 国際アルツハイマ―病協会国際会議 | 左京区 | 国内 | 弘前COI、COLTEM活動の紹介及び、歩行センサー、金融ガイド、コミュニケーションロボット、意思決定サポートセンターの研究成果・開発モデルの展示 | 京都府立医科大学、志學館大学、住友電気工業(株)、フューブライト・コミュニケーションズ(株)参加 | H29 |
| 36 | 2017/8/31 | JSTフェア2017（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 37 | 2017/10/4-5 | あおもりICTソリューション2017 | アウガ　5階　AV多機能ホール（青森県青森市） | 国内 | プレゼンテーション | 主催：一般社団法人青森県情報サービス産業協会 | H29 |
| 38 | 2017/10/11 | BPデジタルヘルスDAYS2017（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 39 | 2017/11/22 | PAC作品自慢総選挙 2017: Pepper App Challenge番外編 | 中央区 | 国内 | 徳島大学及び同志社女子大学が開発したペッパーのアプリケーション出場 | 徳島大学、同志社女子大学参加 | H29 |
| 40 | 2017/11/24 | サイエンスアゴラ（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 41 | 2017/11/29 | SCFシステムコントロールフェア2017／計測展（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 42 | 2017/12/13 | SEMICON Japan 2017（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 43 | 2017/12/17 | サイエンスキャッスル2017東北大会（岩手県） | 盛岡市 | 国内 | COIの成果展示 | | H29 |
| 44 | 2018/8/30-31 | JSTフェア2018（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | 東京ビッグサイト出展 | H30 |
| 45 | 2018/10/1 | 第4回産総研・人間情報研究部門シンポジウム（SHI2018） | 千葉県柏市 | 国内 | COIの成果展示 | 柏の葉カンアファレンスセンター出展 | H30 |
| 46 | 2018/10/17-19 | BPデジタルヘルスDAYS2018（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示<br>冷え計測（血管画像計測）<br>内臓脂肪計展示<br>モールウォーキング（タッチパネル展示） | 東京ビッグサイト出展 | H30 |
| 47 | 2018/12/12-14 | SEMICON Japan 2018（東京） | 江東区 | 国内 | COIの成果展示 | 東京ビッグサイト出展 | H30 |
| 48 | 2018/10/20 | World Robot Summit 2018 | 東京 | 国内 | ステージプログラム | | H30 |
| 49 | 2018/12/14 | 慶應テクノモール | 東京都 | 国内 | | | H30 |
| 50 | 2019/1/23 | ヘルスケアIT2019 | 東京ビッグサイト | 国内 | プレゼンテーション | | H30 |
| 51 | 2019/10/02-04 | アツギ株式会社<br>2020年春夏商品展示会 | 海老名市 | 国内 | 弘前大学COIの取組紹介と、共同研究講座の説明概要紹介ブース設置。 | バイヤー様向けクローズド展示会につき、オープンとなっている資料はありません。 | R1 |
| 52 | 2020/10/9-11 | デジタルヘルスDAYS | 江東区 | 国内 | COIゾーンへの成果展示、フレイル研究に関する講演、自律神経測定デモ | | R1 |
| 53 | 2019/10/24-10/25 | 第9回おおた研究・開発フェア | 大田区 | 国内 | FMG装置の展示 | 若手ファンド（R01WD11） | R1 |
| 54 | 2019/11/16、17 | サイエンスアゴラ | 江東区 | 国内 | COIゾーンへの成果展示、自律神経測定デモ | | R1 |
| 55 | 2019/11/20-22 | HOSPEX Japan　カラダ改善プロジェクト | 江東区 | 国内 | COIゾーンへの成果展示、フレイル研究に関する講演、自律神経測定デモ | | R1 |
| 56 | 2019/12/6 | エコプロ2019 | 江東区 | 国内 | COIゾーンへの成果展示 | | R1 |
| 57 | 2019/12/12、13 | 弘前大学生協健康応援フェスティバル | 弘前市 | 国内 | 自律神経測定の紹介 | | R1 |
| 58 | 2019/12/13 | 慶應テクノモール2019 | 千代田区 | 国内 | 大槻研究室ブース | | R1 |
| 59 | 2019/12/14 | サイエンスキャッスル2019東北大会 | 宮城県 | 国内 | COIゾーンへの成果展示 | | R1 |
| 60 | 2020/1/28 | プラチナ懇談会 | 東京 | 国内 | | | R1 |
| 61 | 2020/1/28 | プラチナ懇談会 | 中央区 | 国内 | 冷え計測（血管画像計測）、フレイル研究の紹介、自律神経測定デモ | | R1 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 62 | 2020/4 | アツギ株式会社<br>2020年秋冬商品展示会<br>コロナの影響で展示会中止、設置のみ | 海老名市 | 国内 | 弘前大学COIの取組紹介と、共同研究講座の説明概要紹介ブース設置。 | バイヤー様向けクローズド展示会につき、オープンとなっている資料はありません。 | R2 |
| 63 | 2020/6/17 | 産学連携オープンイノベーション～睡眠、ストレスフリー、清潔、QOL～ 第3回オンラインセミナー | オンライン | 国内 | 成果発表 | 主催：株式会社キャンパスクリエイト（電気通信大学TLO）慶應義塾大学理工学部 | R2 |
| 64 | 2020/9/28-11/30 | イノベーション・ジャパン 2020 | オンライン開催 | 国内 | COIゾーンへの成果展示 | | R2 |
| 65 | 2020/10/12、13 | 名桜大学やんばる健康フェア | 名護市 | 国内 | フレイル、自律神経測定の紹介、自律神経測定デモ | | R2 |
| 66 | 2020/10/14-10/16 | 日経HEALTH（クロスヘルス）EXPO2020 | オンライン出展 | 国内 | COIゾーンへの成果展示<br>参画機関との共同プレゼンテーション | https://active.nikkeibp.co.jp/expo/xhealth/atcl/conf/00005/ | R2 |
| 67 | 2020/10/14-10/16 | BIOJAPAN2020 | 横浜市 | 国内 | 腫瘍血管を標的としたペプチド-ホウ素薬剤によるホウ素中性子捕捉療法に関する成果展示、Zoomによる発表 | | R2 |
| 68 | 2020/11/11-2020/11/13 | 次世代ヘルスケアプロジェクト2020 | 江東区 | 国内 | COIゾーンへの成果展示<br>嗅覚調査、冷え性調査、自律神経調査、野菜摂取調査測定デモ | | R2 |
| 69 | 2020/11/15-2020/11/22 | サイエンスアゴラ2020 | オンライン出展 | 国内 | 成果展示、プレゼンテーション | https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2020/planning/planning_1602.html | R2 |
| 70 | 2020/11/25-2020/11/28 | エコプロ Online 2020 | オンライン出展 | 国内 | COIゾーンへの成果展示 | https://www.jst.go.jp/sdgs/events/20201125-28.html | R2 |
| 71 | 2020/12/18 | 慶應テクノモール2020 | オンライン | 国内 | 成果発表 | 慶應義塾大学理工学部 | R2 |
| 72 | 2020/12/20 | サイエンスキャッスル2020 関東大会 | 横浜市・オンライン出展<br>ハイブリッド開催 | 国内 | 成果展示<br>野菜摂取調査測定デモ | https://s-castle.com/featured/10583/ | R2 |
| 73 | 2021/3/4 | JST　医療系 新技術説明会 | オンライン | 国内 | FMGに関する技術解説と応用事例紹介 | | R2 |
| 74 | 2021/8/23-9/17 | イノベーション・ジャパン 2021 | オンライン開催 | 国内 | COIゾーンへの成果展示 | | R3 |
| 75 | 2021/10/13-15 | health TECH JAPAN 2021 | パシフィコ横浜 | 国内 | 成果展示、測定デモ、特別講演会、参画機関との共同プレゼンテーション | | R3 |
| 76 | 2021/10/11-22 | 日経クロスヘルスEXPO2021 | オンライン出展 | 国内 | 成果展示、プレゼンテーション | | R3 |
| 77 | 2021/11/3-7 | サイエンスアゴラ2021 | オンライン出展 | 国内 | 成果展示、プレゼンテーション | | R3 |
| 78 | 2021/11/15-12/19 | イノベーションストリームKANSAI２０２１ | 大阪市北区 | 国内 | | WEB | R3 |
| 79 | 2021/11/24-26 | 次世代ヘルスケアプロジェクト2021 | 東京ビッグサイト | 国内 | 成果展示、測定デモ、特別講演会、参画機関との共同プレゼンテーション | | R3 |
| 80 | 2021/11/26-12/19 | HAKODATEアカデミックリンク2021 | 北海道函館市 | 国内 | スマホアプリ#いばしぇあを、ブースセッションにて発表 | | R3 |
| 81 | 2021/12/8-10 | エコプロ 2021 | 東京ビッグサイト | 国内 | 成果展示、測定デモ、特設ステージセミナー、JSTブースセミナー、JST企画登壇 | | R3 |
| 82 | 2021/12/10 | 慶應テクノモール | オンライン | 国内 | 成果発表 | | R3 |
| 83 | 2021/12/14-15 | イノベーションストリームKANSAI２０２１ | 大阪市北区 | 国内 | | リアル | R3 |
| 84 | 2022/2/17-18 | 京都ビジネスフェア2021 | 京都市 | 国内 | | リアル | R3 |
| 85 | 2021/12/19 | サイエンスキャッスル2021 関東大会 | 世田谷区<br>オンライン同時開催 | 国内 | COIゾーンへの成果展示 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑪-1　原著論文（発行済み）**

| No | 論文表題 | 著者名 | 記載誌名 | 論文のDOI | 発行年月 | 巻 | 号 | 掲載ページ（始） | 掲載ページ（終） | 査読有無 | 国際共著 | 発表機関（参画機関のみ） | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Saito Y, Sugawara N, Yasui-Furukori N, Takahashi I, Nakaji S, Kimura H. Cognitive function and number of teeth in a community-dwelling population in Japan. Ann Gen Psychiatry 12, 20, 2013. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 2 | Matsubara E, Takamura A, Okamoto Y, Oono H, Nakata T, Wakasaya Y, Kawarabayashi T, Shoji M. Disease modifying therapies for Alzheimer's disease targeting Aβ oligomers: implications for therapeutic mechanisms. Biomed Res Int 2013, Article ID 984041, 2013. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 3 | Yoshida H, Meng P, Matsumiya T, Tanji K, Hayakari R, Xing F, Wang L, Tsuruga K, Tanaka H, Mimura J, Kosaka K, Itoh K, Takahashi I, Imaizumi T. Carnosic acid suppresses the production of amyloid-β 1-42 and 1-43 by inducing an α-secretase TACE/ADAM17 in U373MG human astrocytoma cells. Neurosci Res 79, 83-93, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 4 | 成年後見制度の新しい展開---民法による支援と限界 | 小賀野晶一 | 日本老年医学会雑誌 | 10.3143/geriatrics.50.638 | 2013 | 50 | 5 | 638 | 640 | | | 千葉大学 | | H25 |
| 5 | 認知症の終末期医療　意思決定プロセスと法的整備 | 小賀野晶一 | 老年精神医学雑誌 | | 2014/2 | 25 | 2 | 170 | 175 | | | 千葉大学 | | H25 |
| 6 | 同意能力がない患者の医療同意―ドイツ法を中心に | 亀井隆太 | 葉大学人文社会科学研究 | | 2014/3 | | 28 | 86 | 97 | | | 千葉大学 | | H25 |
| 7 | 香港における成年後見制度の動向 | 江溥 | 葉大学人文社会科学研究 | | 2014/3 | | 28 | 218 | 227 | | | 千葉大学 | | H25 |
| 8 | Sugawara N, Yasui-Furukori N, Umeda T, Tsuchimine S, Kaneda A, Tsuruga K, Iwane K, Okubo N, Takahashi I, Kaneko S. Relationship Between Dietary Patterns and Cognitive Function in a Community-Dwelling Population in Japan. Asia Pac J Public Health. 2015 Mar;27(2):NP2651-660. doi: 10.1177/1010539513490194. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 9 | Asano K, Asano Y, Ono HK, and Nakane A. Suppression of starvation-induced autophagy by recombinant toxic shock syndrome toxin-1 in epithelial cells. PLoS One 9: e113018, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 10 | Sato'o Y, Omoe K, Naito I, Ono HK, Nakane A, Sugai M, Yamagishi N, and Hu D-L. Molecular epidemiology and identification of a Staphylococcus aureus clone causing food poisoning outbreaks in Japan. J Clin Microbiol 52: 2637-2740, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 11 | Yoshimura S, Asano K, and Nakane A. Attenuation of collagen-induced arthritis in mice by salmon proteoglycan. BioMed Res Int 2014: 406453, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 12 | Shintaku T, Ohba T, Niwa H, Kushikata T, Hirota K, Ono K, Matsuzaki Y, Imaizumi T, Kuwasako K, Sawamura D, Murakami M. Effects of propofol on electrocardiogram measures in mice. J Pharmacol Sci. 2014;126(4):351-358. doi: 10.1254/jphs.14181FP. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 13 | Matsushita Y, Yokoyama Y, Yoshida H, Osawa Y, Mizunuma M, Shegeto T, Futagami M, Imaizumi T, Mizunuma H: The level of RECQL1 expression is a prognostic factor for epithelial ovarian cancer. J Ovarian Res 7: 107, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 14 | Tamura R, Yokoyama Y, Yoshida H, Imaizumi T, Mizunuma H: 4-methylumbelliferone inhibits ovarian cancer growth by suppressing thymidine phosphorylase expression. J Ovarian Res 7: 94, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 15 | Tanji K, Miki Y, Ozaki T, Maruyama A, Yoshida H, Mimura J, Matsumiya T, Mori F, Imaizumi T, Itoh K, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Phosphorylation of serine 349 of p62 in Alzheimer's disease brain. Acta Neuropathol Commun 2: 50, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 16 | Imaizumi T, Numata A, Yano C, Yoshida H, Meng P, Hayakari R, Xing F, Wang L, Matsumiya T, Tanji K, Tatsuta T, Murakami M, Tanaka H: ISG54 and ISG56 are induced by TLR3 signaling in U373MG human astrocytoma cells: possible involvement in CXCL10 expression. Neurosci Res 84: 34-42, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 17 | Imaizumi T, Aizawa T, Hayakari R, Xing F, Meng P, Tsuruga K, Matsumiya T, Yoshida H, Wang L, Tatsuta T, Tanaka T. Tumor necrosis factor-α synergistically enhances polyinosinic-polycytidylic acid-induced toll-like receptor 3 signaling in cultured normal human mesangial cells: possible involvement in the pathogenesis of lupus nephritis. Clin Exp Nephrol 2015 Feb;19(1):75-81. doi: 10.1007/s10157-014-0956-3. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 18 | Tanaka H, Aizawa T, Watanabe S, Oki E, Tsuruga K, Imaizumi T. Efficacy of mizoribine-tacrolims-based induction therapy for pediatric lupus nephritis. Lupus 23: 813-818, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 19 | Kon T, Mori F, Tanji K, Miki Y, Toyoshima Y, Yoshida M, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. ALS-associated protein FIG4 is localized in Pick and Lewy bodies, and also neuronal nuclear inclusions, in polyglutamine and intranuclear inclusion body diseases. Neuropathology 34: 19-26, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 20 | Mori F, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Co-localization of Bunina bodies and TDP-43 inclusions in lower motor neurons in amyotrophic lateral sclerosis. Neuropathology 34: 71-76, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 21 | Sasaki H, Matsushima M, Hama Y, Nakamura M, Sakushima K, Yabe I, Oba K, Tanji K, Mori F, Wakabayashi K, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J. Plasma matrix metalloproteinase-3 correlates with the clinical severity in men with multiple system atrophy. Neurol Clin Neurosci 1:69-77, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 22 | Mori F, Toyoshima Y, Tanji K, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. FUS co-localizes with polyglutamine, but not with TDP-43 in neuronal intranuclear inclusions in spinocerebellar ataxia type 2. Neuropathol Appl Neurobiol 40: 351-355, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 23 | Miki Y, Tomiyama M, Kurotaki H, Wakabayashi K, Baba M. Primary central nervous system lymphoma mimicking Bickerstaff's encephalitis. Neurol Sci 35: 139-14, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 24 | Mori F, Watanabe Y, Miki Y, Tanji K, Odagiri S, Eto K, Wakabayashi K. Ubiquitin-negative, eosinophilic neuronal cytoplasmic inclusions associated with stress granules and autophagy: an immunohistochemical investigation of two cases. Neuropathology 34: 140-147, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 25 | Miki Y, Mori F, Kon T, Tanji K, Toyoshima Y, Yoshida M, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Accumulation of the sigma-1 receptor is common to neuronal nuclear inclusions in various neurodegenerative diseases. Neuropathology 34: 148-158, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 26 | Miki Y, Mori F, Tanji K, Kurotaki H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. An autopsy case of incipient Pick's disease: Immunohistochemical profile of early-stage Pick body formation. Neuropathology 34: 386-391, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 27 | Kobayashi T, Sugai M, Mori F, Wakabayashi K, Hakamada K. A morphometric investigation of pulmonary sympathetic innervation in nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia rats. Hirosaki Med J 65: 74-81, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 28 | Tomonoh Y, Deshimaru M, Araki K, Miyazaki Y, Arasaki T, Tanaka Y, Kitamura H, Mori F, Wakabayashi K, Yamashita S, Saito R, Itoh M, Uchida T, Yamada J, Migita K, Ueno S, Kitaura H, Kakita A, Lossin C, Takano Y, Hirose S. The kick-in system: a novel rapid knock-in strategy. PLoS One 9: e88549, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 29 | Kon T, Funamizu Y, Miki Y, Tomiyama M, Baba M, Kurotaki H, Wakabayashi K. An autopsy case of meningeal carcinomatosis with parenchymal invasion through the cranial and spinal nerve roots. Neuropathology 34: 499-503, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 30 | 蔵田 潔：脳のネットワーク　理学療法ジャーナル 48: 868, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 31 | Nomura T, Umeda T, Takahashi I, Iwane K, Okubo N, Chiba Y, Miyake R, Konishi H, Tokuda I, Komatsu M, Nakaji S. Effects of L-Glutamine Intake on Muscle Fatigue and Neutrophil Functions During a Judo Training Camp. Hirosaki Med J 64: 144-157, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 32 | Tsuruga K, Sugawara N, Yasui-Furukori N, Takahashi I, Tsuchimine S, Kaneda A, Nakaji S, Nakamura K. A positive correlation between serum amyloid β levels and depressive symptoms among community-dwelling elderly individuals in Japan. Neuropsychiatr Dis Treat 10: 1621-1627, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 33 | Kumagai G, Ono A, Numasawa T, Wada K, Inoue R, Iwasaki H, Iwane K, Matsuzaka M, Takahashi I, Umeda T, Nakaji S, Ishibashi Y. Association between roentgenographic findings of the cervical spine and neck symptoms in a Japanese community population. J Orthop Sci 19: 390-397, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 34 | Ye P, Mimura J, Okada T, Sato H, Liu T, Maruyama A, Ohyama C, Itoh K. Nrf2- and ATF4-dependent upregulation of xCT modulates the sensitivity of T24 bladder carcinoma cells to proteasome inhibition. Mol Cell Biol 34: 3421-3434, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 35 | Maruyama A, Mimura J, Itoh K. Non-coding RNA derived from the region adjacent to the human HO-1 E2 enhancer selectively regulates HO-1 gene induction by modulating Pol II binding. Nucleic Acids Res 42: 13599-13614, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 36 | Miyazaki, H., Oyama, F., Inoue, R., Aosaki, T., Abe, T., Kiyonari, H., Kino, Y., Kurosawa, M., Shimizu, J., Ogiwara, I., Yamakawa, K., Koshimizu, Y., Fujiyama, F., Kaneko, T., Shimizu, H., Nagatomo, K., Yamada, K., Shimogori, T., Hattori, N., Miura, M., Nukina, N., Singular localization of sodium channel β4 subunit in unmyelinated fibers and its role in striatum. Nature Communications 5: 5525, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 37 | Murata, R., Takada, Y., Takuwa, H., Kawaguti, H., Ito, H., Kanno, I., Tottori, N., Yamada, Y., Tomita, Y., Itoh, Y., Suzuki, N., Yamada, K., Masamoto, K. Vessel specific imaging of glucose transfer with fluorescent glucose analogue in anesthetized mouse cortex. Adv. Exp. Med. Biol 812: 241-246, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 38 | 山田勝也.「グルコーストランスポーター」生化学辞典、田中啓二他編、㈱朝倉書店. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 39 | Nishijima, H., S. Suzuki, T. Kon, Y. Funamizu, T. Ueno, R. Haga, C. Suzuki, A. Arai, T. Kimura, C. Suzuki, R. Meguro, Y. Miki, J. Yamada, K. Migita, N. Ichinohe, S. Ueno, M. Baba and M. Tomiyama. Morphologic changes of dendritic spines of striatal neurons in the levodopa-induced dyskinesia model. Mov Disord 29: 336-343, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 40 | Ueno, T., J. Yamada, H. Nishijima, A. Arai, K. Migita, M. Baba, S. Ueno and M. Tomiyama. Morphological and electrophysiological changes in intratelencephalic-type pyramidal neurons in the motor cortex of a rat model of levodopa-induced dyskinesia. Neurobiol Dis 64: 142-149, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 41 | Sugarman SL, Livingston GK, Stricklin DL, Abbott MG, Wilkins RC, Romm H, Oestreicher U, Yoshida MA, Miura T, Moquet JE,Di Giorgio M, Ferrarotto C, Gross GA, Christiansen ME, Hart CL, Christensen DM. The Internet's role in a biodosimetric response to a radiation mass casualty event. Health Phys 106: S65-S70, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 42 | 菅原貴征　兼子直. 遺伝子診断. 日本臨牀 72: 834-838, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学、東北化学薬品 | | H26 |
| 43 | Tomita T, Ishioka M, Kaneda A, Sugawara N, Nakagami T, Nakamura K, Yasui-Furukori N. An investigation of Temperament and Character Inventory items for predicting the response to paroxetine treatment in patients with major depressive disorder. Journal of Affective Disorders 165: 109-113, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 44 | Anitha A, Thanseem I, Nakamura K, Vasu MM, Yamada K, Ueki T, Iwayama Y, Toyota T,  Tsuchiya KJ, Iwata Y, Suzuki K, Sugiyama T, Tsujii M, Yoshikawa T, Mori N. Zinc finger protein 804A (ZNF804A) and verbal deficits in individuals with autism. J Psychiatry Neurosci 39: 1-10, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 45 | Iwata K, Matsuzaki H, Tachibana T, Ohno K, Yoshimura S, Takamura H, Yamada K, Matsuzaki S, Nakamura K, Tsuchiya KJ, Matsumoto K, Tsujii M, Sugiyama T, Katayama T, Mori N. N-ethylmaleimide-sensitive factor interacts with the serotonin transporter and modulates its trafficking; implications for pathophysiology in autism. Molecular Autism 5: 1-18, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 46 | Hashimoto K, Sugawara N, Isioka M, Nakamura K, Yasui-Furukori N. The effects of additional treatment with terguride a partial dopamine agonist, on hyperprolactinemia induced by antipsychotics in schizophrenia patients:a preliminary study. Neuropsychiatric Disease and Treatment 10: 1571-1576, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 47 | Hashimoto K, Sugawara N, Tanaka O, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Parental bonding and attitudes toward suicide among medical college students in Japan. Neuropsychiatric Disease and Treatment 10: 2015-2020, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 48 | Tsuchimine S, Kaneda A, Nakamura K, Yasui-Furukori N. The relationships between androgens and novelty seeking in healthy Japanese men. Psychiatry Research 225: 175-178, 2015. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 49 | Maruyama N, Fujiwara K, Yokoyama K, Cerrone C, Hasegawa H, Takagi K, Nishizawa K, Uki Y, Kawarabayashi T, Shouji M, Ishimoto M, Terakawa T. Stable accumulation of seed storage proteins containing vaccine peptides in transgenic soybean seeds. J Biosci Bioeng 118: 441-447, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 50 | Miyashita A, Wen Y, Kitamura N, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Furukawa K, Arai H, Asada T, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Morihara T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Sasaki K, Watanabe K, Nakashima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Saito Y, Hatsuta H, Murayama S, Kakita A, Takahashi H, Yamaguchi H, Akazawa K, Kanazawa I, Ihara Y, Ikeuchi T, Kuwano R. Lack of genetic association between TREM2 and late-onset Alzheimer's disease in a Japanese population. J Alzheimers Dis 41: 1031-1038, 2014. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 51 | Japanese versions of the executive interview (J-EXIT25) and the executive clock drawing task (J-CLOX) for older people | Teruyuki Matsuoka, Yuka Kato, Shogo Taniguchi, Mayu Ogawa, Hiroshi Fujimoto, Aiko Okamura, Keisuke Shibata, Kaeko Nakamura, Hiroyuki Uchida, Shutaro Nakaaki, Hiroyuki Koumi, Masaru Mimura, Kenji Fukui, Jin Narumoto | Int Psychogeriatr | 10.1017/S104161021400088X | 2014/8 | 26 | 8 | 1387 | 1397 | | | 京都府立医科大学 | | H26 |
| 52 | テレビ電話中の表情分析と顔動作解析 | 浅田太郎, 吉冨康成, 加藤亮太, 田伏正佳, 成本迅 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2014論文集 | | 2014 | | | 793 | 796 | 無 | | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H26 |
| 53 | Device-Free Passive Localization from Signal Subspace Eigenvectors | J. Hong and T. Ohtsuki | IEEE Global Communications Conference (GLOBECOM2014) | 10.1109/GLOCOM.2014.7036846 | 2014/12 | | | 430 | 435 | | | 慶應義塾大学理工学部 | | H26 |
| 54 | (キーノート講演) Wireless Health Monitoring | T.Otsuki | 7th AUN/SEED-Net International Conference on Electrical and Electronic Engineering | | 2014/11 | 97 | 8 | 702 | 706 | | | 慶應義塾大学理工学部 | | H26 |
| 55 | Detecting Unexpected Fall Using Array Antenna | Y. Hino, J. Hong, and T. Ohtsuki | IEEE International Symposium on Personal Indoor and Mobile Radio Communications (PIMRC2014) | 10.1109/PIMRC.2014.7136519 | 2014/9 | 192 | | 81 | 100 | | | 慶應義塾大学理工学部 | | H26 |
| 56 | ワイヤレスヘルスモニタリング | 大槻知明 | 電子情報通信学会誌 | | 2014/8 | 97 | 8 | 702 | 706 | | | 慶應義塾大学理工学部 | | H26 |
| 57 | Long-term course of cognitive function in chronically hospitalized patients with schizophrenia transitioning to community-based living | Nemoto T, Niimura H, Ryu Y, Sakuma K, Mizuno M | Schizophrenia Research | 10.1016/j.schres.2014.03.015 | 2014/5 | 155 | 1-3 | 90 | 95 | | | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 58 | Aging and Morita Therapy: Psychotherapy for the Elderly | Niimura H, Fujii C, Semenova ND, Kashima H, Mizuno M | Social and Clinical Psychiatry | | 2014 | 24 | 1 | 61 | 65 | | | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 59 | 神経認知障害群－アルツハイマー病による認知症または軽度認知障害を中心に－ | 沖村 宰, 田渕肇, 三村 將 | 臨床精神医学 | | 2014 | 43 | | 173 | 179 | | | 慶應義塾大学 | | H26 |
| 60 | Imaizumi T, Aizawa T, Segawa C, Shimada M, Tsuruga K, Kawaguchi S, Matsumiya T, Yoshida H, Joh K, Tanaka H. Toll-like receptor 3 signaling contributes to the expression of a neutrophil chemoattractant, CXCL1 in human mesangial cells. Clin Exp Nephrol 2015 Oct;19(5):761-70. doi: 10.1007/s10157-014-1060-4. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 61 | Quantitative evaluation of facial expressions and movements of persons while using video phone | Asada T, Yoshitomi Y, Kato R, Tabuse M, and Narumoto J | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | 10.2991/jrnal.2015.2.2.10 | 2015/9 | 2 | 2 | 111 | 114 | | | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H27 |
| 62 | Quantitative evaluation of facial expressions and movements of persons while using video phone | Asada T, Yoshitomi Y, Kato R, Tabuse M, and Narumoto J | Proc. of Int. Conf. on Artificial Life and Robotics | | 2015 | | | 294 | 297 | | | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H27 |
| 63 | Activity Recognition Using Array Antenna | Y. Hino, J. Hong, and T. Ohtsuki | IEEE International Conference on Communications (ICC'2015) | 10.1109/ICC.2015.7248372 | 2015/6 | 5 | | 507 | 511 | | | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 64 | Greater than the sum of its parts: δ improves upon a battery's diagnostic performance | Royall DR, Matsuoka T, Palmer RF, Kato Y, Taniguchi S, Ogawa M, Fujimoto H, Okamura A, Shibata K, Nakamura K, Nakaaki S, Koumi H, Mimura M, Fukui K, Narumoto J | Neuropsychology | 10.1037/neu0000153 | 2015/9 | 29 | 5 | 683 | 692 | | 有 | 京都府立医科大学、慶應義塾大学医学部 | | H27 |
| 65 | Greater than the sum of its parts: δ can be constructed from item-level data | Royall DR, Matsuoka T, Palmer RF, Kato Y, Taniguchi S, Ogawa M, Fujimoto H, Okamura A, Shibata K, Nakamura K, Nakaaki S, Koumi H, Mimura M, Fukui K, Narumoto J | J Alzheimers Dis | 10.3233/JAD-150250 | 2015 | 49 | 2 | 571 | 579 | | 有 | 京都府立医科大学、慶應義塾大学医学部 | | H27 |
| 66 | 医療からみた日本における意思決定支援の課題と展望 | 成本迅 | 千葉大学法学論集 | | 2015 | 30 | | 224 | 230 | 無 | | 京都府立医科大学 | | H27 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67 | Power-absorption-based Model for Power Compensation in WLAN Positioning Using Smartphone | M. Yamamoto and T. Ohtsuki | Trans. of IEICE | 10.1587/transcom.E98.B.1125 | 2015/6 | E98.B | 6 | 1125 | 1132 | | | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 68 | Signal Eigenvector-based Device-Free Passive Localization using Array Sensor | J. Hong and T. Ohtsuki | IEEE Trans. on Vehicular Technology | 10.1109/TVT.2015.2397436 | 2015/4 | 64 | 4 | 1354 | 1363 | 有 | | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 69 | Effect of ninjin'yoeito, a Kampo (traditional Japanese) medicine, on cognitive impairment and depression in patients with Alzheimer' s disease: 2 years of observation | Kudoh C, Arita R, Honda M, Kishi T, Komatsu Y, Asou H,Mimura M | Psychogeriatrics | 10.1111/psyg.12125 | 2015/4 | 16 | 2 | 85 | 92 | 有 | | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 70 | Non-pharmacological management for patients with frontotemporal dementia: a systematic review | Shinagawa S, Nakajima S, Plitman E, Graff-Guerrero A,Mimura M, Nakayama K, Miller BL | Journal of Alzheimers Disease | 10.3233/JAD-142109 | 2015 | 45 | 2 | 283 | 293 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 71 | δ Scores are exportable across cultural and linguistic boundaries | Royall DR, Palmer RF, Matsuoka T, Kato Y, Taniguchi S, Ogawa M, Fujimoto H, Okamura A, Shibata K, Nakamura K, Nakaaki S, Koumi H,Mimura M , Fukui K, Narumoto J | Journal of Alzheimer' s Disease | 10.3233/JAD-150261 | 2015 | 49 | 2 | 561 | 570 | 有 | 有 | 慶應義塾大学<br>京都府立大学 | | H27 |
| 72 | Comparisons of guardianship laws and surrogate decision-making practices in China, Japan, Thailand and Australia: a review by the Asia Consortium,International Psychogeriatric Association (IPA) capacity taskforce. | Tsoh J, Peisah C, Narumoto J, Wongpakaran N, Wongpakaran T, O'Neill N, Jiang T, Ogano S, Mimura M, Kato Y, Chiu H | International Psychogeriatrics | 10.1017/S104161021400266X | 2015 | 27 | 6 | 1029 | 1037 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 73 | Predicting the neural effect of switching from donepezil to galantamine based on single-photon emission computed tomography findings in patients with Alzheimer's disease | Oka M, Nakaaki S, Negi A, Miyata J, Nakagawa A, Hirono N, Mimura M | Psychogeriatrics | 10.1111/psyg.12132 | 2015/6 | 16 | 2 | 121 | 134 | 有 | | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 74 | Discrepancy in psychological attitudes toward living donor liver transplantation between recipients and donors | Hayashi K, Uchida H, Takaoka C, Izawa Y, Shinoda M, Obara H, Itano O, Shirahase J, Tanabe M, Kitagawa Y, Mimura M | Transplantation | 10.1097/TP.0000000000000800 | 2015/5 | 99 | 12 | 2551 | 2555 | 有 | | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 75 | Psychological factors at early stage of treatment as predictors of receiving chemotherapy at the end of life | Fujisawa D, Temel JS, Traeger L, Greer JA, Lennes IT, Mimura M, Pirl WF | Psychooncology | 10.1002/pon.3840 | 2015/5 | 24 | 12 | 1731 | 1737 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 76 | The Japanese version of the Rapid Dementia Screening Test is effective compared to the clock-drawing test for detecting patients with mild Alzheimer's disease | Moriyama Y, Yoshino A, Yamanaka K, Kato M, Muramatsu T | Psychogeriatrics | 10.1111/psyg.12144 | 2015/7 | 16 | 4 | 233 | 239 | 有 | | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 77 | 障害者に対する運転リハビリテーション総論 | 藤田佳男, 三村將, 飯島 節 | 作業療法ジャーナル | 10.11477/mf.5001200119 | 2015/2 | 49 | 2 | 94 | 99 | | | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 78 | 強迫性障害に対する遠隔医療：レビューと取り組みの紹介 [in Japanese]Telemedicine for obsessive compulsive disorder : A review and our approach [in Japanese] | 垂水沙梨, 岸本泰士郎 | 精神科治療学 | | 2016/3 | 31 | 3 | 407 | 410 | | | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 79 | Facial expression analysis while using video phone | Asada T, Yoshitomi Y, Tsuji A, Kato R, Tabuse M, Kuwahara N, and Narumoto J | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | 10.2991/jrnal.2016.2.4.12 | 2016/3 | 2 | 4 | 258 | 262 | 有 | | 京都府立大学, 京都府立医科大学 | | H27 |
| 80 | 口領域抽出変動にロバストなテレビ電話中の表情分析 | 浅田太郎、吉冨康成、加藤亮太、田伏正佳、成本迅 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2015論文集 | | 2015 | | | 187 | 190 | | | 京都府立大学, 京都府立医科大学 | | H27 |
| 81 | Medication Adherence. (Edit : Stolerman IP, Price LH) | Watanabe K, Suzuki T | Encyclopedia of Psychoparmacology Second Edition | | 2015 | | | 944 | 948 | | | 杏林大学 | | H27 |
| 82 | 精神医療におけるShared Decision Making と意思決定支援 | 青木裕見, 渡邊衡一郎 | リハビリテーション研究 | | 2015 | 163 | | 10 | 15 | | | 杏林大学 | | H27 |
| 83 | 多様なうつ病の治療における薬物療法の役割と今後の可能性 | 菊地俊暁 | 臨床精神薬理 | | 2015 | 18 | 11 | 37 | 43 | | | 杏林大学 | | H27 |
| 84 | 精神療法・カウンセリングの副作用－認知行動療法の有害事象と実践に際しての留意点 | 岡本泰昌, 神人蘭, 吉野敦雄, 菊地俊暁, 中野有美, 堀越勝, 大野裕 | 精神神経学雑誌 | | 2015/6 | 117 | 6 | 445 | 451 | | | 杏林大学 | | H27 |
| 85 | 第1世代と第2世代抗精神病薬の立ち位置と使い分け | 渡邊衡一郎 | 精神科 | | 2015 | 26 | 4 | 300 | 308 | | | 杏林大学 | | H27 |
| 86 | 若手医師に薬物療法を行う上で考えてほしいこと | 渡邊衡一郎 | 臨床精神医学 | | 2015 | 44 | 6 | 829 | 836 | | | 杏林大学 | | H27 |
| 87 | Kasai K, Hashiguchi K, Takahashi H, Kasai A, Takeda S, Nakano M, Ishikawa I, Nakamura T, Miura T. Recombinant production and evaluation of an antibacterial L-amino acid oxidase derived from flounder Platichthys stellatus. Appl Microbiol Biotechnol. 2015 Aug;99(16):6693-6703. doi: 10.1007/s00253-015-6428-1. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 88 | Murashita K. Improvement of healthy longevity and well-being for the elderly by analyzing "big health data" -Challenge of Hirosaki University COI toward development of an innovative strategy for disease prediction and prevention-. JOHO KANRI 58: 728-736 2016. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 89 | Daimon M, Kamba A, Murakami H, Takahashi K, Otaka H, Makita K, Yanagimachi M, Terui K, Kageyama K, Nigawara T, Sawada K, Takahashi I, Nakaji S. Association between pituitary-adrenal axis dominance over the renin-angiotensin-aldosterone system and hypertension. J Clin Endocrinol Metab 5: jc20153568 2016. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 90 | Satake R, Sugawara N, Sato K, Takahashi I, Nakaji S, Yasui-Furukori N, Fukuda S. Prevalence and Predictive Factors of Irritable Bowel Syndrome in a Community-dwelling Population in Japan. Intern Med 54: 3105-3112. 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 91 | Tomita T, Yasui-Furukori N, Sugawara N, Takahashi I, Sawada K, Nakamura K. The association between the subjective memory complaints scale and depressive state and cognitive impairment: a factor analysis. Neuropsychiatr Dis Treat 11: 2935-2941 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 92 | Sasaki E, Tsuda E, Yamamoto Y, Maeda S, Inoue R, Chiba D, Fujita H, Takahashi I, Umeda T, Nakaji S, Ishibashi Y. Serum hyaluronic acid concentration predicts the progression of joint space narrowing in normal knees and established knee osteoarthritis - a five-year prospective cohort study. Arthritis Res Ther 10: 283 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 93 | Oishi K, Tsuda E, Yamamoto Y, Maeda S, Sasaki E, Chiba D, Takahashi I, Nakaji S, Ishibashi Y. The Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score reflects the severity of knee osteoarthritis better than the revised Knee Society Score in a general Japanese population. Knee S0968-0160(15)00180-00185 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 94 | Tsuruga K, Sugawara N, Sato Y, Saito M, Furukori H, Nakagami T, Nakamura K, Takahashi I, Nakaji S, Yasui-Furukori N. Dietary patterns and schizophrenia: a comparison with healthy controls. Neuropsychiatr Dis Treat 11: 1115-1120 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 95 | 中路重之、高橋一平、沢田かほり. がんの疫学　過去、現在、未来. 臨床腫瘍プラクティス 11: 240-244 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 96 | Hama Y, Yabe I, Wakabayashi K, Kano T, Hirotani M, Oba K, Iwakura Y, Utsumi J, Sasaki H. Level of plasma neuregulin-1 SMDF is reduced in patients with idiopathic Parkinson's disease. Neurosci Lett 587: 17-21 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 97 | Tanji K, Odagiri S, Miki Y, Maruyama A, Nikaido Y, Mimura J, Mori F, Warabi E, Yanagawa T, Ueno S, Itoh K, Wakabayashi K. p62 deficiency enhances α-synuclein pathology in mice. Brain Pathol 25: 552-564 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 98 | Oyanagi K, Yamazaki M, Hashimoto T, Asakawa M, Wakabayashi K, Takahashi H. Hippocampal sclerosis in the parkinsonism-dementia complex of Guam: quantitative examination of neurons, neurofibrillary tangles, and TDP-43 immunoreactivity in CA1. Neuropathology 35: 224-235 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 99 | Yamazaki H, Tanji K, Wakabayashi K, Matsuura S, Itoh K. Role of the Keap1/Nrf2 pathway in neurodegenerative diseases. Pathol Int1 65: 210-219 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 100 | Nakamura K, Mori F, Tanji K, Miki Y, Yamada M, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K. Isopentenyl diphosphate isomerase, a cholesterol synthesizing enzyme, is localized in Lewy bodies. Neuropathology 35: 432-440 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 101 | Kon T, Miki Y, Tanji K, Mori F, Tomiyama M, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K. Localization of nuclear receptor subfamily 4, group A, member 3 (NR4A3) in Lewy body disease and multiple system atrophy. Neuropathology 35: 503-509 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 102 | Haga R, Sugimoto K, Nishijima H, Miki Y, Suzuki C, Wakabayashi K, Baba M, Yagihashi S, Tomiyama M. Clinical utility of skin biopsy in differentiating between Parkinson's deisease and multiple system atrophy. Parkinsons Dis. 2015;2015:167038. doi: 10.1155/2015/167038. | 弘前大学 | | H27 |
| 103 | Takahashi M, Ikemura M, Oka T, Uchihara T, Wakabayashi K, Kakita A, Takahashi H, Yoshida M, Toru S, Kobayashi T, Orimo S. Direct quantitative correlation between cardiac MIBG uptake and remaining axons in cardiac sympathethic nerve in Lewy body disease. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2015 Sep;86(9):939-944. doi: 10.1136/jnnp-2015-310686. | 弘前大学 | | H27 |
| 104 | Nakamura K, Mori F, Kon T, Tanji K, Miki Y, Tomiyama M, Kurotaki H, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Yamada M, Wakabayashi K. Filamentous aggregations of phosphorylated α-synuclein in Schwann cells (Schwann cell cytoplasmic inclusions) in multiple system atrophy. Acta Neuropathol Comm 3: 29 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 105 | Miki Y, Tanji K, Mori F, Sakamoto N, Wakabayashi K. An autopsy case of refractory epilepsy due to unilateral polymicrogyria in a 65-year-old male: Histogenesis of four-layered polymicrogyric cortex. Neuropathology 35: 569-574 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 106 | Suenaga M, Furuta A, Wakabayashi K, Saibara T, Matsunaga Y. Monocytic elastase-mediated apolipoprotein-E degradation: Potential involvement of microglial elastase-like proteases in apolipoprotein-E proteolysis in brains with Alzheimer's disease. BBA - Proteins and Proteomics 1854: 1010-1018 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 107 | Shiba Y, Mori F, Yamada J, Migita K, Nikaido Y, Wakabayashi K, Kaneko S, Okada M, Hirose S, Ueno S. Spontaneous epileptic seizures in transgenic rats harboring a human ADNFLE missense mutation in the β2-subunit of the nicotinic acetylcholine receptor. Neurosci Res 100: 46-54 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 108 | Mori F, Tanji K, Miki Y, Toyoshima Y, Yoshida M, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K. G protein-coupled receptor 26 immunoreactivity in intranuclear inclusions associated with polyglutamine and intranuclear inclusion body diseases. Neuropathology. 2016 Feb;36(1):50-55. doi: 10.1111/neup.12237. | 弘前大学 | | H27 |
| 109 | Tanji K, Miki Y, Maruyama A, Mimura J, Matsumiya T, Mori F, Imaizumi T, Itoh K, Wakabayashi K. Trehalose intake induces chaperone molecules along with autophagy in a mouse model of Lewy body disease. Biochem Biophys Res Com 465: 746-752 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 110 | Mori F, Miki Y, Tanji K, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K. Sortilin-related receptor CNS expressed 2 (SorCS2) localizes in Bunina bodies in amyotrophic lateral sclerosis. Neurosci Lett 608: 6-11 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 111 | Nakamura K, Mori F, Tanji K, Miki Y, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Yamada M, Wakabayashi K. α-Synuclein pathology in the cranial and spinal nerves in Lewy body disease. Neuropathology. 2016 Jun;36(3):262-269. doi: 10.1111/neup.12269. | 弘前大学 | | H27 |
| 112 | Tanji H, Okada H, Igari R, Yamaguchi Y, Sato H, Takahashi Y, Koyama S, Arawaka S, Wada M, Kawanami T, Wakabayashi K, Kato T. Inflammatory pseudotumor of the brain parenchyma with IgG4 hypergammaglobulinemia. Internal Medicine. 2016;55(14):1911-1916. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5854. | 弘前大学 | | H27 |
| 113 | Tanji K, Miki Y, Maruyama A, Mori F, Mimura J, Itoh K, Kamitani T, Wakabayashi K. The role of NUB1 in α-synuclein degradation in Lewy body disease model mice. Biochem Biophys Res Com. 2016 Feb 12;470(3):635-642. doi: 10.1016/j.bbrc.2016.01.093. | 弘前大学 | | H27 |
| 114 | Akiyama M, Takino S, Sugano Y, Yamada T, Nakata A, Miura T, Fukumoto M, Yamashiro H. Effect of seasonal changes on testicular morphology and the expression of circadian clock genes in Japanese wood mice (Apodemus speciosus). J Biol Regul Homeost Agents 29: 589-600 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 115 | Abe Y, Miura T, Yoshida MA, Ujiie R, Kurosu Y, Kato N, Katafuchi A, Tsuyama N, Ohba T, Inamasu T, Shishido F, Noji H, Ogawa K, Yokouchi H, Kanazawa K, Ishida T, Muto S, Ohsugi J, Suzuki H, Ishikawa T, Kamiya K, Sakai A. Increase in dicentric chromosome formation after a single CT scan in adults. Sci Rep 5: 13882 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 116 | Kasai K, Ishikawa T, Nakamura T, Miura T. Antibacterial properties of L-amino acid oxidase: mechanisms of action and perspectives for therapeutic applications. Appl Microbiol Biotechnol 2015 Oct;99(19):7847-7857. doi: 10.1007/s00253-015-6844-2. | 弘前大学 | | H27 |
| 117 | Ozaki, I Kurata K. Effects of voluntary control of respiration on excitability of the primary motor hand area, evaluated by end-tidal CO2 monitoring. Clin. Neurophysiol 126: 2162-2169 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 118 | Watakabe I, Ohtsuka M, Kinoshita M, Takaji M, Isa K, Mizukami H, Ozawa K, Isa T, Yamamori T. Comparative analyses of adeno-associated viral vector serotypes 1, 2, 5, 8 and 9 in marmoset, mouse and macaque cerebral cortex. Neurosci. Res. 93: 144-157 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 119 | Kinoshita, M. and Isa, T.: Potential of Optogenetics for the Behavior Manipulation of Non-human Primates. In: "Optogenetics - Light-Sensing Proteins and Their Applications" (ed. by Yawo, H.) Springer Japan, Tokyo: 279-290 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 120 | Hirose S, Ono HK, Omoe K, Hu DL, Aasno K, Yamamoto Y, Nakane A. Goblet cells are involved in translocation of staphylococcal enterotoxin A in the intestinal tissue of house musk shrew (Suncs murinus). J Appl Microbiol, 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 121 | Ono HK, Sato'o Y, Narita K, Naito I, Hirose S, Hisatsune J, Asano K, Hu D-L, Omoe K, Sugai M, Nakane A. Identification and characterization of a novel staphylococcal emetic toxin. Appl Environ Microbiol 81: 7034-7040 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 122 | Asano K, Yoshimura S, Nakane A. Adipose tissue-derived mesenchymal stem cells attenuate staphylococcal enterotoxin A-induced toxic shock. Infect Immun 83: 3490-3496 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 123 | Narita K, Hu D-L, Asano K, Nakane A. Vaccination with non-toxic mutant toxic shock syndrome toxin-1 induces IL-17-depednent protection against Staphylococcus aureus infection. Pathog Dis 73: ffv023 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 124 | Sasaki A, Nagatomo K, Ono K, Yamamoto T, Otsuka Y, Teshima T, Yamada K. Uptake of a fluorescent L-glucose derivative 2-NBDLG into three-dimensionally accumulating insulinoma cells in a phloretin-sensitive manner. Human Cell 29: 37-45 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 125 | 小野幸輝、佐々木綾子、山田勝也.「三次元細胞集塊「スフェロイド」の尽きない魅力」. 月刊「化学工業」66: 34-37 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 126 | 山田勝也.「がん細胞を可視化する蛍光L-グルコース誘導体（fLG）」日本分子イメージング学会機関誌 9: 23-26 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 127 | 山田勝也.「グルコーストランスポーター」生化学辞典、田中啓二他編、㈱朝倉書店、東京. | 弘前大学 | | H27 |
| 128 | Onda K, Yoshida H, Hayakari R, Xing F, Wang L, Matsumiya T, Kawaguchi S, Murakami M, Imaizumi T. Desferrioxamine, an iron chelator, induces CXCL8 expression in U373MG Human astrocytoma cells. Hirosaki Med J 2016. 66(2-4);127-134. https://doi.org/10.32216/hirosakiigaku.66.2-4_127 | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 129 | Imaizumi T, Yoshida H, Hayakari R, Xing F, Wang L, Matsumiya T, Tanji K, Kawaguchi S, Murakami M, Tanaka H. Interferon-stimulated gene (ISG) 60, as well as ISG56 and ISG54, positively regulates TLR3/IFN-α/STAT1 axis in U373MG human astrocytoma cells. Neurosci Res 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 130 | Imaizumi T, Sakashita N, Mushiga Y, Yoshida H, Hayakari R, Xing F, Wang L, Matsumiya T, Tanji K, Chiba Y, Furudate K, Kawaguchi S, Murakami M, Tanaka H. Desferrioxamine, an iron chelator, inhibits CXCL10 expression induced by polyinosinic-polycytidylic acid in U373MG human astrocytoma cells. Neurosci Res 94: 10-16 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 131 | Meng P, Yoshida H, Tanji K, Matsumiya T, Xing F, Hayakari R, Wang L, Tsuruga K, Tanaka H, Mimura J, Kosaka K, Itoh K, Takahashi I, Kawaguchi S, Imaizumi T. Carnosic acid attenuates apoptosis induced by amyloid-β 1-42 or 1-43 in SH-SY5Y human neuroblastoma cells. Neurosci Res 94: 1-9 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 132 | Chiba M, Watanabe N, Watanabe M, Sakamoto M, Sato A, Fujisaki M, Kubota S, Monzen S, Maruyama A, Nanashima N, Kashiwakura I, Nakamura T. Exosomes derived from SW480 colorectal cancer cells promote cell migration in HepG2 hepatocellular cancer cells via the mitogen-activated protein kinase pathway. International Journal of Oncology 48: 305-312 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 133 | 千葉満、久保田栞、門前暁、丸山敦史.「血清エキソソームの回収法とmicroRNA解析法」検査と技術 43 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 134 | Itoh K, Ye P, Matsumiya T, Tanji K, Ozaki T. Emerging functional cross-talk between the Keap1-Nrf2 system and mitochondria. J Clin Biochem Nutr 56: 91-97 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 135 | Mimura J, Itoh K. Role of Nrf2 in the pathogenesis of atherosclerosis. Free Radic Biol Med 88: 221-232 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 136 | Nikaido Y, Yamada J, Migita K, Shiba Y, Furukawa T, Nakashima T, Ueno S. cis-3-Hexenol and trans-2-hexenal mixture prevents development of PTSD-like phenotype in rats. Behav Brain Res 297: 251-258 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 137 | Ozaki T, Nakazawa M, Yamashita T, Ishiguro S. Delivery of topically applied calpain inhibitory peptide to the posterior segment of the rat eye. PLoS One 10: e0130986 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 138 | Nishijima H, Ueno T, Suzuki C, Baba M, Tomiyama M. Eyelid ptosis enhanced after steroid pulse therapy in ocular myasthenia gravis: a case report. Neurol Sci 36: 1055-1056 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 139 | Kon T, Miki Y, Arai A, Funamizu Y, Ueno T, Haga R, Nishijima H, Suzuki C, Nunomura J, Baba M, Oyama Y, Shiga Y, Kitamoto T, Tomiyama M. Creutzfeldt-Jakob disease with homozygous M232R mutation: A case report. J Neurol Sci 352: 108-109 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 140 | Nishijima H, Haga R, Suzuki C, Tomiyama M. Asymmetric posterior reversible encephalopathy syndrome due to hypertensive encephalopathy. Intern Med 54: 993-994 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 141 | Nishijima H, Suzuki C, Tomiyama M. Bilateral episcleritis followed by right optic perineuritis with severe visual loss: a case report. Neurol Sci 36: 2139-2140 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 142 | Kon T, Nishijima H, Kon H, Watanabe M, Tomiyama M. Erdheim-Chester disease: yellow-tinge appearance on neuroendoscopic imaging. Neurol Sci 36: 2159-2160 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 143 | Kon T, Nishijima H, Haga R, Funamizu Y, Ueno T, Arai A, Suzuki C, Nunomura J, Baba M, Tomiyama M. Lateral medullary infarction masquerading as involvement of spinal cord. Neurol Sci 6: 1937-1938 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 144 | Kon T, Nishijima H, Haga R, Funamizu Y, Ueno T, Arai A, Suzuki C, Nunomura J, Baba M, Takahashi T, Tomiyama M. Hypertrophic pachymeningitis accompanying neuromyelitis optica spectrum disorder: A case report. J Neuroimmunol 287: 27-28 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 145 | Kon T, Misumi Y, Nishijima H, Honda M, Suzuki C, Baba M, Inomata Y, Obayashi K, Ando Y, Tomiyama M. Effects of liver transplantation and tafamidis in hereditary transthyretin amyloidosis caused by transthyretin Leu55Pro mutation: a case report. Amyloid 22: 203-204 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 146 | 上野伸哉、古川智範、二階堂義和、尾崎拓、下山修司、柴祐子、山田順子. GABAA受容体応答の制御機構. Hirosaki Medical Journal. | 弘前大学 | | H27 |
| 147 | Uruha A, Hayashi YK, Oya Y, Mori-Yoshimura M, Kanai M, Murata M, Kawamura M, Ogata K, Matsumura T, Suzuki S, Takahashi Y, Kondo T, Kawarabayashi T, Ishii Y, Kokubun N, Yokoi S, Yasuda R, Kira JI, Mitsuhashi S, Noguchi S, Nonaka I, Nishino I. Necklace cytoplasmic bodies in hereditary myopathy with early respiratory failure. J Neurol Neurosurg Psychiatry 86: 483-489 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 148 | 瓦林毅、東海林幹夫. 認知症の血液・髄液診断マーカー. Mebio 32: 36-45 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 149 | 東海林幹夫. 生化学的検査. 臨床神経学 改訂6版 南山堂 東京 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 150 | 東海林幹夫. 認知症. JMED治療法便覧2016/02/05～私の治療～ 水澤英洋編 日本医事新報社2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 151 | 東海林幹夫. 精神・神経疾患の遺伝学研究・診療各論 アルツハイマー病. 遺伝子医学MOOK別冊 最新遺伝医学研究と遺伝カウンセリング. 戸田達史編 メディカルドウ 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 152 | 東海林幹夫. アルツハイマー病の新たな診断基準 各種難病の最新治療マニュアル. 水澤英洋編. 日本プランニングセンター. | 弘前大学 | | H27 |
| 153 | 鈴木義之、東海林幹夫、瀬川正也、服部信孝、平田孝一.(監修、編集)Annals of Neurology 日本語版8 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 154 | 東海林幹夫. オピニオン、10年後のアルツハイマー病の研究を展望.第34回日本認知症学会学術集会に向けて. Together 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 155 | 東海林幹夫. ドクターインタビュー, T-817MA News Letter 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 156 | 東海林幹夫. 母校に望む. 医学部刀城クラブ会報編集委員会. 238 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 157 | 東海林幹夫. Annals of Neurology日本語版 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 158 | 東海林幹夫. 第30回全国研究集会全国研究集会報告. 認知症の人と家族の会.2015年. | 弘前大学 | | H27 |
| 159 | 東海林幹夫. テレビに出演して. 医学部ウオーカー第75 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 160 | 東海林幹夫. 第34回日本認知症学会学術集会を開催して. 医学部ウオーカー 75 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 161 | 東海林幹夫. 新春随想 第34回日本認知症学会をおえて. 青森県医師会誌新年号2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 162 | Sugawara N, Yasui-Furukori N, Takahashi I, Matsuzaka M, Nakaji S. Age and gender differences in the factor structure of the Center forEpidemiological Studies Depression Scale among Japanese working individuals.Comprehensive Psychiatry 56: 272-278 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 163 | Yasui-Furukori N, Hashimoto K, Tsuruga K, Nakamura K. Comorbidity of Stevens-Johnson syndrome and neutropenia associated with lamotrigine: a case report.Gen Hosp Psychiatry 36: 761 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 164 | Ishioka M, Yasui-Furukori N, Sugawara N, Furukori H, Kudo S, and Nakamura K. Hyperprolactinemia during antipsychotics treatment increases the level of coagulation markers. Neuropsychiatr Dis Treat 11: 477-484 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 165 | Tomita T, Sato Y, Nakagami T, Tsuchimine S, Kaneda A, Kaneko S, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Effects of age on paroxetine efficacy in patients with major depressive disorder who do not exhibit an early response to treatment. Clin Neuropharmacol 38: 425-431 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 166 | Sugawara N, Metoki N, Hagii J, Saito S, Shiroto H, Tomita T, Yasujima M, Okumura K, Yasui-Furukori N. Effect of depressive symptoms on the length of hospital stay among patients hospitalized for acute stroke in Japan. Neuropsychiatric Disease and Treatment 11: 2551-2556 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 167 | Tomita T, Kaneda A, Nakagami T, Kaneko S, Yasui-Furukori N. Changes in the Temperament and Character Inventory dimensions after paroxetine treatment in patients with major depressive disorder. Hum Psychopharmacol 30: 334-340 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 168 | Tsuchimine S, Saruwatari J, Kaneda A, Yasui-Furukori N. ABO Blood Type and Personality Traits in Healthy Japanese Subjects. PLoS One 1510 2015. May 15;10(5):e0126983. doi: 10.1371/journal.pone.0126983. | 弘前大学 | | H27 |
| 169 | Tanamachi Y, Saruwatari J, Noai M1, Kamihashi R, Soraoka H, Yoshimori Y, Ogusu N, Oniki K, Yasui-Furukori N, Ishitsu T, Nakagawa K. Possible association between moderate intellectual disability and weight gain in valproic acid-treated patients with epilepsy. Neuropsychiatr Dis Treat 11: 1007-1014 2015. | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 170 | Nakashima H, Oniki K, Nishimura M, Ogusu N, Shimomasuda M, Ono T, Matsuda K, Yasui-Furukori N, Nakagawa K, Ishitsu T, Saruwatari J. Determination of the Optimal Concentration of Valproic Acid in Patients with Epilepsy: A Population Pharmacokinetic-Pharmacodynamic Analysis. PLoS One 2010 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 171 | Kudo S, Tomita T, Sugawara N, Sato Y, Ishioka M, Tsuruga K, Nakagami T, Nakamura K, Yasui-Furukori N. The low level of understanding of depression among patients treated with antidepressants: a survey of 424 outpatients in Japan. Neuropsychiatric Disease and Treatment 11: 2811-2816 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 172 | Sugawara N, Ishioka M, Tsuchimine S, Tsuruga K, Sato Y, Furukori H,Kudo S,Tomita T,Nakagami T,Yasui-Furukori N. Attitudes toward Placebo-Controlled Clinical Trials of Patients with Schizophrenia in Japan. PLOS ONE 2015. Nov 24;10(11):e0143356. doi: 10.1371/journal.pone.0143356. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 173 | Hayashi Y, Watanabe T, Aoki A, Ishiguro S, Ueda M, Akiyama, Kato K, Inoue Y, Tsuchimine S, Yasui-Furukori N, Shimoda K. Factors Affecting Steady-state Plasma Concentrations of Enantiomeric Mirtazapine and its Desmethylated Metabolites in Japanese Psychiatric Patients.Steady-state Concentrations of Enantiomeric Mirtazapin. phamacopsychiatry 48: 279-285 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 174 | 佐藤靖、古郡規雄. 循環器疾患患者精神科臨床エキスパート（医学書院） 166-180 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 175 | 古郡規雄. 薬物動態と相互作用. 精神科治療学 30: 408-412 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 176 | 坂本由唯、古郡規雄. 向精神薬による内分泌障害. 日本医事新報 4772: 26-30 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 177 | 古郡規雄. Ketamineの効果と問題点から何を学ぶか. 臨床精神薬理（星和書店） 18: 1293-1299 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 178 | 古郡規雄. ケタミンの薬物作用について教えてください. DEPRESSION JOURNAL 3: 22-23 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 179 | 石岡雅道、古郡規雄. 向精神薬の副作用を考える.深部静脈血栓症について. 臨床薬理（第36回日本臨床薬理学会学術総会プログラム・抄録集 46: 114 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 180 | 古郡規雄、越智紳一郎、田尻美寿々、井上義政、鈴木雄太郎、土嶺章子. エスシタロプラムの定常状態血中濃度とCYP2C19. 多型との関係臨床薬理（第36回日本臨床薬理学会学術総会プログラム・抄録集 46: 140 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 181 | 古郡規雄、土嶺章子、井上義政、猿渡淳二. エスシタロプラムにおける投与量と定常状態血中濃度の直線関係について. 臨床薬理（第36回日本臨床薬理学会学術総会プログラム・抄録集 46: 239 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 182 | 古郡規雄. 統合失調症の身体合併症予防 患者さんのいのちと健康を守る. 第19回日本精神保健・予防学会学術集会プログラム・抄録集 39 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 183 | 古郡規雄. エスシタロプラムの安全性と副作用およびその対策. エスシタロプラムのすべて（先端医学社）11: 192-196 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 184 | 中村和彦. 発達障害を含む児童・思春期精神疾患の薬物治療ガイドライン作成. 脳とこころの健康大国実現プロジェクト 2015. | | | 弘前大学 | | H27 |
| 185 | Ohara T, Ninomiya T, Hata J, Ozawa M, Yoshida D, Mukai N, Nagata M, Iwaki T, Kitazono T, Kanba S, Kiyohara Y, Midlife and Late-Life Smoking and Risk of Dementia in the Community: the Hisayama Study, J Am Geriatr Soc, 63, 2332-2339, 2015 | | | 九州大学 | | H27 |
| 186 | Hirano A, Ohara T, Takahashi A, Aoki M, Fuyuno Y, Ashikawa K, Morihara T, Takeda M, Kamino K, Oshima E, Okahisa Y, Shibata N, Arai H, Akatsu H, Ikeda M, Iwata N, Ninomiya T, Monji A, Kitazono T, Kiyohara Y, Kubo M, Kanba S, A genome-wide association study of late-onset Alzheimer's disease in a Japanese population, Psychiatr Genet, 25, 139-146, 2015 | | | 九州大学 | | H27 |
| 187 | Mukai N, Ninomiya T, Hata J, Hirakawa Y, Ikeda F, Fukuhara M, Hotta T, Koga M, Nakamura U, Kang D, Kitazono T, Kiyohara Y, Association of hemoglobin A1c and glycated albumin with carotid atherosclerosis in community-dwelling Japanese subjects: the Hisayama Study, Cardiovasc Diabetol, 14, 84, 2015 | | | 九州大学 | | H27 |
| 188 | Gotoh S, Hata J, Ninomiya T, Hirakawa Y, Nagata M, Mukai N, Fukuhara M, Ikeda F, Ago T, Kitazono T, Kiyohara Y, Hematocrit and the risk of cardiovascular disease in a Japanese community: the Hisayama Study, Atherosclerosis, 242, 199-204, 2015 | | | 九州大学 | | H27 |
| 189 | Kondo H, Ninomiya T, Hata J, Hirakawa Y, Yonemoto K, Arima H, Nagata M, Tsuruya K, Kitazono T, Kiyohara Y, Angiotensin I-converting enzyme gene polymorphism enhances the effect of hypercholesterolemia on the risk of coronary heart disease in a general Japanese population: the Hisayama Study, J Atheroscler Thromb, 22, 390-403, 2015 | | | 九州大学 | | H27 |
| 190 | Yokoyama H, Sasaki A, Yoshizawa T, Kijima H, Hakamada K, Yamada K. Imaging hamster model of bile duct cancer in vivo using fluorescent L-glucose derivatives. Human Cell 2016. 2016 Jul;29(3):111-21. doi: 10.1007/s13577-015-0131-5 | | | 弘前大学 | | H28 |
| 191 | 山田勝也. "Area-specific dopamine receptor expression of astrocytes in basal ganglia". J. Physiol. Sci. 2016 Nov;66(6):435-446. doi: 10.1007/s12576-016-0445-4. | | | 弘前大学 | | H28 |
| 192 | Abe Y, Miura T, Yoshida MA, Ujiie R, Kurosu Y, Kato N, Katafuchi A, Tsuyama N, Kawamura K, Ohba T, Inamasu T, Shishido F, Noji H, Ogawa K, Yokouchi H, Kanazawa K, Ishida T, Muto S, Ohsugi J, Suzuki H, Ishikawa T, Kamiya K, Sakai A. Analysis of chromosome translocation frequency after a single CT scan in adults. J Radat Res. 2016 Jun;57(3):220-226. doi: 10.1093/jrr/rrv090. | | | 弘前大学 | | H28 |
| 193 | Nakamura K, Mori F, Kon T, Tanji K, Miki Y, Tomiyama M, Kurotaki H, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Yamada M, Wakabayashi K. Accumulation of phosphorylated α-synuclein in subpial and periventricular astrocytes in multiple system atrophy of long duration. Neuropathology. 2016 Apr;36(2):157-167. doi: 10.1111/neup.12243. | | | 弘前大学 | | H28 |
| 194 | Miki Y, Tanji K, Mori F, Utsumi J, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Alteration of upstream autophagy-related proteins (ULK1, ULK2, Beclin1, VPS34, and AMBRA1) in Lewy body disease. Brain Pathol. 2016 May;26(3):359-370. doi: 10.1111/bpa.12297. | | | 弘前大学 | | H28 |
| 195 | Iino K, Higuchi T, Ogawa M, Yamauchi Y, Misaki N, Tanaka K, Takahashi I, Mizunuma H. Blood pressure during pregnancy is a useful predictive maker for hypertension and dyslipidemia later in life, a population-based, cross-sectional study. Maturitas. 2016; 87: 84-88. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 196 | Inui A, Takahashi I, Sawada K, Naoki A, Oyama T, Tamura Y, Osanai T, Satake A, Nakaji S, Kobayashi W. Teeth and physical fitness in a community-dwelling 40 to 79-year-old Japanese population.Clin Interv Aging. 2016;11:873-878. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 197 | Chiba D, Tsuda E, Maeda S, Sasaki E, Takahashi I, Nakaji S, Ishibashi Y. Evaluation of a quantitative measurement of suprapatellar effusion by ultrasonography and its association with symptoms of radiographic knee osteoarthritis: a cross-sectional observational study. Arthritis Res Ther. 2016;18:181. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 198 | Kubo K, Sugawara N, Takahashi I, Nakamura K, Nakaji S, Yasui-Furukori N. Relationship between quality of life and restless legs syndrome among a community-dwelling population in Japan. Neuropsychiatr Dis Treat. 2016;12:809-815. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 199 | Chiba D, Tsuda E, Wada K, Kumagai G, Sasaki E, Nawata A, Nakagomi S, Takahashi I, Nakaji S, Ishibashi Y. Lumbar spondylosis, lumbar spinal stenosis, knee pain, back muscle strength are associated with the locomotive syndrome: Rural population study in Japan. J Orthop Sci. 2016;21(3):366-372. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 200 | Sato S, Takahashi I, Komame H, Akimoto N, Sawada K, Tanaka R, Munakata W, Iizuka H, Shibata N, Nakaji S. Association of sex hormones with neutrophil function in the general population. Hirosaki Med J 2016;67:13-27. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 201 | Tanaka R, Matsuzaka M, Nakaji S, Sasaki Y. Influence of Distance from Home to Hospital on Survival among Lung Cancer Patients. Asian Pac J Cancer Prev. 2016;17(11):5025-5030. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 202 | Kamba A, Daimon M, Murakami H, Otaka H, Matsuki K, Sato E, Tanabe J, Takayasu S, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Terui K, Kageyama K, Tokuda I, Takahashi I, Nakaji S. Association between Higher Serum Cortisol Levels and Decreased Insulin Secretion in a General Population. PLoS One. 2016;11(11):e0166077. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 203 | Yamauchi R, Inoue R, Chiba D, Yamamoto Y, Harada Y, Takahashi I, Nakaji S, Ishibashi Y. Association of clinical and radiographic signs of femoroacetabular impingement in the general population. J Orthop Sci. 2017 Jan;22(1):94-98. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 204 | Xing F, Matsumiya T, Shiba Y, Hayakari R, Yoshida H, Imaizumi T: Non-canonical role of IKKa in the regulation of STAT1 phosphorylation in antiviral signaling. PLoS ONE 11(12): e0168696, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 205 | Hayakari R, Matsumiya T, Xing F, Yoshida H, Hayakari M, Imaizumi T. Critical role of IRF-3 in the direct regulation of dsRNA-induced retinoic acid-inducible gene-I (RIG-I) expression. PLoS ONE 11(9): e0163520, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 206 | Han C, Ogata Y, Niwa H, Kushikata T, Watanabe H, Imaizumi T, Hirota K, Ono K, Ohba T, Murakami M. The cardiorespiratory responses to inhalation and pentobarbital anesthesia in the mouse. Hirosaki Med J, 67: 77-85, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 207 | Imaizumi T, Yano C, Numata A, Tsugawa K, Hayakari R, Matsumiya T, Yoshida H, Watanabe S, Tsuruga K, Kawaguchi S, Murakami M, Tanaka H. Interferon (IFN)-induced protein 35 (IFI35), a type I interferon-dependent transcript, upregulates inflammatory signaling pathways by activating Toll-like receptor 3 in human mesangial cells. Kidney Blood Press Res. 41: 635-642, 2016 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 208 | Xing F, Matsumiya T, Hayakari R, Yoshida H, Kawaguchi S, Takahashi I, Nakaji S, Imaizumi T. Alteration of antiviral signaling by single nucleotide polymorphisms (SNPs) of mitochondrial antiviral signaling protein (MAVS). PLoS ONE,11(3): e0151173, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 209 | Imaizumi T, Shimada T, Matsumiya T, Yoshida H, Tsugawa K, Watanabe S, Tsuruga K, Kawaguchi S, Murakami M, Joh K, Tanaka H. Interferon-stimulated gene 15, a type I interferon-dependent transcript, is involved in the negative feedback loop regulating inflammatory cascades via Toll-like receptor 3 activation in human mesangial cells. Nephron Experimental Nephrol, 132(2); 144-152, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 210 | Furudate K, Matsumiya T, Hayakari R, Xing F, Kubota K, Sakaki H, Tamura Y, Kijima H, Imaizumi T, Kobayashi W. Clock gene expressions are altered by co-culture of gingival fibroblasts and oral cancer cells. Hirosaki Med J, 66: 135-142, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 211 | Onda K, Yoshida H, Hayakari R, Xing F, Wang L, Matsumiya T, Kawaguchi S, Murakami M, Imaizumi T. Desferrioxamine, an iron chelator, induces CXCL8 expression in U373MG Human astrocytoma cells. Hirosaki Med J, 66: 127-134, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 212 | Imaizumi T, Yoshida H, Hayakari R, Xing F, Wang L, Matsumiya T, Tanji K, Kawaguchi S, Murakami M, Tanaka H. Interferon-stimulated gene (ISG) 60, as well as ISG56 and ISG54, positively regulates TLR3/IFN-b/STAT1 axis in U373MG human astrocytoma cells Neurosci Res, 106: 35-41, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 213 | Han C, Tomita H, Ohba T, Nishizaki K, Ogata Y, Matsuzaki Y, Sawamura D, Yanagisawa T, Osanai T, Imaizumi T, Matsubara A, Adachi T, Ono K, Okumura K. Modified sympathetic nerve regulation in AKAP5-null mice. Biochem Biophys Res Commun, 2016; 469(4): 897-902. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 214 | Mochizuki, Y., Kurata, K., et al. Similarity in neuronal firing regimes across mammalian species. 36: 5736-5747, 2016. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0230-16.2016 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 215 | Tohyama, T., Kinoshita, M., Kobayashi, K., Isa, K., Watanabe, D., Kobayashi, K., Liu, M., and Isa, T. (2017). Contribution of propriospinal neurons to recovery of hand dexterity after corticospinal tract lesions in monkeys. PNAS, 114(3), 604-609. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 216 | Nagatomo, K., Suga S. Saitoh, M., Kogawa, M., Kobayashi, K., Yamamoto, Y., and Yamada, K. Dopamine D1 receptor immunoreactivity on fine processes of GFAP-positive astrocytes in the substantia nigra pars reticulata of adult mouse, Front. Neuroanat. 11: (2017). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 217 | Shibasaki, K., Hosoi, N., Kaneko, R., Tominaga, M., and Yamada, K. Glycine release from astrocytes via functional reversal of GlyT1. J. Neurochem. 140: 395-403 (2017). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 218 | Yamada, K. Vascular potassium channels in NVC. Prog. Brain Res. 225: 63-73 (2016). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 219 | Masamoto, K., Hirase, H., Yamada, K., and Kanno, I. Neurovascular coupling-What next? Prog. Brain Res. 225: 269-272 (2016). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 220 | Yamada, K., Takahashi, S., Karube, F., Fujiyama, F., Kobayashi, K., Nishi, A. Momiyama, T. Neuronal circuits and physiological roles of the basal ganglia in terms of transmitters, receptors and related disorders. J. Physiol. Sci. 66: 435-446 (2016). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 221 | Otsuka, Y., Sasaki, A., Teshima, T., Yamada, K., and Yamamoto, T. Syntheses of D-Glucose Derivatives Emitting Blue Fluorescence through Pd-Catalyzed C-N Coupling. Org. Lett. 18: 1338-1341 (2016). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 222 | Masamoto, K., Hirase, H., and Yamada, K. New Horizons in Neurovascular Coupling: A Bridge Between Circulation and Neural Plasticity (Progress in Brain Research) 225. Ed. by Masamoto, K., Hirase, H., Yamada, K. Elsevier, Amsteram (298 pages) (2016). | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 223 | Kidani Y, Miki Y, Nomimura N, Minakawa S, Tanaka N, Miyoshi H, Wakabayashi K, Kudo Y. The therapeutic effect of CD133$^{+}$ cells derived from human umbilical cord blood on neonatal mouse hypoxic-ischemic encephalopathy model. Life Sci 2016; 157: 108-115 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 224 | Ito M, Nakamura K, Mori F, Miki Y, Tanji K, Wakabayashi K. Novel eosinophilic neuronal cytoplasmic inclusions in the external cuneate nucleus of humans. Neuropathology 2016; 36(5): 441-447 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 225 | Wakabayashi K, Mori F, Kakita A, Takahashi H, Tanaka S, Utsumi J, Sasaki H. MicroRNA expression profiles of multiple system atrophy from formalin-fixed paraffin-embedded samples. 2016; 635: 117-122 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 226 | Miki Y, Yoshizawa T, Morohashi S, Seino Y, Kijima H, Shoji M, Mori A, Yamashita C, Hatano T, Hattori N, Wakabayashi K. Neuropathology of PARK14 is identical to idiopathic Parkinson's disease. Mov Disord. 2017 Feb 17. | | | 弘前大学 | | H28 |
| 227 | Furukawa K, Tomita N, Uematsu D, Okahara K, Shimada H, Ikeda M, Matsui T, Kozaki K, Fujii M, Ogawa T, Umegaki H, Urakami K, Nomura H, Kobayashi N, Nakanishi A, Washimi Y, Yonezawa H, Takahashi S, Kubota M, Wakutani Y, Ito D, Sasaki T, Matsubara E, Une K, Ishiki A, Yahagi Y, Shoji M, Sato H, Terayama Y, Kuzuya M, Araki N, Kodama M, Yamaguchi T, Arai H. Randomized double-blind placebo-controlled multicenter trial of Yokukansan for neuropsychiatric symptoms in Alzheimer's disease. Geriatr Gerontol Int. 2017 Feb;17(2):211-218. | | | 弘前大学 | | H28 |
| 228 | Migita, K.Ozaki, T.Shimoyama, S.Yamada, J.Nikaido, Y.Furukawa, T.Shiba, Y.Egan, T. M. and Ueno, S, HSP90 Regulation of P2X7 Receptor Function Requires an Intact Cytoplasmic C-Terminus, Mol Pharmacol, 90, 116-126, 10.1124/mol.115.102988, 2016 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 229 | Nishijima H, Ueno T, Ueno S, Mori F, Miki Y, Tomiyama M.,Levodopa-Induced Morphologic Changes of Prefrontal Pyramidal Tract-Type Neurons in a Rat Model of Parkinson's Disease, Neurosci Res, S0168-0102(16)30212-7. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 230 | Tomonori Furukawa, Shuji Shimoyama, Yasuo Miki, Yoshikazu Nikaido, Kohei Koga, Kazuhiko Nakamura, Koichi Wakabayashi & Shinya Ueno, Chronic diazepam administration increases the expression of Lcn2 in the CNS, Pharma Res Per, 5(1), 2017, e00283. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 231 | Metoki N, Sugawara N, Hagii J, Saito S, Shiroto H, Tomita T, Yasujima M, Okumura K, Yasui-Furukori N. Relationship between the lesion location of acute ischemic stroke and early depressive symptoms in Japanese patients. Ann Gen Psychiatry. 2016 Apr 1;15:12. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 232 | Kubo K, Sugawara N, Kaneda A, Takahashi I, Nakamura K, Nakaji S, Yasui-Furukori N. Relationship between quality of life and restless legs syndrome among a community-dwelling population in Japan. Relationship between quality of life and restless legs syndrome among a community-dwelling population in Japan. Neuropsychiatr Dis Treat. 2016 Apr 12;12:809-15. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 233 | Takayanagi N, Yoshida S, Yasuda S, Adachi M, Kaneda-Osato A, Tanaka M, Masuda T, Kuribayashi M, Saito M, Nakamura K. Psychometric properties of the Japanese ADHD-RS in preschool children. Res Dev Disabil. 2016 Aug;55:268-78. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 234 | Oniki K, Kamihashi R, Tomita T, Ishioka M, Yoshimori Y, Osaki N, Tsuchimine S, Sugawara N, Kajiwara A, Morita K, Miyata K, Otake K, Nakagawa K, Ogata Y, Saruwatari J, Yasui-Furukori N. Glutathione S-transferase K1 genotype and overweight status in schizophrenia patients: A pilot study. Psychiatry Res. 2016 May 30;239:190-5. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 235 | Yasui-Furukori N, Hashimoto K, Tsuchimine S, Tomita T, Sugawara N, Ishioka M, Nakamura K. Characteristics of Escitalopram Discontinuation Syndrome: A Preliminary Study. Clin Neuropharmacol. 2016 May-Jun;39(3):125-7. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 236 | Tomita T, Sato Y, Nakagami T, Tsuchimine S, Kaneda A, Kaneko S, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Items of the Montgomery-Åsberg Depression Rating Scale Associated With Response to Paroxetine Treatment in Patients With Major Depressive Disorder. Clin Neuropharmacol. 2016 May-Jun;39(3):135-9. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 237 | Tomita T, Yasui-Furukori N, Kaneda A, Ishioka M, Sugawara N, Nakagami T, Nakamura K. An attempt to construct a 7-item short version of the temperament and character inventory to predict the treatment response of patients with depression; a validation study. BMC Psychiatry. 2016 Aug 12;16:290. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 238 | Yasui-Furukori N, Tsuchimine S, Kubo K, Ishioka M, Nakamura K, Inoue Y. The Effects of Fluvoxamine on the Steady-State Plasma Concentrations of Escitalopram and Desmethylescitalopram in Depressed Japanese Patients. Ther Drug Monit. 2016 Aug;38(4):483-6. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 239 | Soraoka H, Oniki K, Matsuda K, Ono T, Taharazako K, Uchiyashiki Y, Kamihashi R, Kita A, Takashima A, Nakagawa K, Yasui-Furukori N, Kadowaki D, Miyata K, Saruwatari J.The Effect of Yokukansan, a Traditional Herbal Preparation Used for the Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia, on the Drug-Metabolizing Enzyme Activities in Healthy Male Volunteers. Biol Pharm Bull. 2016;39(9):1468-74. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 240 | Tomita T, Yasui-Furukori N, Oka M, Shimizu T, Nagashima A, Mitsuhashi K, Saito H, Nakamura K. Insomnia in patients on hemodialysis for a short versus long duration. Neuropsychiatr Dis Treat. 2016 Sep 2;12:2293-8. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 241 | Nishimura M, Ueda M, Saruwatari J, Nakashima H, Ogusu N, Aoki A, Tsuchimine S, Matsuda K, Iwashita K, Ono T, Oniki K, Shimoda K, Yasui-Furukori N. Influence of the cytochrome P450 2D6 *10/*10 genotype on the pharmacokinetics of paroxetine in Japanese patients with major depressive disorder: a population pharmacokinetic analysis. Pharmacogenet Genomics. 2016 Sep;26(9):403-13. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 242 | Tomita T, Yasui-Furukori N, Sugawara N, Ogasawara K, Katagai K, Saito H, Sawada K, Takahashi I, Nakamura K. Prevalence of major depressive disorder among hemodialysis patients compared with healthy people in Japan using the Structured Clinical Interview for DSM-IV. Neuropsychiatr Dis Treat. 2016 Sep 30;12:2503-2508. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 243 | Sugai T, Suzuki Y, Yamazaki M, Shimoda K, Mori T, Ozeki Y, Matsuda H, Sugawara N, Yasui-Furukori N, Minami Y, Okamoto K, Sagae T, Someya T. High Prevalence of Obesity, Hypertension, Hyperlipidemia, and Diabetes Mellitus in Japanese Outpatients with Schizophrenia: A Nationwide Survey. PLoS One. 2016 Nov 17;11(11):e0166429. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 244 | Sugawara N, Saito M, Nakamura K. What is the purpose of the Stress Check Program? J Occup Health. 2016 Nov 29;58(6):653-655. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 245 | Tsuchimine S, Kaneda A, Yasui-Furukori N. Serum x03C9;-3 and x03C9;-6 Fatty Acids Are Not Associated with Personality Traits in Healthy Japanese Young People. Neuropsychobiology. 2016;73(4):249-53. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 246 | Tokumitsu K, Demachi J, Yamanoi Y, Oyama S, Takeuchi J, Yachimori K, Yasui-Furukori N. Cardiac sarcoidosis resembling panic disorder: a case report. BMC Psychiatry. 2017 Jan 13;17(1):14. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 247 | Yoshida Satomi, Takayanagi Nobuya, Adachi Masaki, Yasuda, Sayura, Nakamura Kazuhiko Comprehensive Review Of Current Findings of Callous and Unemotional Traits Hirosaki Med. J. 67;1-122016 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 248 | Asano K, Sashinami H, Osanai A, Hirose S, Ono HK, Narita K, Hu DL, Nakane A. Passive immunization with anti-ActA and anti-listeriolysin O antibodies protects against *Listeria monocytogenes* infection in mice. Sci Rep 6:39628 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 249 | Ono HK, Hirose S, Naito I, Sato$^{'}$o Y, Asano K, Hu D-L, Omoe K, Nakane A. The emetic activity of staphylococcal enterotoxins, SEK, SEL, SEM, SEN and SEO in a small emetic animal model, the house musk shrew. Microbiol Immunol 61(1):12-16 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 250 | Hirose S, Asano K, Nakane A. Attenuation of obesity-induced inflammation in mice orally administered with salmon cartilage proteoglycan, a prophylactic agent. Biochem Biophys Res Commun 484(3):480-5 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 251 | Masumoto S, Terao A, Yamamoto Y, Mukai T, Miura T, Shoji T. Non-absorbable apple procyanidins prevent obesity associated with gut microbial and metabolomic changes. Sci Rep, 10:6:31208, 2016 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 252 | Wang L, Fumoto T, Masumoto S, Shoji T, Miura T, Naraoka M, Matsuda N, Imaizumi T, Ohkuma H. Regression of atherosclerosis with apple procyanidins by activating the ATP-binding cassette subfamily A member 1 in a rabbit model. Atherosclerosis. 258:56-64, 2017. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 253 | Liu PY, Sokolowski N, Guo ST, Siddiqi F, Atmadibrata B, Telfer TJ, Sun Y, Zhang L, Yu D, Mccarroll J, Liu B, Yang RH, Guo XY, Tee AE, Itoh K, Wang J, Kavallaris M, Haber M, Norris MD, Cheung BB, Byrne JA, Ziegler DS, Marshall GM, Dinger ME, Codd R, Zhang XD, Liu T. The BET bromodomain inhibitor exerts the most potent synergistic anticancer effects in combination with quinone-containing compounds and anti-microtubule drugs. Oncotarget. 7, 79217-79232, 2016. | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 254 | 渡邊 衡一郎, 宮岡 剛, 鈴木 雄太郎, 古郡 規雄 抗精神病薬の副作用up-to-date そして気を付けるべきポイントは(座談会) 精神科臨床Legato 2巻2号56-64,2016.04 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 255 | 山田勝也「脳と糖」天然物の化学 魅力と展望 (科学のとびら), 147pp-151pp, 上村大輔編, (株)東京化学同人, 東京, 2016 | 有り | | 弘前大学 | | H28 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 256 | 飯塚浩史、高橋一平、浜野学、倉内静香、糟谷昌志、岩間孝暢、西村美八、奥村俊樹、戸塚学、中路重之 高齢者における残存歯数の経時的変化と骨密度の関係 体力・栄養・免疫学雑誌 2017. 27 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 257 | 小野真実、高橋一平、倉内静香、徳田糸代、駒目瞳、大沼由香、高橋佳子、澄川幸志、本田勝義、中路重之　女性における食物繊維摂取量と動脈硬化リスクの関係 体力・栄養・免疫学雑誌 2017. 27 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 258 | 金子美由紀、高橋一平1、梅田孝、沢田かほり、徳田糸代、塚本利昭、徳安秀正、笠井里津子、山本博、中路重之 好中球機能と筋疲労との関係：女子バレーボール選手での検討 体力・栄養・免疫学雑誌 2017. 27 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 259 | 小川武志、梅田孝、古賀稔彦、野村忠宏、谷本歩実、山本洋祐、小嶋新太、田辺勝、高橋一平、中路重之 男子柔道選手とトレーニングを実施した女子柔道選手の身体的負担の特性　－筋逸脱酵素値及び好中球機能からの検討－ 体力・栄養・免疫学雑誌 2017. 27 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 260 | 棟方理、高橋一平、相馬優樹、倉内静香、大圃研、上谷英史、高橋和幸、甲斐知彦、久田貴義、辨野義己、村下公一、中路重之 弘前市の一般住民における腸内細菌の種多様性と加齢との関係 体力・栄養・免疫学雑誌 2017. 27 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 261 | 溝口絵里加、沢田かほり、高橋一平、佐藤弘道、三宅良輔、相馬優樹、高橋佳子、平川裕一、福井真司、中路重之 親子体操実施が母親の育児ストレスと身体に及ぼす効果 体力・栄養・免疫学雑誌 2017. 27 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 262 | 沢田かほり、高橋一平、佐藤諭、秋元直樹、田中里奈、駒目瞳、千葉大輔、太田聖也、 武田温、村下公一、中路重之.相撲競技者における朝食摂取が稽古後の好中球機能に及ぼす影響.青森県スポーツ医学研究会誌2016;24:17-23. | | | | | | | | | 無し | | 弘前大学 | | H28 |
| 263 | 秋元直樹、高橋一平、沢田かほり、佐藤諭、甲斐知彦、谷川涼子、森隆志、福田眞作、中根明夫、中路重之.過敏性腸症候群(IBS)における腸内細菌叢の検討.体力・栄養・免疫学雑誌2016;26:22-32. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 264 | 柴田信行、高橋一平、戸塚学、秋元直樹、岩間孝暢、高橋和幸、廣瀬かほる、金野潤、三宅良輔、中路重之.10代前半における各種肥満指標と血清レプチン濃度の関係.体力・栄養・免疫学雑誌2016;26:33-9. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 265 | 小室輝明、高橋一平、梅田孝、米田勝朗、佐藤諭、田中充洋、徳田糸代、大圃研、大沼由香、中路重之.サッカー選手の運動に伴う好中球機能の変動は血清オプソニン化活性により評価できるか？体力・栄養・免疫学雑誌2016;26:40-8. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 266 | 山本浩史、山本洋祐、小嶋新太、田辺勝、梅田孝、山田保.大学男子柔道選手における前日計量と当日計量の違いが身体的・精神的コンディションに及ぼす影響.体力・栄養・免疫学雑誌2016;26: 49-55. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 267 | 関根陽平、高橋一平、浜野学、工藤久、上谷英史、平川美和子、木村緑、榊原毅、三輪孝士、中路重之.一般住民における歯の欠損および残存歯数が動脈硬化に及ぼす影響.体力栄養免疫学雑誌2016. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 268 | 中路 重之, 高橋 一平, 佐藤 諭, 梅田 孝, 村下 公一 目指せ！肥満症のトータルケア　減量に苦戦する患者について考える肥満研究最前線 肥満研究最前線 腸内細菌と肥満 117巻1号 Page97-99 | | | | | | | | | 無し | | 弘前大学 | | H28 |
| 269 | 村下 公一 医療ビッグデータ 2016（ここまで来たビッグデータで「寿命革命」）, 日経デジタルヘルス, 2016年08月 | | | | | | | | | 無し | | 弘前大学 | | H28 |
| 270 | 村下 公一, 青森健やかナビ　いきいき健やか, 青森テレビ発刊, 2016年10月 | | | | | | | | | 無し | | 弘前大学 | | H28 |
| 271 | 古郡規雄【新規抗精神病薬Asenapine舌下錠とは】Asenapineの薬物動態について 臨床精神薬理19巻6号723-728 2016.6 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 272 | 斉藤まなぶ, 吉田 恵心 , 坂本 由唯 , 大里 絢子 , 足立 匡基 , 安田 小響 , 栗林 理人 , 中村 和彦 5歳児発達健診における発達障害の疫学 日本生物学的精神医学会誌 27 (2): 60-64, 2016.06 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 273 | 斉藤まなぶ, 吉田恵心, 高柳伸哉, 安田小響, 足立匡基, 大里絢子, 中村和彦 特集　乳幼児精神医学　5歳児健診の現状と課題 児童青年精神医学とその近接領域 57(2): 254-260,2016 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 274 | 中村和彦 5歳児発達健診と発達障害について 弘前市医師会報　第368号35-38,2016 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 275 | 足立匡基, 高柳伸哉, 吉田恵心, 安田小響, 大里絢子, 田中勝則, 増田貴人, 栗林理人, 斉藤まなぶ, 中村和彦 ASSQ短縮版の5歳児適用における妥当性 児童青年精神医学とその近接領域 57(4): 603-617, 2016. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 276 | 中村 和彦【弘前大学子どものこころの発達研究センター設置記念シンポジウム】弘前大学子どものこころの発達研究センターの活動報告(解説/特集) 子どものこころと脳の発達 7巻1号 Page18-25,2016.09 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 277 | 古郡規雄 気をつけるべき抗うつ薬の薬物相互作用 神経精神医学雑誌118(3)152-157,2016 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 278 | 古郡規雄 うつ病 月刊薬事59(2)135-141,2017 | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H28 |
| 279 | Chiba D, Wada K, Tanaka T, Kumagai G, Sasaki E, Takahashi I, Nakaji S, Ishibashi Y. Serum pentosidine concentration is associated with radiographic severity of lumbar spondylosis in a general Japanese population. J Bone Miner Metab. 2017 Jan;35(1):65-72. doi: 10.1007/s00774-015-0727-6. | | | | | | | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 280 | 特集　高齢者との金融取引における課題～地域の高齢顧客をどう守るのか 第1章 医学から見た認知症高齢顧客の特徴とトラブル防止 | 成本　迅 | KINZAIファイナンシャルプラン | | 2016 | | | 4 | 8 | 無 | | 京都府立医科大学 | | H28 |
| 281 | 医学的見地からみた認知症患者との取引 | 成本　迅 | 消費者法ニュース | | 2017 | 110 | | 221 | 222 | 無 | | 京都府立医科大学 | | H28 |
| 282 | テレビ会議システムを用いた時計描画検査の信頼性 | 飯干紀代子, 岸本泰士郎, 江口洋子, 加藤佑佳, 松岡照之, 成本迅, 三村將 | 高次脳機能研究 | 10.2496/hbfr.37.220 | 2017 | 37 | 2 | 220 | 227 | 有 | | 慶應義塾大学医学部,志學館大学,京都府立医科大学 | | H28 |
| 283 | 高齢者に対するビデオ会議システムを用いた改訂長谷川式簡易知能評価スケールの信頼性試験 | 岸本泰士郎, 江口洋子, 飯干紀代子, 北沢桃子, 梁國經, 船木桂, 成本迅, 三村將 | 日本遠隔医療学会雑誌 | | 2016 | 12 | 2 | 145 | 148 | 有 | | 慶應義塾大学医学部,志學館大学,京都府立医科大学 | | H28 |
| 284 | Diagnostic accuracy of neuropsychological tests for classification of dementia | Yagi T, Ito D, Sugiyama D, Iwasawa S, Tabuchi T, Konishi M, Araki M, Saitoh N, Nihei Y, Mimura M, Suzuki N | Neurology Asia | | 2016 | 21 | 1 | 47 | 54 | 有 | | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 285 | 認知症の診断・告知をめぐる心理学的問題 | 和氣大成, 三村將 | 精神科 | | 2016 | 28 | 5 | 394 | 398 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 286 | 前頭葉の臨床神経心理学 | 三村 將 | 高次脳機能研究 | 10.2496/hbfr.36.163 | 2016 | 36 | 2 | 163 | 169 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 287 | 米国精神医学会（APA）ガイドラインについて | 渡邊　衡一郎 | 精神科 | | 2016/3 | 28 | 3 | 196 | 200 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 288 | Venlafaxineの海外での試験から見る本剤の立ち位置は | 渡邊　衡一郎 | 臨床精神薬理 | | 2016/3 | 19 | 4 | 423 | 434 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 289 | 【抗うつ薬の適切な使用法をもう一度考えてみる】抗うつ薬・抗不安薬使用における多剤併用の問題点およびその整理の仕方 | 渡邊　衡一郎 | 精神神経学雑誌 | | 2016/3 | 118 | 3 | 133 | 138 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 290 | うつ病の薬物療法　抗うつ薬と服薬アドヒアランス | 菊地 俊暁 | CLINIC magazine | | 2016/3 | 561 | | 29 | 33 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 291 | うつ病の当事者に対するレジリエンスを意識したアプローチの重要性 | 渡邊　衡一郎 | ストレス科学 | | 2016/6 | 30 | 3 | 228 | 238 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 292 | 製薬会社のパンフレットをどう読み解くか | 渡邊　衡一郎 | こころの科学 | | 2016/7 | 188 | 7 | 2 | 6 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 293 | スルピリド | 渡邊　衡一郎 | 精神科 | | 2016/9 | 29 | 3 | 194 | 197 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 294 | Perceptions and impact of bipolar disorder in Japan: results of an Internet survey | Watanabe Koichiro, Harada Eiji, Inoue Takeshi, Tanji Yuka, and Kikuchi Toshiaki | Neuropsychiatr Dis Treat | 10.2147/NDT.S113602 | 2016/10 | 12 | | 2981 | 2987 | 有 | | 杏林大学 | | H28 |
| 295 | 向精神薬の現状と課題とは―抗精神病薬と抗うつ薬について― | 渡邊　衡一郎 | セラピューティック・リサーチ | | 2016/11 | 37 | 11 | 1019 | 1022 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 296 | わが国の気分障害圏における向精神薬の処方の現状と課題 | 渡邊　衡一郎 | 日精診雑誌 | | 2016/12 | 42 | 6 | 3 | 6 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 297 | 当事者の主観的体験を治療に反映させること | 渡邊　衡一郎 | 臨床精神薬理 | | 2017/1 | 20 | 1 | 23 | 28 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 298 | ベンゾジアゼピン受容体作動薬の功罪 | 渡邊　衡一郎 | 外来精神医療 | | 2017/1 | 17 | 1 | 27 | 34 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 299 | うつ病治療における「真のリカバリー」の考え方の提唱 | 渡邊　衡一郎 | 臨床精神薬理 | | 2017/3 | 20 | 3 | 239 | 247 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 300 | うつ病領域におけるShared Decision-Making－ホームワーク式SDMのすすめ | 青木　裕美，渡邊　衡一郎 | 臨床精神薬理 | | 2017/3 | 20 | 3 | 307 | 314 | 無 | | 杏林大学 | | H28 |
| 301 | Residual symptoms in patients with partial versus complete remission of a major depressive disorder episode: patterns of painful physical symptoms in depression | Harada Eiji, Satoi Yoichi, Kikuchi Toshiaki, Watanabe Koichiro, Alev Levent, and Mimura Masaru | Neuropsychiatry Dis Treat | | 2016/6 | 12 | | 1599 | 1607 | 有 | | 杏林大学<br>慶應義塾大学 | | H28 |
| 302 | Incidence of deep vein thrombosis in catatonic patients: A chart review | Ishida Takuto, Sakurai Hitoshi, Watanabe Koichiro, Iwashita Satoru, Mimura Masaru, and Uchida Hiroyuki | Psychiatry Research | 10.1016/j.psychres.2016.04.105 | 2016/7 | 241 | | 61 | 65 | 有 | | 杏林大学<br>慶應義塾大学 | | H28 |
| 303 | The epidemiology of adverse drug events and medication errors among psychiatric inpatients in Japan: the JADE study | Ayani Nobutaka, Sakuma Mio, Morimoto Takeshi, Kikuchi Toshiaki, Watanabe Koichiro, Narumoto Jin, and Fukui Kenji | BMC Psychiatry | 10.1186/s12888-016-1009-0 | 2016/8 | 16 | 1 | 303 | | 有 | | 杏林大学<br>京都府立医科大学 | | H28 |
| 304 | A System for Facial Expression Analysis of a Person While Using Video Phone | T.Asada, Y.Yoshitomi, R.Kato, M.Tabuse, and J.Narumoto | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | 10.2991/jrnal.2016.3.1.9 | 2016/6 | 3 | 1 | 37 | 40 | 有 | | 京都府立大学 | | H28 |
| 305 | リアルタイム表情分析・表示システム | 嶋田 亮一，浅田 太郎，吉冨 康成，田伏 正佳，成本 迅 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2016論文集 | | 2016 | | | 643 | 646 | 無 | | 京都府立大学 | | H28 |
| 306 | ビデオ映像中の人物への応答時を対象とした表情分析システム | 浅田 太郎，吉冨 康成，田伏 正佳，成本 迅 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2016論文集 | | 2016 | | | 679 | 682 | 無 | | 京都府立大学 | | H28 |
| 307 | A System for Analyzing Facial Expression and Verbal Response of a Person While Answering Interview Questions on Video | T.Asada, Y.Yoshitomi, and M.Tabuse | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | 10.2991/jrnal.2017.4.2.2 | 2017 | 4 | 2 | 114 | 117 | 有 | | 京都府立大学 | | H28 |
| 308 | 高齢社会と民法―地域における生活問題を解決するために | 小賀野晶一 | 白門 | | 2017 | 69 | 2 | | | 無 | | 中央大学 | | H28 |
| 309 | 高齢者を支える見守り契約と財産管理契約―任意後見との関わりを中心に | 亀井隆太 | 千葉大学人文社会科学研究 | | 2017/3 | 34 | | | | 無 | | 中央大学 | | H28 |
| 310 | Kasahara T, Ishiwata M, Kakiuchi C, Fuke S, Iwata N, Ozaki N, Kunugi H, Minabe Y, Nakamura K, Iwata Y, Fujii K, Kanba S, Ujike H, Kusumi I, Kataoka M, Matoba N, Takata A, Iwamoto K, Yoshikawa T, Kato T. Enrichment of deleterious variants of mitochondrial DNA polymerase gene (POLG1) in bipolar disorder. Psychiatry Clin Neurosci. 2017 Aug;71(8):518-529. doi: 10.1111/pcn.12496. | | | | | | | | | 有り | | 弘前大学 | | H29 |
| 311 | Kurata K. Movement-related activity in the periarcuate cortex of monkeys during coordinated eye and hand movements. *J. Neurophysiol* | | | 10.1152/jn.00279.2017 | 118: 3293-3310, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 312 | Arai A, Yoshida H, Hayakari R, Matsumiya T, Kawaguchi S, Seya K, Tanaka H, Imaizumi T. Expression of CCL5 is induced by polyinosinic-polycytidylic acid in cultured hCMEC/D3 human brain microvascular endothelial cells. *Clin Exp Neuroimmunol* | | | 10.1111/cen3.12416 | 8: 331-340, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 313 | Fukui K, Yachi K, Yoshida H, Tanji K, Matsumiya T, Hayakari R, Tsuruga K, Tanaka H, Imaizumi T. Rebamipide reduces amyloid-β 1-42 (Aβ42) production and ameliorates Aβ43-lowered cell viability in cultured SH-SY5Y human neuroblastoma cells. *Neurosci Res* | | | 10.1016/j.neures.2017.05.005 | 124: 40-50, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 314 | Narita K, Asano K, Nakane A. IL-17A plays an important role in protection induced by vaccination with fibronectin-binding domain of fibronectin-binding protein A against Staphylococcus aureus infection. *Med Microbiol Immunol* | | | 10.1007/s00430-017-0499-9 | 296: 225-234, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 315 | Hu D-L, Ono HK, Isayama S, Okada R, Okamura M, Lei LC, Liu ZS, Zhang X-C, Liu MY, Cui JC, Nakane A. Biological characteristics of staphylococcal enterotoxin Q and its potential risk for food poisoning. *J Appl Microbiol* | | | 10.1111/jam.13462 | 122: 1672-1679, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 316 | Sano M, Shang Y, Nakane A, Saito T. Salmon nasal cartilage proteoglycan enhances growth of normal human dermal fibroblast through Erk1/2 hosphorylation. *Biosci Biotechnol Biochem* | | | 10.1080/09168451.2017.1318695 | 81: 1369-1378, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 317 | Asano K, Takahashi E, Yoshimura S, Nakane A. Oral administration of salmon cartilage proteoglycan extends the survival of allografts in mice. *Biomed Rep* | | | 10.3892/br.2017.1011 | 8: 37-40, 2018. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 318 | Asano K, Nakane A. Interplay between autophagy and pathogenic bacteria: toxins secreted by *Staphylococcus aureus* and their impact on autophagy. *Hirosaki Med J* | | | https://doi.org/10.32216/hirosakigaku.67.2-4.115 | 67: 115-128, 2017. | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 319 | Yamada K, Sato D, Nakamura T, Amano H, Morimoto Y. Unknown biological effects of L-glucose, ALA, and PUFA. *J Physiol Sci* | | | 10.1007/s12576-017-0544-x | 67: 539-548, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 320 | Miki Y, Yoshizawa T, Morohashi S, Seino Y, Kijima H, Shoji M, Mori A, Yamashita C, Hatano T, Hattori N, Wakabayashi K. Neuropathology of PARK14 is identical to idiopathic Parkinson's disease. Mov Disord | | | 10.1002/mds.26952 | 32: 799-800, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 321 | Miki Y, Tanji K, Mori F, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. PLA2G6 accumulates in Lewy bodies in PARK14 and idiopathic Parkinson's disease. *Neurosci Lett* | | | 10.1016/j.neulet.2017.02.027 | 645: 40-45, 2017. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 322 | Miki Y, Tanji K, Mori F, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Alteration of mitochondrial protein PDHA1 in Lewy body disease and PARK14. *Biochem Biophys Res Com* | 10.1016/j.bbrc.2017.05.162 | 489: 439-444, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 323 | Miki Y, Tanji K, Kimura K, Yajima N, Mori M, Wakabayashi K. Status epilepticus causing extensive microvacuolar change with astrocytosis and diffusion MRI abnormalities in the subcortical white matter. *J Neurol Sci* | 10.1016/j.jns.2017.09.029 | 382: 55-57, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 324 | Miki Y, Tanji K, Mori F, Tatara Y, Utsumi J, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Fimia GM, Wakabayashi K. AMBRA1, a novel α-synuclein-binding protein, is implicated in the pathogenesis of multiple system atrophy. *Brain Pathol,* | 10.1111/bpa.12461 | 28: 28-42, 2018. | 有り | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 325 | Inui A, Takahashi I, Kurauchi S, Soma Y, Oyama T, Tamura Y, Noguchi T, Murashita K, Nakaji S, Kobayashi W. Oral conditions and dysphagia in Japanese, community-dwelling middle- and older- aged adults, independent in daily living. *Clin Interv Aging,* | 10.2147/CIA.S132637 | 12: 515-521, 2017. | 有り | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 326 | Wang L, Fumoto T, Masumoto S, Shoji T, Miura T, Naraoka M, Matsuda N, Imaizumi T, Ohkuma H. Regression of atherosclerosis with apple procyanidins by activating the ATP-binding cassette subfamily A member 1 in a rabbit model. *Atherosclerosis,* | 10.1016/j.atherosclerosis.2017.01.032 | 258: 56-64, 2017. | | 国際 | 弘前大学、農研機構果樹研究部門 | | H29 |
| 327 | Shoji T, Yamada M, Miura T, Nagashima K, Ogura K, Inagaki N, Maeda-Yamamoto M. Chronic administration of apple polyphenols ameliorates hyperglycaemia in high-normal and borderline subjects: A randomised, placebo-controlled trial. *Diabetes Res Clin Pract,* | 10.1016/j.diabres.2017.03.028 | 129: 43-51, 2017. | | 国際 | 弘前大学、農研機構果樹研究部門 | | H29 |
| 328 | Nakamura A, Itaki C, Saito A, Yonezawa T, Aizawa K, Hirai A, Suganuma H, Miura T, Mariya Y, Haghdoost S. Possible benefits of tomato juice consumption: a pilot study on irradiated human lymphocytes from healthy donors. *Nutr J,* | 10.1186/s12937-017-0248-3 | 16: 27, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 329 | Takahashi M, Adachi M, Takayanagi N, Yasuda S, Tanaka M, Osato-Kaneda A, Masuda T, Nakai A, Saito M, Kuribayashi M, Nakamura K. Coordination difficulties in preschool-aged children are associated with maternal parenting stress: A community-based cross-sectional study. *Res Dev Disabil,* | 10.1016/j.ridd.2017.08.002 | 70: 11-21, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 330 | Takahashi M, Adachi M, Yasuda S, Osato-Kaneda A, Saito M, Kuribayashi M, Nakamura K. Prevalence of sleep problems in Japanese preschoolers in a medium-sized city: Community-based survey using the Children's Sleep Habits Questionnaire. *Pediatr Int,* | 10.1111/ped.13281 | 59: 747-750, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 331 | Morimura N, Yasuda H, Yamaguchi K, Katayama KI, Hatayama M, Tomioka NH, Odagawa M, Kamiya A, Iwayama Y, Maekawa M, Nakamura K, Matsuzaki H, Tsujii M, Yamada K, Yoshikawa T, Aruga J. Autism-like behaviours and enhanced memory formation and synaptic plasticity in Lrfn2/SALM1-deficient mice. *Nat Commun,* | 10.1038/ncomms15800 | 12: 8, 2017 | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 332 | Tarakita N, Nishijima H, Yasui-Furukori N. Levodopa-responsive depression associated with corticobasal degeneration: a case report *Neuropsychiatr Dis Treat,* | 10.2147/NDT.S136706 | 13: 1107-1110, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 333 | Yasui-Furukori N, Tarakita N, Uematsu W, Saito H, Nakamura K, Ohyama C, Sugawara N. Delirium in hemodialysis predicts mortality: a single-center, long-term observational study. *Neuropsychiatr Dis Treat,* | 10.2147/NDT.S152355 | 13: 3011-3016, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 334 | Sugawara N, Kaneda A, Takahashi I, Nakaji S, Yasui-Furukori N. Application of a stratum-specific likelihood ratio analysis in a screen for depression among a community-dwelling population in Japan. *Neuropsychiatr Dis Treat,* | 10.2147/NDT.S142517 | 13: 2369-2374, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 335 | Oniki K, Ishioka M, Osaki N, Sakamoto Y, Yoshimori Y, Tomita T, Kamihashi R, Tsuchimine S, Sugawara N, Otake K, Ogata Y, Saruwatari J, Yasui-Furukori N. Association between oxidative stress-related genes polymorphisms and metabolic abnormalities among schizophrenia patients. *Clinical Neuropsychopharmacology and Therapeutics,* | 10.5234/cnpt.8.25 | 8: 25-37, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 336 | Tomita T, Yasui-Furukori, Kudo S, Sugawara N, Fujii A, Tsuruga K, Sato Y, Ishioka M, Nakamura K. The Association Between the Severity and Level of Understanding of Depression Among Patients Treated With Antidepressants: A Survey of 424 Outpatients in Japan. *Clinical Neuropharmacology,* | 10.1097/WNF.0000000000000257 | 41: 1-5, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 337 | Sugawara N, Maruo K, Sugai T, Suzuki Y, Ozaki Y, Shimoda K, Someya T, Yasui-Furukori N. Prevalence of underweight in patients with schizophrenia: A meta-analysis. *Schizophr Res,* | 10.1016/j.schres.2017.10.017 | 17, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 338 | 古郡規雄. 他科への手紙　精神科→産婦人科. *日本医事新報,* | | No.4864: P49, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 339 | 佐藤靖、古郡規雄. 双極性障害の薬物療法. *カレントテラピー,* | | 35: p.425-429, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 340 | 佐藤靖、古郡規雄. 患者に対する定期的な身体モニタリングの重要性 (特集 統合失調症患者の死亡をいかに減らすか). *精神科 = Psychiatry / 精神科編集委員会* | | 編 31, 185: p.474-480, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 341 | 古郡規雄.【精神医学症候群（第2版）Ⅰ-発達障害・統合失調症・双極性障害・抑うつ障害-】Ⅳ. 抑うつ障害群　抑うつ障害の治療　(3)抗うつ薬の薬物動態と相互作用 *別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ* | | No.37: p.579-584, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 342 | 中村和彦. 発達障害　第2章　疫学　ADHDの疫学ー最近注目のトピックスと有病率についてー. *最新医学醫學　別冊　診断と治療のABC130*, | | p47-52, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 343 | 中路重之、相馬優樹、倉内静香、沢田かほり、村下公一、工藤憲一. クリニカルトピックス ビッグデータ解析における腸内細菌：岩木健康増進プロジェクトでの検討. *BIO Clinica*, | | 32: 1423-1428, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 344 | 栗原由紀子、李永俊、中路重之、村下公一、高橋一平、沢田かほり. 社会経済的要因が心身の健康に与える影響—岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診およびWEB調査データによる地域差の検証—. *統計学*, | | 113: 17-28, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 345 | Daimon M, Kamba A, Murakami H, Mizushiri S, Osonoi S, Matsuki K, Sato E, Tanabe J, Takayasu S, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Terui K, Kageyama K, Tokuda I, Kurauchi S, Nakaji S. Dominance of the hypothalamus-pituitary-adrenal axis over the renin-angiotensin-aldosterone system is a risk factor for decreased insulin secretion. *Scientific Reports,* | 10.1038/s41598-017-10815-y | 7: 11360, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 346 | Daimon M, Kamba A, Murakami H, Mizushiri S, Osonoi S, Yamaichi M, Matsuki K, Sato E, Tanabe J, Takayasu S, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Terui K, Kageyama K, Tokuda I, Takahashi I, Nakaji S. Association between serum prolactin levels and insulin resistance in non-diabetic men. *PLoS One,* | 10.1371/journal.pone.0175204 | 12: e0175204, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 347 | Tanaka T, Hatakeyama S, Yamamoto H, Narita T, Hamano I, Matsumoto T, Soma O, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yoneyama T, Hashimoto Y, Koie T, Takahashi I, Nakaji S, Terayama Y, Funyu T, Ohyama C. Clinical relevance of aortic calcification in urolithiasis patients. *BMC Urol,* | 10.1186/s12894-017-0218-2 | 17: 25, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 348 | 相馬優樹、高橋一平、村下公一、駒目瞳、倉内静香、徳田糸代、中路重之. 職域における食事改善および食生活指導が健康に及ぼす影響. *産業衛生学雑誌,* | | 59: 40, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 349 | 金子美由紀、高橋一平、梅田孝、沢田かほり、徳田糸代、塚本利昭、徳安秀正、笠井里津子、山本博、中路重之. 好中球機能と筋疲労との関係：女子バレーボール選手での検討. *体力・栄養・免疫学雑誌,* | | 27: 18-24, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 350 | 小野真実、高橋一平、倉内静香、徳田糸代、駒目瞳、大沼由香、高橋佳子、澄川幸志、本田勝義、中路重之. 女性における食物繊維摂取量と動脈硬化リスクの関係ー地域の一般女性における閉経前後および非肥満・肥満の層別化検討（横断研究）ー. *体力・栄養・免疫学雑誌,* | | 27: 25-34, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 351 | 溝口絵里加、沢田かほり、高橋一平、佐藤弘道、三宅良輔、相馬優樹、高橋佳子、平川裕一、福井真司、中路重之. 親子体操実施が母親の育児ストレスと身体に及ぼす効果ー親子体操介入前後の比較検討ー. *体力・栄養・免疫学雑誌,* | | 27: 35-41, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 352 | 小川武志、梅田孝、古賀稔彦、野村忠宏、谷本歩実、山本洋祐、小嶋新太、田辺勝、高橋一平、中路重之. 男子柔道選手とトレーニングを実施した女子柔道選手の身体的負担の特性－筋逸脱酵素値及び好中球機能からの検討－. *体力・栄養・免疫学雑誌,* | | 27: 42-50, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 353 | Kasai S, Richardson M. J. E, Torii S, Yasumoto K, Shima H, Igarashi K, Itoh K, Sogawa K, Murayama K. Increase in proapoptotic activity of inhibitory PAS domain protein via phosphorylation by MK2. *FEBS J,* | 10.1111/febs.14300 | 284: 4115-4127, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 354 | Tatara Y, Suto S, Itoh K. Novel roles of glycosaminoglycans in the degradation of type I collagen by cathepsin K. *Glycobiology,* | 10.1093/glycob/cwx083 | 27: 1089-1098, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 355 | Sakai E, Morita M, Ohuchi M, Kido MA, Fukuma Y, Nishishita K, Okamoto K, Itoh K, Yamamoto M, Tsukuba T. Effects of deficiency of Kelch-like ECH-associated protein 1 on skeletal organization: a mechanism for diminished nuclear factor of activated T cells cytoplasmic 1 during osteoclastogenesis. *FASEB J,* | 10.1096/fj.201700177R | 31: 4011-4022, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 356 | 三村純正、伊東健. Nrf2システムによる生体防御応答. *臨床免疫・アレルギー科,* | | 67: 642-648, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 357 | 山嵜博未、Engler Mate Janos、伊東健. Nrf2の抗老化因子としての役割. *第37回総会シンポジウム3「老化と循環制御」,* | | 21-33, 2017. | | 国内 | 弘前大学 | | H29 |
| 358 | Funamizu Y, Nishijima H, Ueno T, Ueno S, Mizukami H, Yagihashi S, Tomiyama M. Morphological dendritic spine changes of medium spiny neurons in the nucleus accumbens in 6-hydroxydopamine-lesioned rats treated with levodopa. *Neuroscience Research,* | 10.1016/j.neures.2017.03.010 | 121: 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 359 | Nikaido Y, Furukawa T, Shimoyama S, Yamada J, Migita K, Koga K, Hirata M. Propofol Anesthesia Is Reduced in Phospholipase C - Related Inactive Protein Type-1 Knockout Mices. *J Pharmacol Exp Ther,* | 10.1124/jpet.116.239145 | 361: 367-374, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 360 | Ueno T, Nishijima H, Ueno S, Tomiyama M. Spine enlargement of pyramidal tract-type neurons in the motor cortex of a rat model of levodopa-induced dyskinesia. *Frontiers in Neuroscience,* | 10.3389/fnins.2017.00206 | 11: 206, 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 361 | Koga K, Matsuzaki Y, Honda K, Eto F, Furukawa T, Migita K, Ueno S. Activations of muscarinic M1 receptors in the anterior cingulate cortex contribute to the antinociceptive effect via GABAergic transmission. *Molecular Pain* | 10.1177/1744806917692330 | 13: 1-11, 2017. | 有り | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 362 | Furukawa T, Shimoyama S, Miki Y, Nikaido Y, Koga K. Chronic diazepam administration increases the expression of Lcn2 in the CNS. *Pharmcol Res & Perspectives,* | 10.1002/prp2.283 | 5: 1-16. 2017. | | 国際 | 弘前大学 | | H29 |
| 363 | Yanagimachi M, Takahashi I, Bernier F, Takahashi K, Kurauchi S, Mikuniya Y, Sasaki A, Komine T, Matsubara A, Nakaji S. Olfactory function evaluation in a 1102 community-dwelling 20-90-year old Japanese population in relation with age, sex and mental decline. *Alzheimer's, Dementia & Cognitive Neurology,* | 10.15761/ADCN.1000117 | 1: 1-5, 2017. | | 国際 | 弘前大学、エーザイ | | H29 |
| 364 | Chiba D, Tsuda E, Sasaki E, Takahashi I, Nakaji S, Ishibashi Y. Low prevalence of knee chondrocalcinosis and its catabolic association by use of serum matrix metalloproteinase 3: A rural Japanese population study. *Int J Rheum Dis,* | doi: 10.1111/1756-185X.13067. | 2018 Nov;21(11):2011-2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 365 | Nishijima H, Ueno T, Funamizu Y, Ueno S, Tomiyama M. Levodopa treatment and dendritic spine pathology. *Movement Disorders,* | 10.1002/mds.27172 | 2018 Jul;33(6):877-888. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 366 | Imaizumi T, Arai A, Kawaguchi S, Hayakari R, Matsumiya T, Seya K, Yoshida H, Tanaka H. Retinoic acid-inducible gene-I, melanoma differentiation-associated gene 5 and CXCL10 are induced by a TLR3 agonist in human brain microvascular endothelial cells. Clin Exp Neuroimmunol, | 10.1111/cen3.12463 | 9: 189-197, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 367 | Seino S, Kimoto T, Yoshida H, Tnaji K, Matsumiya T, Hayakari R, Seya K, Kawaguchi S, tsuruga K, Tanaka H, Imaizumi T. Gnetin C, a resveratrol dimer, reduces amyloid-beta 1-42 production and ameliorates abeta42-lowered cell viability in cultured SH-SY5Y human neuroblastoma cells. Biomed Res, | 10.2220/biomedred.39.105 | 39: 105-115, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 368 | Narita K, Asano K, Morimoto Y, Igarashi T, Hamblin MR, Dai T, Nakane A. Disinfection and healing effects of 222-nm UVC light on methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection in mouse wounds. J Photochem Photobiol B Biology. | doi.org/10.1016/j.jphotobiol.2017.10.030 | 178(1):10–18, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 369 | Narita K, Asano K, Morimoto Y, Igarashi T, Nakane A. Chronic irradiation with 222-nm UVC light induces neither DNA damage nor epidermal lesions in mouse skin, even at high doses. PLoS ONE | doi.org/10.1371/journal.pone.0201259 | 13(7): e021259, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 370 | Asano K, Narita K, Hirose S, Nakane A. Contribution of toxic shock syndrome toxin-1to systemic inflammation investigated by a mouse model of cervical infection with *Staphylococcus aureus*. Med Microbiol Immunol | doi.org/10.1007/s00430-018- | 2018 Nov;207(5-6):297-306. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 371 | 糟谷昌志、相馬優樹、小笠原悠、倉内静香、駒目瞳、徳田糸代、沢田かほり、平川裕一、戸塚学、中路重之. 地域在住中高齢者の認知機能とメタボリックシンドローム及びロコモティブシンドロームとの関連性の検討. 弘前医学 | | 68巻2-4号 Page168-176 2018. | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 372 | 木村緑、倉内静香、徳田糸代、沢田かほり、駒目瞳、小笠原悠、浜野学、福井真司、中路重之. 一般住民における認知機能と社会生活活動との関連　岩木健康増進プロジェクトでの検討. 弘前医学 | | 68巻2-4号 Page142-156 2018. | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 373 | Kimura Y, Yamada M, Hanada K, Endo T, Narita N, Narita M, Senoo M, Yonekura M, Ichikawa H, Kurauchi S, Nakaji S, Okumura K, Tomita H. Relationship Between Serum Eicosapentaenoic Acid Levels and J-Waves in a General Population in Japan. Int Heart J. | 10.1536/ihj.17-434. | 31;59(4):736-740, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 374 | Wada K, Tanaka T, Kumagai G, Kudo H, Asari T, Chiba D, Ota S, Kamei K, Takeda O, Nakaji S, Ishibashi Y. A study of the factors associated with cervical spinal disc degeneration, with a focus on bone metabolism and amino acids, in the Japanese population: a cross sectional study. BMC Musculoskelet Disord. | 10.1186/s12891-018-2055-1 | 17;19(1):153, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 375 | Kido K, Hatakeyama S, Imai A, Yamamoto H, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yoneyama T, Hashimoto Y, Koie T, Nakaji S, Ohyama C. Sleep Disturbance Has a Higher Impact on General and Mental Quality of Life Reduction than Nocturia: Results from the Community Health Survey in Japan.Eur Urol Focus. | 10.1016/j.euf.2018.04.017. | 4. pii: S2405-4569(18)30107-, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 376 | Soma O, Hatakeyama S, Okamoto T, Fujita N, Matsumoto T, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yamamoto H, Yoneyama T, Hashimoto Y, Koie T, Nakaji S, Ohyama C. Clinical implication of a quantitative frailty assessment tool for prognosis in patients with urological cancers. Oncotarget. | 10.18632/oncotarget.24712. | 3;9(25):17396-17405, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 377 | Iino C, Shimoyama T, Chinda D, Arai T, Chiba D, Nakaji S, Fukuda S. Infection of Helicobacter pylori and Atrophic Gastritis Influence Lactobacillus in Gut Microbiota in a Japanese Population. Front Immunol. | 10.3389/fimmu.2018.00712. | 6;9:712, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 378 | Sasaki E, Sasaki S, Chiba D, Yamamoto Y, Nawata A, Tsuda E, Nakaji S, Ishibashi Y. Age-related reduction of trunk muscle torque and prevalence of trunk sarcopenia in community-dwelling elderly: Validity of a portable trunk muscle torque measurement instrument and its application to a large sample cohort study. PLoS One. | 10.1371/journal.pone.0192687 | 22;13(2):e0192687, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 379 | Sugawara N, Sato K, Takahashi I, Satake R, Fukuda S, Nakaji S, Yasui-Furukori N. Irritable bowel syndrome and quality of life in a community-dwelling population in Japan. Int J Psychiatry Med. | 10.1177/0091217417749791. | ;53(3):159-170, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 380 | Goto S, Sasaki A, Takahashi I, Mitsuhashi Y, Nakaji S, Matsubara A. Relationship between cognitive function and balance in a community-dwelling population in Japan. Acta Otolaryngol. | 10.1080/00016489.2017.1408 | 138(5):471-474, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 381 | Kumagai G, Wada K, Tanaka T, Kudo H, Asari T, Chiba D, Ota S, Nakaji S, Ishibashi Y. Associations between neck symptoms and LDL cholesterol in a cross-sectional population-based study. J Orthop Sci, | 10.1016/j.jos.2017.11.002. | 23(2):277-281, 2018. | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 382 | Miki Y, Tanji K, Kon T, Shimoyama S, Ueno T, Hayakari R, Matsumiya T, Tsushima E, Mori F, Wakabayashi K, Tomiyama M. Alteration of autophagy-related proteins in peripheral blood mononuclear cells of Parkinson's disease. Neurobiol Aging | 10.1016/j.neurobiolaging.2017.11.006 | 63: 33-43, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 383 | Mori F, Tanji K, Miki Y, Toyoshima Y, Sasaki H, Yoshida M, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Immunohistochemical localization of exoribonucleases (DIS3L2 and XRN1) in intranuclear inclusion body disease. Neurosci Lett | 10.1016/j.neulet.2017.10.061 | 662: 389-394, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 384 | Tanji K, Mori F, Miki Y, Utsumi J, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. YOD1 attenuates neurogenic proteotoxicity through its deubiquitinating activity. Neurobiol Dis | 10.1016/j.nbd.2018.01.006 | 112: 14-23, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 385 | Miki Y, Tanji K, Mori F, Utsumi J, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. Alteration of autophagy mediators (FOXO1, SESN3 and TSC2) in Lewy body disease and aging. Neurosci Lett | 10.1016/j.neulet.2018.06.052 | 684: 35-41, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 386 | Masaki Adachi, Michio Takahashi , Nobuya Takayanagi , Satomi Yoshida , Sayura Yasuda , Masanori Tanaka , Ayako Osato-Kaneda , Manabu Saito , Michito Kuribayashi , Sumi Kato , Kazuhiko Nakamura, Adaptation of the Autism Spectrum Screening Questionnaire (ASSQ) to preschool children." PLoS One. | 10.1371/journal.pone.0199590. | 13(7):e0199590. 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 387 | Kohei Koga , Shuji Shimoyama, Akihiro Yamada , Tomonori Furukawa , Yoshikazu Nikaido , Hidemasa Furue ,Kazuhiko Nakamura , and Shinya Ueno, "Chronic inflammatory pain induced GABAergic synaptic plasticity in the adult mouse anterior cingulate cortex." Molecular Pain, | 10.1177/1744806918783478. | 14:1-14, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 388 | Michio Takahashi , Guanghai Wang , Masaki Adachi , Fan Jiang , Yanrui Jiang , Manabu Saito , Kazuhiko Nakamura," Differences in sleep problems between Japanese and Chinese preschoolers: a cross-cultural comparison within the Asian region", Sleep Medicine | 10.1016/j.sleep.2017.11.1145. | 48, 42-48, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 389 | Yoshida K, Otaka H, Murakami H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Sugawara N, Nakamura K, Daimon M, Yasui-Furukori N." Association between insomnia and coping style in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus." Neuropsychiatr Dis Treat. | 10.2147/NDT.S168934. | 14:1803-1809. 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 390 | Tomita T, Kudo S, Sugawara N, Fujii A, Tsuruga K, Sato Y, Ishioka M, Nakamura K, Yasui-Furukori N. The characteristics of understanding of depression among older patients treated with antidepressants: a comparison between older and younger patients. Neuropsychiatr Dis Treat., | 10.2147/NDT.S158254. | 14:1319-1327.2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 391 | Tomita T, Kudo S, Sugawara N, Fujii A, Tsuruga K, Sato Y, Ishioka M, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Timing of psychoeducation for patients with depression who were treated with antidepressants: when should patients receive psychoeducation. Neuropsychiatr Dis Treat, | 10.2147/NDT.S156797. | 14:505-510. 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 392 | Dayalan Naidu S, Muramatsu A, Saito R, Asami S, Honda T, Hosoya T, Itoh K, Yamamoto M, Suzuki T, Dinkova-Kostova AT. C151 in KEAP1 is the main cysteine sensor for the cyanoenone class of NRF2 activators, irrespective of molecular size or shape. Sci Rep | 10.1038/s41598-018-26269-9. | 8, 8037, 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 393 | Miki Y, Mori F, Seino Y, Tanji K, Yoshizawa T, Kijima H, Shoji M, Wakabayashi K.. Colocalization of Bunina bodies and TDP-43 inclusions in a case of sporadic amyotrophic lateral sclerosis with Lewy body-like hyaline inclusions. Neuropathology. | doi: 10.1111/neup.12484. | 38(5):521-528. 2018 | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 394 | Kawarabayashi T, Nakamura T, Seino Y, Hirohata M, Mori F, Wakabayashi K, Ono S, Harigaya Y, Shoji M. Disappearance of MRI imaging signals in a patient with neuronal intranuclear inclusion disease. J Neurol Sci. | doi: 10.1016/j.jns.2018.02.038. | 15;388:1-3. 2018. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 395 | Takumi Nakamura, Takeshi Kawarabayashi, Yusuke Seino, Mie Hirohata, Naoko Nakahata, Sakiko Narita, Ken Itoh, Shigeyuki Nakaji, Mikio Shoji. Aging and APOE-e4 are determinative factors of plasma Ab42 levels, Annals of Clinical and translational neurology, | doi: 10.1002/acn3.635 | 2018 Sep 7;5(10):1184-1191. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 396 | Imaizumi T, Sassa N, Kawaguchi S, Matsumiya T, Yoshida H, Seya K, Shiratori T, Hirono K, Tanaka H: Interferon-stimulated gene 60 (ISG60) constitutes a negative feedback loop in the downstream of TLR3 signaling in hCMEC/D3 cells. J NeuroImmunol, | 10.1016/j.jneuroim.2018.08.016. | 2018 Nov 15;324:16-21. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 397 | 相馬優樹、"行動変容を目的とした職域におけるメタボリックシンドローム対策プログラム"、日本栄養食糧学会誌、 | 10.4327/jsnfs.72.19 | 第72巻、第1号、19－26（2019） | | 国内 | 弘前大学、花王（株） | | H30 |
| 398 | Ono HK, Hachiya N, Suzuki Y, Naito I, Hirose S, Asano K, Omoe K, Nakane A, Hu D-L. Development of an immunoassay for detection of staphylococcal enterotoxin-like J, a non-characterized toxin. Toxins. | doi.org/10.3390/toxins101104 | 2018. 10(11): 458. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 399 | Fang R, Cui J, Cui T, Guo H, Ono HK, Park C-H, Okamura M, Nakane A, Hu D-L. Staphylococcal enterotoxin C is an important virulence factor for mastitis. Toxins. | doi:10.3390/toxins11030141 | 2019. 11(3):141. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 400 | Kinoshita M, Kato R, Isa K, Kobayashi K, Kobayashi K, Onoe H, Isa T. Dissecting the Circuit for Blindsight to Reveal the Critical Role of Pulvinar and Superior Colliculus. Nature Communications. | https://doi.org/10.1038/s41467-018-08058-0 | 2019. 10:135. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 401 | Tu HY, Watanabe T, Shirai H, Yamasaki S, Kinoshita M, Matsushita K, Hashiguchi T, Onoe H, Matsuyama T, Kuwahara A, Kishino A, Kimura T, Eiraku M, Suzuma K, Kitaoka T, Takahashi M, Mandai M. Medium- to long-term survival and functional examination of human iPSC-derived retinas in rat and primate models of retinal degeneration. EBioMedicine. | https://doi.org/10.1016/j.ebiom.2018.11.028 | 2019. 39:562-574. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 402 | Yabe I, Yaguchi H, Kato Y, Miki Y, Takahashi H, Tanikawa S, Shirai S, Takahashi I, Kimura M, Hama Y, Matsushima M, Fujioka S, Kano T, Watanabe M, Nakagawa S, Kunieda Y, Ikeda Y, Hasegawa M, Nishihara H, Ohtsuka T, Tanaka S, Tsuboi Y, Hatakeyama S, Wakabayashi K, Sasaki H. Mutations in bassoon in individuals with familial and sporadic progressive supranuclear palsy-like syndrome. Sci Rep. | 10.1038/s41598-018-19198- | 2018. 8(1):819. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 403 | Seino Y, Nakamura T, Kawarabayashi T, Hirohata M, Narita S, Wakasaya Y, Kaito K, Ueda T, Harigaya Y, Shoji M. Cerebrospinal Fluid and Plasma Biomarkers in Neurodegenerative Diseases. J Alzheimers Dis. | 10.3233/JAD-181152 | 2019;68(1):395-404. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 404 | Seino Y, Nakamura T, Hirohata M, Kawarabayashi T, Okushima T, Shoji M. Severe Chronic Inflammatory Demyelinating Polyneuropathy Ameliorated following High-dose (3 g/kg) Intravenous Immunoglobulin Therapy. Intern Med. | 10.2169/internalmedicine.1723-18 | 2019,58(6):855-859. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 405 | Seino Y, Nakamura T, Kawarabayashi T, Wakasaya Y, Hayashi YK, Okubo M, Nishino I, Shoji M. Case of elderly-onset multiple acyl-CoA dehydrogenase deficiency with a novel ETFDH mutation shows progressive muscle weakness and rhabdomyosis. Neurol Clin Neurosci. | https://doi.org/10.1111/ncn3. | 2018; 6(2): 39-41. | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 406 | SeinoY, Nakamura Y, Hirohata M, Kawarabayashi T, Shoji M. Three cases of immune-mediated necrotizing myopathy with anti-signal recognition particle antibodies: Extra-muscular symptoms preceding progressive muscle weakness. Clin Exp Neuroimmunol. | doi:10.1111/cen3.12486 | Feb 2019. 10(1);69-73 | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 407 | SeinoY, Nakamura Y, Hirohata M , Kawarabayashi T, Okushima T, Shoji M. Hypereosinophilic syndrome presenting with inflammation in the retroparotid space and showing Villaret's syndrome. Clin Exp Neuroimmunol. | https://doi.org/10.1111/cen3. | May 2019. 10(2);138-141 | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 408 | Yasui-Furukori N, Nakamura T, Kawarabayashi T, Tarakita N, Shoji M, Nakamura K. Successful treatment with olanzapine in severe hallucinatory-paranoid state during the course of treatment of inflammatory demyelination disease: a case report. Clin Neuropsychopharmacol Ther. | | | https://doi.org/10.5234/cnpt.9 | 2018; 9: 1-2. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 409 | Sugawara N, Kudo S, Ishioka M, Sato Y, Kubo K, Yasui-Furukori N. Attitudes toward long-acting injectable antipsychotics among patients with schizophrenia in Japan. Neuropsychiatr Dis Treat. | | | 10.2147/NDT.S188337. | 15:205-211. 2019 Jan | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 410 | Tarakita N, Yoshida K, Sugawara N, Kubo K, Furukori H, Fujii A, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Differences in etiological beliefs about schizophrenia among patients, family, and medical staff. Neuropsychiatr Dis Treat. | | | 10.2147/NDT.S185483. | 15:137-142. 2018 Dec. | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 411 | Tomita T, Yasui-Furukori N, Nakagami T, Tsuchimine S, Ishioka M, Kaneda A, Nakamura K. Effects of personality on the association between paroxetine plasma concentration and response. Neuropsychiatr Dis Treat. | | | 10.2147/NDT.S187060. | 14:3299-3306.2018 Nov | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 412 | Yoshida K, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Suvorexant-Induced Delirium. Prim Care Companion CNS Disord. | | | 10.4088/PCC.18l02297. | 2018 Nov 15;20(6):18l02297. | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 413 | Miyazaki K, Otaka M, Yasui-Furukori N. Tandospirone-Induced Rhabdomyolysis. Clin Neuropharmacol. | | | 10.1097/WNF.0000000000000 | 41(6):216-217. 2018 Nov/Dec | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 414 | Kubo K, Fleischhacker WW, Suzuki T, Yasui-Furukori N, Mimura M, Uchida H: Placebo effects in adult and adolescent patients with schizophrenia: combined analysis of nine RCTs. Acta Psychiatr Scand | | | 10.1111/acps.12960 | 139: 108-116, 2019. | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 415 | Otaka H, Murakami H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Yoshida K, Sugawara N, Yasui-Furukori N, Daimon M: Association between insomnia and personality traits among Japanese patients with type 2 diabetes mellitus. J Diabetes Investig. | | | 10.1111/jdi.12927 | 10(2):484-490. 2019 | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 416 | Iino C, Shimoyama T, Iino K, Yokoyama Y, Chinda D, Sakuraba H, Fukuda S, Nakaji S. Daidzein Intake Is Associated with Equol Producing Status through an Increase in the Intestinal Bacteria Responsible for Equol Production.Nutrients. | | | 10.3390/nu11020433. | 2019 Feb 19;11(2). pii: E433. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 417 | Kumagai G, Wada K, Kudo H, Asari T, Chiba D, Ota S, Takeda O, Koyama K, Nakaji S, Ishibashi Y. Associations between cervical disc degeneration and muscle strength in a cross-sectional population-based study. PLoS One. | | | 10.1371/journal.pone.0210802 | 2019 Jan 25;14(1):e0210802. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 418 | 平川美和子, 倉内静香, 沢田かほり, 甲斐知彦, 工藤祐太郎, 上谷英史, 三輪孝士, 高橋和幸, 中路重之.中学生における血清レプチン値と動脈硬化関連指標との関係. 体力・栄養・免疫学雑誌 | | | | 2018;28:18-26. | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 419 | 神田翔太、梅田孝、金子美由紀、米田勝朗、古賀稔彦、矢野智彦、倉内静香、沢田かほり、中路重之.女子バレーボール選手におけるトレーニングによる脱水が筋組織及び免疫機能に及ぼす影響について体力・栄養・免疫学雑誌 | | | | 2018;28:154-63. | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 420 | 生嶌健也、沢田かほり、倉内静香、徳田糸代、鈴木大輔、飯塚浩史、澄川幸志、村下公一、中路重之.10代前半におけるbrachial-ankle pulse wave velocityの変動とその関連因子に関する研究.体力・栄養・免疫学雑誌 | | | | 2018;28: | | | | | | 国内 | 弘前大学 | | H30 |
| 421 | Nishijima H, Miki Y, Ueno S, Tomiyama M. Zonisamide Enhances Motor Effects of Levodopa, Not of Apomorphine, in a Rat Model of Parkinson's Disease. Parkinsons Dis. | | | doi:10.1155/2018/8626783 | 2018;2018:1-7 | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 422 | Koga K, Shimoyama S, Yamada A, et al. Chronic inflammatory pain induced GABAergic synaptic plasticity in the adult mouse anterior cingulate cortex. Mol Pain. | | | doi:10.1177/1744806918783478 | 2018;14:174480691878347. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 423 | FUJITA T, Kumagai G, LIU X, et al. Poor motor-function recovery after spinal-cord injury in anxiety-model mice with phospholipase C-related catalytically inactive protein type 1 knockout. J Neurotrauma. | | | doi:10.1089/neu.2017.5492. | 2018;8:neu.2017.5492. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 424 | Ihara K, Fuchikami M, Hashizume M, Okada S, Kawai H, Obuchi S, Hirano H, Fujiwara Y, Hachisu M, Hongyong K, Morinobu. The influence of aging on the methylation status of brain-derived neurotrophic factor gene in blood. Int J Geriatr Psychiatry. | | | doi: 10.1002/gps.4927 | 2018. Oct;33(10):1312-1318. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 425 | Kasai S, Mimura J, Ozaki T, Itoh K. Emerging Regulatory Role of Nrf2 in Iron, Heme, and Hemoglobin Metabolism in Physiology and Disease. Front Vet Sci. | | | doi: 10.3389/fvets.2018.00242. | 2018. Oct 10;5:242. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 426 | Kasai S, Yamazaki H, Tanji K, Engler MJ, Matsumiya T, Itoh K. Role of the ISR-ATF4 pathway and its cross talk with Nrf2 in mitochondrial quality control. J Clin Biochem Nutr. | | | doi: 10.3164/jcbn.18-37. | 2019. Jan;64(1):1-12. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | H30 |
| 427 | Ohara T, Hata J, Tanaka M, Honda T, Yamakage H, Yoshida D, Inoue T, Hirakawa Y, Kusakabe T, Shibata M, Teraoka T, Kitazono T, Kanba S, Satoh-Asahara N, Ninomiya T. Serum soluble triggering receptor expressed on myeloid cells 2 as a biomarker for incident dementia: the Hisayama Study. Ann Neurol. | | | 10.1002/ana.2585 | 2019;85:47-58. | | | | | | 国際 | 九州大学 | | H30 |
| 428 | Honda T, Yoshida D, Hata J, Hirakawa Y, Ishida Y, Shibata M, Sakata S, Kitazono T, Ninomiya T. Development and validation of modified risk prediction models for cardiovascular disease and its subtypes: the Hisayama Study. Atherosclerosis. | | | 10.1016/j-atherosclerosis.2018.10.014 | 2018;279:38-44. | | | | | | 国際 | 九州大学 | | H30 |
| 429 | Ohara T, Honda T, Hata J, Yoshida D, Mukai N, Hirakawa Y, Shibata M, Kishimoto H, Kitazono T, Kanba S, Ninomiya T. Association between daily sleep duration and risk of dementia and mortality in a Japanese community. J Am Geriatr Soc. | | | 10.1111/jgs.15446 | 2018;66:1911-1918. | | | | | | 国際 | 九州大学 | | H30 |
| 430 | Shibata M, Ohara T, Yoshida D, Hata J, Mukai N, Kawano H, Kanba S, Kitazono T, Ninomiya T. Association between the ratio of serum arachidonic acid to eicosapentaenoic acid and the presence of depressive symptoms in a general Japanese population: the Hisayama Study. J Affect Disord. | | | 10.1016/j-jad.2018.05.004 | 2018;237:73-79. | | | | | | 国際 | 九州大学 | | H30 |
| 431 | Takae K, Hata J, Ohara T, Yoshida D, Shibata M, Mukai N, Hirakawa Y, Kishimoto H, Tsuruya K, Kitazono T, Kiyohara Y, Ninomiya T. Albuminuria increases the risks for both Alzheimer disease and vascular dementia in community-dwelling Japanese elderly: the Hisayama Study. J Am Heart Assoc. | | | 10.1161/JAHA.117.006693 | 2018;7:pii: e006693. | | | | | | 国際 | 九州大学 | | H30 |
| 432 | 大西修平, 宮井信行, 内海みよ子, 牟礼佳苗, 竹下達也, 志波　充, 有田幹雄.肝疾患の治療歴のない高年齢層の一般住民における肝の線維化と骨格筋量の減少との関連. 日本衛生学雑誌 | | | https://doi.org/10.1265/jjh.18031 | 74: 1-10, 2019. | | | | | | 国内 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 433 | 奥井　佑、中路重之, "経時的に測定された腸内細菌組成データに対する潜在ディリクレ配分モデルを用いた関連解析法", 計量生物学, | | | | VOL39, No1, pp39-pp54, 2018 | | | | | | 国内 | 東京大学 | | H30 |
| 434 | Aberrant Uptake of a Fluorescent L-Glucose Analogue (fLG) into Tumor Cells Expressing Malignant Phenotypes | Katsuya Yamada | Biol Pharm Bull | 10.1248/bpb.b18-00089 | 2018 | 41 | 10 | 1508 | 1516 | 有 | | 弘前大学 | | H30 |
| 435 | Autophagy in neurodegeneration and aging | Miki Y, Holton J, Wakabayashi K | Aging | 10.18632/aging.101652 | 2018 | 10 | 12 | 3632 | 3633 | 有 | | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 436 | エネルギー産生栄養素摂取バランスと内臓脂肪との関連 - 岩木健康増進プロジェクトでの横断研究 - | 大沼由香, 倉内静香, 熊谷美香, 三澤美菜, 永田和史, 徳田糸代, 駒目瞳, 沢田かほり, 桂木能久, 中路重之, 井原一成 | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2018 | 28 | 3 | 157 | 165 | 有 | | 弘前大学 | | H30 |
| 437 | Ogata Y, Nemoto W, Yamagata R, et al. Anti-hypersensitive effect of angiotensin (1-7) on streptozotocin-induced diabetic neuropathic pain in mice. Eur J Pain. | | | doi:10.1002/ejp.1341 | 2019 Apr;23(4):739-749. | | | | | | 国際 | 弘前大学 | | R1 |
| 438 | 一般住民健診における認知機能と口腔機能の関係 | 榊原毅、小林恒、沢田かほり、徳田糸代、高橋一平、川谷健一 | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2019 | 29 | | 46 | 53 | | | 弘前大学 | | R1 |
| 439 | 競技レベルの違いが同一トレーニング後の身体疲労の出現に及ぼす影響－筋逸脱酵素値及び免疫機能による検討 | 谷本歩実、梅田孝、古賀稔彦、野村忠宏、山本洋祐、小嶋新太、田辺勝、沢田かほり、倉内静香、中路重之 | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2019 | 29 | | 54 | 62 | | | 弘前大学 | | R1 |
| 440 | 一般住民における体脂肪蓄積タイプと心血管疾患関連因子（血圧、糖代謝、脂質代謝）との関係 | 髙橋佳子、徳田糸代、沢田かほり、倉内静香、桂木能久、中路重之、井原一成 | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2019 | 29 | | 72 | 81 | | | 弘前大学 | | R1 |
| 441 | 青森県で繰り広げられている短命返上活動：健康づくりという名の地域おこし.シリーズ地方発バイオイノベーションの進展と機能性食素材開発・特別編 | 中路重之 | FOOD Style | | 2019 | 23 | 12 | 29 | 31 | | | 弘前大学 | | R1 |
| 442 | Histamine release from intestinal mast cells induced by staphylococcal enterotoxin A (SEA) evokes vomiting reflex in common marmoset | Ono HK, Hirose S, Narita K, Sugiyama M, Asano K, Hu D-L, Nakane A. | PLoS Pathogen | doi.org/10.1371/journal.ppat.1007803 | 2019/05 | 15 | 5 | e1007803 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 443 | Interleukin-10 (IL-10) produced by mutant toxic shock syndrome toxin 1 vaccine-induced memory T cells downregulates IL-17 production and abrogates the protective effect against Staphylococcus aureus Infection | Narita K, Hu D-L, Asano K, Nakane A. | Infection and Immunity | DOI: 10.1128/IAI.00494-19 | 2019/10 | 87 | 10 | e00494-19 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 444 | Staphylococcus aureus isolated from skin from atopic-dermatitis patients produces staphylococcal enterotoxin Y, which predominantly induces T-cell receptor V α-specific expansion of T cells | Aziz F, Hisatsune J, Yu L, Kajimura J, Sato' o Y, Ono HK, Masuda K, Yamaoka M, Salasia SIO, Nakane A, Ohge H, Kusunoki Y, Sugai M. | Infection and Immunity | DOI: 10.1128/IAI.00360-19 | 2020/02 | 88 | 2 | e00360-19 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 445 | Interferon-induced transmembrane protein 1 and Myxovirus resistance protein 1 are induced by polyinosinic-polycytidylic acid in cultured hCMEC/D3 human cerebral microvascular endothelial cells. | Imaizumi T, Satake U, Miyashita R, Kawaguchi S, Matsumiya T, Seya K, Ding J, Tanaka H: | J Neuroimmunol, 337 (2019 Dec), 577047. | doi: 10.1016/j.jneuroim.2019.577047. | 2019/12 | 337 | | 5077047 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 446 | Melanoma differentiation-associated gene 5 positively modulates TNF-a-induced CXCL10 expression in cultured HuH-7 and HLE cells. | Kawaguchi S, Sakuraba H, Haga T, Matsumiya T, Seya K, Endo T, Sawada N, Iino C, Kikuchi H, Hiraga H, Fukuda S, Imaizumi T. | Inflamamtion | doi: 10.1007/s10753-019-01073-3. | 2019/12 | 42 | | 2095 | 2104 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 447 | Effect of low-concentration amyloid-β 1-42 (Aβ42) on human neuroblastoma SH-SY5Y cell viability: neuriproteictive potential of combination use with carnosic acid, rebamipide, edaravone, and resveratrol. | Yoshida H, Hashimoto Y, Fukushima T, Tanji K, Matsumiya T, Seya K, Kawaguchi S, Imaizumi T | Hirosaki Med J | doi.org/10.32216/hirosakiigaku.70.1_24 | 2019/11 | 70 | | 24 | 38 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 448 | Warfarin calcifies human aortic valve interstitial cells at high phosphate conditions via pregnane X receptor | Yu Z, Seya K, Chiyoya M, Daitoku K, Motomura S, Imaizumi T, Fukuda I, Furukawa K | J Bone Miner Metab | DOI: 10.1007/s00774-019-01001-3 | 2019 | 37 | | 944 | 956 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 449 | Induction of CCL2 via TLR3 signaling in hCMEC/D3 cells: possible regulation by NF-•B. | Sassa N, Hirono K, Shiratori T, Kawaguchi S, Matsumiya T, Yoshida H, Seya K, Tanaka H, Imaizumi T | Clin Exp Neuroimmunol | DOI: 10.1111/cen3.12514 | 2019 | 10 | | 197 | 203 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 450 | Cytosolic sensors of viral RNA are involved in the production of interleukin-6 via Toll-like receptor 3 signaling in human glomerular endothelial cells | Liu Q, Imaizumi T, Aizawa T, Hirono K, Kawaguchi S, Watanabe S, Tsugawa K, Matsumiya T, Seya K, Yoshida H, Tanaka H | Kidney Blood Pressure Res | DOI: 10.1159/000498837 | 2019 | 44 | | 62 | 71 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 451 | Retinoic acid-inducible gene-I and CXCL10 are involved in biliary atresia. | Kimura T, Imaizumi T, Yoshida T, Shimada T, Hayakari R, Kawaguchi S, Yoshida H., Kobayashi T, Hirabayashi T, Mizukami H, Kijima H, Hakamada K. | Hirosaki Med J | https://doi.org/10.32216/hirosakiigaku.69.1-4_86 | 2019 | 69 | | 86 | 94 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 452 | Chloroquine attenuates TLR3-mediated plasminogen activator inhibitor-1 expression in cultured human glomerular endothelial cells. | Aizawa T, Imaizumi T, Hirono K, Watanabe S, Tsugawa K, Tanaka H. | Clin Exp Nephrol | doi: 10.1007/s10157-018-1659-y. | 2019 | 23 | | 448 | 454 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 453 | Temperature elevation in epileptogenic foci exacerbates epileptic discharge through TRPV4 activation | Shibasaki, K., Yamada, K., Miwa, H., Yanagawa, Y., Suzuki, M., Tominaga, M., Ishizaki, Y. | Laboratory Investigation | 10.1038/s41374-019-0335-5 | 2019/10 | 100 | 2 | 274 | 284 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 454 | A long-term interval from a spinal cord lesion to subsequent brain lesion in primary central nervous system vasculitis: a case report. | Kon T, Funamizu Y, Suzuki C, Sato T, Kurotaki H, Kurihara A, Kurose A, Wakabayashi K, Tomiyama M. | Internal Medicine | 10.2169/internalmedicine.1667-18. | 2019 | 58 | 10 | 1485 | 1489 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 455 | Atypical globular glial tauopathy with a combination of types I and II pathology. | Kon T, Mori F, Arai A, Miki Y, Tanji K, Kurotaki H, Tomiyama M, Wakabayashi K. | Neuropathology | doi:10.1111/neup.12536 | 2019 | 39 | | 127 | 134 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 456 | An autopsy case of early-stage amyotrophic lateral sclerosis with TDP-43-immunoreactive neuronal, but not glial, inclusions. | Kon T, Mori F, Oyama Y, Tanji K, Kimura T, Takahashi S, Wakabayashi K. | Neuropathology | doi:10.1111/neup.12554. | 2019 | 39 | 3 | 224 | 230 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 457 | A mouse model of adult-onset multiple system atrophy. | Tanji K, Miki Y, Mori F, Nikaido Y, Narita H, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. | Neurobiol Dis | doi:10.1016/j.nbd.2019.03.020 | 2019 | 127 | | 339 | 349 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 458 | MicroRNA expression profiles of neuron-derived extracellular vesicles in plasma from patients with amyotrophic lateral sclerosis. | Katsu M, Hama Y, Utsumi J, Takashina K, Yasumatsu H, Mori F, Wakabayashi K, Shoji M, Sasaki H. | Neurosci Lett | doi:10.1016/j.neulet.2019.03.048. | 2019 | 708 | | 134176 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 459 | Phosphorylated NUB1 distinguishes α-synuclein in Lewy bodies from that in glial cytoplasmic inclusions of multiple system atrophy. | Tanji K, Miki Y, Mori F, Kon T, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K. | Brain Pathol | doi: 10.1111/bpa.12728. | 2019 | 29 | 6 | 803 | 812 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 460 | Neuronal intranuclear inclusion disease showing blepharoptosis and positive serum anti-acetylcholine receptor antibody without myasthenia gravis. | Hayashi K, Hamaguchi T, Sakai K, Nakamura K, Wakabayashi K, Shirasaki H, Yamada M. | J Neurol Sci | doi:10.1016/j.jns.2019.03.013 | 2019 | 400 | | 119 | 121 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 461 | Immunoreactivity of myelin-associated oligodendrocytic basic protein in Lewy bodies. | Kon T, Tanji K, Mori F, Kimura A, Kakita A, Wakabayashi K. | Neuropathology | doi: 10.1111/neup.12564. | 2019 | 39 | 4 | 279 | 285 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 462 | Perineuritis successfully treated with early aggressive immunotherapy. | Nakamura T, Kawarabayashi T, Seino Y, Hirohata M, Wakabayashi K, Shoji M. | Intern Med | doi:10.2169/internalmedicine.2638-19 | 2019 | 58 | 19 | 2875 | 2878 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 463 | Trehalose intake together with exercise up-regulates a glucose transporter, GLUT8, in the brain. | Narita H, Tanji K, Miki Y, Mori F, Wakabayashi K. | Biochem Biophys Res Comm | doi:10.1016/j.bbrc.2019.05.017. | 2019 | 514 | 3 | 672 | 677 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 464 | Autophagy is a common degradation pathway for Bunina bodies and TDP-43 inclusions in amyotrophic lateral sclerosis. | Mori F, Miki Y, Kon T, Tanji K, Wakabayashi K. | J Neuropathol Exp Neurol | doi: 10.1093/jnen/nlz072. | 2019 | 78 | 10 | 910 | 921 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 465 | Neuropathology of Lewy body disease: clinicopathological crosstalk between typical and atypical cases. | Kon T, Tomiyama M, Wakabayashi K. | Neuropathology | doi: 10.1111/neup.12597. | 2020 | 40 | 1 | 30 | 39 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 466 | Extracellular α-synuclein enters dopaminergic cells by modulating flotillin-1-assisted dopamine transporter endocytosis. | Kobayashi J, Hasegawa T, Sugeno N, Yoshida S, Akiyama T, Fujimori K, Hatakeyama H, Miki Y, Tomiyama A, Kawata Y, Fukuda M, Kawahata I, Yamakuni T, Ezura M, Kikuchi A, Baba T, Takeda A, Kanzaki M, Wakabayashi K, Okano H, Aoki M. | FASEB J | doi:10.1096/fj.201802051R. | 2019 | 33 | 9 | 10240 | 10256 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 467 | Phosphorylated TDP-43 aggregates in skeletal and cardiac muscle are a marker of myogenic degeneration in amyotrophic lateral sclerosis and various conditions. | Mori F, Tada M, Kon T, Miki Y, Tanji K, Kurotaki H, Tomiyama M, Ishihara T, Onodera O, Kakita A, Wakabayashi K. | Acta Neuropathol Comm | doi:10.1186/s40478-019-0824-1. | 2019 | 7 | 1 | 165 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 468 | Personality associated with depressive status in individuals with type 2 diabetes mellitus. | Yasui-Furukori N, Murakami H, Otaka H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Nakamura K, Daimon M, Sugawara N. | Neuropsychiatr Dis Treat. | 10.2147/NDT.S200012. | 2019 May | 15 | | 1133 | 1139 | 無 | | 弘前大学 | | R1 |
| 469 | Association between Sleep Disturbances and Emotional/Behavioral Problems in Chinese and Japanese Preschoolers. | Wang G, Takahashi M, Wu R, Liu Z, Adachi M, Saito M, Nakamura K, Jiang F. | Behav Sleep Med. | 10.1080/15402002.2019.1605995. | 2019 May | 7 | | 1 | 12 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R1 |
| 470 | Cross-cultural adaptation and psychometric properties of the Social Capital Questionnaire for Adolescent Students among preadolescents and adolescents in Japan. | Hirota T, Adachi M, Takahashi M, Nakamura K. | Psychiatry Clin Neurosci. | 10.1111/pcn.12910. | 2019 Sep | 73 | 9 | 601 | 602 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R1 |
| 471 | Coping behaviors and depressive status in individuals with type 2 diabetes mellitus. | Yasui-Furukori N, Murakami H, Otaka H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Nakamura K, Daimon M, Sugawara N. | Ann Gen Psychiatry | 10.1186/s12991-019-0235-5. | 2019 Jul | 18 | | 11 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 472 | The factor structure and construct validity of the parent-reported Inventory of Callous-Unemotional Traits among school-aged children and adolescents. | Yoshida S, Adachi M, Takahashi M, Takanyanagi N, Yasuda S, Osada H, Nakamura K. | PLoS One. | 10.1371/journal.pone.0221046. | 2019 Aug | 14 | 8 | e0221046. | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 473 | Lipopolysaccharide induces mouse translocator protein (18 kDa) expression via the AP-1 complex in the microglial cell line, BV-2. | Shimoyama S, Furukawa T, Ogata Y, Nikaido Y, Koga K, Sakamoto Y, Ueno S, Nakamura K. | PLoS One. | 10.1371/journal.pone.0222861. | 2019 Sep | 14 | 9 | e0222861 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 474 | Sex Differences In Psychoeducation For Patients With Depression: A Comparison Of Frequency And Efficacy Of Psychoeducation. | Tomita T, Kudo S, Sugawara N, Fujii A, Tsuruga K, Sato Y, Ishioka M, Nakamura K, Yasui-Furukori N. | Neuropsychiatr Dis Treat. | 10.2147/NDT.S207544 | 2019 Nov | 15 | | 3069 | 3078 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 475 | Concomitant Nrf2- and ATF4-activation by Carnosic Acid Cooperatively Induces Expression of Cytoprotective Genes. | Mimura J, Inose-Maruyama A, Taniuchi S, Kosaka K, Yoshida H, Yamazaki H, Kasai S, Harada N, Kaufman RJ, Oyadomari S, Itoh K. | Int J Mol Sci | 10.3390/ijms20071706. | 2019/4 | 20 | 7 | | | 有 | 有 | 弘前大学 | | R1 |
| 476 | Triphenyltin disrupts intracellular Zn2+ homeostasis in rat thymic lymphocytes | Ueno T, Oyama K, Hyung YJ, Ueno S, Oyama Y. | Toxicol Vitr. | 10.1016/j.tiv.2020.104782 | 2020/1 | 65 | | | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 477 | Phospholipase C-related inactive protein type-1 deficiency affects anesthetic electroencephalogram activity induced by propofol and etomidate in mice | Furukawa T, Nikaido Y, Shimoyama S, et al. | J Anesth. | 10.1007/s00540-019-02663-z | 2019/8 | 33 | 4 | 531 | 542 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 478 | Usefulness of serum opsonic activity measured by chemiluminescence method to assess the invasiveness of colorectal endoscopic mucosal dissection. | Chinda D, Shimoyama T, Arai T, Sawada K, Akitaya K, Kudo S, Yasuda K, Miyazawa K, Akimoto N, Sato S, Hayamizu S, Tatsuta T, Kikuchi H, Hiraga H, Sawaya M, Sakuraba H, Mikami T, Nakaji S, Fukuda S. | Free Radic Res. | 10.1080/10715762.2019.1681590 | 2020/12 | 54 | 11-12 | 810 | 817 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 479 | Effects of oral environment on frailty: particular relevance of tongue pressure. | Satake A, Kobayashi W, Tamura Y, Oyama T, Fukuta H, Inui A, Sawada K, Ihara K, Noguchi T, Murashita K, Nakaji S. | Clin Interv Aging. | 10.2147/CIA.S212980. | 2019 | 14 | | 1643 | 1648 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 480 | The Relationship Between Gait Function and Erectile Dysfunction: Results from a Community-Based Cross-Sectional Study in Japan. | Okamoto T, Hatakeyama S, Imai A, Konishi S, Okita K, Yamamoto H, Tobisawa Y, Yoneyama T, Mori K, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Ohyama C. | J Sex Med. | 10.1016/j.jsxm.2019.08.018. | 2019 | 16 | | 1922 | 1929 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 481 | Multicenter prospective study validating the efficacy of a quantitative assessment tool for frailty in patients with urological cancers. | M Soma O, Hatakeyama S, Okamoto T, Fujita N, Hamano I, Tanaka T, Momota M, Yoneyama T, Yamamoto H, Imai A, Yoneyama T, Hashimoto Y, Yoshikawa K, Kawaguchi T, Saitoh H, Nakaji S, Suzuki T, Ohyama C. | Med Oncol. | 10.1007/s12032-019-1313-x. | 2019 | 36 | 10 | 88 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 482 | Significant decrease in Faecalibacterium among gut microbiota in nonalcoholic fatty liver disease: a large BMI- and sex-matched population study. | Iino C, Endo T, Mikami K, Hasegawa T, Kimura M, Sawada N, Nakaji S, Fukuda S. Significant decrease in Faecalibacterium among gut microbiota in nonalcoholic fatty liver disease: a large BMI- and sex-matched population study. | Hepatol Int. | 10.1007/s12072-019-09987-8. | 2019 | 13 | | 748 | 756 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 483 | Early knee osteoarthritis prevalence is highest among middle-aged adult females with obesity based on new set of diagnostic criteria from a large sample cohort study in the Japanese general population. | Sasaki E, Ota S, Chiba D, Kimura Y, Sasaki S, Yamamoto Y, Tsuda E, Nakaji S, Ishibashi Y. | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. | 10.1007/s00167-019-05614-z. | 2020 | 28 | 3 | 984 | 994 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 484 | Symptomatic bone marrow lesions induced by reduced bone mineral density in middle-aged women: a cross-sectional Japanese population study. | Ota S, Chiba D, Sasaki E, Kumagai G, Yamamoto Y, Nakaji S, Tsuda E, Ishibashi Y. | Arthritis Res Ther. | 10.1186/s13075-019-1900-4. | 2019 | 21 | | 113 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 485 | Lifestyle Factors Rather Than Helicobacter pylori Infection or Estradiol Level are Associated With Osteopenia in Japanese Men. | Chinda D, Shimoyama T, Sawada K, Iino C, Sakuraba H, Nakaji S, Fukuda S. | Am J Mens Health. | 10.1177/1557988319848219. | 2019 | 13 | 3 | 1 | 8 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 486 | Prevalence of cervical canal stenosis in farmers: Epidemiological study based on radiographic parameter of spinal cord injury patients. | Wada K, Kumagai G, Kudo H, Asari T, Ota S, Kamei K, Koyama K, Nakaji S, Ishibashi Y. | J Orthop Sci. | 10.1016/j.jos.2019.03.021. | 2020 | 25 | 2 | 206 | 212 | 有 | | 弘前大学 | H31W23-3 | R1 |
| 487 | Influence of gastric endoscopic submucosal dissection on serum opsonic activity measured by chemiluminescence. | Arai T, Chinda D, Shimoyama T, Sawada K, Akitaya K, Miyazawa K, Akimoto N, Sato S, Hayamizu S, Tatsuta T, Kikuchi H, Hiraga H, Sawaya M, Sakuraba H, Mikami T, Nakaji S, Fukuda S. | J Clin Biochem Nutr. | 10.3164/jcbn.18-93. | 2019 | 64 | 2 | 180 | 185 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 488 | Predicting radiological vertebral fractures with a combined physical function and body composition scoring system. | Takeda O, Kumagai G, Wada K, Kudo H, Asari T, Ota S, Chiba D, Nakaji S, Ishibashi Y. | J Bone Miner Metab. | 10.1007/s00774-019-00998-x. | 2019 | 37 | 5 | 935 | 942 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 489 | Relationship between oxidative stress and lower urinary tract symptoms: results from a community health survey in Japan. | Matsumoto T, Hatakeyama S, Imai A, Tanaka T, Hagiwara K, Konishi S, Okita K, Yamamoto H, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yoneyama T, Hashimoto Y, Koie T, Nakaji S, Ohyama C. | BJU Int. | 10.1111/bju.14535. | 2019 | 123 | | 877 | 884 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 490 | Efficacy of Upper Gastrointestinal Endoscopic Examination to Identify Patients with Obstructive Sleep Apnea Syndrome: A Retrospective Cross-Sectional Study. | Ohata K, Sakai E, Nakao T, Kimoto Y, Ishii R, Konishi T, Ueno S, Takita M, Negishi R, Morinushi T, Muramoto T, Matsuhashi N, Nakaya T, Koba I, Nakaji S. | Digestion. | 10.1159/000491385. | 2019 | 99 | | 252 | 259 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 491 | Blautia genus associated with visceral fat accumulation independent of BMI and waist circumference in adults 20-76 years of age | Ozato N, Saito S, Yamaguchi T, Katashima M, Tokuda I, Sawada K, Katsuragi Y, Kakuta M, Imoto S, Ihara K, Nakaji S. | npj Biofilms and Microbiomes | 10.1038/s41522-019-0101-x | 2019/10/4 | 5 | 28 | 1 | 9 | 有 | | 花王、弘前大学、東京大学医科学研究所 | ①-e | R1 |
| 492 | Association between nutrients and visceral fat in healthy Japanese adults: a 2-year longitudinal study | Ozato N, Saito S, Yamaguchi T, Katashima M, Tokuda I, Sawada K, Katsuragi Y, Imoto S, Ihara K, Nakaji S. | Nutrients | 10.3390/nu11112698 | 2019/11/7 | 11 | 11 | 1 | 10 | 有 | | 花王、弘前大学、東京大学医科学研究所 | ①-e | R1 |
| 493 | Association between breath methane concentration and visceral fat area: A population-based cross-sectional study | Ozato N, Saito S, Yamaguchi T, Katashima, M, Tokuda I, Sawada K, Katsuragi Y, Kakuta M, Imoto S, Ihara K, Nakaji S. | Journal of Breath Research | 10.1088/1752-7163/ab61c6 | 2020/2/25 | 14 | 2 | 1 | 10 | 有 | | 花王、弘前大学、東京大学医科学研究所 | ①-e | R1 |
| 494 | A novel method to visualize the dietary macronutrient composition of smaller visceral fat accumulation | Yamaguchi T, Ozato N, Katashima M, Sawada K, Katsuragi Y, Ihara K, Nakaji S | Front Nutr. | 10.3389/fnut.2019.00194. eCollection 2019. | 2020/1/24 | 194 | 6 | 1 | 12 | 有 | | 花王、弘前大学 | ①-e | R1 |
| 495 | 高齢者と大学生が共に学ぶ実践コミュニティの構築 | 日下菜穂子 | 関西学院大学心理科学実践 | | 2020/3 | 1 | 1 | 9 | 11 | 無 | | 同志社女子大学 | | R1 |
| 496 | Serum Lipopolysaccharide-Binding Protein Levels and the Incidence of Cardiovascular Disease in a General Japanese Population: The Hisayama Study. | Asada M, et al. | J Am Heart Assoc | 10.1161/JAHA.119.013628 | 2019/11 | 8 | 21 | e013628 | e013628 | 有 | | 九州大学 | | R1 |
| 497 | NT-proBNP and Risk of Dementia in a General Japanese Elderly Population: The Hisayama Study. | Nagata t, et al. | J Am Heart Assoc | 10.1161/JAHA.118.011652 | 2019/9 | 8 | 17 | e011652 | e011652 | 有 | | 九州大学 | | R1 |
| 498 | The combination of obesity and high salt intake are associated with blood pressure elevation among healthy Japanese adolescents | Y.Sougawa | J Hum Hypertens | 10.1038/s41371-019-0239-2 | 2020/2 | 34 | 2 | 117 | 124 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 499 | 地域住民を対象とした認知症の予知予防における家庭血圧測定の有効性に関する研究 | 有田　幹雄 | 共済エグザミナ通信 | | 2019/8 | | | 23 | 28 | | | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 500 | Clinical polyneuropathy does not increase with prediabetes or metabolic syndrome in the japanese general population | Kurisu S,Sasaki H, kishimoto S, Hirayasu K, Ogawa K, Matsuno S, Furuta H, Arita M, Naka K, Nanjo K, Akamizu T. | J Diabetes Investig | 10.1111/jdi.13058 | 2019/11 | 10 | 6 | 1565 | 1575 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 501 | Relationship between child occupational self-assessment and quality of life in elementary school children | Yokoi K, Kurasawa S, Utsumi M, Miyai N | J Occup Ther Sch Early Interv | 10.1080/19411243.2019.1604287 | 2019/4 | 13 | 1 | 7 | 18 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 502 | Sleep education for primary school students by occupational therapists in Japan: a pilot study through a health promotion project | Kurasawa S, Yokoi K, Utsumi M, Shiozu H, Miyai N | J Occup Ther Sch Early Interv | 10.1080/19411243.2019.1672602 | 2020 | 13 | 2 | 186 | 196 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 503 | Influence of vascular risk factors on postutal stability in a community-dwelling population: Results from the Iwaki Health Promotion Project. | Yuri Mitsuhashi, Akira Sasaki, Shinichi Goto, Kaori Sawada, Itoyo Tokuda, Kazushige Ihara, Shigeyuki Nakaji, Atsushi Matsubara | Equilibrium Research | https://doi.org/10.3757/jser.79.57 | 2020/02 | 79 | | 57 | 65 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 504 | Association between higher urinary normetanephrine and insulin resistance in a Japanese population. | Murabayashi M, Daimon M, Murakami H, Fujita T, Sato E, Tanabe J, Matsuhashi Y, Takayasu S, Yanagimachi M, Terui K, Kageyama K, Tokuda I, Sawada K, Ihara K. | PLoS One | 10.1371/journal.pone.0228787 | 2020/02 | 15 | 2 | e0228787 | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 505 | Relationship between gut microbiota composition and sensitization to inhaled allergens. | Nomura A, Matsubara A, Goto S, Takahata J, Sawada K, Ihara K3, Nakaji S. | Allergol Int | 10.1016/j.alit.2019.12.010 | 2020/07 | 69 | 3 | 437 | 442 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 506 | Normal High HbA1c a Risk Factor for Abnormal Pain Threshold in the Japanese Population. | Itabashi C, Mizukami H, Osonoi S, Takahashi K, Kudo K, Wada K, Inaba W, Danyang G, Uchida C, Umetsu S, Igawa A, Ogasawara S, Ryuzaki M, Komeda K, Ishibashi Y, Yagihashi S, Nakaji. S. | Front Endocrinol (Lausanne) | 10.3389/fendo.2019.00651 | 2020/03 | 11 | 130 | | | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 507 | Risk Assessment of Private Information Inference for Motion Sensor Embedded IoT Devices | Yan Huang; Xin Guan; Hongyang Chen; Yi Liang; Shanshan Yuan; Tomoaki Ohtsuki | IEEE Trans. on Emerging Topics in Computational Intelligence | | 2019 | 4 | 3 | 265 | 275 | | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 508 | Multi-Class Sentiment Analysis on Twitter: Classification Performance and Challenges | M. Bouazizi and T. Ohtsuki | BIG DATA MINING AND ANALYTICS | | 2019/9 | 3 | 4 | 181 | 194 | 有 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 509 | Blind Source Separation on Non-contact Heartbeat Detection by Non-negative Matrix Factorization Algorithms | C. Ye, K. Toyoda, and T. Ohtsuki, | IEEE Trans. on Biomedical Engineering (TBME) | 10.1109/TBME.2019.2915762. | 2020/2 | 67 | 2 | 482 | 494 | 有 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 510 | Underdetermined Blind Source Separation with Multi-Subspace for Nonlinear Representation | L. Wang and T. Ohtsuki | IEEE Access | | 2019/6 | 7 | | 84545 | 84557 | 有 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 511 | Sociopsychological characteristics of late nonagenarians in Japan: The protocol of the Arakawa 95+ cohort study. | Niimura H, Eguchi Y, Kida H, Suzuki K, Takayama M, Mimura M | Psychogeriatrics. | 10.1111 | 2020/1 | 20 | 1 | 50 | 58 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 512 | Svensson T, Sawada N, Mimura M, Nozaki S, Shikimoto R, Tsugane S: The association between midlife serum high-density lipoprotein and mild cognitive impairment and dementia after 19 years of follow-up. | Svensson T, Sawada N, Mimura M, Nozaki S, Shikimoto R, Tsugane S | Translational Psychiatry | | 2019 | 9 | 1 | 26 | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 513 | Japan Public Health Center-Based Prospective Study Group: Midlife cancer/diabetes and risk of dementia and mild cognitive impairment: A population-based prospective cohort study in Japan. | Sadahiro R, Sawada N, Matsuoka YJ, Mimura M, Nozaki S, Shikimoto R, Goto A, Tsugane S | Psychiatry and Clinical Neurosciences | | 2019 | 73 | 9 | 597 | 599 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 514 | Diet quality and depression risk in a Japanese population: the Japan Public Health Center (JPHC)-based Prospective Study | Okubo R, Matsuoka YJ, Sawada N, Mimura M, Kurotani K, Nozaki S, Shikimoto R, Tsugane S | Scientific Reports | | 2019 | 9 | 1 | 7510 | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 515 | Can we predict amyloid deposition by objective cognition and regional cerebral blood flow in patients with subjective cognitive decline? | Funaki K, Nakajima S, Noda Y, Wake T, Ito D, Yamagata B, Yoshizaki T, Kameyama M, Nakahara T, Murakami K, Jinzaki M, Mimura M, Tabuchi H | Psychogeriatrics | | 2019 | 19 | 4 | 325 | 332 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 516 | Factor structure of the Japanese version of the Quality of Life in Alzheimer's Disease Scale (QOL-AD). | Yamada T, Nakaaki S, Sato J, Sato H, Shikimoto R, Furukawa TA, Mimura M, Akechi T | Psychogeriatrics | | 2019 | 20 | 1 | 79 | 86 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 517 | Japan Public Health Center-based Prospective Study Group: Reproductive history and risk of cognitive impairment in Japanese women. | Shimizu Y, Sawada N, Iwasaki M, Shikimoto R, Nozaki S, Mimura M, Tsugane S | Maturitas | | 2019 | 128 | | 22 | 28 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 518 | Sleep stage detection using only heart rate. | Mitsukura Y, Fukunaga K, Yasui M, Mimura M | Health Informatics J | 10.1177/1460458219827349 | 2019 | 26 | 1 | 376 | 387 | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 519 | Early Improvements of Individual Symptoms With Antipsychotics Predict Subsequent Treatment Response of Neuropsychiatric Symptoms in Alzheimer's Disease: A Re-Analysis of the CATIE-AD Study. | Nagata T, Shinagawa S, Yoshida K, Noda Y, Shigeta M, Mimura M, Nakajima S | J Clin Psychiatry | 10.4088/JCP.19m12961 | 2020 | 81 | 2 | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 520 | Disclosure of Amyloid Status for Risk of Alzheimer Disease to Cognitively Normal Research Participants With Subjective Cognitive Decline: A Longitudinal Study. Am J Alzheimers Dis Other Demen. | Wake T, Tabuchi H, Funaki K, Ito D, Yamagata B, Yoshizaki T, Nakahara T, Jinzaki M, Yoshimasu H, Tanahashi I, Shimazaki H, Mimura M. | Am J Alzheimers Dis Other Demen | 10.1177/1533317520904551 | 2020 | | | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 521 | Effectiveness and cost effectiveness of Mindfulness-Based Cognitive Therapy for improving subjective well-being among healthy individuals: study protocol for a randomised controlled trial. | Sado M, Kosugi T, Ninomiya A, Nagaoka M, Park S, Fujisawa D, Shirahase J, Mimura M | JMIR Res Protoc | 10.2196/15892 | 2020 | | | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 522 | Costs and Resource Use Associated with Community-Dwelling Patients with Alzheimer's Disease in Japan: Baseline Results from the Prospective Observational GERAS-J Study. | Nakanishi M, Igarashi A, Ueda K, Brnabic AJM, Treuer T, Sato M, Kahle-Wrobleski K, Meguro K, Yamada M, Mimura M, Arai H | J Alzheimers Dis | 10.3233/JAD-190811 | 2020 | | | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 523 | A Validation Study of the Remotely Administered Montreal Cognitive Assessment Tool in the Elderly Japanese Population. | Iiboshi K, Yoshida K, Yamaoka Y, Eguchi Y, Satod D, Kishimoto M, Funaki K, Mimura M, Kishimoto T | Telemed J E Health. | 10.1089/tmj.2019.0134. | 2019/11 | | | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 524 | Remote neuropsychological assessment of elderly Japanese population using the Alzheimer's Disease Assessment Scale: A validation study | Yoshida K, Yamaoka Y, Eguchi Y, Sato D, Iiboshi K, Kishimoto M, Mimura M, Kishimoto T | J Telemed Telecare | 10.1177/1357633X19845278 | 2019/5 | | | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 525 | 精神科領域における遠隔医療の現状と課題 | 岸本泰士郎 | 日本医学会総会会誌30回 | | 2019/4 | | | 柱1-1-2-2 | | 有 | | 慶應義塾大学 | 3-b | R1 |
| 526 | Real-Time System for Horizontal Asymmetry Analysis on Facial Expression and Its Visualization | R. Shimada, T. Asada, Y. Yoshitomi, and M. Tabuse, | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | 10.2991/jrnal.k.190531.002 | 2019/6 | 6 | 1 | 7 | 11 | 有 | | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 527 | A System for Posting on SNS Portrait Selected Using Facial Expression Analysis While Writing Message | T. Asada, Y. Yano, Y. Yoshitomi, and M. Tabuse | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | 10.2991/jrnal.k.191202.004 | 2019/6 | 6 | 3 | 199 | 202 | 有 | | 京都府立大学 | 3-b | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 528 | Facial Expression Synthesis Using Vowel Recognition for Synthesized Speech | Taro Asada, Ruka Adachi, Syuhei Takada, Yasunari Yoshitomi, Masayoshi Tabuse | Proceedings of International Conference on Artificial Life and Robotics | | 2020/1 | | | 398 | 402 | 有 | | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 529 | A Method to Assess Dissaving Risk againstLife Expectancy for Elderly People | Yuuya Yokoyama and Yasunari Yoshitomi | Proceedings of 20th IEEE/ACISInternational Conference on on Software Engineering, ArtificialIntelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing | | 2019/7 | | | 262 | 267 | 有 | | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 530 | Assessment of Dissaving Risk against LifeExpectancy for Elderly People through Anonymous Data and Random Data | Yuuya Yokoyama and Yasunari Yoshitomi | Proceedings of 20th IEEE/ACISInternational Conference on on Software Engineering, ArtificialIntelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing | | 2019/7 | | | 274 | 279 | 有 | | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 531 | 末梢部皮膚温度を入力に用いた楽曲推薦システム | 和田真, 浅田太郎, 吉冨康成, 田伏正佳 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2019論文集 | | 2019/9 | | | 736 | 739 | 無 | | 京都府立大学 | | R1 |
| 532 | Development of a platform for activatable fluorescent substrates of glucose transporters (GLUTs) | Takasugi T, Hanaoka K., Sasaki A., Ikeno T, Komatsu T, Ueno T, Yamada K., Urano Y. | Bioorg Med Chem | 10.1016/j.bmc.2019.02.055. | 2019 | 27 | 10 | :2122 | 2126 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 533 | 男子中学生の反復横跳の回数と stretch shortening cycle 動作遂行能力およびスプリント能力との関係 | 寺田和史, 小林勇真, 兼安亜美, 平元香菜, 松本健二, 國井洸樹, 中村倖菜, 山本大輔, 中谷敏昭, 宮井信行, 内海みよ子, 有田幹雄 | 奈良体育学会研究年報 | | 2019 | 24 | | 31 | 36 | 無 | | | | R1 |
| 534 | Influence of Helicobacter pylori Infection and Atrophic Gastritis on the Gut Microbiota in a Japanese Population. | Iino C, Shimoyama T, Chinda D, Sakuraba H, Fukuda S, Nakaji S. | Digestion | 10.1159/000500634 | 2019/8 | 101 | 1 | 422 | 432 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 535 | The association between serum serotonin levels and overactive bladder: results from a community-based cross-sectional study in Japan. | Okamoto T, Hatakeyama S, Imai A, Yamamoto H, Yoneyama T, Mori K1, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Ohyama C. | World J Urol. | 10.1007/s00345-020-03167-2 | 2021/1 | 39 | 1 | 169 | 175 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 536 | Brachial-ankle pulse wave velocity in healthy Japanese adolescents: reference values for the assessment of arterial stiffness and cardiovascular risk profiles. | Y.Sougawa | Hypertens Res | 10.1038/s41440-019-0370-z | 2020/4 | 43 | 4 | 331 | 341 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 537 | Endothelial expression of fractalkine (CX3CL1) is induced by Toll-like receptor 3 signaling in cultured human glomerular endothelial cells. | Hirono K, Imaizumi T, Aizawa T, Watanabe S, Tsugawa K, Shiratori T, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Ito E, Tanaka H | Modern Rheumatol | 10.1080/14397595.2019.1682768. | 2020 | 30 | 6 | 1074 | 1081 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 538 | Menaquinone-4 accelerates calcification of human aortic valve interstitial cells in high-phosphate medium through PXR. | Yang W, Yu Z, Chiyoya M, Liu X, Daitoku K, Motomura S, Imaizumi T, Fukuda I, Furukawa K, Tsuji M, Seya K: | J Pharmacol Exp Ther | 10.1124/jpet.119.263160. | 2020 | 372 | 3 | 277 | 284 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 539 | Polyinosinic-polycytidylic acid induces CXCL1 expression in cultured hCMEC/D3 human cerebral microvascular endothelial cells. | Li Y, Imaizumi T, Matsumiya T, Seya K, Kawaguchi S, Ding J, Ohkuma H: | Neuroimmunomodulation | 10.1159/000506482. | 2020 | 27 | | 38 | 47 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 540 | ISG56 is involved in CXCL10 expression induced by TLR3 signaling in BEAS-2B bronchial epithelial cells. | Shiratori T, Imaizumi T, Hirono K, Kawaguchi S, Matsumiya T, Seya K, Tasaka S: | Exp Lung Res | 10.1080/01902148.2020.1760965 | 2020 | 46 | 6 | 195 | 202 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 541 | Toll-like receptor 3 as a recurrence risk factor and a potential molecular therapeutic target in colorectal cancer. | Yoshida T, Miura T, Matsumiya T, Yoshida H, Morohashi H, Sakamoto Y, Kurose A, Imaizumi T, Hakamada K | Clin Exp Gastroenterol | 10.2147/CEG.S252157 | 2020 | 13 | | 427 | 438 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 542 | Podocyte sphingomyelin phosphodiesterase acid-like 3b is decreased in children with idiopathic nephrotic syndrome. | Watanabe S, Hirono K, Aizawa T, Tsugawa K, Joh K, Imaizumi T, Tanaka H. | Clin Exp Nephrol | 10.1007/s10157-020-01970-0. | 2021/01 | 25 | 1 | 44 | 51 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 543 | Tryptanthrin suppresses double-stranded RNA-induced CXCL10 expression via inhibiting the phosphorylation of STAT1 in human umbilical vein endothelial cells | Kawaguchi S, Sakuraba H, Kikuchi H, Numao N, Asari T, Hiraga H, Ding J, Matsumiya T, Seya K, Fukuda S, Imaizumi T | Mol Immunol | 10.1016/j.molimm.2020.11.003. | 2021/01 | 129 | | 32 | 38 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 544 | Poly IC induces retinoic acid-inducible gene-I and melanoma differentiation-associated gene 5 and modulates inflammation in podocytes. | Nakata M, Shimada M, Narita I, Nagawa D, Fujita T, Murakami R, Imaizumi T, Nakamura N, Tomita H: | in vivo | 10.21873/invivo.12242. | 2021/01 | 35 | 1 | 147 | 153 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 545 | IFIT proteins are involved in CXCL10 expression in human glomerular endothelial cells treated with a Toll-like receptor 3 agonist. | Imaizumi T, Hashimoto S, Sato R, Umetsu H, Aizawa T, Watanabe S, Kawaguchi S, Matsumiya T, Seya K, Ding J, Tanaka H | Kidney Blood Pressure Res | 10.1159/000511915 | 2021/1 | 46 | 1 | 74 | 83 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 546 | Role of MDA5 in regulating CXCL10 expression induced by TLR3 signaling in human rheumatoid fibroblast-like synoviocytes. | Saruga T, Imaizumi T, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Sasaki E, Sasaki N, Uesato R, Ishibashi Y: | Mol Biol Rep | 10.1007/s11033-020-06069-z. | 2021/1 | 48 | 1 | 425 | 433 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 547 | Ultraviolet C light with wavelength of 222 nm inactivates a wide spectrum of microbial pathogens | Narita K, Asano K, Naito K, Ohashi H, Sasaki M, Morimoto Y, Igarashi T, Nakane A. | Journal of Hospital Infection | 10.1016/j.jhin.2020.03.030 | 2020/07 | 150 | 3 | 459 | 467 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 548 | Thiazolidinediones downregulate PPARg expression via induction of aP2 during mouse 3T3-L1 preadipocyte differentiation | Masumi A, Oba Y, Tonosaki M, Aizu I, Asano K, Nakane A. | BPB Reports | なし | 2020/08 | 3 | 4 | 119 | 125 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 549 | A novel staphylococcal enterotoxin SE02 involved in a staphylococcal food poisoning outbreak that occurred in Tokyo in 2004 | Suzuki Y, Ono HK, Shimojima Y, Kubota H, Kato R, Kakuda T, Hirose S, Hu D-L, Nakane A, Takai S, Sadamasu K. | Food Microbiology | 10.1016/j.fm.2020.103588 | 2020/12 | 92 | | 103568 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 550 | Uptake of fluorescent D- and L-glucose analogues, 2-NBDG and 2-NBDLG, into human osteosarcoma U2OS cells in a phloretin-inhibitable manner | Ogawa, T., Sasaki, A., Ono, K., Ohshika S., Ishibashi, Y., Yamada, K. | Human cell | 10.1007/s13577-020-00483-y | 2021/1 | 34 | 2 | 634 | 643 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 551 | 無肥料・無農薬による自然栽培法，および無化学肥料・減農薬による栽培法で生育させた「ふじ」の果皮に含まれるポリフェノール“フロリジン”の質量分析 | 小野 幸輝，今井 麻智子，山田 勝也. | 弘前医学 | 10.32216/hirosakiigaku.71.1_31 | 2020/10 | 71 | 1 | 31 | 45 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 552 | L-glucose: another path to cancer cells. | Ono, K., Takigawa, S., Yamada, K. | Cancers | 10.3390/cancers12040850 | 2020/4 | 12 | 4 | 850 | | 有 | | 弘前大学 | 招待論文 | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 553 | Developmental changes in attention to social information from childhood to adolescence in autism spectrum disorders: A comparative study. | Toru Fujioka, Kenji J Tsuchiya, Manabu Saito, Yoshiyuki Hirano, Muneaki Matsuo Mitsuru Kikuchi, Yoshihiro Maegaki, Damee Choi, Sumi Kato, Tokiko Yoshida, Yuko Yoshimura, Sawako Ooba, Yoshifumi Mizuno, Shinichiro Takiguchi, Hideo Matsuzaki, Akemi Tomoda, Katsuyuki Shudo, Masaru Ninomiya, Taiichi Katayama, Hirotaka Kosaka | Molecular Autism | 10.1186/s13229-020-00321-w. | 2020Apr 9 | 11 | 1 | 24 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 554 | Prevalence and cumulative incidence of autism spectrum disorders and the patterns of co-occurring neurodevelopmental disorders in a total population sample of 5-year-old children. | Saito M, Hirota T, Sakamoto Y, Adachi M, Takahashi M, Osato-Kaneda A, Kim YS, Leventhal B, Shui A, Kato S, Nakamura K. | Molecular Autism | 10.1186/s13229-020-00342-5. | 2020 May 14 | 11 | 1 | 35 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 555 | Secondary oxalosis induced by xylitol concurrent with lithium-induced nephrogenic diabetes insipidus: a case report. | Takayasu S, Kamba A, Yoshida K, Terui K, Watanuki Y, Ishigame N, Mizushiri S, Tomita T, Nakamura K, Yasui-Furukori N, Daimon M. | BMC Nephrol. | 10.1186/s12882-020-01814-9. | 2020 May 1 | 21 | 1 | 157 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 556 | In vivo imaging of dopamine D1 receptor and activated microglia in attention-deficit/hyperactivity disorder: a positron emission tomography study. | Yokokura M, Takebasashi K, Takao A, Nakaizumi K, Yoshikawa E, Futatsubashi M, Suzuki K, Nakamura K, Yamasue H, Ouchi Y. | Molecular Psychiatry. | 10.1038/s41380-020-0784-7. | 2020 May 21 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print. | R2 |
| 557 | Atypical Sensory Processing Profiles and Their Associations With Motor Problems In Preschoolers With Developmental Coordination Disorder. | Mikami M, Hirota T, Takahashi M, Adachi M, Saito M, Koeda S, Yoshida K, Sakamoto Y, Kato S, Nakamura K, Yamada J. | Child Psychiatry Hum Dev. | 10.1007/s10578-020-01013-5. | 2020 Jun 11 | 52 | 2 | 311 | 320 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 558 | Validation and Psychometric Properties of the Japanese Version of the Fear of COVID-19 Scale Among Adolescents | Masuyama A, Shinkawa H, KuboT. | International Journal of Mental Health and Addiction | 10.1007/s11469-020-00368-z | 13 July 2020 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print. | R2 |
| 559 | A potential role of fatty acid binding protein 4 in the pathophysiology of autism spectrum disorder | Maekawa M, Ohnishi T, Toyoshima M, Shimamoto-Mitsuyama C, Hamazaki K, Balan S, Wada Y, Esaki K, Takagai S, Tsuchiya KJ, Nakamura K, Iwata Y, Nara T, Iwayama Y, Toyota T, Nozaki Y, Ohba H, Watanabe A, Hisano Y, Matsuoka S, Tsujii M, Mori N, Matsuzaki H, Yoshikawa T. | BRAIN COMMUNICATIONS | 10.1093/braincomms/fcaa145. | 2020 Sep 10 | 2 | 2 | fcaa145. | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 560 | Pediatric health-related quality of life and school social capital through network perspectives. | Hirota T, Takahashi M, Adachi M, Nakamura K. | PLoS One. | 10.1371/journal.pone.0242670. | 2020 Dec 2 | 15 | (12) | e0242670. | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 561 | VLDL-specific increases of fatty acids in autism spectrum disorder correlate with social interaction | Noriyoshi Usui, Keiko Iwata, Taishi Miyachi, Shu Takagai, Keisuke Wakusawa, Takahiro Nara, Kenji J Tsuchiya, Kaori Matsumoto, Daisuke Kurita, Yosuke Kameno, Tomoyasu Wakuda, Kiyokazu Takebayashi, Yasuhide Iwata, Toru Fujioka, Takaharu Hirai, Manabu Toyoshima, Tetsuo Ohnishi, Tomoko Toyota, Motoko Maekawa, Takeo Yoshikawa, Masato Maekawa, Kazuhiko Nakamura | E BioMedicine | 10.1016/j.ebiom.2020.102917. | 2020 Aug | 58 | | 102917 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 562 | Distributional patterns of item responses and total scores of the Patient Health Questionnaire for Adolescents in a general population sample of adolescents in Japan. | Adachi M, Takahashi M, Hirota T, Shinkawa H, Mori H, Saito T, Nakamura K. | Psychiatry Clin Neurosci. | 10.1111/pcn.13148. | 2020 Nov | 74 | 11 | 628 | 629 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 563 | Interformat Reliability of Web-Based Parent-Rated Questionnaires Assessing for Neurodevelopmental Disorders among Preschoolers: A Community Developmental Health Check-up Setting Study | Masanori Tanaka, Manabu Saito, Michio Takahashi, Masaki Adachi, Kazuhiko Nakamura | JMIR Pediatr Parent | 10.2196/20172 | 2021 Feb | 4 | 1 | e20172 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 564 | Ribosome binding protein GCN1 regulates the cell cycle and cell proliferation and is essential for the embryonic development of mice | Yamazaki H, Kasai S, Mimura J, Ye P, Inose-Maruyama A, Tanji K, Wakabayashi K, Mizuno S, Sugiyama F, Takahashi S, Sato T, Ozaki T, Cavener DR, Yamamoto M, Itoh K | PLoS Genet | 10.1371/journal.pgen.1008693 | 2020/4 | 16 | 4 | e1008693 | | 有 | 有 | 弘前大学 | | R2 |
| 565 | An autopsy case of primary lateral sclerosis with Alzheimer's disease | Nakamura T, Kon T, Kawarabayashi T, Wakabayashi K, Ikeda Y, Shoji M | J Neurol Sci | 10.1016/j.jns.2020.116792 | 2020/5 | 412 | | 116792 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 566 | Clinical and pathological features affecting cardiac sympathetic denervation in autopsy-confirmed dementia with Lewy bodies | Takahashi M, Uchihara T, Yoshida M, Wakabayashi K, Kakita A, Takahashi H, Toru S, Kobayashi T, Orimo S | Eur J Neurol | 10.1111/ene.14240 | 2020/7 | 27 | 7 | 1155 | 1163 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 567 | Where and how alpha-synuclein pathology spreads in Parkinson's disease? | Wakabayashi K | Neuropathology | 10.1111/neup.12691 | 2020/10 | 40 | 5 | 415 | 425 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 568 | GABA storage and release in the medial globus pallidus in L-DOPA-induced dyskinesia priming | Nishijima H, Mori F, Arai A, Zhu G, Wakabayashi K, Okada M, Ueno S, Ichinohe N, Suzuki S, Kon T, Tomiyama M | Neurobiol Dis | 10.1016/j.nbd.2020.104979 | 2020/9 | 143 | | 104979 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 569 | Cerebral ring hemorrhages and a massive hematoma in a patient with infectious endocarditis | Kon T, Nagawa D, Nakata M, Abe N, Haga T, Kijima H, Tomiyama M, Wakabayashi K | Neuropathology | 10.1111/neup.12701 | 2020/10 | 45 | 5 | 526 | 527 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 570 | Novel tankyrase inhibitors suppress TDP-43 aggregate formation | Tanji K, Mori F, Shirai F, Fukami T, Seimiya H, Utsumi J, Kakita A, Wakabayashi K. Novel tankyrase inhibitors suppress TDP-43 aggregate formation | Biochem Biophys Res Comm | 10.1016/j.bbrc.2020.12.037 | 2021/1 | 537 | | 85 | 92 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 571 | Leptin/adiponectin ratio correlates with hepatic steatosis but not arterial stiffness in nonalcoholic fatty liver disease in Japanese population | Kenichiro Mikami, Tetsu Endo, Naoya Sawada, Go Igarashi, Masayo Kimura, Takuma Hasegawa, Chikara Iino, Hirofumi Tomita, Kaori Sawada, Shigeyuki Nakaji, Masashi Matsuzaka, Natalie J. Torok, Shinsaku Fukuda. | Cytokine | 10.1016/j.cyto.2019.154927 | 2020/2 | 126 | | 154927 | 154927 | 無 | | 弘前大学 | | R2 |
| 572 | Metagenomic analysis of bacterial species in tongue microbiome of current and never smokers. | Sato N, Kakuta M, Hasegawa T, Yamaguchi R, Uchino E, Kobayashi W, Sawada K, Tamura Y, Tokuda I, Murashita K, Nakaji S, Imoto S, Yanagita M, Okuno Y. | NPJ Biofilms Microbiomes. | 10.1038/s41522-020-0121-6. | 2020/3 | 6 | 1 | 11 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 573 | Altered gut microbiome associated with overactive bladder and daily urinary urgency. | Okamoto T, Hatakeyama S, Imai A, Yamamoto H, Yoneyama T, Mori K, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Ohyama C. | World J Urol. | 10.1007/s00345-020-03243-7. | 2021/3 | 39 | 3 | 847 | 853 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 574 | The relationship between cigarette smoking and the tongue microbiome in an East Asian population. | Sato N, Kakuta M, Uchino E, Hasegawa T, Kojima R, Kobayashi W, Sawada K, Tamura Y, Tokuda I, Imoto S, Nakaji S, Murashita K, Yanagita M, Okuno Y. | J Oral Microbiol. | 10.1080/20002297.2020.1742527. | 2020/5 | 12 | 1 | | | 有 | | 弘前大学、京都大学 | | R2 |
| 575 | The association between gut microbiome and erectile dysfunction: a community-based cross-sectional study in Japan. | Okamoto T, Hatakeyama S, Imai A, Yamamoto H, Yoneyama T, Mori K, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Ohyama C. | Int Urol Nephrol. | 10.1007/s11255-020-02443-9. | 2020/3 | 52 | | 1421 | 1428 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 576 | Relationships between body composition and pulmonary function in a community-dwelling population in Japan. | Kawabata R, Soma Y, Kudo Y, Yokoyama J, Shimizu H, Akaike A, Suzuki D, Katsuragi Y, Totsuka M, Nakaji S. | PLoS One | 0.1371/journal.pone.0242308. | 2020/11 | 15 | 11 | 1 | 14 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 577 | Elevated serum glycated albumin and glycated albumin to hemoglobin A1c ratio were associated with hippocampal atrophy in a general elderly population of Japanese: the Hisayama Study. | Ohara T, et al. | J Diabetes Investig | 10.1111/jdi.13220 | 2020/7 | 11 | 4 | 971 | 979 | 有 | | 九州大学 | | R2 |
| 578 | Study design and baseline characteristics of a population-based prospective cohort study of dementia in Japan: the Japan Prospective Studies Collaboration for Aging and Dementia (JPSC-AD) | Ninomiya T, Nakaji S, Maeda T, Yamada M, Mimura M, Nakashima K, Mori T, Takebayashi M, Ohara T, Hata J, Kokubo Y, Uchida K, Taki Y, Kumagai S, Yonemoto K, Yoshida H, Muto K, Momozawa Y, Akiyama M, Kubo M, Ikeda M, Kanba S, Kiyohara Y; JPSFC-AD Study Group. | Environ Health Prev Med | 10.1186/s12199-020-00903-3. | 2020/10 | 25 | 64 | 1 | 12 | 有 | | 弘前大学、九州大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 579 | Relationship between frailty and lower urinary tract symptoms among community-dwelling adults. | Soma O, Hatakeyama S, Imai A, Matsumoto T, Hamano I, Fujita N, Iwamura H, Okamoto T, Yamamoto H, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Ohyama C. | Low Urin Tract Symptoms | 10.1111/luts.12292 | 2020/5 | 12 | 2 | 128 | 136 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 580 | Increased Oxidative Stress Underlies Abnormal Pain Threshold in a Normoglycemic Japanese Population. | Osonoi S, Mizukami H, Itabashi C, Wada K, Kudoh K, Igawa A, Ogasawara S, Ishibashi Y, Daimon M, Yagihashi S, Nakaji S. | Int J Mol Sci. | 10.3390/ijms21218306 | 2020/11 | 21 | 21 | 8306 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 581 | STone Episode Prediction: Development and validation of the prediction nomogram for urolithiasis. | Okita K, Hatakeyama S, Imai A, Tanaka T, Hamano I, Okamoto T, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yamamoto H, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Suzuki T, Ohyama C. | Int J Urol. | 10.1111/iju.14203 | 2020/4 | 27 | 4 | 344 | 349 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 582 | Relationship between Selected Trace Elements and Hematological Parameters among Japanese Community Dwellers. | Wai KM, Sawada K, Kumagai M, Itai K, Tokuda I, Murashita K, Nakaji S, Ihara K. | Nutrients. | 10.3390/nu12061615 | 2020/5 | 12 | 6 | 1615 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 583 | Lipopolysaccharide-binding protein is a distinctive biomarker of abnormal pain threshold in the general Japanese population. | Kudoh K, Mizukami H, Itabashi C, Fuke N, Osonoi S, Takeuchi Y, Wada K, Igawa A, Ogasawara S, Ishibashi Y, Hakamada K, Yagihashi S, Nakaji S. | BMJ Open Diabetes Res Care | 10.1136/bmjdrc-2020-001739 | 2020/10 | 8 | 1 | e001739 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 584 | Changed Amino Acids in NAFLD and Liver Fibrosis: A Large Cross-Sectional Study without Influence of Insulin Resistance. | Hasegawa T, Iino C, Endo T, Mikami K, Kimura M, Sawada N, Nakaji S, Fukuda S. | Nutrients | 10.3390/nu12051450 | 2020/5 | 12 | 5 | 1450 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 585 | Association of single nucleotide polymorphisms in the NRF2 promoter with vascular stiffness with aging. | Shimizu S, Mimura J, Hasegawa T, Shimizu E, Imoto S, Tsushima M, Kasai S, Yamazaki H, Ushida Y, Suganuma H, Tomita H, Yamamoto M, Nakaji S, Itoh K. | PLoS One | 10.1371/journal.pone.0236834 | 2020/8 | 15 | 8 | e0236834 | | 有 | | 弘前大学、カゴメ（株） | 2-a-1 | R2 |
| 586 | The association between serum serotonin levels and overactive bladder: results from a community-based cross-sectional study in Japan. | Okamoto T, Hatakeyama S, Imai A, Yamamoto H, Yoneyama T, Mori K, Yoneyama T, Hashimoto Y, Nakaji S, Ohyama C. | World J Urol | 10.1007/s00345-020-03167-2 | 2021/1 | 39 | 1 | 169 | 175 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 587 | Association of Bone Metabolism with Fatty Liver Disease in the Elderly in Japan: A Community-based Study. | Mikami K, Endo T, Sawada N, Igarashi G, Kimura M, Hasegawa T, Iino C, Sawada K, Nakaji S, Ishibashi Y, Matsuzaka M, Fukuda S. | Intern Med | 10.2169/internalmedicine.3906-19 | 2020/5 | 59 | 10 | 1247 | 1256 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 588 | Association between Polyunsaturated Fatty Acid and Reactive Oxygen Species Production of Neutrophils in the General Population. | Suzuki N, Sawada K, Takahashi I, Matsuda M, Fukui S, Tokuyasu H, Shimizu H, Yokoyama J, Akaike A, Nakaji S. | Nutrients | 10.3390/nu12113222 | 2020/10 | 12 | 11 | 3222 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 589 | Association between Biomarkers of Cardiovascular Diseases and the Blood Concentration of Carotenoids among the General Population without Apparent Illness. | Matsumoto M, Waki N, Suganuma H, Takahashi I, Kurauchi S, Sawada K, Tokuda I, Misawa M, Ando M, Itoh K, Ihara K, Nakaji S. | Nutrients | 10.3390/nu12082310 | 2020/7 | 12 | 8 | 2310 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 590 | US detection of medial meniscus extrusion can predict the risk of developing radiographic knee osteoarthritis: a 5-year cohort study. | Chiba D, Sasaki E, Ota S, Maeda S, Sugiyama D, Nakaji S, Ishibashi Y. | Eur Radiol | 10.1007/s00330-020-06749-1 | 2020/7 | 30 | 7 | 3966 | 4004 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 591 | Knee effusion evaluated by ultrasonography warns knee osteoarthritis patients to develop their muscle atrophy: a three-year cohort study. | Chiba D, Ota S, Sasaki E, Tsuda E, Nakaji S, Ishibashi Y. | Sci Rep | 10.1038/s41598-020-65368-4 | 2020/5 | 10 | 1 | 8444 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 592 | Association between serum β-carotene-to-retinol ratio and severity of hepatic steatosis in non-alcoholic fatty liver disease in Japan: A cross-sectional study. | Kimura M, Mikami K, Endo T, Matsuzaka M, Sawada N, Igarashi G, Iino C, Hasegawa T, Sawada K, Ando M, Tokuda I, Suganuma H, Matsumoto M, Nakaji S, Fukuda S. | Nutrition | 10.1016/j.nut.2020.110984 | 2020/11 | 79-80 | | 110984 | | 有 | | 弘前大学、カゴメ（株） | | R2 |
| 593 | Skin Carotenoid Level as an Alternative Marker of Serum Total Carotenoid Concentration and Vegetable Intake Correlates with Biomarkers of Circulatory Diseases and Metabolic Syndrome. | Matsumoto M, Suganuma H, Shimizu S, Hayashi H, Sawada K, Tokuda I, Ihara K, Nakaji S. | Nutrients | 10.3390/nu12061825 | 2020/6 | 12 | 6 | 1285 | | 有 | | 弘前大学、カゴメ（株） | 2-a-2 | R2 |
| 594 | Detection of synovitis in early knee osteoarthritis by MRI and serum biomarkers in Japanese general population. | Ishibashi K, Sasaki E, Ota S, Chiba D, Yamamoto Y, Tsuda E, Yoshikuni S, Ihara K, Ishibashi Y. | Sci Rep. | 10.1038/s41598-020-69328-w. | 2020/7 | 10 | 1 | 12310 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 595 | Prevalence of the mitochondrial 1555 A>G and 1494 C>T mutations in a community-dwelling population in Japan. | Maeda Y, Sasaki A, Kasai S, Goto S, Nishio SY, Sawada K, Tokuda I, Itoh K, Usami SI, Matsubara A. | Hum Genome Var. | 10.1038/s41439-020-00115-9 | 2020/9 | 7 | | 27 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 596 | 一般住民における食事摂取と血清レプチン、グレリン濃度との関係. | 大里怜子、高橋一平、植村望、徳田糸代、沢田かほり、樗木武治、鈴木伸章、福井真司、倉内静香、中路重之. | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2020/10 | 30 | 1 | 3 | 12 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 597 | 一般住民における骨密度及び骨質マーカーと関連因子との関係性：岩木健康増進プロジェクトでの検討. | 植村望、高橋一平、太田聖也、赤池あらた、大里玲子、倉内静香、沢田かほり、徳安秀正、椿原徹也、中路重之. | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2020/10 | 30 | 1 | 13 | 23 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 598 | 一般地域住民における口腔内環境と口腔細菌叢に関する研究 | 野口貴雄, 石崎博, 田村好拡, 小山俊朗, 長内俊之, 佐竹杏奈, 福田はるか, 秋山なつみ, 沢田かほり, 井原一成, 中路重之, 小林恒 | 弘前医学 | | 2020/11 | 71 | 1 | 46 | 54 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 599 | 一般高齢地域住民における歯数・咬合支持と運動機能との関連. | 田村好拡、福田はるか、秋山なつみ、小山俊朗、沢田かほり、徳田糸代、中路重之、井原一成、佐藤寿、小林恒. | 体力・栄養・免疫学雑誌 | | 2020/12 | 30 | 2 | 113 | 1119 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 600 | Sex-Related Differences in Anxiety and Functional Recovery after Spinal Cord Injury in Mice | Fukutoku, T., Kumagai, G., Fujita, T., Sasaki, A., Wada, K., Liu, X., Tanaka, T., Kudo, H., Asari, T., Nikaido, Y., Ueno, S., Ishibashi, Y | J Neurotrauma | 10.1089/neu.2019.6929 | 2020/11 | 37 | 21 | 2235 | 2243 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 601 | Anti-epileptic effects of FABP3 ligand MF1 through the benzodiazepine recognition site of the GABAA receptor | Yabuki, Y., Liu, J., Kawahata, I., Izumi, H., Shinoda, Y., Koga, K., Ueno, S., Shioda, N., Fukunaga, K. | Int J Mol Sci | 10.3390/ijms21155525 | 2020/8 | 21 | 15 | 5525 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 602 | Blockade of PAR-1 Signaling Attenuates Cardiac Hypertrophy and Fibrosis in Renin-Overexpressing Hypertensive Mice. | Yokono Y, Hanada K, Narita M, Tatara Y, Kawamura Y, Miura N, Kitayama K, Nakata M, Nozaka M, Kato T, Kodo N, Tsushima M, Toyama Y, Itoh K, Tomita H. | J Am Heart Assoc | 10.1161/JAHA.119.015616 | 2020/06 | 9 | 12 | e015616 | e015616 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 603 | Prevalence of the mitochondrial 1555 A>G and 1494 C>T mutations in a community-dwelling population in Japan. | Maeda Y, Sasaki A, Kasai S, Goto S, Nishio S, Sawada K, Tokuda I, Itoh K, Usami S, Matsubara A. | Human Genome Variation | 10.1038/s41439-020-00115-9 | 2020/09 | 7 | 1 | 27 | 27 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 604 | JDP2 is directly regulated by ATF4 and modulates TRAIL sensitivity by suppressing the ATF4-DR5 axis. | Engler MJ, Mimura J, Yamazaki S, Itoh K. | FEBS Open Bio | 10.1002/2211-5463.13017 | 2020/12 | 10 | 12 | 2771 | 2779 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 605 | Low Level of Serum Cadmium in Relation to Blood Pressures Among Japanese General Population | Masaya Kaneda, Kyi Mar Wai, Akira Kanda, Masataka Ando, Koichi Murashita, Shigeyuki Nakaji, Kazushige Ihara | Biol Trace Elem Res | 10.1007/s12011-021-02648-8 | 2021/2 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R2 |
| 606 | Increased plasma lipoprotein lipase activity in males with autism spectrum disorder | Takaharu Hirai, Noriyoshi Usui, Keiko Iwata, Taishi Miyachi, Kenji J. Tsuchiya, Min-Jue Xie, Kazuhiko Nakamura, Masatsugu Tsujii, Toshiro Sugiyama, Hideo Matsuzaki. | Research in Autism Spectrum Disorders | 10.1016/j.rasd.2020.101630 | Sep 2020 | 77 | | 101630 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 607 | 高等支援学校における集団ソーシャルスキル・トレーニングの実践―学校コミュニティの文脈への適合を目指して― | 新川広樹・清水理奈・弼川智恵・富家直明 | ストレスマネジメント研究 | | 2020年7月 | 16 | 1 | 12 | 23 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 608 | 震災後の学校再開時における高等支援学校生のストレス反応―発災後1週間から4週間までの推移― | 新川広樹・弼川智恵・清水理奈・富家直明 | ストレスマネジメント研究 | | 2021年2月 | 16 | 2 | 12 | 19 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 609 | Assessing the relationship between non-motor symptoms and health-related qual | Ueno T | Neurol Sci | 10.1007 | 2020/10 | 41 | 10 | 2867 | 2873 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R2 |
| 610 | Bilateral Thalamic Lesions Associated With Atezolizumab-Induced Autoimmune Encephalitis | Nishijima H | Neurology | 10.1212 | 2020/1 | 96 | 3 | 126 | 127 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R2 |
| 611 | Sensory Nerve Conduction Study with Inching Test in Palmar Digital Neuropathy | Ueno T | Intern Med | 10.2169 | 2021/2 | 60 | 3 | 469 | 472 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R2 |
| 612 | Social innovation for life expectancy extension Utilizing a platform-centered system used in the Iwaki Health Promotion Project: a protocol paper. | Shigeyuki Nakaji, Kazushige Ihara, Kaori Sawada, Stefano Parodi, Giannina Gaslini, Takashi Umeda, Ippei Takahashi, Koichi Murashita, Shizuka Kurauchi, Itoyo Tokuda. | SAGE Open Medicine | １０.１１７７/２０５０３１２１２１１００２６０６ | 2021/3 | 9 | | 1 | 13 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 613 | Tumor vasculature-targeted 10B delivery by an Annexin A1-binding peptide boosts effects of boron neutron capture therapy. | 1.Tohru Yoneyama, Shingo Hatakeyama, Mihoko Sutoh Yoneyama, Taku Yoshiya, Tsuyoshi Uemura, Takehiro Ishizu, Minoru Suzuki, Shingo Hachinohe, Shintaro Ishiyama, Motohiro Nonaka, Michiko N Fukuda, Chikara Ohyama. | BMC Cancer. | 10.1186/s12885-020-07760-x | 2021/1 | 21 | 1 | 105 | | 有 | 有 | 弘前大学、京都大学 | R02W16 | R2 |
| 614 | 「成年後見制度と民事信託」 | 渡部朗子 | 高岡法科大学紀要 | https://doi.org/10.24703/takahokiyo.32.0_73 | 2021/3 | | 32 | 73 | 88 | 有 | | 中央大学 | ③ | R2 |
| 615 | 「医療契約における顛末報告義務」 | 石田瞳 | 高岡法科大学紀要 | https://doi.org/10.24703/taka | 2021/3 | | 32 | 89 | 111 | 有 | | 中央大学 | ③ | R2 |
| 616 | Fecal microbiome composition in healthy adults in Ghana | Parbie PK, Mizutani T, Ishizaka A, Kawana-Tachikawa A, Runtuwene LR, Seki S, Abana CZ, Kushitor D, Bonney EY, Ofori SB, Uematsu S, Imoto S, Kimura Y, Kiyono H, Ishikawa K, Ampofo WK, Matano T. | | 10.7883/yoken.JJID.2020.469 | 2021/1 | 74 | 1 | 42 | 47 | 有 | 有 | 東京大学 | | R2 |
| 617 | Association between single nucleotide polymorphism in NRF2 promoter and vascular stiffness with aging | Shimizu S, Mimura J, Imoto S, Hasegawa T, Tsushima M, Kasai S, Yamazaki H, Ushida Y, Suganuma H, Tomita H, Nakaji S, Itoh K. | PLoS ONE | 10.1371/journal.pone.0236834 | 2020/8 | 15 | 8 | e0236834 | | 有 | | 東京大学、弘前大学 | | R2 |
| 618 | Genome-wide association studies and heritability analysis reveal the involvement of host genetics in the Japanese gut microbiota | Ishida S, Kato K, Tanaka M, Odamaki T, Kubo R, Mitsuyama E, Xiao J, Yamaguchi R, Uematsu S, Imoto S, Miyano S. | Communications Biology | Genome-wide association studies and heritability analysis reveal the involvement of host genetics in the Japanese gut microbiota | 2020/11 | 3 | | 686 | | 有 | | 東京大学 | | R2 |
| 619 | The Relationship Between Meaningful Occupation and Self-Rated Health in Japanese Individuals: The Wakayama Study | Yokoi K, Miyai N, Utsumi M, Hattori S, Kurasawa S, Uematsu Y, Arita M | Occup Ther Health Care | 10.1080/07380577 | 2020/4 | 34 | 2 | 116 | 130 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 620 | Relationship between Fall History and Self-Perceived Motor Fitness in Community-Dwelling People: A Cross-Sectional Study. | Yokoi K, Miyai N, Utsumi M, Hattori S, Kurasawa S, Hayakaya H, Uematsu Y, | J Clin Med | 10.3390/jcm9113649 | 2020/11 | 13 | 9 | 3649 | | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 621 | Muscle mass reduction, low muscle strength, and their combination are associated with arterial stiffness in community-dwelling elderly population: the Wakayama Study | Zhang Y, Miyai N, Abe K, Utsumi M, Uematsu Y, Terada K, Nakatani T, Takeshita T, Arita M | J Hum Hypertens | 10.1038/s41371-020-0355-z | 2020/5 | | | | | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 622 | Health Observation App for COVID-19 Symptom Tracking Integrated With Personal Health Records: Proof of Concept and Practical Use Study | Yamamoto K, Takahashi T, Urasaki M, Nagayasu Y, Shimamoto T, Tateyama Y, Matsuzaki K, Kobayashi D, Kubo S, Mito S, Abe T, Matsuura H, Iwami T | JMIR MHEALTH AND UHEALTH | 10.2196/19902 | 2020 | 8 | 7 | | | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 623 | Association between biomarkers of cardiovascular diseases and the blood concentrations of carotenoids among the general population without apparent illness | Matsumoto M, Waki N, Suganuma H, Takahashi I, Kurauchi S, Sawada K, Tokuda I, Misawa M, Ando M, Itoh K, Ihara K, Nakaji S | Nutrients | doi: 10.3390/nu12082310 | 2020/07 | 12 | 8 | E2310 | 16 | 有 | | カゴメ(株)、弘前大学 | 2-a-2 | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 624 | Health improvement framework for planning actionable treatment process using surrogate Bayesian model | Kazuki Nakamura, Ryosuke Kojima, Eiichiro Uchino, Koichi Murashita, Ken Itoh, Shigeyuki Nakaji, Yasushi Okuno | arXiv | | 2020/11 | | | | | 無 | | 京都大学 | 2-a-4 | R2 |
| 625 | 「成年後見制度の役割と地域包括ケア・地域共生社会」 | 小賀野晶一 | 社会保障法研究(信山社) | | 2020/12 | | 12 | 23 | 48 | 無 | | 中央大学 | ③ | R2 |
| 626 | 「身上監護と意思決定支援」 | 渡部朗子 | 高岡法学 | | 2020/12 | | 39 | 57 | 77 | 有 | | 中央大学 | ③ | R2 |
| 627 | Non-contact Heartbeat Detection by Heartbeat Signal Reconstruction based on Spectrogram Analysis with Convolutional LSTM | K. Yamamoto, T. Ohtsuki | IEEE Access | | | 8 | | 123603 | 123613 | 有 | | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 628 | All-in-One Hate Speech Detectors May not be what You Want | M. Bouazizi, N. Niida, and T. Ohtsuki, | ICSIM2021 | | 2021/1 | | | | | 有 | | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 629 | Wi-Fi-CSI-based Fall Detection by Spectrogram Analysis with CNN | T. Nakamura, M. Mondher, K. Yamamoto, and T. Ohtsuki | IEEE Global Communications Conference (GLOBECOM2020) | | 2020/12 | | | | | 有 | | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 630 | An Infrared Array Sensor-Based Method for Localizing and Counting People for Health Care and Monitoring | M. Bouazizi and T. Ohtsuki, | EMBC2020 | | 2020/9 | | | | | 有 | | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 631 | Deep Clustering with LSTM for Vital Signs Separation in Contact-free Heart Rate Estimation | C. Ye, T. Ohtsuki, and G. Gui | IEEE International Conference on Communications (ICC2020) | | 2020/6 | | | | | 有 | 有 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 632 | Facial Expression Synthesis System Using Speech Synthesis and Vowel Recognition | Taro Asada, Ruka Adachi, Syuhei Takada, Yasunari Yoshitomi, Masayoshi Tabuse | Journal of Advances in Artificial Life Robotics | | 2020/9 | 1 | 2 | 59 | 63 | 有 | | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 633 | Further Assessment of Dissaving Risk against Life Expectancy for Elderly People through Anonymous Data and Random Data for Social Implementation | Y. Yokoyama and Y. Yoshitomi | Proceedings of 9th International Congress on Advanced Applied Informatics | 10.1109/IIAI-AAI50415.2020.00016 | 2020/9 | | | 27 | 32 | 有 | | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 634 | Wallet Operation Evaluation System Using Deep Learning | J. Yamawaki, Y. Yoshitomi, M. Tabuse, and Taro Asada | Proceedings of International Conference on Artificial Life and Robotics | | 2021/1 | | | 32 | 35 | 有 | | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 635 | Human-Computer Communication Using Facial Expression | Y. Yoshitomi | Proceedings of International Conference on Artificial Life and Robotics | | 2021/1 | | | 275 | 278 | 有 | | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 636 | 高齢者によるプログラミング教育の生涯発達における可能性 | 日下菜穂子、末宗佳倫、下村篤子、上田信行 | 発達心理学研究 | | 2020/12 | 31 | 4 | 201 | 212 | 有 | | 同志社女子大学 | ③ | R2 |
| 637 | Changes in Telepsychiatry Regulations during the COVID-19 Pandemic: 17 Countries and Regions' Approaches to an Evolving Healthcare Landscape | Kinoshita S, Cortright K, Crawford A, Mizuno Y, Yoshida K, Hilty D, Guinart D, Torous J, Correll CU, Castle DJ, Rocha D, Yang Y, Xiang YT, Kølbæk P, Dines D, ElShami M, Jain P, Kallivayalil R, Solmi M, Favaro A, Veronese N, Seedat S, Shin S, de Pablo GS, Chang CH, Su KP, Karas H, Kane JM, Yellowlees P, Kishimoto T. | Psychol Med | 10.1017 / S0033291720004584 | 2020 | 27 | | 27 | 33 | | | Department of Neuropsychiatry, Keio University School of Medicine | | R2 |
| 638 | 超高齢者の精神疾患 | 新村秀人 | BRAIN and NERVE | ISSN 1881-6096 | 2020/12 | 72 | 12 | 1361 | 1368 | | | 慶應義塾大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 639 | Comparison of various items of the quality of life in Alzheimer's disease scale (QOL-AD) in patients with mild or moderate stages of dementia: A cross-sectional study. | Shikimoto R, Nakaaki S, Sato J, Sato H, Mimura M: | Psychogeriatrics | | 2020 | 20 | 6 | 926 | 928 | | | 慶應義塾大学 | | R2 |
| 640 | ECG Signal Reconstruction via Doppler Sensor by Hybrid Deep Learning Model with CNN and LSTM | K. Yamamoto, R. Hiromatsu, and T. Ohtsuki | IEEE Access | 10.1109/ACCESS.2020.30092 | 2020/7 | 8 | | 130551 | 130560 | 有 | | 慶應義塾大学理工学部 | | R2 |
| 641 | 高齢者に対する神経心理検査バッテリーの使い方: その目的と実施・解釈の勘所: 遂行機能 BADS遂行機能障害症候群の行動評価 日本版 | 斎藤 文恵, 三村 將 | 老年精神医学雑誌 | | 2020 | 31 | 6 | 620 | 627 | | | 慶應義塾大学 | | R2 |
| 642 | Prediction of blood test values under different lifestyle scenarios using time-series electronic health record | Hasegawa T, Yamaguchi R, Kakuta M, Sawada K, Kawatani K, Murashita K, Nakaji S, Imoto S. | PLoS ONE | 10.1371/journal.pone.0230172. | 2020 | 15 | 3 | e0230172 | | 有 | | 弘前大学、東京大学 | | R2 |
| 643 | プログラミング教育を介した多世代が教え合う協調学習の生涯発達における可能性 | 日下菜穂子、下村篤子、宮下有希、上田信行 | 発達心理学研究 | | 2020 | 31 | 4 | 201 | 212 | 有 | | 同志社女子大学 | | R2 |
| 644 | Artificial Intelligence Is Trusted Less than a Doctor in Medical Treatment Decisions: Influence of Perceived Care and Value Similarity | Yokoi R, Eguchi Y, Fujita T, Nakayachi K | International Journal of Human-Computer Interaction | 10.1080/10447318.2020.1861763 | 2020 | 37 | 10 | 981 | 990 | 有 | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |
| 645 | Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide induces interleukin-6 and C-C motif chemokine ligand 2 expression in cultured hCMEC/D3 human brain microvascular endothelial cells | Sato N, Matsumoto T, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Ding J, Aizawa T, Imaizumi T | Gerodontology | 10.1111/ger.12545 | 2021 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R2 |
| 646 | Daily Brazilian green propolis intake elevates blood artepillin C levels in humans | Ding J, Matsumiya T, Hayakari R, Shiba Y, Kawaguchi S, Seya K, Ueno K, Imaizumi T | J Sci Food Agric | https://doi.org/10.1002/jsfa.11132 | 2021 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R2 |
| 647 | Utilization of the Maternal and Child Health Handbook in Early Identification of Autism Spectrum Disorder and Other Neurodevelopmental Disorders | Tomoya Hirota , Somer Bishop, Masaki Adachi, Amy Shui, Michio Takahashi, Hiroyuki Mori, and Kazuhiko Nakamura | Autism Research | 10.1002/aur.2442 | 2021 Mar | 14 | 3 | 551 | 559 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 648 | Human aortic valve interstitial cells obtained from patients with aortic valve stenosis are vascular endothelial growth factor receptor 2 positive and contribute to ectopic calcification | Liu X, Yu Z, Daitoku K, Fukuda I, Motomura S, Matsumiya T, Imaizumi T, Furukawa K-I, Seya K | J Pharmacol Sci | 10.1016/j.jphs.2020.12.002 | 2021/2 | 145 | 2 | 213 | 221 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 649 | Novel tankyrase inhibitors suppress TDP-43 aggregate formation | Tanji K, Mori F, Shirai F, Fukami T, Seimiya H, Utsumi J, Kakita A, Wakabayashi K | Biochem Biophys Res Comm | 10.1016/j.bbrc.2020.12.037 | 2021/1 | 537 | | 85 | 92 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 650 | Skin-moisturizing effect of an oral supplement containing salmon nasal cartilage proteoglycan -A randomized, double blind, parallel-group, placebo-controlled study | Takahashi T, Ito K, Iddamalgoda A, Asano K, Nakane A | Japanese Pharmacological Therapy | | 2021/3 | 49 | 3 | 449 | 458 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 651 | Complete genome sequence of Staphylococcus aureus strain 834, isolated from a septic patient in Japan | Ono H-K, Suzuki Y, Kubota H, Asano K, Takai S, Nakane A, Hu D-L. | Microbiology Resource Announcements | https://mra.asm.org/content/10/9/e01477-20 | 2021/3 | 10 | 9 | e01477-20 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 652 | 岩木健康増進プロジェクトのビッグデータを活用した寿命延伸のためのプラットフォーム構築の試み | 中路重之、、村下公一、梅田孝 | 環太平洋地域文化研究 | | 2021/3 | 2 | | 1 | 15 | 有 | | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 653 | Usefulness of serum hyaluronic acid levels as a predictor of incidence of hand osteoarthritis analyzed by longitudinal analysis from the Iwaki cohort. | Saruga T, Sasaki E, Inoue R, Chiba D, Ota S, Iwasaki H, Uesato R, Nakaji S, Ishibashi Y | Sci Rep | 10.1038/s41598-021-83693-0 | 2021/2 | 11 | 1 | 4074 | | 有 | | 弘前大学 | | R2 |
| 654 | "Changes in Telepsychiatry Regulations during the COVID-19 Pandemic: 17 Countries and Regions' Approaches to an Evolving Healthcare Landscape" | Kinoshita S, Cortright K, Crawford A, Mizuno Y, Yoshida K, Hilty D, Guinart D, Torous J, Correll CU, Castle DJ, Rocha D, Yang Y, Xiang YT, Kølbæk P, Dines D, ElShami M, Jain P, Kallivayalil R, Solmi M, Favaro A, Veronese N, Seedat S, Shin S, de Pablo GS, Chang CH, Su KP, Karas H, Kane JM, Yellowlees P, Kishimoto T. | Psychol Med | 10.1017/S0033291720004584 | 2020 | 27 | | 1 | 33 | | | 慶應義塾大学 | | R2 |
| 655 | 超高齢者の精神疾患. | 新村秀人 | BRAIN and NERVE | ISSN 1881-6096 | 2020.12.1 | 72 | 12 | 1361 | 1368 | | | 慶應義塾大学 | | R2 |
| 656 | Comparison of various items of the quality of life in Alzheimer's disease scale (QOL-AD) in patients with mild or moderate stages of dementia: A cross-sectional study. | Shikimoto R, Nakaaki S, Sato J, Sato H, Mimura M | Psychogeriatrics | | 2020.11 | 20 | 6 | 926 | 928 | | | 慶應義塾大学 | | R2 |
| 657 | Neurodevelopmental Traits and Longitudinal Transition Patterns in Internet Addiction: A 2-year Prospective Study. | Hirota T, Takahashi M, Adachi M, Sakamoto Y, Nakamura K. | Journal of Autism and Developmental Disorders | 10.1007/s10803-020-04620-2. | 2021 | 51 | 4 | 1365 | 1374 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 658 | Concerns for labor analgesia and autism spectrum disorders. | Saito M, Nakamura K, Hirota K. | Journal of Anesthesia | 10.1007/s00540-020-02880-x. | 2021 | 35 | 2 | 319 | 320 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 659 | Inhibitory effect of anti-malarial agents on the expression of proinflammatory chemokines via Toll-like receptor 3 signaling in human glomerular endothelial cells | Sato R, Imaizumi T, Aizawa T, Watanabe S, Tsugawa K, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Tanaka T. | Renal Failure | 10.1080/0886022X.2021.1908901 | 2021/12 | 43 | 1 | 643 | 650 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 660 | Interleukin-6 via Toll-like receptor 3 signaling attenuates the expression of proinflammatory chemokines in human podocytes | Umetsu H, Watanabe S, Imaizumi T, Aizawa T, Tsugawa K, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Tanaka H | Kidney Blood Pressure Res | 10.1159/000514589 | 2021/4 | 46 | 2 | 207 | 218 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 661 | Expression of IFN-induced Transmembrane Protein 1 in Glomerular Endothelial Cell | Hashimoto S, Imaizumi T, Watanabe S, Aizawa T, Tsugawa K, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Tanaka H. | Pediatr Int | 10.1111/ped.14579 | 2021/9 | 63 | 9 | 1075 | 1081 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 662 | Identification of multiple system atrophy mimicking Parkinson' s disease or progressive supranuclear palsy | Miki Y, Tsushima E, Foti SC, Strand KM, Asi YT, Yamamoto AK, Hoskote C, Bettencourt C, Oliveira MCB, De Pablo-Fernández E, Jaunmuktane Z, Lees AJ, Wakabayashi K, Warner TT, Quinn N, Holton JL, Ling H | Brain | 10.1093/brain/awab017 | 2021/5 | 144 | 4 | 1138 | 1151 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R3 |
| 663 | Leptomeningeal and intraventricular myelomatosis manifesting an aggressive form of communicating hydrocephalus | Miki Y, Kamata K, Akemoto Y, Tsushima F, Sakuraba H, Yamagata K, Kurose A, Fukuda S, Wakabayashi K | Neuropathology | 10.1111/neup.12728 | 2021/6 | 41 | 3 | 243 | 249 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 664 | Effects of aging on levo-dihydroxyphenylalanine-induced dyskinesia in a rat model of Parkinson's disease | Nishjima H, Kimura T, Mori F, Wakabayashi K, Kinoshita I, Nakamura T, Kon T, Suzuki C, Tomiyama M | Frontiers in Aging Neuroscience | 10.3389/fnagi.2021.650350 | 2021/5 | 13 | | 650350 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 665 | Role of VAPB and vesicular profiles in α-synuclein aggregates in multiple system atrophy | Mori F, Miki Y, Tanji K, Kon T, Tomiyama M, Kakita A, Wakabayashi K | Brain Pathology | 10.1111/bpa.13001 | 2021/11 | 31 | 6 | e13001 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 666 | A bacterial small RNA regulates the adaptation of Helicobacter pylori to the host environment | Ryo Kinoshita-Daitoku, Kotaro Kiga, Masatoshi Miyakoshi, Ryota Otsubo, Yoshitoshi Ogura, Takahito Sanada, Zhu Bo, Tuan Vo Phuoc, Tokuju Okano, Tamako Iida, Rui Yokomori, Eisuke Kuroda, Sayaka Hirukawa, Mototsugu Tanaka, Arpana Sood, Phawinee Subsomwong, Hiroshi Ashida, Tran Thanh Binh, Lam Tung Nguyen, Khien Vu Van, Dang Quy Dung Ho, Kenta Nakai, Toshihiko Suzuki, Yoshio Yamaoka, Tetsuya Hayashi, Hitomi Mimuro | Nature Communications | https://doi.org/10.1038/s41467-021-22317-7 | 2021/4 | 12 | | 2085 | | 有 | 有 | 弘前大学 | | R3 |
| 667 | Investigation of Staphylococcus aureus positive for Staphylococcal enterotoxin S and T genes | Sato'o Y, Omoe K, Aikawa Y, Kano M, Ono HK, Hu D-L, Nakane A, Sugai M. | Journal of Veterinary Medical Science | 10. 1292/jvms.20-0662 | 2021/7 | 83 | 7 | 1120 | 1127 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 668 | Psychometric Validation of the Japanese Version of the Child and Adolescent Social Support Scale (CASSS) in Early Adolescents. | Shinkawa H, Takahashi M, Adachi M, Murayama Y, Yasuda S, Malecki, C. K., Nakamura, K. | Japanese Psychological Research | 10.1111/jpr.12375 | 2021/8 | | | 1 | 13 | 有 | 有 | 弘前大学 | Version of Record online | R3 |
| 669 | Psychosocial Adjustment and Mental Distress Associated With In-Game Purchases Among Japanese Junior High School Students | Shinkawa, H., Irie, T., Tanaka, M., Yokomitsu, K. | Frontiers in Psychology | 10.3389/fpsyg.2021.708801 | 2021/8 | 12 | | 1 | 8 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 670 | Copy number variations in Japanese children with autism spectrum disorder | Yui Sakamoto, Shuji Shimoyama, Tomonori Furukawa, Masaki Adachi, Michio Takahashi, Tamaki Mikami, Michito Kuribayashi, Ayako Osato, Daiki Tsushima, Manabu Saito, Shinya Ueno, Kazuhiko Nakamura | Psychiatr Genet | 10.1097/YPG.0000000000000276 | 2021/6 | 31 | 3 | 79 | 87 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 671 | Isolated myelitis in a patient with Behcet's disease during golimumab therapy | Tomoya Kon, Keisuke Hasui, Chieko Suzuki, Haruo Nishijima, Masahiko Tomiyama | Case Reports J Neuroimmunol | 10.1016/j.jneuroim.2021.577533 | 2021/5 | 354 | | 577533 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 672 | Phytobezoar Associated with Levodopa-carbidopa Intestinal Gel Infusion in Patients with Parkinson's Disease: A Case Report and Literature Review | Tatsuya Ueno, Norihiro Hanabata, Atsuko Katagai, Rena Okudera, Akira Arai, Masahiko Tomiyama | Intern Med | 10.2169/internalmedicine.7210-21 | 2021/10 | 60 | 20 | 3317 | 3320 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 673 | Prevalence and associated factors of radio | Ichinohe M, Wada K, Kumagai G, Tanaka S, Asari T, Takeda O, Ota S, Koyama K, Ihara K, Nakaji S, Ishibashi Y | J Orthop Sci | 10.1016/j.jos.2020.07.014 | 2021/7 | 26 | 4 | 572 | 576 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 674 | Metagenomic profiling of gut microbiome in early chronic kidney disease. | Sato N, Kakuta M, Hasegawa T, Yamaguchi R, Uchino E, Murashita K, Nakaji S, Imoto S, Yanagita M, Okuno Y | Nephrol Dial Transplant | 10.1093/ndt/gfaa122 | 2021/8 | 36 | 9 | 1675 | 1684 | 有 | | 弘前大学、京都大学、東京大学 | | R3 |
| 675 | Health improvement framework for actionable treatment planning using a surrogate Bayesian model. | Nakamura K, Kojima R, Uchino E, Ono K, Yanagita M, Murashita K, Itoh K, Nakaji S, Okuno Y | Nature Communucations | 10.1038/s41467-021-23319-1 | 2021/5 | 12 | 1 | 3088 | | 有 | | 協和発酵バイオ（株）、京都大学、弘前大学 | | R3 |
| 676 | Epidemiology of Dupuytren's Disease in Japanese General Population. | Sasaki N, Uesato R, Yamauchi T, Ishibashi Y, Nakaji S | J Hand Surg Asian Pac Vol | 10.1142/S2424835521500235 | 2021/6 | 26 | 2 | 229 | 234 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 677 | Application of state-space model with skew-t measurement noise to blood test value prediction | Hasegawa T, Yamaguchi R, Kakuta M, Ando M, Songee J, Tokuda I, Murashita K, Imoto S | Applied Mathematical Modeling | 10.1016/j.apm.2021.08.007 | 2021/9 | 100 | | 365 | 378 | 有 | | 東京大学、弘前大学 | | R3 |
| 678 | Excessive Alcohol Drinking and Liver Fibrosis are Associated with Decrease in Skeletal Muscle Mass in Elderly Men | Onishi S, Miyai N, Zhang Y, Oka T, Nogami E, Utsumi M, Arita M | Aging Clin Exp Res | doi: 10.1007/s40520-021-01902-2. | 2021/6 | | | | | 有 | | 和歌山県立医科大学 | Online ahead of print | R3 |
| 679 | 地域在住高齢男性における喫煙と筋肉量減少および筋力低下との関連 | 野上絵理子, 宮井 信行, 張岩, 阪口将登, 早川博子, 服部園美, 内海みよ子, 上松右二, 有田幹雄 | 日衛誌 | doi: https://doi.org/10.1265/jjh.21003 | 2021/4 | 76 | | 1 | 9 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 680 | Associations between deterioration of self-rated health and occupational form among community-dwelling Japanese individuals | Yokoi K, Miyai N, Tsuji K, Arima M, Kurasawa S, Hayakawa H, Uematsu Y, Arita M | Public Health Pract | https://doi.org/10.1016/j.puhip.2021.100147 | 2021/2 | 2 | | 100147 | | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 681 | 最大速度での歩行時における重心の動的安定性の分析 | 肥田直人, 藤本雅大, 小林吉之 | システム制御情報学会論文誌 | | 2021/6 | 34 | 6 | | | 有 | | 産業技術総合研究所 | | R3 |
| 682 | Effects of footwear fixation on joint angle variability during straight gait in the elderly | Naoto Hida, Masahiro Fujimoto, Toshihiko Ooie, Yoshiyuki Kobayashi | Gait & Posture | 10.1016/j.gaitpost.2021.03.020 | 2021/5 | 86 | | 162 | 168 | 有 | | 産業技術総合研究所 | | R3 |
| 683 | Association between Serum Concentration of Carotenoid and Visceral Fat | Mai Matsumoto, Hiroyuki Suganuma, Naoki Ozato, Sunao Shimizu, Mitsuhiro Katashima, Yoshihisa Katsuragi, Tatsuya Mikami, Ken Itoh, Shigeyuki Nakaji | Nutrients | 10.3390/nu13030912 | 2021/3 | 13 | 3 | 912 | | 有 | | カゴメ（株）、花王（株）、弘前大学 | | R3 |
| 684 | Association between Visceral Fat and Brain Structural Changes or Cognitive Function | Naoki Oozato et al | Brain Science | 10.3390/brainsci11081036 | 2021/8 | 1036 | | 1 | 11 | 有 | | 花王（株）、弘前大学 | | R3 |
| 685 | Capillary Electrophoresis Mass Spectrometry-Based Metabolomics of Plasma Samples from Healthy Subjects in a Cross-Sectional Japanese Population Study | Hiroyuki Yamamoto, Makoto Suzuki, Rira Matsut, Kazunori Sasaki, Moon-Il Kang, Kenjiro Kami, Yota Tatara, Ken Itoh and Shigeyuki Nakaji | Metabolites | 10.3390/metabo11050314 | 2021/5 | 11 | 5 | 314 | | 有 | | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)、弘前大学 | 1-b-10 | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 686 | Cellular senescence promotes endothelial activation through epigenetic alteration, and consequently accelerates atherosclerosis, | Sakiko Honda, Koji Ikeda, ryota Urata, Ekura Yamazaki, Noriaki Emoto, and Satoaki Matoba | Scientific Reports | | 2021 | 11 | 1 | 14608 | | | | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 687 | Attitude toward dementia and preferences for diagnosis in Japanese health service consumers | Hikaru Oba, Teruyuki Matsuoka, Yuka Kato, Rochelle Watson, Elise Mansfield, Rob Sanson-Fisher, Jin Narumoto | BMC Health Serv Resarch | 10.1186/s12913-021-06381- | 2021/5 | 21 | 1 | 411 | 417 | 有 | 有 | Hirosaki University, Kyoto Prefectural University of Medicine, University of Newcastle, Hunter Medical Research Institute, | | R3 |
| 688 | Anxiety Impacts Consent Capacity to Treatment in Alzheimer's Disease | Yuka Kato, Teruyuki Matsuoka, Yoko Eguchi, Kiyoko Iiboshi, Hiroyuki Koumi, Kaeko Nakamura, Kayoko Okabe, Shutaro Nakaaki, Toshiaki A. Furukawa, Masaru Mimura and Jin Narumoto | Neuropsychology | 10.3389/fpsyg.2021.685430 | 2021/6 | 12 | | 1 | 11 | 有 | | Kyoto Prefectural University of Medicine, Keio University School of Medicine, Shigakukan University, Hanazono University, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Kyoto University School of Public Health | | R3 |
| 689 | 高齢者の購買行動と認知機能の関連 | 樋山雅美、江口洋子、松田有希子、成本迅 | 国民生活研究 | | 2021/7 | 61 | 1 | 27 | 39 | 有 | | 京都府立医科大学、慶應義塾大学 | | R3 |
| 690 | Spectral Viterbi Algorithm for Contactless Wide-Range Heart Rate Estimation With Deep Clustering | Ye and T. Ohtsuki | IEEE Transactions on Microwave Theory and Techniques | 10.1109/TMTT.2021.3054560 | 2021/05 | 69 | 5 | 2629 | 2641 | 有 | | 慶應義塾大学理工学部 | | R3 |
| 691 | Speech Paralinguistic Approach for Detecting Dementia Using Gated Convolutional Neural Network. | Mariana RODRIGUES MAKIUCHI, Tifani WARNITA, Nakamasa INOUE, Koichi SHINODA, Member, Michitaka YOSHIMURA, Momoko KITAZAWA, Kei FUNAKI, Yoko EGUCHI, Taishiro KISHIMOTO | arXiv 2004.07992 | | 2021 | | | | | | | Department of Computer Science, School of Computing, Tokyo Institute of Technology, Department of Neuropsychiatry, Keio University School of Medicine | | R3 |
| 692 | Cognitive Intervention Through Photo-Integrated Conversation Moderated by Robots (PICMOR) Program: A Randomized Controlled Trial | Otake-Matsuura M, Tokunaga S, Watanabe K, Abe MS, Sekiguchi T, Sugimoto H, Kishimoto T, Kudo T. | Front Robot AI, | 10.3389 / frobt.2021.633076 | 2021 | | | | | | | Department of Neuropsychiatry, Keio University School of Medicine | | R3 |
| 693 | Association between resilience and cortical thickness in the posterior cingulate cortex and the temporal pole in Japanese older people: A population-based cross-sectional study. | Shikimoto R, Noda Y, Kida H, Nakajima S, Tsugawa S, Mimura Y, Ochi R, Takayama M, Niimura H, Mimura M | Journal of Psychiatric Research | 10.1016 / j.jpsychires.2021.07.026 | 2021 | | | | | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 694 | 高齢者の支出過少判定と特徴的な支出項目の抽出 | 横山友也, 吉冨康成 | 日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌 | | 2021 | 64 | | 126 | 153 | | | 京都府立大学 | | R3 |
| 695 | Using Anonymous Data to Assess Dissaving Risk against Life Expectancy for Elderly People | Yuya Yokoyama, Yasunari Yoshitomi, | Proc. of 2021 10th International Congress on Advanced Applied Informatics | | 2021 | | | 3 | 9 | | | 京都府立大学 | | R3 |
| 696 | Detailed Assessment of Dissaving Risk against Life Expectancy for Elderly People Using Anonymous Data and/or Random Data: A Review | Y. Yokoyama and Y. Yoshitomi | Adv. Sci. Technol. Eng. Syst. J. | | 2021 | 6 | 2 | 871 | 886 | | | 京都府立大学 | | R3 |
| 697 | Wallet Operation Inspection System Using Deep Learning for Image Processing | J. Yamawaki, Y. Yoshitomi, M. Tabuse, and Taro Asada | Journal of Advances in Artificial Life Robotics | | 2021 | 2 | 1 | 259 | 264 | | | 京都府立大学 | | R3 |
| 698 | Human-Computer Communication Using Recognition and Synthesis of Facial Expression | Y. Yoshitomi | Journal of Robotics, Networking and Artificial Life | | 2021 | 8 | 1 | 10 | 13 | | | 京都府立大学 | | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 699 | 児童生徒の学年・学校段階に応じたソーシャルスキル尺度の標準化―COSMINに基づく信頼性・妥当性の検証―. . 52. 2. 57-71 | 新川広樹, 冨家直明. | カウンセリング研究. | | 2021 | 52 | 2 | 57 | 71 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 700 | 学級単位の集団ソーシャルスキル・トレーニングにおける般化促進方略―応用行動分析学の枠組みに基づく展望― | 新川広樹・二瓶正登・金山裕望・富家直明 | カウンセリング研究 | | 2021 | 52 | 2 | 72 | 86 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 701 | Japanese medical learners' achievement emotions: Accounting for culture in translating Western medical educational theories and instruments into an asian context | Osamu Nomura, Jeffrey Wiseman, Momoka Sunohara, Haruko Akatsu, Susanne Lajoie | Adv Health Sci Educ Theory Pract 26(4):1255-1276. doi: | 10.1007/s10459-021-10048-9 | 2021 | 26 | 4 | 1255 | 1276 | 有 | 有 | 弘前大学 | | R3 |
| 702 | ビデオ会議システムを用いて高齢者に行う神経心理検査ー信頼性と実施上の留意点 | 飯干紀代子、山岡義尚、江口洋子、加藤佑佳、成本迅、吉田和生、岸本泰士郎、三村將 | 認知神経科学 | https://doi.org/10.11253/ninchishinkeikagaku.22.158 | 2021/4 | 22 | 3+4 | 158 | 167 | 有 | | 慶應義塾大学医学部、志學館大学、京都府立医科大学 | | R3 |
| 703 | Hepatic macrophages express melanoma differentiation-associated gene 5 in nonalcoholic steatohepatitis | Kawaguchi S, Sakuraba H, Horiuchi M, Ding J, Matsumiya T, Seya K, Iino C, Endo T, Kikuchi H, Yoshida S, Hiraga H, Fukuda S, Imaizumi T | Inflammation | 10.1007/s10753-021-01550-8 | 2021 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print. | R3 |
| 704 | GPNMB plays a protective role against obesity-related metabolic disorders by reducing macrophage inflammatory capacity | Adam Prabata, Koji Ikeda, Elda Putri Rahardini, Ken-ichi Hirata, and Noriaki Emoto | Journal of Biological Chemistry | | 2021 | | | | | 有 | | 神戸大学 | Online ahead of print | R3 |
| 705 | Prediction and visualization of acute kidney injury in intensive care unit using one-dimensional convolutional neural networks based on routinely collected data. Computer Methods and Programs in Biomedicine | Sato N, Uchino E, Kojima R, Hiragi S, Yanagita M, Okuno Y | Computer Methods and Programs in Biomedicine | 10.1016/j.cmpb.2021.106129 | 2021/9 | | | 206:106129 | 206:106129 | 有 | | 京都大学 | ①-a | R3 |
| 706 | The effect of age on the association between daily gait speed and abdominal obesity in Japanese adults | Kinoshita K, Ozato N, Yamaguchi T, Sudo M, Yamashiro Y, Mori K, Kumagai M, Sawada K, Katsuragi Y, Imoto S, Ihara K, Nakaji S | Scientific Reports | 10.1038/s41598-021-98679-1 | 2021/10 | 11 | | 19975 | | 有 | | 東京大学、弘前大学、花王 | | R3 |
| 707 | District differences in the measured values of arterial stiffness in Japan | Miyai N, Uchiba K, Tomiyama H, Matsumoto C, Kinoshita A, Vlachopoulos C, Nilsson P, Arita M | Circulation Reports | doi: 10.1253/circrep.CR-21-0064 | 2021/9 | 3 | 10 | 620 | 624 | 有 | 有 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 708 | ロコモティブシンドロームの現況 病態・診断 中枢性感作とロコモ | 橋爪　洋, 竹下達也, 岡　敬之, 宮井信行, 有田幹雄, 山田　宏 | 整形外科 | https://doi.org/10.15106/j_seikei72_539 | 2021/5 | 72 | 6 | 539 | 542 | 有 | | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 709 | Expression of Zinc-Finger Antiviral Protein in hCMEC/D3 Human Cerebral Microvascular Endothelial Cells: Effect of a Toll-Like Receptor 3 Agonist | Okudera M, Odawara M, Arakawa M, Kawaguchi S, Seya K, Matsumiya T, Sato R, Ding J, Morita E, Imaizumi T | Neuroimmunomodulation. | 10.1159/000521012 | 2021/12 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R3 |
| 710 | Sphingomyelin Phosphodiesterase Acid-Like 3b is Essential for Toll-Like Receptor 3 Signaling in Human Podocytes | Watanabe S, Hidenori U, Hashimoto S, Riko S, Aizawa T, Tsugawa K, Imaizumi T, Tanaka H | J Membr Biol | 10.1007/s00232-021-00206-w | 2021/11 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R3 |
| 711 | Hepatic Macrophages Express Melanoma Differentiation-Associated Gene 5 in Nonalcoholic Steatohepatitis | Kawaguchi S, Sakuraba H, Horiuchi M, Ding J, Matsumiya T, Seya K, Iino C, Endo T, Kikuchi H, Yoshida S, Hiraga H, Fukuda S, Imaizumi T | Inflammation | 10.1007/s10753-021-01550-8 | 2021/9 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R3 |
| 712 | Daily Brazilian green propolis intake elevates blood artepillin C levels in humans | Ding J, Matsumiya T, Hayakari R, Shiba Y, Kawaguchi S, Seya K, Ueno K, Imaizumi T | J Sci Food Agric | 10.1002/jsfa.11132 | 2021/8 | 101 | 11 | 4855 | 4861 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 713 | Impaired Cognitive Function and Hippocampal Changes Following Chronic Diazepam Treatment in Middle-Aged Mice | Furukawa T, Nikaido Y, Shimoyama S, Masuyama N, Notoya A, Ueno S | Front Aging Neurosci | 10.3389/fnagi.2021.777404 | 2021/11 | 13 | | 777404 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 714 | The role of neutrophil gelatinase-associated lipocalin and iron homeostasis in object recognition impairment in aged sepsis-survivor rats | Nikaido Y, Midorikawa Y, Furukawa T, Shimoyama S, Takekawa D, Kitayama M, Ueno S, Kushikata T, Hirota K | Sci Rep | 10.1038/s41598-021-03981-7 | 2022/1 | 12 | 1 | 249 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 715 | Longitudinal association between smartphone ownership and depression among schoolchildren under COVID-19 pandemic | Adachi M, Takahashi M, Shinkawa H, Mori H, Nishimura T, Nakamura K | Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol | 10.1007/s00127-021-02196-5 | 2021/11 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R3 |
| 716 | Cohort Profile: The Assessment from Preschool to Puberty-Longitudinal Epidemiological (APPLE) study in Hirosaki, Japan | Hirota T, Adachi M, Takahashi M, Mori H, Shinkawa H, Sakamoto Y, Saito M, Nakamura K | Int J Epidemiol | 10.1093/ije/dyab112 | 2022/1 | 50 | 6 | 1782 | 1783h | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 717 | Bilateral Thalamic Lesions Associated With Atezolizumab-Induced Encephalitis: A Follow-up Report With Autopsy Findings | Nishijima H, Kon T, Seino Y, Yagihashi N, Suzuki C, Nakamura T, Tanaka H, Sakamoto Y, Wakabayashi K, Tomiyama M | Neurology | 10.1212/WNL.0000000000013091 | 2022/2 | 98 | 5 | 204 | 205 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 718 | Association between mild cognitive impairment and lumbar degenerative disease in a Japanese community: A cross-sectional study | Kazushige Koyama, Kanichiro Wada, Gentaro Kumagai, Hitoshi Kudo, Sunao Tanaka, Toru Asari, Songee Jung, Masataka Ando, Yasuyuki Ishibashi | PLoS ONE | https://doi.org/10.1371/journal.pone.0258852 | 2021/10 | 16 | 10 | e0258852 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 719 | Low Level of Serum Cadmium in Relation to Blood Pressures Among Japanese General Population | Kaneda M, Wai KM, Kanda A, Ando M, Murashita K, Nakaji S, Ihara K | Biol Trace Elem Res | 10.1007/s12011-021-02648-8 | 2022/1 | 200 | 1 | 67 | 75 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 720 | Extracellular vesicles from methicillin resistant Staphylococcus aureus stimulate proinflammatory cytokine production and trigger IgE-mediated hypersensitivity | Asano K, Hirose S, Narita K, Subsomwong P, Kawai N, Sukchawalit R, Nakane A | Emerg Microbes Infect | 10.1080/22221751.2021.1991239 | 2021/12 | 10 | 1 | 2000 | 2009 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 721 | Telomere Length and Arterial Stiffness Reflected by Brachial-Ankle Pulse Wave Velocity: A Population-Based Cross-Sectional Study | Wai KM, Kaori S, Itoh K, Shinya O, Uchikawa Y, Hayashi S, Shiraki A, Murashita K, Nakaji S, Ihara K | J Pers Med | 10.3390/jpm11121278 | 2021/12 | 11 | 12 | 1278 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 722 | Association of mitochondrial DNA haplogroup and hearing impairment with aging in Japanese general population of the Iwaki Health Promotion Project | Miura S, Sasaki A, Kasai S, Sugawara T, Maeda Y, Goto S, Kasai T, Shimizume N, Jung S, Iwane T, Itoh K, Matsubara A | J Hum Genet | 10.1038/s10038-022-01011-6 | 2022/1 | | | | | 有 | | 弘前大学 | Online ahead of print | R3 |
| 723 | Age-Related Cognitive Decline and Prevalence of Mild Cognitive Impairment in the Iwaki Health Promotion Project | Nakahata Naoko, Nakamura Takumi, Kawarabayashi Takeshi, Seino Yusuke, Ichii, Sadanobu, Ikeda Yoshio, Amari Masakunid, Takatama Masamitsu, Murashita Koichi, Ihara Kazunari, Itoh Ken, Nakaji Shigeyuki, Shoji Mikio | J Alzheimers Dis | 10.3233/JAD-210699 | 2021/11 | 84 | 3 | 1233 | 1245 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 724 | Decision-Making Support for People With Alzheimer's Disease: A Narrative Review | Weiyi Sun, Teruyuki Matsuoka, Jin narumoto. | Frontiers in Psychology | 10.3389/fpsyg.2021.750803 | 2021/11 | 12 | | | | | | | | R3 |
| 725 | Effects of Hearing Impairment, Quality of Life and Pain on Depressive Symptoms in Elderly People: A Cross-Sectional Study | Weiyi Sun, Teruyuki Matsuoka, Ayu Imai, Nozomu Oya, Jin Narumoto | International Journal of Environmental Research and Public Health | 10.3390/ijerph182212265 | 2021/11 | 18 | 22 | | | | | | | R3 |
| 726 | Association between resilience and cortical thickness in the posterior cingulate cortex and the temporal pole in Japanese older people: A population-based cross-sectional study | Shikimoto R, Noda Y, Kida H, Nakajima S, Tsugawa S, Mimura Y, Ochi R, Takayama M, Niimura H, Mimura M | Journal of Psychiatric Research | 10.1016/j.jpsychires.2021.07.026 | 2021/10 | 142 | | 89 | 100 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 727 | オンライン診療の適正な普及に関するヒアリング調査 ―現状把握と課題分析 | 木下翔太郎, 成瀬浩史, 吉村健佑, 岸本泰士郎, 榎戸芙佐子, 押淵英弘, 兼子幸一, 瀬戸秀文, 辻本哲士, 長尾喜一郎, 三野進, 村田昌彦, 米田博, 稲垣中. | 精神神経学雑誌 | | 2022 | 124 | 1 | 16 | 27 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 728 | "Music Recommendation System Driven by Facial Expression Recognition" | Taro Asada, Motoki Kawamura, Yasunari Yoshitomi, Masayoshi Tabuse, | Proc. of International Conference on Artificial Life and Robotics | | 2022 | | | 860 | 863 | | | 京都府立大学 | 3-b | R3 |
| 729 | "高齢者が担い手になるオンライン社会参加モデル" | 日下菜穂子, 下村篤子, 上田信行, | 高齢者のケアと行動科学 | https://doi.org/10.24777/jsbse.26.0_57 | 2021/12 | 26 | 1 | 57 | 72 | 有 | | 同志社女子大学 | | R3 |
| 730 | "with コロナ時代の健康づくり ― 高齢者に対するオンラインによる体力測定会の試み ―" | 山縣 恵美・村田 尚子・木村 みさか・岡山 寧子・日下 菜穂子 | 高齢者のケアと行動科学 | https://doi.org/10.24777/jsbse.26.0_90 | 2021/12 | 26 | 1 | 90 | 102 | 有 | | 同志社女子大学 | | R3 |
| 731 | Noncontact Heartbeat Detection by Viterbi Algorithm with Fusion of Beat-Beat Interval and Deep Learning-driven Branch Metrics | K. Yamamoto and T. Ohtsuki | IEEE International Conference on Acoustics, Speech and Signal Processing (ICASSP2021) | 10.1109/ICASSP39728.2021.9413401 | 2021 | | | 8308 | 8312 | 有 | | 慶應義塾大学 | ③ | R3 |
| 732 | Non-contact Blood Pressure Measurement using Doppler Radar based on Waveform Analysis by LSTM | S. Ishizaka, K. Yamamoto, and T. Ohtsuki | IEEE International Conference on Communications (ICC2021) | 10.1109/ICC42927.2021.9500857 | 2021 | | | | | 有 | | 慶應義塾大学 | ③ | R3 |
| 733 | Accumulation of nonfibrillar TDP-43 in the rough endoplasmic reticulum is the early-stage pathology in amyotrophic lateral sclerosis | Kon T, Mori F, Tanji K, Miki Y, Nishijima H, Nakamura T, Kinoshita I, Suzuki C, Kurotaki H, Tomiyama M, Wakabayashi K | J Neuropathol Exp Neurol | 10.1093/jnen/nlac015 | 2022/3 | 81 | 4 | 271 | 281 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 734 | Association between activity diversity and frailty among community-dwelling older Japanese: A cross-sectional study | Junta Takahashi, Hisashi Kawai, Yoshinori Fujiwara, Yutaka Watanabe, Hirohiko Hirano, Hunkyung Kim, Kazushige Ihara, Manami Ejiri, Kaori Ishii, Koichiro Oka, Shuichi Obuchi | Archives of Gerontology and Geriatrics | 10.1016/j.archger.2021.104377 | 2021/7-8 | 95 | | 104377 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 735 | Association between Objectively Measured Sedentary Behaviour and Sleep Quality in Japanese Adults: A Population-Based Cross-Sectional Study | Kinoshita K, Ozato N, Yamaguchi T, Sudo M, Yamashiro Y, Mori K, Katsuragi Y, Yasukawa T, Murashita K, Nakaji S, Ihara K | Int J Environ Res Public Health | 10.3390/ijerph19053145 | 2022/3 | 19 | 5 | 3145 | | 有 | | 弘前大学、花王 | | R3 |
| 736 | Association of sedentary behaviour and physical activity with cardiometabolic health in Japanese adults | Kinoshita K, Ozato N, Yamaguchi T, Sudo M, Yamashiro Y, Mori K, Ishida M, Katsuragi Y, Sasai H, Yasukawa T, Murashita K, Nakaji S, Ihara K | Sci Rep | 10.1038/s41598-022-05302-y | 2022/2 | 12 | 1 | 2262 | | 有 | | 弘前大学、花王 | | R3 |
| 737 | Association of serum creatinine-to-cystatin C ratio with skeletal muscle mass and strength in nonalcoholic fatty liver disease in the Iwaki Health Promotion Project | Kenichiro Mikami, Tetsu Endo, Naoya Sawada, Go Igarashi, Masayo Kimura, Takuma Hasegawa, Chikara Iino, Kaori Sawada, Masataka Ando, Yoshikuni Sugimura, Tatsuya Mikami, Shigeyuki Nakaji, Masashi Matsuzaka, Hirotake Sakuraba, Shinsaku Fukuda | Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition | doi: 10.3164/jcbn.21-61 | 2021/11 | | | | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 738 | Attenuation of inhibitory PAS domain protein-induced cell death by synthetic peptides derived from Mcl-1 transmenbrane domain | Shuya Kasai, Ken-Ichi Yasumoto, Kazuhiro Sogawa | Cell Death Discov | 10.1038/s41420-021-00475-3 | 2021/5 | 7 | 1 | 92 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 739 | Bone marrow lesion severity was associated with proximal tibial inclination in early knee osteoarthritis | Kyota Ishibashi, Eiji Sasaki, Seiya Ota, Tetsushi Oyama, Daisuke Chiba, Yuji Yamamoto, Eiichi Tsuda, Nozomi Uemura, Kaori Sawada, Yasuyuki Ishibashi | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc | doi.org/10.1007/s00167-020-06378-7 | 2022/2 | 30 | 2 | 668 | 679 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 740 | Calpain-1 C2L domain peptide protects mouse hippocampus-derived neuronal HT22 cells against glutamate-induced oxytosis | Sugawara M, Abe T, Kasai S, Itoh K, Ozaki T | Biochem Biophys Rep | 10.1016/j.bbrep.2021.101101 | 2021/9 | 27 | | 101101 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 741 | Direct protein-protein interaction between Npas4 and IPAS mutually inhibits their critical roles in neuronal cell survival and death | Shuya Kasai, Xianyu Li , Satoru Torii, Ken-Ichi Yasumoto, Kazuhiro Sogawa | Cell Death Discov | 10.1038/s41420-021-00690-y | 2021/10 | 7 | 1 | 300 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 742 | Distinct Regulations of HO-1 Gene Expression for Stress Response and Substrate Induction | Anqi Zhang, Takafumi Suzuki, Saki Adachi, Eriko Naganuma, Norio Suzuki, Tomonori Hosoya, Ken Itoh, Michael B Sporn, Masayuki Yamamoto | Mol Cell Biol | 10.1128/MCB.00236-21 | 2021/10 | 41 | 11 | e0023621 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 743 | Effects of salmon cartilage proteoglycan on obesity in mice fed with a high-fat diet | Hirose S, Asano K, Harada S, Takahashi T, Kondou E, Ito K, Iddamalgoda A Nakane A | Food Science and Nutrition | 10.1002/fsn3.2685 | 2021/12 | 10 | 2 | 577 | 583 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 744 | Genetic ablation of Nrf2 exacerbates neurotoxic effects of acrylamide in mice | Ekuban FA, Zong C, Takikawa M, Morikawa K, Sakurai T, Ichihara S, Itoh K, Yamamoto M, Ohsako S, Ichihara G | Toxicology | 10.1016/j.tox.2021.152785 | 2021/5 | 456 | | 152785 | | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 745 | Longitudinal association between smartphone ownership and depression among schoolchildren under COVID-19 pandemic | Adachi M, Takahashi M, Shinkawa H, Mori H, Nishimura T, Nakamura K. | Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol. | 10.1007/s00127-021-02196-5 | 2022/2 | 57 | 2 | 239 | 243 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 746 | Neurodevelopmental Traits and Longitudinal Transition Patterns in Internet Addiction: A 2-year Prospective Study | Hirota T, Takahashi M, Adachi M, Sakamoto Y, Nakamura K. | J Autism Dev Disord | 10.1007/s10803-020-04620-2 | 2021/4 | 51 | 4 | 1365 | 1374 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 747 | Sphingomyelin phosphodiesterase acid-like 3b is essential for Toll-like receptor 3 signaling in human podocytes | Watanabe S, Umetsu H, Hashimoto S, Sato R, Aizawa T, Tsugawa K, Imaizumi T, Tanaka H | J Membr Biology | 10.1007/s00232-021-00206-w | 2022/2 | 255 | 1 | 117 | 122 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 748 | The association of social capital with depression and quality of life in school-aged children | Mori H, Takahashi M, Adachi M, Shinkawa H, Hirota T, Nishimura T, Nakamura K. | PLoS One | 10.1371/journal.pone.0262103 | 2022/1 | 17 | 1 | e0262103 | | 有 | 有 | 弘前大学 | | R3 |
| 749 | The Influence of Gut Microbiome on Progression of Overactive Bladder Symptoms: A Community-Based Three-Year Longitudinal Study in Aomori, Japan | Yoshiharu Okuyama, Teppei Okamoto, Daichi Sasaki, Kai Ozaki, Jung Songee, Shingo Hatakeyama, Tatsuya Mikami, Chikara Ohyama | International Urology and Nephrology | doi.org/10.1007/s11255-021-03044-w | 2021/10 | 54 | 1 | 9 | 16 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 750 | Two Blautia Species Associated with Visceral Fat Accumulation: A One-Year Longitudinal Study | Ozato N, Yamaguchi T, Mori K, Katashima M, Kumagai M, Murashita K, Katsuragi Y, Tamada Y, Kakuta M, Imoto S, Ihara K, Nakaji S | Biology (Basel) | 10.3390/biology11020318 | 2022/2 | 11 | 2 | 318 | | 有 | | 弘前大学、花王 | | R3 |
| 751 | Endothelial cell senescence exacerbates pulmonary fibrosis potentially through accelerated endothelial to mesenchymal transition | Risa Ramadhiani, Koji Ikeda, Ken-ichi Hirata, and Noriaki Emoto | Kobe Journal of Medical Science | | Nov-21 | 67 | 3 | E84 | E91 | | | 京都府立医科大学 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑪-3　その他著作物（総説、書籍など）**

| No | 著作物の種別 | 論文表題 | 著者名 | 記載誌名 | DOI | 発行年月 | 巻 | 号 | 掲載ページ（始） | 掲載ページ（終） | 査読有無 | 国際共著 | 発表機関（参画機関のみ） | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 書籍 | 医療契約と医療同意, 植木哲編『法律行為論の諸相と展開』 | 小賀野晶一 | 法律文化社, 高森八四郎先生古稀記念論文 | | 2013/10 | | | 304 | 328 | 無 | | 千葉大学 | ISBN978-4-589-03542-4 | H25 |
| 2 | 書籍 | 抗うつ薬. | 菊地俊暁、仁王進太郎、杉山暢宏、渡邊衡一郎、鈴木映二、加藤正樹 | 精神科薬物療法グッドプラクティスーワンランク上の処方を目指してー新興医学出版社 | | 2015/6 | | | 78 | 100 | 無 | | 杏林大学 | | H27 |
| 3 | 書籍 | 第 4 章　抑うつ障害群　7. 持続性抑うつ障害（気分変調症） | 菊地俊暁 | 第30巻増刊号：精神科治療における処方ガイドブック | | 2015/10 | | | 112 | 114 | 無 | | 杏林大学 | | H27 |
| 4 | 書籍 | 薬物療法　B処方決定のプロセスと実例 スムーズな原薬と中止のコツ | 菊地俊暁 | 外来精神科診療シリーズ メンタルクリニックでの薬物療法・身体療法の進め方 中山書店 | | 2015 | | | 131 | 137 | 無 | | 杏林大学 | | H27 |
| 5 | 書籍 | 薬物相互作用 | 渡邊衡一郎、菊地俊暁、鈴木映二 | 精神科薬物療法グッドプラクティスーワンランク上の処方を目指してー新興医学出版社 | | 2015/6 | | | 24 | 33 | 無 | | 杏林大学 | | H27 |
| 6 | 書籍 | E. 統合失調症に関連した精神症状評価. 広範な精神症状の評価　1)陽性・陰性症状評価尺度(PANSS) | 渡邊衡一郎 | 精神・心理機能評価ハンドブック, 中山書店 | | 2015/6 | | | 370 | 380 | 無 | | 杏林大学 | | H27 |
| 7 | 書籍 | G. 物質依存ならびに薬の副作用に関連した臨床評価法 9)AAS | 渡邊衡一郎 | 精神・心理機能評価ハンドブック, 中山書店 | | 2015/7 | | | 493 | 493 | 無 | | 杏林大学 | | H27 |
| 8 | 総説 | 特集　高齢者との金融取引における課題～地域の高齢顧客をどう守るのか 第2章　地域に暮らす高齢者への経済的虐待について～社会福祉の現場から | 上林里佳 | KINZAIファイナンシャルプラン | | 2016 | 374 | | 9 | 18 | 無 | | 京都府立医科大学 | | H28 |
| 9 | 総説 | 特集　高齢化と金融　判断能力が低下した高齢者との金融取引事例 | 上林里佳 | 週刊 金融財政事情. | | 2016 | 3161 | | 16 | 19 | 無 | | 京都府立医科大学 | | H28 |
| 10 | 総説 | 山田勝也.「三次元細胞集塊“スフェロイド”の形成を促す培養技術要素」, 動物細胞培養・自動化におけるトラブル発生原因と対策. 技術情報協会, | | | | 155pp-164pp, 2017. | | | | | | | 弘前大学 | | H29 |
| 11 | 総説 | 中村和彦. “特集　自閉スペクトラム症児者のライフステージに応じた “つながる” 支援　～一般社団法人LD学会公開シンポジウム（新潟）より～　基調講演　自閉スペクトラム症児者の理解”, LD研究、 | | | | voi.27, No.3, 266-277, 2018. | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 12 | 総説 | Kasai S, Yamazaki H, Tanji K, Máté János Engler, Matsumiya, Itoh K. Role of ISR-ATF4 pathway and its cross talk with Nrf2 in mitochondrial quality control. J Clin Biochem Nutr | | | | 2018 in press. | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 13 | 総説 | Kasai S, Mimura J, Ozaki T, Itoh K. Emerging regulatory role of Nrf2 in iron, heme and hemoglobin metabolism in physiology and disease. Front. Vet Sci | | | | 2018 in press. | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 14 | 総説 | Yamada, K. Aberrant uptake of a fluorescent L-Glucose Analogue (fLG) into tumor cells expressing malignant phenotypes", Biol. Pharm. Bull. (BPB) | | | | 41: 1508-1516 (2018). (Invited Review) | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 15 | 書籍 | 中村 和彦（編集）児童・青年期精神疾患の薬物治療ガイドライン, じほう, | | | | 2018年11月 | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 16 | 書籍 | 古郡規雄（著）, 精神科 身体モニタリング塾, 新興医学出版社, | | | | 2018年7月 | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 17 | 総説 | 古郡規雄,【統合失調症の身体合併症プロジェクト】統合失調症患者の身体モニタリング(解説/特集), 精神神経学雑誌, | | | | 120巻12号, Page1095-1100.　2018年12月 | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 18 | 総説 | 石岡 雅道, 古郡 規雄,【あらためて遅発性錐体外路症状について考える】電気けいれん療法の可能性(解説/特集), 精神科, | | | | 34巻1号 Page65-68, 2019年1月 | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 19 | | 古郡 規雄,【精神科臨床144のQ&A】（第12章)薬物療法　向精神薬の中で服用時間に注意すべき薬剤は何でしょうか?(Q&A/特集), 精神科治療学 、 | | | | 33巻増刊 Page226-227(2018年11月) | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 20 | | 古郡 規雄,【精神科臨床144のQ&A】（第2章)気分障害　リチウムなどの気分安定薬の血中濃度はどの程度の間隔で、いつ測定すべきでしょうか?(Q&A/特集),　精神科治療学 | | | | (0912-1862)33巻増刊 Page70-71(2018年11月) | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 21 | 総説 | Nrf2とATF4の相互作用に着目した疾患予防・アンチエイジング法の開発. 伊東健、平尾航、加藤　恭丈、三村純正、葛西秋宅. Medical Science Digest | | | | 45, 56-59, 2019. | | | | | | | 弘前大学 | | H30 |
| 22 | 総説 | 有田幹雄, ″高齢化する農村における生活習慣病の予防戦略<食事と運動による高血圧へのアプローチ>, 日本農村医学会雑誌 | | | | 66巻6号685-686,2018 | | | | | | | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 23 | 総説 | 超高齢期の加齢性認知機能低下と認知症 | 江口 洋子, 三村 將 | 老年精神医学雑誌 | | 201903 | 30 | 3 | 245 | 248 | 無 | | 慶應義塾大学 | | H30 |
| 24 | 総説 | 【発達障害の30年】発達障害さまざま 発達性協調運動障害(DCD)(解説/特集) | 斉藤 まなぶ、小枝 周平、大里 絢子、三上 美咲、坂本 由唯、三上 珠希、中村 和彦 | そだちの科学 | | 201904 | 32 | | 47 | 54 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 25 | 総説 | 【発達障害～適切な支援のための医療とは～】発達障害の薬物治療の現在(併存症も含む)(解説/特集) | 中村和彦 | Pharma Medica | | 201908 | 37 | 8 | 13 | 20 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 26 | 総説 | 医療者養成機関における、発達障害およびその特性のある学生支援の基本的理解(総説) | 川上ちひろ、西城卓也、恒川幸司、今福輪太郎、中村和彦 | 医学教育 | | 201908 | 50 | 4 | 337 | 346 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 総説 | 【成人期発達障害の治療-現状と今後の課題】ASDの治療　薬物療法の役割(解説/特集) | 中村和彦 | 精神科 | | 201908 | 35 | 3 | 291 | 295 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 28 | 総説 | 【大人の発達障害】大人の発達障害の診療　ADHD(注意欠如多動性障害)の臨床症状と診断(解説/特集) | 中村和彦、坂本由唯、松原侑里 | 診断と治療 | | 201911 | 107 | 11 | 1345 | 1353 | 有 | | 弘前大学 | | R1 |
| 29 | その他 | 弘前大学子どものこころの発達研究センターでの実践(5歳児発達健診)(10年のあゆみとこれから)―(つながり：地域・生活に活かされる研究科として(連合小児発達学研究科とのつながりがわかる地域での実践活動の紹介)) | 斉藤 まなぶ | 子どものこころと脳の発達 | | 201910 | 10 | 1 | 40 | 43 | | | 弘前大学 | | R1 |
| 30 | その他 | 弘前大学大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センターの取り組み(連合小児発達学研究科・センター各校の取り組み) | 足立匡基 | 子どものこころと脳の発達 | | 201910 | 10 | 1 | 112 | 116 | | | 弘前大学 | | R1 |
| 31 | 総説 | 新健診モデルでSDGsに貢献する　超多項目(2,000)健康ビッグデータをベースとした未来型ヘルスケアサービスの追求 | 村下公一 | 総合健診 | | 201905 | | | | | | | 弘前大学 | | R1 |
| 32 | 総説 | Emerging evidence for crosstalk between Nrf2 and mitochondria in physiological homeostasis and in heart disease. | Tsushima M, Liu J, Hirao W, Yamazaki H, Tomita H, Itoh K. | Arch Pharm Res. | 10.1007/s12272-019-01188-z | 201911 | | | | | 有 | 有 | 弘前大学 | | R1 |
| 33 | 総説 | シリーズ AIと医療 8「データ主導型個別化医療と予測医療」奥野恭史、小清水宏、鎌田真由美、玉田嘉紀、小島諒介、内野詠一郎 | | 医学情報誌あいみっく | | | 41 | 1 | | | 無 | | 京都大学 | ①-a | R1 |
| 34 | 総説 | 機械学習を用いた医療データ解析 | | Medical Science Digest | | 201905 | 45 | 5 | 23 | 26 | 無 | | 京都大学 | | R1 |
| 35 | 総説 | 高血圧治療におけるチーム医療の必要性と課題―保健師の立場から―(著者名：植田京子) | | 血圧 | | 201910 | 26 | 10 | 50 | 54 | | | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 36 | その他 | The Iwaki Health Promotion Project is unique big health data from healthy individuals | Shigeyuki Nakaji, Professor Seiya Imoto, and Naoki Ozato | The Nature Research Microbiology Community | | 2019 | 10 | 25 | | | 無 | | 花王株式会社 | | R1 |
| 37 | その他 | "弘前大学「早く死ぬ人」「長生きする人」の研究" | | 週刊現代 | | 202003 | | | 158 | 161 | 無 | | ミルテル・明治安田生命保険相互会社 | ① | R1 |
| 38 | その他 | "認知症の人の意思決定支援における心理学への期待" | 成本迅 | 学術の動向 | 10.5363/tits.24.5_32 | 201905 | 24 | 5 | 32 | 36 | 無 | | 京都府立医科大学 | ③ | R1 |
| 39 | その他 | "意思決定サポートシステムの構想" | 成本迅 | 判例時報 | | 201906 | | 2403 | 133 | 138 | 無 | | 京都府立医科大学 | ③ | R1 |
| 40 | その他 | "医学的な知見による適合性原則と金融実務への示唆" | 成本迅・尾川宏豪 | 金融財政事情 | | 201909 | 70 | 37 | 38 | 41 | 無 | | 京都府立医科大学 | ③ | R1 |
| 41 | 総説 | 意思形成・表明・実現のプロセスを支援する- | 成本迅 | 看護技術 | | 201910 | 65 | 12 | 6 | 12 | 無 | | 京都府立医科大学 | ③ | R1 |
| 42 | その他 | "認知症と財産管理" | 成本迅 | 年金と経済 | | 201910 | 38 | 3 | 23 | 28 | 無 | | 京都府立医科大学 | ③ | R1 |
| 43 | その他 | 「真の社会イノベーションを実現する革新的『健やかカ』創造拠点」<br>「高齢者の地域生活を健康時から認知症に至るまで途切れなくサポートする法学、工学、医学を統合した社会技術開発拠点」<br>（科学技術振興機構　革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM））法的検討グループ | | 2019年度成果報告書 | | 2020/2/27 | | | | | | | 中央大学 | | R1 |
| 44 | 総説 | 認知症予防最前線 | 三村　將 | 交詢雑誌 | | 2019 | 652 | | 101 | 128 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 45 | 総説 | 働き方改革における産業保健の推進 | 松本吉郎, 相澤好治, 三村 將 編 | 日本医師会雑誌 | | 2019 | 148 | 7 | | | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 46 | 書籍 | 精神疾患とその治療 | 三村 將, 幸田るみ子, 成本 迅, 編集 | 医歯薬出版 | | 2019 | | | | | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 47 | 書籍 | 第9章. 認知症について(1)―総論 | 三村 將 | エッセンシャル金融ジェロントロジー－高齢者の暮らし・健康・資産を考える | | 201909 | | | 209 | 232 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 48 | 総説 | 高齢者を対象とした遠隔精神科医療 | 山本 真理, 堀込俊郎, 吉田 和生, 岸本 泰士郎 | 老年精神医学雑誌 | | 202001 | 31 | 1 | 31 | 36 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 49 | 総説 | 精神科領域におけるICTやAI活用の試み | 岸本 泰士郎 | 医用画像情報学会雑誌 | | 201904 | 36 | 4 | 159 | 161 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 50 | 総説 | 精神科における遠隔診断と治療 | 堀込 俊郎, 岸本泰士郎 | 精神医学 | | 201904 | 61 | 4 | 457 | 470 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 51 | 総説 | 精神科遠隔医療 | 堀込 俊郎, 岸本泰士郎 | 診断と治療 | | 201904 | 107 | 4 | 467 | 471 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 52 | 総説 | 精神科分野における遠隔医療の展望 | 岸本 泰士郎 | Depression Strategy | | 201906 | 9 | 2 | 1 | 3 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 53 | 書籍 | 第11章 高齢者・認知症の意思決定能力について 評価と支援 | 江口洋子 | エッセンシャル金融ジェロントロジー－高齢者の暮らし・健康・資産を考える | | 201909 | | | 261 | 273 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 54 | 書籍 | 第12章 高齢者対応ケーススタディ | 岸本泰士郎, 江口洋子 | エッセンシャル金融ジェロントロジー ―高齢者の暮らし・健康・資産を考える | | 201909 | | | 275 | 283 | 無 | | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 55 | 総説 | 言語聴覚士の立場から<br>－ 認知症の人と家族のコミュニケーションを支える － | 飯干紀代子 | 老年精神医学雑誌 | | 892-898 | 30 | 8 | 892 | 898 | 無 | 有 | 志學館大学 | ③ | R1 |
| 56 | 書籍 | “第4章2認知症になった場合の財産管理に対する備え” | 小松　紗代子 | 認知症と情報 | － | 201906 | 1 | 1 | 135 | 149 | | | 勁草書房 | ① | R1 |
| 57 | その他 | 「偶然に遭遇する道」 | 山田勝也 | 弘前大学レクチャーコレクション 学びの世界にようこそ | ISBN 978-4-907192-86-0 | 202003 | | | 253 | 262 | 無 | | 弘前大学 | 著書 | R1 |
| 58 | 総説 | Regulation of Nrf2 by Mitochondrial Reactive Oxygen Species in Physiology and Pathology. | Kasai S, Shimizu S, Tatara Y, Mimura J, Itoh K | Biomolecules | 10.3390/biom10020320 | 202002 | 10 | 2 | 320 | 320 | | | 弘前大学、カゴメ（株） | 2-a-1 | R1 |
| 59 | 書籍 | The school lunch in Japan. (Complete Book) Participation: Optimising Outcomes in Childhood-Onset Neurodisability. Mac Keith Press, | Saito M, Miyahara M.(Shared book) | | | 202010 | | | | | | | 弘前大学 | | R2 |
| 60 | 総説 | [情報解説]<br>地域の全5歳児に対する疫学調査による自閉スペクトラム症の有病率の推定<br><br>斉藤まなぶ | 斉藤まなぶ | 特別支援教育研究 | | 202011 | No.759 | | | | | | 弘前大学 | | R2 |
| 61 | 総説 | パーキンソン病の病理学 | 若林孝一 | Clinical Neuroscience | | Jul-20 | 38 | 7 | 819 | 822 | 無 | | 弘前大学 | | R2 |
| 62 | 総説 | 病理形態学から見た脳の老化 | 若林孝一、他 | Clinical Neuroscience | | Jan-21 | 39 | 1 | 30 | 33 | 無 | | 弘前大学 | | R2 |
| 63 | 総説 | ファイトケミカルによるKeap1-Nrf2経路の活性化. | 三村純正、伊東健 | 実験医学 | | 202006 | 38 | 10 | 99 | 105 | | | 弘前大学 | | R2 |
| 64 | 総説 | ストレス応答性転写因子Nrf2とATF4の相互作用を基盤にした疾患予防・アンチエイジング法の開発. | 葛西秋宅、清水直、多田羅洋太、三村純正、伊東健 | BIO Clinica | | 202008 | 35 | 10 | 60 | 64 | | | 弘前大学、カゴメ（株） | 2-a-1 | R2 |
| 65 | 総説 | 慢性腎臓病におけるNrf2-Keap1経路の役割---- CDK治療薬としての期待. | 伊東健、Liu Jun、葛西秋宅 | 臨牀透析 | | 202011 | 36 | 12 | 1521 | 1527 | | | 弘前大学 | | R2 |
| 66 | 総説 | Nrf2 in the Regulation of Endothelial Cell Homeostasis During Inflammation. In: Deng H.(eds) Nrf2 and its Modulation in Inflammation. | Yamazaki H., Itoh K | Progress in Inflammation Research | 10.1007/978-3-030-44599-7_4 | | 85 | | | | | | 弘前大学 | | R2 |
| 67 | 総説 | 【パーキンソン病-New concept?】治療 COMT阻害薬とMAOB阻害薬 | 冨山誠彦 | Clinical Neuroscience | | 202007 | 38 | 7 | 884 | 887 | 無 | | 弘前大学 | | R2 |
| 68 | 総説 | アポモルフィンを含むドパミンアゴニスト最新のコンセプト | 冨山 誠彦、西嶌春生 | 医学と薬学 | | 202005 | 77 | 6 | 873 | 879 | 無 | | 弘前大学 | | R2 |
| 69 | 総説 | Data science and precision healthcare | Imoto S, Hasegawa T, Yamaguchi R. | Nutrition Reviews | 10.1093/nutrit/nuaa110 | Dec-20 | 78 | | 53 | 57 | 有 | | 東京大学 | | R2 |
| 70 | 総説 | 新型コロナウイルス感染症対策のための 健康観察 パーソナルヘルスレコードアプリ の開発 | 山本景一、石見拓 | 別冊 Bio Clinica | | 2020 | 9 | 1 | 121 | 127 | 無 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 71 | 総説 | 【脊椎脊髄疾患に対する分類・評価法】(第1章) 頸椎 JOACMEQ | 橋爪洋, 川上 守 | 脊椎脊髄ジャーナル | | 202004 | 33 | | 295 | 302 | 無 | | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 72 | 総説 | 皮膚カロテノイドレベルの非侵襲測定による野菜摂取の“見える化” | 菅沼大行、松本舞 | イルシー | | 2020/12 | | 144 | 15 | 22 | 無 | | カゴメ(株) | 2-a-2 | R2 |
| 73 | 総説 | 認知症の人の意思決定支援 | 樋山雅美・成本迅 | 精神医学 | | 2020年10月 | 62 | 10 | 1343 | 1349 | 無 | | 京都府立医科大学 | | R2 |
| 74 | 総説 | 高齢者の生活に役立つイノベーションを創出するための産業界との連携について | 樋山雅美・大庭輝・成本迅 | 高齢者のケアと行動科学 | https://doi.org/10.24777/jsbse.25.0_25 | 2020年12月 | 25 | | 25 | 34 | 有 | | 京都府立医科大学 | | R2 |
| 75 | その他 | 金融機関高齢顧客対応ワーキング・グループ報告書「高齢顧客の判断能力評価、及び意思決定支援における金融業界全体のルール策定についての提言」 | COLTEM | | | 2020年12月 | | | | | 無 | | 京都府立医科大学 | | R2 |
| 76 | 総説 | 認知症の人の意思決定能力とサポート体制 | 樋山雅美・成本迅 | 生活協同組合研究 | | 2021年2月 | | 541 | 15 | 22 | 無 | | 京都府立医科大学 | 下記よりダウンロード可<br>https://www.dmsoj.com/publishing | R2 |
| 77 | 総説 | 認知症高齢者の医療選択に関する意思決定支援とそれを支える看護師の役割 | 成本　迅 | 日本老年看護学会誌 | | 2020年7月 | 25 | 1 | 12 | 16 | 無 | | 京都府立医科大学 | | R2 |
| 78 | その他 | 「在宅看取りの現場での救急医療を考え | 石田瞳 | 日本医師会雑誌 | | 2020年4月 | 149 | 1 | 91 | 97 | 有 | | 中央大学 | | R2 |
| 79 | 書籍 | 「緊急事態宣言下における医療機関・医 | 石田瞳 | 松嶋隆弘, 野口教子, 大久保拓也（編）『事業者のためのパンデミックへの法的対応 “コロナ禍で生き残る法律知識のすべて”』 | | 2020年8月 | | | | | 有 | | 中央大学 | | R2 |
| 80 | 書籍 | 「同意能力を欠く患者の医療同意」 | 石田瞳 | 大浦 誠（編）『終末期医療と肺炎』 | | 2020年12月 | | | | | 有 | | 中央大学 | | R2 |
| 81 | その他 | 高齢者のSHDカテーテル治療の適応（特集 プライマリ・ケア医が知っておくべき心不全診療） | 竜崎俊亘, 河野佐代子, 江口洋子, 林田健太郎 | 治療 | | 2020年6月 | 102 | 6 | 728 | 732 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |
| 82 | その他 | 認知症と財産管理 | 江口洋子 | 三色旗 | | 2020年4月 | 839 | | 3 | 9 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |
| 83 | その他 | Speech Paralinguistic Approach for Detecting Dementia Using Gated Convolutional Neural Network. | Warnita T*, Makiuchi MR, Inoue N, Shinoda K, Yoshimura M, Kitazawa M, Funaki K, Eguchi Y, Kishimoto T†. | Electrical Engineering and Systems Science | | 6-Oct-20 | | | | | | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |
| 84 | 総説 | 人工知能の精神科領域への応用, | 米澤賢吾, 木下翔太郎, 岸本泰士郎. | 脳神経内科 | | 2020年12月 | 93 | 6 | 771 | 777 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |
| 85 | 総説 | 変わりゆく診察のあり方と、オンライン診療のこれから | 岸本泰士郎 | CONSONANCE 精神科治療を考える | | 2020 AUTUMN | 76 | | 2 | 5 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |
| 86 | 総説 | 精神医学へのAI技術の応用 | 木下 翔太郎＊, 岸本 泰士郎†. | 週刊 医学のあゆみ | | 2020年8月 | 274 | 9 | 860 | 864 | 無 | | 慶應義塾大学医学部 | | R2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 87 | 総説 | 認知症の人の意思決定支援と人権 | 成本　迅 | 老年精神医学雑誌 | | 2021年2月 | 32 | 2 | 173 | 180 | 無 | | 京都府立医科大学 | | R2 |
| 88 | 総説 | 金融業界における高齢顧客取引のルール化に向けた提言: 医療同意能力を参考に高齢顧客のリスク商品の取引能力を評価 | 成本　迅・樋山雅美 | 金融財政事情 | | 2021年3月 | 72 | 11 | 28 | 31 | 無 | | | | R2 |
| 89 | その他 | 定形発達児と自閉スペクトラム症児における20Hzと40Hz定常聴性反応 | 小野靖樹、菊知充 | 精神神経学雑誌　, | | 202106 | 123 | 6 | 311 | 316 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |
| 90 | 書籍 | オンラインとオフラインで考える特別支援教育（第5章 コロナ禍のメンタルヘルスケア） | 前川圭一郎、新川広樹、本田章子（第5章分担執筆）（郡司竜平、野口晃菜（編）、青山新吾（監修）） | 明治図書 | | 202106 | | | | | | | 弘前大学 | | R3 |
| 91 | 総説 | 中枢性発作とロコモ | 橋爪　洋, 竹下達也, 岡　敬之, 宮井信行, 有田幹雄, 山田　宏 | 整形外科 | | | 72 | 6 | 539 | 542 | 無 | | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 92 | 総説 | 野菜摂取量を非侵襲で推定できる「ベジチェック®」 | 菅沼大行、松本舞 | 臨床栄養 | | 2021/10 | 139 | 5 | 634 | 635 | 無 | | カゴメ(株) | 2-a-2 | R3 |
| 93 | その他 | 短命県返上に向けた「健康づくり」における地域連携と担い手育成 | 三浦雅子 | 生活協同組合研究 | | 2021年5月 | 1 | 544 | 58 | 61 | 無 | | | | R3 |
| 94 | その他 | 生協、大学、自治体が一体となり、地域の「健康づくり」に挑戦する | 三浦雅子 | 生協運営資料 | | 2021年7月 | 1 | 320 | 78 | 89 | 無 | | | | R3 |
| 95 | 総説 | 認知症高齢者の資産管理の現状と福祉に期待する支援 | 成本迅・樋山雅美 | 月刊福祉 | | 2021/8 | 104 | 9 | 42 | 45 | 無 | | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 96 | 総説 | 人生100年時代の生活設計における認知症の課題 | 成本迅・樋山雅美 | 生命保険論集 | | 2021/9 | 216 | | 155 | 169 | 無 | | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 97 | 総説 | 最期まで自分らしく生きていくための経済的な課題と解決の方向性について | 樋山雅美・成本迅 | 連合総研レポート | | 2021/9 | 369 | | 9 | 13 | 無 | | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 98 | 書籍 | 地域生活の支援と公私協働の社会システム | 編集小賀野晶一、執筆者COI法学グループ全員 | 勁草書房 | | 2021 | | | | | 無 | | 中央大学 | | R3 |
| 99 | 総説 | AIやICTを活用した精神医学イノベーション～領域横断イノベーション精神医学研究室の取り組み～ | 岸本 泰士郎. | 電波技術協会報 FORN | | 2021 | 340 | | 34 | 37 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 100 | 総説 | 精神科遠隔医療（オンライン診療）―その急速に変わりゆく現状と課題、可能性― | 岸本 泰士郎. | 精神科病院マネジメント | | 2021 | 43 | | 4 | 8 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 101 | 総説 | 社会的距離戦略下におけるオンライン診療を考える. | 岸本 泰士郎, 久住 英二, 斎藤 環, 立森 久照 | 日本社会精神医学会雑誌 | | 2021 | 1 | | 45 | 57 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 102 | 書籍 | みんなの金融 | 駒村康平編著 | 新泉社 | | 2021 | | | | | | | マネーフォワード | | R3 |
| 103 | 総説 | 野菜摂取量を非侵襲で推定する仕組み『ベジチェック®』の開発<br>（令和3年度日本栄養・食糧学会技術賞受賞） | 菅沼大行、林宏紀、松本舞 | 日本栄養・食糧学会誌 | | 2022<br>（受理済み） | 75 | 3<br>予定 | 未定 | 未定 | 有 | | カゴメ(株) | 2-a-2 | R3 |
| 104 | その他 | 遺言能力の有無が争点となった遺言無効確認請求訴訟判例の医学・心理学的検討 | 藤井 美紗, 加藤佑佳, 椎名 基晴, 名倉 勇一郎, 小賀野 晶一, 成本 迅 | 高齢者のケアと行動科学 | 10.24777/jsbse.26.0_122 | 2021/12 | 26 | | 122 | 131 | 有 | | 京都府立医科大学 | ③ | R3 |
| 105 | その他 | 高齢期「うつ」に関連する心理学的要因―喪失、孤独、不安、無気力. | 新村秀人 | 日本老年精神医学会雑誌 | ISBN 978-4-86351-209-2 | 2021.12.20 | 32 | 12 | 1273 | 1279 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 106 | その他 | Telepsychiatryの将来. | 新村秀人 | 外来精神医療 | ISSN 1883-8693 | 2021.9.15 | 22 | 1 | 48 | 49 | | | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 107 | 総説 | L-グルコースの臨床医療への応用 | 山田勝也 | 応用糖質科学会雑誌 | | | | | | | | | 弘前大学 | | R3 |
| 108 | その他 | 蛍光L-グルコース2-NBDGを用いた腹水細胞診断 | 山田勝也 | 青森県臨床細胞学会雑誌 | | 202202 | | 38 | 16 | 21 | | | 弘前大学 | | R3 |
| 109 | 書籍 | 第5章 コロナ禍のメンタルヘルスケア | 前川圭一郎、新川広樹、本田章子（第5章分担執筆）（郡司竜平、野口晃菜（編）、青山新吾（監修）） | オンラインとオフラインで考える特別支援教育 | | 2021 | | | | | | | 弘前大学 | | R3 |
| 110 | 総説 | 【発達障害　レジデントが知っておきたい診断や治療のコツ!】治療の基本　発達障害の薬物療法(解説/特集) | 中村和彦 | 精神科Resident | | 202108 | 2 | 3 | 177 | 179 | | | 弘前大学 | | R3 |
| 111 | 総説 | 【発達障害の臨床と課題】発達障害の遺伝学的研究(解説/特集) | 坂本由唯, 照井藍, 斉藤まなぶ, 中村和彦 | 精神科 | | 202201 | 40 | 1 | 70 | 75 | | | 弘前大学 | | R3 |
| 112 | 総説 | 発達障害児の早期発見・早期支援への取組～多領域連携による発達障害児支援システムの構築について～ | 町田徳子、斉藤まなぶ | 特別支援教育研究 | | 2021 | 769 | | 10 | 125 | | | 弘前大学 | | R3 |
| 113 | 総説 | 病理形態学から見た脳の老化 | 若林孝一、三木康生 | Clinical Neuroscience | | 2021 | 39 | 1 | 30 | 33 | | | 弘前大学 | | R3 |
| 114 | その他 | 定形発達児と自閉スペクトラム症児における20Hzと40Hz定常聴性反応 | 小野靖樹、菊知充 | 精神神経学雑誌　, | | 202106 | 123 | 6 | 311 | 316 | 有 | | 弘前大学 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑫-1　発表（口頭発表）**

| No | 発表者 | タイトル | 学会名等 | 場所 | 年月日 | 発表機関（参画機関のみ） | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | T. Asada, Y. Yoshitomi, A. Tsuji, R. Kato, M. Tabuse, N. Kuwahara, and J. Narumoto | Facial expression analysis while using video phone | Int. Conf. on Artificial Life and Robotics | 大分市 | 2014/1/12 | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H25 |
| 2 | 仲秋秀太郎, 三村將 | シンポジウム「高齢者の生活と人生を支える認知行動側面」 | 第17回日本精神保健・予防学会 | 東京 | 2013/11/23 | 慶應義塾大学医学部、京都府立医科大学、志學館大学 | | H25 |
| 3 | Asano K, Nakane A. Salmon cartilage proteoglycan alters intestinal microbial community and attenuates the severity of experimental autoimmune encephalomyelitis. ワークショップ「Immune tolerance and immune suppression 1: Regulation of autoimmunity and inflammation」第43日本免疫学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 4 | Ono HK, Nakane A. Characterization of superantigenic activity and stability of novel staphylococcal emetic toxin. ワークショップ「細菌毒素のフロントライン～基礎から臨床まで～」第88回日本細菌学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 5 | 浅野クリスナ、中根　明夫. オートファジー抑制および黄色ブドウ球菌の上皮細胞感染における毒素性ショック症候群毒素-1の関与. 第25回日本生体防御学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 6 | 吉田秀見　松宮朋穂　丹治邦和　早狩亮　邢飛　三村純正　伊東健　今泉忠淳. カルノシン酸はヒトアストロサイトのアミロイドβ（1-42/43）分泌を抑制する. 第152回弘前医学会例会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 7 | Fei Xing、松宮朋穂、早狩亮、吉田秀見、今泉忠淳. I 型インターフェロン非依存的な STAT1 リン酸化における IKK・ の役割の検討. 第98回弘前医学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 8 | 若林孝一. MSAとオートファジー. 第55回日本神経学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 9 | 丹治邦和、三木康生、尾崎拓、丸山敦史、吉田秀見、三村純正、松宮朋穂、森文秋、伊東健、今泉忠淳、柿田明美、高橋均、若林孝一. アルツハイマー病脳におけるリン酸化p62の検討. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 10 | 森文秋、豊島靖子、丹治邦和、柿田明美、高橋均、若林孝一. 脊髄小脳失調症2型脳に認められた2種類の核内封入体. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 11 | 三木康生、森文秋、今智矢、丹治邦和、豊島靖子、吉田真理、佐々木秀直、柿田明美、高橋均、若林孝一. Sigma-1 receptorの蓄積は種々の神経変性疾患の核内封入体に共通する. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 12 | 今智矢、森文秋、丹治邦和、三木康生、豊島靖子、吉田真理、佐々木秀直、柿田明美、高橋均、若林孝一. 神経変性疾患におけるALS関連タンパク質FIG4の免疫組織化学的検討. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 13 | 森文秋、渡辺柚香、三木康生、丹治邦和、小田桐沙織、衞藤光明、若林孝一. オートファジー/ストレス顆粒関連蛋白陽性のエオジン好性封入体. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 14 | 若林孝一、森文秋、柿田明美、高橋均、内海潤、佐々木秀直. ホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いた神経変性疾患のmicroRNA解析. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 15 | 今智矢、船水章央、三木康生、馬場正之、三戸聖也、黒滝日出一、若林孝一. 脳神経と脊髄神経に高度の癌浸潤を認めた髄膜癌腫症の1剖検例. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 16 | 三木康生、森文秋、丹治邦和、黒滝日出一、柿田明美、高橋均、若林孝一. Incipient Pick diseaseの1剖検例. 第55回日本神経病理学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 17 | Kurata, K. and Ozaki, I.: Effects of breathing on motor evoked potential of non-respiratory forearm muscles following transcranial magnetic stimulation.The 38th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 18 | 山田勝也、大脳基底核におけるアストロサイトの領域特異的ドーパミン受容体発現.（公募シンポジウム「伝達物質および受容体から見た大脳基底核神経回路機能」シンポジウム講演）. 第92回日本生理学会大会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 19 | 山田勝也、アストロサイトが媒介する樹状突起間コミュニケーション仮説. Neurovascular Unit 研究会2015. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 20 | 村田澪、鈴木秀明、田桑弘之、川口拓之、菅野巌、冨田裕、鈴木則宏、山田勝也、正本和人、蛍光グルコース誘導体を用いたマウス大脳血管壁におけるグルコース輸送に関する生体光イメージング. 第 27 回バイオエンジニアリング講演会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 21 | 滝川翔太、小野幸輝、大塚祐治、山本敏弘、豊島正、吉田孝、山田勝也、培養がん細胞に取り込まれた蛍光D-グルコース誘導体の細胞内局在. 第46回東北生理談話会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 22 | 山田勝也、蛍光グルコース誘導体の細胞内への特異的取り込みを利用した腫瘍イメージング“Tumor imaging using specific uptake of a fluorescent glucose derivative into cells”（JCA-JSP Joint Symposum「先端技術を集約したがんの病理診断」会長指定シンポジウム講演. 第73回日本癌学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 23 | 山田勝也、菅世知子、山本欣郎、柴崎貢司、富永真琴、長友克広、マウス脳黒質網様部のドーパミン応答ならびに受容体発現. 第29回日本大脳基底核研究会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 24 | Yamada, K. Development of fluorescent glucose probes for in vivo diagnostics. 第53回日本生体医工学会大会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 上野伸哉、山田順子. シンポジウム 夜間前頭葉てんかんにおける新たな発症予防戦略. 第48回日本てんかん学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 26 | 山田順子、Gang Zhu、岡田元宏　廣瀬伸一、柴祐子、右田啓介、上野伸哉. フロセミドの発症前投与による常染色体優性夜間前頭葉てんかん予防の効果. 第41回脳科学学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 27 | 尾崎拓、下山修司、上野伸哉、山田順子、齋藤まなぶ、中村和彦. 小児自閉症スペクトラム障害のCNV解析. 第41回脳科学学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 28 | 三浦富智、中田章史、藤嶋洋平、氏家里紗、葛西宏介、田副博文、有吉健太郎、齋藤幹男、鈴樹亨純、山田正俊、吉田光明、福本学. 放射性物質汚染地域に生息するアカネズミの生物影響解析. 日本放射線影響学会 第57回大会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 29 | 西村美八, 庄司俊彦, 三浦富智, 高橋一平, 中路重之. 一般住民におけるリンゴ摂取頻度が食習慣および健康状態, 生活習慣病に及ぼす影響. 第18回日本病態栄養学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 30 | 斉藤まなぶ、大里絢子、田中勝則、増田貴人、高柳伸哉、安田小響、中村和彦. 5歳児発達健診における結果報告(途中経過). 第16回東北児童青年精神医学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 31 | 斉藤まなぶ、大里絢子、田中勝則、増田貴人、高柳伸哉、安田小響、中村和彦. 某市5歳児発達健診における発達障害の疫学. 第68回東北精神神経学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 32 | 久保一利、菅原典夫、金田絢子、高橋一平、古郡規雄、中村和彦. 一般健康住民におけるRestless Legs症候群に関連する因子の検討. 第68回東北精神神経学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 33 | 橋本浩二郎、菅原典夫、田中治、古郡規雄、中村和彦. 医学生における親子の結びつきと自殺への態度との関連について. 第68回東北精神神経学会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 34 | 久保一利、菅原典夫、金田絢子、高橋一平、古郡規雄、中村和彦. 一般健康住民におけるRestless Legs症候群が健康関連QOLに与える影響. 第18回日本精神保健・予防学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 35 | 橋本浩二郎、菅原典夫、田中治、古郡規雄、中村和彦. 医学生における親子の結びつきと自殺への態度との関連について. 第18回日本精神保健・予防学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 36 | Kawarabayashi T, Nakata T, Wakasaya Y, Matsubara E, Shoji M: Binding of Aß oligomers and prion in lipid rafts of Alzheimer model mice. 第55回日本神経学会学術大会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 37 | 浅田 太郎, 吉冨 康成, 加藤亮太, 田伏 正佳, 成本 迅 | テレビ電話中の表情分析と顔動作解析 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2014 | 京都市 | 2014/9/12 | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H26 |
| 38 | Asada T, Yoshitomi Y, Kato R, Tabuse M, and Narumoto J | Proceedings of International Conference on Artificial Life and Robotics | Proceedings of International Conference on Artificial Life and Robotics | Oita,Japan | 2015/1/11 | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H26 |
| 39 | 日野裕介, 洪志勲, 大槻知明 | アレーセンサを用いた未学習転倒の検知 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | 京都テルサ | 2014/8/1 | 慶應義塾大学理工学部 | | H26 |
| 40 | 三村將 | 遂行機能. ワークショップ: 精神科ベッドサイドの神経心理学 | 日本精神神経学会学術総会 | 横浜 | 2014/6/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 41 | 村下公一. 健康ビッグデータで『寿命革命』を！ SEMICON Japan 2015. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 42 | 村下公一. 医療×ビックデータ. 神戸医療ITイノベーションカンファレンス2015. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 43 | 村下公一. 健康ビッグデータ解析による認知症等疾患予兆発見プロジェクト戦略. 未来医EXPO'15.　日本医学会総会, 2015. 3.28-4.5, 神戸国際展示場 | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 44 | 高橋一平、佐藤諭、秋元直樹、沢田かほり、駒目瞳、千葉大輔、太田聖也、武田温、中路重之. 学校における健康教育の取り組みと普及について. 第80回日本民族衛生学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 45 | 秋元直樹、高橋一平、佐藤諭、千葉大輔、太田聖也、武田温、沢田かほり、駒目瞳、中路重之. 職域における健康教養の普及(健やか力推進センターの取り組み). 第80回日本民族衛生学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 46 | 佐竹立、菅原典夫、佐藤研、高橋一平、中路重之、古郡規雄、福田眞作. 一般住民における過敏性腸症候群と食習慣の関係についての検討. 第80回日本民族衛生学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 47 | 森文秋、三木康生、丹治邦和、柿田明美、高橋均、内海潤、佐々木秀直、若林孝一. 筋萎縮性側索硬化症のBunina小体におけるSorCS2の発現. 第56回日本神経病理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 48 | 森文秋、丹治邦和、三木康生、豊島靖子、吉田眞理、柿田明美、高橋均、内海潤、佐々木秀直、若林孝一. ポリグルタミン病ならびに核内封入体病におけるGタンパク質共役受容体GPR26の局在. 第56回日本神経病理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 49 | 三木康生、丹治邦和、森文秋、柿田明美、高橋均、内海潤、佐々木秀直、若林孝一. オートファジー関連タンパク質（ULK1、ULK2、VPS34、AMBRA1）はレビー小体の形成過程に関与している. 第56回日本神経病理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 50 | 中村桂子、森文秋、丹治邦和、三木康生、山田正仁、柿田明美、高橋均、内海潤、佐々木秀直、若林孝一. Isopentenyl diphosphate isomeraseは脳幹型レビー小体のcoreに局在する. 第56回日本神経病理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 51 | 今智矢、三木康生、丹治邦和、森文秋、冨山誠彦、豊島靖子、柿田明美、高橋均、内海　潤、佐々木秀直、若林孝一. Neuron derived orphan receptor-1はシヌクレイノパチーの封入体に局在する. 第56回日本神経病理学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 52 | 丹治邦和、小田桐沙織、三木康生、丸山敦史、二階堂義和、三村純正、森文秋、蕨栄治、柳川徹、上野伸哉、伊東健、若林孝一. レビー小体病におけるp62の役割. 第56回日本神経病理学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 53 | 木下正治、加藤利佳子、伊佐かおる、小林憲太、小林和人、尾上浩隆、伊佐正. 視床枕の抑制は盲視サルにおける視覚誘導性サッケードを阻害する. 第47回東北生理談話会. | 弘前大学 | | H27 |
| 54 | Asano K, Nakane A. Role of toxic shock syndrome toxin 1 on autophagy and intracellular replication of Staphylococcus aureus. 第44日本免疫学会学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 55 | Ono HK, Hirose S, Nakane A. Establishment of new emetic animal model using common marmoset and analysis of the emesis induced by staphylococcal enterotoxin. 第89回日本細菌学会総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 56 | Asano K, Sashinami H, Osanai A, Hirose S, Ono HK, Narita K, Hu DL, Nakane A. Protective effect against Listeria monocytogenes infection by excessively passive immunization. 第89回日本細菌学会総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 57 | Narita K, Nakane A. Vaccination with S. aureus fibronectin binding domain of FnBPA induces IL-17A-dependent protection. ワークショップ「ワクチンをつくる」. 第89回日本細菌学会総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 58 | Yamada, K. “Imaging tumor cells using uptake of fluorescent L-glucose derivatives”. Pacifichem2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 59 | Yamada, K. A METHOD TO IDENTIFY LIVING CELLS SHOWING ABNORMAL SUGAR UPTAKE USING FLUORESCENT L-GLUCOSE (FLG) DERIVATIVES. ICCU2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 60 | 山田勝也. 蛍光標識D-およびL-グルコース誘導体の魅力. 日本応用糖質学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 61 | Yamada, K. A fluorescence L-glucose derivative (fLG) for imaging tumor cells. 第10回日本分子イメージング学会総会・学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 62 | 山田勝也. “Visualizing glucose transport of a variety of cells using fluorescently labe led glucose derivatives”「蛍光標識グルコース誘導体を用いた多様な細胞のグルコース輸送可視化」. 第93回日本生理学会大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 63 | 小野幸輝、佐々木綾子、横山良仁、刀稱亀代志、渡邉純、古川正仁、今井麻智子、長友克広、山本敏弘、大塚祐治、豊島正、黒瀬顕、水沼英樹、山田勝也. 蛍光Lグルコース誘導体fLGによるがん細胞可視化. 第47回東北生理談話会. | 弘前大学 | | H27 |
| 64 | 佐々木綾子、山田勝也. がん細胞への蛍光グルコース誘導体取り込みの蛍光マイクロプレートリーダーを用いた解析方法. 第47回東北生理談話会. | 弘前大学 | | H27 |
| 65 | Yamada K, Shibasaki K, Suga S, Yamamoto Y, Tominaga M, Nagatomo K. “A hypothesis: dendro-dendritic communication mediated by astrocytic processes in substantia nigra” 黒質アストロサイトプロセスの媒介する樹状突起-樹状突起間コミュニケーション仮説. 第38回日本神経科学大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 66 | 長友克広、大塚祐治、望月雅允、山本哲也、津田修吾、山本敏弘、豊島正、山田勝也. 蛍光標識L-グルコース誘導体による腸内細菌の細胞状態評価. 第19回腸内細菌学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 67 | Takasugi T, Hanaoka K, Sasaki A, Miyazaki J, Yamada K, Urano Y. GLUTを介して細胞内に取り込まれる蛍光プローブの開発. 第13回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマーフォーラム. | 弘前大学 | | H27 |
| 68 | Tahara T, Akiyama K, Takahashi K, Hosaka N, Otsuka y, Yamamoto T, Sasaki A, Yamada K, Onoe H. A Positron and Fluorescence Double-Labeled Glucose Analog for Multi-Dimensional Molecular Imaging. 第10回日本分子イメージング学会総会・学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 69 | Takasugi T, Hanaoka K, Sasaki A, Miyazaki J, Yamada K, Urano Y. GLUTを介して細胞内に取り込まれる蛍光プローブの開発. 第10回日本分子イメージング学会総会・学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 70 | 高松輝賢、佐藤達資、中村敏也、菅原雅史、山田勝也. がんの自動診断を目指したスライドスキャナの開発と今後のビジョン. 日本臨床検査自動化学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 71 | Xing F, Matsumiya T, Hayakari R, Yoshida H, Takahashi I, Nakaji S, Imaizumi T. Single Nucleotide polymorphism (SNP) of mitochondrial antiviral signaling protein (MAVS). 第88回日本生化学会大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 72 | Mayakari R, Matsumiya T. Novel role of IRF-3 in RIG-I expression. The 44th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology. | 弘前大学 | | H27 |
| 73 | 早狩亮、松宮朋穂、邢飛、吉田秀見、今泉忠淳. インターフェロン調節因子-3 を介したレチノイン酸誘導遺伝子-I の新規転写調節機構. 第99回弘前医学会総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 74 | 伊東健. Nrf2-FPN1経路を介した抗炎症の分子機構の解析. 第38回日本分子生物学会年会. | 弘前大学 | | H27 |
| 75 | 丸山敦史. 細胞内Z-DNA構造形成を測る—DNA構造変化の遺伝子発現制御における役割—. 平成27年度化学系学協会東北大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 76 | Koga K, Zhuo M. Presynaptic long term plasticity in the anterior cingulate cortex for chronic pain induced anxiety. The 6th Asian Pain Symposium (APS2015). | 弘前大学 | | H27 |
| 77 | Koga K, Zhuo M. SCRAPPER selectively contributes to spontaneous release and presynaptic long-term potentiation in the anterior cingulate cortex. 10th international conference of neurons and diseases. | 弘前大学 | | H27 |
| 78 | 栃谷史郎、古川智範、伊藤崇志、松島芳隆、小島俊男、松崎秀夫、福田敦夫. 発生期マウス大脳皮質においてGABAA受容体と母体由来タウリンは神経前駆細胞の時系列的性質変化を制御する. 第2回国際タウリン研究会日本部会. | 弘前大学 | | H27 |
| 79 | 上野伸哉.「麻酔科医が知っておくべき中枢神経系受容体」”GABA-A受容体トラフィッキングによる麻酔効果制御” GABA-A receptor trafficking regulates anesthetic action. 日本麻酔学会第62回学術集会. | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 80 | 東海林幹夫. 会長講演 アルツハイマー病研究のこれまでとこれから. 第34回日本認知症学会学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 81 | 東海林幹夫. 基調講演 日本における認知症治療薬の現状と将来像. AD expert Forum. | 弘前大学 | | H27 |
| 82 | 東海林幹夫. 特別講演 アルツハイマー病研究の展開-大規模 コホート研究の目指すもの. Novartis NeuroScience Forum 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 83 | 東海林幹夫. パネルデスカッション 新たな治療戦略を求めて 特別講演 アルツハイマー病研究の展開-大規模 コホート研究の目指すもの. Novartis NeuroScience Forum 2016. | 弘前大学 | | H27 |
| 84 | 東海林幹夫. アルツハイマー病の新しい診断基準の概説 ガイドラインコース3. 第56回日本神経学会学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 85 | 瓦林毅. シンポジウム17 認知症研究のブレークスルーとモデル動 マウスモデルを用いたAß oligomer毒性の検討. 第34回日本認知症学会学術集会. | 弘前大学 | | H27 |
| 86 | 東海林幹夫. AD治療・予防の将来展望　モーニングセミナーJ-2. VAS-COG2015 TOKYO. | 弘前大学 | | H27 |
| 87 | Shoji M. Biomarkers of Vascular demntia Thema 1: Diagnosing Vascular Cognitive Disorders. 7th World Congress of the International Society for Vascular Behavioural and Cognitive Disorders. | 弘前大学 | | H27 |
| 88 | Kawarabayashi T. Hot Topics 6 Pivotal role of oligomers in pathogenesis and therapy of dementia. Aß oligomers: appearance, accumulation, memory disturbance and therapy. 第56回日本神経学会学術大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 89 | 若佐谷保仁、中村琢洋、仲田崇、瓦林毅、東海林幹夫. 進行性核上性麻痺の各臨床型における臨床的特徴と治療成績. 第56回日本神経学会学術大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 90 | 仲田崇、瓦林毅、中村琢洋、若佐谷保仁、東海林幹夫. 神経疾患における脳脊髄液および血液バイオマーカーの検討. 第56回日本神経学会学術大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 91 | 中村琢洋、瓦林毅、若佐谷保仁、仲田 崇、西野一三、三橋里美、漆葉章典、東海林幹夫. TTN遺伝子変異を認めたミオパチー2症例の検討. 第56回日本神経学会学術大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 92 | 瓦林毅、中村琢洋、若佐谷保仁、仲田崇、東海林幹夫.　パーキンソン症候群のDAT scanによる検討. 第96回日本神経学会東北地方会. | 弘前大学 | | H27 |
| 93 | 古郡規雄. 注意すべき抗うつ薬の薬物相互作用. 日本臨床精神神経薬理学会(JSCNP)推薦 シンポジウム22-抗うつ薬の適切な使用法をもう一度考えてみる-. 第111回日本精神神経学会学術総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 94 | 大里絢子、斉藤まなぶ、増田貴人、田中勝則、中村和彦. 某市5歳児発達健診におけるWISC-Ⅳの下位項目の検討. 第17回東北児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 95 | 足立匡基、高柳伸哉、安田小響、吉田恵心、栗林理人、中村和彦.　小中学生における抑うつの保護・悪化要因―東北地方における大規模コホート調査から-. 第17回東北児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 96 | 高梨美智江、長尾飛鳥、吉田恵心、林本章、栗林理人、堀内雅之. 別人格の存在を訴えるASD思春期女子症例の治療経過. 第17回東北児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 97 | 菅原典夫、目時典文、萩井譲士、齋藤新、白戸弘志、冨田哲、保嶋実、奥村謙、古郡規雄. 脳卒中急性期における損傷部位と抑うつ症状の関連性. 第12回日本うつ病学会総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 98 | 菅原典夫、目時典文、萩井譲士、齋藤新、白戸弘志、冨田哲、保嶋実、奥村謙、古郡規雄. 本邦における脳卒中入院患者において抑うつ症状が在院日数に与える影響. 第12回日本うつ病学会総会. | 弘前大学 | | H27 |
| 99 | 冨田哲、古郡規雄、菅原典夫、高橋一平、沢田かほり、中村和彦. 因子分析によるSubjective Memory Complaintsスケールを用いたうつと認知症の評価について. 第35回日本精神科診断学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 100 | Nakamura K. Epidemiology of Autism Spectrum Disorder and Attention Deficit Hyperactivity Disorder in a community-based population sample of five-year-old children. 第8回ASCAPAP. | 弘前大学 | | H27 |
| 101 | 中村和彦. 5歳児発達健診における発達障害の疫学. 第45回日本神経精神薬理学会第37回日本生物学的精神医学会合同年会. | 弘前大学 | | H27 |
| 102 | 大里絢子. 某市5歳児発達健診におけるWISC-Ⅳ等の検討. 第56回日本児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 103 | 斉藤まなぶ、大里絢子、中村和彦. 某市5歳児発達健診における発達障害の疫学. 第56回日本児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 104 | 高柳伸哉、足立匡基、安田小響、吉田恵心、大里絢子、斉藤まなぶ、栗林理人、中村和彦. 小中学生における発達特性と抑うつ、不適応の関連. 第56回日本児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 105 | 吉田恵心、高柳伸哉、栗林理人、中村和彦. 発達特性傾向、ストレス要因と攻撃性の関連. 第56回日本児童青年精神医学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 106 | 古郡規雄、橋本浩二郎、土嶺章子、富田哲、菅原典夫、中村和彦. エスシタロプラムの中断症状における臨床的特徴. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 107 | 古郡規雄、土嶺章子、井上義政、中村和彦、猿渡淳二. エスシタロプラムにおける投与量と定常状態血中濃度の直線関係について-CYP2C19多型の影響-. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | 弘前大学 | | H27 |
| 108 | 冨田哲、古郡規雄、金田絢子、酒谷英樹、丸谷藍子、中村和彦. Receiver operating characteristic曲線を用いたうつ病患者における向精神薬の認知機能への影響の検討. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 109 | 久保一利、古郡規雄、土嶺章子、中村和彦. エスシタロプラムの定常状態血中濃度に与えるフルボキサミンの影響. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 110 | 土嶺章子、越智紳一郎、田尻美寿、井上義政、鈴木雄太郎、古郡規雄. エスシタロプラムの定常状態血中濃度とCYP2C19多型との関係-. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 111 | 工藤周平、菅原典夫、石岡雅道、古郡規雄. 持効性抗精神病薬に対する患者の認識に関する研究. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 112 | 冨田哲、古郡規雄、金田絢子、石岡雅道、菅原典夫、中神卓、中村和彦. うつ病治療反応予測のためのTemperament and character inventory簡略版作成の試み. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 113 | 冨田哲、古郡規雄、工藤周平、菅原典夫、藤井学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道. 抗うつ薬服用中の患者のうつ病理解と重症度の関連について. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 114 | 佐藤靖. 実臨床現場の観点から. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 115 | 菅原典夫、古郡規雄、山崎學、下田和孝、森隆夫、尾関祐二、南良武、須貝拓朗、鈴木雄太郎、松田ひろし、南良武、岡本呉賦、寒河江豊昭、染谷俊幸. 統合失調症患者における身体リスク実態調査のまとめ. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 116 | 菅原典夫、古郡規雄、山崎學、下田和孝、森隆夫、尾関祐二、南良武、岡本呉賦、寒河江豊昭、松田ひろし、須貝拓朗、鈴木雄太郎、染谷俊幸. 統合失調症患者のメタボリック症候群予防に関する研究-開始時データについて-. 第25回日本臨床精神神経薬理学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 117 | 坂本由唯、富田哲、佐藤靖、古郡規雄、中村和彦. インスリン大量自己注射で自殺企図に対して経管栄養を用いた1症例. 第69回東北精神神経学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 118 | 斉藤まなぶ、山田順子、下山修司、尾崎拓、上野伸哉、中村和彦. 某市5歳児発達健診における発達性強調運動障害の疫学. 第42回日本脳科学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 119 | 岩田圭子、松崎秀夫、立花太郎、中村和彦、片山泰一、森則夫. 新規SERT制御因子としてのNSF～自閉症発症メカニズムへの関与～. 第42回日本脳科学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 120 | 竹林淳和、中村和彦、尾内康臣、横倉正倫、岩田泰秀、森則夫. 成人期ADHDの脳内における活性化ミクログリア. 第42回日本脳科学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 121 | 石岡雅道、古郡規雄. 向精神薬の副作用を考える　深部静脈血栓症について. 第36回日本臨床薬理学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 122 | 古郡規雄、越智紳一郎、田尻美寿々、井上義政、鈴木雄太郎、土嶺章子. エスシタロプラムの定常状態血中濃度とCYP2C19多型との関係. 第36回日本臨床薬理学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 123 | 古田芳彦, 秦　淳, 二宮利治, 永田雅治, 向井直子, 池田文恵, 福原正代, 吾郷哲朗, 北園孝成, 清原　裕: 地域住民における一過性脳虚血発作（TIA）の発症率：久山町研究. 第40回日本脳卒中学会総会, 広島市, 2015.3.27 | | | | | 九州大学 | | H27 |
| 124 | 吉田大悟, 二宮利治, 小原知之, 岸本裕歩, 秦　淳, 福原正代, 永田雅治, 北園孝成, 清原　裕：地域高齢者における乳・乳製品摂取が生活機能障害と日常生活動作障害の発生に及ぼす影響：久山町研究. 第57回日本老年医学会学術集会, 横浜市, 2015.6.14 | | | | | 九州大学 | | H27 |
| 125 | 岸本裕歩, 秦　淳, 吉田大悟, 池田文恵, 向井直子, 永田雅治, 小原知之, 二宮利治, 北園孝成, 清原　裕: 握力の経年変化が総死亡および死因別死亡に与える影響：久山町研究. 第51回日本循環器病予防学会学術集会, 大阪市, 2015.6.26 | | | | | 九州大学 | | H27 |
| 126 | 大石絵美, 小原知之, 福原正代, 坂田智子, 秦　淳, 大坪俊夫, 松村　潔, 北園孝成, 清原　裕, 二宮利治: 家庭血圧の日間変動と認知症発症との関連：久山町研究. 第38回日本高血圧学会総会, 松山市, 2015.10.10 | | | | | 九州大学 | | H27 |
| 127 | 坂田智子, 福原正代, 大坪俊夫, 松村　潔, 北園孝成, 清原　裕, 二宮利治：一般住民における臥位高血圧と心血管病発症の関連：久山町研究. 第38回日本高血圧学会総会, 松山市, 2015.10.10 | | | | | 九州大学 | | H27 |
| 128 | 成本迅 | 支援付き意思決定が必要とされる場面について | 第111回日本精神神経学会.シンポジウム：精神障害者における支援付き意思決定 | 大阪 | 2015/6/4 | 京都府立医科大学 | | H27 |
| 129 | 成本迅 | 認知症高齢者の医療同意と治験同意に関わる課題 | 第30回日本老年精神医学会.シンポジウム | 横浜 | 2015/6/14 | 京都府立医科大学 | | H27 |
| 130 | Narumoto J | Decision-making support for caregiver | 9th Asian Society Against Dementia | Kumamoto, Japan | 2015/9/15 | 京都府立医科大学 | | H27 |
| 131 | E. Mogi and T. Ohtsuki | Heartbeat Detection with Doppler Sensor Using Adaptive Scale Factor Selection on Learning | IEEE International Symposium on Personal Indoor and Mobile Radio Communications (PIMRC2015) | Hong Kong, China | 2015/8,9/ | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 132 | 茂木瑛梨子, 大槻知明 | 心拍数の変化を考慮したスケールファクタ選択によるドップラーセンサを用いた心拍検出 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | JA長野県ビル | 2015/7/31 | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 133 | 小林一樹, 大槻知明 | 加速度センサで取得した歯磨き情報に基づく個人識別 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | JA長野県ビル | 2015/7/31 | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 134 | 茂木瑛梨子, 大槻知明 | 心拍数の変化を考慮したスケールファクタ選択によるドップラーセンサを用いた心拍検出 | 2015年電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-18-29 | 東北大 | 2015/9/10 | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 135 | 大槻知明 | 位置推定技術の研究動向 | MWE2015 Microwave Workshops | パシフィコ横浜 | 2015/11/ | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 136 | 岸本泰士郎, 吉村道孝, 北沢桃子, 榊原康文, 江口洋子, 藤田卓仙, 三村將 | 表情・音声・日常生活活動の定量化から精神症状の客観的評価をリアルタイムで届けるデバイスの開発 | 第1回日本医療情報学会　医用知能情報学研究会　人工知能学会　医用人工知能研究会合同研究会 | 不明 | 2015// | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 137 | Masaru Mimura | (Symposium 12) Developing a system for evaluation of driving capacity in Japan. (In)(Chairperson: Masaru Mimura, Ming-Chyi Pai) | Neurological Care During Disasters. The 9th International Congress of the Asian Society Against Dementia (ASAD) | Kumamoto, Japan | 2015/9/16 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 138 | 三村 將 | 認知症とその周辺疾患の鑑別ポイント. | 第29回日本医学会総会2015関西（シンポジウム 柱7. サイエンスからみた心の問題・心の発達 企画3 認知症の最新情報とその対策） | 京都 | 201/4/12 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 139 | 三村 將 | 認知症における犯罪と責任能力 | 第34回日本認知症学会学術集会（シンポジウム: 認知症を取り巻く諸問題における患者の尊厳を考える） | 青森 | 2015/10/2-4 | 慶應義塾大学 | Dementia Japan, 29(3): 294 | H27 |
| 140 | Kishimoto T | Obsessive compulsive disorder:a disabling and its treatment | 第38回日本神経科学大会 | 神戸コンベンションセンター | 2015/7/28-31 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 141 | 岸本泰士郎 | 医療BigData時代における新しい精神科診療・研究の取り組み | 第二回精神科臨床研究会 | 京王プラザホテル | 2015/6/18 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 142 | 岸本泰士郎 | 遠隔技術を用いた精神科医療・福祉の現実と未来 | 京都府立医科大学・慶応技術大学・志學館大学合同シンポジウム | マナーハウス重富壮グランドボールルーム | 2015/7/24 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 143 | 岸本泰士郎 | 「ICTを用いた精神科領域における新しいアプローチ | Health 2.0 Asia-Japan | 虎ノ門ヒルズ, 東京 | 015/11/4 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 144 | 岸本泰士郎 | インターネット回線を用いた暴露反応妨害法の検証 | 第22回ヘルスリサーチフォーラム及び平成２７年度研究助成金贈呈式 | 千代田放送会館 | 2015/11/28 | 慶應義塾大学 | | H27 |
| 145 | 飯干紀代子 | 経済活動における支援付き意思決定 | 第111回日本精神神経学会.シンポジウム | 大阪 | 2015/6/4 | 志學館大学 | | H27 |
| 146 | 飯干紀代子 | 認知症ー福祉領域における言語聴覚士の専門性 | 第16回言語聴覚学会.特別シンポジウム | 仙台 | 2015/6/26 | 志學館大学 | | H27 |
| 147 | Asada T, Yoshitomi Y, Kato R, Tabuse M, and Narumoto J | A system for facial expression analysis of a person while using video phone | International Conference on Artificial Life and Robotics | 宜野湾市 | 2016/1/31 | 京都府立大学, 京都府立医科大学 | | H27 |
| 148 | 浅田太郎、吉冨康成、加藤亮太、田伏正佳、成本迅 | 口領域抽出変動にロバストなテレビ電話中の表情分析 | ヒューマンインタフェースシンポジウム2015 | 公立はこだて未来大学 | 2015/9/2 | 京都府立大学, 京都府立医科大学 | | H27 |
| 149 | 青木 裕見, 渡邊 衡一郎, 古野 毅彦, 小林靖, 千葉 裕美, 垣田 康秀 | 大人になって事例化した注意欠如・多動症への初めの対応—Shared Decision Makingの導入 | 第111回精神神経学会学術総会 | 大阪 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 150 | 神田優太, 坪井貴嗣, 松本由美, 野崎和博, 千野貴子, 菊地俊暁, 田中伸一郎, 渡邊衡一郎 | 好酸球増多症によりクロザピンの投与を中止した症例に対する再投与の報告 | 第104回東京精神医学会 | 東京 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 151 | 菊地俊暁 | 感情制御の神経メカニズムを探る：脳画像研究からのアプローチ | 日本心理学会第79回大会.シンポジウム（話題提供者） | 名古屋 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 152 | 菊地俊暁 | 精神科領域における副作用モニタリング・システムについて | 第45回日本神経精神薬理学会, 第37回日本生物学的精神医学会.シンポジウム | 東京 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 153 | 菊地俊暁 | うつ病の認知行動療法トラブルシューティング：治療がうまくいかない時に | 第12回日本うつ病学会総会, 第15回日本認知療法学会.MD/CT合同ワークショップ13： | 東京 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 154 | 菊地俊暁 | うつ病とこころの健康環境：うつはなぜ「治る」のか～症例の概念化と一般システム理論～ | 第12回日本うつ病学会総会，第15回日本認知療法学会MD/CT合同会長講演 | 東京 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 155 | 菊地俊暁，田中伸一郎，澤田久美子，小林万葉，森千夏，早坂友成，蜂須浩嗣，今村弥生，渡邊衡一郎 | 難治性うつの実態調査：診断や症状、性格傾向の特徴 | 第35回日本精神科診断学会 | 北海道 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 156 | 田中伸一郎、菊地俊暁、澤田久美子、小林万葉、三浦佑和、森千夏、早坂友成、蜂須浩嗣、今村弥生、渡邊衡一郎 | 難治性うつ（TRD）の実態調査（2）—方法論とその限界について | 第35回日本精神科診断学会 | 札幌 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 157 | 渡邊衡一郎 | 抗うつ薬の妊娠や授乳に与える影響 | 日本臨床精神神経薬理学会主催　第1回臨床精神薬理教育セミナー | 東京 | 2015 | 杏林大学 | | H27 |
| 158 | 渡邊衡一郎 | 当事者との共同意思決定法Shared Decision Making（SDM）の実現可能性. | 第111回日本精神神経学会学術総会.精神障害者における支援付き意思決定シンポジウム | 大阪 | 2015/6/4 | 杏林大学 | | H27 |
| 159 | 渡邊衡一郎 | 抗うつ薬の適切な使用法をもう一度考えてみる「抗うつ薬を処方する際に考えるべきこと、説明するべきこと」 | 第111回日本精神神経学会学術総会.臨床精神神経薬理学会共催シンポジウム | 大阪 | 2015/6/5 | 杏林大学 | | H27 |
| 160 | 渡邊衡一郎 | 精神科薬物療法グッドプラクティス：多剤併用を避けるために「抗うつ薬・抗不安薬における多剤併用の問題点及びその整理の仕方」 | 第111回日本精神神経学会学術総会.委員会シンポジウム17（精神科薬物療法研修特別委員会） | 大阪 | 2015/6/6 | 杏林大学 | | H27 |
| 161 | 渡邊衡一郎 | レジリアンスの観点に立つうつ病治療「レジリアンスの観点から見たうつ病の薬物療法」 | 第12回日本うつ病学会総会・第15回日本認知療法学会 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 162 | 渡邊衡一郎 | 向精神薬のpersonalized medicine「Personalized Medicine —患者一人一人で好みは異なるという観点から—」 | 第45回日本神経精神薬理学会・第37回日本生物学的精神医学会.シンポジウム17 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 163 | 渡邊衡一郎 | 精神科薬物治療をめぐる精神科医と薬剤師のコミュニケーションギャップ「精神科医から見た薬剤師とのコミュニケーション」 | 第25回臨床精神神経薬理学会.シンポジウム9 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 164 | 渡邊衡一郎 | 「新しい当事者との治療方針決定法Shared Decision Making（SDM）の精神科領域における実現可能性」 | 第19回日本精神保健・予防学会学術集会. モーニングセミナー1 | 仙台 | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 165 | 樋口 夕希子，泓田 正雄，成本 迅，小川 真由，森田 和宏，青江 順一 | 家族看護者の心的状態のフィードバック | 人工知能学会第29回全国大会 | 北海道 | 2015/5/31 | 徳島大学 | | H27 |
| 166 | 高橋一平，沢田かほり，駒目瞳，平川裕一，村下公一，中路重之．産業保健における健康づくり実践とその問題点 青森県における職域における健康教育とその実践　第89回産業衛生学会シンポジウム5　福島市音楽堂　2016.5.25 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 167 | 中路重之　産業保健とヘルスプロモーション　地域、職域、みんなで健康づくり 短命県返上と連携した青森県での取り組み　第89回産業衛生学会産業看護部会フォーラム　福島市音楽堂　2016.5.27 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 168 | 乾明成，高橋一平，倉内静香，沢田かほり，徳田糸代，相馬優樹，田村好拡，小山俊朗，長内俊之，佐竹杏奈，野口貴雄，和田啓二，村下公一，中路重之，小林恒．青森県弘前市の地域住民における歯周疾患と口腔機能の加齢変化に関する実態調査　第65回東北公衆衛生学会　山形テルサ　2016.7.29 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 169 | 相馬優樹，高橋一平，村下公一，駒目瞳，倉内静香，徳田糸代，中路重之　職域における食事改善および食生活指導が健康に及ぼす影響　平成28年度日本産業衛生学会東北地方会学会　山形市中央公民館2016.7.30 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 170 | 徳田糸代，高橋一平，沢田かほり，駒目瞳，村下公一，倉内静香，相馬優樹，中路重之　青森県のタクシー会社における健康づくり実践　平成28年度日本産業衛生学会東北地方会学会　山形市中央公民館2016.7.30 | | | | | 弘前大学 | | H28 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 171 | 倉内静香, 高橋一平, 沢田かほり, 駒目瞳, 相馬優樹, 徳田糸代, 村下公一, 中路重之　健やか力推進センターによる地方銀行における健康づくり実践　平成28年度日本産業衛生学会東北地方会学会　山形市中央公民館2016.7.30 | 弘前大学 | | H28 |
| 172 | 相馬優樹, 高橋一平, 大圃研, 平川美和子, 木村緑, 廣瀬かほる, 奥村俊樹, 本田勝義, 中路重之. 企業における食育プログラムの健康に及ぼす影響.第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 173 | 小室輝明, 高橋一平, 生嶌健也, 金子美由紀, 樗木武治, 笠井里津子, 黒岩純, 山本博, 中路重之.男子サッカー選手における血清オプソニン化活性による好中球機能評価の可能性. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 174 | 高橋一平, 沢田かほり, 福井真司, 石橋剛士, 小川武志, 植村望, 神田翔太, 高橋佳子, 清水宏保, 金野潤, 戸塚学, 中路重之. 女子柔道選手における稽古が好中球 3 機能に及ぼす影響. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 175 | 佐竹杏奈, 乾明成, 小山俊朗, 田村好拡, 長内俊之, 野口貴雄, 石崎博, 倉内静香, 徳田糸代, 相馬優樹, 村下公一, 高橋一平, 中路重之, 小林恒. 地域在住高齢者の口腔機能検査ー特に舌圧とオーラルディアドゴキネシスに関してー. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 176 | 乾明成, 高橋一平, 田村好拡, 小山俊朗, 長内俊之, 佐竹杏奈, 野口貴雄, 石崎博, 倉内静香, 沢田かほり, 徳田糸代, 相馬優樹, 村下公一, 中路重之, 小林恒. 地域住民における嚥下障害の検討ー口腔, 肺機能, 生活習慣, 既往歴を考慮してー. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 177 | 小山俊朗, 高橋一平, 乾明成, 田村好拡, 長内俊之, 佐竹杏奈, 野口貴雄, 石崎博, 徳田糸代, 相馬優樹, 村下公一, 中路重之, 小林恒. 口腔環境が健康関連 QOL に及ぼす影響について. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 178 | 田村好拡, 小林恒, 乾明成, 小山俊朗 , 長内俊之, 佐竹杏奈, 石崎博, 野口貴雄 , 倉内静香, 徳田糸代, 相馬優樹, 村下公一, 高橋一平, 中路重之. Red Complex の割合が糖尿病に与える影響. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 179 | 後藤真一, 佐々木亮, 西村美八, 高橋和幸, 浜野学, 徳安秀正, 戸塚学, 高橋一平, 中路重之, 松原篤. 一般住民における認知機能と転倒リスク関連体力の関係ー岩木健康増進プロジェクトにおける検討ー. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 180 | 倉内静香, 高橋一平, 駒目ひとみ, 森隆志, 大沼由香, 糟谷昌志, 古川照美, 谷川京子, 柴田信行, 中路重之　健やか力推進センターによる職域の健康づくり支援. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 181 | 徳田糸代, 高橋一平, 棟方理, 飯塚浩史, 小野真美, 関根陽平, 秋元直樹, 中路重之　運輸業における健康経営実践に対する支援. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 182 | 武田温, 太田聖也, 岩間孝暢, 横山順一, 三輪孝士, 甲斐知彦, 和田簡一郎, 石橋恭之, 高橋一平, 中路重之　腰椎変性側弯症における冠状面アラインメントと症状の関連. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 183 | 太田聖也, 武田温, 千葉大輔, 石橋恭之, 高橋一平, 上谷英史, 平川裕一, 澄川幸志, 中路重之　橈骨骨密度と身体組成値および体力測定値との関連. 第26回体力・栄養・免疫学会大会　長崎　2016.8.26 | 弘前大学 | | H28 |
| 184 | 中路重之　生活習慣病と認知症の一次予防　青森県での取り組み.（シンポジウム5未病と認知症の一次予防）　第23回日本未病システム学会学術総会. 九州大学医学部百年講堂　2016.11.6 | 弘前大学 | | H28 |
| 185 | 太田聖也, 千葉大輔, 佐々木英嗣, 武田温, 高橋一平, 中路重之, 津田英一, 石橋恭之　変形性膝関節症における下肢筋量と前腕骨密度の関連　第44回日本関節病学会（一般演題口演　学術集会奨励賞候補演題）.別府国際コンベンションセンター　2016.11.11 | 弘前大学 | | H28 |
| 186 | 伊東健　酸化ストレス鍵転写因子Nrf2の生理的役割・進化論的意義と疾患予防　第69回日本酸化ストレス学会学術集会　仙台　2016年8月30日-31日. | 弘前大学 | | H28 |
| 187 | 伊東健　Nrf2とeIF2α-ATF4ストレス応答経路のクロストークによるレドックス応答機構　第58回歯科基礎医学会学術大会　札幌 2016年8月24日. | 弘前大学 | | H28 |
| 188 | Ken Itoh　Elucidation of Nrf2-centered transcriptional network toward the development of novel neuroprotective strategy 第9回国際NO学会　仙台 2016年5月20-22日. | 弘前大学 | | H28 |
| 189 | 伊東健　Nrf2を中心とした転写因子ネットワークの活性化を利用した食品機能性成分による脳神経変性疾患予防戦略、第7回岐阜薬科大学機能性健康食品（蜂産品）研究講演会、岐阜、201612月3日. | 弘前大学 | | H28 |
| 190 | 伊東健　Nrf2を中心とした転写因子ネットワークによる疾患制御　第37回日本循環制御医学会総会 東京　2016年7月20-22日. | 弘前大学 | | H28 |
| 191 | 珍田大輔, 下山克, 松坂方士, 中路重之, 福田眞作　Helicobacter pylori感染における骨密度低下に及ぼす影響　第102回日本消化器病学会学術総会　京王プラザホテル　2016.4.21 | 弘前大学 | | H28 |
| 192 | 村上宏, 大高英之, 高橋和久, 神庭文, 木村裕輝, 松村功貴, 村上洋, 山下真紀, 松木恒太, 松橋有紀, 柳町幸, 高橋一平, 中路重之, 大門眞　2型糖尿病患者における潜在性甲状腺機能低下症の頻度と糖尿病合併症との関連について　第59回日本糖尿病学会年次学術集会　国立京都国際会館　2016.5.20 | 弘前大学 | | H28 |
| 193 | 神庭文, 大門眞, 村上宏, 高橋和久, 大高英之, 木村裕輝, 村上洋, 松木恒太, 松橋有紀, 柳町幸, 二川原健, 沢田かおり, 高橋一平, 中路重之. 生理的レベルのコルチゾール増加は、インスリン抵抗性ではなくインスリン分泌低下と関連している　第59回日本糖尿病学会年次学術集会　国立京都国際会館　2016.5.20 | 弘前大学 | | H28 |
| 194 | 大門真, 神庭文, 村上宏, 高橋和久, 大高英之, 木村裕輝, 村上洋, 松木恒太, 松橋有紀, 柳町幸, 二川原健, 沢田かおり, 高橋一平, 中路重之. 生理的レベルでの血清プロラクチン値と耐糖能との関連　第59回日本糖尿病学会年次学術集会　国立京都国際会館　2016.5.20 | 弘前大学 | | H28 |
| 195 | 島田拓、木村俊郎、早狩亮、松宮朋穂、吉田秀見、今泉忠淳、袴田健一　ウイルス感染と胆道閉鎖症 - CCL5 の意義 -<br>第154回 弘前医学会例会　2017 （平成29年）1月27日（金） 弘前大学医学部コミュニケーションセンター | 弘前大学 | | H28 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 196 | 恩田　郁、吉田秀見、松宮朋穂、早狩　亮、今泉忠淳　鉄キレーター desferrioxamine は培養アストロサイト細胞株における CXCL8 発現を誘導する　第100 回弘前医学会総会　2016（平成28年）6月19日　ホテルナクアシティ弘前 | 弘前大学 | | H28 |
| 197 | 丹治邦和、三木康生、猪瀬（丸山）敦史、三村純正、松宮朋穂、森文秋、今泉忠淳、伊東健、若林孝一　オートファジー活性化を生かしたレビー小体病治療への応用　第82回日本生化学会東北支部例会　2016（平成28年）5月22日　弘前大学医学部 | 弘前大学 | | H28 |
| 198 | 小野幸輝, 佐々木綾子, 山田勝也「がん細胞が3次元的に集積する細胞塊「スフェロイド」のin vitroにおける自発形成」第20回酸素ダイナミクス研究会, 東京, Nov. 19, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 199 | 横山拓史, 佐々木綾子, 吉澤忠司, 木村憲央, 石戸圭之輔, 鬼島宏, 山田勝也, 袴田健一「蛍光L型グルコースを用いた胆管癌の生体内蛍光イメージング法」第24回日本消化器関連学会週間, 神戸, Nov. 3-6, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 200 | 長友克広, 小野幸輝, 萱場広之, 山田勝也「細胞状態の悪化を鋭敏に検出する蛍光L-グルコース誘導体2-TRLG；ヨウ化プロピジウム(PI)との比較」第48回東北生理談話会, 盛岡, Oct. 15, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 201 | 横山拓史, 佐々木綾子, 吉澤忠司, 木村憲央, 石戸圭之輔, 鬼島宏, 山田勝也, 袴田健一「胆管癌動物モデルを用いた生体内癌細胞蛍光イメージング法」第52回日本胆道学会学術集会, 横浜, Sep. 29-30, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 202 | Takeda, H., Suzuki, H., Murata, R., Takuwa, H., Kanno, I., Tomita, Y., Suzuki, N., Yamada, K., Masamoto, K. “In vivo Imaging and Quantification of Glucose Transfer Using 2-NBDG in the Mouse Cortex with Two-Photon Microscopy.” 第41回日本微小循環学会総会, 東京, Sep, 23-24, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 203 | 大塚祐治, 佐々木綾子, 豊島正, 山田勝也, 山本敏弘「GLUTを通過する青色蛍光グルコースCDGの合成と取り込みの評価」第35回日本糖質学会年会, 高知, Sep. 1-3, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 204 | 三木康生、丹治邦和、森　文秋、内海　潤、佐々木秀直、柿田明美、高橋　均、若林孝一. 多系統萎縮症におけるオートファジー上流分子の異常. 第57回日本神経病理学会. 弘前、2016年6月1-3日 | 弘前大学 | | H28 |
| 205 | 森　文秋、三木康生、丹治邦和、豊島靖子、吉田眞理、佐々木秀直、柿田明美、高橋　均、若林孝一. ポリグルタミン病および核内封入体病におけるパラスペックル関連蛋白の免疫組織化学的検討. 第57回日本神経病理学会. 弘前、2016年6月1-3日 | 弘前大学 | | H28 |
| 206 | 中村桂子、森文秋、今智矢、丹治邦和、三木康生、冨山誠彦、黒滝日出一、豊島靖子、柿田明美、高橋均、山田正仁、若林孝一. 多系統萎縮症の軟膜下および脳室周囲アストロサイトにおけるリン酸化αシヌクレインの蓄積. 弘前、2016年6月1-3日 | 弘前大学 | | H28 |
| 207 | 吉田和貴、古郡規雄、冨田哲、佐藤靖、斉藤まなぶ、中村和彦　リチウム服用中の器質性精神病患者が胆嚢摘出後に腎性尿崩症を呈した一例　第70回東北精神神経学会総会　2016.10.23　弘前市 | 弘前大学 | | H28 |
| 208 | 柞木田なつみ、佐藤靖、橋本浩二郎、古郡規雄、中村和彦、西嶌春生　難治性うつ病加療中に認知機能低下を認め、大脳皮質基底核変性症と診断された一例　第70回東北精神神経学会総会　2016.10.23　弘前市 | 弘前大学 | | H28 |
| 209 | 足立匡基、高柳伸哉、安田小響、吉田恵心、栗林理人、大里絢子、斉藤まなぶ、中村和彦　スクリーニングツールに基づく児童思春期におけるASD有病率の推計およびASD傾向と適応状態の関連　第５７回　日本児童青年精神医学会　2016.10.27-29　岡山市 | 弘前大学 | | H28 |
| 210 | 斉藤まなぶ、大里絢子、吉田恵心、高柳伸哉、足立匡基、安田小響、田中勝則、増田貴人、栗林理人、中村和彦　GazeFinder（Ka-o-TV）を用いた5歳児のASD特性の検討　第５７回　日本児童青年精神医学会　2016.10.27-29　岡山市 | 弘前大学 | | H28 |
| 211 | 大里絢子、斉藤まなぶ、坂本由唯、吉田恵心、高柳伸哉、足立匡基、安田小響、田中勝則、増田貴人、栗林理人、中村和彦　某市5歳児発達健診から見た運動機能と認知機能の関係　第５７回　日本児童青年精神医学会　2016.10.27-29　岡山市 | 弘前大学 | | H28 |
| 212 | Kazutaka Yoshida, Manabu Saito, Junko Yamada, Shinya Ueno, Kazuhiko Nakamura　Prevalence and Comorbidities of DCD Using DSM-5, Comparison of Mortor and Cognitive function at Preschool Age in a Japanese Community　2016　International Symposium on Neurodegenerative Diseases　&　the 43rd Annual Conference of Japan Brain Science Society　2016.11.10-12　Xi'an, China | 弘前大学 | | H28 |
| 213 | 古郡規雄　統合失調症と身体合併症（メタボリック症候群）―精神科医と当事者の認識の違い―　第5回日本精神科医学会（2016.11.16-17）仙台 | 弘前大学 | | H28 |
| 214 | 古郡規雄　血中濃度を用いたドパミンD2受容体占拠率予測値とリスペリドンによる治療効果との関係　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |
| 215 | 久保一利、土嶺章子、菅原典夫、橋本浩二郎、紙川幸子、中村和彦、古郡規雄　リスペリドン及びアリピプラゾールが血清プロラクチン及び血清テストステロンに与える影響　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |
| 216 | 冨田哲、古郡規雄、工藤周平、菅原典夫、藤井学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道、中村和彦　抗うつ薬服用患者のうつ病理解の実態と治療反応について；高齢者と若年者の比較　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |
| 217 | 冨田哲、古郡規雄、工藤周平、菅原典夫、藤井学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道、中村和彦　抗うつ薬を服用する患者への心理教育はいつ行うべきか　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |
| 218 | 冨田哲、古郡規雄、中村和彦　精神科治療の自己中断に影響する諸因子の検討　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |
| 219 | 冨田哲　古郡規雄　老年期うつ病に対する抗うつ薬治療：心理教育から　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |
| 220 | 菅原典夫、古郡規雄、山崎學、下田和孝、寒河江豊昭、森隆夫、須貝拓朗、松田ひろし、鈴木雄太郎、尾関祐二、岡本呉賦、染谷俊幸　統合失調症患者のメタボリック症候群予防に関する研究～栄養指導介入の結果～　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | 弘前大学 | | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 221 | 佐藤靖　地方で総合病院精神科医としての研修・臨床をしてきて思うこと　第29回日本総合病院精神医学会学術総会（2016.11.25-26）東京 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 222 | 古郡規雄　自閉性障害に対する薬剤選択と投与量について―エビデンスから見えること―　第37回日本臨床薬理学会学術総会（2016.12.1-3）米子 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 223 | 斉藤まなぶ、大里絢子、坂本由唯、吉田和貴、柞木田なつみ、松原侑里、吉田恵心、足立匡基、高橋芳雄、安田小響、栗林理人、中村和彦　視線検出装置（Gazefinder)を用いたASD早期診断の有用性の検討　第154回弘前医学会例会　2017.1.27　弘前市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 224 | 古川智範、二階堂義和、下山修司、三木康生、古賀浩平、中村和彦、若林孝一、上野伸哉　ジアゼパム長期投与マウスにおける脳内Lcn2発現および認知機能の解析　第154回弘前医学会例会　2017.1.27　弘前市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 225 | Hirose S, Ono HK, Omoe K, Hu DL, Asano K, Yamamoto Y, Nakane A. SEA translocates into intestinal tissue via goblet cells in house musk shrew (*Suncs murinus*). 17TH International Sytmposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections Nine Tree Convension Gwanghwamun, Seoul, Aug 30-Sep 2, 2016 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 226 | 成本 迅 | 成年後見用診断書の問題点 | 第35回日本認知症学会シンポジウム　後見人制度の現状と課題 | 東京 | 2016/12/3 | 京都府立医科大学 | | H28 |
| 227 | 加藤佑佳 | 神経心理学的観点から高齢者取引を分析する | 日本司法書士会連合会主催高齢者の消費者被害に関するシンポジウム | 京都 | 2017/3/4 | 京都府立医科大学 | | H28 |
| 228 | 岸本 泰士郎, 江口 洋子, 飯干 紀代子, 北沢 桃子, 船木桂, 成本 迅, 三村 將 | 高齢者に対するビデオ会議システムを用いた改訂長谷川式簡易知能評価スケールの信頼性試験 | 第20回 日本遠隔医療学会 | 鳥取 | 2016/10/15-16 | 慶應義塾大学医学部,志學館大学, 京都府立医科大学 | | H28 |
| 229 | 江口洋子, 米田英嗣, 加藤佑佳, 成本迅, 三村將 | 善悪判断課題における加齢の影響　高齢者と若年者の人物の意図と特性による判断に関する比較研究 | 第31回日本老年精神医学会 | 金沢 | 2016/6/24 | 慶應義塾大学医学部, 京都府立医科大学 | | H28 |
| 230 | 新村秀人, 江口洋子, 田里久美子, 船木桂, 高山緑, 三村將 | 地域在住高齢者における知恵　性格傾向・コミュニティ感覚との関連について | 第31回日本老年精神医学会 | 金沢 | 2016/6/24 | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 231 | 喜田恒, 新村秀人, 江口洋子, 西村和華, 田里久美子, 船木桂, 高山緑, 三村將 | 地域生活する95歳以上超高齢者の幸福感とその源泉：Arakawa 95+ Study | 第36回日本社会精神医学会 | 東京 | 2017/3/3-4 | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 232 | 鴨居啓人, 大槻知明, 豊田健太郎 | 腕時計型PPGセンサによる手の動作情報を用いた生体認証 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | 名古屋工業大学 | 2016/7/22 | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 233 | H. Kamoi and T. Ohtsuki | Biometric Authentication using Hand Movement Information from Wrist-worn PPG Sensors | IEEE International Symposium on Personal Indoor and Mobile Radio Communications (PIMRC2016) | Valencia, Spain | 2016/9/ | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 234 | E. Mogi and T. Ohtsuki | Heartbeat Detection with Doppler Radar Based on Estimation of Average R-R Interval Using Viterbi Algorithm | IEEE International Symposium on Personal Indoor and Mobile Radio Communications (PIMRC2016) | Valencia, Spain | 2016/9/ | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 235 | C. Tamba, H. Hayashi, and T. Ohtsuki | "Improvement of Blink Detection Using a Doppler Sensor Based on CFAR Processing | IEEE Global Communications Conference (GLOBECOM2016) | Washington D.C., USA | 2016/12/ | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 236 | 縣侑吾, 大槻知明, 豊田健太郎 | ドップラー解析に基づくアレイアンテナを用いた転倒検知 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | 別府 花菱ホテル | 2017/1/19 | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 237 | 茂木瑛梨子, 大槻知明 | スペクトログラムを用いたドップラーレーダによる心拍検出 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | 別府 花菱ホテル | 2017/1/19 | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 238 | 小林一樹, 大槻知明, 豊田健太郎 | ユーザおよびセンサ間の位置関係を考慮した低解像度赤外線アレイセンサによる行動識別 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | 東京大学 | 2017/3/9 | 慶應義塾大学理工学部 | | H28 |
| 239 | 渡邊　衡一郎 | .当事者との双方向性の治療方針決定法 Shared Decision Making (SDM) の概念と実現可能性 | ,第19回心理教育・家族教室ネットワーク研究集会 | 東京 | 2016/3/20 | 杏林大学 | | H28 |
| 240 | 渡邊　衡一郎 | 新しい当事者との双方向性の治療方針決定法 Shared Decision Making (SDM)の精神科領域における実現可能性 | 第11回日本統合失調症学会 | 群馬 | 2016/3/25 | 杏林大学 | | H28 |
| 241 | 菊地　俊暁 | 認知行動療法によるうつ病患者のメタ認知の変化について：fMRI study | 日本生物学的精神医学会 | 福岡 | 2016/3/ | 杏林大学 | | H28 |
| 242 | 渡邊　衡一郎 | 双極性障害：Ⅰ型とⅡ型における治療の最適化 | 第112回日本精神神経学会学術総会 | 東京 | 2016/6/2 | 杏林大学 | | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 243 | 渡邊　衡一郎 | 『うつ』がなかなか治らない時に、我々は何を考え、どう対処すべきなのか | 日本精神神経科診療所協会平成28年度定時総会第22回 | 大阪 | 2016/6/11 | 杏林大学 | | H28 |
| 244 | 渡邊　衡一郎 | 我が国の気分障害圏における抗精神薬処方状況の現状と課題：日本精神神経科診療所協会と日本臨床精神神経薬理学会との共同研究の結果から | 日本精神神経科診療所協会平成28年度定時総会第22回 | 大阪 | 2016/6/12 | 杏林大学 | | H28 |
| 245 | 菊地　俊暁 | 映像で学ぶ初回面接―家族相談編,2016年6月 | 第112回日本精神神経学会学術総会 | 千葉 | 2016/6/ | 杏林大学 | | H28 |
| 246 | 菊地 俊暁 | 医学近縁領域における精神医療の貢献　認知行動療法の新たな発展2016年6月 | 第112回日本精神神経学会 | 千葉 | 2016/6/ | 杏林大学 | | H28 |
| 247 | 菊地 俊暁 | 映像で学ぶ初回面接-家族相談編- | 第112回日本精神神経学会 | 千葉 | 2016/6/ | 杏林大学 | | H28 |
| 248 | 菊地 俊暁 | 精神科入院患者における薬剤性有害事象および薬剤関連エラーの臨床疫学研究 | 第112回日本精神神経学会 | 千葉 | 2016/6/ | 杏林大学 | | H28 |
| 249 | 渡邊　衡一郎 | 統合失調症のリカバリーを考える<br>「リカバリーのために薬物療法のあるべき姿―Shared Decision Making―」 | 第46回日本神経精神薬理学会年会 | ソウル | 2016/7/2 | 杏林大学 | | H28 |
| 250 | 菊地 俊暁 | 症例報告セッション, 第46回日本神経精神薬理学会, ソウル, 2016年7月 | 第46回日本神経精神薬理学会年会 | ソウル | 2016/7/ | 杏林大学 | | H28 |
| 251 | 渡邊　衡一郎 | ベンゾジアゼピン受容体作動薬（抗不安薬、睡眠薬）の功罪について考える | 第16回日本外来精神医療学会 | 横浜 | 2016/7/9 | 杏林大学 | | H28 |
| 252 | 渡邊　衡一郎 | 不安症と不眠症に対する薬物療法のあるべき姿－ベンゾジアゼピン受容体作動薬の適正使用 | 慶應義塾大学薬学部公開講座 | 東京 | 2016/7/10 | 杏林大学 | | H28 |
| 253 | 渡邊　衡一郎 | うつ病と双極性障害における薬物療法と看護のポイント「気分障害の治療における薬物療法の流れ」「最近注目される副作用（催奇形性を含む）」―チェックポイントと対処法―「アドヒアランス向上のための取り組み」―Shared Decision Makingの手法を取り入れて― | 日本社会精神医学会主催　看護師とコメディカルスタッフのための社会精神医学セミナー | 東京 | 2016/7/16 | 杏林大学 | | H28 |
| 254 | 渡邊　衡一郎 | うつ病治療における「当事者に対するレジリエンスを意識したアプローチ」の提案 | ,第13回日本うつ病学会総会 | 名古屋 | 2016/8/5 | 杏林大学 | | H28 |
| 255 | 渡邊　衡一郎 | うつ病・双極性障害における「真のリカバリー」を考える―当事者の満足行くゴールを目指して― | 第13回日本うつ病学会総会 | 名古屋 | 2016/8/5 | 杏林大学 | | H28 |
| 256 | 渡邊　衡一郎 | うつ病性障害ガイドラインの課題と今後の方向性 | 第13回日本うつ病学会総会 | 名古屋 | 2016/8/5 | 杏林大学 | | H28 |
| 257 | 菊地 俊暁 | 精神保健医療福祉の「見える化」：現在と未来201 | リカバリー全国フォーラム2016 | 東京 | 2016/8/ | 杏林大学 | | H28 |
| 258 | 菊地 俊暁 | 双極性障害のアドヒアランスとその改善方法について | 第13回日本うつ病学会総会 | 愛知 | 2016/8/ | 杏林大学 | | H28 |
| 259 | 早坂　友成, 長島　泉，坪井　貴嗣, 菊地　俊暁, 渡邊　衡一郎 | 難治性うつ状態における回避性パーソナリティ障害と作業特徴の関係 | 第50回日本作業療法学会 | 札幌 | 2016/9/9 | 杏林大学 | | H28 |
| 260 | 渡邊　衡一郎 | ランチョンセミナー「統合失調症のリカバリー」 | 第30回東京精神科病院協会学会 | 東京 | 2016/10/25 | 杏林大学 | | H28 |
| 261 | 渡邊　衡一郎 | 治療における「当事者に対するレジリエンスを意識したアプローチ」の提案―うつ病を例にとって― | 第32回日本ストレス学会学術総会 | 東京 | 2016/10/29 | 杏林大学 | | H28 |
| 262 | 渡邊　衡一郎 | 初発統合失調症のリカバリー支援 | 第20回日本精神保健・予防学会学術集会 | 東京 | 2016/11/12 | 杏林大学 | | H28 |
| 263 | 渡邊　衡一郎 | 「精神疾患の治療ゴール、薬物療法でいかにして達成、そして治療を終結するか」<br>「うつ病治療のゴールはどこにあるのか？そして治療はいつまで続けるべきなのか？」 | 第26回日本臨床精神神経薬理学会 | 大分 | 2016/11/16 | 杏林大学 | | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 264 | 渡邊　衡一郎 | 統合失調症の多剤併用について改めて考える―なぜ、そしてどうすればよいか― | 第26回日本臨床精神神経薬理学会 | 大分 | 2016/11/18 | 杏林大学 | | H28 |
| 265 | 渡邊　衡一郎 | うつがなかなか治らない時に我々は何を考え、どう対処すべきなのか | 第29回日本総合病院精神医学会学術総会 | 東京 | 2016/11/26 | 杏林大学 | | H28 |
| 266 | 荻野　聡之, 菊地　俊暁, 渡邊　衡一郎, 山口　芳裕 | 自殺を企図した急性薬物中毒患者における服薬内容の検討 | 第26回日本臨床精神神経薬理学会 | 大分 | 2016/11/18 | 杏林大学 | | H28 |
| 267 | 菊地 俊暁. | うつ病の認知行動療法トラブルシューティング：治療がうまくいかない時に | 第16回日本認知療法学会 | 大阪 | 2016/11/ | 杏林大学 | | H28 |
| 268 | 菊地 俊暁. | 認知行動療法の質を維持するために | 第16回日本認知療法学会 | 大阪 | 2016/11/ | 杏林大学 | | H28 |
| 269 | 菊地 俊暁. | 認知症患者に対する認知行動療法 | 第16回日本認知療法学会 | 大阪 | 2016/11/ | 杏林大学 | | H28 |
| 270 | 嶋田 亮一, 浅田 太郎, 吉冨 康成, 田伏 正佳, 成本 迅 | リアルタイム表情分析・表示システム | ヒューマンインタフェースシンポジウム2016 | 東京農工大学, 武蔵小金井, 東京 | 2016年9月9日 | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H28 |
| 271 | 浅田 太郎, 吉冨 康成, 田伏正佳, 成本 迅 | ビデオ映像中の人物への応答時を対象とした表情分析システ | ヒューマンインタフェースシンポジウム2016 | 東京農工大学, 武蔵小金井, 東京 | 2016年9月9日 | 京都府立大学、京都府立医科大学 | | H28 |
| 272 | 吉冨康成, 加藤亮太, 浅田太郎, 田伏正佳, 白川誠, 足立匡, 堀貴行 | 有向グラフを用いた見守りデータの可視化による意思決定支援 | 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会 | 山形大学, 山形 | 2016年9月16日 | 京都府立大学、アイトシステム | | H28 |
| 273 | T.Asada, Y.Yoshitomi, and M.Tabuse | A System for Analyzing Facial Expression and Verbal Response of a Person While Answering Interview Questions on Video | Int. Conf. on Artificial Life and Robotics | Seagaia Convention Center, Miyazaki | 2017/1/20 | 京都府立大学 | | H28 |
| 274 | R.Shimada, T.Asada, Y.Yoshitomi, and M.Tabuse | Real-Time System for Horizontal Asymmetry Analysis on Facial Expression and Its Visualization | Int. Conf. on Artificial Life and Robotics | Seagaia Convention Center, Miyazaki | 2017/1/20 | 京都府立大学 | | H28 |
| 275 | 飯干紀代子 | テレビ会議システムを用いて行う神経心理検査―高齢者における有用性と今後の展望― | 第112回日本精神神経学会 | 東京 | 2016/6/2 | 志學館大学, 慶応義塾大学, 京都府立医科大学 | | H28 |
| 276 | 飯干紀代子 | テレビ会議システムを用いた高齢者の財産管理能力評価：信頼性と使用満足度の分析 | 第31回日本老年精神医学会 | 金沢 | 2016/6/23-24 | 志學館大学, 慶応義塾大学, 京都府立医科大学 | | H28 |
| 277 | 飯干紀代子 | テレビ会議システムを用いて行う認知機能検査―高齢者における有用性と今後の展望― | 第20回日本遠隔医療学会 | 米子 | 2016/10/15 | 志學館大学, 慶応義塾大学, 京都府立医科大学 | | H28 |
| 278 | 飯干紀代子、江口洋子、岸本泰士郎、加藤佑佳、松岡照之、成本迅 | テレビ会議システムを用いて行う高齢者を対象とした神経心理検査の信頼性 | 第40回日本高次脳機能障害学会学術総会 | 松本 | 2016/11/11 | 志學館大学, 慶応義塾大学, 京都府立医科大学 | | H28 |
| 279 | 日下菜穂子, 石川眞理子, 下村 篤子, 土田 宣明, 武藤崇, 成本 迅 | 生きがい創造による高齢期の発達支援 | 日本発達心理学会第27回大会 | 札幌, 北海道 | 2016/4/30 | 同志社女子大学・京都府立医科大学 | | H28 |
| 280 | Kusaka N., Tuchida N. & Narumoto J | The intervention of Wonderful Aging: A program to find the meaning of life; Pathways to Wonderful Aging: Life designing to promote the positive development in old age | The 31st International Congress of Psychology | Yokohama, Kanagawa, Japan, | 2017/7/27 | 同志社女子大学・京都府立医科大学 | | H28 |
| 281 | 日下菜穂子 | 人生100年の希望を共創するコミュニティ形成 | 第4回福祉住環境サミット | 昭和女子大学, 東京 | 2016/5/19 | 同志社女子大学 | | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 282 | 日下菜穂子, 石川眞理子, 下村篤子, 成本迅, 土田宣明, 藤岡淳子 | つながりをつくる高齢者支援の 社会実践；高齢期の発達を支えるパラダイムシフトの挑戦 | 日本発達心理学会第28回大会 | 広島大学, 広島 | 2017/5/25 | 同志社女子大学・京都府立医科大学 | | H28 |
| 283 | 田中 修司, 泓田 正雄, 森田和宏 | 認知症患者の行動変化の解析 | 平成28年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集 | 徳島 | 2016/9/17 | 徳島大学 | | H28 |
| 284 | 小賀野晶一 | 認知症の人の意思決定支援 | 平成28年度市民後見人育成・活用実施事業「市民後見推進自治体研修会」(特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク) | 東京 | 2017/1/25 | 中央大学 | | H28 |
| 285 | 石田瞳 | 精神上の障害により責任無能力となった者の不法行為責任－2016年3月1日最高裁よる監督責任者を中心に | 関西医事法研究会 | キャンパスプラザ京都 | 2016/3/19 | 中央大学 | | H28 |
| 286 | Kurata K. | Timing of spike synchronization of in the ventral premotor cortex during prism adaptation. | Japan Neuroscience Society | 千葉市 | 2017/7/20 | 弘前大学 | | H29 |
| 287 | 平舘裕希、蔵田潔　他. | 閉経期雌ニホンザルの生殖器官におけるSTLV-1感染動態の解析. | 第4回日本HTLV-1学会学術集会 | | 2017/8/18-20. | 弘前大学 | | H29 |
| 288 | 今泉忠淳、吉田秀見、松宮朋穂. | U373MG アストロサイトにおけるToll-like receptor 3 シグナルとinterferon-induced protein 35 の発現. | 第83回日本生化学会東北支部例会. | 仙台市 | 2017/5/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 289 | Asano K, Nakane A. | Novel function of toxic shock syndrome toxin-1 contributes to autophagy and Staphylococcus aureus infection. | 第62回日本ブドウ球菌研究会. | 十和田市 | 2017/9/1-2 | 弘前大学 | | H29 |
| 290 | 成田浩司、胡東良、浅野クリスナ、中根明夫 | 無毒変異toxic shock syndrome toxin-1ワクチンによるTh17細胞依存性の黄色ブドウ球菌感染防御効果. | 第62回日本ブドウ球菌研究会 | 十和田市 | 5017/9/1-2 | 弘前大学 | | H29 |
| 291 | 廣瀬昌平、浅野クリスナ、中根明夫 | サケ鼻軟骨抽出プロテオグリカンは黄色ブドウ球菌感染創の治癒を促進する. | 第62回日本ブドウ球菌研究会 | 十和田市 | 5017/9/1-2 | 弘前大学 | | H29 |
| 292 | 山田勝也 | 「がんの悪性化に伴うグルコース輸送様式変化」. | 第12回トランスポーター研究会 | 仙台市 | 2017/7/8 | 弘前大学 | | H29 |
| 293 | Yamada K | Fluorescent L-glucose (fLG) as a Potential Contrast Agent for Cancer Detection. | International Drug Discovery Science and Technology Japan 2017 | 大阪市 | 2017/7/25 | 弘前大学 | | H29 |
| 294 | 長友克広、山本欣郎、小林和人、山田勝也 | 成体マウス急性単離アストロサイトにおける脳部位特異的ドーパミン受容体発現 | 第49回東北生理談話会 | 秋田市 | 2017/10/14 | 弘前大学 | | H29 |
| 295 | 大鹿周佐、佐々木綾子、小川哲也、柳澤道朗、石橋恭之、山田勝也 | 蛍光グルコースによる三次元培養ユーイング肉腫細胞の糖代謝イメージング | 第32回日本整形外科学会基礎学術集会 | 沖縄 | 2017/10/26 | 弘前大学 | | H29 |
| 296 | 大塚祐治、山田勝也、豊島正、山本敏弘、深瀬浩一 | N-アリール化されたグルコサミンの合成と応用 | 第4回FCCAシンポジウムグライコサイエンス若手フォーラム2017 | 東京 | 2017/10/28 | 弘前大学 | | H29 |
| 297 | 森文秋、三木康生、丹治邦和、豊島靖子、吉田眞理、佐々木秀直、柿田明美、高橋均、若林孝一 | ポリグルタミン病および核内封入体病におけるRNA分解酵素の免疫組織化学的検討 | .第58回日本神経病理学会 | 東京 | 2017/6/1 | 弘前大学 | | H29 |
| 298 | 三木康生、丹治邦和、森文秋、柿田明美、高橋均、若林孝一 | PLA2G6はPARK14と特発性パーキンソン病のレヴィ小体に蓄積する | 第58回日本神経病理学会 | 東京 | 2017/6/1 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 299 | 真里谷靖、中村歩美、井瀧千恵子、三浦富智、福士泰世、ハグドゥースト・シアマーク | トマトジュース飲用は末梢血リンパ球放射線誘発染色体損傷レベルに影響を与える | 本放射線腫瘍学会第30回学術大会 | 大阪 | 2017/11/17-19 | 弘前大学 | | H29 |
| 300 | Sugawara N, Sagae T, Yasui-Furukori N, Yamazaki M, Shimoda K, Mori T, Sugai T, Matsuda H, Suzuki Y, Ozaki Y, Okamoto K, Someya T | Can nutritional education improve obesity weight among patients with schizophrenia? | The 5th Congress of Asian College of NeuroPsychopharmacology (5th AsCNP). | Bali Indonesia | 2017/4/27-29 | 弘前大学 | | H29 |
| 301 | Sugai T, Suzuki Y, Yamazaki M, Shimoda K, Mori T, Ozaki Y, Matsuda H, Sugawara N, Yasui-Furukori N, Okamoto K, Sagae T, Someya T | Physical risks in Japanese patients with schizophrenia:From a nationwide survey. | The 5th Congress of Asian College of NeuroPsychopharmacology (5th AsCNP) | Bali Indonesia | 2017/4/27-29 | 弘前大学 | | H29 |
| 302 | Yasui-Furukori N, Sugawara N, Yamazaki M, Shimoda K, Mori T, Sugai T, Matsuda H, Suzuki Y, Minami Y, Ozaki Y, Okamoto K, Sagae T, Someya T. | Difference in recognition of metabolic adverse events between psychiatrists and patients with schizophrenia in Japan. | The 5th Congress of Asian College of NeuroPsychopharmacology (5th AsCNP) | Bali Indonesia | 2017/4/27-29 | 弘前大学 | | H29 |
| 303 | 大里絢子、斉藤まなぶ、服巻智子、坂本由唯、松原侑里、中村和彦 | 自閉症の長早期療育-Early Start Denver Model-の紹介 | 第19回東北児童青年精医学会 | 山形 | 2017/6/4 | 弘前大学 | | H29 |
| 304 | 足立匡基、高橋芳雄、安田小響、栗林理人、中村和彦 | 小中学生におけるインターネット依存傾向と内在化・外在化問題・発達的特性との関連. | 第19回東北児童青年精医学会 | 山形 | 2017/6/4 | 弘前大学 | | H29 |
| 305 | 高橋芳雄、足立匡基、安田小響、栗林理人、中村和彦. | 市内小中学生におけるインターネット依存傾向の実態とメンタルヘルスとの関連について | 第101回弘前医学会総会 | 弘前 | 2017/6/18 | 弘前大学 | | H29 |
| 306 | 古郡規雄 | 双極性障害の薬物療法の潮流：エビデンスとガイドライン | 公益社団法人日本精神神経科診療所協会 平成29年度定時総会 第23回（通算44回）学術研究会東京大会 | 東京 | 2017/6/17-18 | 弘前大学 | | H29 |
| 307 | 古郡規雄、佐藤靖、冨田哲、柞木田なつみ、吉田和貴、古郡華子、藤井学、橋本浩二郎、工藤周平、久保一利、石岡雅道、中村和彦 | 精神疾患患者の5因子モデルを用いたパーソナリティの特徴について | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 308 | 吉田和貴、古郡規雄、中神卓、佐藤靖、冨田哲、柞木田なつみ、藤井学、久保一利、工藤周平、橋本浩二郎、石岡雅道、古郡華子、中村和彦 | 統合失調症患の病因における当事者、家族、医療スタッフ間の認識の差 | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 309 | 松原侑里、斉藤まなぶ、坂本由唯、吉田恵心、大里絢子、足立匡基、高橋芳雄、安田小響、栗林理人、土屋賢治、中村和彦 | 注意欠如・多動性障害（ADHD)のEye Tracking Pattern | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 310 | 柞木田なつみ、古郡規雄、植松和家、菅原典夫、冨田哲、佐藤靖、中村和彦、齋藤久夫 | 人工血液透析患者におけるせん妄の影響：生存時間解析. 113回日本精神神経学会学術総会. 名古屋. 2017.6.22-24. | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 311 | 中村和彦 | 児童期のADHDと成人期のADHDの連続性について 成人期のADHDの脳画像研究について | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 312 | 古郡規雄、中村和彦 | 感情モニター表を用いた双極性障害の再発予防効果-5年間の観察研究- | 第14回日本うつ病学会総会第17回日本認知療法・認知行動療法学会 | 東京 | 2017/7/21-23 | 弘前大学 | | H29 |
| 313 | 吉田和貴、斉藤まなぶ、坂本由唯、大里絢子、三上美咲、足立匡基、安田小響、増田貴人、田中勝則、吉田恵心、栗林理人、中村和彦 | 発達性強調運動障害（DCD)の疫学及び認知特性 | .第58回日本児童青年精神医学会総会 | 奈良 | 2017/10/5-7 | 弘前大学 | | H29 |
| 314 | 斉藤まなぶ、坂本由唯、大里絢子、吉田恵心、足立匡基、安田小響、増田貴人、田中勝則、栗林理人、中村和彦 | 注意欠如・多動性障害（ADHD)のGaze Tracking Pattern | 第58回日本児童青年精神医学会総会 | 奈良 | 2017/10/5-7 | 弘前大学 | | H29 |
| 315 | 斉藤まなぶ、坂本由唯、大里絢子、吉田恵心、足立匡基、安田小響、増田貴人、田中勝則、栗林理人、中村和彦 | Gaze Tracking Patternを用いた5歳児の閾値以下のASD特性と性差の検討 | 第58回日本児童青年精神医学会総会 | 奈良 | 2017/10/5-7 | 弘前大学 | | H29 |
| 316 | 坂本由唯、斉藤まなぶ、大里絢子、吉田恵心、足立匡基、安田小響、増田貴人、田中勝則、栗林理人、中村和彦 | Gaze Tracking Patternと既存の評価尺度を用いた5歳児自閉症スペクトラム障害（ASD)のスクリーニング及び診断ツールの有用性. 第58回日本児童青年精神医学会総会 | 第58回日本児童青年精神医学会総会 | 奈良 | 2017/10/5-7 | 弘前大学 | | H29 |
| 317 | Ogata Y, Furukawa T, Nikaido Y, Shimoyama S, Nakamura K, Ueno S | The effect of chronic diazepam administration induced upregulation of Lcn2 expression on cognitive function | 第44回日本脳科学会 | 弘前 | 2017/10/14-15 | 弘前大学 | | H29 |
| 318 | Shimoyama S, Furukawa T, Ogata Y, Ueno S, Nakamura K | AP-1 complex induces mouse Tspo gene expression by lipopolysaccharide in microglial cell line, BV-2 | 第44回日本脳科学会 | 弘前 | 2017/10/14-15 | 弘前大学 | | H29 |
| 319 | 足立匡基、髙橋芳雄、栗林理人、斉藤まなぶ、中村和彦 | 小中学生におけるインターネット依存傾向と内在化・外在化問題・ASD/ADHD特性との関連 | 第44回日本脳科学会 | 弘前 | 2017/10/14-15 | 弘前大学 | | H29 |
| 320 | 髙橋芳雄、松井三枝、中村和彦 | 幼児期から成人期にかけてのブローカ野における灰白質体積の発達. 第44回日本脳科学会 | 第44回日本脳科学会 | 弘前 | 2017/10/14-15 | 弘前大学 | | H29 |
| 321 | 斉藤まなぶ、土屋賢治、吉田和貴、足立匡基、髙橋芳雄、下山修司、山田順子、上野伸哉、中村和彦 | 視線検出装置（Gazefinder)を用いた5歳児のASD傾向の検討 | 第44回日本脳科学会 | 弘前 | 2017/10/14-15 | 弘前大学 | | H29 |
| 322 | 古郡規雄 | 遅発性ジスキネジアに対する治療再考」遅発性ジスキネジアに効果があるとされている治療 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 323 | 古郡規雄 | わが国の気分障害に対する外来診療における薬物療法の現状と課題－日本精神神経科診療所との 合同企画より－ 外来診療における気分障害の薬物療法のあるべき姿 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 324 | 鈴木雄太郎、須貝拓朗、山崎學、下田和孝、森隆夫、尾関祐二、松田ひろし、岡本呉賦、寒河江豊昭、菅原典夫、古郡規雄、染矢俊幸 | 抗精神病薬多剤併用療法の心電図QT延長リスク | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 325 | 染矢俊幸、須貝拓朗、鈴木雄太郎、森隆夫、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、下田和孝、尾関祐二、岡本呉賦、寒河江豊昭、山崎學 | 「抗精神病薬と身体リスク」に関する提言 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 326 | 須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎學、森隆夫、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、下田和孝、尾関祐二、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸 | 日本における統合失調症患者の身体リスクについて | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 327 | 菅原典夫、古郡規雄、山崎學、下田和孝、寒河江豊昭、森隆夫、須貝拓朗、松田ひろし、鈴木雄太郎、尾関祐二、岡本呉賦、染矢俊幸 | 統合失調症患者のメタボリック症候群を予見する～目の前に居る当事者のリスクを考える～ | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 328 | 冨田哲、古郡規雄、工藤周平、菅原典夫、藤井学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道、中村和彦 | 抗うつ薬服用患者のうつ病理解と治療反応における性差 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 329 | 冨田哲、古郡規雄、中神卓、土嶺章子、石岡雅道、金田絢子、菅原典夫、中村和彦 | うつ病患者のTemperrament and Character Inventory(TCI)における傾向とパロキセチン血中濃度-治療効果の関係について | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 330 | 冨田哲、古郡規雄、佐藤靖、中神卓、土嶺章子、石岡雅道、金田絢子、菅原典夫、中村和彦 | うつ病患者における治療開始時の症状とパロキセチン血中濃度-治療効果の関係について | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 331 | 岩下知磨、冨田哲、上田幹人、猿渡淳二、青木顕子、西村美紀、土嶺章子、鬼木健太郎、下田和孝、古郡規雄 | 抗うつ薬パロキセチンの血中濃度と治療効果に関する母集団薬物動態-薬力学解析 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 332 | 吉田和貴、古郡規雄、中村和彦 | リスペリドンLAI施行中に紅班が出現し続け、リスペリドン錠で紅班が招待した一例 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 333 | 小野真実、倉内静香、徳田糸代、高橋佳子、大沼由香、大里怜子、澄川幸志、中路重之 | 一般女性における食物繊維摂取量と動脈硬化リスクとの関連 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 334 | 太田聖也、武田温、高橋和幸、李相潤、津田英一、石橋恭之、中路重之 | 変形性膝関節症の発症と症状の関連:5年間の縦断調査 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 335 | 武田温、太田聖也、千葉大輔、石橋恭之、津田英一、徳安秀正、竹石洋介、中路重之 | 身体機能が骨粗鬆症生腰椎骨折発生に及ぼす影響一般住民の縦断調査 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 336 | 森隆志、相馬優樹、沢田かほり、駒目瞳、奥村俊樹、本田勝義、千葉義信、中路重之 | 高齢者における糖代謝関連指標と運動機能の関係について | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 337 | 徳田糸代、倉内静香、神田翔太、木村緑、廣瀬かほる、赤池あらた、三輪孝士、中路重之 | 一般高齢住民における認知機能と糖代謝との関連 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 338 | 相馬優樹、小笠原悠、生嶌健也、森隆志、谷本歩実、川端良介、谷川涼子、中路重之 | メタボリックシンドロームの評価における総合的メタボ指標の提案 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 339 | 福田はるか、佐竹杏奈、小山俊朗、田村好拡、長内俊之、野口貴雄、石崎博、倉内静香、徳田糸代、相馬優樹、村下公一、中路重之、小林恒 | 非アルコール性脂肪性肝疾患と口腔内細菌との関連性について | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 340 | 田村好拡、内山千代子、小山俊朗、長内俊之、佐竹杏奈、福田はるか、對馬詩音、倉内静香、相馬優樹、翠川辰 | 口腔細菌や生活習慣が唾液の性状に及ぼす影響 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 341 | 佐竹杏奈、小山俊朗、田村好拡、長内俊之、野口貴雄、石崎博、福田はるか、倉内静香、徳田糸代、相馬優樹、村下公一、中路重之、小林恒 | 高齢者の口腔機能とフレイルの関係 | 第27回体力・栄養・免疫学会大会 | 埼玉 | 2017/8/27 | 弘前大学 | | H29 |
| 342 | 二階堂義和、古川智範、下山修司、櫛方哲也、廣田和美、上野伸哉 | 慢性社会的敗北ストレスによってうつ病様モデル化したラットは前頭前野の機能異常を起こす | 第44回日本脳科学会 | 弘前 | 2017/10/14-15 | 弘前大学 | | H29 |
| 343 | Krisana Asano | Establishment of a mouse cervicovaginal infection model to investigate the role of toxic shock syndrome toxin-1 on uterine infection of Staphylococcus aureus | 第63回日本ブドウ球菌研究会 | 鹿児島 | 2018/8/31-9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 344 | 小野久弥 | マーモセット嘔吐も出るの確立およびブドウ球菌エンテロトキシンの嘔吐発言機序の解明 | 第63回日本ブドウ球菌研究会 | 鹿児島 | 2018/8/31-9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 345 | 成田浩司 | 無毒変異toxic shock syndrome toxin-1ワクチンで誘導されるメモリーTh17細胞のサイトカイン産生の可塑性とワクチン効果に関する検討 | 第63回日本ブドウ球菌研究会 | 鹿児島 | 2018/8/31-9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 346 | 廣瀬昌平 | ブドウ球菌エンテロトキシンAの腸管吸収上皮細胞への取り込み | 第63回日本ブドウ球菌研究会 | 鹿児島 | 2018/8/31-9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 347 | 村林公哉、大門眞、村上宏、神庭文、水尻諭、中路重之 | 生理的なレベルでのカテコールアミン系が耐糖能へ及ぼす影響 | 第61回日本糖尿病学会年次学術集会 | 東京 | 2018/5/26 | 弘前大学 | | H30 |
| 348 | 水尻諭、大門眞、村上宏、神庭文、村林公哉、中路重之 | Cdk5 regulatory associated protein 1-like 1(Cdkal1)の1塩基多型と栄養素別摂取量の耐糖能に及ぼす相互作用の検討 | 第61回日本糖尿病学会年次学術集会 | 東京 | 2018/5/26 | 弘前大学 | | H30 |
| 349 | 太田聖也、千葉大輔、佐々木英嗣、武田温、石橋恭之、高橋一平、中路重之、津田英一 | 変形性膝関節症の発症と症状の関連　5年間の縦断調査 | 第115回東北整形災害外科学会 | 弘前 | 2018/4/27 | 弘前大学 | | H30 |
| 350 | 猿賀達郎、太田聖也、岩崎宏貴、上里涼子、井上亮、佐々木英嗣、千葉大輔、中路重之、石橋恭之 | 変形性手関節症の進行と血清ヒアルロン酸濃度の関連 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 351 | 小山一茂、和田簡一郎、熊谷玄太郎、工藤整、浅利享、太田聖也、亀井敬太、中路重之、石橋恭之 | 認知機能が腰椎疾患に与える影響についての横断調査　一般地域住民における検討 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 352 | 佐々木静、小山一茂、太田聖也、千葉大輔、木村由佳、山本祐司、中路重之、津田英一、石橋恭之 | ロコモティブシンドロームの発症に関連する因子の検討 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 353 | 熊谷玄太郎、和田簡一郎、工藤整、浅利享、千葉大輔、太田聖也、亀井敬太、武田温、中路重之、石橋恭之 | 一般地域住民を対象とした外傷性頸部症候群の疫学調査 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 354 | 和田簡一郎、熊谷玄太郎、工藤整、浅利享、太田聖也、亀井敬太、武田温、中路重之、石橋恭之 | 農作業は頸椎椎間板変性と関連する　一般地域住民男性の横断調査から | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 355 | 岩崎宏貴、上里涼子、太田聖也、石橋恭之、佐々木規博、中路重之 | 一般住民における変形性指節間関節の縦断研究 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 356 | 熊谷玄太郎、武田温、和田簡一郎、工藤整、浅利享、千葉大輔、太田聖也、亀井敬太、中路重之、石橋恭之 | 日整会プロジェクト研究が発展させた脊髄脊椎疾患治療 一般住民健診における骨粗鬆性脊椎圧迫骨折の疫学と予防 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 357 | 佐々木英嗣、千葉大輔、太田聖也、山本祐司、井上亮、佐々木静、津田英一、中路重之、石橋恭之 | 早期膝OAの病態 住民健診から見た早期膝OAの予測因子 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 358 | 山本祐司、太田聖也、千葉大輔、佐々木英嗣、津田英一、中路重之、石橋恭之 | 早期変形性膝関節症に関連する因子のMRIによる検討　一般地域住民健診における横断調査 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 359 | 武田温、太田聖也、熊谷玄太郎、和田簡一郎、中路重之、石橋恭之 | 中学生におけるレプチンと踵骨定量的超音波法による骨評価の関連 | 第91回日本整形外科学会 | 神戸 | 2018/5/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 360 | 熊谷美香、沢田かほり、中路重之、井原一成 | 健康格差の抑止因子解明に向けた近隣「地理的プロファイリング」の試み | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 361 | 田村好拡、小山俊朗、長内俊之、佐竹安奈、石崎博、野口貴雄、福田はるか、沢田かほり、徳田糸代、和田啓二、村上晃満、西永英司、中路重之、井原一成、小林恒 | 一般地域住民における航空環境と口臭についての研究 | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/1 | 弘前大学<br>ライオン株式会社 | | H30 |
| 362 | 野口貴雄、田村好拡、小山俊朗、長内俊之、佐竹安奈、石崎博、福田はるか、徳田糸代、沢田かほり、和田啓二、中路重之、井原一成、村下公一、小林恒 | 一般地域住民における口腔内環境と口腔細菌叢に関する研究 | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 363 | 永田和史、佐々木洋輔、倉内静香、駒目瞳、金野潤、鈴木大輔、押方智也子、大里直樹、齊藤直飛人、中路重之、井原一成 | 運動機能と正常範囲の認知機能との関係 | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/1 | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 364 | 沢田かほり、森隆志、植村望、横山順一、川端良介、工藤祐太郎、翠川辰行、井原一成、中路重之 | 筋肉量と歩行関連能力の関係　−岩木プロジェクトの結果より− | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 365 | 太田聖也、千葉大輔、佐々木英嗣、武田温、津田英一、石橋恭之、中路重之 | 超音波による膝蓋上嚢水腫の定量評価と膝関節痛の関連　3年間の縦断調査 | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 366 | 徳田糸代、三澤美菜、清水宏保、榊原毅、佐藤鉄馬、田名部麻野、奥山慎也、井原一成、中路重之 | 小学生時の運動習慣と中学生時の健康度、体力との関係 | 第28回体力・栄養・免疫学会大会 | 仙台 | 2018/9/2 | 弘前大学 | | H30 |
| 367 | 三上美咲、山本千夏、斉藤まなぶ、小枝周平、中村和彦、山田順子 | 5歳児における協調運動機能へ影響を及ぼす感覚及び認知的因子 | 第2回日本DCD学会学術集会 | 弘前 | 2018/4/15 | 弘前大学 | | H30 |
| 368 | 三上珠希、斉藤まなぶ、栗林理人、中村和彦 | 排便コントロールにより昼間尿失禁・遺糞症が消失したASD・ADHD男児の一例 | 第20回東北児童青年精神医学会 | 福島 | 2018/7/29 | 弘前大学 | | H30 |
| 369 | 松原侑里、冨田哲、中村和彦 | 髄膜刺激症状に対する制吐剤でアカシジアを来した一例 | 第72回東北精神神経学会総会 | 山形 | 2018/9/30 | 弘前大学 | | H30 |
| 370 | Ken Itoh | Preventiono of age-related degenerative diseases by Nrf2-based early intervention | WCP 2018 KYOTO | Kyoto | 2018/7/2 | 弘前大学 | | H30 |
| 371 | 小野幸輝、山田勝也 | 腫瘍細胞が立体的に集積しスフェロイドを自発形成する新しい培養法 | 第50回東北生理談話会 | 山形大学医学部山形医学交流会館 | 2018/10/13 | 弘前大学 | | H30 |
| 372 | 藤岡徹、水野賀史、滝口慎一郎、藤澤隆史、松﨑 秀夫、友田明美、菊知充、佐々木 剛、岡東歩美、斉藤まなぶ、片山泰一、小坂浩 | O26-4<br>幼児期から青年期における自閉スペクトラム症児の社会的情報への注目の発達的変化 | 第58回日本児童青年精神医学会総会 | 東京 | 2018/10/11-13 | 弘前大学 | | H30 |
| 373 | 冨田 哲、古郡規雄、工藤 周平、菅原 典夫、藤井 学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道、中村和彦 | O1-4　抗うつ薬服用患者のうつ病理解における医療機関毎の差と特徴について | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | | H30 |
| 374 | 冨田哲、古郡規雄、佐藤靖、中神卓、土嶺章子、金田絢子、中村和彦 | O8-2<br>うつ病治療の早期反応はどの症状に注目すべきか | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | | H30 |
| 375 | 高橋 芳雄、松原 侑里、中村和彦 | 自閉スペクトラム症における遂行機能障害の神経基盤の解明 | 第45回日本脳科学会 | 千葉市 | 2018/11/10-11 | 弘前大学 | | H30 |
| 376 | 古郡規雄 | 双極性障害における身体合併症 | 第114回日本精神神経学会総会 | 神戸 | 2018/6/21－23 | 弘前大学 | | H30 |
| 377 | 古郡規雄 | 双極性障害診療と身体合併症 | 第24回日本精神神経科診療所協会学術総会 | 淡路市 | 2018/6/23－24 | 弘前大学 | | H30 |
| 378 | 古郡規雄 | 統合失調症薬物治療における治療者と当事者の認識の違い | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同学会 | 東京都 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | | H30 |
| 379 | 冨田哲、古郡規雄、佐藤靖、中神卓、土嶺章子、金田絢子、中村和彦 | うつ病治療の早期反応はどの症状に注目すべきか | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同学会 | 東京都 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | | H30 |
| 380 | 古郡規雄 | 精神科における個別化医療を目指して: 臨床家からの視点 | 第28回日本医療薬学会 | 神戸市 | 2018/11/23－25 | 弘前大学 | | H30 |
| 381 | 井原一成 | 老年期うつ病の予防と疫学について | 老年精神医学会.シンポジウム12 | 郡山 | 2018/6/30 | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 382 | 井原一成 | 人口動態と警察統計における自殺者数の差の要因を実証的に検証する | 第42回日本自殺予防学会総会（シンポジウム2　自殺統計の質の向上と、それを活用しての自殺対策の発展） | 奈良 | 2018/9/22 | 弘前大学 | | H30 |
| 383 | 井原一成 | 面接とケース・スタディー対 人支援の方法論ー | 第77回日本公衆衛生学会　自由集会世話人 | 福島 | 2018/10/25 | 弘前大学 | | H30 |
| 384 | 井原一成 | 80歳以上女性の夕食準備の２年間の変化 | 第83回日本健康学会総会 | 群馬 | 2018/11/23 | 弘前大学 | | H30 |
| 385 | 井原一成 | 老人性うつの理解と予防 | ヘルシーエイジング　無料公開講座 | 弘前 | 2019/1/7 | 弘前大学 | | H30 |
| 386 | 野村忠宏、梅田孝、小嶋新太、田辺勝、山本洋祐、沢田かほり、中路重之 | 強化合宿のL-グルタミンの摂取が柔道選手の筋組織、好中球機能に及ぼす影響について | 2018年度・第4回実践スポーツ医科学研究会 | 名古屋 | 2019/3/14 | 弘前大学 | | H30 |
| 387 | 阪口将登, 宮井信行, 森下美佳, 張 岩, 阿部香織, 大西修平, 寺田和史, 中谷敏昭, 上松右二, 有田幹雄 | 地域在住高齢者における歩行速度と認知機能との関連 | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 2019/2/3 | 和歌山県立医科大学、天理大学 | | H30 |
| 388 | 大西修平, 宮井信行, 阪口将登, 寒川友起子, 戸村多郎, 横井賀津志, 内海みよ子, 竹下達也, 有田幹雄 | 肝疾患の治療歴のない一般住民における肝臓の線維化と骨格筋量の減少との関連 | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 2019/2/3 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 389 | 長友奈央, 宮井信行, 島袋美絵, 牟礼佳苗, 水越正人, 内海みよ子, 竹下達也, 有田幹雄 | 中高年者における過去の喫煙量および禁煙後年数が中心動脈圧波形の反射波成分に及ぼす影響 | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 2019/2/3 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 390 | 有馬美保, 宮井信行, 寒川友起子, 阿部香織, 戸村多郎, 内海みよ子, 宮下和久, 武田眞太郎, 有田幹雄 | 塩分チェックシートによる中学生の食塩摂取量の簡易評価の有用性 | 第65回 近畿学校保健学会 | 京都市 | 2018/6/30 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 391 | 長友奈央, 宮井信行, 寒川友起子, 早川博子, 内海みよ子, 宮下和久, 武田眞太郎, 有田幹雄 | 中学生における随時尿法で推定したNa/K比と血圧の関連 | 第65回 近畿学校保健学会 | 京都市 | 2018/6/30 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 392 | 長友奈央, 宮井信行, 寒川友起子, 寺田和史, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄 | 学齢期小児における尿中ナトリウム/カリウム比と血圧の関連 | 第10回和歌山保健看護学会学術集会 | 和歌山市 | 2018/8/4 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 393 | 森下美佳, 宮井信行, 丸岡朋子, 服部園美, 内海みよ子, 上松右二, 志波 充, 宮下和久, 有田幹雄 | 高齢者における社会関連性がレジリエンスおよびうつ症状に及ぼす影響：パス解析による検討 | 第10回和歌山保健看護学会学術集会 | 和歌山市 | 2018/8/4 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 394 | 日置 雄一郎, 水越 正人, 宮井 信行, 竹下達也, 有田 幹雄 | 年齢別にみた緑茶摂取量と動脈スティフネスの関連 | 第41回日本高血圧学会総会 | 旭川市 | 2018/9/14-16 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 395 | 長友奈央, 宮井信行, 寒川友起子, 阿部香織, 有馬美保, 戸村多郎, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄 | 中学生における尿中NaおよびK濃度が血圧に及ぼす単独および複合影響 | 第65回日本学校保健学会学術大会 | 大分市 | 2018/11/30-12/2 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 396 | 坂口将登, 宮井信行, 長友奈央, 横井賀津志, 戸村多郎, 内海みよ子, 志波　充, 上松右二, 竹下達也, 有田幹雄 | 地域在住高齢者における腎機能低下と骨格筋量減少がbaPWVに及ぼす影響 ―高血圧治療の有無による比較― | 第30回血圧管理研究会 | 京都市 | 2018/12/1 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 397 | 奥井 佑，松山裕，中路重之 | 集団学習を応用した腸内細菌組成データの関連解析法 | 日本計量生物学会年会 | 東京 | 2018/3/29 | 東京大学 | | H30 |
| 398 | 内野詠一郎 | 医療健康ビッグデータとAIによる個別化医療と地域医療の将来 | 第28回日本医療薬学会年会 | 神戸 | 2018.11.24 | 京都大学 | | H30 |
| 399 | 上野友美 | 「岩木健康増進プロジェクト」における一般住民（成人女性）のエクオール産生能に関する調査研究 | 第33回日本女性医学学会 | 長良川国際会議場 | 2018/11/3 | 大塚製薬株式会社 | | H30 |
| 400 | 下山克、中路重之 | 青森県の保健衛生政策の目標となる指標の問題点 | 第157回弘前医学会例会 | 弘前 | 2020/1/24. | 弘前大学 | | R1 |
| 401 | 小野久弥、廣瀬昌平、成田浩司、浅野クリスナ、胡東良、中根明夫 | Histamine release from mast cells induced by staphylococcal enterotoxin A evokes vomiting reflex in common marmoset | 第92回日本細菌学会総会　選抜ワークショップ「分類・疫学・感染症・病原性」 | 札幌コンベンションセンター，札幌市 | 2019/4/24 | 弘前大学 | | R1 |
| 402 | 廣瀬昌平、浅野クリスナ、中根明夫 | サケ鼻軟骨プロテオグリカンの抗炎症作用 | 第51回日本結合組織学会学術大会　シンポジウム「結合組織の食品利用」 | KFCホール、東京都 | 2019/6/2 | 弘前大学 | | R1 |
| 403 | 類家英史、廣瀬昌平、成田浩司、中根明夫、浅野クリスナ | 黄色ブドウ球菌由来の細胞外小胞は炎症反応を刺激し宿主細胞死を誘導する | 第103回弘前医学会総会 | ホテル青森、青森市 | 2019/6/22 | 弘前大学 | | R1 |
| 404 | Asano K, Hirose S, Narita K, Nakane A | Extracellular vesicles from Staphylococcus aureus stimulate inflammatory response and induce host cell death | 第73回日本細菌学会東北支部総会 | アイーナ岩手県民情報交流センター　盛岡市 | 2019/8/22 | 弘前大学 | | R1 |
| 405 | Asano K, Hirose S, Narita K, Nakane A | Pathogenesis of extracellular vesicles derived from Staphylococcus aureus | 第64回日本ブドウ球菌研究会 | 長崎国際大学、佐世保市 | 2019/8/30 | 弘前大学 | | R1 |
| 406 | 小野久弥、胡東良、中根明夫 | ブドウ球菌食中毒研究の進展と今後の展開 | 第64回日本ブドウ球菌研究会ワークショップ「食中毒と毒素」 | 長崎国際大学、佐世保市 | 2019/8/31 | 弘前大学 | | R1 |
| 407 | Yamada, K. | Single malignant cells in ascites of cancer patients visualized by 2-NBDLG, a fluorescently labeled L-glucose (fLG) | 7th International Symposium of International Society of Rare Sugars (ISRS) Rare Sugar Congress 2019 | Kagawa International Conference Hall, Takamatsu, Japan | 2019/12/3-5 | 弘前大学 | | R1 |
| 408 | 小野幸輝、今井麻智子、長友克広、田中和明、山田勝也 | りんご果皮にふくまれるPhlorizin/Phloretinの質量分析 | 第51回東北生理談話会 | 東北医科薬科大学 | 2019/11/16 | 弘前大学 | | R1 |
| 409 | 山田勝也 | 100年後のAI | 神奈川大学上村大輔特別招聘教授を囲む会 | 新横浜フジビューホテル | 2019/9/14 | 弘前大学 | | R1 |
| 410 | 斉藤まなぶ、北洋輔、稲垣真澄 | 就学前のDCD早期発見のためのチェックリストの完成 | 第3回日本DCD学会 | 長崎市 | 2019/4/14 | 弘前大学 | | R1 |
| 411 | 新川広樹、髙橋芳雄、足立匡基、廣田智也、森裕幸、栗林理人、中村和彦 | 小中学生の行動特性と抑うつの関係におけるソーシャル・サポートの緩衝効果 | 第21回東北児童青年精神医学会 | 仙台市 | 2019/7/7 | 弘前大学 | | R1 |
| 412 | 斉藤まなぶ、北洋輔、大里絢子、三上珠希、稲垣真澄、中村和彦 | 就学前の発達性協調運動症（DCD）早期発見のためのチェックリストの完成～顕在化しにくい発達障害の特性を早期に抽出するアセスメントツールの開発及び普及に関する研究より～ | 第21回東北児童青年精神医学会 | 仙台市 | 2019/7/7 | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 413 | 松原侑里、斉藤まなぶ、中村和彦 | 自閉スペクトラム症を背景として強迫性障害を来たした一例 | 第21回東北児童青年精神医学会 | 仙台市 | 2019/7/7 | 弘前大学 | | R1 |
| 414 | 三上珠希、斉藤まなぶ、坂本由唯、中村和彦 | 入院加療を要した小学校中学年の回避・制限性食物摂取障害の女児2症例について | 第21回東北児童青年精神医学会 | 仙台市 | 2019/7/7 | 弘前大学 | | R1 |
| 415 | 田村好拡, 福田はるか, 秋山なつみ, 小山俊朗, 佐竹杏奈, 沢田かおり, 徳田糸代, 井原一成, 中路重之, 小林恒 | 一般高齢地域住民における歯数・咬合支持が運動機能に与える影響 | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 416 | 福田はるか, 田村好拡,秋山なつみ, 佐竹杏奈, 小山俊朗, 沢田かおり, 徳田糸代, 和田啓二, 村下公一, 井原一成, 中路重之, 小林恒 | 口臭と唾液検査結果との関連性に関する研究 | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 417 | 髙橋佳子, 徳田糸代, 沢田かほり, 倉内静香, 桂木能久, 中路重之, 井原一成 | 一般住民における体脂肪蓄積タイプと心血管疾患関連因子（血圧、糖代謝、脂質代謝）との関係 | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 418 | 珍田大輔, 下山克, 沢田かほり, 新井徹, 秋田谷一輝, 秋元直樹, 佐藤諭, 立田哲也, 菊池英純, 澤谷学, 三上達也, 中路重之, 福田眞作 | 早期胃癌に対する内視鏡治療前後での血清オプソニン化活性の変動－高齢者と非高齢者での比較－ | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 419 | 下山克, 珍田大輔, 山居聖典, 中路重 | H. pylori感染と除菌の内臓脂肪面積との関連についての検討 | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 420 | 安藤雅峻, 神田晃, 熊谷美香, 川端良介, 工藤祐太郎, 奥山慎也, 梅田洋子, 村下公一, 中路重之, 井原一成 | 地域在住高齢者における身体機能の実態と健康関連QOLとの関係－岩木健康増進プロジェクト健診データによる検討－ | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 421 | 三澤美菜, 熊谷貴子, 徳田糸代, Kyi Mar Wai, 鈴木大輔, 田名部麻野, 翠川辰行, 大里直樹, 中路重之, 井原一成 | 岩木健康増進プロジェクト受診者の栄養素等摂取量について | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |
| 422 | 鄭松伊, 杉村嘉邦, 沢田かほり, 大石秀樹, 立林悟, 村下公一, 井原一成, 中路重之 | 生活習慣改善の行動変容プログラムが健康とビューティイメージに及ぼす影響－介入プロトコールの紹介－ | 第29回体力・栄養・免疫学会 | 名古屋市 | 2019/8/23-25 | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 423 | 冨田哲、古郡規雄、工藤周平、菅原典夫、藤井学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道、中村和彦 | 抗うつ薬服用患者のうつ病心理教育および理解と処方内容；抗うつ薬について | 第29回日本臨床精神神経薬理学会 | 福岡市 | 2019/10/12 | 弘前大学 | | R1 |
| 424 | 照井藍、柞木田礼子、松原侑里、坂本由唯、三上珠希、橋本浩二郎、斉藤まなぶ、中村和彦 | 周囲から育児疲れと捉えられていた産後うつ病の一例 | 第73回東北精神神経学会総会 | 秋田市 | 2019/10/27 | 弘前大学 | | R1 |
| 425 | 神崇太、冨田哲、片貝公紀、中村和彦 | 当院における超短パルス波ECTの施行経験について | 第74回東北精神神経学会総会 | 秋田市 | 2019/10/27 | 弘前大学 | | R1 |
| 426 | 森裕幸、足立匡基、高橋芳雄、新川広樹、栗林理人、中村和彦 | 小中学生におけるEffortful Control と ASD/ADHD 特性および情緒/行動の問題との関連 | 第46回日本脳科学会 | 滋賀県大津市 | 2019/11/16 | 弘前大学 | | R1 |
| 427 | 足立匡基、西村倫子、浦尾悠子、藤岡徹、明翫光宜、田中早苗、和久田学、河合優年、片山泰一、中村和彦 | 子どもの個のメンタルヘルスの追跡: 児童思春期の大規模コホート調査 | 第60回日本児童青年精神医学会総会 | 沖縄県宜野湾市 | 2019/12/5 | 弘前大学 | | R1 |
| 428 | 伊東健 | Keap1-Nrf2経路とISR-ATF4経路のクロストークによるストレス応答機構の解析 | 第92回日本生化学大会 | パシフィコ横浜 | 2019/9/20 | 弘前大学 | | R1 |
| 429 | Nagata T, et al. | N-terminal pro-B-type natriuretic peptide and risk of dementia in a general Japanese elderly population: the Hisayama Study | 第83回日本循環器学会学術集会 | 横浜市 | 2019/3/30 | 九州大学 | ①-a | R1 |
| 430 | 山﨑景介 | 地域高齢住民におけるアルブミン尿と大脳白質病変容積の関連：久山町研究 | 第62回日本腎臓学会学術総会 | 名古屋市 | 2019/6/22 | 九州大学 | ④-a | R1 |
| 431 | Takanori Hasegawa | Prediction of blood test values under different lifestyle scenarios using timeseries electronic health record | 19th Annual International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology | 京都大学 | 2019/11/17 | 弘前大学、東京大学医科学研究所 | | R1 |
| 432 | 長谷川 嵩矩 | 機械学習を用いた時系列ヘルスケアデータの解析と応用 | 2019年度 統計関連学会連合大会 | 滋賀大学 彦根キャンパス | 2019/9/10 | 東京大学医科学研究所 | ①-a | R1 |
| 433 | 植田　京子 | 農村地域住民における高血圧重症化予防を目的とする地域保健指導の検討 | 第42回日本高血圧学会総会 | 東京都 | 2019/10/27 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 434 | 大植　知穂 | 地域住民における起立時血圧変動の血管スティフネスに及ぼす影響：4年後の経過観察 | 第42回日本高血圧学会総会 | 東京都 | 2019/10/25 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 435 | 樫葉　歩 | 地域在住高血圧者におけるIT 活用による家庭血圧管理と食塩摂取の変化 | 第42回日本高血圧学会総会 | 東京都 | 2019/10/27 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 436 | 日置雄一郎 | 高齢者における緑茶摂取頻度と自律神経機能および動脈スティフネスの関連 | 日本高血圧学会第8回臨床高血圧フォーラム | 久留米市、福岡 | 2019/5/11 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 437 | 橋爪　洋 | 中枢性感作はロコモティブシンドロームの有意な関連因子である | 第133回中部日本整形外科災害外科学会 | 神戸市 | 2019/9/21 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 438 | 井上慎吾 | 身体の複数部位が痛むのは中枢性感作と関連するか？ | 第133回中部日本整形外科災害外科学会 | 神戸市 | 2019/9/21 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 439 | 橋爪　洋 | 一般住民における中枢性感作の実態ならびにロコモティブシンドロームとの関係 | 第27回日本腰痛学会 | 神戸市 | 2019/9/14 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 440 | 井上慎吾 | 身体のあちこちが痛いのは中枢性感作と関連するか？ | 第27回日本腰痛学会 | 神戸市 | 2019/9/13 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 441 | 上松右二 | 地域住民における日常運動習慣と認知機能の関連性 | 第9回日本認知症予防学会学術集会 | 名古屋市 | 2019/10/19 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 442 | 上松右二 | 脳神経外科医による地域健診での認知機能スクリーニング | 第78回日本脳神経外科学会総会 | 大阪市 | 2019/10/9 | 和歌山県立医科大学 | ④-a | R1 |
| 443 | 正路章子 | COST REDUCTION AFTER THE INDUCTION OF THE RESIDENT ENLIGHTMENT BASED ON MEDICAL CHECKUP IN A JAPANESE RURAL AREA | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/20 | 東京大学薬学系研究科 | ①-q | R1 |
| 444 | 菅沼　大行 | 「緑黄色野菜の健康効果と油を活用した賢い摂取方法」 | 令和元年度第2回油化学セミナー「短命県返上に向けた油との正しい付き合い方」 | 弘前市 | 2019/10/19 | カゴメ(株) | ②-e | R1 |
| 445 | 片嶋充弘 | 「内臓脂肪を貯めない食事とオメガ3」 | 油化学会関東支部・令和元年度第2回油化学セミナー「短命県返上に向けた油との正しい付き合い方」 | 弘前大学文京町キャンパス弘前大学50周年記念会館　2階岩木ホール | 2019/10/19 | 花王株式会社 | ①-e | R1 |
| 446 | 鈴木誠、山本博之、佐々木一謹、紙健次郎、橋爪克仁、沢田かほり、村下公一、中路重之 | 岩木健康増進プロジェクトにおける大規模な血漿サンプルのメタボローム解析 | 第30回日本臨床化学会東北支部総会 | 仙台国際センター | 2019/9/29 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社、弘前大学 | ①-l | R1 |
| 447 | 上野友美 | 「岩木健康推進プロジェクト」における一般住民の血中性ホルモン濃度の加齢に伴う変化に関する調査研究<br>血中性ホルモン濃度の加齢に伴う変化に関する調査研究<br>「岩木健康推進プロジェクト」における一般住民の<br>血中性ホルモン濃度の加齢に伴う変化に関する調査研究<br>「岩木健康推進プロジェクト」における一般住民の<br>血中性ホルモン濃度の加齢に伴う変化に関する調査研究<br>「岩木健康推進プロジェクト」における一般住民の<br>血中性ホルモン濃度の加齢に伴う変化に関する調査研究 | 第34回日本女性医学学会 | ヒルトン福岡シーホーク | 2019/11/3 | 大塚製薬株式会社 | | R1 |
| 448 | 二階堂　義和 | 非定型うつ病の新規療法開発及び発症予防プログラム開発に向けた基盤研究 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/20 | 弘前大学 | H31W21-2 | R1 |
| 449 | Tatsuya Igarashi, Kazuhiro Fujisaki, Kazuhiko Sasagawa, Takeshi Moriwaki | Analysis of Fatigue Behavior in Forearm Muscle Based on Evaluation of Muscular Endurance Characteristics using Force Myography | The 17th International Conference on Biomedical Engineering | NUS Engineering, Singapore | 2019/12/10 | 弘前大学 | R1WD11-2 | R1 |
| 450 | 五十嵐達也，藤崎和弘，笹川和彦，森脇健司 | 手指筋疲労特性評価のためのForce myography計測と解析 | 第53回日本生体医工学会東北支部大会 | 弘前大学 | 2019/11/9 | 弘前大学 | R1WD11-2 | R1 |
| 451 | 近藤絢音，藤崎和弘，笹川和彦，森脇健司 | 圧力センサを用いた装着式筋活動計測システムの開発 | 第46回日本臨床バイオメカニクス学会 | 久留米シティプラザ | 2019/11/1 | 弘前大学 | R1WD11-2 | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 452 | 近藤絢音，藤崎和弘，五十嵐達也，笹川和彦，森脇健司 | 装着型センサによる押し込み反力測定に基づいた下肢運動時の筋活動推定 | 日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2019 | 福岡工業大学 | 2019/10/25 | 弘前大学 | R1WD11-2 | R1 |
| 453 | 猿田賢也、和田簡一郎、熊谷玄太郎、工藤整、浅利享、太田聖也、亀井敬太、小山一茂、石橋恭之、井原一成、中路重之 | 地域一般住民検診における自己記入式調査票と腱反射を利用した頚髄症スクリーニング法に関する検討 | 第92回日本整形外科学会学術総会 | パシフィコ横浜 | 2019/5/9-12 | 弘前大学 | H31W23 | R1 |
| 454 | 浅利　享 | 頚髄症の重症化予防へ向けた脊椎変性の病態解明と重症化リスク群の抽出法確立に向けた基盤研究 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | H31W23 | R1 |
| 455 | 和田簡一郎<br>熊谷玄太郎<br>田中直<br>浅利　享<br>石橋恭之 | リンゴ栽培中に受傷した非骨傷性頚髄損傷における軟部組織損傷の重症度 | 第54回日本脊髄障害医学会 | 秋田市 | 2019/10/31 | 弘前大学 | H31W23 | R1 |
| 456 | 和田簡一郎<br>熊谷玄太郎<br>工藤整<br>浅利　享<br>小山一茂<br>太田聖也<br>井原一成<br>中路重之<br>石橋恭之 | 農業従事者における頚椎脊柱管狭窄の調査 | 第20回圧迫性脊髄症研究会 | 東京 | 2019/1/19 | 弘前大学 | H31W23 | R1 |
| 457 | 和田簡一郎<br>工藤整<br>熊谷玄太郎<br>浅利享<br>太田聖也<br>亀井敬太<br>小山一茂<br>井原一成<br>中路重之<br>石橋恭之 | 地域一般住民における頚椎後縦靭帯骨化症の頚椎機能に関する縦断調査 | 第48回日本脊椎脊髄病学会 | パシフィコ横浜 | 2019/4/18-20 | 弘前大学 | H31W23 | R1 |
| 458 | 喜田恒，新村秀人，色本涼，堀田章悟，高山緑，三村將 | 地域在住する高齢者における抑うつ・うつ病と心理社会的関連因子：Arakawa 65+ Study. | 第34回日本老年精神医学会 | 仙台 | 2019/6/6-8 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 459 | 色本涼，新村秀人，喜田恒，堀田章悟，高山緑，三村將 | 地域在住する高齢者における認知症と心理社会的関連因子：Arakawa 65+ Study. | 第34回日本老年精神医学会 | 仙台 | 2019/6/6-8 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 460 | Mimura M, Niimura H, Kida H, Shikimoto R, Konishi M, Suzuki K, Tabuchi H | Coping Strategy and Positive Personality may relate with Successful Aging－The Arakawa Elderly Studies. | 19th International Psychogeriatric Association International Congress. | Santiago de Compostela, Spain | 2019/8/3-2019/9/3 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 461 | Suzuki K, Niimura H, Kida H, Eguchi Y, Kitashima C, Takayama M, Mimura M | Association between physical activity and cognitive function among community-dwelling oldest old population: A cross sectional study utilizing actigraphy from the Arakawa 85+ study | The 10th APRU Population Aging Conference | Tokyo, Japan | 2019/10/13 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 462 | Kida H, Nakajima S, Shikimoto R, Ochi R, Tsugawa S, Noda S, Murakami M, Takayama M, Mimura M, Niimura H | Approach-oriented coping strategy for combatting psychological stress may prevent atrophy of whole hippocampus and its subfields in elderly adults. | WASP 23rd | Bucharest, Romania | 2019/10/25-28 | 慶應義塾大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 463 | Suzuki K, Niimura H, Kida H, Eguchi Y, Kitashima C, Yamazawa R, Takayama M, Mimura M | Association between physical activity and cognitive function among community-dwelling oldest old population from the Arakawa 85+ study: A cross sectional study utilizing actigraphy. | 23rd WASP | Bucharest, Romania | 2019/10/25-28 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 464 | 岸本 泰士郎 | テレビ電話を利用した精神疾患重症度の遠隔評価：中央評価導入を目指した信頼性試験の経験や展望 | 日本遠隔医療学会 Spring Conference 2020 | 全国家電会館 | 2020/1/18 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 465 | 岸本 泰士郎 | 精神科領域における遠隔医療の導入経過と現状 | 第23回日本遠隔医療学会学術大会 | いわて県民情報交流センター | 2019/10/5 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 466 | 岸本 泰士郎 | 我が国における精神科遠隔医療導入経過と展望 | 第39回日本精神科診断学会 | 京都烏丸コンベンションホール | 2019/9/20 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 467 | 岸本 泰士郎 | オンライン精神科医療の現状と課題：特に保険診療としての位置づけに注目して | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 朱鷺メッセ | 2019/6/20 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 468 | 岸本 泰士郎 | 精神科領域における遠隔医療の現状と課題 | 第30回日本医学会総会 | 名古屋国際会議場 | 2019/4/27 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 469 | 岸本 泰士郎 | 精神科領域におけるAI活用 | 日本オミックス医学会シンポジウム | 東京医科歯科大学 | 2019/11/1 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 470 | 岸本 泰士郎 | 精神科領域におけるICTやAI活用の試み | 医用画像情報学会　第185回大会 | 広島国際大学広島キャンパス | 2019/9/14 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 471 | 岸本 泰士郎 | 我が国における精神科遠隔医療（Telepsychiatry）導入の経過と現状 | 第118回　日本皮膚科学会総会 | 名古屋国際会議場 | 2019/6/6 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 472 | 岸本 泰士郎 | 情報通信技術や機械学習を用いた精神症状定量化の試み | 日本線維筋痛症学会第10回学術集会 | 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター2階 | 2019/9/29 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 473 | 岸本 泰士郎 | 情報通信技術を活用した近未来の精神科医療の展望 | 日本繊維筋痛症学会第11回学術集会 | シェーンパッハ・サボー | 2019/10/5 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 474 | Taro Asada | Facial Expression Synthesis Using Vowel Recognition for Synthesized Speech | International Conference on Artificial Life and Robotics | B-Con Plaza, Beppu, Oita, Japan | 2020/1/15 | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 475 | Yuuya Yokoyama | A Method to Assess Dissaving Risk againstLife Expectancy for Elderly People | 20th IEEE/ACISInternational Conference on on Software Engineering, ArtificialIntelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing | Toyama International Conference Center, Toyama, Japan | 2019/7/9 | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 476 | Yuuya Yokoyama | Assessment of Dissaving Risk against LifeExpectancy for Elderly People through Anonymous Data and Random Data | 20th IEEE/ACISInternational Conference on on Software Engineering, ArtificialIntelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing | Toyama International Conference Center, Toyama, Japan | 2019/7/9 | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 477 | 浅田太郎 | 末梢部皮膚温度を入力に用いた楽曲推薦システム | ヒューマンインタフェースシンポジウム2019 | 同志社大学　今出川校地，京都市 | 2019/9/5 | 京都府立大学 | 3-b | R1 |
| 478 | 今村光男，成本迅，森田和宏，泓田正雄 | 類似思考を用いた延命治療の意思決定支援 | 第13回ITヘルスケア学会学術大会 | 大阪滋慶学園大阪保健福祉専門学校 | 2019/7/21 | 徳島大学，京都府立医科大学 | | R1 |
| 479 | 瀧　俊雄 | 当社における認知症に向けた取り組み | 第4回認知症イノベーションアライアンスWG | 経済産業省 | 2020/2/10 | (株)マネーフォワード | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 480 | 小野幸輝、今井麻智子、山田勝也 | 自然栽培および特別栽培された「ふじ」の果皮に含まれるPhlorizin含量の定量 | 第52回東北生理談話会 | Zoomによるオンライン開催 | 2020/11/21 | 弘前大学 | | R2 |
| 481 | 横山拓史、佐々木綾子、吉澤忠司、木村憲央、石戸圭之輔、鬼島宏、山田勝也 | 蛍光L-グルコース誘導体を用いた生体内癌細胞の蛍光イメージング～新たな癌進展度診断の可能性～ | 第43回日本膵・胆管合流異常研究会 | 島根 | 2020/11/21 | 弘前大学 | | R2 |
| 482 | 長友克広、村上花香 | 腹部電気活動を通して身体状態を探る基礎的な検討 | 第52回東北生理談話会 | Zoomによるオンライン開催 | 2020/11/21 | 弘前大学 | | R2 |
| 483 | 斉藤まなぶ | Early detection and supPort for children of developmental coordination disorder（発達性協調運動症の早期発見と支援） | 第62回日本小児神経学会学術集会<br>シンポジウム8顕在化しにくい発達障害の早期発見と支援 | Web開催 | 2020/9/30 | 弘前大学 | シンポジウム | R2 |
| 484 | 三上美咲, 小枝周平, 斉藤まなぶ, 中村和彦, 山田順子 | 幼児期における発達障害児の筆記具操作と描線運動 | 第５４回日本作業療法学会 | Web開催 | 2020/10/25 | 弘前大学 | | R2 |
| 485 | 丹治邦和ほか | Effect of oral and intranasal administration of trehalose on multiple system atrophy model mice | 第61回日本神経病理学会 | 金沢市 | 2020/10/13 | 弘前大学 | | R2 |
| 486 | 伊東　健 | Nrf2酸化ストレス応答機構と栄養飢餓応答機構を切り口にした新しい疾患予兆法と予防法の研究. | 第19回分子予防環境医学研究会 | 星陵オーディトリアム、仙台 | 2020/3/2-3/3 | 弘前大学 | | R2 |
| 487 | Shuya Kasai, Jun Liu, Hiromi Yamazaki, Junsei Mimura, Ken Itoh. | Ribosome binding protein Gcn1 knockout mice exhibit embryonic lethality with growth retardation. | 第93回日本生化学会大会 | WEB開催 | 2020/9/14-16 | 弘前大学 | | R2 |
| 488 | 伊東　健 | Keap1-Nrf2 経路とアミノ酸飢餓応答経路の協調による酸化ストレス応答機構. | 第73回日本酸化ストレス学会/第20回日本N O学会合同学術集会 | WEB開催 | 2020/10/6-10/7 | 弘前大学 | | R2 |
| 489 | Masaki Adachi | Suicidality in Autism Spectrum Disorder comorbid with ADHD Symptoms in a Non-clinical School-aged population | 24th World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions(IACAPAP) | Web開催 | 2020/12/2 | 弘前大学 | シンポジウム | R2 |
| 490 | Michio Takahashi | The association between problematic Internet use, psychopathology, well-being in children and adolescent. | 24th World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions(IACAPAP) | Web開催 | 2020/12/2 | 弘前大学 | シンポジウム | R2 |
| 491 | Tomoya Hirota | Overview of the Assessment from Preschool to Puberty - Longitudinal Epidemiological (APPLE) study and key findings | 24th World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions(IACAPAP) | Web開催 | 2020/12/2 | 弘前大学 | シンポジウム | R2 |
| 492 | Hiroki Shinkawa | Prevalence and related factors of mental health problems in children and adolescents: A community-based survey | Annual Meeting 2021 of Research Center for Child Mental Development of UGSCD | Web開催 | 2020/1/22 | 弘前大学 | シンポジウム | R2 |
| 493 | 米山徹, 畠山真吾, 米山美穂子, 吉矢拓, 石津雄大, 植村剛, 鈴木実, 八戸慎吾, 石山新太郎, 野中元裕, 福田道子, 大山力. | 糖鎖抗原類似ペプチドIF7-ホウ素10核種ドラッグデリバリーは、ホウ素中性子捕捉療法の治療効果を増強する. | 第14回東北糖鎖研究会 | 仙台、Zoom | 2020/8/29 | 弘前大学、京都大学 | R02W16 | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 494 | 長井力，藤崎和弘，小渡亮介，矢野哲也 | 熟練動作解析のための前腕部装着型Force-myographyによる手指動作計測 | 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 | オンライン（新潟） | 2020/11/7-30（オンデマンド配信） | 弘前大学 | R1WD11-1<br>R1WD11-2 | R2 |
| 495 | 藤崎和弘，近藤絢音，森脇健司，笹川和彦 | 運動時筋活動評価に利用可能な身体装着型押し込み反力計測システムの開発 | 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 | オンライン（新潟） | 2020/11/7-30（オンデマンド配信） | 弘前大学 | R1WD11-2 | R2 |
| 496 | 有澤和代・神里彩子 | 医学分野のオープンサイエンスのためのインフォームド・コンセントについての試論 | 第32回日本生命倫理学会年次大会 | オンライン | 2020/12/5～12/20 | 東京大学医科学研究所 | 一般05 | R2 |
| 497 | Mikio Arita and Tatsuya Takeshita | Abdominal obesity is associated with arterial stiffness and carotid IMT in middle-aged,elderly rural ccommunity adults | The 88th EAS 2020 | Virtual Congress | 2020/10/5 | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 498 | Kyoko Ueda and Mikio Arita | Effects of a Home Blood Pressure Monitoring by Mobile Phone-based and Health Service(Continuous Antihypertensive Treatment)in Mild Hypertension;The Wakayama Health Promotion Study | The 88th EAS 2020 | Virtual Congress | 2020/10/5 | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 499 | 上松右二 | 地域住民における睡眠と認知機能 | 第4回日本脳神経外科認知症学会学術総会 | 千里ライフサイエンスセンター大阪市 | 2020/6/27,28 | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 500 | 阪口将登，宮井信行，岡俊文，有田幹雄 | 一般住民における食塩摂取量と起立後の血圧変動および自律神経活動との関連 | 第32回血圧管理研究会 | オンライン | 2020/11/1 | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 501 | 井上慎吾，橋爪洋，岡敬之，湯川泰紹，岩崎博，南出晃人，筒井俊二，高見正成，岡田基宏，橋本侑加子，嶋崎彩華，山田宏 | 身体の複数部位が痛むのは中枢性感作と関連する Wakayama health promotion study | 第93回日本整形外科学会オンライン学術集会 | | 2020/6/ | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 502 | 橋爪洋，井上慎吾，松山雄樹，有田智氏，高橋貴子，嶋崎彩華，橋本侑加子，下江隆司，竹下達也，宮井信行，有田幹雄，山田宏 | 慢性腰痛と中枢性感作は関連するか？－Wakayama Health Promotion Study－ | 第135回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 | オンライン | 2020/10/ | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 503 | 井上慎吾，橋爪洋，下江隆司，嶋崎彩華，橋本侑加子，山田宏 | 一般住民における中枢性感作と運動器疼痛の関連について Wakayama Health Promotion Study | 第135回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 | オンライン | 2020/10/ | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 504 | 小濱佑介1,4，川端由子2，宮崎明子1，田口大夢1，川端二功3，松原篤4，工藤玲子4，清水目奈美4，重村憲徳2，實松敬介2，高井信吾2，山添淳一2，平尾宜司1，上野正一1，村下公一5，安藤雅峻4，沢田かほり4，井原一成4，山本佳弘1,4，中路重之4 | 食事への興味・食習慣が味覚閾値に及ぼす影響について | 日本味と匂学会第54回大会 | オンライン | 2020/10/19-23 | 1ハウス食品グループ本社株式会社<br>2九州大学大学院歯学研究院<br>3弘前大学農学生命科学部<br>4弘前大学医学研究科<br>5弘前大学COI研究推進機構 | P-02 | R2 |
| 505 | 藤井美紗 | 遺言能力の有無が争点となった遺言無効確認請求訴訟判例の医学的検討 | 第35回日本老年精神医学会 | オンライン開催 | 2020/12/20～12/22 | 京都府立医科大学 | ③ | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 506 | 魚谷義也 | 加速度センサを用いたLSTMに基づく転倒検知 | 電子情報通信学会センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会（SeMI） | オンライン | 2021/3/1 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 507 | J. Luo | A Novel Data Augmentation Framework Based on SeqGAN for Sentiment Analysis | 電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究会（PRMU） | オンライン | 2020/12/17 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 508 | M. Bouazizi | Counting and Locating People Indoor using Infrared Array Sensors | 電子情報通信学会センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会（SeMI） | オンライン | 2020/11/27 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 509 | K. A. Muthukumar, | Detection of human activity based on hybrid deep learning model using a low-resolution infrared array sensor | 電子情報通信学会センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会（SeMI） | オンライン | 2020/11/27 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 510 | 石坂秀壮 | LSTMによる波形解析に基づくドップラーレーダを用いた非接触血圧測定 | LSTMによる波形解析に基づくドップラーレーダを用いた非接触血圧測定 | オンライン | 2020/11/4 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 511 | 魚谷義也 | 加速度センサを用いたLSTMに基づく転倒検知 | 電子情報通信学会総合大会 | オンライン | 2021/3/9 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 512 | 石坂秀壮 | LSTMよる波形再構成に基づく非接触血圧推定法の精度改善 | 電子情報通信学会総合大会 | オンライン | 2021/3/12 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 513 | K. A. Muthukumar | Comparative Study of Activity Detection System Using Wide Angle Low-Resolution Infrared Array Sensor at Different Positions | 電子情報通信学会総合大会 | オンライン | 2021/3/10 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 514 | 新飯田夏帆 | Twitterにおけるヘイトスピーチ検出：人によって定義の異なるヘイトスピーチ | 電子情報通信学会ソサイエティ大会 | オンライン | 2020/9/17 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 515 | M. Bouazizi | Counting and Localization using Low-Resolution Infrared Array Sensors | 電子情報通信学会ソサイエティ大会 | オンライン | 2020/9/16 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 516 | 石坂秀壮 | LSTMによる波形解析に基づくドップラーレーダを用いた非接触血圧測定 | 電子情報通信学会ソサイエティ大会 | オンライン | 2020/9/16 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 517 | J. Luo | Data Augmentation for Sentiment Analysis Using Supervised Learning Sentence Compression Based SeqGAN | 電子情報通信学会ソサイエティ大会 | オンライン | 2020/9/15 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 518 | K. A. Muthukumar | Activity Detection Using Wide Angle Low-Resolution Infrared Array Sensors | 電子情報通信学会ソサイエティ大会 | オンライン | 2020/9/15 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 519 | 新村秀人, 喜田恒, 鈴木航太, 江口洋子, 高山緑, 三村將 | 85歳以上の超高齢者の心身機能と介護度の2年間推移－Arakawa 85+ Studyによる地域ベースの検討 | 第40回日本社会精神医学会 | 東京(web開催) | 2021/3/4-5 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 520 | 喜田恒, 新村秀人, 根本隆洋, 三村將, 佐久間啓, 水野雅文 | 統合失調症長期入院患者の地域移行後18年間における全般的認知機能の推移 | 第40回日本社会精神医学会 | 東京(web開催) | 2021/3/4-5 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 521 | 鈴木航太, 新村秀人, 喜田恒, 色本涼, 三村將 | 地域在住高齢者において、歩行速度低下は専門家に評価された認知機能低下との関連を認める | 第40回日本社会精神医学会 | 東京(web開催) | 2021/3/4-5 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 522 | 新村秀人, 喜田恒, 鈴木航太, 色本涼子, 三村將 | 高齢者の睡眠と運動機能との関連: Arakawa 65+ Studyにおける横断的検討 | 第35回日本老年精神医学会 | 米子(web開催) | 2020/12/21-22 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 523 | 喜田恒, 新村秀人, 江口洋子, 鈴木航太, 高山緑, 三村將 | 超高齢者の幸福感に寄与する心理社会的特性; Arakawa 85+/95+ Studyにおける検討 | 第35回日本老年精神医学会 | 米子(web開催) | 2020/12/21-22 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 524 | 鈴木航太, 新村秀人, 喜田恒, 江口洋子, 色本涼, 三村將 | 地域在住高齢者の詳細な認知機能評価による認知機能低下と歩行速度の関連 | 第35回日本老年精神医学会 | 米子(web開催) | 2020/12/21-22 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 525 | Kida H, Niimura H, Shikimoto R, Suzuki K, Miyasaka Y, Takayama M, Mimura M | The Relationship between Happiness and Psychosocial Factors in Community-Dwelling Older Adults: A Cross-Sectional Study from the Arakawa 65+ Study. | International Conference on Behavioral, Cognitive and Psychological Sciences (ICBCPS 2020: 14) | Rome, Italy (virtual meeting) | 2020/12/10-11 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 526 | Suzuki K, Niimura H, Kida H, Shikimoto R, Miyasaka Y, Takayama M, Mimura M | The Association between Detailed Cognitive Function Measured by Psychiatrists and Gait Speed among Community-Dwelling Older People. | International Conference on Behavioral, Cognitive and Psychological Sciences (ICBCPS 2020: 14) | Rome, Italy (virtual meeting) | 2020/12/10-11 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 527 | Shikimoto R, Niimura H, Kida H, Suzuki K, Miyasaka Y, Mimura M | Cognitive Function and Coping Behavior in the Elderly: A Population-Based Cross-Sectional Study. | International Conference on Behavioral, Cognitive and Psychological Sciences (ICBCPS 2020: 14) | Rome, Italy (virtual meeting) | 2020/12/10-11 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 528 | 喜田恒, 中島振一郎, 色本涼, 越智涼, 野田賀大, 津川幸子, 藤井進也, 高山緑, 三村將, 新村秀人 | 高齢者における問題解決型/回避型ストレスコーピングと海馬微小部位の体積との関係: Arakawa 65+ Study | 第116回日本精神神経学会学術総会 | 仙台(web開催) | 2020/9/28-30 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 529 | Kishimoto T. | COVID-19 response: An overview of a survey of 17 countries and how the introduction of telemedicine in Japan is progressing | The 25th ISfTeH International Conference | JAPAN(Online) | 2021/2/11-25 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 530 | 岸本 泰士郎 | オンライン診療、中央評価、遠隔モニタリング：種々の遠隔医療の今後の展開 | 第116回日本精神神経学会学術総会 | WEB開催 | 2020/9/29 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 531 | Y. Yokoyama | Further Assessment of Dissaving Risk against Life Expectancy for Elderly People through Anonymous Data and Random Data for Social Implementation | 9th International Congress on Advanced Applied Informatics | On line | 2020/9/1-15 | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 532 | Y. Yoshitomi | Wallet Operation Evaluation System Using Deep Learning | International Conference on Artificial Life and Robotics | On line | 2021/1/22 | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 533 | C. Ye, T. Ohtsuki, and G. Gui | Deep Clustering with LSTM for Vital Signs Separation in Contact-free Heart Rate Estimation | IEEE International Conference on Communications (ICC2020) | Dublin, Ireland | 2020/9/1 | 慶應義塾大学理工学部 | | R2 |
| 534 | T. Nakamura, M. Mondher, K. Yamamoto, and T. Ohtsuki | Wi-Fi-CSI-based Fall Detection by Spectrogram Analysis with CNN, | IEEE Global Communications Conference (GLOBECOM2020) | Taipei, Taiwan | 2020/12/1 | 慶應義塾大学理工学部 | | R2 |
| 535 | 石坂秀壮, 山本幸平, 大槻知明 | LSTMによる波形解析に基づくドップラーレーダを用いた非接触血圧測定 | 電子情報通信学会ソサイエティ大会 | オンライン | 2020/9/16 | 慶應義塾大学理工学部 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 536 | 石坂秀壮, 山本幸平, 大槻知明 | LSTMによる波形解析に基づくドップラーレーダを用いた非接触血圧測定 | 電子情報通信学会ヘルスケア・医療情報通信技術研究会(MICT) | オンライン | 2020/11/4 | 慶應義塾大学理工学部 | | R2 |
| 537 | 石坂秀壮, 山本幸平, 大槻知明 | LSTMよる波形再構成に基づく非接触血圧推定法の精度改善 | 電子情報通信学会総合大会, オンライン | オンライン | 2021/3/12 | 慶應義塾大学理工学部 | | R2 |
| 538 | Suzuki K, Niimura H, Kida H, Shikimoto R, Miyasaka Y, Takayama M, Mimura M | The Association between Detailed Cognitive Function Measured by Psychiatrists and Gait Speed among Community-Dwelling Older People. | International Conference on Behavioral, Cognitive and Psychological Sciences (ICBCPS 2020: 14) | Rome, Italy (virtual meeting) | Dec. 10-11, 2020 | | | R2 |
| 539 | Shikimoto R, Niimura H, Kida H, Suzuki K, Miyasaka Y, Mimura M | Cognitive Function and Coping Behavior in the Elderly: A Population-Based Cross-Sectional Study. | International Conference on Behavioral, Cognitive and Psychological Sciences (ICBCPS 2020: 14) | Rome, Italy (virtual meeting) | Dec. 10-11, 2020 | | | R2 |
| 540 | 佐藤理子、梅津英典、橋本峻、相澤知美、渡邊祥二郎、津川浩二、今泉忠淳、田中完 | 抗マラリア薬はヒト腎糸球体内皮細胞での Toll 様受容体 3 シグナルを介した炎症性ケモカインの発現を抑制する | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市文化プラザかるぽーと<br>高知市(web) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 541 | 梅津英典、佐藤理子、橋本峻、相澤知美、渡邊祥二郎、津川浩二、田中完、今泉忠淳 | ヒト糸球体上皮細胞におけるToll 様受容体3 シグナルを介したインターロイキン-6 は炎症性ケモカインの発現を抑制する | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市文化プラザかるぽーと<br>高知市(web) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 542 | 橋本峻、梅津英典、佐藤理子、相澤知美、渡邊祥二郎、津川浩二、田中完、今泉忠淳 | Expression of IFN-induced transmembrane protein 1 in glomerular endothelial cells | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市文化プラザかるぽーと<br>高知市(web) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 543 | 渡邊祥二郎、唐沢貴生、梅津英典、橋本峻、佐藤理子、藤田真司、相澤知美、津川浩二、田中完、今泉忠淳 | SMPDL3bはヒト podocyteのTLR3シグナルを調整する | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市文化プラザかるぽーと<br>高知市(web) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 544 | 川口章吾、櫻庭裕丈、菊池英純、平賀寛人、今泉忠淳、福田眞作 | 非アルコール性脂肪性肝炎の病態におけるMDA5の関与 | 第58回日本消化器免疫学会総会 | 京都ホテルオークラ<br>京都市(WEB) | 2021/7/2 | 弘前大学 | | R3 |
| 545 | 丁江麗、松宮朋穂、川口章吾、瀬谷和彦、今泉忠淳<br>三沢市 | TMEM72 の細胞内局在に関する検討 | 第104回弘前医学会総会 | きざん三沢<br>三沢市 | 2021/6/5 | 弘前大学 | | R3 |
| 546 | 橋本峻、今泉忠淳、渡邊祥二郎、田中完、照井君典 | 腎糸球体血管内皮細胞における IFITM1 の発現 | 第158回弘前医学会例会 | 弘前大学<br>弘前市 | 2021/1/22 | 弘前大学 | | R3 |
| 547 | 于在強、劉旭、大徳和之、松宮朋穂、今泉忠淳、福田幾夫、瀬谷和彦 | 大動脈弁狭窄症の弁石灰化に寄与する大動脈弁間質細胞の性状解析 | 第158回弘前医学会例会 | 弘前大学<br>弘前市 | 2021/1/22 | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 548 | Tomoya Kon, Fumiaki Mori, Hidekachi Kurotaki, Masahiko Tomiyama, Koichi Wakabayashi | Immunohistochemical study of anterior horn cells in patients with amyotrophic lateral sclerosis of short disease duration | 第62回日本神経病理学会 | 東京（オンライン開催） | 2021/5/27-29 | 弘前大学 | | R3 |
| 549 | Yasuo Miki, Eiki Tsushima, Koichi Wakabayashi, Thomas T Warner, Niall Quinn, Janice L Holton, Helen Ling | Clinical pointers to help identify multiple system atrophy mimicking Parkinson's disease or progressive supranuclear palsy | 第62回日本神経病理学会 | 東京（オンライン開催） | 2021/5/27-29 | 弘前大学 | | R3 |
| 550 | Fumiaki Mori, Yasuo Miki1, Kunikazu Tanji, Tomoya Kon, Masahiko Tomiyama, Akiyoshi Kakita, Koichi Wakabayashi1 | Vesicular structures are associated with aggregation of alpha-synuclein in multiple system atrophy | 第62回日本神経病理学会 | 東京（オンライン開催） | 2021/5/27-29 | 弘前大学 | | R3 |
| 551 | Kunikazu Tanji, Yasuo Miki, Fumiaki Mori, Akiyoshi Kakita, Koichi Wakabayashi | Co-localization of phosphorylated tau and phosphorylated alpha-synuclein in multiple system atrophy model mice | 第62回日本神経病理学会 | 東京（オンライン開催） | 2021/5/27-29 | 弘前大学 | | R3 |
| 552 | 中根明夫 | フィルター付き紫外線222 nmによる細菌・ウイルス不活性効果 | 第95回日本感染症学会学術講演会・第69回日本化学療法学会総会 合同学会 | パシフィコ横浜横浜市（Web） | 2021/5/7 | 弘前大学 | | R3 |
| 553 | 村下公一 | ニューノーマル時代の未来型ヘルスケアサービス（DX）戦略 ―健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステムの追求 | 第62回日本人間ドック学会学術大会 | Web配信 | 2021/9/10-24 | 弘前大学 | | R3 |
| 554 | 村下公一 | 健康ビックデータをベースとした新QOL健診モデル | 第62回日本人間ドック学会学術大会 | Web配信 | 2021/9/10-24 | 弘前大学 | | R3 |
| 555 | 斉藤まなぶ、三上珠希、町田徳子、牧野祥諒、佐藤龍太、鳴海悦子 | 青森県発達障害専門医療機関初診待機解消モデル事業の効果検証 | 第22回東北児童青年精神医学会 | online | 2021/7/4 | 弘前大学 | | R3 |
| 556 | 森裕幸、髙橋芳雄、足立匡基、廣田智也、新川広樹、中村和彦 | 小中学生におけるソーシャル・キャピタルと抑うつ、QoLとの関係 | 第22回東北児童青年精神医学会 | online | 2021/7/4 | 弘前大学 | | R3 |
| 557 | 足立匡基 | 特別セッション<br>「災禍を生きる子供たちんの現状～各県からの報告」<br>弘前市内公立小中学校に通う児童生徒の心の健康に対する新型コロナウイルス感染拡大の影響について | 第22回東北児童青年精神医学会 | online | 2021/7/4 | 弘前大学 | | R3 |
| 558 | 新川広樹 | シンポジウム「教育現場における認知行動療法の実践的活用における最近の展開」【話題提供】高等支援学校における集団ソーシャルスキルトレーニング（CSST）の実践 | 日本教育心理学会第63回大会 | online | 2021/8/21 | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 559 | 杉村嘉邦、神田晃、大石秀樹、立林悟、Kyi Mar Wai、沢田かほり、村下公一、中路重之、井原一成 | 美容要素を加えた生活習慣行動変容プログラムの効果 体型補正下着着用と運動の影響 | 第80回日本公衆衛生学会総会 | 京王プラザホテル（12/21-22）、東京大学伊藤国際学術研究センター（12/23） | 2021/12/21-23 | 弘前大学大学院医学研究科フローラ健康科学講座、弘前大学大学院医学研究科健康と美医科学講座、アツギ株式会社商品部技術開発グループ、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座、弘前 | | R3 |
| 560 | 立林悟、神田晃、大石秀樹、杉村嘉邦、沢田かほり、Kyi Mar Wai、村下公一、中路重之、井原一成 | 美容要素を加えた生活習慣行動変容プログラムの効果2 体型認知と体型イメージ | 第80回日本公衆衛生学会総会 | 京王プラザホテル（12/21-22）、東京大学伊藤国際学術研究センター（12/23） | 2021/12/21-23 | アツギ株式会社商品部技術開発グループ、弘前大学大学院医学研究科健康と美医科学講座、弘前大学大学院医学研究科フローラ健康科学講座、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座、弘前 | | R3 |
| 561 | 樋口由起子、中村琢哉、横田直喜、加藤大策、橋田和己、Kyi Mar Wai、杉村嘉邦、神田晃、井原一成、中路重之 | （弘前COI研究）生命保険会社の営業職員による顧客を対象とした未病教育・改善プログラムの開発に関するパイロットスタディ | 第29回日本健康教育学学術大会 | 青森県立保健大学 | 2021/9/11-12 | 弘前大学大学院医学研究科、株式会社明治安田総合研究所、明治安田生命保険相互会社 | 2-b-9 | R3 |
| 562 | 神田晃、沢田かほり、田名部麻野、大庭輝、井原一成 | 中高齢者における無気力は高次の活動能力に関係するか | 第32回日本老年医学会東北地方会 | オンライン開催（東北医科薬科大学医学部地域医療学教室） | 2021/10/30 | 弘前大学大学院医学研究科健康と美医科学講座、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座、弘前大学大学院保健学研究科 | | R3 |
| 563 | 上村鋼平 | 弘前大学COI健診データを用いたロコモ度の関連因子の分析 | 日本疫学会 | 千葉 | 2022/1/26-29 | 東京大学 | 1-a | R3 |
| 564 | 有澤和代・神里彩子 | オープンデータに関する一般市民の意識調査 | 第33回日本生命倫理学会年次大会 | オンライン | 2021/11/27～28 | 東京大学医科学研究所 | 一般B08 | R3 |
| 565 | 大城真理子 | 実践的インフォームド・コンセント教育の試み—コロナ禍における学生実習— | 第47回日本診療情報管理学会学術大会 | Web（オンデマンド配信） | 2021/10/7-2021/11/6 | 名桜大学 | | R3 |
| 566 | 清水直、三村純正、葛西秋宅、山嵜博美、伊東健 | Nrf2転写調節ネットワークを介したアルツハイマー病の予防戦略 | 第94回日本生化学会 | オンライン | 2021/11/3 | カゴメ（株）、弘前大学 | 2-a-1 | R3 |
| 567 | Sunao Shimizu, Junsei Mimura,Takanori Hasegawa, Eigo Shimizu, Seiya Imoto, Michiko Tsushima, Shuya Kasai, Hiromi Yamazaki, Yusuke Ushida, Hiroyuki Suganuma, Hirofumi Tomita, Masayuki Yamamoto, Shigeyuki Nakaji, Ken | シンポジウム4「酸化ストレスの基礎研究より抗加齢医学を考える」 | 第21回日本抗加齢医学会 | 国立京都国際会館およびオンライン | 2021/6/25 | カゴメ（株）、弘前大学、東京大学 | 2-a-1 | R3 |
| 568 | 伊東健、清水直、牛田悠介、菅沼大行 | Prevention of age-related degenerative disease by Nrf2-based early intervention（シンポジウムテーマ：抗酸化研究の新展開） | 日本農芸化学会2021年度大会 | オンライン | 2021/3/19 | 弘前大学、カゴメ（株） | 2-a-1 | R3 |
| 569 | 大里直樹 | 内臓脂肪の蓄積と相関する腸内細菌種の発見 | 第25回腸内細菌学会学術集会 | 東京都、タワーホール船堀、Web | 2021/6/1-2 | 花王（株）、弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 570 | 前多隼人・柴田真樹・大里直樹・森建太・木下佳大・片嶋充弘・桂木能久・中路重之 | Blautia hansenii 投与による内臓脂肪低下作用 | 第60回日本油化学会年会 | 岐阜大学、Web | 2021/9/6-11 | 弘前大学、花王（株） | | R3 |
| 571 | 坪川雅哉 | 加齢に伴い低下する自律神経機能（心拍変動）とメタボリックシンドローム関連因子の関係 | 第21回日本抗加齢医学会総会 | WEB | 2021/6/26 | 弘前大学<br>(株)ファンケル | 1-b-20 | R3 |
| 572 | 坪川雅哉 | 日本の一般住民におけるQuality of Life と糖化マーカーの関連 | 第23回糖化ストレス研究会 | WEB | 2021/8/28 | 弘前大学<br>(株)ファンケル | 1-b-20 | R3 |
| 573 | 清水目 奈美1)、工藤玲子1)、小濱佑介2)、川端由子3)、川端二功4)、實松敬介3,5)、高井信吾3)、山添淳一6)、重村憲徳3,5)、宮崎明子2)、田口大夢2)、平尾宜司2)、山本佳弘2)、後藤真一1)、佐々木亮1)、松原篤1) | 一般地域住民を対象とした味覚に関する検討-2019年度岩木健康増進プロジェクトの結果から- | 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 | 京都 | 2021/5/14 | 1)弘前大学耳鼻咽喉科<br>2)ハウス食品グループ本社株式会社<br>3)九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析<br>4)弘前大学農学生命科学部<br>5)九州大学五感応用デバイス研究開発センター<br>6)九州大学大学院歯学研究院口腔医療連携 | | R3 |
| 574 | 清水目 奈美1)、工藤玲子1)、小濱佑介2)、川端由子3)、川端二功4)、實松敬介3,5)、高井信吾3)、山添淳一6)、重村憲徳3,5)、宮崎明子2)、田口大夢2)、平尾宜司2)、山本佳弘2)、後藤真一1)、佐々木亮1)、松原篤1) | 一般地域住民を対象とした味覚に関する検討-2019年度岩木健康増進プロジェクトの結果から- | 第69回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会 | 福島 | 2021/7/17～18 | 1)弘前大学耳鼻咽喉科<br>2)ハウス食品グループ本社株式会社<br>3)九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析<br>4)弘前大学農学生命科学部<br>5)九州大学五感応用デバイス研究開発センター<br>6)九州大学大学院歯学研究院口腔医療連携 | | R3 |
| 575 | 成本迅 | 認知症のある消費者への支援について | 第17回消費者契約に関する検討会 | オンライン開催 | 2021/5/14 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 576 | 樋山雅美 | 高齢者の購買行動と認知機能の関連の検討 | 日本老年行動科学会第23回大会 | オンライン開催 | 2021/9/5 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 577 | Matsuyama Yuki | Epidemipological study for Dupuytren's contracture in a Japanese population-based cohort -Wakayama Health Promotion Study- | 41st SICOT Orthopaedic World Congress | Budapest, Hungary.<br>(Web) | 2021/9/15 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 578 | 松山雄樹 | 本邦におけるDupuytren拘縮の有病率の解明 -Wakayama Health Promotion Study- | 第64回日本手外科学会学術集会 | 長崎県長崎市（Web発表） | 2021/4/22 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 579 | 下江隆司 | 日本人一般住民におけるエクオール産生能調査 -Wakayama Health Promotion Study- | 第64回日本手外科学会学術集会 | 長崎県長崎市（Web発表） | 2021/4/22 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 580 | 橋爪洋 | 慢性腰痛と中枢性感作は関連するか? Wakayama Health Promotion Study | 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会 | 京都府京都市（Web発表） | 2021/4/22 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 581 | 中山摩希子 | 地域在住中高年者における血清尿酸値と動脈スティフネスの関連 | 第9回臨床高血圧フォーラム | 大阪府豊中市（誌上発表） | 2021/5/15 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 582 | 植田響子 | baPWVと降圧薬の関連について、高血圧重症化予防を目的とする地域保健指導の検討から | 第9回臨床高血圧フォーラム | 大阪府豊中市（誌上発表） | 2021/5/15 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 583 | 田中七生 | 高血圧ゼロの町「高野町」プロジェクトの現状 | 第9回臨床高血圧フォーラム | 大阪府豊中市（誌上発表） | 2021/5/15 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 584 | 橋爪洋 | 慢性腰痛と中枢性感作は関連するか？ Wakayama Health Promotion Study | 第94回日本整形外科学会学術総会 | 東京都千代田区（Web発表） | 2021/5/20 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 585 | 木下あずな | 高齢高血圧者における起立性低血圧と骨格筋量の関連 | 第57回日本循環器病予防学会学術集会 | 愛知県名古屋市（Web発表） | 2021/5/28 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 586 | 橋爪洋 | 慢性腰痛と中枢性感作の関連 Wakayama Health Promotion Study | 2021 AO Spine Japan Conference/Congress | 神奈川県川崎市（Web発表） | 2021/8/28 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 587 | 下江隆司 | 一般住民健診によるエクオール産生能の調査 Wakayama Health Promotion Study | 第36回日本整形外科学会基礎学術集会 | 三重県伊勢市（Web発表） | 2021/10/14 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 588 | 張 岩 | 中学生における尿中Na/K比高値が血圧に及ぼす単独および肥満との複合影響 | 日本学校保健学会第67回学術大会 | 愛知県日進市（Web発表） | 2021/11/5 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 589 | 宮井信行 | 中学生の塩分摂取量の評価のための簡易チェックシートの作成 | 日本学校保健学会第67回学術大会 | 愛知県日進市（Web発表） | 2021/11/5 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 590 | 寺田和史 | 中学生のアジリティと各体力要素との関係 | 日本学校保健学会第67回学術大会 | 愛知県日進市（Web発表） | 2021/11/5 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 591 | 木下あずな | 高齢高血圧者における起立性低血圧と骨格筋量および自律神経機能との関連 | 第33回血圧管理研究会 | 京都府京都市（Web発表） | 2021/11/27 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 592 | 森下美佳 | 地域在住高齢者におけるうつ症状と社会関連性との関連 ―前期高齢者と後期高齢者の比較― | 第32回日本医学看護学教育学会学術学会 | 山口県宇部市 | 2022/3/5 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 593 | 坪川雅哉 | 自律神経機能（心拍変動）と腸内細菌叢の関係 | 日本疫学会第32回学術総会 | WEB | 1/26-1/28 | 弘前大学<br>(株)ファンケル | 1-b-20 | R3 |
| 594 | 的場聖明 | 「腸内細菌と長寿、全身疾患との関連」 | 第43回アーユルヴェーダ学会 | | 2021/9/25 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 595 | 的場聖明 | 「心臓の長期機能維持を目指すミトコンドリアのエネルギー代謝とクオリティコントロール」 | 第31回　日本循環器薬理学会 | | 2021/12/3 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 596 | 安田剛士, 高木智久, 橋本光, 菅谷武史, 梶原真理子, 東祐圭, 北江博晃, 鳥井貴司, 鎌田和浩, 内山和彦, 井上亮, 内藤裕二, 伊藤義人. | 京都府京丹後地域における高齢者の身体機能と腸内細菌叢 | 第25 回腸内細菌学会学術集会 | （Hybrid開催） | 2021.6.1；東京 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 597 | 髙木智久 | ランチョンセミナー7.サルコペニアにおける腸内細菌叢・食習慣の解析. | 第21回日本抗加齢医学会総会 | （Hybrid開催） | 2021.6.25；京都 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 598 | 髙木智久、安田剛士、井上亮、内藤裕二 | 会長特別企画 なんでものみこむシンポジウム3『マイクロバイオームが制御する抗加齢医学』食文化と腸内細菌叢 -健康長寿の秘訣を探る-. | 第21回日本抗加齢医学会総会 | （Hybrid開催） | 2021.6.27；京都 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 599 | 髙木智久 | 長寿コホート研究からみえてきた腸内細菌叢と食文化～酪酸産生菌のパワー～ | 日本抗加齢医学会専門医・指導士認定委員会講習会（指導士編） | （Hybrid開催） | 2021.10.24；大阪 | 京都府立医科大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 600 | 安田剛士、高木智久、内藤裕二 | 統合プログラム5（PD)「消化器診療におけるサルコペニアの意義」サルコペニアにおける腸内細菌叢・食習慣の解析. | 第29回日本消化器関連学会週間（JDDW2021） | （Hybrid開催） | 2021.11.4-7（6日）；神戸 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 601 | 高木智久 | 見えてきた日本人腸内細菌叢の特徴 | ビオフェルミンwebセミナー） | web開催 | 2021.11.16；大阪 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 602 | 高木智久、内藤裕二、安田剛士、井上亮、水島かつら、内山和彦、的場聖明 | シンポジウム5「サルコペニア・フレイルと機能性食品」サルコペニアにおける腸内細菌叢・食習慣の解析 | 第19回日本機能性食品医用学会総会 | web開催 | 2021.12.12； | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 603 | 石坂秀壮, 山本幸平, 大槻知明 | LSTMよる波形再構成に基づく非接触血圧推定法の精度改善 | 電子情報通信学会総合大会, オンライン | オンライン | 2021/3/12 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 604 | 岸本 泰士郎 | AI技術を活用したうつ病症状の定量化 | 第117回日本精神神経学会学術総会 | 国立京都国際会館 | 2021/9/21 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 605 | 岸本 泰士郎 | オンライン診療や遠隔モニタリングを活用した近未来の精神科医療の展望：臨床研究のレビューを中心に | 第117回日本精神神経学会学術総会 | 国立京都国際会館 | 2021/9/20 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 606 | 岸本 泰士郎 | 本俸におけるオンライン診療導入経過とエビデンス | 第45回日本神経心理学会学術集会 | 日本教育会館 | 2021/10/1 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 607 | Taro Asada | Music Recommendation System Driven by Facial Expression Recognition | International Conference on Artificial Life and Robotics | On line | 2022/1/23 | 京都府立大学 | | R3 |
| 608 | Nahoko Kusaka, Yoshimichi Suemune, Atsuko Shimomura, Yuki Miyashita, Takanori Nakatsuji, and Nobuyuki Uneda | Joint Robot Programming for Multi-Generational Interaction | 32nd International Congress of Psychology | Online/Prague, Czech Republic | 2021/7/21 | 同志社女子大学 | | R3 |
| 609 | Kohei Takizawa, Noriya Uedo, Takuji Gotoda Takuji Akamatsu Hisashi Doyama Osamu Dohi Koichi Kawabe Shoichi Kayabe Yoshimasa Miura Hiroya Mizutani Haruhisa Suzuki Satoshi Ono | Continuation of low dose aspirin during peri-gastric endoscopic submucosal dissection period and increased bleeding risk: a randomized non-inferiority trial | APDW2021 | Kuala Lumpur | 2021/8/19-22 | 弘前大学 | | R3 |
| 610 | 中村和彦、斉藤まなぶ、足立匡基 | シンポジウム「子どものこころの臨床に関する現状と課題」<br>・5歳児発達健診と学校コホートの試み | 第48回日本脳科学会 | 浜松市 | 2021/12/4 | | | R3 |
| 611 | 斉藤まなぶ | シンポジウム2<br>DCD児の健診・診察・支援のポイント<br>「乳幼児期のDCD児の診察について（仮題））」 | 第5回日本DCD学会学術集会 | online | 2021/4/23-24 | 弘前大学 | | R3 |
| 612 | 川口章吾、丁江麗、唐沢貴生、瀬谷和彦、櫻庭裕丈、福田眞作、今泉忠淳 | 非アルコール性脂肪性肝疾患の病態における melanoma differentiation-associated protein 5 (MDA5) の関与 | 第159 回弘前医学会例会 | 弘前市 | 2022/1/21 | 弘前大学 | | R3 |
| 613 | 今泉忠淳 | 脳微小血管内皮細胞における抗ウイルス応答：Zinc finger antiviral protein (ZAP) の意義 | 第17回臨床糖鎖研究会 | 弘前市 | 2022/3/3 | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 614 | 伊東健 | Nrf2 シグナルを基盤とした抗加齢医学の展望 | 第21回抗加齢医学会 | 国立京都国際会館 | 2011/6/25-27 | 弘前大学 | | R3 |
| 615 | 下山修司、藤井萌加、古川智範、上野伸哉 | GABAA受容体β3サブユニットのリン酸化が細胞内分布に及ぼす影響 | 第44回日本神経科学大会/CJK第1回国際会議 | 神戸市（Hybrid） | 2021/7/28-31 | 弘前大学 | | R3 |
| 616 | Krisana Asano | Induction of IgE-mediated hypersensitivity by membrane vesicles derived from Staphylococcus aureus | 第50回日本免疫学会総会ワークショップ | 奈良市 | 2021/12/10 | 弘前大学 | | R3 |
| 617 | 小野幸輝, 木村和都, 田中皓大, 永井崇雅, 吉田健 山田勝也 | L-グルコースを用いた新規抗がん剤の開発戦略 | 第53回東北生理談話会 | 弘前大学 Web開催 | 2021/11/20 | 弘前大学 | | R3 |
| 618 | 葛西秋宅 | GCN1によるリボソームを起点としたストレス応答制御 | 第94回日本生化学会大会 | WEB開催 | 2011/11/3-5 | 弘前大学 | | R3 |
| 619 | 平尾航、三村純正、伊東健 | オリゴマイシンは統合的ストレス応答経路を介して細胞増殖を抑制する | 第94回日本生化学会大会 | WEB開催 | 2011/11/3-5 | 弘前大学 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑫-2　発表（ポスター発表）**

| No | 発表者 | タイトル | 学会名等 | 場所 | 年月日 | 発表機関（参画機関のみ） | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Kawarabayashi T, Nakata T, Wakasaya Y, Nakahata N, Oono H, Matsubara E, Shoji M, Accumulation of Aß oligomers and prion and impaied signal transduction in lipid rafts. Neuroscience 2013, the Society for Neuroscience, 43th Annual Meeting, San Diego, Nov 9-13, 2013 | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 2 | Migita K, Yamada J, Nikaido Y, Ueno S. The intracellular domain of the P2X7 receptor subunit participates in currentfacilitation and receptor kinetics. Neuroscience2013, SanDiego, Nov9 -Nov13, 2014. | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 3 | Ye P, Mimura J, Itoh K. The mechanism of human xCT gene induction by proteasome inhibitors. 17th Bennial Meeting of Society for Free Radical Research International, Kyoto, Mar 23-Mar 26, 2014. | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 4 | Mimura J, Maruyama A, Kosaka K, Itoh K. Activation of ATF4 signaling pathway by carnosic acid. 17th Bennial Meeting of Society for Free Radical Research International, Kyoto, Mar 23-Mar 26, 2014. | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 5 | Liu T, Kimura S, Yamazaki H, Maruyama A, Nishikawa K, Harada N, Mimura J, Yamamoto M, Itoh K. | | | | | 弘前大学 | | H25 |
| 6 | 洪志勲, 大槻知明 | “アレーセンサを用いたデバイスフリー屋内位置推定,” | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会, 信学技報ASN2013-95, pp. 35-39 | 機械振興会館 | 41606 | 慶應義塾大学 | | H25 |
| 7 | 洪志勲, 大槻知明 | アレーアンテナを活用したセンシング | 電子情報通信学会宇宙・航行エレクトロニクス研究会,信学技報SANE2013-112, pp.31-36 | 日本工業大学 | 41628 | 慶應義塾大学 | | H25 |
| 8 | 洪志勲, 大槻知明, 加藤直行, 田窪伸哉 | アレーセンサを用いた転倒検知 | 2013年電子情報通信学会総合大会, B-18-4 | 新潟大学 | 41716 | 慶應義塾大学 | | H25 |
| 9 | Hu D-L, Okamura Masashi, Ono HK, Nakane A, Imanishi K-I. Elucidation of biological chraracteristics and emetic activities of newly identified staphylococcal enterotoxins. International Union of Microbiological Societies. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 10 | Asano K, Nakane A. Contribution of toxic shock syndrome toxin-1 on autophagy and Staphylococcus aureus persistence. International Symposium on Staphylococci & Staphylococcal Infections. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 11 | Narita K, Hu D-L, Asano K, Nakane A. Vaccination with nontoxic toxic shock syndrome toxin-1 induces IL-17-dependent bystander protection against different infections. International Symposium on Staphylococci & Staphylococcal Infections. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 12 | Ono HK, Sato’o Y, Naito I, Hisatsune J, Omoe K, Sugai M, Nakane A. Identification and characterization of a novel staphylococcal emetic toxin encoded in Staphylococcus aureus core genome. International Symposium on Staphylococci & Staphylococcal Infections. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 13 | Asano K, Nakane A. Adipose tissue-derived stem cells attenuate staphylococcal enterotoxin-induced toxic shock. Hirosaki International Symposium on Tlansplant. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 14 | Xing F, Matsumiya T, Hayakari R, Yoshida H, Imaizumi T. Double-stranded RNA induces the expression of type I interferon-stimulated genes 54 and 56 in human astrocyte cell line. 12th International Congress of Neuroimmunology. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 15 | Hayakari R, Matsumiya T, Xing F, Yoshida H, Imaizumi T. IFN-indepdndent regulation of RIG-I expression inantiviral innate immunity. Hirosaki International symposium of transplantation 2014. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 16 | Fei Xing、松宮朋穂、早狩亮、吉田秀見、今泉忠淳. Involvement of IKK• in type I Interferon-independent phosphorylation of STAT1 in response to double-stranded RNA. 第87回日本生化学会大会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 17 | Kon T, Miki Y, Tanji K, Mori F, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K. Immunohistochemical localization of neuron derived orphan receptor-1 in neurodegenerative diseases. The 18th International Congress of Neuropathology. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 18 | Miki Y, Mori F, Kon T, Tanji K, Wakabayashi K. Involvement of the sigma-1 receptor in neuronal nuclear aggregates in mutant Huntingtin induced cells. The 18th International Congress of Neuropathology. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 19 | Tanji K, Miki Y, Kon T, Mori F, Wakabayashi K. The effect of disaccharide, trehalose, on the formation of alpha-synuclein-positive inclusions. The 18th International Congress of Neuropathology. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 20 | Maruyama A, Mimura J, Itoh K. Functional role of eRNAs derived from human HO-1 enhancer regions for HO-1 gene induction. IIAS Research Confernce 2014 “Chromatin Decoding”. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 21 | Mimura J, Yoshida H, Kosaka K, Itoh K. Nrf2 regulates NGF mRNA expression in human glioma cells and normal human astrocytes. The 2014 Alzheimer’s Disease Congress. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 22 | Maruyama A, Itoh K. Enhancer RNA derived from human HO-1 E2 enhancer region is required for HO-1 gene induction. 8th International Conference on Heme Oxygenases, BioIron & Oxidative Stress. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 23 | Maruyama A, Itoh K. Regulation of oxidative stress-responsive HO-1 expression by enhancer-derived non-coding RNAs. Hirosaki International Symposium on Transplant 2014. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 24 | Maruyama A, Itoh K. Emerging role of enhancer RNA in human HO-1 gene induction. 37th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 25 | Tahara, T, Akiyama, K, Takahashi, T, Hosaka, N., Otsuka, Y, Yamamoto, T Yamamoto, T, Sasaki, A, Yamada, K, Onoe, H. Positron and fluorescence labeled glucose analogue for multi-dimensional molecular imaging. The 7th Annual Meeting for the World Molecular Imaging Congress 2014. | | | | | 弘前大学 | | H26 |
| 26 | 長友克広、菅世智子、山本欣郎、山田勝也、成熟マウス脳アストロサイトの領域特異的ドーパミン受容体発現. 第37回日本神経科学大会. | | | | | 弘前大学 | | H26 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 27 | Yamada, K, Masamoto, K. Vessel Specific Imaging of Glucose Transfer with Fluorescent Glucose Analogue in Anesthetized Mouse Cortex. The 42nd Meeting of International Society on Oxygen Transport to Tissue. | 弘前大学 | | H26 |
| 28 | 二階堂義和、下山修司、尾崎拓、右田啓介、柴祐子、古川智範、山田順子、兼松隆、平田雅人、中村和彦、上野伸哉. 繰返し拘束ストレスに対するPRIP-1ノックアウトマウスの行動反応. 第37回日本神経科学大会. | 弘前大学 | | H26 |
| 29 | Shoji T, Miura T, Takano-Ishikawa Y, Ozaki Y. Metabolomic Approaches for The Discovery of Biomarkers of Apple Procyanidins in Rat Urine by Liquid Chromatography-Quadrupole Time-of-fright/Mass Spectrometry (LC-QTOF/MS). International Conference of Polyphenol 2014. | 弘前大学 | | H26 |
| 30 | Fujishima Y, Nakata A, Miura T, Tazoe H, Toyoda T, Kasai K, Ariyoshi K, Yamada M, Konno N, Yoshida MA. Radiation dosimetry for the internal exposure of the cats in Namie-Town. 1st educational symposium on radiation and health by young scientists (ESRAH) 2014. | 弘前大学 | | H26 |
| 31 | 三浦富智、阿部悠、中田章史、葛西宏介、吉田光明. ヒト末梢血ex vivo部分照射モデルにおけるCell-cycle Progression Indexの有用性評価. 日本放射線影響学会 第57回大会. | 弘前大学 | | H26 |
| 32 | Yasui-furukori N, Kubo K, Ishioka M, Tsuchimine S, Inoue Y, Nakamura K. Interaction between paliperidone and car-bamazepine. 第29回国際精神神経薬理学会議. | 弘前大学 | | H26 |
| 33 | Ishioka M, Yasui-Furukori N, Sugawara N, Furukori H, Kudou S, Nakamura K. Hyperprolactinemia during antipsychotics treatment has a risk of venous thromboembolism. 第29回国際精神神経薬理学会議. | 弘前大学 | | H26 |
| 34 | 敦賀光嗣、菅原典夫、古郡規雄、高橋一平、土嶺章子、大里絢子、中路重之、中村和彦. 本邦地域住民における血清アミロイドβと抑うつ症状の関連について. 第11回日本うつ病学会総会. | 弘前大学 | | H26 |
| 35 | Kawarabayashi T, Nakata T, Wakasaya Y, Nakamura T, Nakahata N, Shoji M, Aß oligomers and prion in lipid rafts. Alzheimer's Association International Conference 2014. | 弘前大学 | | H26 |
| 36 | 仲田崇、瓦林毅、若佐谷保仁、中村巧美、東海林幹夫. 進行性失語Primary Progressive Aphasiaの亜型分類に基づいた臨床的検討. 第55回日本神経学会学術大会. | 弘前大学 | | H26 |
| 37 | 瓦林毅、中村琢洋、仲田崇、若佐谷保仁、中畑直子、東海林幹夫. Aß oligomerはlipid raftsでprionと結合して信号伝達系を障害する. 第33回日本認知症学会. | 弘前大学 | | H26 |
| 38 | Fujishima Y, Nakata A, Miura T, Tazoe H, Toyoda T, Kasai K, Ariyoshi K, Yamada K, Konno N, Yoshida MA. Dosimetry for The Internal Exposure of The Cats in Namie-town (poster presentation). 2nd educational symposium on radiation and health by young scientists (ESRAH) 2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 39 | Fujishima Y, Nakata A, Miura T, Tazoe H, Toyoda T, Kasai K, Ariyoshi K, Yamada M, Konno N, Yoshida MA. Radiation Dosimetry for The Internal Exposure of The Cats in Namie-town (poster presentation). The 15th International Congress of Radiation Research (ICRR 2015). | 弘前大学 | | H27 |
| 40 | Nakata A, Fujishima Y, Ujiie R, Kasai K, Tazoe H, Ariyoshi K, Saito M, Suzuki K, Yamada M, Miura T, Yoshida MA, Fukumoto M. Effects of Radioactive Pollution of the Japanese Large Field Mouse (Apodemus specious) in Fukushima (poster presentation). The 15th International Congress of Radiation Research (ICRR 2015). | 弘前大学 | | H27 |
| 41 | Miura T, Abe Y, Nakata A, Kasai K, Yoshida MA. Assessment of Simulated Partial Body Acute Irradiation by Cell-cycle Progression Index in the Premature Chromosome Condensation Assay (poster presentation). The 15th International Congress of Radiation Research (ICRR 2015). | 弘前大学 | | H27 |
| 42 | Nakamura A, Fujishima Y, Fukushi Y, Kitajima M, Monzen A, Miura T, Saito A, Yonezawa T, Suganuma H, Aizawa K, Itaki C, Yoshida MA, Wojcik A, Mariya Y, Haghdoost S. Investigation of the Radioprotective Effect of Tomato Juice Containing Lycopene in Healthy Donors (poster presentation). The 15th International Congress of Radiation Research (ICRR 2015). | 弘前大学 | | H27 |
| 43 | Abe Y, Miura T, Yoshida MA, Ujiie R, Kurosu K, Kato N, Katafuchi A, Tsuyama N, Ohba T, Inamasu T, Shishido F, Noji H, Ogawa K, Yokouchi H, Kanazawa K, Ohsugi J, Suzuki H, Ishikawa T, Kamiya K, Sakai A. Analyses of Dicentric Chromosome Formation and Chromosomal Translocation after a Single CT Scan in Adults (poster presentation). The 15th International Congress of Radiation Research (ICRR 2015). | 弘前大学 | | H27 |
| 44 | Abe Y, Miura T, Yoshida MA, Ujiie R, Kurosu Y, Kato N, Katafuchi A, Tsuyama N, Ohba T, Inamasu T, Shishido F, Noji H, Ogawa K, Yokouchi H, Kanazawa K, Ishida T, Muto S, Ohsugi J, Suzuki H, Ishikawa T, Kamiya K, Sakai A. Analyses of dicentric chromosome and chromosomal translocation after a single CT scan in adults (poster presentation). EPR BioDose2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 45 | Miura T, Obayashi A, Yamaguchi Y, Tsutsumi Y, Akitaya Y, Abe Y, Fujishima Y, Nakata A, Ariyoshi K, Yoshida MA. Comparison of the cell-cycle progression index and ring chromosome for dose estimation using simulated human peripheral blood partial-body irradiation in the premature chromosome condensation assay (poster presentation). EPR BioDose2015. | 弘前大学 | | H27 |
| 46 | Masumoto S, Terao A, Mukai T, Miura T, Shoji T. Low bioavailable polymeric procyanidins from apples alleviates lipids metabolism in C57BL/6J mice fed Western diet (poster presentation). The 7th International Conference on Polyphenol and Health (ICPH). | 弘前大学 | | H27 |
| 47 | Shoji T, Masumoto S, Terao A, Mukai T, Miura T. Metabolomics of polymeric procyanidins in C57BL/6J mice fed Western diet by Liquid Chromatography-Quadrupole Time-of-fright/Mass Spectrometry (LC-QTOF/MS) (poster presentation). The 7th International Conference on Polyphenol and Health (ICPH). | 弘前大学 | | H27 |
| 48 | Kinoshita M, Kato R, Isa K, Kobayashi K, Onoe H, Isa T. Pulvinar inactivation impairs the visually guided saccade in the blindsight monkeys. The 45th Annual Meeting of Society for Neuroscience. | 弘前大学 | | H27 |
| 49 | Kinoshita M, Kato R, Isa K, Kobayashi K, Onoe H, Isa T. Pulvinar inactivation impairs performance of the visually guided saccade in the blindsight monkeys. 第38回日本神経科学大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 50 | Isa T, Kinoshita M, Kato R, Kobayashi K, Onoe H. Dissecting the circuit for blindsight in macaque monkeys. Cell Symposia: Engineering the Brain: Technologies for Neurobiological Applications. | 弘前大学 | | H27 |
| 51 | Hirose S, Asano K, Nakane A. Proteoglycan-supplementation in drinking water suppressed elevation of the blood glucose level in high-fat diet induced obese mice. 12th Asian Congress of Nutrition. | 弘前大学 | | H27 |
| 52 | 長友克広、大塚祐治、山本敏弘、豊島正、山田勝也. "Imaging of human fecal enteric bacteria by fluorescently labeled glucose derivatives."蛍光標識グルコース誘導体を用いたヒト糞便由来腸内細菌のイメージング」第93回日本生理学会大会. | 弘前大学 | | H27 |
| 53 | Otsuka Y, Sasaki A, Teshima T, Yamada K, Yamamoto T. Syntheses of blue fluorescence-emitting D-glucose derivatives via Pd-catalysed C-N coupling. 13th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-13). | 弘前大学 | | H27 |
| 54 | Hayakari R, Matsumiya T, Xing F, Yoshida H, Imaizumi T. IFN-independent RIG-I expression is regulated by IRF-3 in response to dsRNA. The 115th General Meeting of the American Society for Microbiology. | 弘前大学 | | H27 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 55 | Mimura J, Kosaka K, Itoh K. Carnosic acid transcriptionally induces genes related to glutathione synthesis by the concomitant activation of ATF4 and Nrf2. ISANH Antioxidant World Congress. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 56 | Yamazaki H, Itoh K. SCREENING OF MITOPHAGY INDUCERS IN HELA CELLS. The 6th World Congress on Targeting Mitochondria. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 57 | 三村純正、丸山敦史、小坂邦男、伊東健. Carnosic acid activates ATF4 signaling pathway. 第38回日本分子生物学会年会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 58 | 丸山敦史、伊東健. エンハンサー由来ノンコーディングRNAによるヒトヘムオキシゲナーゼ−1遺伝子発現制御機構の解析. 第68回日本酸化ストレス学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 59 | Maruyama A, Itoh K. Associated gene regulation by long non-coding RNA transcribed from heme oxygenase-1 E2 enhancer region. BMB2015. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 60 | 二階堂義和、古川智範、古賀浩平、上野伸哉. ラット前帯状皮質は恐怖記憶の想起と消去では左右異なる活動を示す(Social defeat stress induces a cognitive deficit in 5-choice serial reaction time task in rats). 第93回日本生理学会大会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 61 | 古川智範、二階堂義和、右田啓介、下山修司、尾崎拓、古賀浩平、上野伸哉. ラット前帯状皮質は恐怖記憶の想起と消去では左右異なる活動を示す(Asymmetrical activity in rat anterior cingulate cortex in fear expression and extinction). 第93回日本生理学会大会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 62 | 工藤翔太、宮崎雅雄、山下哲郎、尾崎 拓. Identification of ERp57-associated proteins in the mitochondria. 第88回日本生化学会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 63 | 工藤翔太、 宮崎雅雄、 山下哲郎、 尾崎 拓. ミトコンドリアにおける分子シャペロンERp57結合タンパク質の探索. 日本生化学会東北支部第81回例会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 64 | 東海林幹夫. 会長講演 アルツハイマー病研究のこれまでとこれから. 第34回日本認知症学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 65 | Kawarabayashi T, Wakasaya Y, Nakamura T, Nakahata N, Shoji M. Induction of phosphorylated tau in synapse from AD model mice. Neuroscience 2015, the Society for Neuroscience, 45th Annual Meeting. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 66 | 瓦林毅、中村琢洋、仲田崇、若佐谷保仁、中畑直子、東海林幹夫. Aβ oligomerの神経毒性の検討. 第34回日本認知症学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 67 | 中畑直子、中村琢洋、仲田崇、若佐谷保仁、瓦林毅、東海林幹夫. 地域住民におけるもの忘れ検査の取り組み. 第34回日本認知症学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 68 | 若佐谷保仁、中村琢洋、仲田崇、中畑直子、瓦林毅、東海林幹夫. 進行性核上性麻痺の各臨床型における臨床的特徴と治療成績. 第34回日本認知症学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 69 | 仲田崇、瓦林毅、中畑直子、中村琢洋、若佐谷保仁、東海林幹夫. 神経疾患における脳脊髄液および血液バイオマーカーの検討. 第34回日本認知症学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 70 | 中村琢洋、瓦林毅、若佐谷保仁、中畑直子、高橋一平、中路重之、東海林幹夫. 大集団における血液Aβ測定；岩木健康増進プロジェクトを通して. 第34回日本認知症学会学術集会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 71 | 若佐谷保仁、瓦林毅、中村琢洋、仲田崇、中畑直子、東海林幹夫. 進行性核上性麻痺の各臨床型における特徴と治療成績. VAS-COG2015 TOKYO. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 72 | 仲田崇、若佐谷保仁、瓦林毅、中村琢洋、中畑直子、東海林幹夫. 神経疾患診断における脳脊髄液および血漿バイオマーカーの検討. VAS-COG2015 TOKYO. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 73 | 菅原典夫、石岡雅道、土嶺章子、敦賀光嗣、佐藤靖、古郡華子、工藤周平、小田桐元、中神卓、古郡規雄. 統合失調症患者におけるプラセボ対照比較試験への態度. 第111回日本精神神経学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 74 | 桝屋二郎、内山登紀夫、生島浩、黒田美保、野村昴樹、中村志津佳、辻井正次、中村和彦. 福島の子どものメンタルヘルス支援報告. 第111回日本精神神経学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 75 | Saito M, SakamotoY, Kaneda-Osato A, Tanaka M, Masuda T, Takayanagi N, Yasuda S, Kazuhiko N,. Epidemiology of Autism Spectrum Disorder and Attention Deficit Hyperactivity Disorder in a community-based population sample of five-year-old children. 16th INTERNATIONAL ESCAP CONGRESS. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 76 | Yasui-Furukori N, Tsuchimine S, Kaneda A, Nakamura K, Saruwatari J. ABO Blood Type and Personality Traits in Healthy Japanese Subjects (M66 Posters). XXⅢRD World Congress of Psychiatric Genetics. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 77 | 佐藤靖、片貝宏、古郡規雄、伊藤恭加、中村ジェイムス、中村和彦. 統合失調症に対する電気けいれん療法後の再発率に関する検討. 第28回日本総合病院精神医学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 78 | 冨田哲、古郡規雄、岡応樹、清水隆明、長島あや、三橋研人、中村和彦. 透析患者における睡眠障害とその特徴-短期・長期透析患者の比較-. 第28回日本総合病院精神医学会総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 79 | 古郡規雄、土嶺章子、井上義政、猿渡淳二. エスシタロプラムにおける投与量と定常状態血中濃度の直線関係について. 第36回日本臨床薬理学会学術総会. | | | | | 弘前大学 | | H27 |
| 80 | K. Kobayashi and T. Ohtsuki | User Identification Based on Toothbrushing Information Using Three-Axis Accelerometer | UbiComp/ISWC 2015 | Osaka, Japan | 41883 | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 81 | M. Suzuki and T. Ohtsuki | Evaluation of Effects of Audio and Video of Mother on Sense of Security and Communicative Action of Children Staying at Home | IEEE Science and Information Conference 2015 | London, UK | 2015/7/28-30 | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |
| 82 | S. Tomii and T. Ohtsuki, | Heartbeat Detection by Using Doppler Radar with Wavelet Transform Based on Scale Factor Learning | IEEE International Conference on Communications (ICC'2015 | London, UK | 2015/6/8-12 | 慶應義塾大学理工学部 | | H27 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 83 | Y. Hino, J. Hong, and T. Ohtsuki | Activity Recognition Using Array Antenna | IEEE International Conference on Communications (ICC'2015) | London, UK | 2015/6/8-12 | 慶應義塾大学理工学部 | pp. 507-511 | H27 |
| 84 | S. Mashiyama, J. Hong, and T. Ohtsuki | Activity Recognition Using Low Resolution Infrared Array Sensor | IEEE International Conference on Communications (ICC'2015) | London, UK | 2015/6/8-12 | 慶應義塾大学理工学部 | pp. 495-500 | H27 |
| 85 | 江口洋子、岸本泰士郎、北沢桃子、飯干紀代子、成本迅、三村將 | 物忘れ外来受診者に対するテレビ会議システムを用いた神経心理検査の実用性に関する検討 | 第39回高次脳機能障害学会学術総会 | 東京 | 42349 | 慶應義塾大学, 志學館大学, 京都府立医科大学 | | H27 |
| 86 | Iiboshi K, Kato Y , Matsuoka T ,Narumoto J, Eguchi Y, Kishimoto T, Mimura M, Iwamaru H, Awazu K | CAPACITY TEST IN FINANCE ACTIVITIES OF ELDERLY; PRELIMINARY STUDY | International Psychogeriatric Association, 2015 International Meeting | Berlin, Germany | 42292 | 志學館大学, 京都府立医科大学, 慶応義塾大学 | | H27 |
| 87 | Kikuchi T, Terasawa Y, Umeda S, Nishikata S, Watanabe K, OPTIMA-D study group , Kato M | Resting-State Functional Connectivity and Cognitive Behavioral Therapy for Major Depressive Disorders; a preliminary fMRI study | Organization for Human Brain Mapping(OHBM) | HONOLULU Hawaii | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 88 | Kikuchi T, Watanabe K, Tsuboi T, Asami Y, Siu C, Pappadopulos E, Kornstein S, Thase M | Long-term outcomes in treatment of depression with venlafaxine ER 75-225mg/d in the acute and continuation phases (PREVENT study) | 28TH ECNP CONGRESS | Amsterdam | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 89 | 菊地俊暁, 寺澤悠理, 梅田聡, 渡邊衡一郎, 加藤元一郎 | うつ病性障害における安静時fMRIを用いた認知行動療法による脳機能の変化 | 第45回日本神経精神薬理学会, 第37回日本生物学的精神医学会 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 90 | 渡邊衡一郎, Thase M, 菊地俊暁, 坪井貴嗣, 浅見優子, Pappadopulos M, Wajsbrot D, Zhang M, Boucher M, Kornstein S | 反復性大うつ病性障害患者におけるベンラファキシン徐放性製剤75-225 mg/日の長期治療が心理社会的機能に及ぼす影響：PREVENT試験の事後解析 | 第25回臨床精神薬理学会 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | | H27 |
| 91 | 山嵜博未, 叶鵬, 三村純正, 丸山敦史, 伊東健. リボソーム結合性因子GCN1L1はマウス胎生中期以降の発生に必須の役割を果たす, 第69回日本酸化ストレス学会学術集会, 2016年8月30日-8月31日, 仙台国際センター, 仙台. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 92 | 山嵜博未, 叶鵬, 三村純正, 丸山敦史, 伊東健. リボソーム結合性因子GCN1L1はマウス胎生中期以降の発生に必須の役割を果たす, 第89回日本生化学会大会, 2016年9月25日-9月27日, 仙台国際センター/東北大学川内北キャンパス, 仙台. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 93 | 三村純正, 小坂邦男, 丸山敦史, 伊東健. 親電子性物質によるISR活性化, 日本生化学会東北支部第82回例会・シンポジウム, 2016年5月21-22日, 弘前大学医学部, 弘前. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 94 | 三村純正, 伊東健. 酸化ストレス応答におけるNrf2経路とISR経路の関わり, 第69回日本酸化ストレス学会学術集会, 2016年8月30-31日, 仙台国際センター, 仙台. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 95 | Hayakari R, Matsumiya T, Xing F, Yoshida H, Imaizumi T: IRF-3 regulates RIG-I expression in an IFN-independent manner in response to dsRNA. American Society for Microbiology Microbe 2016 June 16-20, 2016 Boston Convention and Exhibition Center, Boston, Massachusetts, USA. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 96 | 吉田秀見、丹治邦和、松宮朋穂、早狩亮、三村純正、伊東健、今泉忠淳　カルノシン酸はアミロイドbの細胞内オリゴマー化抑制により神経細胞毒性を低減する　第82回日本生化学会東北支部例会　2016（平成28年）5月21日　弘前大学医学部コミュニケーションセンター | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 97 | 田原強, 佐々木綾子, 山本敏弘, 山田勝也, 尾上浩隆「蛍光標識L型グルコースを用いた腫瘍イメージング」第11回日本分子イメージング学会・学術集会, 兵庫, May, 28-29, 2016. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 98 | 中本百合江、中村和彦、池田和隆、吉井光信　健常者におけるストレス反応の性差：トランスローケーター（TSPO）、コルチゾール、状態・特性不安検査（STAI）による検討　第46回日本神経精神薬理学会年会(JSNP), Seoul, Korea 2016年7月2日 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 99 | 安田小響、、足立匡基、斉藤まなぶ、大里絢子、吉田恵心、栗林理人、増田貴人、高柳伸哉、田中勝則、中村和彦　短縮版感覚プロファイルを用いた子どもの感覚の特異性と発達障害特性の関連　第57回　日本児童青年精神医学会　2016.10.27-29 岡山市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 100 | 三上美咲、斉藤まなぶ、増田貴人、田中勝則、大里絢子、坂本由唯、吉田恵心、高柳伸哉)、足立匡基、安田小響、栗林理人、中村和彦　発達性協調運動障害への保護者・先生の気づきに関する検討　第57回　日本児童青年精神医学会　2016.10.27-29　岡山市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 101 | 菅原典夫、冨田哲、佐藤靖、古郡華子、橋本浩二郎、藤井学、古郡規雄　うつ病患者自身のプラセボ対照比較試験に対する認識　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 102 | 佐藤靖、冨田哲、古郡規雄、中村和彦　抗うつ薬中止後にけいれん、一過性の脳波異常を生じた若年女性の一症例　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 103 | 土嶺章子、菅原典夫、佐藤靖、井上義政、古郡規雄　ミルタザピン治療がうつ病関連バイオマーカーに与える変化について　第26回日本臨床精神神経薬理学会　2016.11.17-18　大分市 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 104 | 佐藤靖、片貝宏、寺西浩輝、古郡規雄、中村和彦　パルス電気けいれん療法におけるせん妄の要因の検討　第29回日本総合病院精神医学会学術総会（2016.11.25-26）東京 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 105 | 柞木田なつみ、佐藤靖、橋本浩二郎、古郡規雄、中村和彦、西嶌春生　難治性うつ病加療中に認知機能低下を認め、大脳皮質基底核変性症と診断された一例　第29回日本総合病院精神医学会学術総会（2016.11.25-26）東京 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 106 | Norio Yasui-Furukori,Shoko Tsuchimine ,Kazutaka Shimoda,Yoshimasa Inoue　Pharmacogenetics of Escitalopram in Japanese Depressed Patients　The 55th American College of Neuropsychopharmcology (ACNP)2016.12.4-8　Hollywood, Florida | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 107 | Kazuhiko Nakamura, Manabu Saito　Gaze Fixation Patterns in Children With Autism Spectrum Disorder and Typical Development Screening From the Japanese Community Based　5-Year-Old Children　The 55th American College of Neuropsychopharmcology (ACNP)2016.12.4-8　Hollywood, Florida | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 108 | Asano K, Nakane A. Manipulation of autophagy by toxic shock syndrome toxin 1 contributes to Staphylococcus aureus infection.The 13th Korea-Japan International Symposium on Microbiology The K-Hotel, Gyeongju, Korea May 13, 2016. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 109 | Narita K, Hu D-L, Asano K, Nakane A. Vaccination with non-toxic mutant toxic shock syndrome toxin-1 elicits IL-17-dependent protection against Staphylococcus aureus infection.The 13th Korea-Japan International Symposium on Microbiology　The K-Hotel, Gyeongju, Korea May 13, 2016. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 110 | 廣瀬昌平、浅野クリスナ、中根明夫. サケ鼻軟骨抽出プロテオグリカンの感染創治癒促進効果　第70回日本栄養・食糧学会大会武庫川女子大学中央キャンパス　西宮市 May 15, 2016. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 111 | Asano K, Nakane A. Toxic shock syndrome toxin-1 contributes to Staphylococcus aureus infection mediated by autophagy suppression. 17TH International Sytmposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections, Nine Tree Convension Gwanghwamun, Seoul, Aug 30-Sep 2, 2016 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 112 | Narita K, Asano K, Nakane A. Vaccination with *Staphylococcus aureus* fibronection binding domain of Fnbpa induced IL-17A-dependent host defense.17TH International Sytmposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections,　Nine Tree Convension Gwanghwamun, Seoul, Aug 30-Sep 2, 2016 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 113 | Ono HK, Hirose S, Naito I, Sato'o Y, Asano K, Hu DL, Ome K, Nakane A. The emetic activity of staphylococcal enterotoxins, SEK, SEL, SEM, SEN and SEO, in a small emetic animal model, house musk shrew. 17TH International Sytmposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections,　Nine Tree Convension Gwanghwamun, Seoul, Aug 30-Sep 2, 2016. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 114 | Asano K, Narita K, Nakane A. Passive immunization of anti-ActA and anti-listeriolysin O antibodies provides the protective effect against Listeria monocytogenes infection.第45回日本免疫学会総会　沖縄コンベンションセンター　宜野湾市, Dec 5-7, 2016 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 115 | Asano K, Nakane A. Role of toxic shock syndrome toxin-1 on cervical and skin infections of Staphylococcus aureus. 第90回日本細菌学会総会 仙台国際センター 仙台市, March 19-21.4 | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 116 | Narita K, Nakane A. Investigation of UV-C (222 nm) irradiation in bactericidal activity and side effect on mouse skin. 第90回日本細菌学会総会 仙台国際センター 仙台市, March 19-21. | | | | | 弘前大学 | | H28 |
| 117 | 江口洋子, 堀田章悟, 三村將 | 詐欺脆弱性に対して影響を及ぼす 高齢者の心理特性は何か | ポジティブサイコロジー医学会 | 京都 | 42665 | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 118 | 菊地 俊暁, 田島 美幸, 蟹江絢子, 渡邊 衡一郎, 藤澤大介, 中川 敦夫, 佐渡 充洋, 宗未来, 大野 裕 | 認知行動療法は向精神薬の処方を減らせるか？, | 第112回日本精神神経学会 | 千葉 | 2016/6// | 杏林大学　慶應義塾大学 | | H28 |
| 119 | 神田優太, 坪井貴嗣, 野﨑和博, 今村弥生, 松本由美, 菊地俊暁, 渡邊衡一郎 | 修正型電気けいれん療法施行後に腸腰筋出血を呈した一例　症例報告と文献的考察 | 第46回日本神経精神薬理学会年会 | ソウル | 42553 | 杏林大学 | | H28 |
| 120 | Kikuchi Toshiaki, Imamura Yayoi, Kanda Yuta, Nozaki Kazuhiro, Tsuboi Takashi, and Watanabe Koichiro | Longitudinal survey of antidepressants use in bipolar disorder: prospective chart review I, | 30th CINP World Congress of Neuropsychopharmacology | Seou | 42554 | 杏林大学 | | H28 |
| 121 | 菊地 俊暁 | 認知行動療法の副作用をどのように評価するか：副作用評価ツールの開発と副作用頻度の調査 | 第13回日本うつ病学会総会 | 愛知 | 2016/8/ | 杏林大学 | | H28 |
| 122 | Asano K, Nakane A. | Impact of toxic shock syndrome toxin-1 on autophagy and skin infection of Staphylococus aureus. | The 8th International Symposium on Autophagy. | 奈良 | 2017/5/29-6/1 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 123 | Asano K, Nakane A. | Effect of toxic shock syndrome toxin-1 on Staphylococcus aureus infections in uterine and skin mouse models. | IUMS 2017 Singapore International Union of Microbiological Societies. | シンガポール | 2017/8/17-21 | 弘前大学 | | H29 |
| 124 | Asano K, Nakane A. | Establishment of a mouse uterine infection model of Staphylococcus aureus for studying a role of toxic shock syndrome toxin-1. | 第46回日本免疫学会総会 | 仙台 | 2017/12/12-14 | 弘前大学 | | H29 |
| 125 | Asano K, Nakane A. | Systemic distribution of TSST-1 investigated by vaginocervical infection of mouse model. | 第91回日本細菌学会総会 | 福岡 | 2018/3/27-29 | 弘前大学 | | H29 |
| 126 | Narita K, Sasaki M, Morimoto Y, Igarashi T, Nakane A. | 222 nm UVC light elicits sterilizing effect without DNA damage in mouse keratinocytes. | 第91回日本細菌学会総会. 福岡 | 福岡 | 2018/3/27-29 | 弘前大学 | | H29 |
| 127 | 小野幸輝, 佐々木綾子, 山田勝也 | 三次元的に高密度に集積したがん細胞スフェロイドの新しい培養法 | 第12回トランスポーター研究会 | 仙台 | 42924 | 弘前大学 | | H29 |
| 128 | 長友克広、菅世智子、齋藤匡人、古川正仁、小林和人、山本欣郎、山田勝也 | 成熟マウスアストロサイトの微細な突起に確認されたドーパミンD1受容体免疫反応性 | 第40回日本神経科学大会 | 千葉 | 42936 | 弘前大学 | | H29 |
| 129 | Ohshika S, Sasaki A, Ogawa T, Yanagisawa M, Ishibashi Y, Yamada K. | Sugar metabolism imaging in three dimensionally cultured Ewing sarcoma cells using fluorescent glucose derivative. | Orthopaedic Research Society (ORS) 2018 Annual Meeting | New Orleans. USA | 43169 | 弘前大学 | | H29 |
| 130 | 長友克広、山田勝也 | 「成熟マウス脳黒質、線条体、視覚野におけるドーパミンD1受容体あるいはD2受容体を発現するアストロサイト多様性 | 第95回日本生理学会大会 | 高松 | 43187 | 弘前大学 | | H29 |
| 131 | 丹治邦和、森文秋、三木康生、内海潤、佐々木秀直、柿田明美、高橋均、若林孝一 | Deubiquitin enzyme, YOD1, is involved in neurodegeneration. | 第40回日本神経科学大会. 幕張 | 幕張 | 42936 | 弘前大学 | | H29 |
| 132 | Sugawara N, Sagae T, Yasui-Furukori N, Yamazaki M, Shimoda K, Mori T, Sugai T, Matsuda H, Suzuki Y, Ozaki Y, Okamoto K, | Pharmacokinetics of mirtazapine included glucuronidated metabolites in Japanese psychiatric patients. | The 5th Congress of Asian College of NeuroPsychopharmacology (5th AsCNP) | Bali Indonesia | 2017/4/27-29 | 弘前大学 | | H29 |
| 133 | Saito M, Adachi M, Yoshida S, Yasuda S, Kuribayashi M, Sakamoto Y, Nakamura K, Takayanagi N | Gaze Abnormality Can Distinguish Between Autism Spectrum Disorder and Typically Developing Children through Screening in 5-Year-Old Children By a Double Study in a Japanese Community Based Population. | INTERNATIONAL MEETING FOR AUTISM RESEARCH (IMFAR) | San Francisco USA | 2017/5/1-13 | 弘前大学 | | H29 |
| 134 | Sakamoto Y, Saito M, Yoshida S, Adachi M, Takayanagi N, Yasuda S, Kuribayashi M, Nakamura K | Prevalence and Comorbidities of Autism Spectrum Disorder and Study of the Method of the Developmental Health Checkup in a Japanese Community-Based Population Sample of Five-Year-Old Children. | INTERNATIONAL MEETING FOR AUTISM RESEARCH (IMFAR) | San Francisco USA | 2017/5/1-13 | 弘前大学 | | H29 |
| 135 | 菅原典夫、古郡規雄 | 地域住民における腸内細菌と抑うつ症状の関連性について | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 136 | 斉藤まなぶ、大里絢子、土屋賢治、坂本由唯、松原侑里、吉田恵心、足立匡基、高橋芳雄、安田小響、松田侑子、増田貴人、栗林理 | 注視点測定を用いた5歳児のASD傾向の検討. | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 137 | 坂本由唯、斉藤まなぶ、松原侑里、吉田恵心、大里絢子、足立匡基、高橋芳雄、安田小響、栗林理人、土屋賢 | 視線検出装置（Gazefinder)による女児自閉症ｽﾍﾟｸﾄﾗﾑ障害（ASD）の早期診断の有用性 | 113回日本精神神経学会学術総会 | 名古屋 | 2017/6/22-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 138 | Yoshida Y, Takahashi M, Osato-Kaneda A, Tanaka M, Masuda T, Yoshida S, Sakamoto Y, Matsubara Y, Takayanagi N, Adachi M, Saito M, Yasuda S, Kuribayashi M, Nakai A, Miyahara M, Nakamura K | Prevalence and Comorbidities of DCD Using DSM-5, Comparison of Motor and Cognitive functions at Preschool Age in a Japanese Community, Developmental Coordination Disorder (DCD12). | The 12th International Conference on Developmental Coordination Disorder | Perth Australia | 2017/7/5-8 | 弘前大学 | | H29 |
| 139 | Saito M, Osato-Kaneda A, Tanaka M, Masuda T, Yoshida S, Sakamoto Y, Yoshida K, Matsubara Y, Takayanagi N, Adachi M, Takahashi M, Yasuda S, Kuribayashi M, Nakai A, Nakamura K | Epidemiology of Developmental Coordination Disorder, Prevalence and Comorbidities Using DSM-5, and Diagnostic predictability by Developmental Coordination Disorder Questionnaire (DCDQ) at Preschool Age in a Japanese Community. | The 9th Congress of The Asian Society for Child and Adlescent Psychiatry and Allied Professions (ASCAPAP) | Yogyakarta Indonesia | 2017/8/24-26 | 弘前大学 | | H29 |
| 140 | 田中勝則、斉藤まなぶ、中井昭夫、大里絢子、増田貴人、高柳伸哉、高橋芳雄、足立匡基、安田小響、吉田恵心、坂本由唯、栗林理 | 日本語版Developmental Coordination Disorder Questionnaire(DCDQ)における予測的妥当性 | 第58回日本児童青年精神医学会総会 | 奈良 | 2017/10/5-7 | 弘前大学 | | H29 |
| 141 | 柞木田なつみ、冨田哲、松原侑里、古郡規雄、中村和彦 | 降圧薬2剤を内服後ジストニアが出現し、降圧薬中止にて症状が軽快した一例 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 142 | 森田和弥、鬼木健太郎、赤嶺由美子、三國雅彦、黒木俊秀、功刀浩、猿渡淳二、古郡規雄 | クロザピンの治療期間と血中濃度に関する母集団薬物動態解析 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 143 | 石岡雅道、古郡規雄、土嶺章子、佐藤靖、冨田哲、中村和彦 | 抗精神病薬使服用中男性統合失調症患者におけるプロラクチン値と甲状腺ホルモンの関連について | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 144 | 久保一利、古郡規雄、土嶺章子、中村和彦、井上義政 | アリピプラゾール血中濃度と血清プロラクチン濃度の関係 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 145 | 阿竹聖和、堀輝、香月あすか、嶽北佳輝、砂田尚孝、久保一利、古郡規雄 | 臨床精神神経薬理学専門医と非専門医の統合失調症薬物治療には差異があるのか？ | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 146 | 須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎學、下田和孝、森隆夫、尾崎祐二、松田浩、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸 | アリピプラゾールが血中プロラクチン値に与える影響-単剤および多剤治療群間での比較- | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 147 | 土嶺章子、菅原典夫、功刀浩、古郡規雄 | 抗うつ薬治療中のうつ病患者におけるT細胞由来CREBとpCREBの比較検討 | 第27回日本臨床精神神経薬理学会 | 松江 | 2017/11/2-3 | 弘前大学 | | H29 |
| 148 | 柞木田なつみ、瓦林毅、中村琢洋、東海林幹夫、中村和彦、古郡規雄 | 視神経脊髄炎の治療経過中に多彩な幻覚妄想が生じた一例 | 第30回日本総合病院精神医学会総会 | 富山 | 2017/11/17-18 | 弘前大学 | | H29 |
| 149 | 冨田哲、古郡規雄、片貝公紀、小笠原公平、中村和彦 | 透析患者のうつはどの点に注意して専門医紹介を考えるべきか | 第30回日本総合病院精神医学会総会 | 富山 | 2017/11/17-18 | 弘前大学 | | H29 |
| 150 | 柞木田なつみ、古郡規雄、植松和家、菅原典夫、冨田哲、佐藤靖、中村和彦、齋藤久士 | 人工血液透析患者におけるせん妄の影響：生存時間解析 | 第30回日本総合病院精神医学会総会 | 富山 | 2017/11/17-18 | 弘前大学 | | H29 |
| 151 | 安田小響 | 発達障害児の感覚処理の特性と保護者の育児ストレスの関連 | 日本心理臨床学会第36回大会 | 横浜 | 2017/11/18-21 | 弘前大学 | | H29 |
| 152 | Adachi M, Takayanagi N, Takahashi M, Yasuda S, Yoshida S, Mikami M, Nakai A, Saito M, Nakamura K | Behavioral problems in preschool children with Developmental Coordination Disorder. | International Conference for Developmental Coordination Disorder (DCD12) | Perth Australia | 2017/7/5-8 | 弘前大学 | | H29 |
| 153 | Mikami M, Saito M, Masuda T, Tanaka M, Osato A, Sakamoto Y, Yoshida S, Takayanagi N, Adachi M, Yasuda S, Kuribayashi M, Nakamura K | The parental and tescher's recognition for Developmental Coordination Disorder in preschool-aged children. | International Conference for Developmental Coordination Disorder (DCD12) | Perth Australia | 2017/7/5-8 | 弘前大学 | | H29 |
| 154 | Takahashi M, Adachi M, Takayanagi N, Yasuda S, Osato-Kaneda A, Mikami M, Nakai A, Saito M, Kuribayashi M, Nakamura K | Developmental Coordination Disorder trait in Japanese preschoolers impact on parenting stress. | International Conference for Developmental Coordination Disorder (DCD12) | Perth Australia | 2017/7/5-8 | 弘前大学 | | H29 |
| 155 | Tanaka M, Saito M, Kaneda-Osato A, Masuda T, Takayanagi N, Takahashi M, Adachi M, Yasuda S, Yoshida S, Kuribayashi, M, Nakai A, Miyahara M, Nakamura K, Sakamoto Y | Evaluation of factor structure equivalence of the Developmental Coordination Disorder Questionnaire across genders in Japanese preschool children. | International Conference for Developmental Coordination Disorder (DCD12) | Perth Australia | 2017/7/5-8 | 弘前大学 | | H29 |
| 156 | Furukawa T, Nikaido T, Shimoyama S, Ogata Y, Nakamura K, Ueno S | The effect of chronic diazepam administration on hippocampal long-term potentiation and spine morphology. | 第95回日本生理学会大会 | 高松 | 2018/3/28-30 | 弘前大学 | | H29 |
| 157 | Nikaido Y, Furukawa T, Shimoyama S, Kushikata T, Hirota K, Kanematsu T, Hirata M, Ueno S | Phospholipase C-related inactive protein type-1 deficiency alters anesthetic electroencephalogram induced by propofol in mice | 第40回日本神経科学会 | 千葉 | 2017/7/20-23 | 弘前大学 | | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 158 | Fujita T, Kumagai G, Liu X, Kudo H, Asari T, Nikaido Y, Ueno S, Ishibashi Y | The Association Between Anxiety and Motor Function Recovery After Spinal Cord Injury In Gabaa Receptor-defective Mice. | ORS 2018 Annual Meeting | New Orleans | 2018/3/10-13 | 弘前大学 | | H29 |
| 159 | 今泉忠淳、松宮朋穂、吉田秀見 | 培養ヒト脳微小血管内皮細胞(hCMEC/D3 cells)におけるTLR3/IFN-・/RIG-I/CXCL10 axis | 第84回　日本生化学会東北支部例会・シンポジウム | 盛岡 | 43239 | 弘前大学 | | H30 |
| 160 | Krisana Asano and Akio Nakane | Contribution of toxic shock syndrome toxin-1 to tampon-related toxic shock syndrome investigated by a mouse model of cervicovaginal infection | 18th International Sytmposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections | Copenhagen | 2018/8/23-26 | 弘前大学 | | H30 |
| 161 | 長友克広、小林和人、山本欣郎、山田勝也 | 成熟マウス脳黒質、線条体、視覚野におけるドーパミン受容体サブタイプ発現の違いに基づくアストロサイト多様性 | 第41回日本神経科学大会 | 神戸 | 43309 | 弘前大学 | | H30 |
| 162 | 松本哲平、畠山真吾、山本勇人、今井篤、米山高弘、橋本安弘、古家琢也、中路重之、大山力 | 一般住民健診におけるメタボリック症候群と血清テストステロン濃度の関係について | 第106回日本泌尿器科学会総会 | 京都 | 43209 | 弘前大学 | | H30 |
| 163 | Y. Sakamoto, M. Saito, K. J. Tsuchiya, A. Osato, S. Kato, Y. Matsubara, T. Mikami, M. Adachi, M. Takahashi, S. Yasuda and K. Nakamura | Gender Difference of Gaze Fixation Patterns in 5-Year -Old Children -the Usefulness of Early Detection of Girls with Autism Spectrum Disorder- | INSAR2018(International Society Autism Research) | Rotterdam | 2018/5/9-12 | 弘前大学 | | H30 |
| 164 | M. Adachi, M. Takahashi, N. Takayanagi, S. Yasuda, Y. Sakamoto, M. Tanaka, A. Osato, S. Kato, M. Saito and K. Nakamura | Discriminant Validity of the Autism Spectrum Screening Questionnaire Parent Form to Preschool Children | INSAR2018(International Society Autism Research) | Rotterdam | 2018/5/9-12 | 弘前大学 | | H30 |
| 165 | M. Takahashi, M. Adachi, S. Yasuda and K. Nakamura | Decreased Satisfaction in Peer Relationships Is Strongly Associated with Depression in Children with High ASD Traits: A Population-Based Cross-Sectional Study in Japan | INSAR2018(International Society Autism Research) | Rotterdam | 2018/5/9-12 | 弘前大学 | | H30 |
| 166 | 三上美咲、斉藤まなぶ、小枝周平、中村和彦、山田順子 | 幼児期における協調運動の問題への感覚機能および認知機能の影響 | 第52回日本作業療法学会 | 名古屋市(名古屋国際会議場) | 2018/9/7-9 | 弘前大学 | | H30 |
| 167 | 葛西秋宅、山嵜博未、三村純正、伊東健 | ミトコンドリアストレスによるATF4活性化とGCN1L1-GCN2経路の関与 | 第92回日本生化学会 | 京都 | 43369 | 弘前大学 | | H30 |
| 168 | 山嵜博未、葛西秋宅、三村純正、叶鵬、猪瀬一丸山敦史、伊東健 | リボソーム結合因子GCN1L1による細胞増殖制御機構 | 第92回日本生化学会 | 京都 | 43369 | 弘前大学 | | H30 |
| 169 | 的場聖明 | 京丹後長寿コホート研究 | Healty Aging Innovation Forum | 東京都千代田区一橋講堂 | 43357 | 弘前大学・青森県・弘前市 | | H30 |
| 170 | 森田十誉子, 山崎洋治, 佐竹杏奈, 沢田かほり, 小林恒, 村下公一, 中路重之 | 地域高齢者における舌圧と体幹部筋肉量および血液中の分枝鎖アミノ酸の関連性 | 第77回日本公衆衛生学会・総会 | ビックパレットふくしま | 43399 | 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所, 弘前大学 | | H30 |
| 171 | 森田十誉子, 山崎洋治, 佐竹杏奈, 田村好拡, 徳田糸代, 小林 恒, 中路重之 | 地域高齢者における現在歯数および舌圧と食品栄養素摂取との関連性 | 第149回日本歯科保存学会・総会 | みやこメッセ | 43406 | 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所, 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 172 | 中村 愛理子、中路重之ほか | 血中アミノ酸濃度と心血管疾患リスクの関連性の検討－弘前大学　岩木健診プロジェクトデータを通じて－ | 日本アミノ酸学会・第5回産官学連携シンポジウム | 東京大学・弥生講堂 | 43269 | 協和発酵バイオ、弘前大学 | | H30 |
| 173 | 成田浩司 | Impaired adaptive immunity to Listeria monocytogenes in non-diabetic obese mice | 第47回日本免疫学会総会 | 福岡国際会議場 | 2018/12/10-12 | 弘前大学 | | H30 |
| 174 | 長友克広、小林和人、山本欣郎、山田勝也 | Brain area-dependent astrocyte heterogeneity detected in mice by dopamine receptor expressions | FAOPS2019・第96回日本生理学会大会 | 神戸コンベンションセンター | 2019/3/28-31 | 弘前大学 | | H30 |
| 175 | Norio Yasui-Furukori,Masamichi Ishioka,Shoko Tsuchimine,Koji Tsuruga,Yasushi Sato,Hanako furukori,Shuhei Kudo,Tetsu Tomita,Taku Nakagami,Nori | Attitudes toward placebo-controlled clinical trials of depressed patients in Japan | CINP2018VIENNA WORLD CONGRESS | VIENNA | 2018.6.16-19 | 弘前大学 | | H30 |
| 176 | Tetsu Tomita,Norio ysui-furukori,Taku Nakagami,Shoko Tsuchimine,Masamichi Ishioka,Ayako Kaneda,Kazuhiko Nakamura | The effects of personality on the association between paroxetine plasma concentration and response | CINP2018VIENNA WORLD CONGRESS | VIENNA | 2018.6.16-19 | 弘前大学 | | H30 |
| 177 | 橋本浩二郎、大高英之、村上宏、中村和彦、菅原典夫、大門眞、古郡規雄 | 2型糖尿病患者のうつ状態に関連するパーソナリティ特性とコーピング特性 | 第15回日本うつ病学会総会 | 東京都（京王プラザホテル） | 2018.7.27～28 | 弘前大学 | | H30 |
| 178 | 古郡規雄、田澤宏龍、大里絢子、中村和彦 | うつ病患者における社会/職業適応と認知機能 | 第15回日本うつ病学会総会 | 東京都（京王プラザホテル） | 2018.7.27～28 | 弘前大学 | | H30 |
| 179 | Shuhei Koeda, Misaki Mikami, Manabu Saito, Tamaki Mikami, Kazuhiko Nakamura, Junko | Nutritional status of Japanese children with developmental disorders | 第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会 | 神戸 | 2019/3/28~31 | 弘前大学 | | H30 |
| 180 | 大里絢子、三上 美咲、斉藤 まなぶ、坂本 由唯、足立 匡基、安田 小響、増田 貴人、田中 勝則、栗林 理人、中村 和彦 | 演題番号P10-2<br>演題名「5歳児における協調運動機能へ影響を及ぼす認知及び感覚的因子」 | 第59回日本児童青年精神医学会総会 | 東京 | 2018/10/11-13 | 弘前大学 | | H30 |
| 181 | 三上珠希、斉藤 まなぶ、栗林 理人、大里絢子、足立 匡基、中村 和彦 | 演題番号 P20-1<br>「A市における3歳児健診への発達スクリーニング導入について～診断精度向上を目指して～」 | 第59回日本児童青年精神医学会総会 | 東京 | 2018/10/11-13 | 弘前大学 | | H30 |
| 182 | 安田小響、足立匡基、髙橋芳雄、栗林 理人、斉藤まなぶ、中村和彦 | 演題番号P1-3<br>感覚に特異性を持つ発達障害児の親の育児ストレスと養育態度の関連 | 第59回日本児童青年精神医学会総会 | 東京 | 2018/10/11-13 | 弘前大学 | | H30 |
| 183 | 久保一利, 冨田哲, 橋本浩二郎, 古郡規雄, 中村和彦 | パーソナリティ特性と抗うつ薬の服薬継続との関係 | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | | H30 |
| 184 | 岸賢治 | うつ病・抑うつの診断と評価<br>P1－4　日本人の一般住民を用いたうつ病スクリーニングツールの有用性 | 第38回日本精神科診断学会 | 川越市(埼玉県) | 2018/11/18-19 | 弘前大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 185 | 石岡雅道、吉田和貴、柞木田なつみ、冨田哲、久保一利、藤井学、鈴木克治、中神卓、古郡華子、古郡規雄 | 精神科通院患者と精神科医双方向におけるベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬についての知識と評価の調査 | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京都（京王プラザホテル） | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | | H30 |
| 186 | KEN ITOH, SHUYA KASAI | ROLE OF GCN1L1 IN MAMMALIAN MITOCHONDRIAL QUALITY CONTROL | Targetting Mitochondria 2019 | Berlin | 2018/10/24-25 | 弘前大学 | | H30 |
| 187 | Shuya Kasai, Ken Itoh | Involvement of GCN1L1-GCN2 in mitochondrial dysfunction-induced ATF4 activation | Keystone symposia, Mitochondrial Biology in Heart and Skeletal Muscle | Keystone Resort, CO, USA | 2019/1/13-17 | 弘前大学 | | H30 |
| 188 | Hiromi Yamazaki, Shuya Kasai, Junsei Mimura, Peng Ye, Atsushi Inose Maruyama, Ken Itoh | Ribosome binding protein GCN1L1 controls cell cycle and is essential for embryonic development | 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societieds | Kobe Convention Center | 2019/3/28-31 | 弘前大学 | | H30 |
| 189 | 古川智範　他 | The effect of benzodiazepine on proliferation and survivals of CNS cells | 日本生理学会 | 神戸 | 43552 | 弘前大学 | | H30 |
| 190 | 本村純、砂川昌範 、大城凌子 、永田美和子 、伊禮千咲 、渡嘉敷崇 、神出計 | ハワイ在住沖縄県出身者の認知症発症に 影響を与える要因の検討　ー沖縄県北部住民及びハワイ在住 ウチナーンチュの比較を通してー | 第77回日本公衆衛生学会総会 | 福島県・ビッグパレットふくしま | 43399 | 名桜大学 | | H30 |
| 191 | Terada K, Nakagawa T, Miyai N, Utsumi M, Nakatani T, Arita M | Effects of jump rope exercise on stretch shortening cycle ability in elementary school students | 65th Annual Meeting, 9th World Congress on Exercise is Medicine, and World Congress on the Basic Science of Muscle Hypertrophy and Atrophy of the American College of Sports Medicine (ACSM) | Minneapolis, Minnesota, USA | 43251 | 天理大学、和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 192 | M. Sakaguchi, N. Miyai, N. Nagatomo, M. Morishita, S. Onishi, Y. Uchikawa, T. Takeshita,M. Utsumi, M. Shiba, M. Arita | The combination of renal dysfunction and muscle mass reduction is associated with arterial stiffness in elderly individuals | The 28th Scientific Meeting of the European Society of Hypertension and Cardiovascular Protection | Barcelona,Spain | 43261 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 193 | A. Fukui, K. Mure, M. Shimabukuro, N. Miyai, M. Utsumi, Y. Uematsu, T. Takeshita, M. Shiba, M. Arita | Low density lipoprotein cholesterol level, pulse pressure and uric acid are associated with carotid intima-media thickness in Japanese general population | The 28th Scientific Meeting of the European Society of Hypertension and Cardiovascular Protection | Barcelona,Spain | 43261 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 194 | K. Tateishi, K. Mure, H. Hayakawa, N. Miyai, M. Utsumi, Y. Uematsu, T. Takeshita, M. Shiba, M. Arita | Association of novel risk factors of cardiovascular disease with baPWV in a large cohort of adults | The 28th Scientific Meeting of the European Society of Hypertension and Cardiovascular Protection | Barcelona,Spain | 43260 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 195 | 大植知穂、植田京子、樫葉歩、山本里美、山本啓晋、有田幹雄 | 高血圧の生活習慣改善指導は1年後の血圧を低下させる | 第7回高血圧フォーラム | 京都市 | 43239 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 196 | 野上貴司、植田京子、樫葉歩、内海みよ子、有田幹雄 | 農村地域在住高齢者におけるbaPWVの5年間の縦断的検討 | 第7回高血圧フォーラム | 京都市 | 43239 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 197 | 中山摩希子, 宮井信行, 長友奈央, 有馬美保, 服部園美, 内海みよ子, 有田幹雄, 宮下和久 | 地域在住高齢者における血清尿酸値が骨格筋量に及ぼす影響 | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 43498 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 198 | 張 岩, 宮井信行, 中山摩希子, 長友奈央, 阿部香織, 辻久美子, 内海みよ子, 有田幹雄 | 高齢者における骨格筋量の減少と動脈スティフネスとの関連 | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 43498 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 199 | 辻 久美子, 宮井信行, 坂口俊二, 戸村多郎, 横井賀津志, 内海みよ子, 有田幹雄, 宮下和久 | 中高年者における冷え症とその併存症状の実態 | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 43498 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 200 | 上杉弥優、牟礼佳苗、服部園美、宮井信行、内海みよ子、上松右二、志波　允、有田幹雄、竹下達也 | 多価不飽和脂肪酸による尿酸の抑制はNOS3(rs1799983)およびLRP2(rs2544390)多型に依存する | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 43498 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 201 | 海老泰文、牟礼佳苗、中喬弘、上杉弥優、服部園美、宮井信行、内海みよ子、上松右二、志波　允、有田幹雄、竹下達也 | 酸化LDL受容体遺伝子OLR1多型が血圧・糖代謝・血中脂質・炎症指標に与える影響は服薬状況により異なる | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 43498 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 202 | 中　喬弘、牟礼佳苗、海老泰文、上杉弥優、服部園美、宮井信行、内海みよ子、上松右二、志波　允、有田幹雄、竹下達也 | 抗酸化酵素PON1遺伝子型が血圧・糖代謝・血中脂質・炎症指標に与える影響は服薬状況により異なる | 第89回日本衛生学会総会 | 名古屋市 | 43498 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 203 | 阪口将登, 宮井信行, 長友奈央, 大西修平, 川井美緒, 寒川友起子, 牟礼佳苗, 竹下達也, 内海みよ子, 有田幹雄 | 高齢者における腎機能低下と骨格筋量の減少が動脈スティフネスに及ぼす複合影響 | 第54回日本循環器病予防学会学術集会 | 札幌市 | 2018/6/22-23 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 204 | 寒川友起子, 宮井信行, 川井美緒, 内海みよ子, 宮下和久, 武田眞太郎, 有田幹雄 | 学齢期小児の心血管リスク評価における上腕-足首間脈波伝播速度のノモグラムの有用性の検討 | 第41回日本高血圧学会総会 | 旭川市 | 2018/9/14-16 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 205 | 早川博子, 宮井信行, 寒川友起子, 有馬美保, 阿部香織, 戸村多郎, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄 | 中学生におけるスポット尿によるNa/K比と血圧との関連：わかやまヘルスプロモーション研究 | 第41回日本高血圧学会総会 | 旭川市 | 2018/9/14-16 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 206 | 倉澤茂樹, 横井賀津志, 内海みよ子, 宮井信行 | 小学生を対象とした睡眠教育“みんいく”の効果 | 第77回日本公衆衛生学会総会 | 郡山市 | 2018/10/24-26 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 207 | 横井賀津志, 倉澤茂樹, 宮井信行, 内海みよ子, 竹下達也, 宮下和久, 有田幹雄 | 作業科学を基盤とした個人にとって意味ある作業と主観的健康観との関連性：わかやまヘルスプロモーション研究 | 第77回日本公衆衛生学会総会 | 郡山市 | 2018/10/24-26 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 208 | 奥井 佑, 中路重之 | 経時的に測定された認知機能テストに対する混合多次元項目反応モデル | 日本計量生物学会年会 | 東京 | 43189 | 東京大学 | | H30 |
| 209 | 奥井 佑, 中路重之 | Differential abundance analysis を行う際のゼロ過剰一般化線形混合モデル間の性能比較 | 日本計量生物学会年会 | 東京 | 43189 | 東京大学 | | H30 |
| 210 | 浅野クリスナ、中根明夫 | Role of toxic shock syndrome toxin-1 on tampon-related toxic shock syndrome | 第92回日本細菌学会総会 | 札幌コンベンションセンター、札幌市 | 43578 | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 211 | 成田浩司、胡東良、浅野クリスナ、中根明夫 | Mutant TSST-1 vaccine-induced memory T cells produce IL-10 and abrogates the vaccine effect | 第92回日本細菌学会総会 | 札幌コンベンションセンター、札幌市 | 43578 | 弘前大学 | | R1 |
| 212 | 成田浩司、浅野クリスナ、森本幸裕、五十嵐龍志、中根明夫 | 実験用グローブに対する波長222 nmの紫外線の消毒効果 | 第92回日本細菌学会総会 | 札幌コンベンションセンター、札幌市 | 43578 | 弘前大学 | | R1 |
| 213 | Asano K, Yoshimura S, Narita K, Hirose S, Takahashi T, Ito K, Iddamalgoda A, Nakane A | Alteration of intestinal microbiota in mice orally administered with salmon cartilage proteoglycan, a prophylactic agent | 11th International Conference on Proteoglycans | 石川音楽堂、金沢市 | 43736 | 弘前大学 | | R1 |
| 214 | Hirose S, Asano K, Narita K, Yoshimura S, Takahashi T, Ito K, Iddamalgoda A, Nakane A | Attenuation of obesity-induced inflammation in mice orally administered with salmon cartilage proteoglycan, a prophylactic agent | 11th International Conference on Proteoglycans | 石川音楽堂、金沢市 | 43736 | 弘前大学 | | R1 |
| 215 | Narita K, Hirose S, Yoshimura S, Takahashi T, Ito K, Iddamalgoda A, Nakane A, | Salmon cartilage proteoglycan promotes the healing process of Staphylococcus aureus-infected wound | 11th International Conference on Proteoglycans | 石川音楽堂、金沢市 | 43736 | 弘前大学 | | R1 |
| 216 | Yoshimura S, Asano K, Ono HK, Hirose S, Narita K, Takahashi T, Ito K, Iddamalgoda A, Nakane A | Salmon cartilage proteoglycan attenuates allergic responses in mouse model of papain induced respiratory inflammation | 11th International Conference on Proteoglycans | 石川音楽堂、金沢市 | 43736 | 弘前大学 | | R1 |
| 217 | Nakane A, Yoshimura S, Takahashi E, Hirose S, Narita K, Takahashi T, Ito K, Iddamalgoda A, Asano K | Oral administration of salmon cartilage proteoglycan extends the survival of allografts in mice | 11th International Conference on Proteoglycans | 石川音楽堂、金沢市 | 43736 | 弘前大学 | | R1 |
| 218 | Ono HK, Hirose S, Narita K, Sugiyama M, Hu D-L, | Histamine-release from intestinal mast cells induced by staphylococcal enterotoxin A (SEA) evokes vomiting reflux in common marmoset | 第1回弘前メディカルサイエンスフォーラム | 弘前大学健康未来イノベーションセンター、弘前市 | 43799 | 弘前大学 | | R1 |
| 219 | Hirose S, Ono HK, Hu D-L, Yamamoto Y, Asano K, Nakane A | Goblet cells are involved in translocation of staphylococcal enterotoxin A in the intestinal tissue of house musk shrew (Suncs Murinus) | 第1回弘前メディカルサイエンスフォーラム | 弘前大学健康未来イノベーションセンター、弘前市 | 43799 | 弘前大学 | | R1 |
| 220 | Uriu K, Arkawa M, Hirose M, Asano K, Nakane A, Morita E. | Identification of a novel autophagy receptor that regulates intracellular bacteria proliferation | 第1回弘前メディカルサイエンスフォーラム | 弘前大学健康未来イノベーションセンター、弘前市 | 43799 | 弘前大学 | | R1 |
| 221 | 浅野クリスナ、廣瀬昌平、成田浩司、中根明夫 | Microvesicles released from Staphylococcus aureus induce inflammatory response and pyroptosis | 第93回日本細菌学会総会 | ウインクあいち、名古屋市 | 43880 | 弘前大学 | | R1 |
| 222 | 廣瀬昌平、浅野クリスナ、小野久弥、成田浩司、胡東良、中根明夫 | Staphylococcal enterotoxin A evokes diarrhea after vomiting reflex in common marmoset | 第93回日本細菌学会総会 | ウインクあいち、名古屋市 | 43880 | 弘前大学 | | R1 |
| 223 | 成田浩司、浅野クリスナ、佐々木正裕、森本幸裕、五十嵐龍志、中根明夫 | 222 nm-UVCの病原細菌、真菌、ウイルスに対する滅菌効果 | 第93回日本細菌学会総会 | ウインクあいち、名古屋市 | 43880 | 弘前大学 | | R1 |
| 224 | 小野久弥、茂木遼介、岡村雅史、浅野クリスナ、中根明夫、胡東良 | 黄色ブドウ球菌感染が炎症性腸疾患モデルマウスに与える影響の解析 | 第93回日本細菌学会総会 | ウインクあいち、名古屋市 | 43880 | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 225 | Ogawa, T., Ohshika, S., Sasaki, A., Ono, H., Ishibashi, Y., Yamada, K. | Glucose metabolism imaging in osteosarcoma cells using fluorescent glucose derivatives | Orthopaedic Research Society (ORS) 2020 Annual Meeting | Phoenix, Arizona, USA, | 2020/2/8-11 | 弘前大学 | | R1 |
| 226 | M. Adachi, M. Takahashi, T. Hirota, N. Takayanagi, S. Yasuda, Y. Sakamoto, M. Saito and K. Nakamura | Suicidality in Autism Spectrum Disorder Comorbid with ADHD Symptoms in a Non-Clinical School-Aged Population | INSAR2019(International Society for Autism Research 2019) | Montreal, Qué bec Canada | 43589 | 弘前大学 | | R1 |
| 227 | A. Terui, M. Saito, T. Hirota, Y. Sakamoto, Y. Matsubara, M. Adachi, M. Takahashi, A. Osato and K. Nakamura | Comorbid Rate of Other Neurodevelopmental Disorder with Autism Spectrum Disorder in a Total Population Sample of 5-Years-Old Children. | INSAR2019(International Society for Autism Research 2019) | Montreal, Qué bec Canada | 43589 | 弘前大学 | | R1 |
| 228 | T. Hirota, M. Saito, Y. Sakamoto, M. Adachi, M. Takahashi, A. Osato, Y. S. Kim, B. L. Leventhal, A. M. Shui, S. Kato and K. Nakamura | Cumulative Incidence of Autism Spectrum Disorders in a Total Population Sample of 5-Year-Old Children | INSAR2019(International Society for Autism Research 2019) | Montreal, Qué bec Canada | 43587 | 弘前大学 | | R1 |
| 229 | Y. Matsubara, M. Takahashi, S. Ono and K. Nakamura | Reduced Regional Gray Matter Volume in the Frontal Lobe May be the Neural Basis Underlying Atypical Sensory Processing in Autism Spectrum Disorder | INSAR2019(International Society for Autism Research 2019) | Montreal, Qué bec Canada | 43588 | 弘前大学 | | R1 |
| 230 | M. Takahashi, Y. Matsubara, K. Nakamura and S. Ono | The White Matter Microstructure of Basal Ganglia Related Atypical Sensory Processing in ASD | INSAR2019(International Society for Autism Research 2019) | Montreal, Qué bec Canada | 43588 | 弘前大学 | | R1 |
| 231 | Saito, M, Aoki, T, Koeda, S, Mikami, M, Yoshida, K, Kaneda-Osato, A, Masuda, T, Sakamoto, Y, Mikami, T, Yamada, J, Tsuchiya, K, Katayama, T, and Nakamura, K | Innovation of Eye tracking device for early detection of children with developmental coordination disorder | 13th International Conference on Developmental Coordination Disorder , | Jyväskylä | 2019/6/6-8 | 弘前大学 | | R1 |
| 232 | Michio Takahashi | Risk and protective factor of developing problematic Internet use in children. | ICBA2019(International Conference on Behavioral Addictions2019) | Yokohama, Japan | 43634 | 弘前大学 | | R1 |
| 233 | 吉田和貴、古郡規雄、中村和彦 | スボレキサントによって惹起されたせん妄の1例 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |
| 234 | 冨田哲、神崇太、古郡規雄、中村和彦 | 短期間に感染症を繰り返した、好中球低下を示さず正常抗体価だったクロザピン服用患者の一例 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |
| 235 | 久保一利、古郡規雄、土嶺章子、中村和彦 | アリピプラゾール血中濃度と血清プロラクチン濃度の関係 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |
| 236 | 冨田哲、古郡規雄、工藤周平、菅原典夫、藤井学、敦賀光嗣、佐藤靖、石岡雅道、中村和彦 | 弘前大学および関連病院におけるうつ病心理教育の実態と特徴 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |
| 237 | 冨田哲、古郡規雄、中村和彦 | 身体表現性障害として治療中、咽頭部違和感にビペリデンが有効だった一例 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 238 | 冨田哲、橋本浩二郎、斉藤まなぶ、中村和彦 | 弘前大学精神科のご紹介 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |
| 239 | 冨田哲、橋本浩二郎、斉藤まなぶ | 弘前大学の研修紹介～津軽で研修してみよう～ | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟市 | 43636 | 弘前大学 | | R1 |
| 240 | Manabu Saito, Tomoya Hirota, Yui Sakamoto, Masaki Adachi, Michio Takahashi, Ayako Osato-Kaneda, Young Shin Kim, Bennett Leventhal, Amy Shui, Sumi Kato, Kazuhiko | Prevalence and Cumulative Incidence of Autism Spectrum Disorders and the Patterns of Co-occurring Neurodevelopmental Disorders in a Total Population Sample of 5-years-old children. The 10th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions (ASCAPAP) | The 10th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions (ASCAPAP2019) | Chiangmai, Thailand | 2019/10/9-11 | 弘前大学 | | R1 |
| 241 | 斉藤 まなぶ、北 洋輔、大里 絢子、三上 美咲、小枝 周平、三上 珠希、稲垣 真澄、中村 和彦 | 就学前の発達性協調運動障害（DCD）早期発見のためのチェックリストと活用マニュアルの完成<br>～顕在化しにくい発達障害を早期に抽出するアセスメントツールの開発研究から～ | 第60回日本児童青年精神医学会総会 | 沖縄県宜野湾市 | 43806 | 弘前大学 | | R1 |
| 242 | 大里 絢子、三上 珠希、斉藤まなぶ、吉田和貴、栗林 理人、足立 匡基、中村 和彦 | A市における3歳児健診への発達スクリーニング導入について<br>～地域におけるSRS-2の点数分布調査～ | 第60回日本児童青年精神医学会総会 | 沖縄県宜野湾市 | 43805 | 弘前大学 | | R1 |
| 243 | 森 裕幸、髙橋 芳雄、足立 匡基、新川 広樹、栗林 理人、中村 和彦 | 小中学生におけるソーシャル・キャピタルとQOLおよび抑うつとの関連 | 第60回日本児童青年精神医学会総会 | 沖縄県宜野湾市 | 43805 | 弘前大学 | | R1 |
| 244 | 新川 広樹、髙橋 芳雄、足立 匡基、森 裕幸、栗林 理人、中村 和彦 | 小中学生におけるソーシャル・サポートと向社会的行動および内在化・外在化問題の関連―Child and Adolescent Social Support Scale（CASSS）を用いた検討― | 第60回日本児童青年精神医学会総会 | 沖縄県宜野湾市 | 43805 | 弘前大学 | | R1 |
| 245 | 三上 珠希、斉藤 まなぶ、中村 和彦 | 発達障害研修のあり方についての一考察 ～A市における発達健診研修参加者のアンケート結果から～ | 第60回日本児童青年精神医学会総会 | 沖縄県宜野湾市 | 43806 | 弘前大学 | | R1 |
| 246 | Kazuhiko Nakamura | Gender Difference of Gaze Fixation Patterns in 5-year-old Children<br>The Usefulness in Early Detection of Girls with Autism Spectrum Disorder | 58th American College of Neuropsychopharmacology (ACNP) | Orlando, Florida, USA | 2019/12/9-11 | 弘前大学 | | R1 |
| 247 | 新川広樹、田中勝則、本田真大、長谷川博亮、富家直明 | 高校生における絶望感と認知・行動的防御要因の関連―精神的健康度の高低による比較― | 第52回日本カウンセリング学会 | 北海道札幌市 | 43695 | 弘前大学 | | R1 |
| 248 | 清水理奈、新川広樹、富家直明 | インターネットゲーム依存を特徴づける認知特性とストレス反応の関連―青年期における非機能的信念のサブタイプによる差異― | 第52回日本カウンセリング学会 | 北海道札幌市 | 43695 | 弘前大学 | | R1 |
| 249 | 笹浪真利奈、新川広樹、富家直明 | 児童養護施設における直接処遇職員のストレス研究 | 第52回日本カウンセリング学会 | 北海道札幌市 | 43695 | 弘前大学 | | R1 |
| 250 | 黒澤祐莉、赤坂勇輔、新川広樹、富家直明 | 高校生を対象とした社会情動的学習モデルに基づくアセスメント | 第52回日本カウンセリング学会 | 北海道札幌市 | 43695 | 弘前大学 | | R1 |
| 251 | 粥川智恵、新川広樹、清水理奈、富家直明 | 高等支援学校の生徒における震災後のストレス反応の推移 | 第54回日本発達障害学会 | 北海道札幌市 | 43701 | 弘前大学 | | R1 |
| 252 | T. Furukawa, Y. Nikaido, S. Shimoyama, Y. Ogata, S. Ueno | Chronic diazepam administration impaired hippocampal CA3 LTP and spine morphology in aged mice | 第97回日本生理学会大会 | 別府コンベンションセンター | 43908 | 弘前大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 253 | Yoshikazu Nikaido, Shuji Shimoyama, Yoshiki Ogata, Tetsuya Kushikata, Kazuyoshi Hirota, Takashi Kanematsu, Masato Hirata, Shinya Ueno | （英語）Phospholipase C-related inactive protein type-1 deficiency affects anesthetic electroencephalogram activity induced by propofol and etomidate in mice | 第一回弘前メディカルフォーラム | 弘前 | 43799 | 弘前大学 | | R1 |
| 254 | 熊谷美香 | 職域における健康づくり支援プログラムの試行と健康増進の効果検証 | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43762 | 弘前大学 | | R1 |
| 255 | 鄭松伊 | Age index for assessing locomotive syndrome | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43762 | 弘前大学 | | R1 |
| 256 | 德田糸代 | 小学校における生活習慣病予防のための健康教育活動の実際 | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43761 | 弘前大学 | | R1 |
| 257 | 三澤美菜 | 地域住民における食物摂取状況と食品由来の水分摂取量の関連について | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43762 | 弘前大学 | | R1 |
| 258 | 杉村嘉邦 | 親子体操普及員養成の取り組みについて | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43762 | 弘前大学 | | R1 |
| 259 | Eiichiro Uchino and Yasushi Okuno | Development of Prediction Models for Multi-disease Onset using Health Checkup Data | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 43727 | 京都大学 | | R1 |
| 260 | Ayano Araki, Kei Terayama, Eiichiro Uchino, and Yasushi Okuno | Intervention for disease control by machine learning model with health checkup data | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 43728 | 京都大学 | | R1 |
| 261 | 荒木　綾乃，寺山　慧，内野詠一郎，奥野恭史 | 弘前健診データを用いた機械学習モデルに基づく検査項目の制御探索と疾患発症抑制に向けた介入方法の検討 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 43728 | 京都大学 | | R1 |
| 262 | 中杤昌弘 | ゲノム疫学研究に基づくDNAメチル化と生活習慣病の関係 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館（東京） | 43727 | 名古屋大学 | | R1 |
| 263 | 日置雄一郎、有田幹雄 | 高齢者における緑茶摂取頻度と自律神経機能および動脈スティフネスの関連 | 第8回臨床高血圧フォーラム | 福岡県久留米市 | 43597 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 264 | Ayumi Kashiba and Mikio Arita | Blood Pressure-variation by Room Temperature in Home Pressure among Metabolic Syndrome using Home BP web-based Monitoring | 87th EAS Congress | Limburg, Netherlands | 43613 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 265 | 打田幸大、竹下達也、藤本尚子、牟礼佳苗、服部園美、宮井信行 | 地域住民におけるSedentary Timeが動脈硬化関連指標に及ぼす影響 | 第90回日本衛生学会学術総会 | 盛岡市、岩手 | 2020/3(誌上発表) | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 266 | 藤本尚子、竹下達也、打田幸大、牟礼佳苗、服部園美、宮井信行 | 地域住民における飲酒習慣が動脈硬化関連指標に与える影響 | 第90回日本衛生学会学術総会 | 盛岡市、岩手 | 2020/3(誌上発表) | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 267 | 宮井信行，張岩，辻久美子，寺田和史，中谷敏昭，内海みよ子，竹下達也，宮下和久，有田幹雄 | 地域在住高齢者における動脈スティフネスと骨格筋量減少および筋力低下との関連 | 第90回日本衛生学会学術総会 | 盛岡市、岩手 | 2020/3(誌上発表) | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 268 | 辻久美子，宮井信行，坂口俊二，有馬美保，上松右二，内海みよ子，竹下達也，宮下和久，有田幹雄 | 地域在住中高年者における冷え症と皮膚温および周辺症状との関連 | 第90回日本衛生学会学術総会 | 盛岡市、岩手 | 2020/3(誌上発表) | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 269 | Nakayama M, Miyai N, Hattori S, Utsumi M, Arita M | Effects of serum uric acid on skeletal muscle mass in community-dwelling elderly individuals | 87th Congress of European Atherosclerosis Society | Limburg, Netherlands | 43613 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 270 | Miyai N, Nagatomo N, Zhang Y, Abe K, Morishita M, Sougawa Y, Utsumi M, Takeshita T, Miyashita K, Arita M | Effects of smoking and smoking cessation on aortic wave reflection in middle-aged and elderly individuals: the Wakayama Study | The 29th Scientific Meeting of the European Society of Hypertension and Cardiovascular Protection | Milan, Italy | 43615 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 271 | Zhang Y, Miyai N, Nakayama M, Sakaguchi M, Kawai M, Hattori S, Utsumi M, Takeshita T, Miyashita K, Arita M | Low skeletal muscle mass is associated with increased arterial stiffness in community-dwelling elderly individuals: the Wakayama Study | The 29th Scientific Meeting of the European Society of Hypertension and Cardiovascular Protection | Milan, Italy | 43616 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 272 | Terada K, Miyake Y, Kawakami T, Hiramoto K, Kaneyasu, Matsumoto Y, Kawakami K, Nakatani T, Miyai N, Arita M, Utsumi M | Effects of plyometric training introduced in middle school physical education classes | European College of Sport Science (ECSS) Congress Plague 2019 | Praque, Czech | 43651 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 273 | 横井賀津志, 倉澤茂樹, 藤井有里, 酒井ひとみ, 宮井信行 | 作業形態の特性と健康との関連 | 第53回日本作業療法学会 | 福岡県福岡市 | 43715 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 274 | 辻久美子, 宮井信行, 坂口俊二 | 地域在住中高年女性における冷え症の実態とその関連要因の検討 | 第60回日本母性衛生学会総会学術集会 | 千葉県浦安市 | 43749 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 275 | 宮井信行, 長友奈央, 阪口将登, 牟礼佳苗, 水越正人, 内海みよ子, 竹下達也, 有田幹雄 | 過去喫煙者における喫煙量および禁煙後年数が中心動脈圧波形に及ぼす影響 | 第42回日本高血圧学会総会 | 東京都 | 43764 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 276 | 張 岩, 宮井信行, 中山摩希子, 阿部香織, 有馬美保, 辻久美子, 内海みよ子, 竹下達也, 有田幹雄 | 地域在住中高齢者における骨格筋量の減少が動脈スティフネスの増大に及ぼす影響 | 第42回日本高血圧学会総会 | 東京都 | 43764 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 277 | 中山摩希子, 宮井信行, 阿部香織, 辻久美子, 竹下達也, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄 | 中高年女性における年齢階層別にみた血清尿酸値と骨格筋量との関連 | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43762 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 278 | 辻久美子, 宮井信行, 阿部香織, 倉澤茂樹, 竹下達也, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄 | 地域在住中高年者における冷え症とその随伴症状との関連—中年期と高齢期の比較 | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43763 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 279 | 阿部香織, 宮井信行, 辻久美子, 戸村多郎, 横井賀津志, 竹下達也, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄 | 中高齢者の骨格筋量減少リスクを評価する簡易栄養チェックシートの作成 | 第78回日本公衆衛生学会総会 | 高知県高知市 | 43763 | 和歌山県立医科大学 | | R1 |
| 280 | 正路章子、工藤憲一、村下公一、中路重之、五十嵐中 | COST REDUCTION AFTER THE INDUCTION OF THE RESIDENT ENLIGHTMENT BASED ON MEDICAL CHECKUP IN A JAPANESE RURAL AREA | ISPOR 2019 | New orleans | 43606 | 東京大学薬学系研究科 | | R1 |
| 281 | 大里直樹 | A microbial genus in the human gut associated with visceral fat regardless of sex | 26th European Congress of Obesity | Glasgow, Scotland | 43584 | 花王株式会社 | | R1 |
| 282 | 大里直樹 | 腸内細菌叢が産生する特異的な生体ガス（水素・メタン）と内臓脂肪の関係性：横断研究 | 第40回日本肥満学会総会 | 東京都千代田区東京国際フォーラム | 43771 | 花王株式会社 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 283 | 鈴木誠、山本博之、佐々木一謹、紙健次郎、橋爪克仁、沢田かほり、村下公一、中路重之 | 岩木健康増進プロジェクトにおける大規模な血漿サンプルのメタボローム解析 | 臨床化学会　第59回年次学術集会 | 仙台国際センター | 43736 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社、弘前大学 | | R1 |
| 284 | 鈴木誠、山本博之、佐々木一謹、紙健次郎、橋爪克仁、沢田かほり、村下公一、中路重之 | 岩木健康増進プロジェクトにおける大規模な血漿検体のメタボローム解析 | 第13回メタボロームシンポジウム | 筑波大学大学会館 | 43755 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社、弘前大学 | | R1 |
| 285 | 大矢希 | アプリケーションの会話シナリオ作成に役立つ心理学的な工夫 | 第1回意思決定支援研究大会 | 京都 | 43652 | 京都府立医科大学 | | R1 |
| 286 | 岸本 泰士郎 | 高齢者に対するテレビ会議システムを用いた認知機能評価の信頼性 | 第19回日本抗加齢医学会総会 | パシフィコ横浜 | 43630 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 287 | 西本祥仁, 佐々木貴史, 阿部由紀子, 江口洋子, 三村 將, 広瀬信義, 新井康通 | 生活の自立した超高齢者1,015人と超百寿者の調査からみた加齢性認知機能変化の考察 | 第38回日本認知症学会学術集会 | 東京 | 2019/11/7-9 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 288 | 色本 涼, 藤澤大介, 田村法子, 入江幸子, 岩下 覚, 三村將 | 認知症介護者における主観的幸福感に関連する心理社会的因子の検討 | 第38回日本認知症学会学術集会 | 東京 | 2019/11/7-9 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 289 | 千葉満 | 認知症の予防と早期発見のためのビッグデータ多層解析 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | | R1 |
| 290 | 小渡亮 | トップサージャンとの比較からフィードバックが得られるVRトレーニングシステムの開発 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | R1WD11 | R1 |
| 291 | 徳田糸代 | 歯科古病理学を活用した現代人の未病予測と予防・改善ケアの開発 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | H31W14-1 | R1 |
| 292 | 鄭松伊 | 生活習慣改善の行動変容プログラムが健康ビューティイメージに及ぼす影響－介入研究プロトコールの紹介－ | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | | R1 |
| 293 | 安藤雅峻 | 地域在住高齢者の身体機能指標の標準化 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | | R1 |
| 294 | 杉村嘉邦 | 地域在住高齢者の足底接地面の状態は、運動機能や転倒経験と関連するか？ | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19-20 | 弘前大学 | | R1 |
| 295 | Asano K, Hirose S, Subsomwong P, Nakane A | Membrane vesicles released from Staphylococcus aureus induce inflammatory response and host cell death | IUMS 2020 Daejeon International Union of Microbiological Societies | Daejeon Convention Complex, Jaejeon, Krea (Web) | 2020/11/16-20 | 弘前大学 | | R2 |
| 296 | Asano K, Hirose S, Narita K, Nakane A | MRSA-derived membrane vesicles act as an IgE-mediated stimulant to induce hypersensitivity | 第94回日本細菌学会総会 | Web | 2021/03/23-25 | 弘前大学 | | R2 |
| 297 | Narita K, Morimoto Y, Ohashi H, Igarashi T, Asano K, Nakane | Interfering effect of wound exudates on 222 nm-UVC light protects fibroblast in dermal damaged site | 第94回日本細菌学会総会 | Web | 2021/03/23-25 | 弘前大学 | | R2 |
| 298 | 小野幸輝, 杉田綾祐, 今井麻智子, 田中和明, 山田勝也 | 無農薬・無肥料で自然栽培された「ふじ」の果皮に含まれるフロリジンの質量分析と内生真菌の単離同定 | 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会 / 第98回日本生理学会大会　合同大会 | 名古屋 Web学会 | 44283 | 弘前大学 | 演題登録番号：a90568 | R2 |
| 299 | 小川哲也、大鹿周佐、佐々木綾子、猿賀達郎、小野浩弥、石橋恭之、山田勝也 | 蛍光グルコースを用いた骨肉腫細胞の糖代謝経路の検討Glucose metabolism imaging in osteosarcoma cells using fluorescent glucose | 第53回骨・軟部腫瘍学術集会－オンライン学術集会 | オンライン | 2020/09/11－2020/09/30 | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 300 | Y. Sakamoto, M. Saito, M. Ninomiya, S. Hakoshima, K. J. Tsuchiya, A. Osato, A. Terui, H. Mori, K. Yoshida, Y. Matsubara, T. Mikami, M. Takahashi and K. Nakamura, | Development of Screening Algorithm for Autism Spectrum Disorder in 5-Year-Old Children Using the Eye-Tracking Device (Gazefinder®) | The International Society for Autism Research (INSAR) 2020 Annual Meeting | Web | May 6-9, 2020 | 弘前大学 | | R2 |
| 301 | A. Teru, M. Saito, A. Osato, M. Tanaka, N. Takayanagi, M. Adachi, M. Wakuta, Y. Sakamoto, H. Mori, K. Yoshida, Y. Matsubara, T. Mikami, M. Takahashi, K. Nakamura and Y. Yamamura, | Development of a Screening Algorithm of Neurodevelopmental Disorders for 5-Year-Old Children Toward Web Survey Systemization | The International Society for Autism Research (INSAR) 2020 Annual Meeting | Web | May 6-9, 2020 | 弘前大学 | | R2 |
| 302 | T Hirota, S. Bishop, M. Adachi, M. Takahashi, H. Mori, A. M. Shui and K. Nakamura | Utilization of the Maternal and Child Health Handbook in Early Identification of Autism Spectrum Disorder and Other Neurodevelopmental DisordersT | The International Society for Autism Research (INSAR) 2020 Annual Meeting | Web | May 6-9, 2020 | 弘前大学 | | R2 |
| 303 | M. Takahashi, Y. Matsubara and K. Nakamura. | White Matter Structure Relates to Delayed Processing Speed for the Planning Task and in ASD without Intellectual Disability | The International Society for Autism Research (INSAR) 2020 Annual Meeting | Web | May 6-9, 2021 | 弘前大学 | | R3 |
| 304 | Saito Manabu, Ninomiya Masaru,Hakoshima Shuji, Tsuchiya Kenji, Osato Kaneda Ayako Mikami Tamaki, Sakamoto Yui , Yoshida Kazutaka , Terui Ai, Nakamura | Creation of eye tracking pattern algorithm for 5 year old ASD screening | NPBPPP2020 （第50回日本神経精神薬理学会年会・第42回日本生物学的精神医学会年会・第4回日本精神薬学会総会・学術集会　合同年会） | web, Japan | 21-23 August 2020 | 弘前大学 | | R2 |
| 305 | 斉藤 まなぶ、田中 勝則 、山村 靖彦 、和久田 学、大里 絢子、足立 匡基、三上 珠希 、坂本 由唯 、照井 藍 、森 裕幸、新川 広樹 、高橋 芳雄、栗林 理人、中村 和 | 5歳児発達健診 Web スクリーニングシステム（ここあぽ）の完成 | 第116回日本精神神経学会学術集会 | Web | 2020/9/28-10/31 | 弘前大学 | | R2 |
| 306 | 片貝 公紀、冨田 哲 、古郡 規雄、斎藤 久夫 、中村 和彦 | 透析患者のうつ病・うつ状態の鑑別について～CES-D による診断ツールの開発～ | 第116回日本精神神経学会学術集会 | Web | 2020/9/28-10/31 | 弘前大学 | | R2 |
| 307 | 青山 修平 、冨田 哲 、島 貴子1、渡辺 俊 、古郡 規雄 、工藤 周平 、菅原 典夫 、藤井 学 、敦賀 光嗣 、佐藤 靖 、石岡 雅道 、中 | 患者のうつ病心理教育の実態および理解度と処方内容；抗精神病薬について | 第116回日本精神神経学会学術集会 | Web | 2020/9/28-10/31 | 弘前大学 | | R2 |
| 308 | 冨田 哲 、古郡 規雄 、工藤 周平 、菅原 典夫 、藤井 学 、敦賀 光嗣 、佐藤 靖 、石岡 雅道 、中村 和 | 患者のうつ病心理教育の実態および理解度と処方内容；抗うつ薬について | 第116回日本精神神経学会学術集会 | Web | 2020/9/28-10/31 | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 309 | 斉藤まなぶ、田中勝則、大里絢子、足立匡基、坂本由唯、三上珠希、照井藍、鈴木裕幸、新川広樹、高橋芳雄、中村和彦 | Utilization of web screening system for developmental health check-up in 5-year-old children　5歳児発達健診でのWebスクリーニングシステムの活用 | 第62回日本小児神経学会学術集会 | Web開催 | 44104 | 弘前大学 | | R2 |
| 310 | 斉藤まなぶ、坂本由唯、三上珠希、大里絢子、照井藍、中村和彦 | 視点追跡装置（Gaze Finder）を用いた5歳児のASDスクリーニングアルゴリズムの開発 | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 311 | 大里 絢子, 斉藤 まなぶ, 坂本 由唯, 三上 珠希, 足立 匡基, 中村 和彦 | 3歳児健診における簡便かつ鋭敏な神経発達症のスクリーニング法の探索 | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 312 | 照井 藍, 斉藤 まなぶ, 田中 勝則, 大里 絢子, 足立 匡基, 坂本 由唯, 三上 珠希, 栗林 理人, 中村 和彦 | 5歳児発達健診でのwebスクリーニングシステムの活用 | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 313 | 三上 珠希, 斉藤 まなぶ, 大里 絢子, 坂本 由唯, 照井 藍, 中村 和彦 | 嘔吐に対し強い恐怖を示し認知行動療法とEMDRを治療に加えた回避・制限性食物摂取症(avoidant/restrictive food intake disorder:ARFID)の中学生男子の一例 | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 314 | 小野 靖樹,菊知 充, 中村 和彦 | 起立性調節障害におけるウエアラブルセンサーの診断、症状評価における有用性について　24時間心拍変動と加速度計機能に着目して | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 315 | 森 裕幸, 足立 匡基, 高橋 芳雄, 新川 広樹, 中村 和彦 | 個人・学校レベルのソーシャル・キャピタルが小中学生の抑うつに与える効果　マルチレベル分析による検討 | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 316 | 斉藤 まなぶ, 坂本 由唯, 足立 匡基, 高橋 芳雄, 大里 絢子, 三上 珠希, 照井 藍, 栗林 理人, 中村 和彦 | 地域における5歳の自閉スペクトラム症の疫学調査　調整有病率と累積発生率 | 第61回日本児童青年精神医学会総会 | Web開催 | 44128 | 弘前大学 | | R2 |
| 317 | 小枝周平, 三上美咲, 斉藤まなぶ 中村和彦, 山田順子 | 日本人の自閉症児における栄養と食物摂取 | 第54回日本作業療法学会 | Web開催 | 44129 | 弘前大学 | | R2 |
| 318 | 三上美咲, 斉藤まなぶ, 小枝周平, 中村和彦, 山田順子 | 幼児期における協調運動の問題への感覚機能および認知機能の影響 | 第54回日本作業療法学会 | Web開催 | 44129 | 弘前大学 | | R2 |
| 319 | 三上美咲, 原田栞, 斉藤まなぶ, 中村和彦, 山田順子 | 5歳児における協調運動と行動及び情緒的問題との関連 | 第54回日本作業療法学会 | Web開催 | 44129 | 弘前大学 | | R2 |
| 320 | M Saito, M Takahashi, A Terui, Y Sakamoto, M Adachi, H Shinkawa, H Mori, K Nakamura. | Prevalence of sleep problems in Japanese preschoolers and children with developmental disabilities | IACAPAP2020 | WEB | 2020 Dec | 弘前大学 | | R2 |
| 321 | Ai Terui, Manabu Saito, Yui Sakamoto, Tomoya Hirota, , Michio Takahashi, Tamaki Mikami, Hiroki Shinkawa, Kazuhiko | Comorbid rate of sleep problems and the characteristics in Japanese 5-yearold ASD children | IACAPAP2020 | WEB | 2020 Dec | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 322 | Yui Sakamoto, Manabu Saito, Shuji Shimoyama, Ayako Osato, Ai Terui, Kazutaka Yoshida, Tamaki Mikami, Kazuhiko | Plasma Oxytocin and Developmental Disorders in Japanese 5-year-old children | IACAPAP2020 | WEB | 2020 Dec | 弘前大学 | | R2 |
| 323 | Hiroyuki Mori Masaki Adachi, , Michio Takahashi, Tomoya Hirota, Hiroki Shinkawa, Kazuhiko | Association Between Social Capital, Quality of Life and Depression among SchoolAged Children | IACAPAP2020 | WEB | 2020 Dec | 弘前大学 | | R2 |
| 324 | Misaki Mikami, Masaki Adachi, Michio Takahashi, Tomoya Hirota, Manabu Saito, Shuhei Koeda, Kazutaka Yoshida, Kazuhiko Nakamura, Junko Yamada | 筋萎縮性側索硬化症および種々の病態の骨格筋・心筋におけるリン酸化TDP-43凝集 | 第61回日本神経病理学会 | 金沢市 | 44117 | 弘前大学 | | R2 |
| 325 | 林滉一朗, 村上晃満, 青山薫英, 小池泰志, 内山千代子, 徳田糸代, 和田啓二, 山本幸夫, 井原一成, 村下公一, 中路重之. | 職域における受診者の口腔保健行動変容と口腔健康を促す啓発一体型健診の有用性 | 第79回日本公衆衛生学会総会 | オンデマンド配信 | 44124 | ライオン、弘前大学 | 1-b-5 | R2 |
| 326 | 伊東　健 | Nrf2酸化ストレス応答機構と栄養飢餓応答機構を切り口にした新しい疾患予兆法と予防法の研究 | 第19回分子予防環境医学研究会 | | 2020/3/2-3/3 | 弘前大学 | | R2 |
| 327 | Shuya Kasai, Jun Liu, Hiromi Yamazaki, Junsei Mimura, Ken Itoh | Ribosome binding protein Gcn1 knockout mice exhibit embryonic lethality with growth retardation. | 第93回日本生化学会大会 | | 2020/9/14-16 | 弘前大学 | | R2 |
| 328 | 伊東　健 | Keap1-Nrf2 経路とアミノ酸飢餓応答経路の協調による酸化ストレス応答機構 | 第73回日本酸化ストレス学会/第20回日本N O学会合同学術集会 | | 2020/10/6-10/7 | 弘前大学 | | R2 |
| 329 | 畠山真吾、米山徹, 米山美穂子, 山本勇人, 米山高弘, 橋本安弘, 石山新太郎, 鈴木実, 大山力 | 腫瘍血管内皮を標的にした新規ホウ素中性子捕捉療法による膀胱癌治療法の開発 | 第108回日本泌尿器科学会総会 | 神戸、Zoom | 44187 | 弘前大学、京都大学 | R02W16 | R2 |
| 330 | 米山徹, 畠山真吾, 米山美穂子, 鈴木実, 野中元裕, 大山力. | 膀胱癌皮下腫瘍モデルに対する腫瘍血管標的10B DDSによるホウ素中性子捕捉療法 | 第30回泌尿器科分子・細胞研究会 | 名古屋 | 44254 | 弘前大学、京都大学 | R02W16 | R2 |
| 331 | 米山徹, 畠山真吾, 米山美穂子, 吉矢拓, 石津雄大, 植村剛, 鈴木実, 八戸慎吾, 石山新太郎, 野中元裕, 福田道子, 大山力 | 腫瘍血管を標的とした糖鎖類似ペプチド-ホウ素薬剤によるホウ素中性子捕捉療法 | 第16回臨床糖鎖研究会 | 弘前 | 44273 | 弘前大学、京都大学 | R02W16 | R2 |
| 332 | 近藤絢音, 工藤雄行, 藤崎和弘, 佐藤厚子, 笹川和彦 | 薄型圧力センサを利用した歩行時の筋活動計測 | 生体医工学シンポジウム2020 | オンライン（弘前） | 44092 | 弘前大学 | R1WD11-2 | R2 |
| 333 | Mikio Arita and Nobuyuki Miyai | The district difference of arterial stiffness between the district with low and high prevalence of cardiovascular disease in Japan | The 88th EAS 2020 | Virtual Congress | 44109 | 和歌山県立医科大学 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 334 | 野上絵理子, 宮井信行, 辻久美子, 阿部香織, 内海みよ子, 竹下達也, 有田幹雄 | 中高年男性における累積喫煙量が骨格筋量の減少に及ぼす影響 | 第79回日本公衆衛生学会総会 | オンライン | 44105 | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 335 | 橋爪洋, 岡敬之, 村田鎮優, 南方邦彦, 太地良, 神前拓平, 有田智氏, 嶋崎彩華, 橋本侑加子, 筒井俊二, 湯川泰紹, 山田宏 | 中枢性感作はロコモティブシンドロームの有意な関連因子である：一般住民1083名の解析結果より | 第93回日本整形外科学会オンライン学術集会 | | 2020/6/ | 和歌山県立医科大学 | | R2 |
| 336 | Ayako Shoji, Ken-ichi Kudo, Koichi Murashita, Shigeyuki Nakaji, Ataru Igarash | The Health Enlightenment and Cognitive Function through the Over One Decade of a Routine Health Checkup in a Japanese Rural Area. | ISPOR Europe Virtual | Online | 2020/11/16-19 | 東京大学、弘前大学 | 1-b-22 | R2 |
| 337 | 樋山雅美 | 遺言能力スクリーニング検査法の開発 | 第35回日本老年精神医学会 | オンライン開催 | 2020/12/20-12/22 | 京都府立医科大学 | ③ | R2 |
| 338 | 樋山雅美 | Development of testamentary capacity test. | world Psychiatrist Association | Thailand（オンライン開催） | 2021/3/10-3/12 | 京都府立医科大学 | ③ | R2 |
| 339 | Eguchi Y, Matsuda Y, Matsuoka T, Kato Y, Daisuke Ueno D, Mimura M, Narumoto J | Ability of the elderly women with cognitive decline in food preparation and related factors | AAIC 2020 | online | 44042 | 慶應義塾大学医学部、京都府立医科大学 | ③ | R2 |
| 340 | Momota Y, Isa S, Eguchi Y, Kitazawa M, Mimura M, Kishimoto T. | Examination of Language Characteristics among Patients with Alzheimer's Disease Using Natural Language Processing. | .2020 Society of Biological Psychiatry Annual Meeting | New York | 30 April-2 May | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 341 | Watabe N, Tonuma Y, Ozaki M, Ishizawa Y, Kamata Y, Nakane A | Antibacterial effects of tryptanthrin on cotton towels used for bed bath | EAFONS 21 24th East Asian Forum of Nursing Schalors 2021.4.16 | Web, Manila, Philippines | 44302 | 弘前大学 | | R3 |
| 342 | Fukushi R, Yamauchi M, Takase S, Kimura R, Miura M, Saito M, Narita K, Nakane A | Adherence of MRSA on cotton, cotton towel, and cotton polyester blend | EAFONS 21 24th East Asian Forum of Nursing Schalors 2021.4.16 | Web, Manila, Philippines | 44302 | 弘前大学 | | R3 |
| 343 | Y. Sakamoto, M. Saito, A. Osato, A.Terui, K. Yoshida, T. Mikami and K.Nakamura | Relevance of the Plasma Oxytocin Concentration and Neurodevelopmental Disorders in 5-Year-Old Children Considering Gender | INSAR2021 | Online | 2021/5/3-7 | 弘前大学 | | R3 |
| 344 | M. Adachi, M. Takahashi, T. Hirota , M. Mikami , H. Shinkawa , H. Mori , T. Mikami , M. Saito , T. Hagiwara and K. Nakamura. | Early Detection of ASD By Community-Based Screening Focusing on Sensory Processing Patterns. | INSAR2021 | Online | 2021/5/3-7 | 弘前大学 | | R3 |
| 345 | A. Terui , M. Saito, M. Adachi, Y. Sakamoto , A. Osato , T. Mikami and K. Nakamura. | Verification of New Screening Tools for Neurodevelopmental Disorders in 5-Year-Old Children, Including the Use of Web Systems. | INSAR2021 | Online | 2021/5/3-7 | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 346 | H. Mori , M. Adachi, M. Takahashi, H. Shinkawa and K. Nakamura. | ASD Traits, Social Capital, and Depression Among School-Aged Children. | INSAR2021 | Online | 2021/5/3-7 | 弘前大学 | | R3 |
| 347 | B. Vibert, P. Segura , L. Gallagher , S. Georgiades , P. Pervanidou , A. Thurm, L. Alexander , E. Anagnostou , Y. Aoki , S. Aoki , S. Bishop, J. Boi, C. Bravaccio, M. P. Canevini, A. Carta, A. Costantino, E. A. Cravo, C. Davico, J. Fujino , C. Geyer , T. Hirota, M. Kawashima, S. M. Kanne, S. H. Kim, Y. S. Kim, H. H. Kim, D. Korczak, M. C. Lai, B. L. Leventhal, Y. Makiyama , L. Margari, G. Masi, L. | The Crisis-Afar International Network: Preliminary Results on the Impact of the COVID-19 Pandemic in Children with Autism and Related Neurodevelopmental Conditions | INSAR2021 | Online | 2021/5/3-8 | 弘前大学 | | R3 |
| 348 | 馬渡晃弘 | うつを伴う認知症への薬物療法に関するシステマティックレビュー | 第36回日本老年精神医学会 | WEB開催 | 2021/9/16-18 | 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座 | | R3 |
| 349 | 下山 修司、藤井 萌加、古川 智範、上野 伸哉 | GABAA受容体β3サブユニットのリン酸化が細胞内分布に及ぼす影響 | 第44回日本神経科学大会/CJK第1回国際会議 | 神戸コンベンションセンター/Hybrid開催 | 2021/7/28-31 | 弘前大学 | | R3 |
| 350 | Yukihide Aoyama1, Terumitsu Murakami2, Chiyoko Uchiyama1, Yoshihiro Tamura3, Toshiaki Oyama3, Itoyo Tokuda4, Keiji Wada4, Yukio Yamamoto1, Wataru Kobayashi2, Kazushige Ihara4, Koichi Murashita5 and Shigeyuki Nakaji4, 5 | The Usefulness of an Oral-Health Promotion Program on Japanese Working-Age Population: A Pilot Study. | The 14th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistry(AAPD) | Daegu, Korea and Online | 2021/10/1-10/2 | ライオン株式会社弘前大学 | | R3 |
| 351 | 濱浦 季穂, 村上 宏 | 糖尿病症例における エクオール産生能に関する検討 | 第64回日本糖尿病学会 | 石川・金沢（web開催） | 2021/5/20～22日 | 弘前大学 | | R3 |
| 352 | 佐々木英嗣、山本博之、浅利享、松田りら、太田聖也、木村由佳、佐々木静、安藤雅峻、山本祐司、津田英一、石橋恭之 | メタボローム解析による変形性膝関節症のバイオマーカー探索 | 第36回日本整形外科学会基礎学術集会 | 三重県営サンアリーナ | 44484 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)、弘前大学 | 1-b-10 | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 353 | Yota Tatara, Tomohiro Nakamura, Mitsuru Chiba, Daisuke Saigusa, Hiromi Yamazaki, Fumiki Katsuoka, Syuya Kasai, Michiko Kawase, Rina Honma, Rira Matsuta, Tetta Fujimoto, Miho Shoji, Ikuko Motoike, Katsuhito Hashizume, Yoshinori | Blood-based prediction of mild cognitive impairment using multi-omics and machine learning | 第40回日本認知症学会学術集会 | 東京国際フォーラム | 44526 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)、弘前大学 | 1-b-10 | R3 |
| 354 | Emiko Kawaguchi | The association of arterial stiffness with muscle mass reduction and low muscle strength in community-dwelling elderly individuals: the Wakayama study | The 89th Congress of European Atherosclerosis Society | Helsinki ,Finland (Web) | 44346 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 355 | Yan Zhang | Lower muscle mass is associated with greater arterial stiffness in a graded fashion in community-dwelling elderly individuals: a cross-sectional study | The 19th International Symposium on Atherosclerosis (ISA2021), | Kyoto, Japan (Web) | 44493 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 356 | 野上絵理子 | 地域在住の中高年者における骨格筋量と呼吸筋力および喫煙との関連 | 第80回日本公衆衛生学会総会 | 東京都新宿区（Web発表） | 44551 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 357 | 辻久美子 | 中高年者における主観的な冷えの自覚と前額部-手指部皮膚温較差との関連 | 第80回日本公衆衛生学会総会 | 東京都新宿区（Web発表） | 44551 | 和歌山県立医科大学 | | R3 |
| 358 | 喜田恒, 新村秀人, 江口洋子, 鈴木航太, 文鐘玉, 高山緑, 三村將 | 超高齢者の人生満足度の向上に寄与する心理社会的関連因子: Arakawa 85+ Follow up Study. | 第36回日本老年精神医学会 | 京都（オンライン） | 2021年9月16-18日 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 359 | 鈴木航太, 新村秀人, 文鐘玉, 色本涼, 喜田恒, 三村將 | 地域在住の軽度認知障害患者における歩行速度と頭部MRI画像の関連 | 第36回日本老年精神医学会 | 京都（オンライン） | 2021年9月16-18日 | 慶應義塾大学 | | R3 |

**COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑫-3 発表（招待講演）**

| No | 発表者 | タイトル | 学会名等 | 場所 | 年月日 | 発表機関（参画機関のみ） | 備考（課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 大槻知明 | 知的環境におけるヒューマンモニタリング | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会信学技報 ASN2013-100, pp. 49-54 | 機械振興会館 | 2013/11/28 | 慶應義塾大学 | | H25 |
| 2 | 中根明夫 | 細菌感染症に対する宿主応答に関する研究―個体レベルの解析― | 平成26年度第24回学会賞受賞者特別講演会. | 東京 | 2015/1/29 | 弘前大学 | | H26 |
| 3 | Itoh K, Mimura J, Ye P, Yoshida H, Kosaka K. | Development of a novel neuroprotective strategy by the cooperative transcriptional network centered on Nrf2. | 21th Annual Meeting of the Society for Free Radical Biology and Medicine. | Seattle | 2014/11/19 – 2014/11/23 | 弘前大学 | | H26 |
| 4 | 山田勝也 | 蛍光グルコース誘導体fLGによるがんのイメージング | 光・量子デバイス研究会. | | 2015/3/6 | 弘前大学 | | H26 |
| 5 | 成本迅 | 能力評価が必要とされる場面について. 能力評価において精神科が果たす役割 | 日本精神神経学会学術総会 | 横浜 | 2014/6/26 | 京都府立医科大学 | | H26 |
| 6 | 岸本泰士郎 | 双方向ビデオ会議システムを利用した精神科治療や精神症状評価. インターネットは精神科医療を変えるか？新しい通信技術を用いたわが国での精神科医療・教育の取り組み | 日本精神神経学会学術総会 | 横浜 | 2014/6/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 7 | 岸本泰士郎 | テクノロジーは精神科医療を変えるか？～精神科RCTの課題と今後の精神医療の展望～ | 第13回精神科薬物療法を考える会 | 東京 | 2014/12/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 8 | 岸本泰士郎 | WEB会議システムを用いた強迫性障害への心理治療 | 日本遠隔医療学会スプリングカンファレンス | 東京 | 2015/2/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 9 | 三村將 | 精神科における自動車運転能力評価. 能力評価において精神科が果たす役割 | 日本精神神経学会学術総会 | 横浜 | 2014/6/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 10 | 三村將 | 高齢者の運転能力評価 | 日本認知症学会学術総会 | 横浜 | 2014/12/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 11 | 江口洋子 | 財産管理能力評価 | 日本認知症学会学術総会 | 横浜 | 2014/12/ | 慶應義塾大学医学部 | | H26 |
| 12 | 大槻知明 | 知的環境における見守り技術 | 電子情報通信学会知的環境とセンサネットワーク研究会 | 東京電機大 | 2015/5/14 | 慶應義塾大学理工学部 | 依頼講演 | H27 |
| 13 | 山田勝也 | 「蛍光ブドウ糖を用いた新しいがん診断薬の開発」 | AMED生体イメージング新技術説明会 | 東京 | Jul. 12, 2016. | 弘前大学 | | H28 |
| 14 | 岸本泰士郎 | Telepsychiatry:今後の可能性とOCD治療への応用 | 第5回京都OCD研究会 | ホテルグランヴィア京都 | 2016/5/14 | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 15 | 岸本泰士郎 | 「ICTは精神医療を変えるか？遠隔医療の導入、その先へ | 第112回日本精神神経学会学術総会 | 幕張メッセ | 2016/6/2 | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 16 | 江口洋子 | テレビ会議システムを利用した神経心理検査の実施の可能性 | 第31回日本老年精神医学会,シンポジウム8 認知症を支えるハイテク機器の活用 | 金沢 | 2016/6/24 | 慶應義塾大学医学部 | | H28 |
| 17 | 大槻知明 | 非接触生体信号検出及び見守り技術 | 電子情報通信学会無線システム研究会（RCS）・衛星通信研究会（SAT） | 東北学院大学 | 2016/8/18 | 慶應義塾大学理工学部 | 依頼講演 | H28 |
| 18 | 成本 迅 | .同意能力の評価（医療同意と研究参加同意の具体的評価方法の違い | 日本臨床倫理学会　認知症の人を対象とする研究に関する倫理ワーキンググループセミナー | 東京 | 2016/6/2 | 京都府立医科大学 | 講演 | H28 |
| 19 | 成本 迅 | 認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発 | 臨床死生学・倫理学研究会 講演 | 東京 | 2016/9/28 | 京都府立医科大学 | 講演 | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | 三木康生 | シヌクレイノパチーにおけるオートファジーの異常とその活性化による治療の可能性 | 日本認知症学会 | 金沢 | 2017/11/24 | 弘前大学 | | H29 |
| 21 | Yamada Katsuya | A fluorescent L-glucose derivative (fLG) specifically taken up into tumor cells expressing malignant phenotypes: a promising marker for early diagnosis of cancer. | 15th Meeting of the Asian-Pacific Society for Neurochemistry (APSN2018) | Macau | 2018/8/27 | 弘前大学 | | H30 |
| 22 | 中路重之 | 青森県の短命県返上活動から見えてくるもの | 第145回東北連合産科婦人科学会総会・学術講演会 | 弘前 | 2018/6/9 | 弘前大学 | | H30 |
| 23 | 中路重之 | 短命県返上と企業活動 | 青森県工業会　キラリ煌めく職場づくり研究会 | 青森 | 2018/8/24 | 弘前大学 | | H30 |
| 24 | 中路重之 | 企業での健康づくりについて | 宮城県大崎市労基「大崎働く人の健康・体力づくり運動」トップセミナー講演 | 古川 | 2018/6/2 | 弘前大学 | | H30 |
| 25 | 中路重之 | 青森県の短命県返上の現状と課題 | 青森エリア大腿骨頚部骨折ネットワーク研究会 | 青森 | 2018/6/29 | 弘前大学 | | H30 |
| 26 | 中路重之 | 長崎人が青森の短命県返上活動にかかわって | 若月賞授賞式　受賞記念講演（第58回 農村医学夏季大学講座） | 佐久 | 2018/7/20 | 弘前大学 | | H30 |
| 27 | 若林孝一 | 蛋白蓄積病としてのシヌクレイノパチーの分子病態病理 | 第59回日本神経学会 | 札幌 | 2018/5/25 | 弘前大学 | | H30 |
| 28 | Koichi Wakabayashi | Neuropathology of Parkinson's disease as multicentric Lewy body disorder | 19th International Congress of Neuropathology | Tokyo | 2018/9/26 | 弘前大学 | | H30 |
| 29 | 村下公一 | 「第4回 人間情報研究部門シンポジウム(SHI2018)」 | (国研)産業技術総合研究所 | 柏の葉カンファレンスセンター | 2018/10/1 | 弘前大学 | | H30 |
| 30 | 中路重之 | 青森県の短命県返上と地方創生 | 日本産学フォーラム | 帝国ホテル | 2018/10/3 | 弘前大学 | | H30 |
| 31 | 中路重之 | 青森県の短命返上活動から見えてくるもの：世界一の健康ビッグデータに答えはあるか？東京.20181020. | 第13回日本応用老年学会大会学術大会 | 東京 | 2018/10/20 | 弘前大学 | | H30 |
| 32 | 中路重之 | 岩木プロジェクト健診の紹介 | 国際コンソーシアム協定連携シンポジウム | 沖縄 | 2018/11/3 | 弘前大学 | | H30 |
| 33 | 中路重之 | 中路重之.短命県返上、地域・職域・学校でのもう一歩の取り組み | 第3回青森県医学会県民公開講座 | 青森 | 2018/12/2 | 弘前大学 | | H30 |
| 34 | 中路重之 | 真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点 | 出生コホート研究連携ワークショップ | 東京 | 2019/1/29 | 弘前大学 | | H30 |
| 35 | 井原一成 | 高齢者の抱える種々の健康問題について | 日医生涯教育協力講座セミナー超高齢化社会における高齢者のトータルケア　～高齢者の健康寿命延伸に向けて～ | 青森 | 2018/11/17 | 弘前大学 | | H30 |
| 36 | 上野伸哉 | 動物モデルにおける糖尿病性疼痛の解析 | 日本糖尿病学会 | 青森 | 2019/3/2 | 弘前大学 | | H30 |
| 37 | 有田幹雄 | 家庭で測る血圧測定の重要性 | 日本栄養・食糧学会　関東支部第21回健康栄養シンポジウム | 東京 | 2019/1/26 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 38 | 植田京子、樫葉歩、大植知穂、山本啓晋、牟礼佳苗、竹下達也、宮井信行、内海みよ子、有田幹雄 | 高血圧チーム医療：農村地域における高血圧の予防と対策（保健師の立場から） | 第7回高血圧フォーラム | 京都市 | 2018/5/19 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 39 | 奥野恭史 | 医療・製薬などライフサイエンス分野へのAIの活用 | ヘルスケアIT2018 | 東京 | 2018.4.18 | 京都大学 | | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 40 | 奥野恭史 | ヘルスケア分野におけるAI・ビッグデータの可能性 | 健康科学ビジネス推進機構講演会 | 東京 | 2018.10.4 | 京都大学 | | H30 |
| 41 | 井元清哉 | データ化される健康と病気：バイオインフォマティクスの挑戦 | 統計数理研究所創立75周年記念事業 | 統計数理研究所 | 2018/11/1 | 東京大学 | | H30 |
| 42 | 井元清哉 | 健康医療ビッグデータ解析と健康社会の実現 | 高柳記念拠点事業・統計科学講演会 | 静岡大学 | 2019/2/18 | 東京大学 | | H30 |
| 43 | 中根明夫 | 毎日の健康と美を「プロテオグリカン」から―その多様性― | アンチエイジングジャパン2019 | 東京ビッグサイト、東京都 | 2019/9/10 | 弘前大学 | | R1 |
| 44 | 中根明夫 | プロテオグリカンの免疫調節作用 | 第2回PGネットワーク | ガーデンホテル金沢、金沢市 | 2019/9/30 | 弘前大学 | | R1 |
| 45 | 中根明夫 | プロテオグリカンの多彩な機能と可能性 | プロテオグリカン・ビジネスフォーラム2019 | イイノホール＆カンファレンスセンター、東京都 | 2019/12/3 | 弘前大学 | | R1 |
| 46 | Yamada, K. | Detection of single malignant cells in ascites of cancer patients by 2-NBDLG, a fluorescet L-glucose (fLG) | 2019 International Conference for Leading and Young Medical Scientists(IC-LYMS2019) | Convention Center, Taipei, Taiwan | 2019/12/20-23 | 弘前大学 | | R1 |
| 47 | Yamada, K. | Imaging malignant potential by Fluorescent glucose uptake | BRAIN & BRAIN PET2019 The 29th International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism and Function. The 14th International Conference on Quantification of Brain Function with Pet | Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan | 2019/7/4-7 | 弘前大学 | 国際シンポジウム提案 | R1 |
| 48 | 中村和彦 | 特別講演「5歳児発達検診、学校コホートの試み」 | 第89回日本心身医学会東北地方会 | 青森市 | 2019/8/31 | 弘前大学 | | R1 |
| 49 | 中村和彦 | 特別講演「注意欠如/多動性障害の診断と治療について」 | 八戸市精神科医科学術講演会 | 八戸市 | 2019/10/16 | 弘前大学 | | R1 |
| 50 | 中村和彦 | シンポジウム 「こどもの心の基礎と臨床」<br>5 歳児発達健診と学校コホートの試み | 第46回日本脳科学会 | 滋賀県大津市<br>滋賀医科大学 | 2019/11/16 | 弘前大学 | シンポジウム | R1 |
| 51 | Shinkawa, H. | Annual Report 2 "Findings from the school cohort study." | Annual Meeting 2020 of Research Center for Child Mental Development of UGSCD | 大阪医学部大学附属病院14F会議室 | 2020/1/31 | 弘前大学 | プロジェクト報告会 | R1 |
| 52 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！<br>－行動変容を徹底追求する『新健診モデル』で健康経営を加速する－ | 第30回日本医学会総会 2019 中部 健康未来EXPO2019 健康経営ミニステージ | ﾎﾟｰﾄﾒｯｾなごや<br>名古屋市国際展示場 | 2019/4/6 | 弘前大学 | | R1 |
| 53 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす<br>－Society5.0時代の未来型ヘルスケアサービスの追求－ | 第60回日本人間ドック学会学術大会 | 岡山県医師会館4階 第12会場 | 2019/7/25 | 弘前大学 | | R1 |
| 54 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータをベースに「寿命革命」実現をめざす<br>～CKD、糖尿病等疾患発症予測と新健診モデルの開発～ | 日本臨床疫学会 第3回年次学術大会<br>ランチョンセミナー | ﾊﾟﾋﾞｮﾝ24<br>福岡県福岡市博多区 | 2019/9/5 | 弘前大学 | | R1 |
| 55 | 村下公一 | 2000項目健康ビッグデータで「寿命革命」実現をめざす | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/19 | 弘前大学 | | R1 |
| 56 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす<br>－Society5.0時代の未来型ヘルスケアサービスの追求－ | 日本総合健診医学会 第48回大会 | 京王ﾌﾟﾗｻﾞ第2会場 本館5階 ｺﾝｺｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞﾙｰﾑC | 2020/2/7 | 弘前大学 | | R1 |
| 57 | Ken Itoh. | An emerging cross talk between Nrf2 pathway and ISR-ATF4 pathway in prevention of age-related degenerative diseases. | 9th Meeting of SFRR(A+J) | Sydney Australia | 2019/12/9 | 弘前大学 | | R1 |
| 58 | 二宮利治 | 地域住民における認知症コホート研究～筋力低下予防の重要性：久山町研究. | 第137回西日本整形・災害外科学会学術集会 | 福岡市 | 2019/6/2 | 九州大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 59 | 二宮利治 | 食事と認知症の関係：久山町研究 | 第9回日本認知症予防学会学術集会 | 名古屋市 | 2019/10/18 | 九州大学 | | R1 |
| 60 | 奥野 恭史 | ライフサイエンスからみるAIの現状と課題 | 日本技術士会生物工学部会特別例会 | 機械振興会館 | 2020.2.15 | 京都大学 | | R1 |
| 61 | 奥野 恭史 | 医療・創薬におけるAIの現状と可能性 | 第11回日本臨床試験学会シンポジスト | 国際医療福祉大学赤坂キャンパス | 2020.2.14 | 京都大学 | | R1 |
| 62 | 奥野 恭史 | 医療におけるAIの現状と可能性 | 横浜市立みなと赤十字病院講演 | 横浜市立みなと赤十字病院 | 2020.1.29 | 京都大学 | | R1 |
| 63 | 奥野 恭史 | AI が拓く創薬・医療の未来 | 全日本科学技術協会 | 帝国ホテル東京 | 2020.1.10 | 京都大学 | | R1 |
| 64 | 奥野 恭史 | AI・シミュレーションが拓く創薬・医療の未来 | 「エジソンの会」第34回会合 | 国際高等研究所 | 2019.12.17 | 京都大学 | | R1 |
| 65 | 奥野 恭史 | ビッグデータ・AIが拓く医療の未来 | 第40回日本臨床薬理学会学術総会 | 京王プラザホテル, 東京 | 2019.12.4 | 京都大学 | | R1 |
| 66 | 奥野 恭史 | AIが拓く創薬・医療の未来 | 新価値創造展2019 | 東京ビックサイト | 2019.11.28 | 京都大学 | | R1 |
| 67 | 奥野 恭史 | 医学の新時代を切り開くビッグデータ解析：岩木健康増進プロジェクトでの経験 | 第27会日本消化器内視鏡学会 | ポートピアホテル,神戸 | 2019.11.21 | 京都大学 | | R1 |
| 68 | 奥野 恭史 | AIコンソーシアム”LINC”で目指す創薬イノベーション | DIA日本年会 | 東京ビックサイト | 2019.11.11 | 京都大学 | | R1 |
| 69 | 奥野 恭史 | AIによる生活習慣病発症予測と血圧変動予測 | 第1回Digital Hypertension Conference | 京王プラザホテル,東京 | 2019.10.25 | 京都大学 | | R1 |
| 70 | 奥野 恭史 | データサイエンスからみるライフコース・ヘルスケア | ライフコースヘルスケアシンポジウム | 三井住友銀行東館 ライジング・スクエア | 2019.9.2 | 京都大学 | | R1 |
| 71 | 奥野 恭史 | 新時代の医科学：ビッグデータからの創薬・医療の進化 | 第59回 生命科学 夏の学校 | 定山渓ビューホテル | 2019.8.31 | 京都大学 | | R1 |
| 72 | 奥野 恭史 | 弘前と神戸からみるデータヘルスの現状と可能性 | 健康脆弱化予知予防コンソーシアム | 早稲田大学 日本橋キャンパス | 2019.8.21 | 京都大学 | | R1 |
| 73 | 奥野 恭史 | 医療におけるビッグデータ・AIの現状と未来 | 2019年度NPO法人呼吸器内科医療推進機構夏季学術集会 | メルパルク京都 | 2019.7.27 | 京都大学 | | R1 |
| 74 | 奥野 恭史 | 腎臓内科におけるビッグデータ・AIの可能性 | 第62回日本腎臓学会学術総会 | 名古屋国際会議場 | 2019.6.22 | 京都大学 | | R1 |
| 75 | 奥野 恭史 | ビッグデータ・AIが拓く医療の未来 | 第30回日本小児科総会フォーラム | 京都テルサ | 2019.6.8 | 京都大学 | | R1 |
| 76 | 井元　清哉 | 東大医科研ビッグデータ解析 | 第2回COI学会 | 日本科学未来館 | 2019/9/20 | 東京大学医科学研究所 | | R1 |
| 77 | Seiya Imoto | Data Science and Precision Healthcare | The 8th International Conference on Nutrition and Aging | United Nations University, 東京 | 2019/10/2 | 東京大学医科学研究所 | | R1 |
| 78 | 三村 將 | 精神科臨床に役立つ神経心理学の知識 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟 | 2019/6/20 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 79 | 三村 將 | ポジティブ精神医学の産業メンタルヘルスへの活用 | 第115回日本精神神経学会学術総会 | 新潟 | 2019/6/20 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 80 | 三村 將 | アルツハイマー病とうつ病の鑑別 | 第10回日本脳血管・認知症学会総会（VAS-COG Japan 2019） | 東京・御茶ノ水 | 2019/8/3 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 81 | 三村 將 | 認知症の薬物療法: MCI, 早期認知症への治療、自動車運転者への対応を含めて | 第3回日本脳神経外科認知症学会学術総会 | つくば | 2019/9/8 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 82 | 三村 將 | 認知症と高次脳機能障害. ICD-11時代の認知症診断 | 第39回日本精神科診断学会 | 京都 | 2019/9/20 | 慶應義塾大学 | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 83 | 三村 將 | 認知症における音声言語障害 | 第64回日本音声言語医学会総会･学術講演会 | さいたま市 | 2019/10/17 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 84 | 三村 將 | これからの精神科病院への期待 | 第33回東京精神科病院協会学会 | 東京・新宿 | 2019/10/30 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 85 | 三村 將 | 認知症と自動車運転－臨床現場の観点から. 認知症と自動車運転－改正道路交通法施行後の実態と課題 | 第38回日本認知症学会学術集会 | 東京 | 2019/11/7-9 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 86 | 三村 將 | 認知症の診断と治療における最近の話題 | 第45回高仁会学会 | 東京・戸田 | 2019/11/13 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 87 | 三村 將 | ポジティブ精神医学とサクセスフルエイジング. ポジティブ精神医学の意義と可能性 | 第8回日本ポジティブサイコロジー医学会学術集会 | 東京・三田 | 2019/11/16 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 88 | 三村 將 | 認知症のリハビリテーション | 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 | 静岡 | 2019/11/17 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 89 | 岸本 泰士郎 | 情報通信技術や人工知能を活用した今後の精神科医療の展望と課題 | 愛知県精神科病院協会薬剤師部門研修会 | サイプレスガーデンホテル | 2020/2/22 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 90 | Taishiro Kishimoto | Development of New Treatment and Prevention Tools Utilizing Information and Communication Technology: Challenges and Opportunities. | The 19th Course for Academic Development of Psychiatrists | 京都大学 時計台ホール | 2020/2/14 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 91 | 岸本 泰士郎 | 遠隔医療や人工知能を活用した今後の精神科医療の展望 | これからの精神科医療を考える in 花巻 | 独立行政法人国立病院機構 花巻病院 | 2019/12/4 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 92 | 岸本 泰士郎 | 情報通信技術や人工知能を活用した精神科医療の展望 | 第3回うつ病の治療プログラムを考える会 | 吉祥寺第一ホテル | 2019/11/22 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 93 | 岸本 泰士郎 | 情報通信技術や機械学習を用いた精神科領域におけるイノベーションの展望 | 山梨精神医学研究会後援会 | 山梨県立図書館多目的ホール | 2019/9/27 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 94 | 岸本 泰士郎 | 遠隔精神医療の導入経過とガイドライン策定、機械学習を用いた精神症状定量化の試み | 21世紀医療フォーラム 第4回ヘルスケア部会 | TKP新橋カンファレンスセンター新館 | 2019/7/10 | 慶應義塾大学 | | R1 |
| 95 | 南部美砂子 | コンビニとサードプレイスとわたしたちの居場所 | 円座Living Together Vol.2<br>現代の長屋：コレクティブハウスだけじゃない、これからの多縁な暮らし<br>（函館市） | Gスクエア（シエスタハコダテ） | 2019/9/8 | 公立はこだて未来大学 | | R1 |
| 96 | 南部美砂子 | 認知心理学の視点からコミュニケーションをとらえ直す | 渡島地域男女平等参画推進協議会第2回研修会 | 渡島振興局 | 2019/11/12 | 公立はこだて未来大学 | | R1 |
| 97 | 中根明夫 | 新型コロナウイルスとどう向き合うか | 基調講演<br>大学コンソーシアム学都ひろさき6大学合同シンポジウム | 弘前市土手町パーク、アップルストリーム | 2021/1/23 | 弘前大学 | | R2 |
| 98 | 山田勝也 | 蛍光標識L-グルコース誘導体を用いたがんの検出技術とその臨床応用 | 名古屋大学卓越大学院プログラム トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (Graduate Program of Transformative Chem-Bio Research : GTR) Seminar | 名古屋 Zoomによるオンライン開催 | 2021/3/12 | 弘前大学 | 招待講演・教育講演 | R2 |
| 99 | 山田勝也 | がん細胞が好んで取り込む物質 | 京都大学エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラム（ELP）主催「短期集中講座」『がん-その究極の病への挑戦』 | 京都 オンライン開催 | 2021/3/9 | 弘前大学 | 招待講演・教育講演 | R2 |
| 100 | 山田勝也 | 蛍光L-グルコース2-NBDLGを用いた腹水細胞診断 | 第38回青森県臨床細胞学会総会並びに学術集会 | 弘前 | 2021/3/6 | 弘前大学 | 招待講演・教育講演 | R2 |
| 101 | 山田勝也 | グルコース飢餓環境を生き抜くがん細胞の戦略 | 第10回日薬研究会 | 東京 オンライン開催 | 2021/2/25 | 弘前大学 | 招待講演・教育講演 | R2 |
| 102 | 山田勝也 | グルコース飢餓環境を生き抜くがん細胞の戦略から想うこと | 第24回酸素ダイナミクス研究会 | 東京 Zoomによるオンライン開催 | 2020/10/10 | 弘前大学 | 特別講演・教育講演 | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 103 | 中路重之 | 青森県短命県返上の活動と弘前大学COI | 第69回東北公衆衛生学会　特別講演2 | 青森市　アピオ青森 | 2020/7/17 | 弘前大学 | | R2 |
| 104 | 中路重之 | ビッグデータによる健康長寿社会の実現 | 京丹後長寿研究シンポジウム | WEB | 2020/8/21 | 弘前大学 | | R2 |
| 105 | 中路重之 | 短命県活動の今：QOL健診を中心に | 令和2年度町村長健康管理研修会講演 | 大鰐町　青森ワイナリーホテル | 2020/8/26 | 弘前大学 | | R2 |
| 106 | 中路重之 | 職場での健康づくりの実践について | 青森県農協職員全体研修会講演 | 青森県農協会館 | 2020/10/3 | 弘前大学 | | R2 |
| 107 | 中路重之 | 血圧を測ると何が分かるのだろうか | 鰺ヶ沢町令和2年度親子ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ～中学生健康教育 | 鰺ヶ沢町立鰺ヶ沢中学校 | 2020/10/6 | 弘前大学 | | R2 |
| 108 | 中路重之 | コロナ時代の健康づくり | ファンケル銀座スクエア　秋フェア講演 | ファンケル銀座スクエア | 2020/10/18 | 弘前大学 | | R2 |
| 109 | 中路重之 | 短命県返上と健康リーダー | あおもり健康づくりリーダー育成ゼミ | 青森市役所 | 2020/10/23-24 | 弘前大学 | | R2 |
| 110 | 中路重之 | 「健康物語」「中路先生と語ろう！健康づくりの取り組みについて」 | 令和2年度健やか隊員研修会講話. | 南部町ゆとりあ | 2020/10/27 | 弘前大学 | | R2 |
| 111 | 中路重之 | 岩木健康増進プロジェクトのビッグデータとSDGs | SDGs」第56回日本医学放射線学会秋季臨床大会特別講演 | WEB | 2020/10/28 | 弘前大学 | | R2 |
| 112 | 中路重之 | 中泊町、これからの健康づくり | 中泊町健康フォーラム講演 | 中泊町総合文化センターパルナス | 2020/11/1 | 弘前大学 | | R2 |
| 113 | 中路重之 | 短命県返上と健康教育 | 弘前市教育委員会　公開授業講演. | 弘前市立朝陽小学校 | 2020/11/12 | 弘前大学 | | R2 |
| 114 | 中路重之 | 親子体操が将来の子供に影響を与えるのか | 令和2年度親子体操普及員養成講座講義 | 青森中央学院大学 | 2020/11/14 | 弘前大学 | | R2 |
| 115 | 中路重之 | 短命県返上と企業の健康づくり | 八戸東洋株式会社健康講演 | 八戸東洋株式会社食堂 | 2020/11/18 | 弘前大学 | | R2 |
| 116 | 中路重之 | オープンイノベーションの視点：青森県の短命県返上活動から | プラチナ構想ネットワーク 講義 | 三菱一号館 | 2020/11/21 | 弘前大学 | | R2 |
| 117 | 中路重之 | 鶴田は日本一健康な町になれるか（青森県民の平均寿命について） | 鶴田町社会福祉大会講演 | 鶴田町保健福祉センター鶴遊館内「ふれあい広場」 | 2020/12/5 | 弘前大学 | | R2 |
| 118 | 中路重之 | 八戸液化(株)ガスの従業員の健康を願って | 八戸液化ガス　講演 | 八戸市　八戸液化ガス本社 | 2020/12/16 | 弘前大学 | | R2 |
| 119 | 中路重之 | パネルディスカッション「弘前大学COIの取り組み」 | COI東北拠点シンポジウム　未来社会のライフスタイルと”食”の健康イノベーション | ZOOM | 2021/2/9 | 弘前大学 | | R2 |
| 120 | 中路重之 | 弘前大学COIの新戦略構想：寿命革命ｲﾉﾍﾞ創出P | 地方公共団体向け次世代医療基盤法シンポジウム | オンライン配信 | 2021/2/19 | 弘前大学 | | R2 |
| 121 | 中路重之 | 世話人特別企画2　生活習慣病（糖尿病など）関連のビッグデータから導き出した主要疾病の予測式とその活用法 | 第55回糖尿病学の進歩　講演 | オンライン配信 | 2021/3/5 | 弘前大学 | | R2 |
| 122 | 冨山誠彦 | 薬剤性 パーキンソニズム・ジスキネジア | 日本神経治療学会シンポジウム | 京王プラザホテル | 2020/10/30 | 弘前大学 | | R2 |
| 123 | 奥野恭史 | 医療におけるAIの可能性～高血圧・生活習慣病を例に～ | 第64回広島高血圧・生活習慣病研究 | オンライン | 2020/9/25 | 広島高血圧・生活習慣病研究会、アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式 | | R2 |
| 124 | 奥野恭史 | スーパーコンピュータ・AIが拓く創薬・医療の未来 | 人事労災対策委員会・総務委員会 | オンライン | 2020/9/28 | 人事労災対策委員会・総務委員会 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 125 | 奥野恭史 | AIの発達による医療へのインパクトと製薬会社が採るべき戦略 | 大和証券セミナー | オンライン | 2020/10/16 | 大和証券 | | R2 |
| 126 | 奥野恭史 | AI・シミュレーションが拓く創薬・医療の未来 | CHUGAI DIGITAL DAY～ヘルスケア×デジタルの2030未来予想図 | オンライン | 2020/10/27 | 中外製薬 | | R2 |
| 127 | 奥野恭史 | スーパーコンピュータ・AIが拓く創薬の未来 | 第3回産学官連携情報交流セミナー | オンライン | 2020/12/3 | NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議 | | R2 |
| 128 | 奥野恭史 | スーパーコンピュータ・AIが拓く創薬の未来 | Life Science Startup Ecosystem | オンライン | 2020/12/10 | 筑波大学<br>慶応義塾大学 | | R2 |
| 129 | 奥野恭史 | AI・シミュレーションが拓く創薬・医療の未来 | けいはんなR&Dイノベーションフォーラム | オンライン | 2020/12/15 | 関西文化学術研究都市推進機構 | | R2 |
| 130 | 奥野恭史 | AIが拓く創薬イノベーション | 第16回日本がん分子標的治療学会TRワークショップ | オンライン | 2020/1/19 | 日本がん分子標的治療学会 | | R2 |
| 131 | 奥野恭史 | AI創薬の現状と未来<br>Today and future of AI-based drug development | 第94回日本薬理学会 | オンライン | 2020/3/9 | 日本薬理学会 | | R2 |
| 132 | 奥野恭史 | ヘルスケア・医療におけるデータサイエンス・AI | リサーチコンプレックス協議会成果報告会 | オンライン | 2020/3/12 | 神戸リサーチコンプレックス協議会 | | R2 |
| 133 | 井元清哉 | データサイエンスとは何か？ | 第58回日本医療・病院管理学会学術総会 | Online | 2020/10/3 | 東京大学 | | R2 |
| 134 | 井元清哉 | ゲノムビッグデータ解析の最前線 | 2020年度統計関連学会連合大会 | Online | 2020/9/9 | 東京大学 | | R2 |
| 135 | 井元清哉 | データサイエンスは健康科学・ゲノム医療・感染症研究の駆動力 | 中央大学 理工学研究所 2020年度 第1回 特別講演会 | Online | 2021/3/19 | 東京大学 | | R2 |
| 136 | 成本　迅 | 医療同意能力評価と意思決定支援 | 日本認知症学会 | ウェブ | オンデマンド | 京都府立医科大学 | ③ | R2 |
| 137 | 成本　迅 | 認知症の人の意思決定支援 | 日本認知症学会 | ウェブ | オンデマンド | 京都府立医科大学 | ③ | R2 |
| 138 | 成本　迅 | 認知症の人の医療選択に関する意思決定支援 | 日本精神神経学会 | ウェブ | オンデマンド | 京都府立医科大学 | ③ | R2 |
| 139 | Tomoaki Ohtsuki | Total Healthcare | IEEE Distingusihed Lecture Program | オンライン | 2020/12/1 | 慶應義塾大学 | ③ | R2 |
| 140 | 江口洋子, 河野佐代子, 中野直美, 竜崎俊亘, 林田健太郎, 藤澤大介, 田中謙二, 三村將 | 経カテーテル的大動脈弁植込み術適応の高齢患者における医療同意能力の評価と支援 | 24回日本心不全学会学術集会 | オンライン開催 | 2020/10/15 | 慶應義塾大学医学部 | ③ | R2 |
| 141 | Y. Yoshitomi | Human-Computer Communication Using Facial Expression | International Conference on Artificial Life and Robotics | On line | 2021/1/23 | 京都府立大学 | ③ | R2 |
| 142 | 山田勝也 | L-グルコースの臨床医療への応用 | 第70回日本応用糖質科学会 | 札幌市、ZoomによるWeb学会 | 2021/9/2 | 弘前大学 | | R3 |
| 143 | 山田勝也 | グルコース～脳の研究からがんの研究へ～ | 大阪大学大学院生命機能研究科セミナー | 大阪大学 | 2021/6/22 | 弘前大学 | | R3 |
| 144 | 神田晃 | 「健康と運動」健康を運動で得るには、1.何の運動を？　2.どれ位の運動強度と時間で？　3.何日間行うか？　4.目標達成の原則と理論 | 第80回日本産業衛生学会東北地方海 | 秋田県総合保健センター・秋田県医師会会議室 | 2021/7/24 | 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座 | | R3 |
| 145 | 奥野恭史 | ビッグデータ・人工知能が拓く医療の未来 | 公益社団法人医療・病院管理研究協会 | オンライン | 2021/8/27 | 京都大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 146 | 奥野恭史 | ビッグデーAIが拓く医療の未来<br>Future perspective in medicine driven by big data and AI technologies | 第39回日本骨退社学会学術集会 | オンライン | 2021/10/10 | 京都大学 | | R3 |
| 147 | 菅沼大行、林宏紀、松本舞 | 野菜摂取量を非侵襲で推定する仕組み「ベジチェック®」の開発（令和3年度技術賞受賞講演） | 第75回日本栄養・食糧学会大会 | オンライン | 2021/7/3 | カゴメ(株) | 2-a-2 | R3 |
| 148 | 奥野恭史 | ビッグデータ・AIが拓く創薬・医療の未来 | KEC関西電子工業噴口センター/2021年 KECセミナー | オンライン | 2021/7/2 | 京都大学 | | R3 |
| 149 | 奥野恭史 | スーパーコンピュータ・AIが拓く創薬・医療の未来 | 第六回総会＆一般社団法人設立祝賀会 | オンライン | 2021/7/9 | 京都大学 | | R3 |
| 150 | 奥野恭史 | 医療・創薬におけるAI・データ利活用の現状と可能性 | （株）国際電気通信基礎技術研究所/ATRオープンハウス202 | オンライン | 2021/11/11 | 京都大学 | | R3 |
| 151 | 井元清哉 | ゲノムデータ解析で挑む、未知の病気解明と健康な日常 | IBM Think Summit | IBM | 2021/10/5 | 東京大学 | | R3 |
| 152 | 吉田富美子 | シンポジウム『会社と社員を元気にする「健康経営」をデザインする』 | 健康経営デザインスクール | 東京大学 | 2021/11/18 | ベネッセコーポレーション | | R3 |
| 153 | 成本迅 | 認知症のある消費者の支援について | 第17回消費者契約に関する検討会 | オンライン開催 | 2021/5/14 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 154 | 成本迅 | 認知症の人の意思決定能力とサポート体制 | 公益財団法人生協総合研究所公開研究会 | オンライン開催 | 2021/6/17 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 155 | 樋山雅美 | 金融機関における高齢者支援の課題と展望 | 第36回日本老年精神医学会 | オンライン開催 | 2021/8/2 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 156 | 成本迅 | 認知症の人におけるアドバンス・ケア・プランニング | 第34回日本臨床内科医学会特別企画4 | オンライン開催 | 2021/9/20 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 157 | 成本迅 | 認知症の人におけるアドバンス・ケア・プランニング | 第33回日本生命倫理学会年次総会 公募ワークショップ. | オンライン開催 | 2021/11/28 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 158 | 岸本 泰士郎 | 本邦におけるオンライン診療導入経過とエビデンス | 第45回日本神経心理学会学術集会 | 日本教育会館 | 2021/10/1 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 159 | 岸本 泰士郎 | 精神科オンライン診療の実態考査と今後への提案 | 日本精神神経科診療所協会 第27回(通算48回)学術研究会 | オンライン | 2021/9/21 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 160 | 岸本 泰士郎 | オンライン診療やAIを活用した今後の精神科医療の展望と課題, | 第62回日本心身医学会総会ならびに学術講演会 | かがわ国際会議場 | 2021/7/10 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 161 | 岸本 泰士郎 | 本邦における気分障害治療における情報通信技術の活用の現状と展望 | 第18回日本うつ病学会総会/第21回日本認知療法・認知行動療法学会 | パシフィコ横浜 | 2021/7/8 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 162 | 江口洋子 | 遠隔で神経心理学的検査を行う際の実施方法と留意点 | 第45回日本神経心理学会学術集会 | 日本教育会館 | 2021/10/1 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 163 | 江口洋子 | 認知症高齢者の入院時における医療同意能力の評価と支援 | 第117回日本精神神経学会学術総会 | 国立京都国際会館 | 2021/9/19 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 164 | 江口洋子 | 高齢者の認知機能低下と金銭や財産取り扱いに関する諸問題と支援 | 第36回日本老年精神医学会 | オンライン | 2021/9/16 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 165 | 新村秀人 | Telepsychiatry の将来. | 第21回日本外来精神医療学会学術総会 | オンライン | 2021/10/17 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 166 | 新村秀人 | Very late onset統合失調症は若年発症の統合失調症の高齢化と異なるのか？ | 第36回日本老年精神医学会 | オンライン | 2021/9/16 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 167 | 三村 將 | 高齢者の睡眠とメンタルヘルス | 高齢者メンタルヘルスセミナー | 大分 | 2021/10/18 | 慶應義塾大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 168 | 三村 將 | 認知症の神経心理学 | 日本精神科病院協会 高齢者医療・介護保険委員会<br>令和3年度認知症に関する研修会（第26回） | 東京 | 2021/11/19 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 169 | 三村　將 | 高次脳機能障害と自動車運転 | 関東管区警察学校 運転適性相談専科 | 関東管区警察学校 | 2021/11/30 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 170 | Yuya Yokoyama | Construction of Social Network Observing Secure and Independent Economic Activities of Elderly People | International Forum on Applied Information Technology and Social Informatics | On line | 2022/1/12 | 京都府立大学 | 3-b | R3 |
| 171 | 日下菜穂子 | ウェルビーイングその先を考える | SUNDRED×未来社会デザインオープンプラットフォーム | オンライン | 2021/8/3 | 同志社女子大学 | | R3 |
| 172 | Dobashi M, Imaizumi T, Tasaka S. | TLR3 signaling induces IFN-・/ISG56/IFITM1 axis in Beas-2B bronchial epithelial cells | The 25th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology | Kyoto/WEB | 2021/11/20-21 | 弘前大学 | | R3 |
| 173 | 今泉忠淳、松宮朋穂 | Porphyromas gingivalis のLPS は培養ヒト脳微小血管内皮細胞の IL-6 と CCL2 の発現を誘導する | 第94回日本生化学会大会 | WEB | 2021/11/3-5 | 弘前大学 | | R3 |
| 174 | 松宮朋穂、今泉忠淳 | Transmembrane protein 72 の細胞内局在に関する検討 | 第94回日本生化学会大会 | WEB | 2021/11/3-5 | 弘前大学 | | R3 |
| 175 | 劉旭、今泉忠淳、于在強、大徳和之、皆川正仁、菊池晴久、大島吉輝、元村成、古川賢一、瀬谷和彦 | ヒト脳微小血管内皮細胞の自然免疫誘発に対するヤマブドウ成分の抑制作用 | 第72回日本薬理学会北部会 | オンライン | 2021/9/23 | 弘前大学 | | R3 |
| 176 | 梅津英典、佐藤理子、橋本峻、相澤知美、渡邊祥二郎、津川浩二、田中完、今泉忠淳 | ヒト糸球体上皮細胞におけるToll 様受容体3 シグナルを介したインターロイキン-6 は炎症性ケモカインの発現を抑制する | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市 (WEB) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 177 | 橋本峻、梅津英典、佐藤理子、相澤知美、渡邊祥二郎、津川浩二、田中完、今泉忠淳 | Expression of IFN-induced transmembrane protein 1 in glomerular endothelial cells | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市 (WEB) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 178 | 渡邊祥二郎、唐沢貴生、梅津英典、橋本峻、佐藤理子、藤田真司、相澤知美、津川浩二、田中完、今泉忠淳 | SMPDL3bはヒト podocyteのTLR3シグナルを調整する | 第56回小児腎臓病学会 | 高知市 (WEB) | 2021/7/9 | 弘前大学 | | R3 |
| 179 | 川口章吾、櫻庭裕丈、菊池英純、平賀寛人、今泉忠淳、福田眞作<br>京都ホテルオークラ<br>（WEB） | 非アルコール性脂肪性肝炎の病態におけるMDA5の関与 | 第58回日本消化器免疫学会総会 | 京都（WEB） | 2021/7/2 | 弘前大学 | | R3 |
| 180 | Subsomwong P, Narita K, Kawai N, Nakane A, Asano K | Role of extracellular vesicles from Staphylococcus aureus on pathogenicity of Pseudomonas aeruginosa | 第95回日本細菌学会総会 | オンライン開催 | 2022/3/29-31 | 弘前大学 | | R3 |
| 181 | Fukushi R, Yamauchi M, Takase S, Kimura R, Miura M, Saito M, Narita K, Asano K, Nakane A | Germicidal effect of 222 nm-UVC on S. aureus and B. cereus adhered to fabrics | 第95回日本細菌学会総会 | オンライン開催 | 2022/3/29-31 | 弘前大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 182 | 森裕幸、高橋芳雄、足立匡基、新川広樹、中村和彦 | 自閉スペクトラム症特性と抑うつの関連におけるソーシャル・キャピタルの媒介効果 | 第62回日本児童青年精神医学会総会 | Online | 2021/11/14-12/11 | 弘前大学 | | R3 |
| 183 | 斉藤まなぶ 、大里絢子、三上珠希、照井藍、坂本由唯、足立匡基、中村和彦 | 3 歳児における自閉スペクトラム症の有病率の推定 | 第62回日本児童青年精神医学会総会 | Online | 2021/11/14-12/11 | 弘前大学 | | R3 |
| 184 | 高橋芳雄、足立匡基、西村倫子、新川広樹、森裕幸、中村和彦 | 児童思春期におけるインターネットの依存的使用と抑うつ症状の縦断的関係 | 第62回日本児童青年精神医学会総会 | Online | 2021/11/14-12/11 | 弘前大学 | | R3 |
| 185 | 三上珠希、斉藤まなぶ、大里絢子、坂本由唯、照井藍、中村和彦 | 青森県発達障害専門医療機関初診待機解消モデル事業の効果検証 | 第62回日本児童青年精神医学会総会 | Online | 2021/11/14-12/11 | 弘前大学 | | R3 |
| 186 | 大里絢子、斉藤まなぶ、三上珠希、照井藍 、坂本由唯、足立匡基、中村和彦 | 3 歳児健診における神経発達症のスクリーニング新尺度の検証 | 第62回日本児童青年精神医学会総会 | Online | 2021/11/14-12/11 | 弘前大学 | | R3 |
| 187 | 照井藍、斉藤まなぶ、九鬼朝美、 坂本由唯、 三上珠希、大里絢子、 中村和彦 | 未就学児の神経発達障害と睡眠問題; 行動、フェリチンとの関連 | 第117回日本精神神経学会学術総会 | Online | 2021/10/4-11/30 | 弘前大学 | | R3 |
| 188 | 坂本由唯、斉藤まなぶ、大里絢子、照井藍、三上珠希、中村和彦 | 5歳児におけるオキシトシンと神経発達障害の関連と男女差 | 第117回日本精神神経学会学術総会 | Online | 2021/10/4-11/30 | 弘前大学 | | R3 |
| 189 | 九鬼朝美、斉藤まなぶ、照井藍、 坂本由唯、 三上珠希、大里絢子、 中村和彦 | 5歳児の睡眠障害についての疫学分析 | 第117回日本精神神経学会学術総会 | Online | 2021/10/4-11/30 | 弘前大学 | | R3 |
| 190 | 中村和彦 、斉藤まなぶ 、足立匡基 | シンポジウム「子どものこころの臨床に関する現状と課題」5歳児発達健診と学校コホートの試み | 第48回日本脳科学会 | 浜松市 | 2021/12/4-5 | 弘前大学 | | R3 |
| 191 | 葛西秋宅 | タモキシフェンによるGcn1コンディショナルノックアウトマウスの表現型解析 | 第74回日本酸化ストレス学会 第21回日本NO学会 合同学術集会 | Online | 2021/5/19-20 | 弘前大学 | | R3 |
| 192 | Yamada K | That's not true! A magic wand he gave me | 第99回日本生理学会大会合同大会 | 仙台市, ハイブリッド形式 | 2022/3/18 | 弘前大学 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やかカ」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑫-4　発表（その他）**

| No | 発表者 | タイトル | 学会名等 | 場所 | 年月日 | 発表機関（参画機関のみ） | 備考（形式、課題番号等） | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 小賀野晶一 | 基調講演「判断能力が低下した患者の意思決定について---リビングウイルを中心に」 | 公益社団法人千葉県医師会第2回終末期医療に関するシンポジウム「高齢者の終末期の医療およびケア ---リビングウィルを考える～」 | 千葉市 | 2014/2/23 | 千葉大学 | 基調講演 | H25 |
| 2 | 中路重之 | 脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発 | 政策情報セミナー：革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）について | 一般財団バイオインダストリー協会　会議室 | 2014/6/11 | 弘前大学 | 講演 | H26 |
| 3 | 大槻知明 | （チュートリアル講演）MIMOを用いた見守り技術 | 2015年電子情報通信学会総合大会 | 立命館大 | 2015/3/10 | 慶應義塾大学理工学部 | チュートリアル講演 | H26 |
| 4 | 飯干紀代子 | 認知症の人とのコミュニケーション：実践の基礎から応用まで | 第16回認知症ケア学会 | 札幌 | 2015/5/22 | 志學館大学 | 教育講演 | H27 |
| 5 | 渡邊衡一郎 | 薬物療法と精神療法の融合の可能性-薬物療法を行う上での精神療法的アプローチー | 第12回日本うつ病学会総会・第15回日本認知療法学会 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | 教育講演 | H27 |
| 6 | 渡邊衡一郎 | 当事者と協働して治療アプローチを決めていく新しい方策Shared Decision Making（SDM）について | 第58回日本病院・地域精神医学会総会 | 東京 | 2015// | 杏林大学 | 教育講演 | H27 |
| 7 | 林田直美, 今泉美彩, 志村浩己, 大久保礼由, 浅利靖, 二川原健, 緑川早苗, 小谷和彦, 中路重之, 大津留晶, 赤水尚史, 貴田岡正史, 鈴木眞一, 高村昇, 山下俊一, 谷口信行 | 小児の甲状腺超音波検診 3県の有所見率調査の結果について | 甲状腺結節性疾患有所見率等調査委員会2016.4　第36回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会 | 京都 | 2016/4/20 | 弘前大学 | パネルディスカッション | H28 |
| 8 | 千葉大輔, 前田周吾, 佐々木英嗣, 武田温, 太田聖也, 高橋一平, 中路重之, 津田英一,石橋恭之 | 内側半月偏位と内側膝関節裂隙狭小化の関連3年間の縦断調査から | 第89回日本整形外科学会 | パシフィコ横浜 | 2016.5.12 | 弘前大学 | | H28 |
| 9 | 武田温,　和田簡一郎, 熊谷玄太郎, 千葉大輔, 佐々木英嗣, 太田聖也, 高橋一平, 中路 重之, 石橋恭之 | Wall occiput distanceと前腕骨密度の関連 | 第89回日本整形外科学会 | パシフィコ横浜 | 2016.5.12 | 弘前大学 | | H28 |
| 10 | 村下公一 | | プラチナ構想ネットワーク主催 プラチナ保健師スクール | 東京都東急キャピトルタワー | 2016年5月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 11 | 村下公一 | | UNITT大学技術移転協議会アニュアル・カンファレンスセッション「地域の産学連携事例」 | 東北大学川内キャンパス | 2016年5月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 12 | 村下公一 | | 医療現場ニーズ勉強会（青森MOT） | 弘前大学コミュニケーションセンター | 2016年8月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 13 | 村下公一 | | JSTフェア2016 | 東京ビッグサイト | 2016年8月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 14 | 村下公一 | | ライフイノベーションビジネススクール | 医療機器開発MOT講座 | 2016年8月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 村下公一 | | ITPro/デジタルヘルスDAYS2016カンファレンス | 東京ビッグサイト | 2016年10月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 16 | 村下公一 | | 青森県建設業協会労働災害防止大会（労働安全衛生） | 上北地区 | 2016年11月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 17 | 村下公一 | | | 文部科学省　情報ひろばラウンジ | 2016年12月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 18 | 村下公一 | | SEMICON Japan 2016 特別展「WORLD OF IOT」 | 東京ビッグサイト | 2016年12月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 19 | 村下公一 | | ICT体験フェアinはちのへ | 八戸ポータルミュージアムはっち | 2017年1月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 20 | 中路重之 | 市民と巻き起こす真の健康イノベーション | ひろさきライフ・イノベーションシンポジウム～寝たきり”ゼロ”社会を目指して（特別講演） | シティアートホテルズ弘前 | 2017.1.15 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 21 | 中路重之 | 新たな健診スタイルの提唱 | 弘前大学COI 2016ヘルシーエイジング・イノベーションサミット　基調講演 | アートホテルズ弘前 | 2017/1/27 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 22 | 高橋一平 | ビッグデータ解析研究最前線 | 弘前大学COI 2016ヘルシーエイジング・イノベーションサミット　特別企画2 | アートホテルズ弘前 | 2017/1/27 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 23 | 村下公一 | | 青森県と弘前市共催　オープンデータアイデアソン | 弘前市 | 2017/2/1 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 24 | 中路重之 | 青森県で今行われている職場での健康づくり | 平成28年度　弘前市医師会　短命県返上市民公開講座 | 弘前市 | 2017.2.26 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 25 | 村下公一 | | 青森県庁主催　か(変)えるセミナー | ラ・プラス青い森 | 2017年2月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 26 | 村下公一 | | 農林水産省「知の集積」プロジェクト公開シンポジウム　食べ物と腸内環境 | 東京八重洲 | 2017年2月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 27 | 村下公一 | | 文科省・経産省主催　本格的な産学官共同研究をすすめるための地域フォーラム | 東北大学片平キャンパス | 2017年2月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 28 | 村下公一 | | ヘルスケア＆スポーツ街づくりEXPO 2017 | 東京ビッグサイト | 2017年3月 | 弘前大学 | 講演 | H28 |
| 29 | 山田勝也 | | 「定量化と偶然」上村大輔神奈川大学教授を囲む講演会（共催 日本化学会） | 横浜 | 2016/6/4 | 弘前大学 | シンポジウム講演 | H28 |
| 30 | 山田勝也 | | 第20回酸素ダイナミクス研究会 | 東京 | 2016/11/19 | 弘前大学 | 座長 | H28 |
| 31 | 山田勝也 | | Neurovascular Unit 研究会2017 セッション1：NVU | 東京 | 2017/1/28 | 弘前大学 | 座長 | H28 |
| 32 | 成本 迅 | 認知症の方の医療同意 | 第18回日本在宅医学会大会 第21回日本在宅ケア学会学術集会 | 東京 | 2016/9/28 | 京都府立医科大学 | 教育講演 | H28 |
| 33 | 日下菜穂子 | ワンダフル・エイジング：地域連携による高齢者の心理的支援 | 第6回高品位介護シンポジウム | 京都工芸繊維大学，京都 | 2016/10/31 | 同志社女子大学 | 基調講演 | H28 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 未来大プロジェクト学習medicalifeグループ | Pepperで認知症患者とのコミュニケーションを学ぶ模擬訓練システムの開発 | HAKODATEアカデミックリンク2016 | キャンパス・コンソーシアム函館 | 2016/11/12 | 公立はこだて未来大学 | デモ発表（http://www.cc-hakodate.jp/cch_info/4012） | H28 |
| 35 | 未来大プロジェクト学習medicalifeグループ | ロボと学ぶ声かけ−しょん | Pepper App Challenge 2017, ソフトバンクグループ | 不明 | 2017// | 公立はこだて未来大学 | 企画書・動画（http://www.softbank.jp/robot/special/app-challenge-2017/） | H28 |
| 36 | 斉藤まなぶ | 日本のDCD研究最前線から　日本の子どもの疫学データから | 第1回日本DCD学会学術集会 | 神戸 | 2017/4/16 | 弘前大学 | | H29 |
| 37 | 村下公一 | 健康ビッグデータ解析による“健康長寿社会”の実現を目指した弘前大学COIの挑戦 | 「第27回日本臨床工学会」共催学術講演「世界最先端のヘルスケア産業創出へ」 | 青森 | 2017/5/21 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 38 | 村下公一 | 弘前大学COIプロジェクトの取組みについて | 人間生活工学研究センター（HQL）主催<br>「研究交流会2017　オープン・イノベーション・プラットフォーム」 | 東京 | 2017/6/21 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 39 | 村下公一 | 超多項目健康BD解析による健康長寿社会実現 | いわて健康産業推進シンポジウム2017 | 盛岡市 | 2017/6/23 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 40 | 中路重之 | 健康づくりを中心とした社会イノベーション | 第4回弘前医療技術イノベーションシンポジウム | 弘前市 | 2017/6/25 | 弘前大学 | パネルディスカッション | H29 |
| 41 | 古郡規雄 | 診療に役立つ薬物動態学−相互作用を予測する− | 第1回日本臨床薬理学会北海道・東北地方会 | 札幌 | 2017/7/15 | 弘前大学 | | H29 |
| 42 | 倉内静香 | 健康啓発を促す新たな健康診査の試み―企業を対象として― | 第76回　日本産業衛生学会東北地方会 | 福島市 | 2017/7/29 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 43 | 沢田かほり | ”啓発型健診”における健康教育の試み | 第76回　日本産業衛生学会東北地方会 | 福島市 | 2017/7/29 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 44 | 村下公一 | ピンチはチャンス！弘前発！ビッグデータを活用した予防医療 | 第17回　抗加齢医学の実際（日本抗加齢医学会） | 東京 | 2017/9/18 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 45 | 中路重之 | 青森県の短命県返上活動から見えてくるもの−沖縄での国際医療拠点構想における医療情報システムへの展望 | 第66回日本農村医学会学術総会 | 沖縄 | 2017/10/5 | 弘前大学 | | H29 |
| 46 | 中路重之 | 健康づくりと経済.『Biojapan2017「高齢化社会のヘルスケア革）」(横浜)』 | | 横浜 | 2017/10/13 | 弘前大学 | | H29 |
| 47 | 村下公一 | 決してあきらめないチカラ～日々の挑戦が暮らしを変える | 第53回テレビと生涯学習研究協議会全国大会2017青森 | 青森 | 2017/10/21 | 弘前大学 | パネルディスカッション | H29 |
| 48 | 村下公一 | 巨大産学官民連携チームが超多項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす | 第1回トップマネジメントセミナー「最新情報技術の活用と可能性」 | 大津市 | 2017/10/23 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 49 | 伊東健 | Nrf2とATF4の相互作用を基盤にした加齢性変性疾患予防法の開発 | . 第14回レドックスイノベーションシンポジウム | 仙台 | 2017/10/26−27 | 弘前大学 | | H29 |
| 50 | 村下公一 | 「短命県返上から世界人類の健康づくりへ：弘前大学COIの挑戦」文部科学省COI事業 | 学連携学会×東京医科歯科大学合同主催　平成29年度　産学官連携秋季シンポジウム「医療イノベーション」 | 東京医科歯科大学　湯島キャンパス　M&Dタワー | 2017/11/7 | 弘前大学 | 講演 | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 51 | 村下公一 | 世界最大級の超多項目健康ビッグデータを活かす～弘前大COIの挑戦～ | PB Open House vol.1 | ピツニーボウズジャパン東京本社 | 2017/11/22 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 52 | 中村和彦 | 自閉スペクトラム症児者の理解 | 2017年度　一般社団法人日本LD学会 公開シンポジウム | .新潟 | 2017/11/26 | 弘前大学 | | H29 |
| 53 | 中村和彦 | シンポジウム 自閉スペクトラム症児者のライフステージに応じた“つながる”支援 | 2017年度　一般社団法人日本LD学会 公開シンポジウム | .新潟 | 2017/11/26 | 弘前大学 | | H29 |
| 54 | 中路重之 | 短命県返上に向けた弘前大学と青森県の試み | . 保健管理センター全国大会シンポジウム | 沖縄 | 2017/11/29 | 弘前大学 | | H29 |
| 55 | 村下公一 | 寿命革命」旗印に、産学官民の英知を結集して”社会イノベーション”実現をめざすー | 東京大学COI「第7回　健康長寿ループの会」 | 伊藤謝恩ホール（東京大学本郷キャンパス） | 2017/12/1 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 56 | 倉内静香 | 「青森県における”健康経営認定制度”について」 | 県民公開講座 シンポジウム「青森県における”健康経営認定制度”の意義と課題」 | 青森 | 2017/12/3 | 弘前大学 | | H29 |
| 57 | 古郡規雄 | 向精神薬の依存性の問題　抗うつ薬の依存の問題 | 第38回日本臨床薬理学会学術総会 | 横浜 | 2017/12/7-9 | 弘前大学 | | H29 |
| 58 | 村下公一 | 未来の健康社会　取り組むべき課題 | ヘルスケアビジネス エキスポ in おおさか | 大阪国際会議場 | 2017/12/12 | 弘前大学 | パネルディスカッション | H29 |
| 59 | 村下公一 | 弘前COIの将来展望—超多項目健康ビッグデータをどう活かすか— | 第390回 CBI学会講演会<br>臨床分野におけるAI活用の可能性と実際 | グランフロント大阪 | 2017/12/22 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 60 | 中路重之 | 青森県の短命県返上に向けた取り組みと生協への期待 | 森県生活協同組合連合会「健康づくりキックオフ研修会」 | リンクステーション青森 | 2018/1/9 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 61 | 村下公一 | 弘前COIが『新型健診』で挑む、健康意識・行動の変容 | 日本総合健診医学会第46回大会　特別セミナー | 愛知県産業労働センター（ウインクあいち） | 2018/1/26 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 62 | 村下公一 | 《弘前大COI:市民を巻き込むオープンイノベーション2.0への挑戦》弘前COIのめざすイノベーション戦略ー「寿命革命」を旗印に,産学官民の英知を結集して“社会イノベーション”実現をめざすー | 経団連COI意見交換会2018 | 経団連会館 | 2018/2/2 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 63 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータが健康の未来を変える！　弘前大学COIの産学地域連携戦略について | 北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク講演会<br>「医療・健康・バイオ分野における産学官連携」 | 岩手県立大学滝沢キャンパス | 2018/2/22 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 64 | 村下公一 | 2千項目健康BDが健康の未来を変える! | 第7回 超異分野学会<br>地域セッション「シグモイド曲線の向こう側～地域で世界一の研究をしよう～」 | TEPIA先端技術館 | 2018/2/26 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 65 | 村下公一 | —挑戦！寿命革命— 2000項目健康ビッグデータから見える真の健康の未来 | 鶴岡高専特別講演会 | 鶴岡メタボロームキャンパス大会議室 | 2018/3/8 | 弘前大学 | 講演 | H29 |
| 66 | 古郡規雄 | 統合失調症の薬物療法と生命予後　身体合併症のモニタリングについて | 第13回日本統合失調症学会 | 徳島 | 2018/3/23-24 | 弘前大学 | | H29 |
| 67 | 村下公一 | 2千項目健康BDが健康の未来を変える！ | 横浜ライフイノベPFフォーラム LIP.横浜ネットワークセミナー<br>ー健康・医療分野のビッグデータ利活用に関する今後の展開ー | TKPガーデンシティ横浜 | 2018/3/29 | 弘前大学 | 講演 | H29 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 68 | 中路重之 | 青森県健康経営認定制度について | 平成30年度　青森県健康経営セミナー | 弘前市民会館大会議室 | 2018/5/9 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 69 | 中路重之 | 青森県健康経営認定制度について | 平成30年度　青森県健康経営セミナー | リンクステーションホール青森中会議室 | 2018/5/10 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 70 | 村下公一 | 短命県返上から世界人類の健康づくり | 第135回　宮城県スポーツ医学懇話会勉強会 | 東北大学医学部 | 2018/5/12 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 71 | 中路重之 | 青森県健康経営認定制度について | 平成30年度　青森県健康経営セミナー | 八戸市運動公園体育施設　八戸スポーツ研修センター | 2018/5/17 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 72 | 村下公一 | 弘前大学COI拠点の将来展望-超多項目健康ビッグデータをどう活かすか- | 第25回　クロマトグラフィーシンポジウ | 弘前大学　創立50周年記念会館 | 2018/6/13 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 73 | 斎藤まなぶ | 子どものこころの臨床研究トピックス、コホート研究から脳画像研究まで | 第114回日本精神神経学会学術集会 | 神戸 | 2018/6/21-23 | 弘前大学 | シンポジウム | H30 |
| 74 | 古郡規雄 | S1-2　気分障害と身体合併症の関係について | 公益社団法人日本精神神経科診療所協会<br>平成30年度定時総会　第24回（通算45回）学術研究会 | 淡路市(兵庫県) | 2018/06/23-24 | 弘前大学 | シンポジウム1 | H30 |
| 75 | 村下公一 | 短命県返上から世界人類の健康づくりへ-超多項目(2000)健康ビッグデータからみえる健康の未来- | 志學館大学(鹿児島県) COIセミナー2018 | 志學館大学(鹿児島県) COSMOSホール | 2018/8/8 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 76 | 村下公一 | 短命県返上から世界人類の健康づくりへ―超多項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現を目指す弘前大学COIの挑戦 | 熊本大学HIGOプログラムセミナー | 熊本大学 | 2018/8/9 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 77 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータを基盤とする弘前大学COIの基本戦略 | 健康脆弱化予知予防コンソーシアム | 理化学研究所東京連絡事務所 | 2018/8/29 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 78 | 村下公一 | 弘前COIが『新型健診』で挑む、健康意識・行動の変容 | 第59回人間ドック学会学術大会 | 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター | 2018/8/30 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 79 | 村下公一 | 寿命革命『健康ビッグデータ』と『新型健診』で新たな価値創出、健康意識・行動の変容 | 病院・診療所・健診センター向けセミナー【働き方改革】～快適な改革をナビゲートする～ | 沖縄県立博物館・美術館 | 2018/9/7 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 80 | 村下公一 | 最先端技術（ＡＩ）で健康の未来を予測する―超多項目（2000）項目健康ビックデータから見える真の健康の姿― | 全国地域情報産業団体連合会主催　平成30年度 年次大会（青森大会） | ホテル青森 | 2018/9/27 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 81 | 村下公一 | 人間情報から人間拡張まで ―つくばから柏の葉まで― | 第4回 人間情報研究部門シンポジウム（SHI2018） | 千葉 | 2018/10/1 | 弘前大学 | シンポジウム(柏の葉カンファレンスセンター) | H30 |
| 82 | 三浦雅子 | あおもりまるごと健康チャレンジ | 健康づくり支援企画 2018年度取り組み交流会 | コープ共済プラザ | 2018/10/10 | コープ共済連 | 日本生協連の会員生協・事業連合・都道府県生協連・他の32団体が参加 | H30 |
| 83 | 村下公一 | 短命県返上から世界人類の健康づくりへ―超多項目（2000）健康ビッグデータからみえる健康の未来 | 博報堂ライフサイエンスソリューションセミナー | 株式会社博報堂 | 2018/10/12 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 84 | 安川拓次 | 内臓脂肪量の見える化を切り口とした健康づくり事業の開発と展開 | デジタルヘルスDAYS 2018 | 東京ビッグサイト | 2018/10/18 | 弘前大学COI | 講演 | H30 |
| 85 | 西永英司 | 【弘前大学COI】<br>唾液検査システムによる啓発型歯科健診のデジタル化イノベーション | デジタルヘルスDAYS2018 | 東京ビッグサイト | 2018/10/18 | ライオン株式会社 | 講演 | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 86 | 上野正一 | 健康情報データと食習慣との関連分析結果を活用した新たな食スタイルの開発 | デジタルヘルスDAYS | 国際展示場 | 2018/10/19 | ハウス食品グループ本社 | 講演 | H30 |
| 87 | 稲益　悟志 | 冷えとフレイルへ独自のアプローチ～超多項目ビッグデータ活用による未病状態の改善 | デジタルヘルスDAYS 2018 | 東京ビッグサイト | 2018/10/19 | クラシエホールディングス株式会社 | 講演 | H30 |
| 88 | 浅野悠 | 水と健康を科学する | デジタルヘルスDAYS | 東京ビッグサイト | 2018/10/19 | サントリー食品インターナショナル株式会社 | シアター講演 | H30 |
| 89 | 村下公一 | “短命県返上から世界人類の健康づくりへ—超多項目（2000）健康ビッグデータからみえる健康の未来 | ノバルティス・アップルセミナー | 弘前文化センター | 2018/10/20 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 90 | 村下公一 | 短命・青森から世界の健康づくりに貢献する　弘前大健康ビッグデータプロジェクト | 青森県主催「野菜で健康大作戦」セミナー | 弘前文化センター | 2018/10/27 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 91 | 菅沼大行 | 「野菜を食べることと健康との関わり～弘前大学「野菜生命科学講座」で目指すこと～ | 「野菜で健康大作戦」セミナー主催：青森県 食の安全・安心推進課 | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2018/10/27 | カゴメ(株) | 講演 | H30 |
| 92 | 村下公一 | “短命県返上から世界人類の健康づくりへ—超多項目（2000）健康ビッグデータからみえる健康の未来— | 青森県・（公財）21あおもり産業総合支援センター主催　医療現場ニーズ勉強会（青森MOT） | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2018/10/29 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 93 | 古郡規雄 | 統合失調症の薬物治療戦略：理論と実践<br>S1-2　統合失調症薬物治療における治療者と当事者の認識の違い | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | シンポジウム1 | H30 |
| 94 | 冨田哲 | 臨床から研究を始める、研究を臨床に生かす～これから臨床精神薬理を志すあなたへのメッセージ～<br>S6-1 若手が症例報告すると臨床が変わる | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | シンポジウム6 | H30 |
| 95 | 中村和彦 | 青年期・若年成人期のADHDとASDの薬物療法<br>S9-3　自閉スペクトラム症の治療　薬物療法の役割 | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | シンポジウム9 | H30 |
| 96 | 古郡規雄 | 施行から半年、更なる臨床研究の推進を目指して<br>CRM-2 特定臨床研究以外の重要な課題<br>－医薬品等の臨床研究から個人情報保護法等の改正に伴う研究倫理指針まで－ | 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会 | 東京 | 2018/11/14-16 | 弘前大学 | 臨床研究法ワークショップ | H30 |
| 97 | 古郡規雄 | 精神科における個別科医療を目指して：臨床家からの視点 | 第28回日本医療薬学会年会 | 神戸市 | 2018/11/23-25 | 弘前大学 | シンポジウム | H30 |
| 98 | 村下公一 | “短命県返上から世界人類の健康づくりへ—超多項目（2000）健康ビッグデータからみえる健康の未来— | 青森県広告協会研修会 | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2018/11/27 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 99 | 村下公一 | 超多項目（2000）健康ビッグデータで健康長寿社会実現へ挑戦する—嗅覚機能（におい・香り）検査がもたらす次世代健康イノベーションの可能性 | フレグランスジャーナル社主催、第19回アロマ・サイエンス・フォーラム2018 | アルカディア市ヶ谷（私学会館） | 2018/11/30 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 100 | 古郡規雄 | LS2. 精神科治療に伴う身体リスクの管理 | 第31回日本総合病院精神医学会総会 | 東京 | 2018/11/30 | 弘前大学 | ランチョンセミナー | H30 |
| 101 | 斉藤まなぶ | 地域の5歳児健診の現状と早期発見の道筋 | 第22回日本精神保健・予防学会学術集会 | 東京 | 2018/12/1-2 | 弘前大学 | シンポジウム | H30 |
| 102 | 村下公一 | 新健診モデルでSDGsに貢献する—2千項目健康ビッグデータをベースとした未来型ヘルスケアサービスの追求— | 地域医療福祉情報連携協議会主催　第15回地域医療福祉情報連携フォーラム～地域医療連携の新しいパラダイム～ | (株)シード・プランニング　Seed Library | 2018/12/18 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 103 | 斉藤まなぶ | 発達性協調運動症の早期発見と支援 | 日本LD学会第2回研究会 | 東京 | 2019/1/13 | 弘前大学 | シンポジウム | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 104 | 村下公一 | 行動変容を徹底追及する『新健診モデル』で健康経営を加速する－2千項目健康ビッグデータをベースとした未来型ヘルスケアサービスの追求－ | 健康経営®フォーラム2018「働き方改革とこれからの健康経営」 | 日本橋三井ホール | 2019/1/17 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 105 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータを基盤とする弘前大学COIの基本戦略ー寿命革命：短命県返上から世界人類の健康づくり（SDGs）への貢献ー | 平成30年度medU-net（医療系産学連携ネットワーク協議会）×日本製薬工業協会×AMED合同フォーラム | 東京医科歯科大学 M＆Dタワー2F 鈴木章夫記念講堂 | 2019/1/21 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 106 | 村下公一 | 特別講演/ランチョンセミナー | 日本総合健診医学会 第47回大会 | 新横浜プリンスホテル | 2019/2/1 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 107 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータを基盤とする弘前大学COIの基本戦略－寿命革命：短命県返上から世界人類の健康づくり（SDGs）への貢献ー | 第7回STI政策シンポジウムーライフイノベーションによる健康長寿社会の実現－ | 天神スカイホール | 2019/2/4 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 108 | 村下公一<br>杉山美恵子 | 弘前大学COIの挑戦 | 「リンゴ王国 こうぎょくカレッジ」 | 弘前市 | 2019/2/3<br>2019/2/10 | 弘前大学 | 放送（FMアップルウェーブ） | H30 |
| 109 | 村下公一 | 弘前大学COIの基本戦略 | 厚生労働省 医系技官(医師)勉強会 | 厚生労働省 本館大会議室 | 2019/2/14 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 110 | 小濱佑介 | 食生活と健康寿命 | 「リンゴ王国 こうぎょくカレッジ」 | 弘前市 | 2019/2/17<br>2019/2/24 | ハウス食品工業 | 放送（FMアップルウェーブ） | H30 |
| 111 | 村下公一 | 超多項目(2000)健康ビッグデータをどう活かすか？<br>－研究データの戦略的利活用によるオープンイノベーション2.0への挑戦－ | JST 研究データ利活用協議会(RDUF)公開シンポジウム～研究データ利活用のさらなる促進のために～ | JST東京本部別館 | 2019/2/18 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 112 | 村下公一 | 弘前大COIと東大COIの取り組みについて | 東大COI健康長寿ループの会 | 伊藤謝恩ホール（東京大学本郷キャンパス内） | 2019/2/21 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 113 | 中村和彦 | 【ADHD診断の新機軸を求めて】<br>「生物学エビデンスからADHDを描き出す」 | 日本ADHD学会 第10回総会 | 川崎市（神奈川県） | 2019/03/02-03 | 弘前大学 | シンポジウム | H30 |
| 114 | 片嶋充弘 | ヒトの健康寿命の延伸に貢献するアクティブプロモーション学研究講座 | 「リンゴ王国 こうぎょくカレッジ」 | 弘前市 | 2019/3/3<br>2019/3/10 | 花王(株) | 放送（FMアップルウェーブ） | H30 |
| 115 | 清水直 | 「野菜と健康」について | 「りんご王国こうぎょくカレッジ」 | 弘前市 | 2019/3放送予定 | カゴメ(株) | 放送（FMアップルウェーブ） | H30 |
| 116 | 小俣公人 | | 「リンゴ王国 こうぎょくカレッジ」 | 弘前市 | 2019/3放送予定 | アツギ（株） | 放送（FMアップルウェーブ） | H30 |
| 117 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータを基盤とする弘前大学COIの基本戦略—寿命革命：疾患予測AI開発等における製薬業界との連携可能性— | 製薬協・医薬産業政策研究所主催「医療健康分野のビッグデータ活用研究会」 | 日本橋ライフサイエンスビルディング | 2019/3/7 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 118 | 村下公一 | 行動変容を徹底追及する『新健診モデル』で健康経営を加速する<br>－2千項目健康ビッグデータをベースとした未来型ヘルスケアサービスの追求－ | 健康経営フォーラム2018 in福岡—働き方改革とこれからの健康経営— | エルガーラホール（福岡市） | 2019/3/26 | 弘前大学 | 講演 | H30 |
| 119 | 二宮利治 | 血圧日間変動と認知症発症との関連：久山町研究<シンポジウム>血圧調節機構と病態－良質な血圧管理を目指して. | 第61回日本糖尿病学会年次学術集会 | 東京 | 2018/5/26 | 九州大学 | シンポジウム | H30 |
| 120 | 小原知之、神庭重信、二宮利治. | 生活習慣病や生活習慣との関連：久山町研究<シンポジウム>認知症の新規発症を減らすためにできることは何か？ | 第114回日本精神神経学会学術総会 | 神戸市 | 2018/6/23 | 九州大学 | シンポジウム | H30 |
| 121 | 二宮利治. | 健康寿命延伸に必要な認知症予防対策<シンポジウム>それぞれの立場での循環器病と健康寿命. | 第54回日本循環器病予防学会学術集会 | 札幌市 | 2018/6/24 | 九州大学 | シンポジウム | H30 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 122 | 二宮利治. | 高血圧者の認知症発症リスクと降圧治療の有効性<シンポジウム>フレイルと高血圧. | 第41回日本高血圧学会総会 | 旭川市 | 2018/9/16 | 九州大学 | シンポジウム | H30 |
| 123 | 二宮利治. | 地域住民における認知症コホート研究：久山町研究<シンポジウム>画像疫学からみる認知症予防. | 第8回日本認知症予防学会学術集会 | 東京 | 2018/9/24 | 九州大学 | シンポジウム | H30 |
| 124 | 有田幹雄 | 生活習慣病と健康づくり | 全国労働衛生団体連合会 | 和歌山市 | 2018/7/20 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 125 | 有田幹雄 | 高血圧重症化予防 | かつらぎ健康講座 | かつらぎ町 | 2018/8/7 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 126 | 有田幹雄 | 生活習慣病について | 田辺高校生活習慣病予防教室 | 田辺市 | 2018/8/28 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 127 | 有田幹雄 | あたりまえの暮らしをもとめて | わかやま健康と食のフェスタ | 和歌山市 | 2018/10/14 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 128 | 有田幹雄 | 健康寿命は高血圧予防から | かつらぎ動脈硬化健診結果説明会 | かつらぎ町 | 2018/10/26,27 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 129 | 有田幹雄 | 家庭で測る血圧測定の重要性 | 第21回健康栄養シンポジウム | 東京 | 2019/1/26 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 130 | 有田幹雄 | 元気に過ごすための生活習慣 | 妙寺中学校健康教育 | かつらぎ町 | 2019/2/4 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 131 | 有田幹雄 | あたりまえの暮らしをもとめて | 健康推進員養成講習会 | かつらぎ町 | 2019/2/15 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 132 | 有田幹雄 | 高血圧予防 | 高血圧重症化予防教室 | かつらぎ町 | 2019/2/22 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 133 | 竹下達也 | 循環器健康指標に関連する要因の解析―わかやまヘルスプロモーション研究― | 高血圧領域Topics講演会 | 和歌山市 | 2019/1/19 | 和歌山県立医科大学 | | H30 |
| 134 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！<br>－行動変容を徹底追求する『新健診モデル』で健康経営を加速する－ | 第30回日本医学会総会2019中部「健康未来EXPO 2019」 | ポートメッセなごや | 2019/4/6 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 135 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータで「寿命革命」を実現する健康未来イノベーションプロジェクト | 第185回政策シンポジウム【健康ビッグデータ×寿命革命×産学官民×イノベーション】<br>「健康ビッグデータ解析による“健康長寿社会”の実現」 | ヤフー株式会社セミナールーム | 2019/4/13 | 弘前大学 | 基調講演、パネルディスカッション | R1 |
| 136 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！ | ウェルネス・ライフサイエンス研究所主催 特別セミナー | 日本青年館 | 2019/5/9 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 137 | 村下公一 | 健康ビッグデータ解析による認知症等疾患予兆発見プロジェクト戦略 | 日経BP社主催「バイオファイナンスギルド第10回セミナー『アルツハイマー病は予防できるのか？』」 | 日本橋・三晶ビル4F | 2019/5/10 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 138 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！<br>－『寿命』からの健康の本質を考えよう:短命県からみえるもの－ | 理研よこはまサイエンスカフェ「ビッグデータで健康の未来を予測する！－寿命から健康の本質を考えよう－」 | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2019/5/11 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 139 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータで「寿命革命」の実現を目指す | 第13回TOLICカンファレンス | 岩手県工業技術センター | 2019/6/14 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 140 | 村下公一 | 弘前大学COIの基本戦略について | 事業構想大学院大学主催「事業構想事例研究」セミナー | 事業構想大学院大学 | 2019/6/19 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 141 | 村下公一 | 健康ビッグデータで「寿命革命」を目指す | 経済産業省主催「産業技術・イノベーション研究会」 | 経済産業省 | 2019/6/27 | 弘前大学 | 講演 | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 142 | 中路重之 | がん予防活動と青森県の短命県返上活動 | 第26回日本がん予防学会 | 札幌 | 2019/6/29 | 弘前大学 | 特別講演 | R1 |
| 143 | 村下公一 | 健康ビッグデータで寿命革命 | 第3回高齢社会における金融サービスを考えるシンポジウム「人生100年時代、変革する金融サービス」 | ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター | 2019/7/3 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 144 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす<br>－Society5.0時代の未来型ヘルスケアサービスの追求－ | 第60回日本人間ドック学会学術大会 | 岡山県医師会館 | 2019/7/25 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 145 | 村下公一 | 弘前大学の大学産学連携の取組報告 | 第5回東北6大学社会実装支援人材育成研修 | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2019/7/31 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 146 | 村下公一 | 健康ビッグデータで「寿命革命」を実現する健康未来イノベーションプロジェクト | 京都府立医科大学 循環器腎臓内科 大学院特別講義 | 京都府立医科大学 北臨床講堂 | 2019/8/2 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 147 | 村下公一 | ビッグデータが長寿社会を実現する | 第2回京丹後長寿研究シンポジウム」 | アグリセンター大宮 多目的ホール | 2019/8/25 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 148 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータで『寿命革命』を実現する | 第17回レドックス・ライフイノベーションシンポジウム | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2019/8/31 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 149 | 村下公一 | コホート研究と社会実装 | 健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス主催「ライフコース・ヘルスケアへの期待」 | 三井住友銀行東館 ライジング・スクエア | 2019/9/2 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 150 | 平川晃弘, 中杤昌弘 | 認知機能低下に影響するライフスタイル・社会的要因の解明 | ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2019 | 一橋講堂 | 2019/9/24 | 東京大学, 名古屋大学 | 講演 | R1 |
| 151 | 村下公一 | 2千項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす | 国立健康・栄養研究所 創立記念講演会 | 国立健康・栄養研究所 | 2019/9/26 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 152 | 村下公一 | 超他項目健康ビッグデータをベースに「寿命革命」実現をめざす<br>～CKD、糖尿病等疾患発症予測と新健診モデルの開発～ | 日本臨床疫学会 第3回年次学術大会 | パピヨン24 | 2019/9/28 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 153 | 村下公一 | 有力企業が続々集結する弘前大学COIのオープンイノベーション戦略とは？<br>～超多項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす | 日経BP総研主催フォーラム「経営課題×社会課題解決フォーラム2019～2020」 | ホテル雅叙園東京 | 2019/10/17 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 154 | 村下公一 | 超多項目健康ビッグデータで「寿命革命」を実現する | 第2回油化学セミナー～短命県返上に向けた油との正しい付き合い方 | 弘前大学50周年記念会館 2階岩木ホール | 2019/10/19 | 弘前大学 | 基調講演 | R1 |
| 155 | 村下公一 | 健康ビッグデータで短命県返上に挑む | 健康と食品懇話会主催「シンポジウム2019」 | 富士フイルム株式会社 西麻布本社 | 2019/11/7 | 弘前大学 | 講演、パネルディスカッション | R1 |
| 156 | 村下公一 | | 明治安田生命 Kizuna講演会 | 明治安田生命保険相互会社 東陽町ビル | 2019/11/8 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 157 | 村下公一 | | 大学出張講座「世界が健康長寿になることを考えるゼミ」 | 宮城県白石高校 | 2019/11/11 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 158 | 村下公一 | 弘前大学COIの基本戦略について | 公財）21あおもり産業総合支援センター主催「医療現場ニーズ勉強会（医療MOTセミナー） | 弘前大学健康未来イノベーションセンター | 2019/11/12 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 159 | 中路重之 | ヘルスプロモーション ―健康寿命延伸の取り組み | 第17回日本ヘルスプロモーション学会 | 青森県立保健大学 | 2019/11/16 | 弘前大学 | トークライブ | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 160 | 村下公一 | デジタル時代の健康づくりフォーラム<br>・健康ビッグデータの活用（弘前市） | Digital Health Fes 2019 – デジタル時代の健康づくりフォーラム | 大手町プレイスカンファレンスセンター | 2019/11/17 | 弘前大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 161 | 村下公一 | 健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす | 広島大学　感性イノベーション研究推進機構特別講演会<br>「弘前大学COI拠点の産学官民連携活動について」 | 広島大学霞キャンパス | 2019/11/18 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 162 | 村下公一 | | Pitney Bowes Fair 2019 in Hiroshima | ANAクラウンプラザホテル広島 | 2019/11/19 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 163 | 村下公一 | 健康ビッグデータがひらく！ヘルスケアの未来<br>-「寿命革命」実現をめざすオープンイノベーションのしくみ- | 「同志社女子大学 現代社会学部」公開講演会 | 同志社女子大学京田辺キャンパス | 2019/12/4 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 164 | 中路重之 | 短命県返上と地域おこし | 第34回岩手栄養改善学会. | 盛岡 | 2019/12/7 | 弘前大学 | 特別講演 | R1 |
| 165 | 村下公一 | 健康ビッグデータで「寿命革命」 | 青森県「商工労働部研修」 | 青森県庁 | 2019/12/16 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 166 | 村下公一 | 弘前大学COIの取組について<br>-「寿命革命」実現をめざすオープンイノベーションのしくみ- | 株式会社 電通「特別セミナー」 | 株式会社電通 | 2019/12/19 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 167 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！<br>－『寿命』からの健康問題の本質を考えよう：長寿の秘訣とは？ － | 第一回陸前高田市市民健康講座 | 陸前高田市保健福祉総合センター | 2019/12/21 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 168 | 村下公一 | 時代に答えるための情報システムの役割を考える | 東京医科歯科大学 データ関連人材育成プログラム「生命医科学ビッグデータベース特論」 | 国立大学法人東京医科歯科大学 | 2020/1/9・16・23 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 169 | 村下公一 | BDで世界が注目する健康イノベーション<br>－行動変容型『QOL健診モデル』で世界の健康づくり(SDGs)に貢献する－ | プラチナ構想ネットワーク「「プラチナ懇談会100回記念特別イベント」 | イトーキ東京イノベーションセンター | 2020/1/28 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 170 | 村下公一 | | 「令和元年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議」学会 | 秋田キャッスルホテル | 2020/1/30 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 171 | 村下公一 | 健康ビッグデータと最新科学がもたらす健康長寿社会について | 令和元年度 盛岡市政調査会定期研修会 | サンセール盛岡 | 2020/2/4 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 172 | 有田　幹雄 | わかやまヘルスプロモーション研究(WHPS) ―動脈硬化健診や認知機能検査を 用いた地域基盤型研究― | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2020 | 青森県弘前市 | 2020/1/31 | 和歌山県立医科大学 | 一般講演 | R1 |
| 173 | 村下公一 | 『寿命革命』エコシステム構築戦略<br>～産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築をめざして～ | 東京大学COI「第10回健康長寿ループの会」 | 伊藤謝恩ホール | 2020/2/7 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 174 | 村下公一 | | 日本総合健診医学会 第48回大会 | 京王プラザホテル | 2020/2/7 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 175 | 村下公一 | 健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステム構築戦略<br>―産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築を目指して― | 筑波大学シンポジウム「微生物の個・集団・共生が支える持続可能な社会」 | つくば国際会議場 | 2020/2/10 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 176 | 村下公一 | 新健診モデルで世界の健康づくり(SDGs)に貢献する<br>-超多項目健康ビッグデータ『寿命革命』実現をめざす- | STI for SDGs×パートナーシップ×地域循環共生圏シンポジウム | 東京大学弥生講堂 一条ホール | 2020/2/13 | 弘前大学 | 講演 | R1 |
| 177 | 村下公一 | | 産学官民一体型青森健康イノベーション創出プロジェクト | 都城市中央公民館 | 2020/2/20 | 弘前大学 | 講演 | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 178 | 上松右二 | わかやまヘルスプロモーション | 弘前大学COIヘルシーエイジングイノベーションフォーラム | 東京都 | 2019/10/4 | 和歌山県立医科大学 | 一般講演 | R1 |
| 179 | 上松右二 | 健診報告 ―心理と認知― | かつらぎ動脈硬化健診結果説明会 | 和歌山県かつらぎ町 | 2019/10/14 | 和歌山県立医科大学 | 講演 | R1 |
| 180 | 竹下達也 | 飲酒および腸内フローラと検査結果の関係について | かつらぎ動脈硬化健診結果説明会 | 和歌山県かつらぎ町 | 2019/10/14 | 和歌山県立医科大学 | 講演 | R1 |
| 181 | 上松右二 | 和歌山ヘルスプロモーション　-地域住民健診における認知機能― | 弘前大学COIデータ連携会議 | 弘前市 | 2019/9/3 | 和歌山県立医科大学 | 講演 | R1 |
| 182 | 竹下達也 | 高齢者の健康管理と感染症予防について | 和歌山商工会議所講演会 | 和歌山市 | 2020/2/28 | 和歌山県立医科大学 | 講演 | R1 |
| 183 | 松本　舞 | 「あなた、野菜足りていますか？～野菜の良さと食べ方について～」 | 2019年度　第4回女性活躍推進異業種交流会<br>「hirosaki smart project」 | 弘前市民文化交流館ホール | 2020/2/19 | カゴメ(株) | 一般講演 | R1 |
| 184 | 三浦　雅子 | 青森県生協連の健康づくりの取り組み報告 | CO・OP共済健康づくり支援企画2019年度取り組み交流会 | コープ共済プラザ | 2019/10/9 | 日本コープ共済連（青森県生協連） | 事例報告 | R1 |
| 185 | 稲益　悟志 | 冷えとフレイルへ独自のアプローチ～超多項目ビッグデータ活用による未病状態の改善 | デジタルヘルスDAYS 2019 | 東京ビッグサイト | 2018/10/11 | クラシエホールディングス株式会社 | 一般講演 | R1 |
| 186 | 稲益　悟志 | 冷えとフレイルへ独自のアプローチ～超多項目ビッグデータ活用による未病状態の改善 | カラダ改善プロジェクト | 東京ビッグサイト | 2018/11/22 | クラシエホールディングス株式会社 | 一般講演 | R1 |
| 187 | 浜内千波 | 減塩のススメ | 弘前大学COI　ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2019 | 一橋講堂（東京） | 2019/10/4 | 株式会社ファミリークッキングスクール | 特別講演 | R1 |
| 188 | 浜内千波 | 社会へ向けた強いカラダ作りは、食事から | | 柏木農業高等学校（青森） | 2019/9/24 | 株式会社ファミリークッキングスクール | 特別授業 | R1 |
| 189 | 成本迅 | 認知症の人にやさしい税理士ガイド | 日本税理士会成年後見指導者養成研修 | 日本税理士会館（東京） | 2019/4/19 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 190 | 成本迅 | Aging and financial inclusion of older adults — From a medical point of view— | G20 『高齢化と金融包摂』ハイレベルシンポジウム | ホテルニューオータニ東京（東京） | 2019/6/7 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 191 | 成本迅 | The strategies to ensure the right of people with dementia to free of financial exploitation before and after diagnosis | 台湾アルツハイマー病協会シンポジウム | 台北 | 2019/9/7 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 192 | 成本迅 | 高齢社会における資産管理と投資者保護への取り組み | 世界投資者週刊（World Investor Week)オープニングセレモニー | 太陽生命日本橋ビル（東京） | 2019/9/30 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 193 | 成本迅 | Cross-sectoral consortium in Kyoto and systematic/innovative approach for dementia | 2nd Well Aging Society Summit Asia-Japan | 室町三井ホール&カンファレンス（東京） | 2019/10/17 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 194 | 成本迅 | 人生の最終段階における医療選択と意思決定支援 | 第17回高齢者・障がい者権利擁護の集い | ガーデンテラス佐賀（佐賀） | 2019/11/12 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 195 | 成本迅 | 認知症の人の同意能力評価と意思決定支援 | 平成31年度トータルサポートマネジャー養成研修 | 山梨県看護協会看護教育研修センター（山梨） | 2019/12/21 | 京都府立医科大学 | 講演 | R1 |
| 196 | 樋山雅美 | 認知症の人の意思決定支援場面 | 平成31年度トータルサポートマネジャー養成研修 | 山梨県看護協会看護教育研修センター（山梨） | 2019/12/21 | 京都府立医科大学 | ロールプレイ研修 | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 197 | 成本迅 | 高齢者の認知機能と認知症について | 令和元年度新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン教育セミナー | J:COMホルトホール大分（大分） | 2020/2/9 | 京都府立医科大学 | 講演 | R1 |
| 198 | 樋山雅美 | 認知機能が低下している高齢者とのコミュニケーション | 令和元年度新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン教育セミナー | J:COMホルトホール大分（大分） | 2020/2/9 | 京都府立医科大学 | ロールプレイ研修 | R1 |
| 199 | 三村　將 | 認知症500万人時代の金融ジェロントロジー | NIKKEI Super Active Ageing Society Conference | 日本橋三井ホール | 2019/10/15 | 慶應義塾大学 | パネルディスカッション | R1 |
| 200 | 三村　將 | Coping strategy and positive personality may relate with successful aging: The Arakawa Elderly Studies. | Keio & Cologne Joint Symposium on Aging & Longevity | 慶應義塾大学 | 2019/5/29 | 慶應義塾大学 | シンポジウム | R1 |
| 201 | 村下公一 | 健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステム構築戦略 | 第24回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム2020 Web | Web開催 | 2020/6/6 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 202 | 村下公一 | 弘前大学COIの取組・成果、産学官民連合に基づく共同研究の実施状況等 | 青森県産業技術センター幹部研修会 | ラ・プラス青い森2階　メープル | 2020/8/25 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 203 | 村下公一 | 健康ビッグデータで「健康寿命」 | 第4回いわて農林水産物機能性活用研究会シンポジウム | 岩手教育会館多目的ホール | 2020/8/28 | 弘前大学 | 講演、パネルディスカッション | R2 |
| 204 | 村下公一 | 健康ビッグデータの活用による寿命革命の実現 | 第2回関西経済連合会　健康経営シンポジウム | 関西経済連合会29階会議室 | 2020/10/23 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 205 | 村下公一 | 健康ビッグデータの活用による寿命革命の実現 | TM研究会　第6回研究交流会 | 三井住友銀行呉服橋クラブ | 2020/10/29 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 206 | 村下公一 | 健康ビッグデータの活用による寿命革命の実現 | 研究・イノベーション学会　第35回年次学術大会 | オンライン開催 | 2020/10/31 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 207 | 村下公一 | 健康ビッグデータの活用による寿命革命の実現 | 第16回日本疲労学会総会・学術集会 | 理化学研究所 | 2020/11/7 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 208 | 村下公一 | 健康ビッグデータの活用による寿命革命の実現 | 北陸産業活性化フォーラム | ホテル日航金沢 4 階「鶴の間A」 | 2020/11/18 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 209 | 村下公一 | 高齢化する労働者への未来型ヘルスケアサービス<br>―健康ビッグデータをベースとした新健診モデル開発とSDGsへの貢献― | 第30回日本産業衛生学会全国協議会」 | オンライン配信 | 2020/11/20-30 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 210 | 村下公一 | 第1回「COI プロジェクトの背景と基本戦略」<br>第2回「大規模住民健診と健康ビッグデータ」<br>第3回「健康ビッグデータ解析最前線（予測モデル）」<br>第4回「ビッグデータ管理方法と社会実装戦略（総括）」 | データ関連人材育成プログラム2020「健康イノベーション戦略概論」特別講義 | 国立大学法人東京医科歯科大学大学院（Zoomにて遠隔授業） | 2020/12/3・17 | 弘前大学 | 講義 | R2 |
| 211 | 村下公一 | ビッグデータを活用した人生100年時代の健康づくりと生協の取り組みへの期待 | 公益財団法人生協総合研究所主催「人生100年時代における健康づくり研究会」 | 主婦会館プラザエフ　5階会議室 | 2020/12/10 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 212 | 村下公一 | | マイクロバイオーム特別講演会 | ㈱コランダム・システム・バイオロジー本社 | 2020/12/11 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 213 | 村下公一 | 「寿命革命」×「認知症の人と創る未来社会システム」 | シンポジウム：高齢消費者の支援のための産官学金の取り組みとICTの活用可能性 | オンライン開催 | 2021/1/20 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 214 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測！国家プロジェクト「弘前COI」の現在地！<br>～健常人の疾患リスク数値化の実現へ～ | 2020年度日本食品保健指導士会研修会本部研修会 | 日本健康・栄養食品協会 | 2021/1/21 | 弘前大学 | 講演 | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 215 | 村下公一 | 健康ビッグデータ活用による「寿命革命」の実現<br>-ニューノーマル(Withコロナ)時代の未来型ヘルスケアサービスの追求- | 静岡県産業振興財団「健康・食イノベーションフォーラム」 | しずぎんユーフォニア | 2021/1/28 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 216 | 中路重之 | 弘前大学COIが取り組む”食と健康” | 「COI東北拠点シンポジウム 未来社会のライフスタイルと”食”の健康イノベーション<br>～ヘルスケアの未来に向けた取り組みと今後～」 | オンライン開催 | 2021/2/9 | 弘前大学 | 講演、パネルディスカッション | R2 |
| 217 | 中路重之 | 地方公共団体における事例紹介 | 内閣府 次世代医療基盤法シンポジウム「ビッグデータが生み出す“明日の健康・医療・介護” | オンライン開催 | 2021/2/19 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 218 | 村下公一 | 弘前大学COIが創造する健康ビッグデータとヘルスケア領域のデジタルトランスフォーメーション（DX） | シード・プランニング主催「HOT Forum（医療・ヘルスケア分野におけるアウトカム評価研究会）第1回」 | シード・プランニング1階会場 | 2021/2/25 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 219 | 村下公一 | 健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステム構築戦略<br>-産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築をめざして－ | JCC第7回産学交流セミナー 美容・健康系シーズ発表会 | 大手ロセンタービル ホール | 2021/3/4 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 220 | 村下公一 | 弘前大学COIの取組について | コープ共済連ライフプランアドバイザー向け健康づくり講演会 | コープ共済連プラザ | 2021/3/12 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 221 | 村下公一 | 健康ビッグデータをベースとした「寿命革命」エコシステム構築戦略<br>―産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築をめざして― | 浜松医科大学 健康医療講演会 | 浜松医科大学<br>医工連携拠点(iMEC)棟 | 2021/3/18 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 222 | 村下公一 | 『寿命革命』を実現する弘前大学COIの産学官民連携とQOL(啓発型)健診<br>～オープンイノベーションの成功事例に学ぶ～ | 文部科学省「Driving MEXT Project」講演会・意見交換会・QOL健診体験会 | 文部科学省 庁舎15階特別会議室 | 2021/3/26 | 弘前大学 | 講演 | R2 |
| 223 | 中根明夫 | 新型コロナウイルス感染症～見えないものを知る～ | 弘前医療福祉大学・弘前医療福祉大学短期大学部令和2年度公開講座 | 弘前医療福祉大学 | 2020/10/24 | 弘前大学 | | R2 |
| 224 | 山田勝也 | セッション3：NVU―Glia/Glymphatic system 座長 | Neurovascular Unit 研究会2021 | 東京 オンライン開催 | 2021/1/30 | 弘前大学 | 招待講演座長 | R2 |
| 225 | 中村和彦 | シンポジウム96 福島県における震災後の子どもたちのこころの支援 | 第１１６回日本精神神経学会 | WEB | 2020/9/30 | 弘前大学 | コーディネーター | R2 |
| 226 | 中路重之 | 基調講演 ノーマル時代の健康未来イノベ戦略 | 弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2020・サミット2021 | アートホテルズ弘前 | 2021/2/5 | 弘前大学 | | R2 |
| 227 | 村下公一 | 健康ビッグデータで「寿命革命」実現をめざす<br>人生100年時代の未来型ヘルスケアサービスの追求 | 第16回日本疲労学会総会.学術集会 | 理化学研究所 | 2020/11/7-8 | 弘前大学、ファンケル | ランチョンセミナー | R2 |
| 228 | 岩元晋太郎 | 選択的推測手法の性能評価とロコモティブシンドロームの関連因子探索への適用 | 東京大学大学院学際情報学府修士論文発表会 | 東京大学 | 2021/1/28 | 東京大学 | 一般講演 | R2 |
| 229 | 吉田 雄一 | 株式会社テクノスルガ・ラボ会社案内 | 静岡化学工学懇話会第26回企業技術交流会 | http://cheme.eng.shizuoka.ac.jp/wordpress/cess/?p=1514 | 2021/2/26-2021/3/31 | テクノスルガ・ラボ | Web開催、弘前COIの取り組み含む | R2 |
| 230 | 三浦 雅子 | 健康づくりと新たな生協価値の創造に向けて | 全国方針検討集会 | 日本生協連<br>コープ共済連 | 2021/1/12 | | 事例報告<br>パネルディスカッション | R2 |
| 231 | 奥野恭史 | 弘前COIビッグデータ研究最前線 | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021 | 弘前市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 2020/2/5 | 弘前大学 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 232 | 中杤昌弘, 平川晃弘 | 食品摂取量と遺伝的要因 | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021 | 弘前市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 2021/2/5 | 名古屋大学, 東京大学 | | R2 |
| 233 | 砂川昌範 | データ連携最前線：沖縄やんばる版プロジェクト健診 | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021 | 弘前市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 2021/2/5 | 名桜大学 | | R2 |
| 234 | 五十嵐 中 | COIプロジェクトの医療費・介護費へのインパクトは？-認知症の取り組み- | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021 | 弘前市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 2021/2/5 | 東京大学大学院薬学系研究科医学政策学 | | R2 |
| 235 | 梅田孝 | 特別企画：「スポーツと健康を語ろう」をテーマにしたスペシャル対談 | ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021 | 弘前市・オンライン<br>ハイブリッド開催 | 2021/2/5 | 名城大学 | | R2 |
| 236 | 成本迅 | 認知症と遺言 | 近弁連 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会 夏期研修会<br>―遺言能力の評価とその活用― | オンライン開催 | 2020/8/26 | 京都府立医科大学 | 基調講演 | R2 |
| 237 | 名倉勇一郎 | 「司法書士の観点からの遺言能力評価」<br>「椎名・名倉式遺言能力観察式チェックリスト」を使って | 近弁連 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会 夏期研修会<br>―遺言能力の評価とその活用― | オンライン開催 | 2020/8/26 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R2 |
| 238 | 樋山雅美 | 心理学の観点からの遺言能力評価 | 近弁連 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会 夏期研修会<br>―遺言能力の評価とその活用― | オンライン開催 | 2020/8/26 | 京都府立医科大学 | パネルディスカッション | R2 |
| 239 | 成本迅 | 認知症高齢者の意向確認 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（医療・福祉関係者向け）北部編 | オンライン開催 | 2020/10/11 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 240 | 成本迅 | 意思決定支援の現状 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（医療・福祉関係者向け）コミュニケーション編 | オンライン開催 | 2020/10/11 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 241 | 樋山雅美 | 認知症の人の意思を確認する方法 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（医療・福祉関係者向け）コミュニケーション編 | オンライン開催 | 2020/10/11 | 京都府立医科大学 | グループワーク | R2 |
| 242 | 成本迅 | 認知症について | 令和2年度トータルサポートマネジャー養成研修 | オンライン開催 | 2020/11/3 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 243 | 成本迅 | 認知症の人の医療同意能力評価と意思決定支援 | 令和2年度トータルサポートマネジャー養成研修 | オンライン開催 | 2020/11/3 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 244 | 樋山雅美 | 認知症の人とのコミュニケーション | 令和2年度トータルサポートマネジャー養成研修 | オンライン開催 | 2020/11/3 | 京都府立医科大学 | グループワーク | R2 |
| 245 | 椎名基晴 | 意思決定支援と遺言 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（成年後見制度関係者向け） | オンライン開催 | 2020/11/14 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 246 | 名倉勇一郎 | 遺言作成の実際 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（成年後見制度関係者向け） | オンライン開催 | 2020/11/14 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 247 | 椎名基晴・名倉勇一郎 | 遺言能力評価の体験 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（成年後見制度関係者向け） | オンライン開催 | 2020/11/14 | 京都府立医科大学 | グループワーク | R2 |
| 248 | 成本迅 | ビジネス界への期待～医療・介護業界の軛（くびき）から離れて～ | 認知症にやさしい異業種連携協議会第2回特別編ビジネスセミナー | オンライン開催 | 2020/11/19 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 249 | 成本迅 | 利用者の意思決定支援を考える～認知症高齢者の支援から紐解く～ | 令和2年度日常生活自立支援事業生活支援員研修会応用研修 | 奈良 | 2020/11/20 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 250 | 成本迅 | 認知症の人と家族 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（医療・福祉関係者向け）支援者としての態度編 | オンライン開催 | 2020/12/13 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 251 | 成本迅 | 家族支援と家族との連携 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（医療・福祉関係者向け）支援者としての態度編 | オンライン開催 | 2020/12/13 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 252 | 樋山雅美 | 信頼につながる支援者の態度 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（医療・福祉関係者向け）支援者としての態度編 | オンライン開催 | 2020/12/13 | 京都府立医科大学 | グループワーク | R2 |
| 253 | 成本迅 | 困ったときに相談できる連携先の情報 | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（多職種向け） | オンライン開催 | 2021/1/29 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 254 | 成本迅 | 地域で認知症の高齢者を支えるために | 令和2年度認知症の人の意思決定支援研修（多職種向け） | オンライン開催 | 2021/1/29 | 京都府立医科大学 | グループワーク | R2 |
| 255 | 成本迅 | 金融機関における高齢者支援（金融WG報告書の解説） | 第2回意思決定支援研究大会 | オンライン開催 | 2021/2/19 | 京都府立医科大学 | シンポジウム | R2 |
| 256 | 成本迅 | 医療における意思決定支援 | 尾張東部権利擁護支援センター | 愛知 | 2020/9/18 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 257 | 成本迅 | 認知症施策の現状と今後 | 市町村ゼミナール | 愛知 | 2020/12/4 | 京都府立医科大学 | 一般講演 | R2 |
| 258 | 江口洋子 | 超高齢者の認知機能 | 荒川区認知症予防講演会「超高齢社会を生きるコツ」 | ムーブ町屋 | 2020/10/26 | 慶應義塾大学医学部 | 区民講座 | R2 |
| 259 | すういふと2020プロジェクト | 高齢者向けお絵かきゲームアプリ「らくらくイラストーク」 | HAKODATEアカデミックリンク2020（合同研究発表会） | オンライン | 2020/22/28 | 公立はこだて未来大学 | | R2 |
| 260 | 京都信用金庫 | 認知症サポーター養成講座の実施 | | 京都信用金庫本店ホール | 2021/12/16<br>2121/12/23 | | 新入職員向け研修 | R2 |
| 261 | 京都信用金庫 | 金融業務3級シニア対応銀行実務コース試験 | | CBT試験 | 2021/2/20以降 | キンザイ | 職員向け | R2 |
| 263 | 京都信用金庫 | 日本意思決定支援推進機構への事業参画 | | | 2020/9/1 | Dmsoj | | R2 |
| 264 | 京都信用金庫 | 認知症・介護プラン保険商品の取扱追加 | | 京都信用金庫全店 | 2020/9/1 | 第一フロンテイア生命 | | R2 |
| 265 | 京都信用金庫 | 「高齢者や認知症の人の生活をビジネスで便利に豊かに」セミナー実施 | | 京都信用金庫QUESTION | 2020/11/19 | 京都信用金庫 | | R2 |
| 266 | 樋山雅美, 加藤佑佳, 飯干紀代子, 江口洋子, 椎名基晴, 名倉勇一郎, 岡本 遥, 藤井美紗, 武田みなと, 松岡照之, 三村 將, 成本 迅 | 遺言能力スクリーニング検査法の開発 | 第35回日本老年精神医学会 | オンライン開催（口頭発表は紙面のみ） | 2020/12/20-22 | 京都府立医科大学<br>慶應義塾大学<br>志學館大学 | 紙面発表 | R2 |
| 267 | 三村 將 | 超高齢者の主観的幸福感 | 第17回日本うつ病学会総会 | 北九州（WEB） | 2021/1/27-29 | 慶應義塾大学 | | R2 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 268 | 樋山雅美, 加藤佑佳, 飯干紀代子, 江口洋子, 椎名基晴, 名倉勇一郎, 岡本 遥, 藤井美紗, 武田みなと, 松岡照之, 三村 將, 成本 迅 | 遺言能力スクリーニング検査法の開発 | 第35回日本老年精神医学会 | 米子（WEB） | 2020/12/20-22 | 慶應義塾大学<br>京都府立医科大学<br>志學館大学 | | R2 |
| 269 | 京都信用金庫 | 金融業務3級シニア対応銀行実務コース<br>試験問題作成 | | | 2021/12/1 | キンザイ | | R3 |
| 270 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！ | あおもり県民カレッジ西北地区地域キャンパス講座 | 五所川原市中央公民館　大ホール | 2021/5/19 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 271 | 村下公一 | COI拠点特別講演:「COIプログラムにおける良好事例」<br>～ビジョン主導・バックキャスト展開に係る取組、自治体との連携等～ | 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)発足記念 公開シンポジウム | Zoomウェビナー・Youtube配信 | 2021/6/16 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 272 | 村下公一 | 産学共創による『寿命革命』エコシステム構築戦略<br>-産学官民一体型持続的健康オープンイノベーション・プラットフォーム構築を目指して- | JAPAN OPEN SCIENCE SUMMIT 2021 | オンライン | 2021/6/18 | 弘前大学 | 講演、パネルディスカッション | R3 |
| 273 | 村下公一 | ビッグデータからみえる健康の未来 | 宮城県白石高校 M&Tタイム（総合的な探求の時間）『専門人との交流会』 | 宮城県白石高校 | 2021/6/28 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 274 | 村下公一 | ビッグデータで健康の未来を予測する！ | あおもり県民カレッジ中南地区地域キャンパス講座 | 弘前駅前公共施設「ヒロロスクエア」 | 2021/6/30 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 275 | 村下公一 | ニューノーマル時代の未来型ヘルスケアサービス(DX)戦略<br>－健康ビッグデータをベースとした産学官民連携『寿命革命』エコシステムの追求－ | さんぎょういシンポジウム -健康戦略の視点から考えるダイバーシティ- | さんぎょうい㈱セミナールーム | 2021/7/1 | 弘前大学 | 基調講演 | R3 |
| 276 | 村下公一 | 超高齢化時代における弘前大学COIの未来型ヘルスケアサービス実現に向けた挑戦 | 東京海上日動グループ特別講演会 | 東京海上日動あんしん生命保険株式会社本社 | 2021/7/15 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 277 | 村下公一 | メインシンポジウム1　データサイエンスで切り叩く健診・予防医療の将来<br>健康ビッグデータをベースとした新QOL健診モデル | 第62回日本人間ドック学会学術大会 | | 2021/8/25 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 278 | 村下公一 | ニューノーマル時代の未来型ヘルスケアサービス(DX)戦略<br>-健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステムの追求- | 岡山大学Brainstorming2021 | オンライン | 2021/8/28 | 弘前大学 | 基調講演 | R3 |
| 279 | 村下公一 | 健康ビッグデータ で『寿命革命』を実現する<br>～生活者の行動変容に向けた明治安田生命のポテンシャルへの期待～ | 明治安田生命特別セミナー | 明治安田生命保険相互会社　明治安田生命ビル | 2021/9/2 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 280 | 村下公一 | 弘前大学COIにおける産学官連携の成功要因 | 2021年第4回大学改革支援研究会 | 大学改革支援・学位授与機構<br>竹橋オフィス | 2021/10/15 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 281 | 村下公一 | 健康BDと最新科学がもたらす健康長寿社会<br>－産学官民連携で短命県返上と地域経済活性化の同時実現をめざす－ | 第14期プラチナ構想スクール | 三菱総研会議室 | 2021/11/13 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 282 | 村下公一 | オープンイノベーションを基盤としたデータドリブン型新well-being社会システムの実現(仮) | DataRobot AI Experience Virtual Conference | オンライン | 2021/11/19 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 283 | 村下公一 | オープンイノベーションを基盤としたデータ駆動型新well-being社会システムの実現 | 第2回プロダクティブ・エイジングコンソーシアム国際シンポジウム | オンライン | 2021/11/24 | 弘前大学 | 講演 | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 284 | 村下公一 | 弘前大学COIの取組について | 健康長寿社会への実現　勉強会 | ハウス食品グループ本社 | 2021/12/2 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 285 | 村下公一 | 弘前大学COIの取組について | COI-NEXTつくばデジタルバイオ国際拠点講演会 | 筑波大学医学エリア臨床講義室D | 2021/12/14 | 弘前大学 | 講演 | R3 |
| 286 | 村下公一 | 健康ビッグデータを基盤としたオープンイノベーション戦略<br>日本発のヘルスケアイノベーション創出に向けて | 日本高血圧学会 第3回Digital Hypertension Conference | オンライン | 2022/1/14 | 弘前大学 | 講演、パネルディスカッション | R3 |
| 287 | 森健太 | 弘前大学COIにおける花王の取組について | 「リンゴ王国　こうぎょくカレッジ」 | FMアップルウェーブ | 2021/7/7・11 | 弘前大学 | ラジオ放送 | R3 |
| 288 | 小濱佑介 | 弘前大学COIにおけるハウス食品の取組について | 「リンゴ王国　こうぎょくカレッジ」 | FMアップルウェーブ | 2021/7/18・25 | 弘前大学 | ラジオ放送 | R3 |
| 289 | 國府大智 | 弘前大学COIにおけるカゴメの取組について | 「リンゴ王国　こうぎょくカレッジ」 | FMアップルウェーブ | 2021/8/1・8 | 弘前大学 | ラジオ放送 | R3 |
| 290 | 井元清哉 | 未来を拓く、最先端テクノロジー | IBM Think Summit Japan | オンライン | 2021/10/8 | 東京大学 | 対談 | R3 |
| 291 | 井元清哉 | 人工知能(AI)の臨床医学・ゲノム医学への応用と影響 | 医療・病院管理研究協会 | オンライン | 2021/8/27 | 東京大学 | | R3 |
| 292 | 井元清哉 | 腸内細菌叢は第2の自分！・~腸内環境と食生活・病気との関わりについて~ | オクタウェルmanabi オンライン講座 | オンライン | 2021/4/21 | 東京大学 | | R3 |
| 293 | 三浦雅子 | ＜広げること＞＜つながること＞を大切にした、生協ならではの＜健康づくり＞で＜短命県返上！＞ | 生協総合研究所　公開研究会 | オンライン | 2021/8/27 | 日本コープ共済生活協同組合連合会 | 事例報告<br>2-b-3 | R3 |
| 294 | 三浦雅子 | コロナ禍における健康づくりの取り組み（仮称） | コープ共済連健康づくり支援企画取り組み交流会 | オンライン | 2021/10/8 | 日本コープ共済生活協同組合連合会 | 事例報告<br>2-b-3 | R3 |
| 295 | 浜内千波 | 自分たちの身体を見直して、みんなの健康につなげていこう | 青森山田農業高等学校 | オンラインにて | 2021/7/1 | 株式会社ファミリークッキングスクール | 一般講演 | R3 |
| 296 | 山本博之 | CE-MSによる大規模なメタボローム解析法の開発と変形性膝関節症バイオマーカー探索 | メタボロミクスウェビナーシリーズ2021 | オンライン | 2021/9/9 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 | 1-b-10 | R3 |
| 297 | 樋山雅美 | 金融機関における高齢者支援の課題と展望 | 第36回日本老年精神医学会 | オンライン開催 | 2021/9/16 | 京都府立医科大学 | シンポジウム | R3 |
| 298 | 池上 朋直 | CANDyを用いた認知症スクリーニングの自動化に関する検討 | 第22回日本認知症ケア学会大会 | オンライン | 2021/6/5～10/5 | 徳島大学 | WEB配信 | R3 |
| 299 | 井元清哉 | メタゲノム解析で分かる腸内細菌叢と疾患、あらたな治療 | 現場からの医療改革推進協議会第16回シンポジウム | ハイブリッド | 2021/11/27 | 東京大学 | | R3 |
| 300 | 成本迅 | 成年後見活動における意思決定能力のとらえ方 | 京都社会福祉士成年後見人材育成研修 | オンライン開催 | 2021/8/1 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 301 | 成本迅 | 認知症の人の意思決定支援 | 日本在宅医療連合学会生涯教育WEB講座 | オンライン開催 | 2021/10/3 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 302 | 成本迅 | 認知症の人の地域生活とサポート体制 | 慶應義塾大学経済学部『長寿と金融』 | 東京 | 2021/10/21 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 303 | 成本迅 | 認知症の人の意思決定に関して、どのように対応するべきか | 阿倍野区認知症等高齢者支援地域連携事業 | オンライン開催 | 2021/11/13 | 京都府立医科大学 | | R3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 304 | 成本迅 | 認知症の人の医療同意能力評価と意思決定支援 | 山梨県トータルサポートマネジャー養成研修 | 山梨 | 2021/11/19 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 305 | 樋山雅美 | 認知症の人との対話 | 山梨県トータルサポートマネジャー養成研修 | 山梨 | 2021/11/19 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 306 | 成本迅 | 認知症の人の医療同意能力評価と意思決定支援 | リーガルサポートかながわ研修会 | オンライン開催 | 2021/11/19 | 京都府立医科大学 | | R3 |
| 307 | 岸本 泰士郎 | 遠隔医療やAIを活用した今後の精神科医療の展望 | 最新精神医学セミナー | オンライン | 2021/9/7 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 308 | 岸本 泰士郎 | オンライン診療やRemote Patient Monitoringを活用した今後の精神科診療の展望 | 第76回兵庫県精神医療学術講演会 | オンライン | 2021/10/16 | 慶應義塾大学 | | R3 |
| 309 | 三村 將 | 高齢社会における認知症と運転適性. | 高齢社会における運転技能・運転環境シンポジウム～高齢ドライバーが安全に運転を続けていくために～ | 東京都医師会. | 2021/4/17 | 慶應義塾大学 | | R3 |

**COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧**

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

**⑬ 受賞**

| No | 受賞名 | 主催（表彰団体名） | 受賞者氏名 | 受賞者所属機関 | 受賞年月日 | URL | 備考 | 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日本商工会議所青年部会長賞 | | | | | | | H27 |
| 2 | 三島賞 | 体力・栄養・免疫学会大会 | 徳田糸代 | 弘前大学 | | | | H28 |
| 3 | 楢林賞 | 日本神経学会 | 若林　孝一 | 弘前大学 | | | | H28 |
| 4 | 学生優秀ポスター賞 | 日本神経病理学会 | 伊藤　真子 | 弘前大学 | | | | H28 |
| 5 | 果汁協会技術賞 | 日本果汁協会 | 升本早枝子、三浦富智、向井孝夫 | 弘前大学 | | | | H28 |
| 6 | 第13回YEGビジネスプランコンテスト準グランプリ | 日本商工会議所青年部 | | 株式会社栄研 | 2016.2 | | | H28 |
| 7 | 第50回 グッドカンパニー大賞特別賞 | 公益社団法人中小企業研究センター | | マルマンコンピュータサービス株式会社 | 2016.12 | | | H28 |
| 8 | 日本神経病理学会賞 | 日本神経病理学会 | 伊藤真子 | 弘前大学 | | | | H29 |
| 9 | 日本神経病理学会賞 | 日本神経病理学会 | 中村桂子 | 弘前大学 | | | | H29 |
| 10 | 実践奨励賞 | 日本児童青年精神医学会 | 宮崎健祐 | 弘前大学 | | | | H29 |
| 11 | 三島賞 | 体力・栄養・免疫学会 | 関根陽平 | 弘前大学 | | | 優秀論文 | H29 |
| 12 | 倉掛賞 | 体力・栄養・免疫学会 | 棟方理 | 弘前大学 | | | 優秀発表 | H29 |
| 13 | 研究奨励賞 | 日本児童青年精神医学会 | 足立匡基 | 弘前大学 | | | | H29 |
| 14 | 若月賞 | 農村保健振興基金 | 中路重之 | 弘前大学 | 2018.7 | https://www.nikkei.com/article/DGKKZO32982450T10C18A7L01000/ | | H30 |
| 15 | 東奥賞 | 東奥日報 | 中路重之 | 弘前大学 | 2018.11 | https://www.toonippo.co.jp/list/toosho?article_code=toosho2018-gyouseki | | H30 |
| 16 | 第1回日本オープンイノベーション大賞 | 内閣府 | 中路重之、村下公一、井原一成、工藤寿彦、安川拓次 | 弘前大学<br>マルマンコンピュータサービス（株）<br>花王（株） | 2019.2 | https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html | | H30 |
| 17 | 21あおもりアワード2018 | 21あおもり産業総合支援センター | | ﾏﾙﾏﾝｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｰﾋﾞｽ | 2018.9 | http://www.21aomori.or.jp/-2018-21.html | | H30 |
| 18 | 第59回日本児童青年精神医学会総会　優秀ポスター賞 | 一般社団法人　日本児童青年精神医学会 | 大里絢子 | 弘前大学大学院医学研究科 精神神経医学講座 | 2018.9 | | 演題番号P10-2<br>演題名「5歳児における協調運動機能へ影響を及ぼす認知及び感覚的因子」 | H30 |
| 19 | 第59回日本児童青年精神医学会総会　優秀ポスター賞 | 一般社団法人　日本児童青年精神医学会 | 三上珠希 | 弘前大学大学院医学研究科附属　子どものこころの発達研究センター | 2018.9 | | 演題番号 P20-1<br>演題名「A市における3歳児健診への発達スクリーニング導入について～診断精度向上を目指して～」 | H30 |
| 20 | 日本臨床精神神経薬理学会学術論文奨励賞・受賞 | 一般社団法人　日本臨床精神神経薬理学会 | 古郡規雄 | 弘前大学大学院医学 研究科 神経精神医学講座 | 2018.11 | | 演題名「統合失調症薬物治療における治療者と当事者の認識の違い」 | H30 |
| 21 | チーム医療賞 | 第7回高血圧フォーラム | 大植知穂、植田京子、樫葉歩、山本里美、山本啓晋、有田幹雄 | 和歌山県立医科大学 | 2018.5 | | | H30 |
| 22 | 第7回プラチナ大賞<br>「プラチナ大賞・総務大臣賞」 | プラチナ大賞運営委員会<br>プラチナ構想ネットワーク | 中路重之<br>青森県/弘前市 | 弘前大学<br>青森県/弘前市 | 2019/11/5 | http://www.platinum-network.jp/pt-taishou2019/ceremony.html | | R1 |
| 23 | 第2回 日本オープンイノベーション大賞 厚生労働大臣賞 | 内閣府 | 奥野 恭史 | 理化学研究所 | 2020/2/14 | https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html | ライフ インテリジェンスコンソーシアム（LINC） | R1 |
| 24 | 第2回COI学会優秀賞 | 弘前大学COI拠点<br>東北大学COI拠点<br>JST | 二階堂義和 | 弘前大学 | 2019/9/20 | https://coi-conference.github.io/2019/index.html | | R1 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 第2回COI学会　ポスター最優秀賞 | 弘前大学COI拠点<br>東北大学COI拠点<br>JST | 荒木　綾乃，寺山　慧，内野詠一郎，奥野恭史 | 京都大学 | 2019/9/20 | https://coi-conference.github.io/2019/index.html | 弘前健診データを用いた機械学習モデルに基づく検査項目の制御探索と疾患発症抑制に向けた介入方法の検討 | R1 |
| 26 | チーム医療優秀賞 | 日本高血圧学会第8回臨床高血圧フォーラム | 日置雄一郎 | 和歌山県立医科大学 | 2019/5/11 | http://www.c-linkage.co.jp/55jscdp-jshforum8/jshforum8/ | | R1 |
| 27 | ポスター賞 | ISPOR | 正路章子、工藤憲一、村下公一、中路重之、五十嵐中 | 東京大学、弘前大学 | 2019/5/23 | https://www.ispor.org/conferences-education/conferences/past-conferences/ispor-2019/awards/award-winners | | R1 |
| 28 | 第1回　アジア健康長寿イノベーション賞<br>コミュニティ部門 優秀事例団体<br>国内優秀事例 | 日本国際交流センター（JCIE）<br>東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA） | 弘前大学COI研究推進機構 | 弘前大学 | 2020/7/27 | http://www.jcie.or.jp/japan/2020/07/27/post-5908/ | | R2 |
| 29 | イノベーションネットアワード2020<br>（第9回地域産業支援プログラム表彰事業）文部科学大臣賞 | 全国イノベーション推進機関ネットワーク事務局 | 弘前大学COI研究推進機構 | 弘前大学 | 2020/9/8 | https://www.innovation-network.jp/recent/2020082500012/ | | R2 |
| 30 | 日本ストレスマネジメント学会第四回優秀論文賞（山中寛賞）<br>「高等支援学校における集団ソーシャルスキル・トレーニングの実践―学校コミュニティの文脈への適合を目指して―」（共著者：清水理奈・粥川智恵・富家直明） | 日本ストレスマネジメント学会 | 新川広樹 | 弘前大学 | 2021/02/21 | | | R2 |
| 31 | 日本神経病理学会賞 | 日本神経病理学会 | 今智矢 | 弘前大学 | 2020/10/13 | https://www.hirosaki-u.ac.jp/53055.html | | R2 |
| 32 | イノベーションネットアワード2020（第9回地域産業支援プログラム表彰事業）　文部科学大臣賞 | 経済産業省 | 中路重之 | 弘前大学 | 2020/9/29 | http://www.innovation-network.jp/ | | R2 |
| 33 | 弘前大学医学部学術賞特別賞 | 弘前医学会 | 西嶌春生 | 弘前大学 | 2021/1/22 | | | R2 |
| 34 | Jリーグアウォーズ　チェアマン特別賞 | Jリーグ | 井元清哉 | 東京大学 | 2020/12 | | | R2 |
| 35 | NPB特別賞 | プロ野球連盟 | 井元清哉 | 東京大学 | 2020/12 | | | R2 |
| 36 | 日本栄養・食糧学会　技術賞（令和3年度） | 日本栄養・食糧学会 | 菅沼大行、林宏紀、松本舞 | カゴメ（株） | 2021/02/10 | https://www.jsnfs.or.jp/wp-content/uploads/file/news/news_20210210_jsnfs.pdf | | R2 |
| 37 | 令和2年度弘前大学学術特別賞 若手優秀論文賞 | 弘前大学 | 大里直樹 | 弘前大学<br>花王株式会社 | 2020/12/15 | https://www.hirosaki-u.ac.jp/52895.html | | R2 |
| 38 | Best Presentation Award | ICSIM2021 | M. Bouazizi | 慶應義塾大学 | | | | R2 |
| 39 | HAKODATEアカデミックリンク2020<br>ステージセッション 大賞 | キャンパス・コンソーシアム函館 | すういふと2020<br>高齢者支援のデザイン | 公立はこだて未来大学 | 2020/12/15 | https://www.cc-hakodate.jp/cch_info/6248 | | R2 |
| 40 | 第108回日本泌尿器科学会総会ポスター<br>尿路上皮癌・基礎部門 総会賞 | 第108回日本泌尿器科学会総会 | 畠山真吾 | 弘前大学 | 2020/12/22 | http://www.congre.co.jp/jua2020/award/#section03 | R02W16 | R2 |
| 41 | 第29回日本健康教育学会学術大会<br>優秀演題賞 | 日本健康教育学会 | 樋口由起子 | 弘前大学大学院医学研究科 | 2021/9/20 | https://29nkkg.com/participant.html | | R3 |
| 42 | グッドプラクティス賞 | 日本リスク学会 | MARCO（井元が代表者を務める研究グループ） | 東京大学 | 2021/11/21 | http://www.sra-japan.jp/cms/award-2021/ | | R3 |
| 44 | 2021年度飯島藤十郎食品技術賞 | 公益財団法人　飯島藤十郎記念食品科学振興財団 | 菅沼大行、林宏紀、松本舞 | カゴメ（株） | 2022/4/18 | http://www.iijima-kinenzaidan.or.jp/index.html | | R3 |

COIプログラム　終了報告書　別紙3　参画機関一覧

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

| No. | 機関名 | 参画形態<br>★：受託機関として参画<br>●　：受託機関ではないが、研究開発実施場所として参画<br>○　：上記以外で参画<br>ー　：参画なし | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 1 | 国立大学法人弘前大学（若手あり） | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 2 | 国立大学法人九州大学 | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 3 | 国立大学法人京都大学 | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 4 | 国立大学法人東京大学　大学院医学系研究科 | ー | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 5 | 国立大学法人東京大学　医科学研究所 | ー | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 6 | 国立大学法人名古屋大学 | ー | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 7 | 公立大学法人名桜大学 | ー | ー | ー | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 8 | 公立大学法人和歌山県立医科大学 | ー | ー | ー | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 9 | 国立大学法人東京大学　大学院薬学系研究科 | ー | ー | ー | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 10 | 国立大学法人東京医科歯科大学 | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ★ | ★ |
| 11 | 国立研究開発法人産業総合研究所人間情報研究部門 | ー | ー | ー | ー | ー | ● | ★ | ★ | ★ |
| 12 | 京都府公立大学法人京都府立医科大学（若手あり） | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 13 | 学校法人中央大学（H25,H26は千葉大学） | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 14 | 学校法人慶應義塾　理工学部 | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 15 | 学校法人慶応義塾　医学部 | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 16 | 学校法人志學館学園 | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 17 | 京都府公立大学法人京都府立大学 | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 18 | 公立はこだて未来大学 | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 19 | 杏林大学 | ー | ー | ★ | ★ | ー | ー | ー | ー | ー |
| 20 | 国立大学法人徳島大学 | ー | ー | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 同志社女子大学 | － | － | － | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 22 | 福島県立医科大学（若手） | － | － | － | － | － | ★ | － | － | － |
| 23 | 東邦大学（若手） | － | － | － | － | － | ★ | － | － | － |
| 24 | 東京大学総合研究博物館（若手） | － | － | － | － | － | － | ★ | － | － |
| 25 | 新潟県立看護大学（若手） | － | － | － | － | － | － | ★ | － | － |
| 26 | 名城大学（若手） | － | － | － | － | － | － | ★ | － | － |
| 27 | 京都工芸繊維大学（若手） | － | － | － | － | － | － | － | － | ★ |
| 28 | マルマンコンピュータサービス株式会社 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 29 | GEヘルスケア・ジャパン株式会社 | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － | － |
| 30 | 株式会社クラーロ | ● | ● | ● | － | － | － | － | － | － |
| 31 | 東北化学薬品株式会社 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 32 | 株式会社テクノスルガ・ラボ | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 33 | 株式会社栄研 | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 34 | イオン東北株式会社（イオンリテール株式会社より社名変更） | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 35 | カゴメ株式会社 | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 36 | 東日本電信電話株式会社 | － | － | ● | ● | ● | － | － | － | － |
| 37 | 株式会社ルネサンス | － | － | ● | － | － | － | － | － | － |
| 38 | エーザイ株式会社 | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 39 | 花王株式会社 | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 40 | 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 | － | － | ● | ● | ● | － | － | － | － |
| 41 | 協和発酵バイオ株式会社 | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 42 | ライオン株式会社 | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 43 | オムロンヘルスケア株式会社 | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 44 | 株式会社ベネッセコーポレーション | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 45 | シスメックス株式会社 | － | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 46 | 北海道システム・サイエンス株式会社 | － | － | － | ● | ● | ● | ● | － | － |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 47 | 株式会社生命科学インスティテュート | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ― | ― |
| 48 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 49 | 日本コープ共済生活協同組合連合会 | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ● |
| 50 | クラシエホールディングス株式会社 | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ● |
| 51 | 株式会社ローソン | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ● |
| 52 | サントリー食品インターナショナル株式会社 | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ● |
| 53 | 大塚製薬株式会社 | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● | ● |
| 54 | キリン株式会社 | ― | ― | ― | ― | ● | ― | ― | ― | ― |
| 55 | アツギ株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● |
| 56 | ハウス食品グループ本社株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● |
| 57 | 株式会社ファミリークッキングスクール | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● |
| 58 | 明治生命保険相互会社・株式会社ミルテル株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● | ● |
| 59 | 株式会社ファンケル | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● |
| 60 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所　国立健康・栄養研究所 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● |
| 61 | 株式会社青森銀行 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● |
| 62 | 株式会社みちのく銀行 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● |
| 63 | 青森大学 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● |
| 64 | 国立大学法人九州大学大学院歯学研究院 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● | ● |
| 65 | 味の素株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 66 | 大正製薬株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 67 | シルタス株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 68 | ICI株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 69 | 名城大学 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 70 | 株式会社現代けんこう出版 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 71 | 株式会社シバタ医理科 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● |
| 72 | 株式会社アイトシステム | ● | ● | ● | ― | ― | ― | ― | ― | ― |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 73 | アールエフネットワーク株式会社 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － |
| 74 | 京都銀行 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 75 | 三昌商事株式会社 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － |
| 76 | 株式会社村田製作所 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － |
| 77 | シスコシステムズ合同会社 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － |
| 78 | 株式会社ベネッセスタイルケア | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 79 | ソニー生命保険株式会社京都LPC第2支社 | ● | ● | ● | － | － | － | － | － | － |
| 80 | 株式会社IIJグローバルソリューションズ | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 81 | 三井住友信託銀行株式会社 | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 82 | セコム株式会社 | － | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － |
| 83 | 大日本印刷株式会社 | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 84 | 応用技術株式会社 | － | ● | ● | ● | － | － | － | － | － |
| 85 | 住友電気工業株式会社 | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － |
| 86 | 住友林業株式会社 | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 87 | フューブライト・コミュニケーション株式会社 | － | － | ● | ● | ● | － | － | － | － |
| 88 | みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社<br>（みずほ情報総研株式会社より社名変更） | － | － | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 89 | 株式会社エルブズ | － | － | － | － | － | － | ● | ● | ● |
| 90 | 株式会社マネーフォワード | － | － | － | － | － | － | ● | ● | ● |
| 91 | 株式会社デジタルガレージ | － | － | － | － | － | － | ● | ● | － |
| 92 | 京都信用金庫 | － | － | － | － | － | － | ● | ● | ● |
| 93 | SOMPO未来研究所株式会社 | － | － | － | － | － | － | － | ● | ● |
| 94 | 株式会社三菱UFJ銀行 | － | － | － | － | － | － | － | ● | ● |
| 95 | 株式会社三井住友銀行 | － | － | － | － | － | － | － | ● | ● |
| 96 | 株式会社伊予銀行 | － | － | － | － | － | － | － | ● | ● |
| 97 | 住友生命保険相互会社 | － | － | － | － | － | － | － | ● | ● |
| 98 | 株式会社みずほ銀行 | － | － | － | － | － | － | － | ● | ● |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 99 | 第一生命保険株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 100 | 株式会社アスコエパートナーズ | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 101 | 第一フロンティア生命保険株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 102 | 東京海上日動火災保険株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ● |
| 103 | 京セラコミュニケーションシステム株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● | ― |
| 104 | 三井住友海上プライマリー生命保険株式会社 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ● |

# 用語集

| 用語 | 説明 |
|---|---|
| **岩木健康増進プロジェクト** | 青森県弘前市岩木地区住民の生活習慣病予防と健康の維持・増進、寿命の延長を目指して行なわれている青森県で初めての大規模なプロジェクトである。2015 年に始まり、毎年、大規模な健康調査・健康推進活動を行なっている。 |
| **いきいき健診** | 弘前市では、市民の健康寿命延伸を目的に、市と弘前大学が実施する高齢者の健康調査をいきいき健診と称し、概ね 65 歳以上 80 歳までの市民を対象に全身の健康チェックを行う。2016 年に始まり、期間は約 10 年間、隔年で実施。全国 8 地域の地域高齢者を対象とした、「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」とも関係しているが、弘前拠点独自の健診項目と、全拠点共通項目とがある。 |
| **京丹後長寿コホート** | 京都府京丹後市域において、京都府立医科大学が京丹後市と共に長寿の秘訣を探る疫学調査研究。長寿者人口が全国平均の約 2.8 倍の地域である京丹後市内の 65 歳以上を対象とした健康長寿健診であり（京丹後市立弥栄病院で実施）、また長寿地域（京都府丹後地域）と、平均寿命が最も短い地域（青森県岩木地区）を比較実証する世界初の試みでもある。長寿の秘訣を探るとともに、人類共通の課題である「健康な高齢化社会のあり方」を追求する。 |
| **沖縄やんばる版プロジェクト健診** | 沖縄県北部地区住民において、名桜大学が『健康調査』及びこれに基づく『疾患予兆法』と『予防法』の開発」に関する研究プロジェクトを実施。やんばるに在住する働き盛り世代の方を対象に、住民の健康維持・増進、QOL の向上、疾病の予防及び健康の保持増進を包括的に研究することを目的に詳細な健診と自治体と共同で行っている。 |
| **わかやまヘルスプロモーション研究** | 和歌山県内の 5 つの町村で、和歌山県立医科大学が 40 歳以上の地域住民を対象とする健康測定行い、動脈硬化健診や認知機能検査を用いたコホート研究を行っている。この研究より過去の身体状態や生活習慣と現在の健康度の関連について解析を行っている。 |
| **久山町研究** | 福岡県糟屋郡久山町の住民を対象に、九州大学が行っている生活習慣病の疫学調査。1961 年の脳卒中の調査から始まり、現在では生活習慣病全般をテーマに、研究が続けられている |
| **健康寿命** | 日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。平均寿命と健康寿命の間には、男性で約 9 年、女性で約 13 年の差がある。 |
| **QOL** | Quality of Life の略称。人生の質、生活の質、生命の質。<br>単に疾病がないということではなく、身体的、精神的、社会的など広い意味で主観的に満足のいく状態にあること。<br>WHO の定義では、「個人が生活する文化や価値観の中で、目標や期待、基準、関心に関連した個人の人生の状況に対する認識」 |
| **オプティマムヘルス** | 年齢、文化、生活環境といった自分が置かれた状況の中で、 ひとりひとりが適切な生き方や習慣を選んで、最善な健康を実現していく状態・過程のことであり、つまり、個々人にとって最高・最善の健康状態を指す。 |

| | |
|---|---|
| **エンパワメント** | 一人ひとりが本来持っているすばらしい潜在力を湧きあがらせ、顕在化させ、活動を通して人々の生活や社会の発展のために生かしていくこと。人は誰もがすばらしい力を持って生まれ、生涯にわたりそのすばらしい力を発揮し続けることができるという前提がある。そのすばらしい力を引きだすことがエンパワメントである。 |
| **ヘルスリテラシー** | 健康教養、健康を決める力。<br>健康面での適切な意思決定に必要な基本的健康情報やサービスを調べ、理解し、評価し、利用し、これを取り込む知識、意欲、能力。 |
| **HLS-EU-Q47** | 国際的に用いられている包括的なヘルスリテラシー尺度の一つ。European Health Literacy Survey Questionnaire の略称。ヘルスリテラシーの 4 つの情報に関する能力（入手、理解、評価、活用）を 3 つの領域（ヘルスケア、疾病予防、ヘルスプロモーション）にわたって 12 次元で測定する尺度で、合計で 47 問からなっている。 |
| **健康物語** | 弘前大学で開発した健康啓発ツール。人の健康の一生をストレスや生活習慣が要因で年齢とともにどのように変化するかメタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、認知症に着目してまとめた教材。 |
| **0 次予防** | 疾病リスクを高める原因となる社会経済的、環境的、行動的条件の発生を予防する対策を取ることで、健康影響を最小限にとどめるための条件を確立し維持すること。例えば、疾病を根本から予防するために、不健康なライフスタイルや消費パターンの拡大を防ぐこと。 |
| **QOL 健診<br>（啓発型健診）** | 当拠点で開発している新型健診の名称。商標登録済。<br>ビッグデータ解析に基づいた健診結果の即時返却と、結果に基づいた会場での健康教育から成る　受診者自身の行動変容を目指した新しい健診方法。健診会場では、受診者のヘルスリテラシー向上のための健康教育が行われ、その後も健康づくりを継続支援する。 |
| **DX-QOL 健診** | QOL 健診の DX 化（デジタルトランスフォーメーション）を進めた上でウィズ／ポストコロナに対応できるようバージョンアップしたもの。測定機器や測定方法等の非侵襲化、非接触化、遠隔化を促進し、単に自宅で健診を受診できるようにするだけでなく、日常生活の中で継続的なフォローアップを受けられるようにし、これまで健診受診が難しかった乳児や寝たきりの高齢者もカバーできるように、健診モデルの開発を進めている。 |
| **API** | Application Programming Interface の略称。ソフトウェアからオペレーティングシステム（OS）の機能を利用するための仕様または操作方法（インターフェース）の総称で、アプリケーションの開発を容易にするためのソフトウェア資源のこと。「API」の重要な役割は、サービス提供者が公式に仕様を定義・管理している操作方法を提供することである。 |
| **SS-MIX2** | 「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業」（SS-MIX:Standardized Structured Medical Information eXchange）の略称。SS-MIX において策定された、医療機関を対象とした医療情報の交換・共有のための規約のこと。医療機関の既存の IT インフラから各種情報を取得でき、標準的な形式の情報出力を可能にすることを特徴とする。現在は、標準化の見直しと現状に即した実装機能の見直しを行い、SS-MIX2 としてまとめられている。 |

| | |
|---|---|
| **CDISC** | 「非営利の臨床データ標準化団体」（CDISC:Clinical Data Interchange Standards Consortium）の略称。データの相互利用を可能とする、国際的でプラットフォームに依存しない標準化データモデルを開発・支援することで、医学研究やヘルスケア研究を改善するために平成 9 年に設立された国際的・学際的な NPO 団体。 |
| **ライフログデータ** | 人間個人の生活、行動、体験をデジタルデータとして記録したデータ。本研究テーマにおいては、特にヘルスレコード、バイタルデータ（体重、血圧、歩数等）の健康記録データを意味する。 |
| **PHR** | Personal Health Record の略称。個人の健康状態や服薬履歴等を電子記録として本人や家族が把握し、日常生活改善や健康増進につなげるための仕組み。 |
| **皮膚カロテノイド** | 「ベジチェック」で測定する皮膚のカロテノイドを指す。皮膚のカロテノイドを測定することで、野菜摂取量を推定することができる。 |
| **ソーシャルインパクトボンド（SIB）** | 民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払の原資とすることを目指すもの。SIB:Social Impact Bond の略称。 |
| **健康未来イノベーションセンター** | 2017 年 2 月、弘前大学内に設置された全学組織。2020 年 8 月より、同センターを全学の組織から大学院医学研究科附属教育研究施設に移行し、大学院医学研究科と一体となった連携を進めている。<br>また、文部科学省の地域科学技術実証拠点整備事業の採択を受けて、2018 年 3 月、医学研究科に建設された新設施設の名称でもある。施設内にはアンダーワンルーフのもとに参画機関が研究開発を実施するためのオープンラボや、本拠点で開発している「QOL 健診」を開発するための新型健診プログラム開発室等を設け、最先端機器も整備されている。 |
| **青森県の「健康経営認定制度」** | 青森県の働き盛り世代の健康づくりを推進するため、従業員の健康管理を経営的視点から考え戦略的に実践する「健康経営®」に取り組む県内事業所を「青森県健康経営事業所」として認定する制度のこと。 |
| **科学的エビデンス** | ある治療法がある病気・怪我・症状に対して、効果があることを示す科学的根拠としての証拠や検証結果・臨床結果を指す。 |
| **アンチエイジング** | 年を取ることで起る老化の原因を抑制することによって、身体の機能的な衰え（老化）を予防・改善すること。 |
| **ロコモティブシンドローム** | 筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態をいう（運動器症候群）。進行すると介護が必要になるリスクが高くなる。 |
| **アルツハイマー型認知症** | 認知症の約半数を占める疾患である。脳内に異常なたんぱく質が蓄積し、神経細胞が変性・脱落して脳が萎縮していく。ひどい物忘れや時間・場所の見当識障害などの症状に始まり、高度の認知症となる。 |

| | |
|---|---|
| **MCI** | Mild Cognitive Impairment の略称。軽度認知障害。<br>健常者と認知症の中間にあたるグレーゾーン。認知機能（記憶、決定、理由づけ、実行など）のうち 1 つの機能に問題が生じてはいるものの、日常生活には支障がない状態。以下の 5 つが MCI の定義。<br>①　記憶障害の訴えが本人または家族から認められている<br>②　日常生活動作は正常<br>③　全般的な認知機能は正常<br>④　年齢や教育レベルの影響のみでは説明できない記憶障害が存在する<br>⑤　認知症ではない |
| **CKD** | Chronic Kidney Disease の略称。慢性腎臓病。腎機能の障害が慢性的に続いている状態。 |
| **メタボローム解析** | 生物の細胞内には数多くの化合物が存在する。生物は代謝によって多様な有機化合物(代謝産物)を生産する。生体内に存在する全代謝産物を網羅的に解析することを「メタボローム解析」と呼ぶ。 |
| **SNP** | Single Nucleotide Polymorphism の略称。一塩基多型。ヒトのゲノム塩基配列中に一塩基が変異した多様性が見られ、その変異が集団内で１%以上の頻度でみられるとき、SNP となる。複数形 SNPs |
| **GWAS** | ゲノム全体をほぼカバーするような、50 万個以上の一塩基多型（SNP）の遺伝子型を決定し、主に SNP の頻度（対立遺伝子や遺伝子型）と、疾患や量的形質との関連を統計的に調べる方法である。 |
| **ICF** | Informed Consent Form の略称。同意説明文書のことである。同意説明文書は、健診参加者が健診に参加する前に、研究の内容や目的、注意点などをじっくり読んで理解するため、また家に持ち帰って家族や知人と相談し、十分に検討できるようにするための「説明書」。 |
| **次世代医療基盤法** | 2018 年 5 月施行の「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律」の略称であり、個人情報保護法の特例と位置づけられる。次世代医療基盤法では、認定された匿名加工医療情報作成事業者に対しては、一定の要件を満たすオプトアウト（あらかじめ通知を受けた本人またはその遺族が停止を求めないこと）によって、医療機関や保険者から要配慮個人情報を提供できることとなり、名寄せされた匿名加工医療情報を、健康長寿社会の形成に資する研究開発や新産業創出のために利活用できる道が開かれた。 |
| **リアルワールドデータ** | 「リアルワールドデータ」は、狭義には電子カルテ・レセプトといった診療行為データのことを指す場合もあるが、広義には、より幅広く人々の実生活・実臨床の実態を反映したデータを意味する。<br>当拠点では、岩木健康増進プロジェクト健診データを軸に、連携する全国の大学のコホートデータ、保健・医療・福祉のライフコースにわたる情報、PHR によるライフログ、まちづくり・環境・教育関連データなど、多様な健康関連データを突合可能な形で統合することをめざしている。 |

COIプログラム　終了報告書　別紙5　研究開発テーマと個別研究開発課題の関係一覧

拠点名：V1 『真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点』（中核：弘前大学）

| 終了報告書中の研究開発テーマ | | 包含する研究開発課題 | | |
|---|---|---|---|---|
| 番号 | テーマ名 | 番号 | 課題名 | 実施機関 |
| 4.1 | 1-a：疾患予兆アルゴリズムの検証及び改良 | 1-a | 疾患予兆アルゴリズムの検証及び改良 | 弘前大学、九州大学、京都大学、東京大学大学院医学系研究科、東京大学医科学研究所、名古屋大学、東京医科歯科大学、マルマンコンピュータサービス株式会社 |
| 4.2 | 1-b：ビッグデータを用いた疾患予兆マーカー、ツールの開発 | 1-b-1 | 脳疾患と生活習慣病におけるオミックス解析技術を利用した解析ツールの開発 | 弘前大学、東北化学薬品株式会社 |
| | | 1-b-2 | 健康指標・疾患リスクにおける腸内細菌叢、口腔内細菌叢のマーカーの開発 | 弘前大学、株式会社テクノスルガ・ラボ |
| | | 1-b-3 | 高齢者における健康情報データと嗅覚の関係性の解明による認知症予兆ツールの開発 | 弘前大学、エーザイ株式会社 |
| | | 1-b-4 | 内臓脂肪蓄積に関与する要因解析、歩行の定量的解析と歩行からの健康リスク（生活習慣病・認知症）予知の確立 | 弘前大学、花王株式会社 |
| | | 1-b-5 | 唾液検査項目からの生活習慣病予兆マーカーの探索 | 弘前大学、ライオン株式会社 |
| | | 1-b-6 | 睡眠の質変化に伴う生活習慣病予兆マーカーの探索 | 弘前大学、ライオン株式会社 |
| | | 1-b-7 | 生活活動データの収集 | 弘前大学、オムロンヘルスケア株式会社 |
| | P2 | 1-b-8 | 疾患予兆バイオマーカーの開発 | 弘前大学、シスメックス株式会社 |
| | | 1-b-9 | | 離脱 |
| | | 1-b-10 | メタボローム解析データを用いたバイオマーカーの探索及び検証 | 弘前大学、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 |
| | | 1-b-11 | ビッグデータを用いた冷えとフレイルの関連因子の探索 | 弘前大学、クラシエホールディングス株式会社 |
| | | 1-b-12 | ビッグデータを用いた水分と健康の関係解析 | 弘前大学、サントリー食品インターナショナル株式会社 |
| | | 1-b-13 | 欠番 | |
| | | 1-b-14 | 婦人科疾患とエクオールとの関係解析 | 弘前大学、大塚製薬株式会社 |

| 終了報告書中の研究開発テーマ | | 包含する研究開発課題 | | |
|---|---|---|---|---|
| 番号 | テーマ名 | 番号 | 課題名 | 実施機関 |
| | | 1-b-15 | 生活習慣病・認知症・睡眠・ストレス・運動機能等の要因について栄養成分の探索 | 弘前大学、大塚製薬株式会社 |
| | P3 | 1-b-16 | 身体運動特徴と健診項目との関連性分析 | 弘前大学、産業技術総合研究所 |
| | | 1-b-17 | 健康情報データ及び食習慣との関連分析から得られた結果を活用した新規追跡調査 | 弘前大学、ハウス食品グループ本社株式会社 |
| | | 1-b-18 | 味覚と健康状態の関係性解析 | 弘前大学、九州大学歯学研究院 |
| | | 1-b-19 | 未病予測モデルの開発 | 弘前大学、株式会社ミルテル |
| | | 1-b-20 | 疾患予兆アルゴリズムの開発 | 弘前大学、株式会社ファンケル |
| | | 1-b-21 | 健康と栄養・暮らし向きの関係解析 | 弘前大学、国立健康・栄養研究所 |
| | | 1-b-22 | 疾病負担推計と費用対効果評価モデルの作成 | 弘前大学、東京大学大学院薬学研究科 |
| | | 1-b-23 | アミノ酸を中心とする代謝産物によるデジタルリスクスクリーニングの確立 | 弘前大学、味の素株式会社 |
| | | 1-b-24 | 健康寿命に関わる将来の指数変化の確認 | 弘前大学、味の素株式会社 |
| | | 1-b-25 | かぜ・疲労・毛髪領域の症状における生体関連因子の関係性解明 | 弘前大学、大正製薬株式会社 |
| | | 1-b-26 | 広範な保健医療福祉情報の安全かつ適正な利活用方法の開発及び実装・運用 | 弘前大学、ICI株式会社 |
| | | 1-b-27 | 呼気中揮発性有機化合物の網羅的解析による健康指標の探索 | 弘前大学、名城大学 |
| | | 1-b-28 | 医薬品の服用及び健康食品の摂取と健康状態との関係性解析 | 弘前大学、名城大学 |
| | | 1-b-29 | 尿中エクソソーム解析による健康指標の探索 | 弘前大学、名城大学 |
| | | 1-b-30 | 食生活と消化器系の免疫系恒常性維持との関係性解析 | 弘前大学、名城大学 |
| | | 1-b-31 | 岩木地区住民における腸内細菌叢メタゲノム解析およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発 | 弘前大学、国立健康・栄養研究所 |

| 終了報告書中の研究開発テーマ | | 包含する研究開発課題 | | |
|---|---|---|---|---|
| 番号 | テーマ名 | 番号 | 課題名 | 実施機関 |
| 4.3 | 2-a：予兆因子に基づいた予防法の開発 | 2-a-1 | アンチエイジング法の開発 | 弘前大学、カゴメ株式会社 |
| | | 2-a-2 | 疾病予防に有効な食素材や食事成分、食習慣の解明、小規模ヒト試験による予防法の効果検証と改良 | 弘前大学、カゴメ株式会社 |
| | | 2-a-3 | 調理の遂行能力を通じた認知機能評価の研究 | 弘前大学、ハウス食品グループ本社株式会社 |
| | | 2-a-4 | 新たな健康指標及び健康手法の開発 | 弘前大学、協和発酵バイオ株式会社 |
| | | 2-a-5 | 体形補正下着着用による健康管理能力の影響検証 | 弘前大学、アツギ株式会社 |
| | | 2-a-6 | 医薬品の適正使用とセルフメディケーションの推進 | 弘前大学、青森大学 |
| | | 2-a-7 | 栄養バランスを整えるソリューション開発 | 弘前大学、味の素株式会社 |
| | | 2-a-8 | 肌、皮脂、頭皮、毛髪データの網羅解析からのQOL改善につながる健康ソリューションの確立 | 弘前大学、花王株式会社 |
| 4.4 | 2-b：QOL健診の検証と社会型実装 | 2-b-1 | QOL健診の検証と社会実装 | 株式会社青森銀行、株式会社みちのく銀行、株式会社現代けんこう出版、株式会社シバタ医理科 |
| | | 2-b-2 | QOL健診を通じた疾患（認知症等）の予防 | 弘前大学、マルマンコンピュータサービス株式会社 |
| | | 2-b-3 | 青森県での「食生活の改善」と「運動の場づくり」の実験展開 | 弘前大学、日本コープ共済生活協同組合連合会 |
| | | 2-b-4 | 「食生活改善」の提案（参画企業連携） | 弘前大学、イオン東北株式会社 |
| | | 2-b-5 | 「健康教育プラットフォーム」の構築及び「健康教育プログラム」の開発 | 弘前大学、株式会社ベネッセコーポレーション |
| | | 2-b-6 | 「内臓脂肪低減プログラム」「歩行支援システム」開発と社会実装での効果検証 | 弘前大学、花王株式会社 |
| | | 2-b-7 | 健康的な食生活をサポートするための商品開発及び情報発信 | 弘前大学、株式会社ローソン |
| | | 2-b-8 | 地元に根付いた健康価値のある商品づくり | 弘前大学、株式会社ファミリークッキングスクール |
| | | 2-b-9 | 未病教育ツールの開発 | 弘前大学、明治安田生命保険相互会社 |

| 終了報告書中の研究開発テーマ | | 包含する研究開発課題 | | |
|---|---|---|---|---|
| 番号 | テーマ名 | 番号 | 課題名 | 実施機関 |
| | | 2-b-10 | 『栄研版　健康な食事』及び『健康教養』の開発、普及活動 | 弘前大学、株式会社栄研 |
| | | 2-b-11 | 食品購入履歴を健康管理に活用するための購買行動分析 | 弘前大学、シルタス株式会社 |
| | | 2-b-12 | 「健康サポート薬局」を活用した地域保健活動の活性化とその有効性 | 弘前大学、名城大学 |
| | | 2-b-13 | 人それぞれの行動変容に合わせた健康づくりへのアプローチ | （予定：2018年4月～2022年3月） |
| 4.5 | 3：認知症サポートシステムの開発 | 3-a | 意思決定支援に関する普及啓発活動の内容の検討 | 株式会社京都銀行、株式会社ベネッセスタイルケア、IIJグローバルソリューションズ、三井住友信託銀行株式会社、株式会社エルブズ、株式会社マネーフォワード、大日本印刷株式会社、住友電気工業株式会社、住友林業株式会社、みずほ情報総研株式会社、株式会社デジタルガレージ、京都信用金庫、SOMPO未来研究所株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、住友生命保険相互会社、株式会社伊予銀行、株式会社みずほ銀行、第一生命保険株式会社、株式会社アスコエバートナーズ、第一フロンティア生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、京都府立医科大学、中央大学、慶應義塾大学理工学部、慶應義塾大学医学部、志學館大学、京都府立大学、公立はこだて未来大学、徳島大学、同志社女子大学 |
| | | 3-b | 高齢者の意思決定支援能力評価法と支援システムの開発 | |
| 4.6 | 4：拠点間データ連携 | 4 | 拠点間データ連携 | 弘前大学、九州大学、京都府立医科大学、名桜大学、和歌山県立医科大学、京都大学、東京大学医科学研究所、COI健康・医療データ連携推進機構 |
| | 若手の合計 | | H29：H29W06, H29W07, H29W08<br>H30：H30W01, H30W14, H30W15, H30W18, H30W19<br>H30WD41, H30WD42, H30WD44, H30WD45, H30WD60<br>H31/R1：H31W04, H31W14, H31W20, H31W21, H31W23, R1WD11<br>R2：R02WD05, R02W06, W02W16<br>R3：R03W13, R03W14 | |
| | プラットフォーム構築のための拠点推進体制の整備、<br>SDGs動画作成、等 | | | |

参考資料１　研究会等開催一覧

| 開催回 | | 発表者 | | タイトル |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 2015年10月2日 | 中路重之 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健康増進プロジェクトの歴史と現況 |
| | | 高橋一平 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健康増進プロジェクトのビッグデータについて「現状とその活用」 |
| 第2回 | 2015年11月6日 | 中路重之 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健康増進プロジェクトのバックキャストと研究の発展について |
| | | 菅沼大行 | カゴメ株式会社 | カゴメ株式会社（株）の弘前拠点の評価と参加の意図 |
| 第3回 | 2015年12月4日 | 高橋一平 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介「健康追跡調査」 |
| 第4回 | 2016年1月8日 | 発表者不明 | 弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介 |
| | | 伊地知（名不明） | GEヘルスケア・ジャパン株式会社 | 岩木健康ビッグデータを用いた機械学習によるモデル構築 |
| 第5回 | 2016年3月4日 | 秋元直樹 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介「腸内細菌叢研究のまとめ」 |
| | | 安川拓次 | 花王株式会社 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介「“真の社会イノベーション” への貢献をめざして」 |
| 第6回 | 2016年4月8日 | 大石舞香 | 弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介 |
| | | 柳町守 | エーザイ株式会社 | 弘前大学COIとのコラボレーション |
| 第7回 | 2016年5月13日 | 高橋一平 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健診及びいきいき健診説明会 |
| 第8回 | 2016年9月2日 | 乾明成 | 弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科講座 | 口腔と全身の疾病・健康 |
| | | 吉田富美子 | 株式会社ベネッセホールディングス | ベネッセが考える『健康教育』-Family Heath lab- |
| 第9回 | 2016年10月7日 | 紙健次郎 | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 | コホート研究におけるメタボロミクス～健康長寿社会実現に向けて～ |
| | | 宮本真弓 | マルマンコンピュータサービス株式会社 | 健康増進支援サービス-健康物語 Health Story- |
| 第10回 | 2016年11月4日 | 佐々木良 | 弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 | 岩木健康増進プロジェクトにおける聴覚研究 |
| | | 仁田原翔太 | 北海道システムサイエンス株式会社 | 次世代シーケンスを用いたメタゲノム解析について |
| 第11回 | 2016年12月2日 | 今井篤 | 弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介① |
| | | 小松美穂 | 協和発酵バイオ株式会社 | 岩木健康増進プロジェクトデータの活用例紹介② |
| 第12回 | 2017年1月13日 | 松原篤 | 弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 | 岩木健康増進プロジェクトにおけるアレルギー研究 |
| | | 倉内静香 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 平成29年度岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診といきいき健診について |
| 第13回 | 2017年3月3日 | 倉内静香 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 平成29年度岩木PJ健診へ向けての準備状況 |
| | | 高橋一平 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩ＫＰＪ健診に関する研究実例発表 |
| 第14回 | 2017年5月12日 | 倉内静香 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 平成29年度岩木健康増進プロジェクト　プロジェクト健診・いきいき健診　説明会について |
| 第15回 | 2017年7月21日 | 中路重之 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 弘前大学COIの今 |
| 第16回 | 2017年11月10日 | 井元清哉 | 東京大学医科学研究所 | 腸内・口腔内細菌のデータの利用の仕方について |
| 第17回 | 2018年2月8日 | 奥野恭史 | 京都大学大学院医学研究科 | 健康ビッグデータのデータベース構築等について |
| 第18回 | 2018年5月9日 | 中路重之 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木健康増進プロジェクトの現状と今後について |
| | | 沢田かほり | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | Ｈ３０岩木健康増進プロジェクトに関して |
| 第19回 | 2019年1月22日 | 沢田かほり | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 2019年度プロジェクト健診、いきいき健診の概要について |
| | | 熊谷美香 | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 岩木ビッグデータのアップデート状況 |
| 第20回 | 2019年5月21日 | 工藤隆司 | 弘前大学大学院医学研究科 麻酔科学講座 | 非定型うつ病の新規療法開発及び発症予防プログラム開発に向けた基盤研究 |
| | | 沢田かほり | 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 | 2019年度岩木健診　概要 |
| 第21回 | 2019年6月24日 | 是川あゆ美 | 弘前大学大学院医学研究科 皮膚科学講座 | 肌のうるおいについての研究 |
| | | 浅野悠 | サントリー食品インターナショナル株式会社 | 「水と健康」を科学する |
| 第22回 | 2019年7月30日 | 水上浩哉 | 弘前大学大学院医学研究科 分子病態病理学講座 | 岩木健康増進プロジェクトと痛覚閾値の測定 |
| | | 稲益悟志 | クラシエホールディングス株式会社 | 冷えとフレイルへ独自のアプローチ　～超多項目ビッグデータ活用による未病状態の改善 |
| 第23回 | 2019年9月4日 | 多田羅洋太 | 弘前大学大学院医学研究科 糖鎖工学講座 | 多層オミックス解析による認知症の早期発見のためのバイオマーカー探索 |
| | | 田原栄治 | 株式会社ミルテル | 未病状態を可視化するテロメア検査 |
| 第24回 | 2020年2月17日 | 田口大夢 | ハウス食品グループ本社株式会社 | 味覚・食生活と健康情報データとの関連分析を活用した新たな食スタイルの開発 |
| | | 川端二功 | 農学生命科学部 国際園芸農学科 | 味覚感受性に影響を与える因子の探索とその応用 |
| 第25回 | 2020年8月3日 | 髙橋佳子 | 弘前大学COI研究推進機構 | 2020年度岩木プロジェクト健診概要と感染予防対策 |
| | | 鄭松伊 | 弘前大学大学院医学研究科 デジタルニュートリション学講座 | JPSC-AD紹介及び2020年度いきいき健診概要 |
| 第26回 | 2020年9月9日 | 髙橋佳子 | 弘前大学COI研究推進機構 | 岩木プロジェクト健診実施要項、感染予防対策（岩木・いきいき共通） |
| | | 鄭松伊 | 弘前大学大学院医学研究科 デジタルニュートリション学講座 | いきいき健診実施要項 |
| 第27回 | 2020年11月24日 | 伊東健 | 弘前大学大学院医学研究科 分子生体防御学講座 | Nrf2酸化ストレス応答経路による血管老化制御機構～岩木コホートにおける酸化ストレスのホメオスタシス研究～ |
| | | 菅沼大行 | カゴメ株式会社 | 野菜を食べることの意義を明らかにするために　～岩木プロジェクト健診のデータ解析でわかってきたこと～ |
| 第28回 | 2020年12月21日 | 小林恒 | 弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 | 岩木健康増進プロジェクトから見えた口腔と全身との関係 |
| | | 坪川雅哉 | 株式会社ファンケル | 自律神経機能に着目した健康ビッグデータ解析によるフレイル予防研究 |
| 第29回 | 2021年3月16日 | 石田水里 | 弘前大学大学院医学研究科 ウォーターヘルスサイエンス講座 | 2020年度データのリリースと運用に関する概要 |
| | | 髙橋　佳子 | 弘前大学COI研究推進機構 | 2021年度岩木プロジェクト健診概要 |
| 特別編 | 2021年4月27日 | 鄭松伊 | 弘前大学大学院医学研究科 デジタルニュートリション学講座 | 第1部いきいき健診の概要及び2021年度実施内容、第2部いきいき健診のデータ利用・取扱い説明 |
| 第30回 | 2021年5月18日 | 髙橋佳子 | 弘前大学COI研究推進機構 | 岩木プロジェクト健診の概要 |
| | | 鄭松伊 | 弘前大学大学院医学研究科 デジタルニュートリション学講座 | いきいき健診の概要 |
| 第31回 | 2021年6月22日 | 神里彩子 | 東京大学医科学研究所 | 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」について |
| 第32回 | 2021年7月27日 | 髙橋佳子 | 弘前大学COI研究推進機構 | 岩木プロジェクト健診の概要 |
| 第33回 | 2021年9月14日 | 井元清哉 | 東京大学医科学研究所 | ゲノム解析データを用いた研究・方法に関する講習会（イントロダクション） |
| 第34回 | 2021年10月26日 | 玉田嘉紀 | 弘前大学大学院医学研究科 附属健康未来イノベーションセンター | Linuxの基礎(演習&実習:基本操作、ログイン、スパコン入門、etc..) |
| 第35回 | 2021年11月9日 | 井元清哉 | 東京大学医科学研究所 | ①Linux+SHIROKANE入門(復習編)<br>②ゲノムブラウザIGVのインストール方法と使い方 |
| | | 片山琴絵 | 東京大学医科学研究所 | |
| 第36回 | 2021年11月30日 | 片山琴絵 | 東京大学医科学研究所 | fastqファイルからbamファイルを作成し、変異コールを実施(演習) |
| | | 斉藤あゆむ | 東京大学医科学研究所 | |
| 第37回 | 2022年1月11日 | 井元清哉 | 東京大学医科学研究所 | ①QIIME2 を用いて細菌叢の組成割合（コンポジション）のデータに変換・可視化<br>②PICRUSt を用いた予測メタゲノム解析<br>③LEfSe を用いてサンプルのグループに対して有意に変化している細菌種や機能パスウェイを抽出 |
| | | 山本茉子 | 東京大学医科学研究所 | |
| 第38回 | 2022年1月17日 | 髙橋佳子 | 弘前大学COI研究推進機構 | 2022年度 岩木健診関連倫理申請について |
| 第39回 | 2022年2月1日 | 工藤憲一 | 一般財団法人日本医師会医療情報管理機構　匿名加工・解析責任者 | 次世代医療基盤法に基づく岩木データとリアルワールドデータの統合 |
| | | 五十嵐中 | 東京大学大学院 薬学系研究科　医薬政策学 | 「多次元」データの活用-岩木検診+弘前市データで見えること |
| | | 正路章子 | 東京大学大学院 薬学系研究科　医薬政策学 | 岩木健診・弘前市データ連携の成果と次世代医療基盤法を活用した研究計画 |

**○リーダー育成研修**

| 回次 | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 5月9日（月） | **みちのく銀行**<br>ヘルサポ・リーダー | 54 | **青森市**<br>みちのく銀行研修会館<br>1F大研修室 | 終了 |
| 第2回 | 5月12日（木） | **みちのく銀行**<br>ヘルサポ・リーダー | 64 | **青森市**<br>みちのく銀行研修会館<br>1F大研修室 | 終了 |
| 第3回 | 9月14日（水） | **協同組合　青森総合卸ｾﾝﾀｰ**<br>加盟企業職員 | 30 | **青森市**<br>協同組合　青森総合卸ｾﾝﾀｰ<br>2F大会議室他 | 終了 |
| 第4回 | 10月26日（水） | **田子町**<br>中小企業経営者・役場職員 | 20 | **田子町**<br>中央公民館　集会室 | 終了 |
| 第5回 | 10月28日（金） | **青森銀行**<br>次長級 | 38 | **青森市**<br>青森銀行本店　8階　大会議室 | 終了 |
| 第6回 | 11月8日（火） | **深浦町**<br>町内事業所職員<br>消防署職員・役場職員 | 46 | **深浦町**<br>町民総合ｾﾝﾀｰ（役場）<br>町民文化ホール | 終了 |
| 第7回 | 11月15日（火） | **鰺ヶ沢町**<br>町内企業・事業所職員 | 31 | **鰺ヶ沢町**<br>舞戸公民館 | 終了 |
| 第8回 | 11月20日（日） | **青森市**<br>健康アップ実践企業職員 | 25 | **青森市**<br>青森県立保健大学 | 終了 |
| 第9回 | 11月22日（火） | **おいらせ町**<br>町内企業・役場職員 | 22 | **おいらせ町**<br>みなくる館 | 終了 |
| 第10回 | 11月23日（水） | **南部町**<br>町議会議員・消防団・町職員 | 30 | **南部町**<br>総合保健福祉センター　ゆとりあ | 終了 |
| 第11回 | 11月27日（日） | **大鰐町**<br>町内企業・事業所職員<br>消防団・役場職員 | 55 | **大鰐町**<br>総合福祉ｾﾝﾀｰ集会室 | 終了 |
| 第12回 | 12月13日（火） | **みちのく銀行**<br>ヘルサポ・リーダー | 106 | **青森市**<br>みちのく銀行本店<br>8F大会議室 | 終了 |
| 第13回 | 3月2日（木） | **みちのく銀行（事例発表）**<br>ヘルサポ・リーダー | 95 | **青森市**<br>みちのく銀行本店<br>8F大会議室 | 終了 |
| 第14回 | 3月17日（金） | **青森市（フォローアップ研修）**<br>健康アップ実践企業職員 | 11 | **青森市**<br>青森市健康増進ｾﾝﾀｰ（元気ﾌﾟﾗｻﾞ） | 終了 |

**○人材育成サポート**

| 回次 | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 7月14日（木） | **JAつがる弘前**<br>青年部 | 23 | **弘前市**<br>JAつがる弘前本店<br>3階ホール | 終了 |
| 第2回 | 9月6日（火）<br>～<br>9月8日（木） | **北星交通**<br>乗務員<br>（9/6～9/8実施のうち、9/6のみサポート） | 200 | **弘前市**<br>北星交通本社<br>2階 | 終了 |
| 第3回 | 9月7日（水） | **鰺ヶ沢町**<br>保健推進委員 | 14 | **弘前市**<br>弘前大学大学院　医学研究科<br>社会医学講座　第2セミナー室 | 終了 |
| 第4回 | 10月12日（水） | **青森銀行**<br>新入行員 | 54 | **青森市**<br>青森銀行本店　16:00～17:30 | 終了 |
| 第5回 | 10月21日（金） | **青森労働基準監督署**<br>協会けんぽ・青森市共催 | 39 | **青森市**<br>青森労働基準監督署1階会議室 | 終了 |
| 第6回 | 10月30日（日） | **青森県作業療法士会**<br>介護予防・健康づくり推進指導者育成研修会<br>（青森県リハビリテーション3士会研修会） | 30 | **むつ市**<br>むつ来さまい館　イベントホールB | 終了 |
| 第7回 | 11月3日（木） | **青森県作業療法士会**<br>介護予防・健康づくり推進指導者育成研修会<br>（青森県リハビリテーション3士会研修会） | 28 | **十和田市**<br>十和田市東公民館<br>ホール・研修室 | 終了 |
| 第8回 | 11月19日（土） | **青森市**<br>あおもり健康づくりリーダー育成ゼミ | 29 | **青森市**<br>青森県立保健大学 | 終了 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第9回 | 2月19日（日） | **青森県作業療法士会**<br>介護予防・健康づくり推進指導者育成研修会<br>（青森県リハビリテーション3士会研修会） | 27 | **五所川原市**<br>五所川原市中央公民館<br>大ホール・第1会議室 | 終了 |
| 第10回 | 3月7日（火）<br>～<br>3月9日（木） | **北星交通**<br>乗務員<br>（3/7～3/9実施のうち、3/7のみサポート） | 200 | **弘前市**<br>北星交通本社<br>2階 | 終了 |
| 第11回 | 3月14日（火）<br>～<br>3月15日（水） | **ひろみちお兄さんの親子体操教室**<br>弘前市内在住の未就学児（3歳～5歳）とその保護者<br>親子体操指導者 | 28 | **弘前市**<br>岩木文化センターあそべーる | 終了 |

# 健やか力推進センター　平成29年度活動予定（2021/10/29現在）

**〇リーダー育成研修**

| 回次 | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 5月11日(木) | (株)佐々木建設工業<br>従業員 | 34 | 青森市 ホテルクラウンパレス | 終了 |
| 第2回 | 7月6日(木) | おいらせ町 | 21 | おいらせ町みなくる館 | 終了 |
| 第3回 | 7月12日(水) | 公益社団法人　青森県トラック協会 | 31 | 青森市大字荒川字品川111-3 青森県トラック協会会館<br>講義：2F中研修室　測定・運動・WS：大研修室　控室：小研修室 | 終了 |
| 第4回 | 8月9日（水） | 鰺ヶ沢町<br>小中学校教職員　役場職員 | 31 | 鰺ヶ沢町・舞戸公民館 | 終了 |
| 第5回 | 8月31日(木) | むつ市 | 33 | むつ市金谷1丁目10-1　下北文化会館<br>講義：大集会室　測定・運動・WS：1F展示ホール | 終了 |
| 第6回 | 9月13日(水) | みちのく銀行（第1回目）<br>平成29年度ヘルサポ・リーダー | 107 | 青森市　みちのく銀行本店8F　大会議室 | 終了 |
| 第7回 | 9月19日(火) | 五戸町 | 39 | 五戸町　倉石コミュニティーセンター　大集会室 | 終了 |
| 第8回 | 10月27日(金) | 青森銀行 | 45 | 青森市　青森銀行本店　8階　大会議室 | 終了 |
| 第9回 | 11月9日(木) | 青森県生活協同組合連合会 | 50 | 青森市　青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸（多目的ホール） | 終了 |
| 第10回 | 11月18日(土) | 青森市 | 33 | 青森市　青森県立保健大学 | 終了 |
| 第11回 | 12月19日(火) | 南部町 | 37 | 三戸郡南部町福田舘先25-1　ゆとりあ<br>運動指導室・会議室・保健指導室を一体として使用 | 終了 |
| 第12回 | 2月20日(火) | 青森市<br>フォローアップ研修 | 28 | アピオあおもり　大研修室1 | 終了 |
| 第13回 | 2月26日(月) | みちのく銀行（第2回目）フォローアップ研修<br>平成29年度ヘルサポ・リーダー | 100 | 青森市　みちのく銀行本店8F　大会議室 | 終了 |

その他　問い合わせのあった先
①公益財団法人シルバーリハビリテーション協会　②階上町　③青森経済同友会　④今別町　~~⑤五戸町~~　~~⑥むつ市~~　⑦八戸市　~~⑧みちのく銀行~~　⑨卸センター　~~⑩COOP~~　~~⑪青森銀行~~

**〇健康づくり担当者養成研修（7回計画）**

| 回次 | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 7月11日(火) | 青森地区事業所合同 | 50 | 青森市大字荒川字品川111-3 青森県トラック協会会館<br>講義：2F中研修室　測定・運動・WS：大研修室　控室：小研修室 | 終了 |
| 第2回 | 7月19日(水) | 弘前地区事業所合同 | 35 | 弘前市大字賀田1-18-3　弘前市中央公民館岩木館<br>2階大ホール | 終了 |
| 第3回 | 7月25日(火) | 八戸地区事業所合同 | 36 | 五戸町下モ沢向8-2　五戸町立公民館<br>小ホール | 終了 |
| 第4回 | 8月30日(水) | むつ地区事業所合同 | 47 | むつ市金谷1丁目10-1　下北文化会館<br>リハーサル室1　集会室2 | 終了 |
| 第5回 | 9月7日(木) | 青森地区事業所合同 | 47 | 青森市問屋町2丁目17-3　協同組合青森総合卸センター問屋町会館<br>講義：2F大会議室　測定：1階会議室（血圧2階）　運動・WS：2F大会議室　控室：1F役員室 | 終了 |
| 第6回 | 9月15日(金) | 弘前地区事業所合同 | 38 | 弘前市下白銀町1-6　弘前市民会館<br>講義・測定・運動・WS：1階大会議室　測定：2階中会議室　控室：第二小会議室 | 終了 |
| 第7回 | 9月22日(金) | 八戸地区事業所合同 | 37 | 三戸郡南部町福田舘先25-1　ゆとりあ<br>運動指導室・会議室・保健指導室を一体として使用 | 終了 |

**〇人材育成サポート**

| 回次 | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 11月19日(日) | 青森市　あおもり健康づくりリーダー育成ゼミ | 36 | 青森市　青森県立保健大学 | 終了 |

# 健やか力推進センター　平成30年度活動予定（2021/10/29現在）

## ○健康づくり担当者養成研修

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 6月27日(水) | **弘前文化センター**　大会議室<br>（弘前市下白銀町19-4） | 44名 | 終了 |
| 第2回 | 7月11日(水) | **南部町総合保健福祉センター　ゆとりあ**　運動指導室・会議室・保健指導室を一体として使用<br>（三戸郡南部町福田舘先25-1） | 48名 | 終了 |
| 第3回 | 8月29日(水) | **十和田市民文化センター・生涯学習センター　生涯学習ホール**<br>（十和田市西三番町2-1） | 51名 | 終了 |
| 第4回 | 9月11日(火) | **ねぶたの家　ワ・ラッセ**　学習室(1)(2)(3)<br>（青森市安方1丁目1-1） | 47名 | 終了 |
| 第5回 | 9月27日(木) | **五所川原市中央公民館**　大ホール<br>（五所川原市字一ツ谷504番地1） | 57名 | 終了 |

## ○健康経営セミナー

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 5月9日(水) | **弘前市民会館**　大会議室<br>（弘前市下白銀町1-6） | 40名 | 終了 |
| 第2回 | 5月10日(木) | **リンクステーションホール青森　中会議室**<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 54名 | 終了 |
| 第3回 | 5月17日(木) | **八戸市運動公園体育施設　八戸市スポーツ研修センター　2階　第1会議室**<br>（八戸市大字売市字奥遊下3） | 57名 | 終了 |

## ○リーダー育成研修

| 回次 | 開催日 | 対象 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 7月18日(水) | 弘前商工会議所 | **弘前商工会議所**<br>（弘前市上鞘師町18-1） | 21名 | 終了 |
| 第2回 | 7月24日(火) | みちのく銀行 | **みちのく銀行本店　8階　大会議室**<br>（青森市勝田1丁目3－1） | 102名 | 終了 |
| 第3回 | 9月7日(金) | 青森県生活協同組合連合会（八戸） | **八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室**<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 42名 | 終了 |
| 第4回 | 9月20日(木) | 青森県生活協同組合連合会（青森） | **あおもり協立病院・協立クリニック**<br>（青森市東大野2-1-10） | 31名 | 終了 |
| 第5回 | 10月2日(火) | 青森県生活協同組合連合会（弘前） | **健康未来イノベーションセンター　1階**<br>（弘前市在府町5） | 29名 | 終了 |
| 第6回 | 10月19日(金) | 青森銀行 | **青森銀行本店　8階　大会議室**<br>（青森市橋本1丁目9－30） | 45名 | 終了 |
| 第7回 | 11月6日(火) | おいらせ町 | **おいらせ町　みなくる館**<br>（上北郡おいらせ町下前田145−1） | 17名 | 終了 |
| 第8回 | 11月16日(金) | 青森市 | **青森市沖館市民センター**<br>（青森市沖館一丁目1番11号） | 27名 | 終了 |
| 第9回 | 11月22日(木) | むつ市 | **むつ市役所本庁舎**<br>（青森県むつ市中央一丁目8番1号） | 38名 | 終了 |
| 第10回 | 12月18日(火) | 田子町 | **せせらぎの郷**<br>（三戸郡田子町大字田子字前田2-1） | 44名 | 終了 |

## ○フォローアップ研修

| 回次 | 開催日 | 対象 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 12月12日(水) | 五戸町 | **ひばり野スポーツ交流センター**<br>（三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-407） | 29名 | 終了 |
| ~~第2回~~ | ~~12月13日(木)~~ | ~~南部町~~ | ~~**南部町ふれあい交流ﾌﾟﾗｻﾞ**~~<br>~~（南部町大字大向字泉山道9-87）~~ | 先方都合により中止 | |
| 第3回 | 12月19日(水) | 南部町 | **南部町立剣吉公民館**<br>（南部町大字剣吉字五合田29-1） | 24名 | 終了 |
| 第4回 | 2月21日(木) | 青森市 | **県民福祉プラザ**<br>（青森市中央三丁目20-30） | 31名 | 修了 |

## ○人材育成サポート

| 回次 | 開催日 | 対象 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 11月17日(土) | 青森市 | **青森市沖館市民センター**<br>（青森市沖館一丁目1番11号） | 39名 | 終了 |

## ○更新研修

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 2月15日(金) | **健康未来イノベーションセンター　1階**<br>（弘前市在府町5） | 27名 | 終了 |
| 第2回 | 2月20日(水) | **南部町総合保健福祉センター　ゆとりあ**　運動指導室・会議室・保健指導室を一体として使用<br>（三戸郡南部町福田舘先25-1） | 20名 | 修了 |
| 第3回 | 2月27日(水) | **リンクステーションホール青森　4階　中会議室**<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 53名 | 修了 |

## ○親子体操

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | 人数 | 状況 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 3月19・20日（火・水） | **青森市沖館市民センター**<br>（青森市沖館1丁目1番11号） | 32名 | 修了 |

# 健やか力推進センター　2019年度活動予定（2021/10/29現在）

## ○健康づくり担当者養成研修

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 6月26日(水) | 青森市 | **リンクステーションホール青森　大会議室**<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 45名 | 終了 | － |
| 第2回 | 7月31日(水) | 三沢市 | **三沢市公会堂/三沢市立中央公民館 3階　8・9・10集会室**<br>（三沢市桜町一丁目6番35号） | 33名 | 終了 | － |
| 第3回 | 8月27日(火) | 弘前市 | **健康未来イノベーションセンター　1階**<br>（弘前市在府町5） | 24名 | 終了 | － |
| 第4回 | 9月13日(金) | 五所川原市 | **五所川原市中央公民館　大ホール**<br>（五所川原市字一ツ谷504番地1） | 23名 | 終了 | － |
| 第5回 | 9月27日(金) | 八戸市 | **八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室**<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 36名 | 終了 | － |
| 第6回 | 10月30日(水) | むつ市 | **下北文化会館　大集会室　展示ホール**<br>（むつ市金谷1丁目10-1） | 13名 | 終了 | － |
| 第7回 | 11月13日(水) | 十和田市 | **十和田市民文化センター・生涯学習センター　生涯学習ホール**<br>（十和田市西三番町2-1） | 23名 | 終了 | － |
| 第8回 | 12月18日(水) | 青森市 | **リンクステーションホール青森　大会議室**<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 40名 | 準備中 | － |

今年度の、研修内容を確認をする。

## ○健やか協力隊員養成研修

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 4月17日(水) | **南部町総合保健福祉センター　ゆとりあ　運動指導室・会議室・保健指導室を一体として使用**<br>（三戸郡南部町福田舘先25-1） | 69名 | 終了 | － |
| 第2回 | 5月9日(木) | **リンクステーションホール青森　中会議室**<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 55名 | 終了 | － |
| 第3回 | 5月15日(水) | **健康未来イノベーションセンター　1階**<br>（弘前市在府町5） | 53名 | 終了 | － |

## ○リーダー育成研修

| 回次 | 開催日 | 対象 | 開催場所 | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 7月2日(火) | むつ市 | **むつ市役所本庁舎**<br>（青森県むつ市中央一丁目8番1号） | 41名 | 終了 | 6月4日(火) |
| 第2回 | 7月10日(水) | トラック協会（青森地区） | **青森県トラック協会会館**<br>（青森市大字荒川字品川111－3） | 34名 | 終了 | 4月24日(水) |
| 第3回 | 7月19日(金) | 青森県生活協同組合連合会（青森） | **リンクステーションホール青森　中会議室**<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 40名 | 終了 | 4月5日(金) |
| 第4回 | 7月24日(水) | みちのく銀行 | **みちのく銀行本店　8階　大会議室**<br>（青森市勝田1丁目3－1） | 97名 | 終了 | 4月3日(水) |
| 第5回 | 8月30日(金) | 青森県生活協同組合連合会（弘前） | **健康未来イノベーションセンター　1階**<br>（弘前市在府町5） | 20名 | 終了 | 4月5日(金) |
| 第6回 | 9月6日(金) | 青森県生活協同組合連合会（八戸） | **八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室**<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 33名 | 終了 | 4月5日(金) |
| 第7回 | 10月11日(金) | トラック協会（八戸地区） | **八戸市水産会館**<br>（八戸市白銀町字三島下95） | 32名 | 終了 | 4月24日(水) |
| 第8回 | 10月25日(金) | 青森銀行 | **青森銀行本店　8階　大会議室**<br>（青森市橋本1丁目9－30） | 43名 | 終了 | 8月21日(水) |
| 第9回 | 11月1日(金) | 青森市 | **青森市沖館市民センター**<br>（青森市沖館一丁目1番11号） | 24名 | 終了 | 8月28日(水) |
| 第10回 | 11月26日(火) | 南部町 | **南部町総合保健福祉センターゆとりあ**運動指導室・会議室・保健指導室を一体として使用<br>（三戸郡南部町福田舘先25-1） | 70名 | 終了 | 9月11日(水) |

## ○フォローアップ研修

| 回次 | 開催日 | 対象 | 開催場所 | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 2月5日(水) | 青森市 | | | | |
| 第2回 | | | | | | |
| 第3回 | | | | | | |
| 第4回 | | | | | | |

## ○人材育成サポート

| 回次 | 開催日 | 対象 | 開催場所 | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 11月2日(土) | 青森市 | **青森市沖館市民センター**<br>（青森市沖館一丁目1番11号） | 26名 | 終了 | |

## ○更新研修

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 2月21日(金) | 八戸市 | **八戸市福祉公民館　大会議室**<br>（八戸市類家4丁目3-1） | | | － |
| 第2回 | 2月26日(水) | 弘前市 | **健康未来イノベーションセンター　1階**<br>（弘前市在府町5） | | | － |
| 第3回 | 2月28日(金) | 青森市 | **アピオあおもり**<br>（青森市中央3丁目17－1） | | | － |

## ○親子体操

| 回次 | 開催日 | 開催場所 | 人数 | 状況 | 事前打合せ日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 11/30(土)・12/1(日) | **アピオあおもり**<br>（青森市中央3丁目17－1） | 34名 | 終了 | |

# 令和2年度　健やか力推進センター　活動スケジュール

令和3年3月15日現在

## 健康づくり担当者養成研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | ~~7月3日（金）~~ | ~~青森市~~ | ~~40名~~ | ~~アピオあおもり~~<br>~~（青森市中央3丁目17-1）~~ | 中止or延期 |
| 第2回 | ~~7月29日（水）~~ | ~~三沢市~~ | ~~40名~~ | ~~三沢市公会堂/三沢市立中央公民館 3階 8・9・10集会室~~<br>~~（三沢市桜町一丁目6番35号）~~ | 中止or延期 |
| 第3回 | 8月27日（木） | 八戸市 | 39名 | 八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 終了 |
| 第4回 | 9月25日（金） | 弘前市 | 30名 | 弘前市民文化交流館（ヒロロ）<br>（弘前市駅前町9-20） | 終了 |
| 第5回 | 11月 6日（金） | 南部町 | 35名 | 南部町総合保健福祉センター　ゆとりあ<br>（三戸郡南部町福田舘先25-1） | 終了 |
| 第6回 | 11月20日（金） | 青森市 | 33名 | リンクステーションホール青森　大会議室<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 終了 |
| 第7回 | 1月27日（水） | 青森市 | 27名 | リンクステーションホール青森　大会議室<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 終了 |
| 第8回 | 3月12日（金） | 弘前市 | 12名 | 弘前市民文化交流館（ヒロロ）<br>（弘前市駅前町9-20） | 終了 |

## 健やか協力隊員養成研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | ~~4月28日（火）~~ | ~~南部地方~~ | ~~30名~~ | ~~八戸市水産会館~~<br>~~（八戸市白銀町字三島下95）~~ | 中止 |
| 第2回 | ~~5月15日（金）~~ | ~~弘前地区~~ | ~~30名~~ | ~~弘前大学創立50周年記念会館~~<br>~~（弘前市文京1番地）~~ | 中止 |
| 第3回 | ~~5月19日（火）~~ | ~~青森地区~~ | ~~30名~~ | ~~アピオあおもり~~<br>~~（青森市中央3丁目17-1）~~ | 中止 |

## リーダー育成研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ~~4月2日(木)~~ | ~~南部屋旅館~~ | ~~40名~~ | ~~海扇閣~~<br>~~(青森市浅虫蛍谷31)~~ | 中止 |
| 第1回 | 8月　5日(水) | むつ市 | 62名 | リモート開催予定<br>(配信場所:むつ市ホームページよりユーチューブにて) | 終了 |
| 第2回 | 9月　3日(木) | 青森県生活協同組合連合会(浪岡) | 25名 | 浪岡中央公民館　会議室(1)(2)(3)　大ホール<br>(青森市浪岡大字浪岡字稲村101番地1) | 終了 |
| 第3回 | 10月14日(水) | JA共済連　青森 | 42名 | ホテル青森<br>(青森市堤町1丁目1-23) | 終了 |
| 第4回 | 10月16日(金) | 青森県生活協同組合連合会(八戸) | 27名 | 八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室<br>(八戸市類家4丁目3-1) | 終了 |
| 第5回 | 10月23日(金) | 青森市 | 23名 | 青森市役所 柳川庁舎　大会議室<br>(青森市柳川二丁目1-1) | 終了 |
| 第6回 | ~~2月10日(水)~~ | ~~みちのく銀行~~ | ~~20名~~ | ~~みちのく銀行研修会館~~<br>~~(青森市合浦2丁目5-5)~~ | 中止 |
| 第7回 | 2月25日(木) | 青森県生活協同組合連合会(弘前) | 14名 | 弘前市民文化交流館(ヒロロ)<br>(弘前市駅前町9-20) | 終了 |

## ステップアップ研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 12月15日(火) | 生協健やか隊員　青森地区 | 11名 | コープあおもり　集会室 | 終了 |
| 第2回 | 1月20日(水) | 生協健やか隊員　八戸地区 | 9名 | コープあおもりるいけ店　2階集会室<br>(青森県八戸市南類家3丁目1-1) | 終了 |
| 第3回 | 2月25日(木) | 生協健やか隊員　弘前地区 | 20名 | 弘前市民文化交流館(ヒロロ)<br>(弘前市駅前町9-20) | 終了 |

## 人材育成サポート

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 10月24日(土) | 青森市 | 15名 | 青森市役所 柳川庁舎　大会議室<br>(青森市柳川二丁目1-1) | 終了 |

## 更新研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 2月16日（火） | 弘前 | 54名 | 弘前市民文化交流館（ヒロロ）<br>（弘前市駅前町9-20） | 終了 |
| 第2回 | 2月19日（金） | 八戸 | 73名 | 八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 終了 |
| 第3回 | 2月26日（金） | 青森 | 49名 | 青森県立図書館　集会室　研修室<br>（青森市荒川字藤戸119-7） | 終了 |

## 親子体操普及員養成講座

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 11月14日（土）<br>11月15日（日） | 県内在住で親子体操の普及に意欲のある保育者など | 19名 | 青森中央学院大学　7号館　フリースペース<br>3号館（体育館）<br>（青森市大字横内字神田12番1） | 終了 |

## 測定サポート

| | 日程 | 行事名 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | ~~4月26日（日）~~ | ~~『将来の健康は幼児期から！』~~<br>~~健やか親子体操~~ | ~~30名~~ | ~~平内町立体育館~~<br>~~（平内町大字小湊字下槻3-2）~~<br>~~申請団体　トータルビジョントレーニング協会~~ | 中止 |

## トップセミナー

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | ~~延期~~ | ~~県内企業・施設経営者~~ | ~~50名~~ | ~~リンクステーションホール青森　大会議室~~<br>~~（青森市堤町1丁目4番1号）~~ | 中止 |

# 令和３年度　健やか力推進センター　活動スケジュール

令和4年3月25日現在

## 健康づくり担当者養成研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 7月2日（金） | 青森市 | 34名 | リンクステーションホール青森　大会議室<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 終了 |
| 第2回 | 7月28日（水） | 三沢市 | 30名 | 三沢市公会堂　第8・9・10集会室<br>（三沢市桜町一丁目6番35号） | 終了 |
| 第5回 | 11月12日（金） | 青森県内事業所職員 | 32名 | オンライン | 終了 |
| 第6回 | 11月26日（金） | 青森県内事業所職員 | 24名 | オンライン | 終了 |
| 第7回 | 1月12日（水） | 青森県内事業所職員 | 14名 | オンライン | 終了 |
| 第8回 | 2月16日（水） | 青森県内事業所職員 | 20名 | オンライン | 終了 |

## 健やか協力隊員養成研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 6月18日（金） | 弘前地区 | 32名 | 弘前市民文化交流館（ヒロロ）　4階ホール<br>（弘前市駅前町9-20） | 終了 |
| 第2回 | 6月30日（水） | 八戸地区 | 53名 | 八戸市福祉公民館　大会議室　手話教室<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 終了 |
| 第3回 | 7月15日（木） | 青森地区 | 24名 | リンクステーションホール青森　大会議室<br>（青森市堤町1丁目4番1号） | 終了 |

## リーダー育成研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第2回 | 7月13日（火） | JA共済連　青森 | 39名 | 青森農協会館<br>（青森市東大野2丁目1-15） | 終了 |
| 第3回 | 12月18日（土） | 青森県生活協同組合連合会（弘前） | 22名 | 健康未来イノベーションセンター　1階<br>（弘前市在府町5） | 終了 |
| 第4回 | 1月14日（金） | 青森県生活協同組合連合会（八戸） | 15名 | 八戸市福祉公民館　大会議室<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 終了 |

## ステップアップ研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 12月18日（土） | 青森県生活協同組合連合会（弘前） | 10名 | 健康未来イノベーションセンター　1階<br>（弘前市在府町5） | 終了 |
| 第2回 | 1月14日（金） | 青森県生活協同組合連合会（八戸） | 6名 | 八戸市福祉公民館　大会議室<br>（八戸市類家4丁目3-1） | 終了 |

## 健康経営ステップアップサポート

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 2月2日（水） | 個別支援事業所（太洋電設株式会社） | 23名 | オンライン | 終了 |
| 第2回 | 2月10日（木） | 個別支援事業所（株式会社阿部重組） | 9名 | オンライン | 終了 |
| 第3回 | 3月16日（水） | 個別支援事業所（株式会社藤久らばんでりあ） | 1名 | オンライン | 終了 |
| 第4回 | 3月17日（木） | 個別支援事業所（津軽警備保障株式会社） | 16名 | オンライン | 終了 |

## 更新研修

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 12月8日（水） | 青森県内事業所職員 | 40名 | オンライン | 終了 |
| 第2回 | 1月19日（水） | 青森県内事業所職員 | 33名 | オンライン | 終了 |
| 第3回 | 2月25日（金） | 青森県内事業所職員 | 23名 | オンライン | 終了 |

## 親子体操普及員養成講座

| | 日程 | 対象 | 人数 | 会場 | 状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 10月23日（土）<br>10月24日（日） | 県内在住で親子体操の普及に意欲のある保育者など | 24名<br>（12名）<br>（）は<br>オンライン | 青森公立大学<br>（青森市大字合子沢字山崎153－4） | 終了 |
| | ~~3月12日（土）~~<br>~~3月13日（日）~~ | ~~県内在住で親子体操の普及に意欲のある保育者など~~ | | ~~むつマエダアリーナ　メインアリーナ~~<br>~~（むつ市真砂町9－1）~~ | 中止 |
| 第2回 | 3月12日（土）<br>3月13日（日） | むつ会場申込者ならびに全国のオンライン受講希望者 | 32名 | オンライン | 終了 |

# ■青森県健康経営事業所の認定状況の詳細

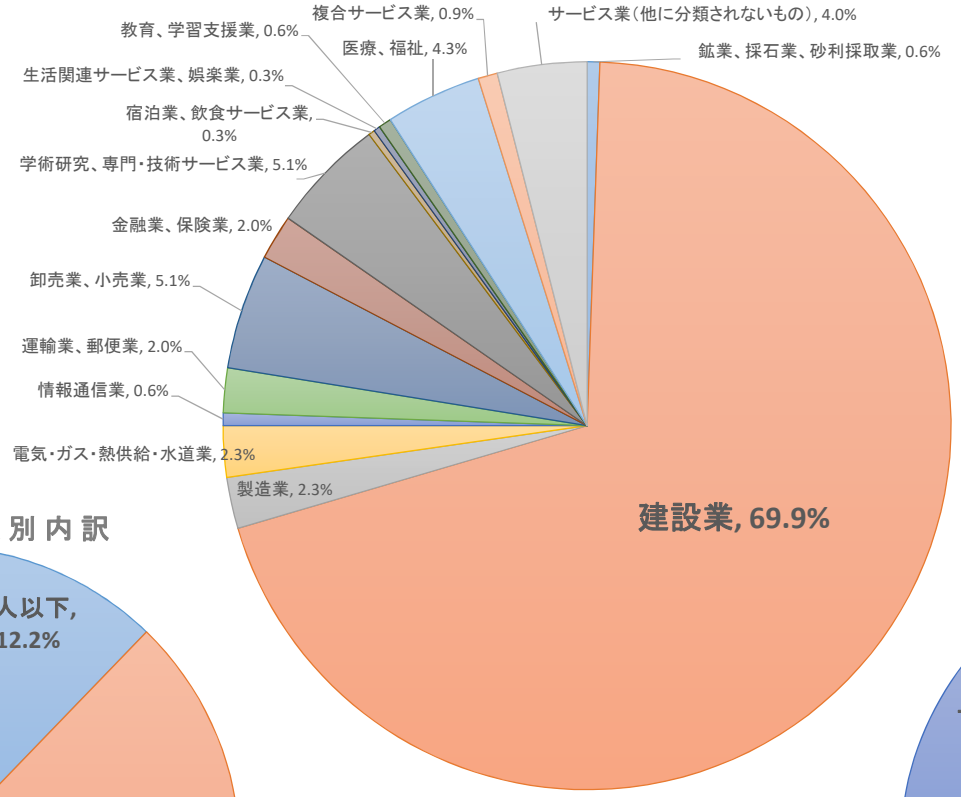
| 業種 | 事業所数 |
|---|---|
| 農業・林業 | |
| 漁業 | |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 2 |
| 建設業 | 246 |
| 製造業 | 8 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 8 |
| 情報通信業 | 2 |
| 運輸業、郵便業 | 7 |
| 卸売業、小売業 | 18 |
| 金融業、保険業 | 7 |
| 不動産業、物品賃貸業 | |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 18 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 1 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 1 |
| 教育、学習支援業 | 2 |
| 医療、福祉 | 15 |
| 複合サービス業 | 3 |
| サービス業（他に分類されないもの） | 14 |
| 計 | 352 |

※事業所数が0の場合は、空欄にしています。

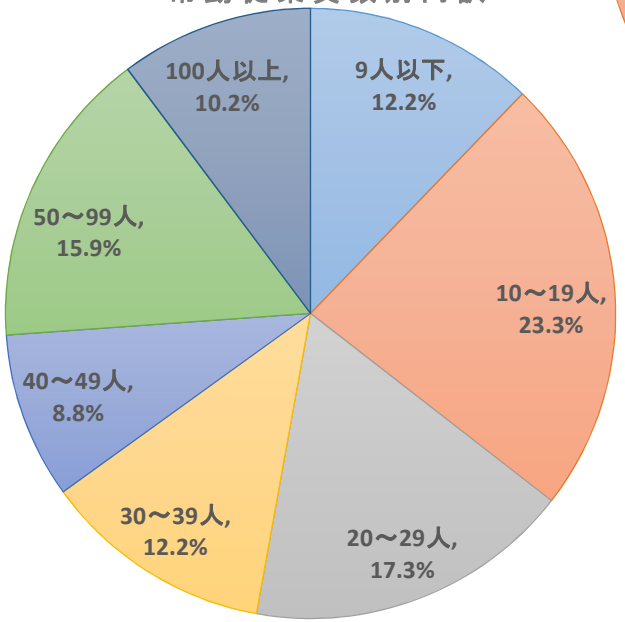
| 常勤従業員数 | 事業所数 |
|---|---|
| 9人以下 | 43 |
| 10～19人 | 82 |
| 20～29人 | 61 |
| 30～39人 | 43 |
| 40～49人 | 31 |
| 50～99人 | 56 |
| 100人以上 | 36 |
| 計 | 352 |

| | 事業所数 |
|---|---|
| 青森圏域 | 89 |
| 津軽圏域 | 59 |
| 八戸圏域 | 93 |
| 西北五圏域 | 32 |
| 上十三圏域 | 64 |
| 下北圏域 | 15 |
| 計 | 352 |

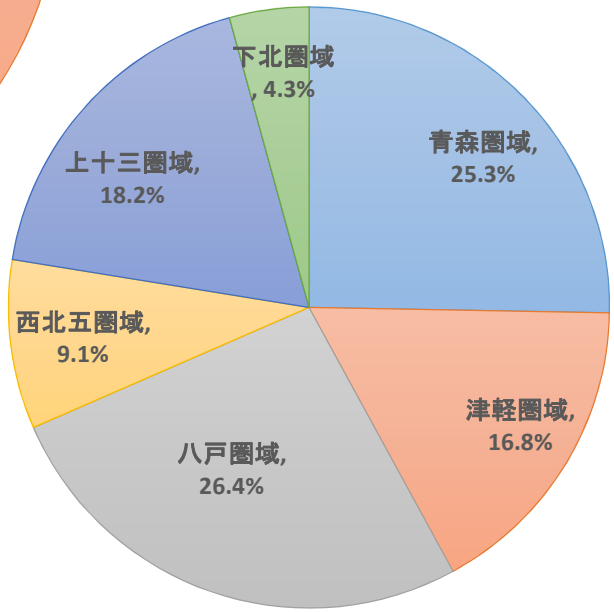
## 業種別内訳




## 常勤従業員数別内訳




## 圏域別内訳



## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第1-2号 | 21/6/6 | 株式会社脇川建設工業所 | 038-2504 | 深浦町 | 大字北金ヶ沢字塩見形2-10 | 53人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・健康をテーマとした「お父さん元気化教室」を開催。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（従業員の心の健康問題に係る実態を把握、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等）。<br>・禁煙外来の自己負担額の半額を助成（禁煙に成功した者に限る）。 |
| 第2-2号 | 21/6/6 | 株式会社ヒグチ | 030-0131 | 青森市 | 問屋町一丁目15-22 | 21人 | 卸売業、小売業 | ・勤務時間を柔軟に取り扱う「みんなで思いやり・配慮ルール」を規定。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第3-2号 | 21/6/6 | 協同組合青森総合卸センター | 030-0131 | 青森市 | 問屋町二丁目17-3 | 13人 | 複合サービス業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・体力維持や健康増進を目的としたイベント「問屋町100日ウォーキング」を開催。<br>・体組成の測定の実施（毎月1回以上 ）。<br>・問屋町健やかLetterの発行。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第4-2号 | 21/7/19 | 株式会社佐々木建設工業 | 030-0811 | 青森市 | 青柳一丁目16-93 | 49人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・事業所敷地内の自動販売機にビタミン飲料、青汁等の飲料を導入。<br>・健診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。 |
| 第5-2号 | 21/7/27 | 大管工業株式会社 | 030-0933 | 青森市 | 大字諏訪沢字岩田50-4 | 76人 | 建設業 | ・マエダアリーナのトレーニングルーム及び室内プール等の利用費用を事業所が負担。（利用状況は事業所が管理。）<br>・メンタルヘルス対策の実施（事業場における心の健康問題に係る事態を把握、安全大会でメンタルヘルスをテーマとした講話の開催、長時間労働者に対する面接指導の実施、ストレスチェックの実施）。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。 |
| 第6-2号 | 21/8/4 | 東弘電機株式会社 | 036-8061 | 弘前市 | 大字神田2丁目7-5 | 18人 | 建設業 | ・通院等のための時間休の取得が可能。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が定期的（月1回）に確認。 |
| 第7-2号 | 21/9/12 | 黒石貨物自動車株式会社 | 036-0378 | 黒石市 | 大字浜町50番地 | 32人 | 運輸業、郵便業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・座ったままできるストレッチに関する資料を全ての車両に携行させ、従業員にストレッチを働きかけ。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第8-2号 | 21/9/12 | 株式会社西田組 | 030-0111 | 青森市 | 大字荒川字柴田102番地1 | 129人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・メンタルヘルス対策を実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進者等の任命、長時間労働者等に対する面接手順の明確化、ストレスチェックを実施）。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第9-2号 | 21/9/12 | 張山電気株式会社 | 036-8032 | 弘前市 | 大字徳田町30番地1 | 28人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第10-2号 | 21/9/12 | 株式会社野呂建設 | 038-3288 | つがる市 | 木造館岡稲葉140番地2 | 13人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進担当者の設置、職場復帰支援プログラムの策定等）。<br>・常勤従業員について歯科健診を実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第11-2号 | 21/9/12 | 株式会社西谷建設 | 036-0212 | 平川市 | 尾上栄松95 | 26人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の精密検査と特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第12-2号 | 21/9/12 | 株式会社日善電気 | 036-8326 | 弘前市 | 大字藤野一丁目7-6 | 19人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第13-2号 | 21/9/12 | 株式会社マル長 | 036-8111 | 弘前市 | 大字門外三丁目8-1 | 11人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第14-2号 | 21/9/12 | 特定非営利活動法人障害者地域生活支援センターびあ | 033-0036 | 三沢市 | 南町四丁目31-3736 | 24人 | 医療、福祉 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が定期的に確認。 |
| 第15-2号 | 21/9/12 | 相互建設工業株式会社 | 038-0031 | 青森市 | 大字三内字丸山64番地3 | 17人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査と特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・常勤従業員について歯科健診を実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第16-2号 | 21/9/12 | 株式会社弘新建設 | 036-8061 | 弘前市 | 大字神田一丁目4-1 | 39人 | 建設業 | ・時差出勤制度を実施し就業時間を調整。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第17-2号 | 21/9/12 | 山大機電株式会社 | 030-0111 | 青森市 | 大字荒川字藤戸133-3 | 21人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健康意識改善を促す情報発信を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第18-2号 | 21/9/12 | 株式会社小山田建設 | 036-8045 | 弘前市 | 大字野田二丁目4-1 | 10人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は「健康管理表」により自らのデータを管理。 |
| 第19-2号 | 21/10/27 | 株式会社藤本建設 | 038-0042 | 青森市 | 大字新城字平岡151-348 | 71人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（衛生委員会でメンタルヘルス対策の審議、事業所における心の健康問題に係る実態を把握、長時間労働者等に対する面接指導等実施までの手順を明確化、ストレスチェックを実施）。 |
| 第20-2号 | 21/10/27 | 倉橋建設株式会社 | 030-0821 | 青森市 | 勝田二丁目2-17 | 34人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・従業員全員で朝のラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第21-2号 | 21/10/27 | 田中建設工業株式会社 | 034-0002 | 十和田市 | 元町西二丁目12-1 | 39人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第22-2号 | 21/10/27 | 株式会社黄金工務店 | 030-0911 | 青森市 | 造道二丁目10-17 | 13人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診の精密検査、特定保健指導の受診時間を特別休暇として認定。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は「健康管理表」により自らのデータを管理。 |
| 第23-2号 | 21/10/27 | 株式会社鹿内組 | 030-0122 | 青森市 | 大字野尻字今田97-1 | 150人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健(検)診の再検査、精密検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第24-2号 | 21/10/27 | 鎌田設備工業株式会社 | 036-8326 | 弘前市 | 大字藤野一丁目6-2 | 14人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第25-2号 | 21/11/22 | 株式会社大東電気商会 | 036-8184 | 弘前市 | 松森町127 | 17人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健(検)診及び健診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第26-2号 | 21/11/22 | 有限会社秦 | 030-0921 | 青森市 | 原別八丁目8-28 | 7人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第27-2号 | 21/11/22 | 株式会社永澤興業 | 036-8075 | 弘前市 | 大字撫牛子二丁目3-4 | 32人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が助成。<br>・健(検)診の精密検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第28-2号 | 21/11/22 | 株式会社寺栄建設 | 037-0004 | 五所川原市 | 大字唐笠柳字藤巻251-2 | 25人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第29-2号 | 21/11/22 | 東邦開発土木株式会社 | 031-0003 | 八戸市 | 吹上六丁目1-1 | 29人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・二次健診の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第30-2号 | 21/11/22 | 太洋電設株式会社 | 033-0022 | 三沢市 | 三沢字中平50-1 | 21人 | 建設業 | ・事業所にランニングマシーンを設置。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙セミナーを開催。<br>・非喫煙者に対し禁煙手当を一律支給。 |
| 第31-2号 | 21/11/22 | 田中建設株式会社 | 034-0012 | 十和田市 | 東一番町2-50 | 126人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第33-2号 | 21/11/22 | 地代所建設株式会社 | 031-0072 | 八戸市 | 城下一丁目17-20 | 22人 | 建設業 | ・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第34-2号 | 21/11/22 | 南部建設株式会社 | 034-0041 | 十和田市 | 大字相坂字小林51-1 | 58人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・インフルエンザの予防接種費用を補助（3,000円）。<br>・メンタルヘルス対策の実施（メンタルヘルス推進者等の任命、長時間労働者等に対する面接手順の明確化、ストレスチェックの実施等）。 |
| 第35-2号 | 21/11/22 | 株式会社石上建設 | 031-0001 | 八戸市 | 類家四丁目2-26 | 64人 | 建設業 | ・がん検診の受診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙セミナーを開催。<br>・禁煙外来を最後まで受診した場合、受診費用として10,000円を支給するとともに、禁煙を一定期間達成した場合に金銭支給し禁煙を支援。 |
| 第36-2号 | 21/11/22 | 株式会社盛興業社 | 030-0841 | 青森市 | 奥野一丁目1-13 | 15人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は「健康カード」により自らのデータを管理。 |
| 第37-2号 | 21/11/22 | 株式会社相馬土木 | 036-8095 | 弘前市 | 城東一丁目3-1 | 9人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の精密検査の受診時間を勤務時間扱い又は特別休暇認定。 |
| 第38-2号 | 21/11/22 | 株式会社鳥山土木工業 | 039-3215 | 六ヶ所村 | 六ヶ所村倉内字笹崎232-14 | 58人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第39-2号 | 21/12/21 | 株式会社山田組 | 039-0141 | 三戸町 | 大字川守田字寺ノ沢21−3 | 34人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。事業所が「血圧・体重測定記録表」により記録を管理。 |
| 第40-2号 | 21/12/21 | 株式会社丸勝小野商事 | 038-1111 | 田舎館村 | 大字高樋川原田35 | 53人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用と健診とセットになっていない胃がん検診の受診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第41-2号 | 21/12/21 | 株式会社丸美佐藤組 | 030-0918 | 青森市 | けやき一丁目2-8 | 28人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は、血圧、体重を各自で記録。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第42-2号 | 21/12/21 | 株式会社中達組 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字本金崎225-2 | 30人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は、血圧、脈拍、服薬状況、体重を各自で記録。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第43-2号 | 21/12/21 | 株式会社松橋建材 | 038-3301 | つがる市 | 富萢町清水17-43 | 26人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健診再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額助成制度を整備。<br>・禁煙セミナーを社内で実施。 |
| 第44-2号 | 21/12/21 | 株式会社京谷電気 | 039-1114 | 八戸市 | 北白山台二丁目8-23 | 58人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導・健診再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第45-2号 | 21/12/21 | ハイコンポーネンツ青森株式会社 | 038-3515 | 鶴田町 | 大字山道字小泉275 | 459人 | 製造業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・食事バランスシステムを社員食堂HPに掲載。<br>・社内でウォーキングの実施。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（こころの不安等の相談担当者の設定、、長時間労働者等に対する面接手順の明確化、ストレスチェックの実施等）。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第46-2号 | 21/12/21 | 会津建設株式会社 | 037-0104 | つがる市 | 稲垣町豊川宮藤21-9 | 20人 | 建設業 | ・「食改善」をテーマに社内研修を実施。<br>・がん検診の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第47-2号 | 21/12/21 | 上北建設株式会社 | 034-0037 | 十和田市 | 穂並町2-62 | 81人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（従業員の心の健康問題に係る実態を把握、職場復帰支援プログラムの策定等）。 |
| 第48-2号 | 21/12/21 | 株式会社福萬組 | 034-0023 | 十和田市 | 東十三番町15-27 | 66人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診後の再検査、保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（メンタルヘルス推進担当者の任命、高ストレス該当者に対する面接手順の明確化等）。 |
| 第49-2号 | 21/12/21 | アサヒ建設株式会社 | 036-8114 | 弘前市 | 大字川合字浅田26-1 | 30人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査を特別休暇扱い。<br>・禁煙をテーマとした社内研修会を実施。<br>・社内喫煙状況調査を実施し、希望者に禁煙ガムを提供。 |
| 第50-2号 | 21/12/21 | 寺下建設株式会社 | 039-1103 | 八戸市 | 大字長苗代字上中坪36-1 | 67人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第51-2号 | 21/12/21 | 八戸マナクリニック | 031-0031 | 八戸市 | 番町9-5　協栄八戸番町ビル2階 | 4人 | 医療、福祉 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第52-2号 | 21/12/21 | 株式会社小笠原組 | 038-3803 | 藤崎町 | 大字西豊田三丁目3-15 | 7人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は、血圧、体重を各自で記録。 |
| 第53-2号 | 21/12/21 | 株式会社丸重組 | 038-2753 | 鰺ヶ沢町 | 大字本町106 | 61人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・平均歩数を測定し上位の従業員を表彰。<br>・健診後の再検査の受診時間を特別休暇扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（従業員の心の健康問題に係る実態を把握、メンタルヘルス相談窓口の開設及び周知、ストレスチェックの実施等）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は、血圧、体重、歩数を各自で記録し、事業所が管理。 |
| 第54-2号 | 21/12/21 | 株式会社福島組 | 038-3276 | つがる市 | 木造林阿曽沼46 | 23人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・健康診断時の肝炎ウイルス検査実施。 |
| 第55-2号 | 21/12/21 | 有限会社中村建設 | 033-0052 | 三沢市 | 本町一丁目55-5 | 54人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健康をテーマとした研修を開催。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画と職場復帰支援プログラムの策定、長時間労働者に対する面接手順の明確化等）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は、血圧、体重を各自で記録。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第56-2号 | 21/12/21 | 弘前舗装株式会社 | 036-8124 | 弘前市 | 大字石川字中川原2-1 | 14人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は、血圧、体重を各自で記録。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第57-2号 | 22/1/24 | 株式会社升澤組 | 039-3172 | 野辺地町 | 字鳥井平30-1 | 62人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健診後の再検査や特定保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第58-2号 | 22/1/24 | 株式会社阿部重組 | 030-0802 | 青森市 | 本町一丁目7-5 | 36人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診後の再検査や特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第59-2号 | 22/1/24 | 株式会社柴田組 | 035-0083 | むつ市 | 大平町37-9 | 35人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第60-2号 | 22/1/24 | エイコウコンサルタンツ株式会社 | 039-1103 | 八戸市 | 長苗代字下亀子谷地11-2 | 52人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・健康管理の取組について成果に応じて健康賞を授与。<br>・インフルエンザの予防接種費用を事業所が助成。<br>・二次健診の受診及び保健指導を勤務時間内に実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第61-2号 | 22/1/24 | 彦建設株式会社 | 039-2636 | 東北町 | 字往来ノ上79 | 48人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が定期的に確認。 |
| 第62-2号 | 22/1/24 | 株式会社桑田産業 | 037-0104 | つがる市 | 豊川藤見山48 | 20人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が定期的（月1回）に確認。 |
| 第63-2号 | 22/1/24 | 株式会社江良組 | 038-3272 | つがる市 | 木造兼館立田101 | 31人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・再検査等の受診時間を就業時間扱い。 |
| 第64-2号 | 22/1/24 | 小坂建設工業株式会社 | 039-1801 | 新郷村 | 大字戸来字高畑下44-3 | 13人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診後の再検査、特定保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第65-2号 | 22/1/24 | 山内土木株式会社 | 035-0084 | むつ市 | 大湊新町37-12 | 113人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健康に関する情報をまとめた資料を毎月作成し配布。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第66-2号 | 22/1/24 | 丸喜株式会社齋藤組 | 030-0822 | 青森市 | 中央二丁目2-12 | 41人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援について、主治医とのやり取りに関して様式を整備。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・インフルエンザの予防接種費用を事業所が全額負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第67-2号 | 22/1/24 | 株式会社伊藤鉱業 | 038-3151 | つがる市 | 木造若竹13 | 74人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・がん検診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第68-2号 | 22/1/24 | クリエイトテクノ株式会社 | 036-8385 | 弘前市 | 大字中別所字向野188-2 | 13人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・始業前にラジオ体操を実施。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・再検査等の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第69-2号 | 22/1/24 | 株式会社舛沢興業 | 034-0083 | 十和田市 | 西三番町21-10 | 15人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・インフルエンザの予防接種費用を事業所が全額負担。<br>・再検査等の受診時間を特別休暇扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第70-2号 | 22/1/24 | 株式会社小坂工務店 | 033-0036 | 三沢市 | 南町四丁目31-3469 | 50人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・社員参加の健康維持活動「あるいて歩いて!小坂工務店全国行脚の旅」の実施。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第71-2号 | 22/1/24 | 附田建設株式会社 | 039-3212 | 六ヶ所村 | 大字尾駮字二又23-2 | 80人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の事後措置や保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心身のストレス反応についての実態把握、心の健康づくり計画の策定等）。 |
| 第72-2号 | 22/1/24 | 株式会社セーフティロード | 036-8075 | 弘前市 | 大字撫牛子二丁目1-16 | 17人 | 建設業 | ・インフルエンザの予防接種費用を事業所が助成（1,000円）。<br>・健診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第73-2号 | 22/1/24 | 株式会社東青設備工業 | 039-3321 | 平内町 | 大字小湊字下槻15-8 | 8人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果は事業所が定期的に確認。 |
| 第74-2号 | 22/1/24 | 三浦建設工業株式会社 | 031-0841 | 八戸市 | 大字鮫町字高森30-8 | 92人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診後の特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（メンタルヘルス推進担当者の配置、ストレスチェックの実施等）。 |
| 第75-2号 | 22/2/13 | 株式会社中幸建設 | 036-0357 | 黒石市 | 追子野木二丁目233 | 28人 | 建設業 | ・インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第76-2号 | 22/2/13 | 株式会社村下建設工業 | 039-1801 | 新郷村 | 大字戸来字金ヶ沢尻15-1 | 35人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第77-2号 | 22/2/13 | 大畑振興建設株式会社 | 039-4401 | むつ市 | 大畑町本町252-1 | 33人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第78-2号 | 22/2/13 | 株式会社桜井工務店 | 030-0844 | 青森市 | 桂木三丁目23-5 | 29人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健（検）診後の再検査等の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙セミナーを開催。<br>・禁煙外来の受診時間を特別休暇認定。 |
| 第79-2号 | 22/2/13 | 株式会社澤田建設 | 038-0053 | 青森市 | 大字前田字中野27-5 | 23人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が管理し、2ヶ月に一度結果を従業員に報告。 |
| 第80-2号 | 22/2/13 | 株式会社弘前水道 | 036-8261 | 弘前市 | 大字茂森新町一丁目8-6 | 13人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・禁煙講習会を社内で開催したほか、禁煙補助剤の購入費用を事業所が負担。 |
| 第81-2号 | 22/2/13 | 株式会社田名部組 | 039-1165 | 八戸市 | 石堂二丁目11-21 | 143人 | 建設業 | ・スポーツジムと法人契約。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・二次健診、特定保健指導の受診時間について勤務時間扱い又は特別休暇扱い。 |
| 第82-2号 | 22/2/13 | 株式会社大坂組 | 030-0933 | 青森市 | 大字諏訪沢字岩田51-1 | 99人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・マエダアリーナのトレーニングルーム及び室内プール等の利用料金を事業所が負担。（利用状況は事業所が管理。）<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、長時間労働者に対する面接手順の明確化、ストレスをテーマとした社内研修会の実施等）。 |
| 第83-2号 | 22/2/13 | 株式会社佐藤建業 | 039-3505 | 青森市 | 大字宮田字玉水565 | 33人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第84-2号 | 22/2/13 | 猪股建設株式会社 | 036-8095 | 弘前市 | 大字城東二丁目3-1 | 20人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間又は特別休暇扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第85-2号 | 22/2/13 | 隆伸工業株式会社 | 037-0301 | 中泊町 | 大字今泉字唐崎20-35 | 29人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第86-2号 | 22/2/13 | 志田内海株式会社 | 030-0962 | 青森市 | 佃二丁目19-7 | 67人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・メンタルヘルス対策の実施（ストレスチェックの実施、長時間労働者に対する面接手順の明確化等）。 |
| 第87-2号 | 22/2/13 | 株式会社和島組 | 037-0002 | 五所川原市 | 大字飯詰字清野40-2 | 48人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第88-2号 | 22/2/13 | 勝電気工業株式会社 | 039-2664 | 東北町 | 字乙供63-236 | 9人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用の全額、一日ドック費用の半額を事業所が負担。<br>・インフルエンザの予防接種費用を全額補助。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が定期的（月1回）に確認。 |
| 第89-2号 | 22/2/13 | 東復建設株式会社 | 031-0073 | 八戸市 | 大字売市字右水門下2-1 | 40人 | 建設業 | ・健診費用及びインフルエンザの予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第90-2号 | 22/2/13 | 株式会社みちのく計画 | 030-0947 | 青森市 | 浜館一丁目14-3 | 64人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・朝のラジオ体操を実施。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（メンタルヘルス推進担当者の配置、ストレスチェックの実施等）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第91-2号 | 22/2/13 | 北斗建設株式会社 | 038-0003 | 青森市 | 大字石江字岡部76-1 | 25人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間又は特別休暇扱い。 |
| 第92-2号 | 22/3/27 | 社会福祉法人つくし会 | 038-2701 | 鰺ヶ沢町 | 大字北浮田町字今須87-1 | 104人 | 医療、福祉 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所内にフィットネスルーム「やすらぎフィットネス」を開設。<br>・健診後の再検査の受診時間を特別休暇（健康休暇）認定。 |
| 第93-2号 | 22/3/27 | 津軽保健生活協同組合健生五所川原診療所 | 037-0016 | 五所川原市 | 字一ツ谷508-7 | 9人 | 医療、福祉 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。 |
| 第94-2号 | 22/3/27 | 公益財団法人シルバーリハビリテーション協会 | 039-1161 | 八戸市 | 大字河原木字八太郎山10-444 | 726人 | 医療、福祉 | ・従業員を対象に「みんなの健康チャレンジ「ウォーキングチャレンジ」」を実施。<br>・事業所内で「初心者向けヨガ教室」を開催。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第96-2号 | 22/4/20 | 東北化学薬品株式会社 | 036-8061 | 弘前市 | 大字神田一丁目3-1 | 228人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第97-2号 | 22/4/20 | 青森三菱電機機器販売株式会社 | 030-0822 | 青森市 | 中央一丁目23-4 | 105人 | 卸売業、小売業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第98-2号 | 22/4/20 | 株式会社となみ | 035-0021 | むつ市 | 大字田名部字品ノ木34-68 | 11人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・がん検診受診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第99-1号 | 20/5/25 | 株式会社ミワ電工 | 037-0017 | 五所川原市 | 大字漆川字袖掛153-14 | 37人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・事業所内に運動器具（ランニングマシン、ぶらさがり健康器等）を設置。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第100-1号 | 20/5/25 | 青森三菱自動車販売株式会社 | 038-0003 | 青森市 | 石江四丁目1-2 | 128人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健診後の精密検査の受診を勧奨し、受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第101-1号 | 20/5/25 | 青森スズキ自動車販売株式会社 | 038-0003 | 青森市 | 石江四丁目1-2 | 33人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健診後の精密検査の受診を勧奨し、受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第102-1号 | 20/5/25 | 株式会社堀江組 | 036-8273 | 弘前市 | 大字西茂森二丁目18-5 | 22人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・「健康増進のミニ情報」を社内で配布。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健康診断及びがん検診後の再検査の受診を勧奨し、受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第103-1号 | 20/5/25 | 六ヶ所原燃警備株式会社 | 039-3212 | 六ヶ所村 | 大字尾鮫字野附1-15 | 195人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・社員対象の「健康改善に関する講習会」、「社員の食生活改善セミナー」を開催。<br>・健診費用、人間ドック受診費用、インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・フィットネスクラブ、スポーツスクールの入会費、利用料等を事業所が負担。<br>・健康管理、増進を目的とする機器等（血圧計、体重計等）の購入費用を事業所が負担。<br>・スポーツ大会、マラソン大会の参加料を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施(心の健康づくり推進計画の策定、メンタルヘルス・ハラスメント等の相談窓口の設置、メンタルヘルス研修の実施等)。<br>・禁煙治療費、禁煙グッズ（ニコチンガム、ニコチンパッチ）の購入費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第104-1号 | 20/5/25 | 株式会社みちのく銀行 | 030-8622 | 青森市 | 勝田一丁目3-1 | 1,925人 | 金融業、保険業 | ・本部を含む全店に「ヘルサポ・リーダー」を配置し、健康経営実践のための「ヘルス・サポート体制」を構築。<br>・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・各部店のヘルサポ・リーダーを対象に「出張講座」を開催。<br>・乳がん検診、子宮頸がん検診の受診費用を補助。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施(メンタルヘルス研修の実施、職場復帰プログラムに関する手続き規程を策定、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等)。 |
| 第105-1号 | 20/5/25 | 津軽警備保障株式会社 | 036-8061 | 弘前市 | 大字神田三丁目3-17 | 97人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・長期治療が必要な場合、就業時間の短縮や時差出勤等の就業時間の調整を実施。<br>・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施(メンタルヘルス担当者の設置、長時間労働者等に対する面接手順の明確化、ストレスチェックの実施等)。 |
| 第106-1号 | 20/7/13 | 青森ニチレキ株式会社 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字野崎40-75 | 54人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・がん検診受診費用を事業所が負担。<br>・「かしこく食べて体にうれしい食生活」をテーマに事業所にて十和田市事業を活用した「働き盛り世代のヘルスアップ出前講座」を実施(講師：十和田市保健師)。<br>・健康診断及びがん検診後の再検査の受診を勧奨し、受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第107-1号 | 20/7/13 | 株式会社田中組 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字金崎230-1 | 74人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、特別保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第108-1号 | 20/8/17 | 株式会社シンク | 030-0822 | 青森市 | 青森市中央一丁目23-4 | 21人 | 卸売業、小売業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第109-1号 | 20/8/17 | 弘鉄電気工事株式会社 | 036-8093 | 弘前市 | 大字城東中央二丁目3-4 | 19人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第110-1号 | 20/9/13 | 株式会社太田建設工業 | 039-3321 | 平内町 | 大字小湊字前苞33-3 | 12人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健康に関する文書を社内に掲示し、給料日にあわせて配布。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第111-1号 | 20/9/13 | 大泉建設株式会社 | 039-3215 | 六ヶ所村 | 大字倉内字笹崎1157 | 237人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施(「心の健康づくり計画」の策定、メンタルヘルスの相談窓口の設置、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等)。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第112-1号 | 20/9/13 | 齋勝建設株式会社 | 037-0091 | 五所川原市 | 大字太刀打字早蕨98-4 | 191人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・常勤従業員について健康診断を実施（受診率98.9%）するとともに、未受診者の受診を勧奨済。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・二次健診の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施(心の健康問題の実態把握、職場復帰支援プログラムの策定、メンタルヘルス担当者の設置等)。 |
| 第113-1号 | 20/9/13 | 株式会社長谷川建設 | 036-8332 | 弘前市 | 大字亀甲町42 | 20人 | 建設業 | ・常勤従業員について健康診断を実施（受診率95%）するとともに、未受診者の受診を勧奨済。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・メンタルヘルス対策の実施(「心の健康づくり計画」の策定、メンタルヘルス担当者の設置、心の健康問題の実態把握等)。 |
| 第114-1号 | 20/9/13 | 共立設備工業株式会社 | 036-8104 | 弘前市 | 大字扇町二丁目4-1 | 43人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第115-1号 | 20/9/13 | 株式会社根城グリーン建設 | 039-1113 | 八戸市 | 西白山台六丁目9-21 | 47人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第116-1号 | 20/9/13 | 株式会社大阪 | 034-0105 | 十和田市 | 大字八斗沢字八斗沢191 | 42人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。 |
| 第117-1号 | 20/9/13 | 有限会社大王農園 | 036-0213 | 平川市 | 新屋町松久1 | 16人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健康をテーマにした社内報を従業員へ配布。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧、体重及び歩数の測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第118-1号 | 20/10/24 | 株式会社三浦組 | 038-3804 | 藤崎町 | 大字葛野字岡元18-3 | 22人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・従業員全員で朝のラジオ体操を実施。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第119-1号 | 20/10/24 | 株式会社白川建設 | 037-0304 | 中泊町 | 大字尾別字浅井257-7 | 27人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・「人生100年時代の健康づくり～健康習慣のコツ～」をテーマとした講習会を開催（講師：中泊町役場町民課保健師）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第120-1号 | 20/10/24 | 千葉電気設備株式会社 | 036-0333 | 黒石市 | 柵ノ木4丁目127 | 16人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・がん検診費用を事業所が負担。<br>・健康器具を事業所に設置。<br>・「食生活改善セミナー」を事業所で開催（講師：青森県栄養士会管理栄養士）。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第121-1号 | 20/10/24 | 株式会社高田工業 | 039-3213 | 六ヶ所村 | 大字鷹架字久保ノ内49-1 | 47人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第122-1号 | 20/10/24 | 株式会社竹達建設 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字野崎118-2 | 15人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用、健診再検査代の一部及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・「働き盛り世代のヘルスアップ出前講座」を事業所内で実施（講師：十和田市健康増進課保健師）。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第123-1号 | 20/10/24 | 株式会社オートガード八戸 | 039-1169 | 八戸市 | 日計１丁目4-20 | 38人 | 卸売業、小売業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第124-1号 | 20/10/24 | 山形砕石株式会社 | 036-0413 | 黒石市 | 大字花巻字山手村上24 | 44人 | 鉱業、採石業、砂利採取業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・フィットネスジム利用費を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。血圧・体重記録表を事務で集計し、数値表を作成後従業員へ提示。 |
| 第125-1号 | 20/10/24 | 株式会社中綱組 | 034-0036 | 十和田市 | 東六番町3-36 | 36人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第126-1号 | 20/11/16 | 六ヶ所エンジニアリング株式会社 | 039-3212 | 六ヶ所村 | 大字尾駮字上尾駮22-258 | 190人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施(メンタルヘルス推進担当者の設置、メンタルヘルス研修の実施、ストレスチェックの実施等)。 |
| 第127-1号 | 20/11/16 | 紺野建設株式会社 | 034-0021 | 十和田市 | 東二十三番町16-6 | 54人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用、インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第128-1号 | 20/11/16 | 株式会社西衡器製作所 | 030-0801 | 青森市 | 新町2-6-20 | 33人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・常勤従業員について健康診断を実施(受診率96.77%)するとともに、未受診者に対して早期の受診を働きかけ。<br>・健診費用、インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・休甘日・休刊日を設定。<br>・健康に関する情報が掲載された資料を従業員へ配布。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第129-1号 | 20/11/16 | 社会福祉法人千年会 | 036-8144 | 弘前市 | 大字原ケ平字山中39-1 | 43人 | 医療、福祉 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第130-1号 | 20/11/16 | 株式会社大樹設備工業 | 030-943 | 青森市 | 大字幸畑字阿部野12-50 | 26人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・「健康広報」を社内で配布。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第131-1号 | 20/11/16 | 株式会社山正小笠原建設 | 030-0922 | 青森市 | 大字泉野字内野48 | 8人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・「健康新聞」を社内で配布。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第132-1号 | 20/12/13 | 東陽工業株式会社 | 034-0071 | 十和田市 | 大字赤沼字下平595-1 | 24人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。 |
| 第133-1号 | 20/12/13 | 有限会社カワシタ電業 | 035-0073 | むつ市 | 中央二丁目21-1 | 11人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第134-1号 | 20/12/13 | 株式会社中栄建設 | 039-1161 | 八戸市 | 大字河原木字長円坊堀56-1 | 11人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用、インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第135-1号 | 20/12/13 | 大見海事工業株式会社 | 039-4601 | 大間町 | 大字大間字大間76-2 | 65人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第136-1号 | 20/12/13 | 株式会社オキタ工業 | 034-0002 | 十和田市 | 元町西四丁目1-41 | 31人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第137-1号 | 20/12/13 | 株式会社柿谷興業 | 030-0943 | 青森市 | 大字幸畑字谷脇90 | 16人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第138-1号 | 20/12/13 | 株式会社平山建設 | 037-0301 | 中泊町 | 大字今泉字神山59-1 | 44人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の精密検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第139-1号 | 20/12/13 | 平山開発株式会社 | 037-0301 | 中泊町 | 大字今泉字神山59-1 | 16人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第140-1号 | 20/12/13 | 一般財団法人医療と育成のための研究所清明会弘前中央病院 | 036-8188 | 弘前市 | 大字吉野町3-1 | 175人 | 医療、福祉 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・時差出勤制度を実施し就業時間を調整。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用、インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第141-1号 | 20/12/13 | 株式会社浜中土木 | 039-5201 | むつ市 | 川内町家ノ上8 | 38人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第142-1号 | 21/1/25 | 株式会社昭和住設 | 038-3105 | つがる市 | 柏広須野宮15-6 | 13人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、精密検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第143-1号 | 21/1/25 | 旭商事株式会社 | 034-0037 | 十和田市 | 穂並町2-62 | 17人 | 製造業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第144-1号 | 21/1/25 | 田中車輌株式会社 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字中掫43-4 | 51人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を特別休暇扱い。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。血圧・体重測定実施状況を事業所で集計し管理。 |
| 第146-1号 | 21/1/25 | 一般財団法人三沢市公園緑化公社 | 033-0043 | 三沢市 | 千代田町4丁目140-369 | 14人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第147-1号 | 21/1/25 | 豊産管理株式会社 | 038-1303 | 青森市 | 浪岡大字徳才子山本19-1 | 145人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第148-1号 | 21/1/25 | 株式会社佐藤惣建設 | 036-8085 | 弘前市 | 大字末広2丁目1-1 | 30人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健康に関する資料を従業員へ配布。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第149-1号 | 21/1/25 | 株式会社みどり | 034-0041 | 十和田市 | 大字相坂字高清水78-455 | 43人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第150-1号 | 21/1/25 | 有限会社ループ | 033-0022 | 三沢市 | 大字三沢字上屋敷163-63 | 87人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第151-1号 | 21/1/25 | 中外興産株式会社 | 039-2241 | 八戸市 | 大字市川町字南大谷地7-11 | 18人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第152-1号 | 21/1/25 | 有限会社若宮造園 | 039-1555 | 五戸町 | 字古堂後12-2 | 6人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第153-1号 | 21/1/25 | 有限会社睦建設 | 033-0036 | 三沢市 | 南町3丁目31-2692 | 18人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・社内にて「食生活改善セミナー」を開催（主催：青森県農林水産部）。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。測定結果を事業所が定期的に確認。 |
| 第154-1号 | 21/2/14 | 有限会社三晃ビルサービスセンター | 030-0852 | 青森市 | 大字大野字若宮33-16 | 5人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第155-1号 | 21/2/14 | 株式会社セーフティテック | 036-8075 | 弘前市 | 大字撫牛子2丁目4-10 | 11人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用（1,000円）を事業所が負担。<br>・食生活の改善に関する情報を掲示物で従業員に周知。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第156-1号 | 21/2/14 | 株式会社サカモトアクエア | 031-0802 | 八戸市 | 小中野2丁目4-12 | 32人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第157-1号 | 21/2/14 | 株式会社アオケン | 030-0947 | 青森市 | 大字幸畑字谷脇85-1 | 30人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第158-1号 | 21/2/14 | 山田設備機工株式会社 | 031-0023 | 八戸市 | 大字是川字権現堂向15-1 | 29人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・社内にて「社員の食生活改善セミナー」を開催（主催：青森県栄養士会）。<br>・健(検)診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第159-1号 | 21/2/14 | 株式会社共同設備 | 036-1332 | 弘前市 | 大字兼平字猿沢77-5 | 21人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。 |
| 第160-1号 | 21/2/14 | 有限会社浪岡設備工業所 | 031-0071 | 八戸市 | 沼館1丁目8-11 | 24人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第161-1号 | 21/2/14 | 富士電機津軽セミコンダクタ株式会社 | 037-0017 | 五所川原市 | 大字漆川字鍋懸156 | 350人 | 製造業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルスに関する研修の実施、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等）。<br>・常勤従業員について歯科健診を実施。 |
| 第162-1号 | 21/3/20 | 株式会社日専連ホールディングス | 030-0861 | 青森市 | 長島2丁目18-6 | 89人 | 金融業、保険業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・社内健康推進運動を実施し、従業員が自ら年間目標を設定。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（衛生委員会でメンタルヘルス対策の審議、心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス担当者の設置等）。 |
| 第163-1号 | 21/3/20 | 株式会社北奥水道 | 036-0343 | 黒石市 | 大字浅瀬石字稲田3-4 | 27人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第164-1号 | 21/3/20 | アクア設備株式会社 | 031-0071 | 八戸市 | 沼館1丁目2-12 | 21人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査を勤務時間及び特別休暇扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第165-1号 | 21/3/20 | 吉川建設株式会社 | 036-8173 | 弘前市 | 大字富田町174 | 25人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の精密検査を勤務時間扱い。 |
| 第166-1号 | 21/4/18 | 株式会社コンテック東日本 | 030-0122 | 青森市 | 大字野尻字今田91-3 | 12人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のため、主治医とのやり取りに関して各種様式を整備。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健診及びがん検診後の再検査等の受診に要する時間を勤務時間扱い。 |
| 第167-1号 | 21/4/18 | 株式会社三浦建設 | 038-2411 | 深浦町 | 大字風合瀬字上砂子川136-3 | 18人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・定期健康診断後に要する医療機関への受診を特別休暇扱い。<br>・常勤従業員について歯科健診を実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第168-1号 | 21/4/18 | 鈴木建設工業株式会社 | 033-0062 | 三沢市 | 新町3丁目31-2201 | 26人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第169-1号 | 21/4/18 | 株式会社大成コンサル | 036-8171 | 弘前市 | 大字取上5丁目12-7 | 29人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健診後の再検査を特別休暇扱い。 |
| 第170-1号 | 21/4/18 | 株式会社石上苅田建設 | 031-0013 | 八戸市 | 大字石手洗字一本木26-1 | 16人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・がん検診及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第171-1号 | 21/4/18 | 株式会社兼建興業 | 036-1332 | 弘前市 | 大字兼平字猿沢26-1 | 37人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口として担当者を設置。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健診後に要する再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第172-1号 | 21/5/24 | 北星交通株式会社 | 036-8261 | 弘前市 | 茂森新町4-17-1 | 190人 | 運輸業、郵便業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・産業医による保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第173-1号 | 21/5/24 | 磯沼建設株式会社 | 035-0063 | むつ市 | 若松町2-45 | 22人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第174-1号 | 21/5/24 | 株式会社青北建設 | 033-0111 | 三沢市 | 六川目6丁目-34-57 | 48人 | 建設業 | ・インフルエンザ予防接種費用を事業所が補助。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第175-1号 | 21/6/12 | 株式会社曽我産業 | 031-0114 | 八戸市 | 南郷大字中野字丑木沢41-7 | 33人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間及び特別休暇扱い。 |
| 第176-1号 | 21/6/12 | 八戸東洋株式会社 | 039-2283 | 八戸市 | 桔梗野工業団地3丁目6-5 | 181人 | 製造業 | ・骨密度測定会、体組成測定会の実施。<br>・食堂に健康ルームを設置。ぶら下がり健康器具、バランスボール、ミニトランポリン、足ふみマットを自由に使用できる。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第177-1号 | 21/7/12 | 全国共済農業協同組合連合会青森県本部 | 030-0847 | 青森市 | 東大野2丁目1-15 | 114人 | 金融業、保険業 | ・本部職員行動指針に健康づくりの目標を明確化。<br>・QOL（啓発型）健診の実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施(衛生委員会でメンタルヘルス対策の審議、「心の健康づくり計画」の策定、長時間労働者等に対する面接手順の明確化、ストレスチェックの実施)<br>・喫煙者の減少に向け「喫煙中お知らせボード」を設置。 |
| 第178-1号 | 21/7/12 | 富士建設株式会社 | 036-8084 | 弘前市 | 高田1丁目10-12 | 24人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のため主治医とのやり取りに関して様式を整備。<br>・健（検）診後の精密検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第179-1号 | 21/8/16 | 有限会社三福工務店 | 033-0036 | 三沢市 | 南町4丁目31-3721 | 13人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査を勤務時間扱い。<br>・常勤従業員について歯科健診を実施。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第180-1号 | 21/8/16 | 大研工業株式会社 | 030-0954 | 青森市 | 大字駒込字月見野56-2 | 15人 | 建設業 | ・時差出勤制度を実施し就業時間を調整。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策を実施（「心の健康づくり計画」を策定、事業場内体制の整備としてメンタルヘルス推進担当者を配置、長時間労働者に対する面接指導等の実施までの手順を明確化、ストレスチェックを実施）。<br>・常勤従業員について歯科健診を実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第181-1号 | 21/8/16 | 青森設備工業株式会社 | 038-0011 | 青森市 | 篠田3丁目10-2 | 20人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第182-1号 | 21/9/11 | 株式会社工組 | 034-0082 | 十和田市 | 西二番町13-22 | 38人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健康づくりのための情報発信として健康通信を発行。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第183-1号 | 21/9/11 | 三浦建設株式会社 | 039-0201 | 田子町 | 大字田子字小沼13-1 | 31人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第184-1号 | 21/9/11 | 株式会社日進電気 | 039-1103 | 八戸市 | 大字長苗代字谷地9-2 | 31人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・フィットネスクラブの利用料金を事業所が負担。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第185-1号 | 21/9/11 | 株式会社柏崎組 | 039-2135 | おいらせ町 | おいらせ町立蛇71 | 60人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・生活習慣病や食生活改善等をテーマとした衛生講話を実施。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第186-1号 | 21/9/11 | 有限会社円勝建設 | 038-2801 | つがる市 | 木造丸山竹鼻43-3 | 6人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査等の受診時間を勤務時間及び特別休暇扱い。 |
| 第187-1号 | 21/10/18 | 有限会社山崎土建 | 039-2172 | おいらせ町 | 洗平23 | 8人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第188-1号 | 21/10/18 | 株式会社渋田産業 | 039-4601 | 大間町 | 大字大間字中山16-3 | 48人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第189-1号 | 21/10/18 | 有限会社山勝石材 | 036-0233 | 平川市 | 日沼高田13-1 | 5人 | 鉱業、採石業、砂利採取業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第190-1号 | 21/10/18 | 株式会社近田会計事務所 | 039-1166 | 八戸市 | 根城8丁目6-11 | 71人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担<br>・毎月ウォーキングラリーを実施(1日10,000歩で手当(500円)支給)。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第191-1号 | 21/10/18 | 大泉運輸株式会社 | 039-3215 | 六ヶ所村 | 大字倉内字笹崎1157 | 61人 | 運輸業、郵便業 | ・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進担当者等の任命、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第192-1号 | 21/10/18 | ファウンテン株式会社 | 039-3215 | 六ヶ所村 | 大字倉内字笹崎1157 | 16人 | 卸売業、小売業 | ・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進担当者等の任命、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第193-1号 | 21/11/19 | 小幡建設工業株式会社 | 031-0072 | 八戸市 | 城下4丁目22-33 | 40人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第194-1号 | 21/11/19 | 株式会社中屋敷建設 | 033-0152 | 三沢市 | 深谷2丁目94-303 | 39人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第195-1号 | 21/11/19 | 株式会社弘都電気 | 036-8084 | 弘前市 | 大字高田字苺原95-7 | 35人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。 |
| 第196-1号 | 21/11/19 | 有限会社桜庭建設 | 038-1131 | 田舎館村 | 大字大袋字三本柳66-1 | 10人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第197-1号 | 21/11/19 | 株式会社大伸管工業所 | 036-8326 | 弘前市 | 大字藤野1-6-3 | 21人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・会社支給のスマートフォンに食事管理アプリを登録。<br>・健康をテーマとしたセミナーを開催。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第198-1号 | 21/12/20 | 協同組合八戸管工事協会 | 031-0804 | 八戸市 | 青葉三丁目28-2 | 14人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第199-1号 | 21/12/20 | 株式会社小山内組 | 036-0102 | 平川市 | 光城五丁目58-1 | 17人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第200-1号 | 21/12/20 | 株式会社成文組 | 030-0822 | 青森市 | 中央四丁目7-7 | 8人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・チーム対抗戦のウォーキングを実施。 |
| 第201-1号 | 21/12/20 | 株式会社葵工業 | 039-2241 | 八戸市 | 大字市川町字菅谷地103-1 | 22人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第202-1号 | 21/12/20 | 株式会社高橋工務店 | 031-0802 | 八戸市 | 小中野八丁目3-4 | 29人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第203-1号 | 21/12/20 | 株式会社五所川原ケアセンター | 037-0016 | 五所川原市 | 字一ツ谷554-10 | 39人 | 医療、福祉 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第204-1号 | 21/12/20 | 千葉設備工業株式会社 | 030-0943 | 青森市 | 幸畑字谷脇162-7 | 25人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第205-1号 | 21/12/20 | 有限会社むつ中央トラック | 035-0011 | むつ市 | 大字奥内字中道23 | 11人 | 運輸業、郵便業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第206-1号 | 21/12/20 | 合同会社西尾経営管理事務所 | 031-0823 | 八戸市 | 湊高台五丁目5-4 | 1人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第207-1号 | 21/12/20 | 小山建設工業株式会社 | 031-0844 | 八戸市 | 大字美保野13-970 | 17人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第208-1号 | 21/12/20 | 株式会社大西組 | 039-1524 | 五戸町 | 大字豊間内字地蔵平1-1022 | 22人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を特別休暇扱い。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第209-1号 | 21/12/20 | 大矢建設工業株式会社 | 030-0152 | 青森市 | 大字野沢字川部63 | 85人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・ストレッチについての資料を従業員へ配布。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第210-1号 | 21/12/20 | 株式会社岡山建設 | 039-3215 | 六ヶ所村 | 大字倉内字笹崎1050-1 | 108人 | 建設業 | ・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第211-1号 | 21/12/20 | 株式会社工藤組 | 039-2731 | 七戸町 | 字後平150-62 | 49人 | 建設業 | ・毎朝朝礼時にラジオ体操を実施。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第212-1号 | 21/12/20 | 株式会社第一ホーム | 031-0816 | 八戸市 | 新井田西三丁目2-17 | 25人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・特定保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第213-1号 | 21/12/20 | 株式会社清水電気 | 031-0072 | 八戸市 | 城下四丁目16-18 | 24人 | 建設業 | ・フィットネスクラブの利用料金を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第214-1号 | 21/12/20 | 株式会社津軽サンロード | 037-0025 | 五所川原市 | 大字七ツ館字柏枝69-39 | 16人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。 |
| 第215-1号 | 21/12/20 | 有限会社マルコウ | 031-0833 | 八戸市 | 大字大久保字大山24-360 | 12人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第216-1号 | 22/1/24 | 株式会社東管サービス | 036-8233 | 弘前市 | 大字山崎三丁目5-9 | 21人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第217-1号 | 22/1/24 | ヤマダイ興業運輸株式会社 | 031-0822 | 八戸市 | 大字白銀町字砂森46-1 | 12人 | 運輸業、郵便業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第218-1号 | 22/1/24 | 田中電気工業株式会社 | 031-0077 | 八戸市 | 長根四丁目13-16 | 5人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第219-1号 | 22/1/24 | 株式会社浅工務店 | 039-3215 | 六ヶ所村 | 大字倉内字笹崎433 | 26人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第220-1号 | 22/1/24 | フォレスト産業株式会社 | 031-0813 | 八戸市 | 大字新井田字小久保尻1-22 | 8人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙セミナーを社内で実施。<br>・禁煙チャレンジ制度を社内で実施。 |
| 第221-1号 | 22/1/24 | 社会福祉法人水鏡会 | 039-0802 | 南部町 | 大字苫米地字蒼前11-1 | 112人 | 医療、福祉 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が助成。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第222-1号 | 22/1/24 | 株式会社伊藤建設工業 | 039-1165 | 八戸市 | 石堂二丁目1-32 | 37人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第223-1号 | 22/1/24 | 株式会社北奥設備 | 031-0072 | 八戸市 | 城下四丁目24-7 | 47人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第224-1号 | 22/1/24 | 東日本ライナー株式会社 | 038-0042 | 青森市 | 大字新城字山田675-4 | 22人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第225-1号 | 22/1/24 | 青森電気工業株式会社 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字稲吉121-53 | 36人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第226-1号 | 22/1/24 | 株式会社三村興業社 | 039-2224 | おいらせ町 | 下明堂30-10 | 62人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・「こころの健康づくり講座」を開催。<br>・特別保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第227-1号 | 22/2/14 | 一般財団法人愛成会 | 036-8151 | 弘前市 | 大字北園一丁目6-2 | 263人 | 医療、福祉 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・がん検診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（衛生委員会でメンタルヘルス対策の審議、心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進担当者の任命等）。 |
| 第228-1号 | 22/2/14 | 有限会社黒石舗装 | 036-0357 | 黒石市 | 追子野木二丁目296 | 12人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第229-1号 | 22/2/14 | 株式会社小又建設 | 039-2827 | 七戸町 | 字森ノ上100-1 | 69人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康問題の実態把握、心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進担当者の任命等）。<br>・協会けんぽの「歯科健診事業」を利用。 |
| 第230-1号 | 22/2/14 | 株式会社フジカツ電設 | 031-0801 | 八戸市 | 江陽二丁目17-3 | 23人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第231-1号 | 22/3/27 | 青森県漁業協同組合連合会 | 030-0803 | 青森市 | 安方一丁目1-32　水産ビル3階 | 31人 | 複合サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が助成。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第232-1号 | 22/3/27 | 中当建設株式会社 | 031-0011 | 八戸市 | 大字田向字向平12-1 | 47人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特別保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第233-1号 | 22/3/27 | 株式会社下舘組 | 039-1103 | 八戸市 | 大字長苗代字鰻苗代12-5 | 53人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第234-1号 | 22/3/27 | 有限会社テック | 038-0022 | 青森市 | 大字浪館字泉川22-6 | 75人 | 卸売業、小売業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・事業所が運営している「栄養サポートレストラン「T's KITCHEN」」の弁当（管理栄養士が監修した健康に配慮した弁当）の購入費用を事業所が負担(3割から5割負担)。<br>・健（検）診後の再検査及び精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・協会けんぽの「歯科健診事業」を利用。 |
| 第235-1号 | 22/3/27 | 有限会社松竹梅造園 | 038-0031 | 青森市 | 大字三内字沢部182 | 11人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第236-1号 | 22/3/27 | 株式会社日測コンサルタント | 030-0903 | 青森市 | 栄町一丁目1-21 | 25人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第237-1号 | 22/3/27 | 株式会社亜細亜建設 | 038-0031 | 青森市 | 大字三内字丸山238-1 | 10人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第238-1号 | 22/3/27 | 株式会社大和コンサルタント | 036-0357 | 黒石市 | 追子野木一丁目488-1 | 14人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第239-1号 | 22/3/27 | 公益財団法人八戸市総合健診センター | 031-0808 | 八戸市 | 田向三丁目6-15 | 129人 | 医療、福祉 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第240-1号 | 22/3/27 | 有限会社坂本興業 | 033-0042 | 三沢市 | 栄町三丁目140-791 | 22人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルスケア担当者の設置、ストレスチェックの実施等）。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。血圧・体重記録表を事務で集計し、データ化したものを従業員へ配布。 |
| 第241-1号 | 22/3/27 | 石田産業株式会社 | 039-2804 | 七戸町 | 字野崎狐久保106-226 | 46人 | 建設業 | ・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第242-1号 | 22/3/27 | 協和電気株式会社 | 030-0862 | 青森市 | 古川二丁目18-9 | 20人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、特別保健指導の受診時間を勤務時間又は特別休暇扱い。 |
| 第243-1号 | 22/3/27 | 株式会社中村組 | 039-3501 | 青森市 | 大字浅虫蛍谷199 | 5人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第244-1号 | 22/3/27 | 青森みちのく警備保障株式会社 | 034-0001 | 十和田市 | 三本木北平73-1 | 166人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進担当者の設置、ストレスチェックの実施等）。 |
| 第245号 | 20/5/25 | 有限会社青森地盤研究所 | 030-0963 | 青森市 | 中佃三丁目13-9 | 7人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特別保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第246号 | 20/5/25 | 有限会社リミックス | 039-2184 | おいらせ町 | 浜道178-5 | 60人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査、特別保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第247号 | 20/5/25 | 青森トヨタ自動車株式会社 | 030-0902 | 青森市 | 合浦二丁目19-23 | 147人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・ココカラダイアリー(「健康経営」を支援するアプリ)を利用し、従業員各自がストレスの測定、歩数・体重等の健康データ等を記録。<br>・スポーツジムと法人契約。<br>・事業所で「禁煙チャレンジキャンペーン」を実施し、報奨金の支給、禁煙治療費及び禁煙補助剤購入費を補助(※禁煙成功者のみ)。 |
| 第248号 | 20/5/25 | ネッツトヨタ青森株式会社 | 030-0902 | 青森市 | 合浦二丁目19-30 | 171人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・ココカラダイアリー(「健康経営」を支援するアプリ)を利用し、従業員各自がストレスの測定、歩数・体重等の健康データ等を記録。<br>・スポーツジムと法人契約。<br>・医師による保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・事業所で「禁煙チャレンジキャンペーン」を実施し、報奨金の支給、禁煙治療費及び禁煙補助剤購入費を補助(※禁煙成功者のみ)。 |
| 第249号 | 20/5/25 | 社会福祉法人内潟療護園障がい者支援施設内潟療護園 | 037-0308 | 中泊町 | 大字深郷田字甘木120-2 | 35人 | 医療、福祉 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第250号 | 20/8/17 | 株式会社復建技術コンサルタント | 030-0822 | 青森市 | 中央一丁目25-9 | 6人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援について、主治医とのやり取りに関して様式を整備。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・「健康診断の重要性や食生活の改善」をテーマに、社内研修会（WEB会議システムで配信）の実施（講師：全国土木建築国民健康保険組合保健師）。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施(メンタルヘルス推進担当者の設置、職場復帰支援プランの策定、長時間労働者等に対する面接手順の明確化等)。<br>・禁煙治療費を事業所が負担。 |
| 第251号 | 20/8/17 | 六ヶ所テクノス株式会社 | 039-3212 | 六ヶ所村 | 尾駮字野附1321-3 | 74人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特別保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（衛生委員会でメンタルヘルス対策の審議、「心の健康づくり推進計画」の策定、メンタルヘルス推進担当者の設置等）。<br>・禁煙治療費を事業所が負担(※禁煙成功者のみ)。 |
| 第252号 | 20/8/17 | 株式会社沢田建設 | 039-1501 | 五戸町 | 大字上市川字順礼森23-2 | 27人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特別保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙治療費を事業所が負担。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第253号 | 20/9/14 | 第一生命保険株式会社青森支社 | 030-0822 | 青森市 | 中央一丁目22-8 | 650人 | 金融業、保険業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健康応援アプリ「健康第一」を利用し、従業員各自が健康状態を把握。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第254号 | 20/9/14 | 社会福祉法人清友会 | 030-0801 | 青森市 | 新町二丁目6-25 | 66人 | 医療、福祉 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。 |
| 第255号 | 20/9/14 | 東和管工株式会社 | 039-3503 | 青森市 | 大字野内字鈴森272-4 | 13人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第256号 | 20/10/26 | 野田重機建設株式会社 | 033-0071 | 六戸町 | 大字犬落瀬字根古橋83-1 | 46人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第257号 | 20/10/26 | 八戸液化ガス株式会社 | 039-1121 | 八戸市 | 卸センター二丁目6-27 | 99人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・治療と仕事の両立支援について、主治医とのやり取りに関して様式を整備。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・メンタルヘルス対策の実施（従業員の心の健康問題に係る実態を把握、メンタルヘルス推進担当者の設置、ストレスチェックの実施等）。 |
| 第258号 | 20/11/16 | 有限会社谷島電気 | 034-0052 | 十和田市 | 大字藤島字小山35-1 | 19人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第259号 | 20/11/16 | 株式会社Ｍ＆Co. | 037-0065 | 五所川原市 | 幾世森147 | 2人 | 情報通信業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第260号 | 20/11/16 | むつ小川原原燃興産株式会社 | 039-3212 | 六ヶ所村 | 大字尾駮字野附1-87 | 193人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（職場復帰支援プログラムの策定、長時間労働者に対する面接手順の明確化、ストレスチェックの実施等）。 |
| 第261号 | 20/11/16 | 有限会社須藤工業 | 037-0023 | 五所川原市 | 大字広田字榊森3-14 | 18人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を特別休暇扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（メンタルヘルス推進担当者・相談窓口の設置及び周知、心の健康づくり計画書の策定等）。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を記録。 |
| 第262号 | 20/12/21 | 株式会社大明 | 039-1109 | 八戸市 | 大字豊崎町字鮫ノ口4-2 | 6人 | 卸売業、小売業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第263号 | 20/12/21 | 有限会社ビジネスマインド | 039-1166 | 八戸市 | 根城八丁目6-11 | 5人 | 教育、学習支援業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・従業員へ万歩計を配布し、1日10,000歩以上のウォーキングで300円手当を支給する「ウォークラリー」を実施。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定、体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第264号 | 20/12/21 | 吉田建設株式会社 | 031-0802 | 八戸市 | 小中野八丁目17-18-5 | 15人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・がん検診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、精密検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間又は特別休暇扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第265号 | 20/12/21 | 弘南建設株式会社 | 036-8091 | 弘前市 | 大字高崎二丁目13-6 | 15人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・R1.10.30に職域健康セミナーを実施（講師：アクサ生命保険株式会社社員）。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。 |
| 第266号 | 20/12/21 | 株式会社川村土木 | 039-1564 | 五戸町 | 字古舘下川原23-1 | 55人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、精密検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第267号 | 20/12/21 | 畑中建設工業株式会社 | 031-0071 | 八戸市 | 沼館四丁目6-6 | 37人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第268号 | 20/12/21 | 丸勘建設株式会社 | 036-8083 | 弘前市 | 大字新里字中樋田9-3 | 24人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、特定保健指導の受診時間を特別休暇扱い。 |
| 第269号 | 20/12/21 | 有限会社三浦造園 | 036-8303 | 弘前市 | 大字前坂字船山47-2 | 7人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・がん検診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理し、定期的（週に1回以上）に事業所へ報告。 |
| 第270号 | 20/12/21 | 下道建設株式会社 | 039-2172 | おいらせ町 | 洗平39-2 | 6人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第271号 | 20/12/21 | 青森ガス株式会社 | 030-0901 | 青森市 | 港町三丁目6-33 | 53人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画及び職場復帰支援プログラムの策定、事業所における心の健康問題に係る実態把握の実施等）。 |
| 第272号 | 21/1/29 | 興陽電設株式会社 | 031-0072 | 八戸市 | 城下四丁目10-10 | 57人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援について、主治医とのやり取りに関して様式を整備。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第273号 | 21/1/29 | 株式会社川賢 | 033-0022 | 三沢市 | 岡三沢二丁目8-7 | 75人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・ヨガ教室を開催。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第274号 | 21/1/29 | 萬齋株式会社 | 031-0112 | 八戸市 | 南郷大字大森字大久保21-12 | 2人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査及び精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第275号 | 21/1/29 | 株式会社畑中造園土木 | 039-1165 | 八戸市 | 石堂四丁目6-16 | 7人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査及び精密検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第276号 | 21/1/29 | 有限会社苅田工業 | 031-0814 | 八戸市 | 大字妙字花生8-128 | 10人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・フィットネスクラブの利用料金を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知・勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第277号 | 21/1/29 | 株式会社河野電気工業 | 033-0071 | 六戸町 | 大字犬落瀬字下久保1-243 | 15人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第278号 | 21/1/29 | 西浦水道建設工業株式会社 | 031-0071 | 八戸市 | 沼館一丁目7-38 | 38人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・がん検診後の再検査、特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第279号 | 21/1/29 | 釜淵造園建設株式会社 | 039-0201 | 田子町 | 大字田子字七日市44 | 20人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い又は特別休暇扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。 |
| 第280号 | 21/1/29 | 株式会社岡建設 | 039-2654 | 東北町 | 字塔ノ沢山315-3 | 15人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健(検)診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第281号 | 21/1/29 | 株式会社蝦名商事 | 030-0145 | 青森市 | 大字金浜字稲田11-8 | 10人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の精密検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第282号 | 21/2/26 | 大泉開発株式会社 | 038-0024 | 青森市 | 浪館前田四丁目10-25 | 33人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第283号 | 21/2/26 | 株式会社大山建工 | 039-1502 | 五戸町 | 大字切谷内字淋代14-1 | 58人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・常勤従業員について健康診断を実施（受診率98.2%）するとともに、未受診者に対して早期の受診を働きかけ。<br>・朝にラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第284号 | 21/2/26 | 株式会社鈴木建設 | 030-1303 | 外ヶ浜町 | 字蟹田内黒山35-1 | 21人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・毎朝ラジオ体操を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第285号 | 21/2/26 | 株式会社大東建設 | 030-1303 | 外ヶ浜町 | 字蟹田田ノ沢11-13 | 4人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のため、主治医とのやり取りに関する様式を整備。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第286号 | 21/2/26 | 株式会社夏堀組 | 039-0802 | 南部町 | 大字苫米地字白山堂18-1 | 15人 | 建設業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・がん検診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。<br>・禁煙外来の自己負担額を助成。 |
| 第287号 | 21/3/26 | 株式会社山口製材所 | 039-0612 | 南部町 | 大字剣吉字大坊6-20 | 14人 | 製造業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第288号 | 21/3/26 | 有限会社平葭建設 | 039-1801 | 新郷村 | 大字戸来字川台66 | 25人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・食生活改善をテーマにした安全講習会を実施（三戸地方保健所）。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第289号 | 21/3/26 | おいらせ農業協同組合 | 033-0022 | 三沢市 | 大字三沢字堀口16-7 | 214人 | 複合サービス業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第290号 | 21/3/26 | 株式会社大一通商 | 030-0931 | 青森市 | 大字平新田字森越12-28 | 36人 | 卸売業、小売業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・スポーツジムと法人契約<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第291号 | 21/3/26 | 東和警備株式会社 | 031-0804 | 八戸市 | 青葉三丁目24-3 | 52人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及び人間ドック受診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第292号 | 21/3/26 | 株式会社熊谷建設工業 | 035-0073 | むつ市 | 中央一丁目5-7 | 64人 | 建設業 | ・時差出勤制度を実施し就業時間を調整。<br>・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用及びインフルエンザ予防接種費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第293号 | 21/3/26 | 八戸製錬株式会社八戸製錬 | 039-1161 | 八戸市 | 大字河原木字浜名谷地76 | 207人 | 製造業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健康をテーマにした講座を開催(講師：産業医、看護師)。<br>・健康教養アンケートを実施。<br>・メンタルヘルス対策の実施（ストレスチェックの実施、事業所における心の健康問題に係る実態把握の実施、長時間労働者に対する面接手順の明確化等）。<br>・禁煙活動の実施（禁煙タイム、禁煙指導、禁煙宣言・禁煙表彰）。<br>・禁煙をテーマとした講座を開催(講師：産業医、看護師)。 |
| 第294号 | 21/3/26 | 三八五流通株式会社 | 039-1103 | 八戸市 | 大字長苗代字上中坪35-1 | 183人 | 運輸業、郵便業 | ・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（ストレスチェックの実施、事業所における心の健康問題に係る実態把握の実施、メンタルヘルスに関するセミナーの開催等）。<br>・禁煙セミナーを開催(講師：八戸学院大学教授)。<br>・禁煙支援の内容の情報誌を事業所に掲示。<br>・協会けんぽ青森支部の歯科健診事業を利用。<br>・社内文書により、従業員に血圧測定・体重測定を指示。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第295号 | 21/3/26 | 株式会社なかやま | 031-0071 | 八戸市 | 沼館一丁目20-11 | 120人 | 卸売業、小売業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第296号 | 21/3/26 | 学校法人青森田中学園 | 030-0132 | 青森市 | 横内字神田12-1 | 243人 | 教育、学習支援業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健康に配慮したランチ（ヘルシーランチ）を事業所内の食堂で提供。<br>・運動をテーマにした研修を開催。<br>・健診費用を事業所が負担。<br>・健（検）診後の再検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・メンタルヘルス対策の実施（ストレスチェックの実施、心の健康づくり計画の策定、長時間労働者に対する面接手順の明確化等）。 |
| 第297号 | 21/3/26 | 株式会社たいようヒューマンネットワーク | 039-1166 | 八戸市 | 根城5丁目12-18 | 4人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第298号 | 21/3/26 | 有限会社工藤板金工業 | 039-1161 | 八戸市 | 大字河原木字北沼22-17 | 9人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・全ての常勤従業員について健康診断を実施。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・がん検診受診費用を事業所が負担。<br>・健康をテーマにした研修会を開催（講師：アクサ生命保険株式会社社員）。<br>・健（検）診後の再検査、精密検査及び特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第299号 | 21/4/30 | 株式会社ヒロタ | 030-0142 | 青森市 | 大字野木字野尻37-961 | 30人 | 製造業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。 |
| 第300号 | 21/4/30 | 日成電設株式会社 | 039-1103 | 八戸市 | 大字長苗代字下碇田48-1 | 63人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第301号 | 21/4/30 | 株式会社しんとう計測 | 030-0844 | 青森市 | 桂木4丁目6-23 | 18人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。 |
| 第302号 | 21/4/30 | 山内建設株式会社 | 030-1734 | 外ヶ浜町 | 三厩増川257-23 | 10人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。 |
| 第303号 | 21/4/30 | 丸運十和田運送株式会社 | 034-0001 | 十和田市 | 大字三本木字野崎40-88 | 123人 | 運輸業、郵便業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・健診結果に対し従業員個人ごとに保健指導員から食生活改善に関するコメント。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第304号 | 21/4/30 | 株式会社ハチカン | 039-2241 | 八戸市 | 大字市川町字下揚45-44 | 508人 | 製造業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・メンタルヘルス対策の実施（ストレスチェックの実施、職場復帰プログラムの策定、長時間労働者に対する面接指導体制等）。 |
| 第305号 | 21/4/30 | 株式会社藤久らばんでりあ | 037-0066 | 五所川原市 | 字中平井町125 | 24人 | 生活関連サービス業、娯楽業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・メンタルヘルス推進担当者の設置。 |
| 第306号 | 21/4/30 | 三厩観光開発株式会社 | 030-1711 | 外ヶ浜町 | 字三厩龍浜54-274 | 7人 | 宿泊業、飲食サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第307号 | 21/5/31 | 株式会社青森資源 | 030-0955 | 青森市 | 大字駒込字桐ノ沢121番地3 | 37人 | 卸売業、小売業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・事業所内で健康、禁煙などをテーマとした研修会の開催<br>・事業所内で定期的に血圧・体重測定を実施 |
| 第308号 | 21/5/31 | 特定非営利活動法人<br>むつ下北子育て支援ネットワークひろば | 035-0031 | むつ市 | 柳町一丁目2番15号 | 11人 | 医療、福祉 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・健康教室の開催 |
| 第309号 | 21/5/31 | 東洋建物管理株式会社 | 030-0823 | 青森市 | 橋本一丁目7番3号 | 795人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進体制の整備、ストレスチェックの実施等）。 |
| 第310号 | 21/5/31 | 嶋津電気株式会社 | 036-8057 | 弘前市 | 大字八幡町2丁目7-6 | 18人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第311号 | 21/6/30 | 株式会社大成計装 | 031-0801 | 八戸市 | 江陽二丁目19番33号 | 23人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第312号 | 21/6/30 | 社会福祉法人明和会 | 035-0021 | むつ市 | 田名部赤川ノ内並木14番245 | 49人 | 医療、福祉 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・従業員に血圧測定・体重測定を周知、勧奨。従業員は自らの測定結果を管理。 |
| 第313号 | 21/6/30 | 株式会社一矢産業 | 030-1412 | 外ヶ浜町 | 字平舘野田才の神17番地1 | 11人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のため、主治医からの意見を確認する書類を整備<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第314号 | 21/6/30 | 株式会社河原木電業 | 031-0801 | 八戸市 | 江陽二丁目11-13 | 39人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第315号 | 21/6/30 | 株式会社風志興業 | 038-0011 | 青森市 | 篠田3丁目10-17 | 5人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・歯科検診（協会けんぽ青森県支部歯科検診事業）の実施<br>・血圧・体重測定の実施 |
| 第316号 | 21/7/30 | 北村技術株式会社 | 036-8061 | 弘前市 | 大字神田4丁目1-21 | 47人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・インフルエンザ予防接種費用を事業所が補助。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第317号 | 21/7/30 | 株式会社山田組 | 030-0145 | 青森市 | 大字金浜字稲田68-12 | 10人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第318号 | 21/7/30 | 株式会社堀川道路建設 | 038-0058 | 青森市 | 大字羽白字沢田193-59 | 12人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。<br>・血圧・体重を測定・記録 |
| 第319号 | 21/7/30 | 杉山建設工業株式会社 | 035-0044 | むつ市 | 赤川町14-10 | 43人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・血圧・体重測定の実施及び記録保管<br>・歯科検診（協会けんぽ青森県支部歯科検診事業）の実施 |
| 第320号 | 21/8/31 | 株式会社新川電気 | 034-0002 | 十和田市 | 元町西一丁目13-31 | 10人 | 建設業 | ・特定保健指導の就業時間認定<br>・歯科検診（協会けんぽ青森県支部歯科検診事業）の実施<br>・血圧・体重を測定・記録 |
| 第321号 | 21/8/31 | 有限会社村上土木 | 038-3802 | 藤崎町 | 大字藤崎字西浅田42-1 | 10人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第322号 | 21/9/30 | 二北開発株式会社 | 039-2654 | 東北町 | 字塔ノ沢山330 | 9人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・特定保健指導の受診時間を勤務時間扱い。 |
| 第323号 | 21/9/30 | 株式会社大八小山内組 | 037-0301 | 中泊町 | 大字今泉字布引168-3 | 11人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・血圧・体重を測定・記録 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第324号 | 21/9/30 | 株式会社キタコン | 036-8051 | 弘前市 | 大字宮川一丁目1番地1 | 80人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・スポーツクラブと法人契約を締結し、従業員に対して運動をする機会を提供。 |
| 第325号 | 21/9/30 | 株式会社エービッツ | 030-0801 | 青森市 | 新町二丁目6番25号 | 96人 | 情報通信業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・朝のラジオ体操を実施 |
| 第326号 | 21/9/30 | 有限会社田中水道工業所 | 033-0151 | 三沢市 | 南山三丁目174番地1号 | 22人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が補助。 |
| 第327号 | 21/9/30 | 有限会社オクト | 030-0852 | 青森市 | 大野鳴滝87-14 | 9人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第328号 | 21/9/30 | 荒建材建設株式会社 | 039-1107 | 八戸市 | 大字櫛引字直渡13番地 | 11人 | 建設業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・現場ごとにラジオ体操の実施 |
| 第329号 | 21/9/30 | 株式会社白鳥プロパン | 030-0964 | 青森市 | 南佃1丁目4-10 | 25人 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第330号 | 21/9/30 | 株式会社泉電気工事店 | 034-0038 | 十和田市 | 西六番町7番17号 | 12人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能。<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が補助。 |
| 第331号 | 21/11/30 | 有限会社東興防水工業 | 031-0071 | 八戸市 | 沼舘二丁目11番16号 | 9人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第332号 | 21/11/30 | 株式会社青森原燃テクノロジーセンター | 039-2664 | 東北町 | 字乙供58番地 | 41人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・メンタルヘルス対策の実施（心の健康づくり計画の策定、メンタルヘルス推進体制の整備、ストレスチェックの実施等）。<br>・禁煙グッズ購入費補助 |
| 第333号 | 21/11/30 | 大同生命保険株式会社きた東北支社 | 030-0823 | 青森市 | 橋本2丁目13番5号 ｸﾞﾗﾝｽｸｴｱ青森6階 | 41人 | 金融業、保険業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・健康増進のためのアプリを従業員に提供 |
| 第334号 | 21/11/30 | 株式会社壬生設備 | 031-0023 | 八戸市 | 大字是川字小峠3-429 | 17人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第335号 | 21/11/30 | エイ・スィーサービス株式会社 | 030-0131 | 青森市 | 問屋町1-12-2 | 24人 | 建設業 | ・社員向け健康講座の開催（講師：青森市保健師）<br>・健康情報誌による社員への情報提供<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い<br>・禁煙グッズの購入費補助<br>・血圧・体重を測定・記録 |
| 第336号 | 21/11/30 | 株式会社テックサポート | 039-1167 | 八戸市 | 大字沢里字古宮35-22 | 8人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口を明確化。<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。<br>・血圧・体重を測定・記録 |
| 第337号 | 21/11/30 | 相内建設株式会社 | 030-1511 | 今別町 | 大字山崎字山崎68-1 | 21人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。<br>・血圧・体重を測定・記録 |
| 第338号 | 21/12/24 | シンエー空調株式会社 | 030-0113 | 青森市 | 第二問屋町3-22-9 | 18人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・特定保健指導を勤務時間扱い。 |
| 第339号 | 21/12/24 | 有限会社名章建設工業 | 031-0803 | 八戸市 | 諏訪三丁目4番11号 | 13人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第340号 | 21/12/24 | 株式会社ジョイスポーツ | 036-8102 | 弘前市 | 小比内4丁目5-6 | 3人 | 卸売業、小売業 | ・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・血圧・体重を測定・記録 |

## ■青森県健康経営事業所の認定状況

| 認定番号 | 認定年月日 | 事業所名 | 事業所基本情報 | | | | | 主な健康づくりの取組 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号 | 市町村 | 市町村以下 | 常勤従業員数（申請日時点） | 業種 | （R3.4月認定分から、特徴的な取組のみを記載） |
| 第341号 | 21/12/24 | 青森県信用保証協会 | 030-8541 | 青森市 | 新町二丁目4番1号 | 70人 | 金融業、保険業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・医療費補助金交付規定の制定 |
| 第342号 | 22/1/31 | 大和リース株式会社青森営業所 | 030-0823 | 青森市 | 橋本三丁目12番19号 | 17人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・特定保健指導を勤務時間扱い。 |
| 第343号 | 22/1/31 | 株式会社溝口電気 | 031-0801 | 八戸市 | 江陽五丁目4番28号 | 36人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第344号 | 22/1/31 | 環境設備開発株式会社 | 031-0072 | 八戸市 | 城下3丁目13番17号 | 11人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のため、主治医とのやり取りに関して整備。<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第345号 | 22/1/31 | ワイエス株式会社ミッド事業 | 038-0042 | 青森市 | 大字新城字福田57番地 | 32人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。<br>・特定保健指導を勤務時間扱い。 |
| 第346号 | 22/1/31 | 青森県火災共済協同組合 | 030-0801 | 青森市 | 新町二丁目８番２６号 | 26人 | 金融業、保険業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第347号 | 22/1/31 | 株式会社コサカ技研 | 039-1103 | 八戸市 | 大字長苗代字上碇田56-2 | 66人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・インフルエンザ予防接種費用を事業所が補助。<br>・歯科検診（協会けんぽ青森県支部歯科検診事業）の実施 |
| 第348号 | 22/2/28 | ウェルネスワーク株式会社 | 031-0823 | 八戸市 | 湊高台五丁目5-4 | 1人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | ・治療と仕事の両立支援に係る相談窓口の明確化<br>・歯科検診（協会けんぽ青森県支部歯科検診事業）の実施<br>・血圧・体重の定期的な測定・記録 |
| 第349号 | 22/2/28 | 北日本海事興業株式会社 | 039-1162 | 八戸市 | 豊洲3-25 | 44人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・インフルエンザ予防接種の費用補助の実施 |
| 第350号 | 22/3/31 | 穂積建設工業株式会社 | 031-0073 | 八戸市 | 売市三丁目2番16号 | 65人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のため、主治医とのやり取りに関する様式を整備<br>・健康をテーマとした研修等の開催 |
| 第351号 | 22/3/31 | 株式会社八幡建設 | 039-1161 | 八戸市 | 大字河原木字二階堀16番地9 | 34人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第352号 | 22/3/31 | 株式会社東星建設 | 039-4105 | 横浜町 | 字苗代川目42-12 | 51人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・歯科検診（協会けんぽ青森県支部歯科検診事業）の実施 |
| 第353号 | 22/3/31 | 株式会社木村建装社 | 037-0303 | 中泊町 | 大字高根字小金石151 | 7人 | 建設業 | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |
| 第354号 | 22/4/28 | 一般財団法人青森県薬剤師会食と水の検査センター | 030-0142 | 青森市 | 大字野木字山口164-43 | 69人 | サービス業（他に分類されないもの） | ・通院等のための時間単位の休暇取得が可能<br>・事業所が実施したがん検診の結果を保管するとともに、市町村からの求めがあった場合に結果を提供できるよう従業員から同意書を徴取。 |
| 第355号 | 22/4/28 | 野崎建設工業株式会社 | 039-4602 | 大間町 | 大字奥戸字向町80-2 | 30人 | 建設業 | ・治療と仕事の両立支援のための相談窓口の明確化<br>・健（検）診後の再検査を勤務時間扱い。 |